国営両総土地改良事業
土地改良施設整理台帳付属図面

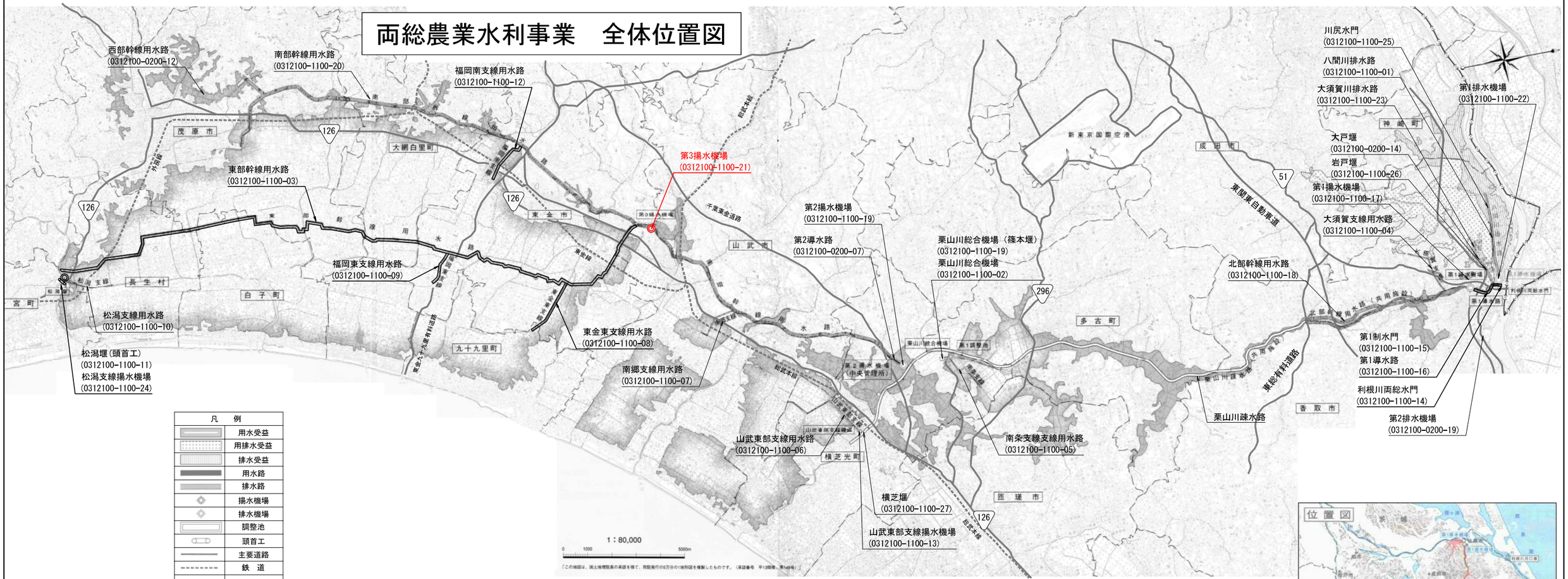
第３揚水機場
２分冊の１
施設管理図

関東農政局両総農業水利事業所

土地改良施設整理台帳付属図面一覧表（2分冊の1）

番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	備考
2-5	第3揚水機場	1	全体位置図	2-5	第3揚水機場	6	放流管管路基礎標準断面図 (61/259～62/259)	2-5	第3揚水機場	6	R階床伏図 (112/259)					
		2	管理用設備模式図			6	放流管鋼製異形詳細図 (63/259)			6	屋根伏図 (113/259)					
		3	水路路線図			6	放流管隧道閉塞工構造図 (64/259)			6	基礎リスト (114/259)					
			【施設管理図】			6	放流管スラストブロック構造図 (65/259)			6	軸組図 (115/259～119/259)					
		4	図郭割図			6	家の子第一分水工平面．縦断図 (66/259)			6	断面リスト (120/259)					
		5	平面図			6	家の子第一分水工流量計室構造図 (67/259～68/259)			6	断面欠細図 (121/259～122/259)					
		6	揚水機場平面図 (1/259)			6	建築工事特記仕様書 (69/259～72/259)			6	鉄骨詳細図 (123/259～125/259)					
		6	第3揚水機場一般図 (2/259～4/259)			6	配置図 (73/259)			6	雑詳細図 (126/259)					
		6	機場部横断図 (5/259～7/259)			6	面積表 (74/259)									
		6	流入工構造図 (8/259～10/259)			6	仕上表 (75/259)									
		6	吸水槽工構造図 (11/259～12/259)			6	平面図 (76/259～80/259)									
		6	余水吐工構造図 (13/259)			6	立面図 (81/259)									
		6	吸水池擁壁工構造図 (14/259～20/259)			6	断面図 (82/259～83/259)									
		6	床版工構造図 (21/259～23/259)			6	短計詳細図 (84/259～85/259)									
		6	吸水池工杭伏せ図 (24/259)			6	平面詳細図 (86/259～88/259)									
		6	吸水池坂路工構造図 (25/259)			6	展開図 (89/259～91/259)									
		6	転落防止柵工構造図 (26/259)			6	階段詳細図 (92/259～93/259)									
		6	管路工 機場工周囲部配管全体平面図 (27/259)			6	建具表 (94/259～96/259)									
		6	管路工 一般図 (28/259～32/259)			6	天井伏図 (97/259)									
		6	管路工 異形管詳細図 (33/259～35/259)			6	雑詳細図 (98/259～101/259)									
		6	管理用道路工平面縦断図 (36/259)			6	構造設計標準仕様 (102/259)									
		6	管理用道路工横断図 (37/259～43/259)			6	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図 (103/259～104/259)									
		6	道路工構造図 (44/259～45/259)			6	鉄骨構造標準図 (105/259～106/259)									
		6	ブロック積工構造図 (46/259～47/259)			6	構造設計標準仕様 (107/259)									
		6	場内整備工 排水側溝構造図 (48/259～49/259)			6	地階杭伏図 (108/259)									
		6	フェンス工構造図 (50/259～51/259)			6	基礎伏図 (109/259)									
		6	放流工構造図 (52/259)			6	1階伏図 (110/259)									
		6	放流管平面図．縦断図 (53/259～60/259)			6	2伏図．CG伏図 (111/259)									

両総農業水利事業　全体位置図

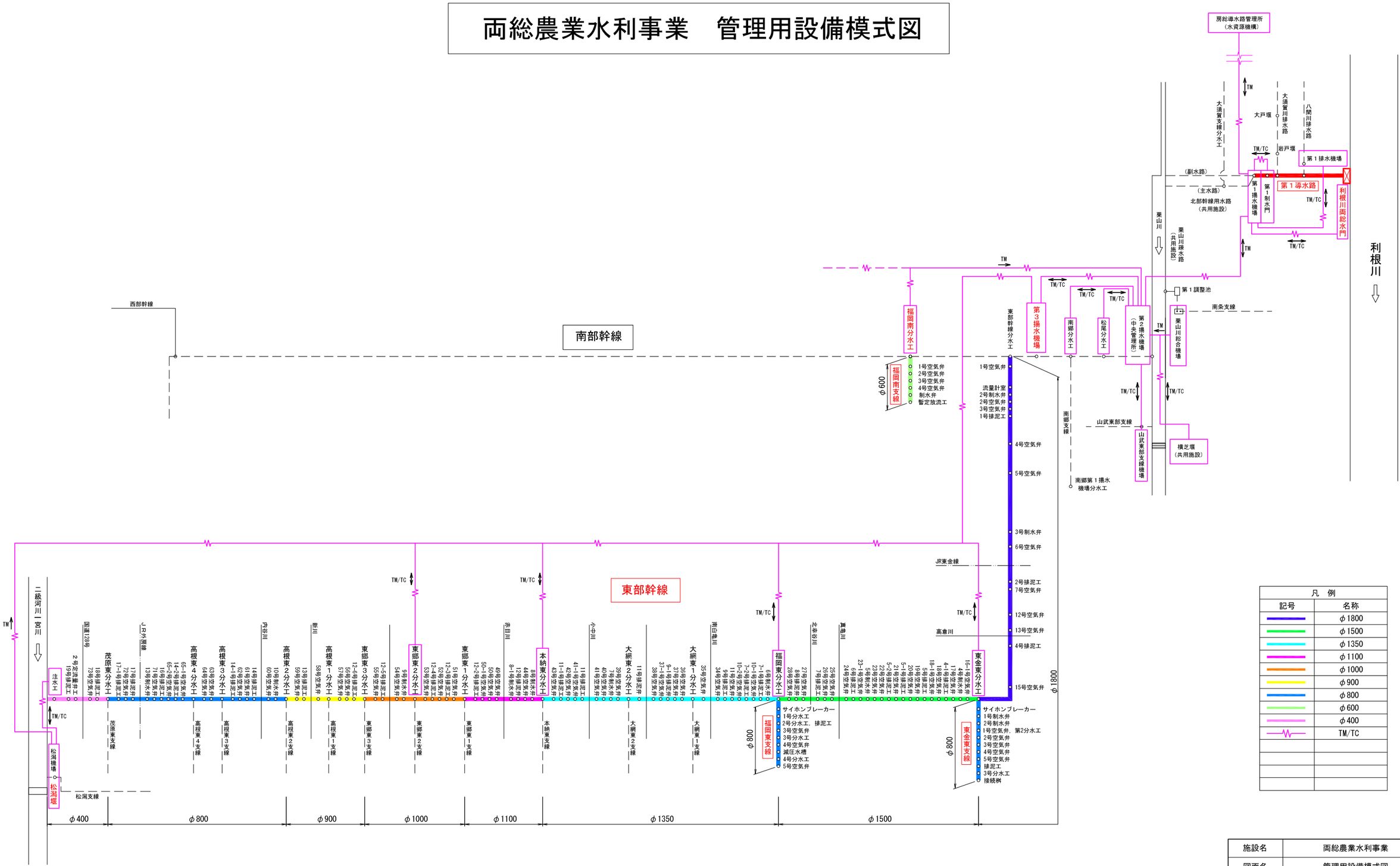


凡　例
用水受益
用排水受益
排水受益
用水路
排水路
揚水機場
排水機場
調整池
頭首工
主要道路
鉄　道



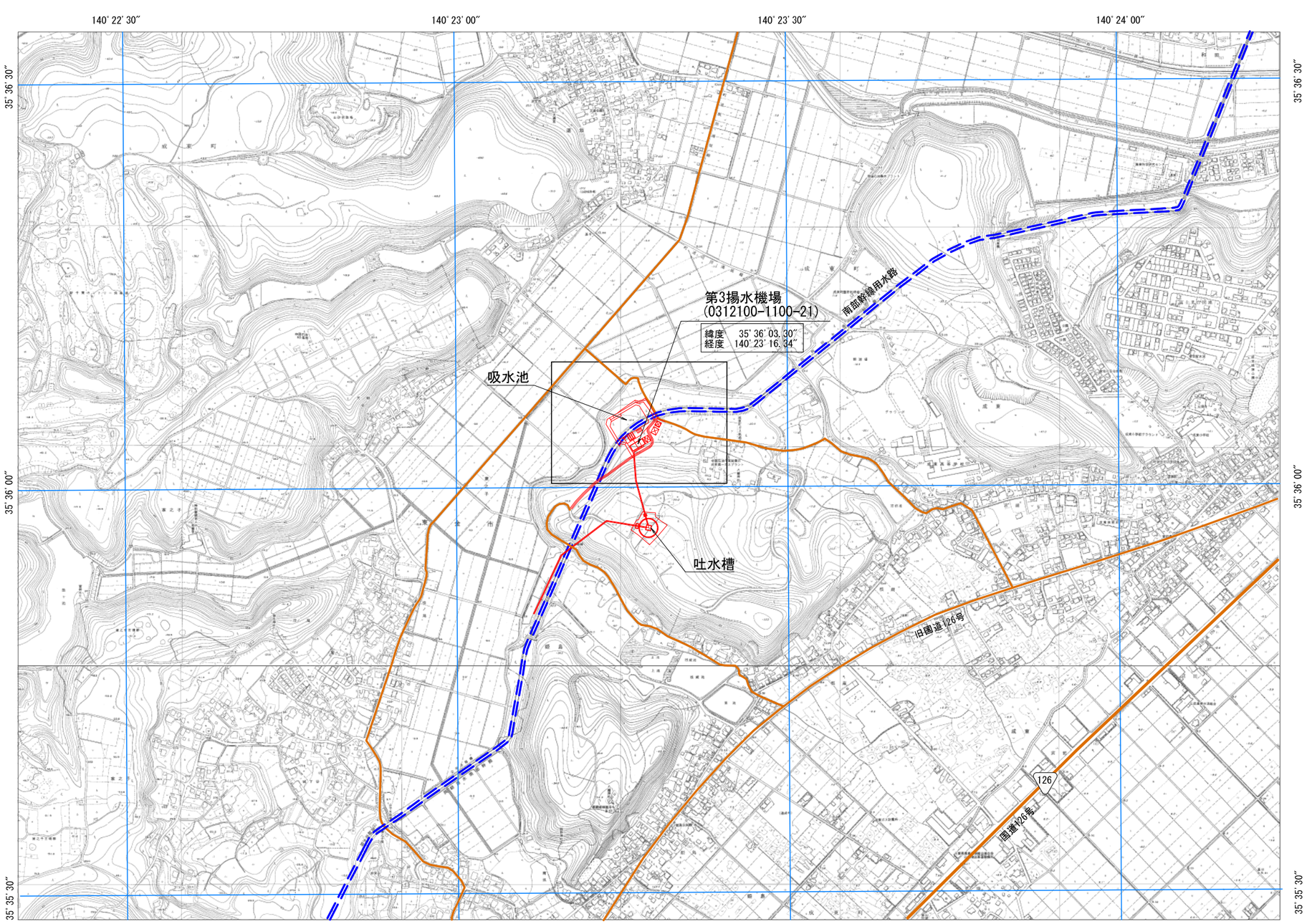
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	全体位置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1：80,000 A2 1:113,137	図面番号	1-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

両総農業水利事業　管理用設備模式図



凡　例	
記号	名称
	φ1800
	φ1500
	φ1350
	φ1100
	φ1000
	φ900
	φ800
	φ600
	φ400
	TM/TC

施設名	両総農業水利事業		
図面名	管理用設備模式図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	ーー	図面番号	2-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

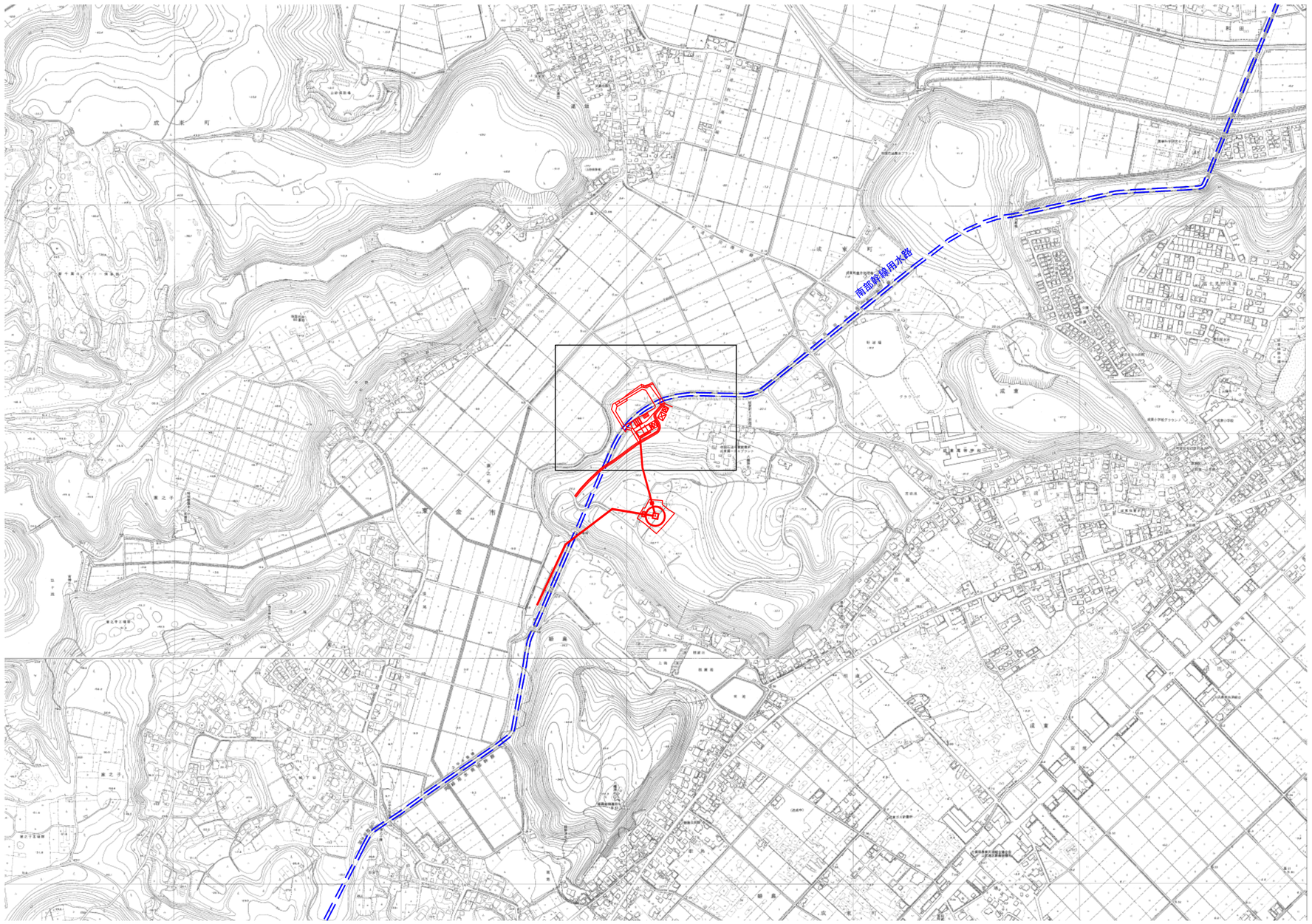


凡　例

管理施設名 （管理番号） 施設の位置 （緯度経度）	
記号	名称
	対象施設
	主要道路
	鉄道

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	水路路線図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:5,000 A2　1:7,070	図面番号	3-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

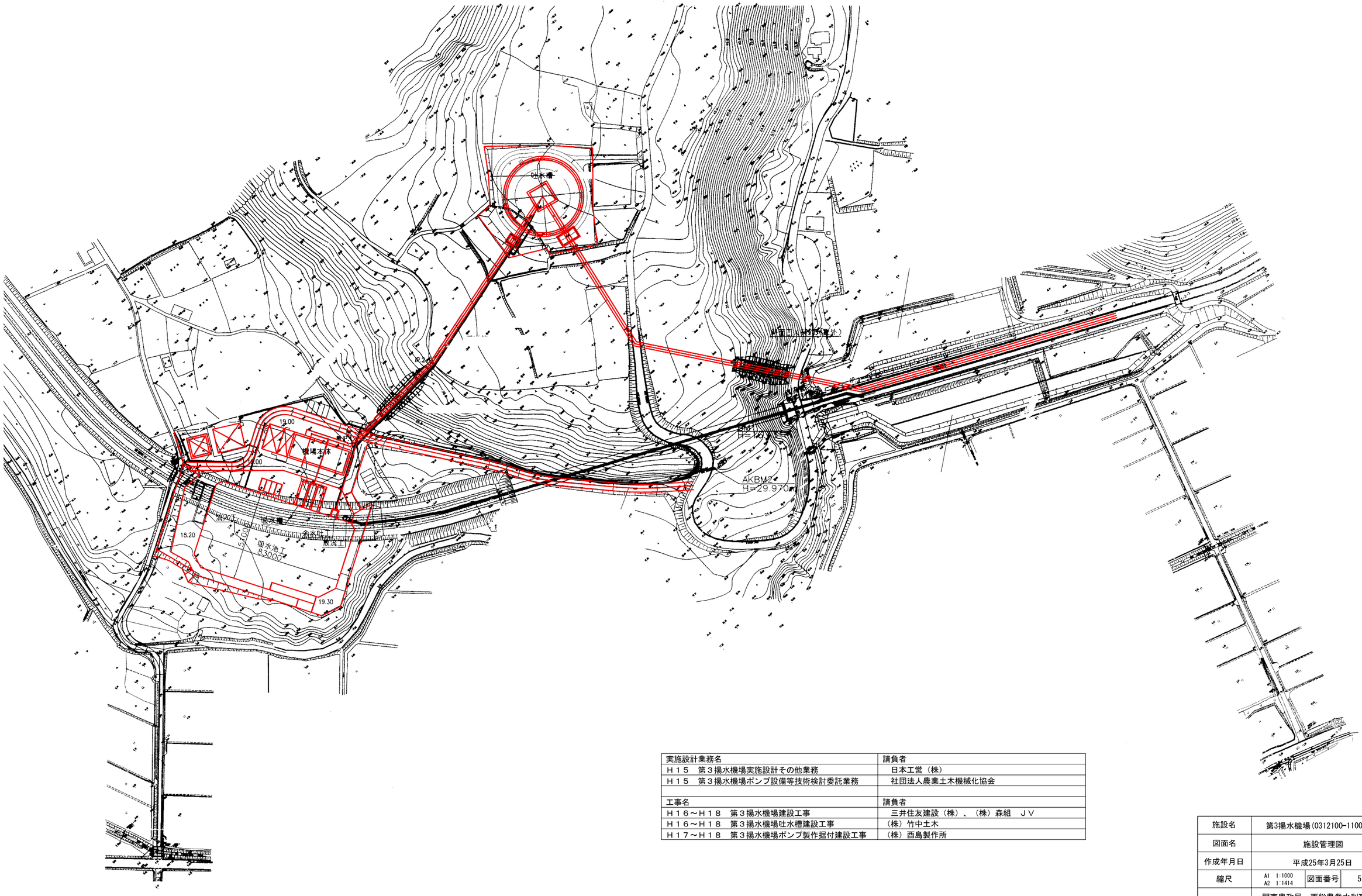
両 総 農 業 水 利 事 業
第３揚水機場
図郭割図　縮尺 1:5,000



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	図郭割図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:5,000 A2　1:7,070	図面番号	4-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

全体平面図

S=1:1000



実施設計業務名	請負者
Ｈ１５　第３揚水機場実施設計その他業務	日本工営（株）
Ｈ１５　第３揚水機場ポンプ設備等技術検討委託業務	社団法人農業土木機械化協会
工事名	請負者
Ｈ１６～Ｈ１８　第３揚水機場建設工事	三井住友建設（株）、（株）森組　ＪＶ
Ｈ１６～Ｈ１８　第３揚水機場吐水槽建設工事	（株）竹中土木
Ｈ１７～Ｈ１８　第３揚水機場ポンプ製作据付建設工事	（株）酉島製作所

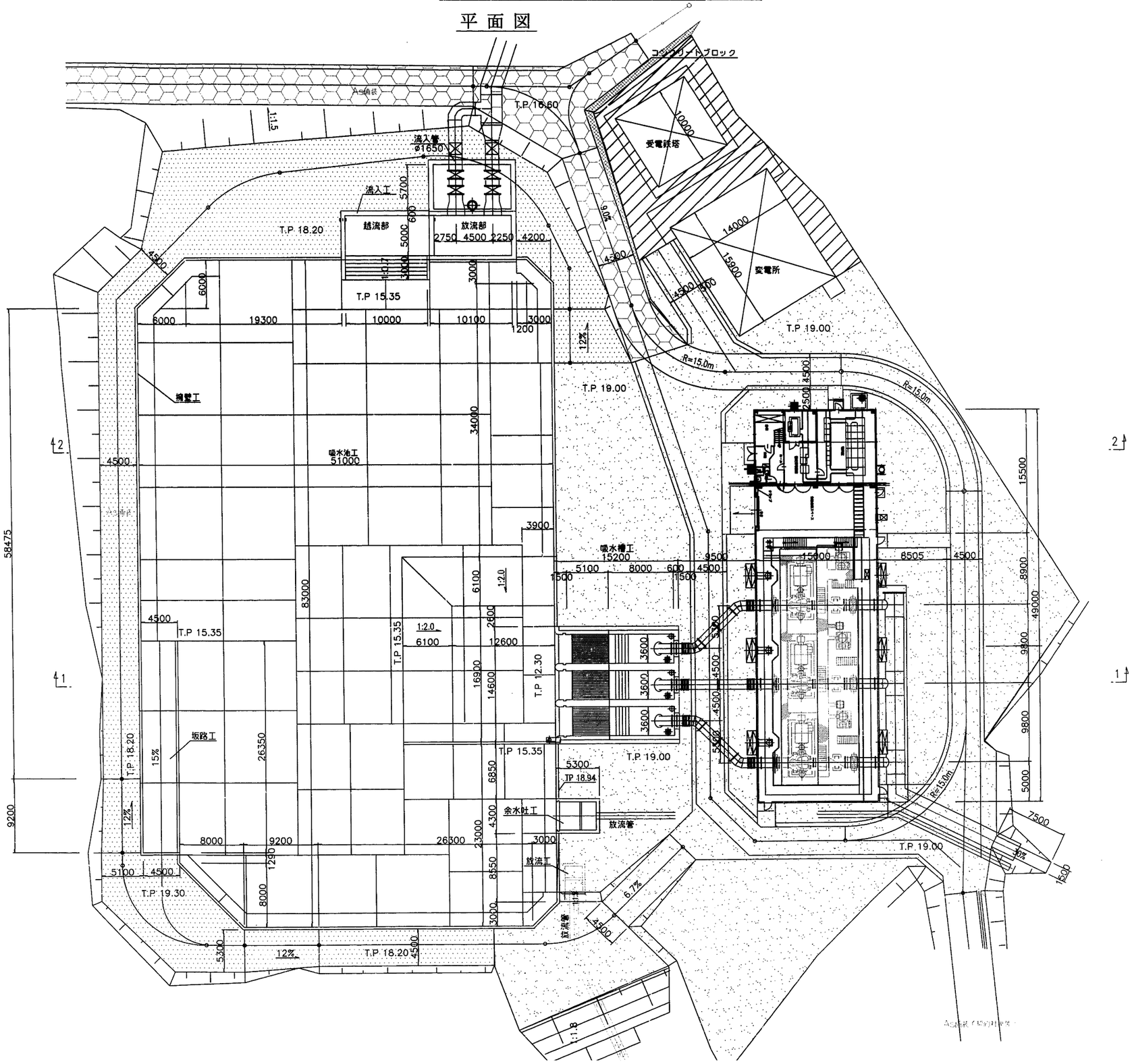
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	施設管理図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:1000 A2　1:1414	図面番号	5-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

揚水機場平面図 S=1:500



第3揚水機場一般図（1）　S=1:250

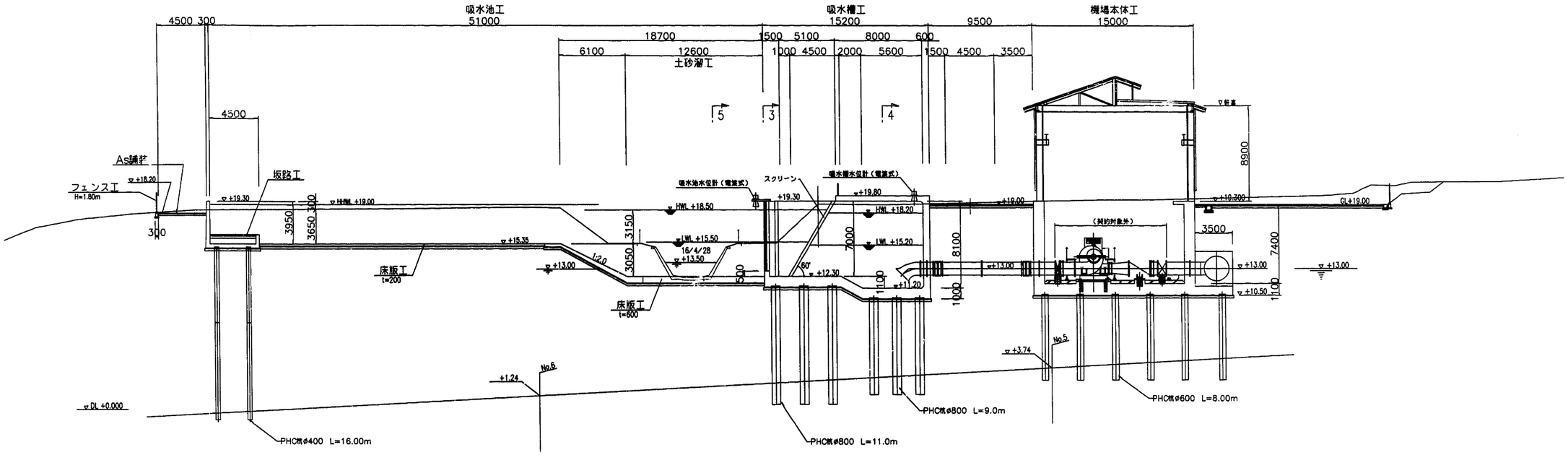
平面図



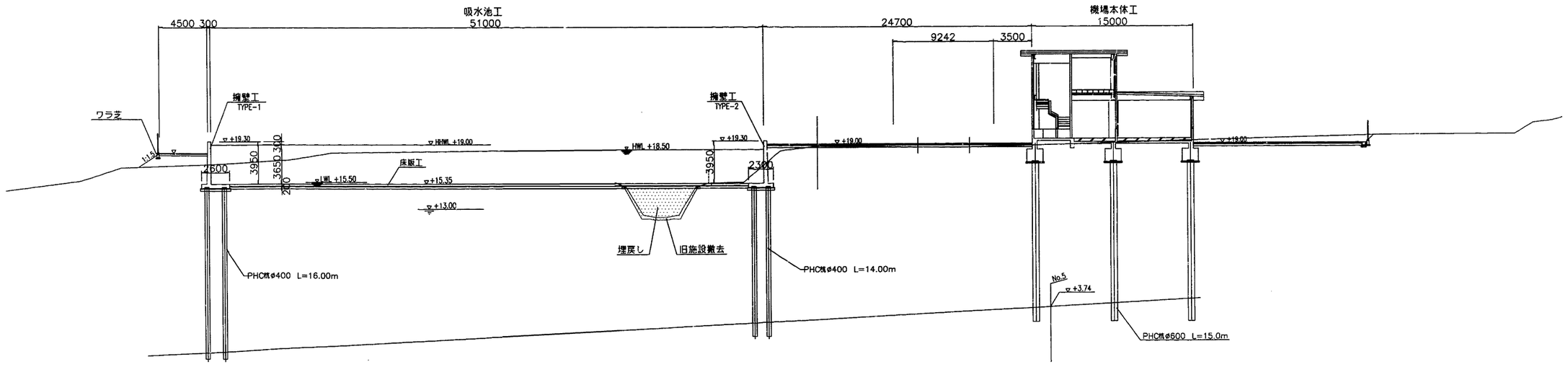
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場一般図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-2/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第3揚水機場一般図（2） S=1:200

断 面 図 - 1



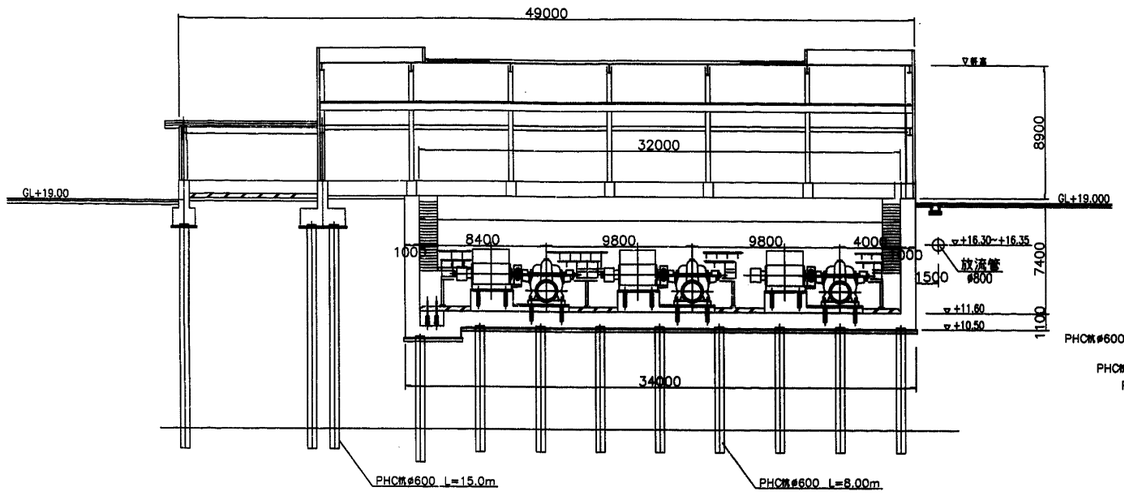
断 面 図 - 2



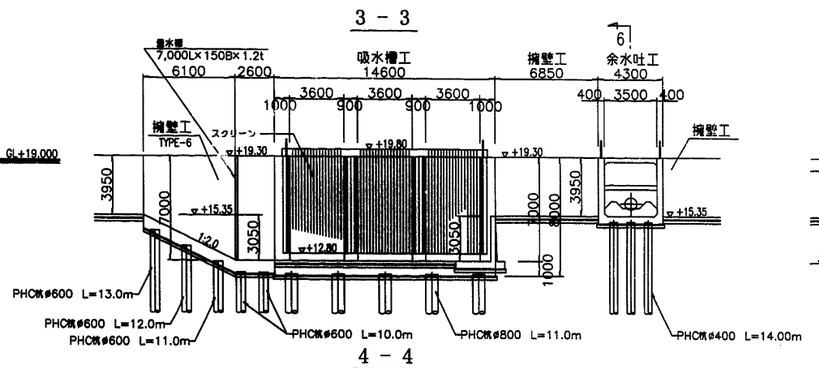
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場一般図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-3/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第3揚水機場一般図（3） S=1:200

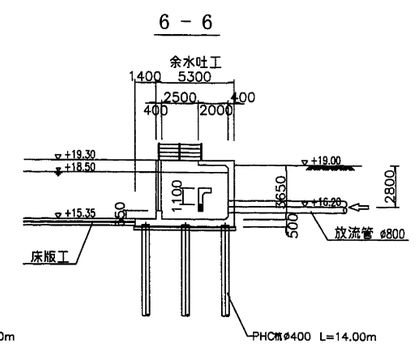
横断面図



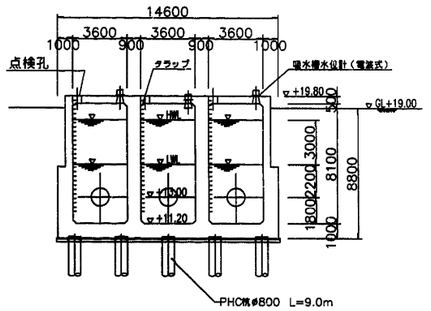
吸水槽断面図



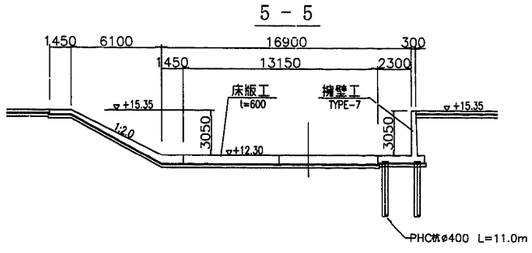
余水吐工断面図



4 - 4

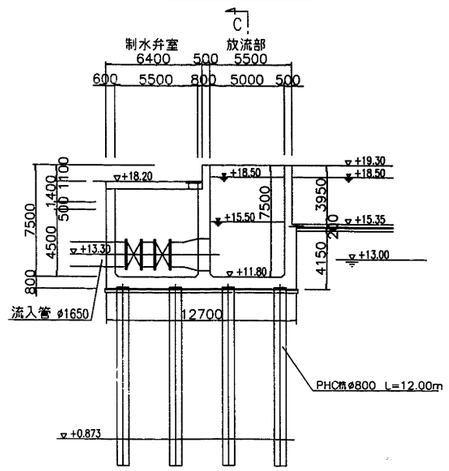


土砂溜工断面図

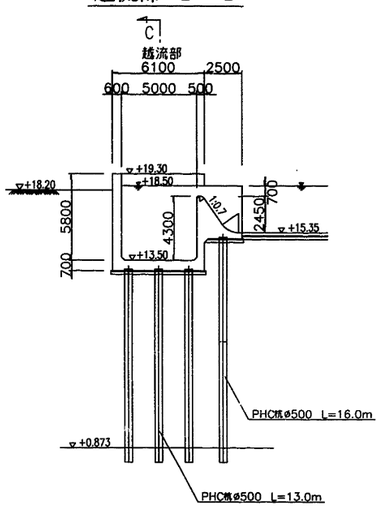


流入工断面図

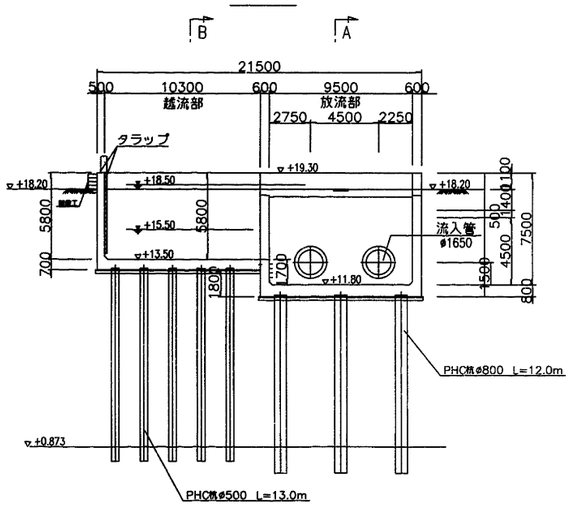
制水弁室及び放流部 A - A



越流部 B - B



C - C

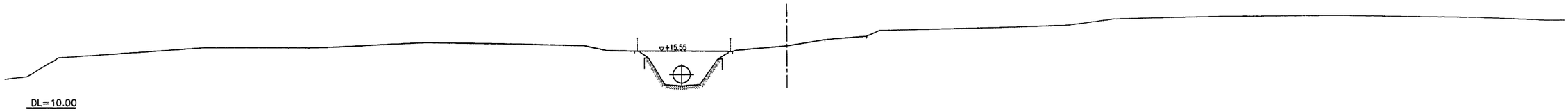


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場一般図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-4/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

機場部横断図（１）S=1:200

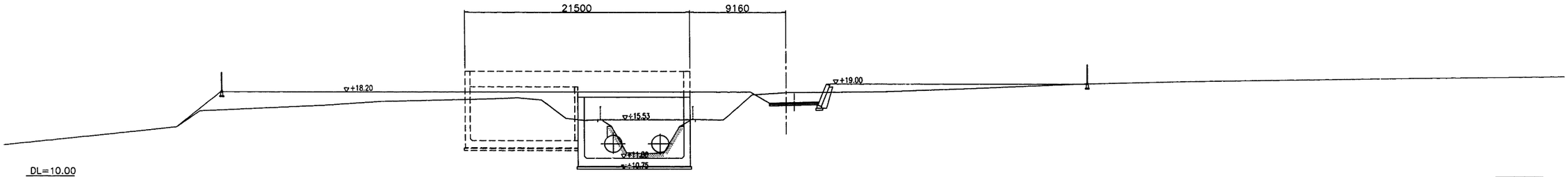
No. 5-1

GH= 16.11
FH= 00.00



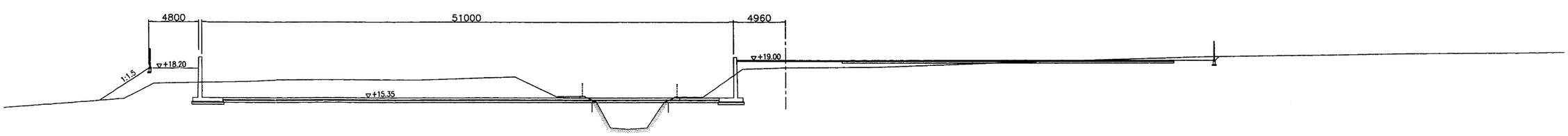
No. 5-2

GH= 18.16
FH= 00.00



No. 5-3

GH= 18.28
FH= 00.00

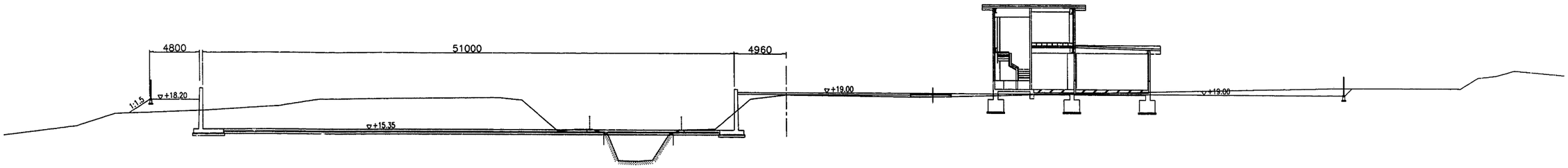


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	機場部横断図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-5/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

機場部横断図（2） S=1:200

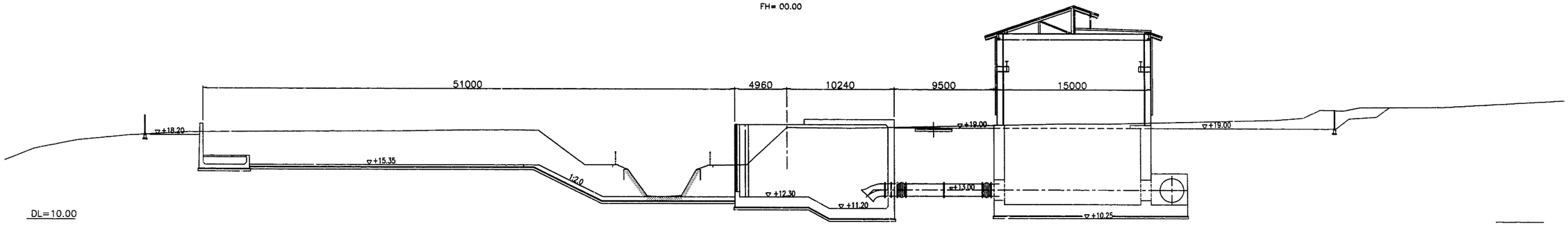
No. 5-4

GH= 18.80
FH= 00.00



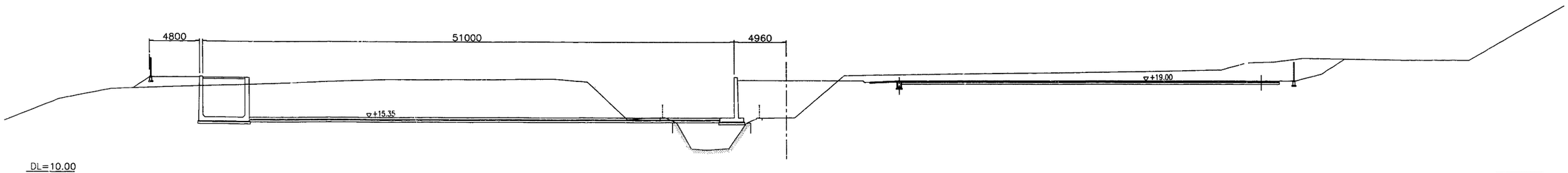
No. 5-5

GH= 19.02
FH= 00.00



No. 5-6

GH= 15.39
FH= 00.00

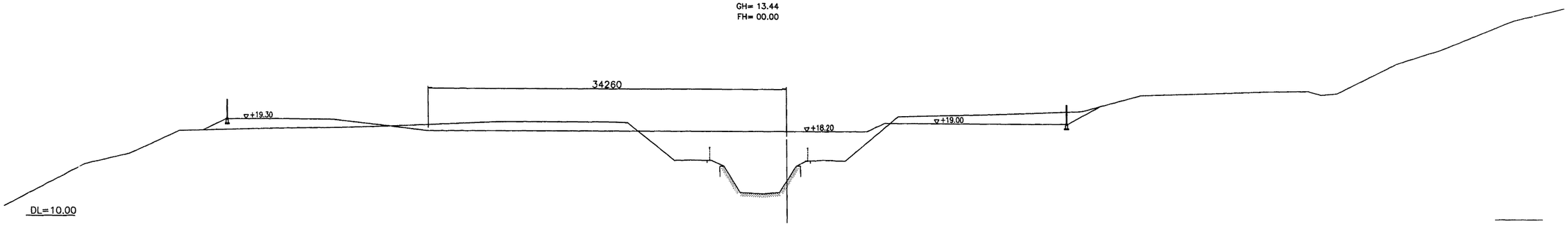


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	機場部横断図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-6/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

機場部横断図（3）S=1:200

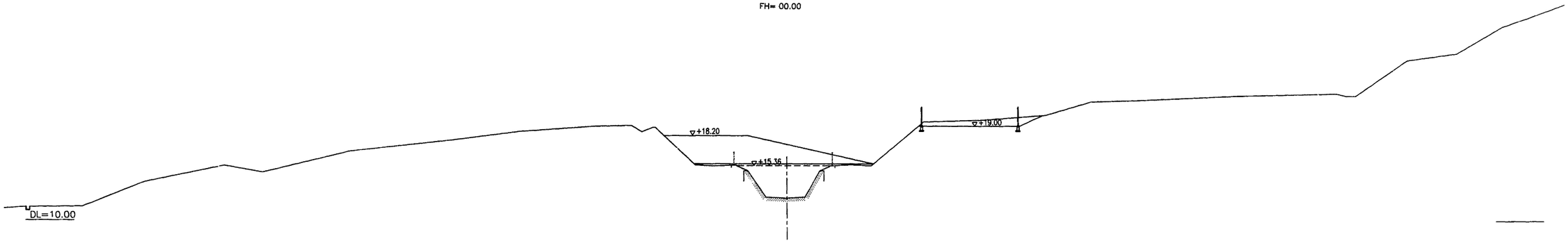
No. 5-7

GH= 13.44
FH= 00.00



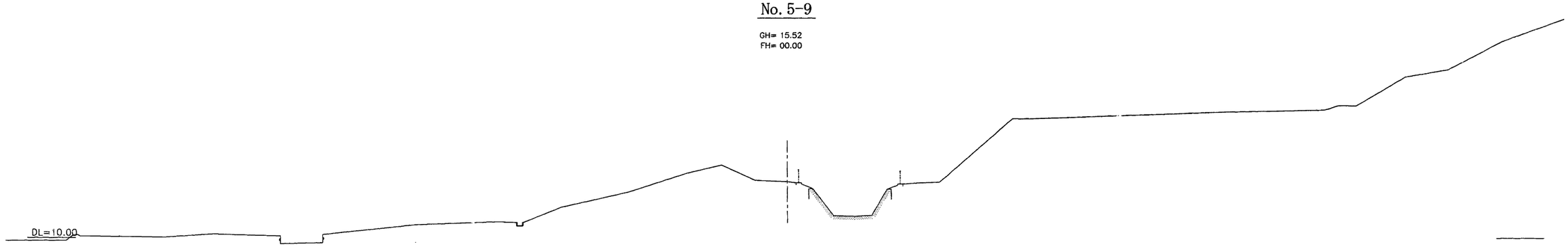
No. 5-8

GH= 12.21
FH= 00.00



No. 5-9

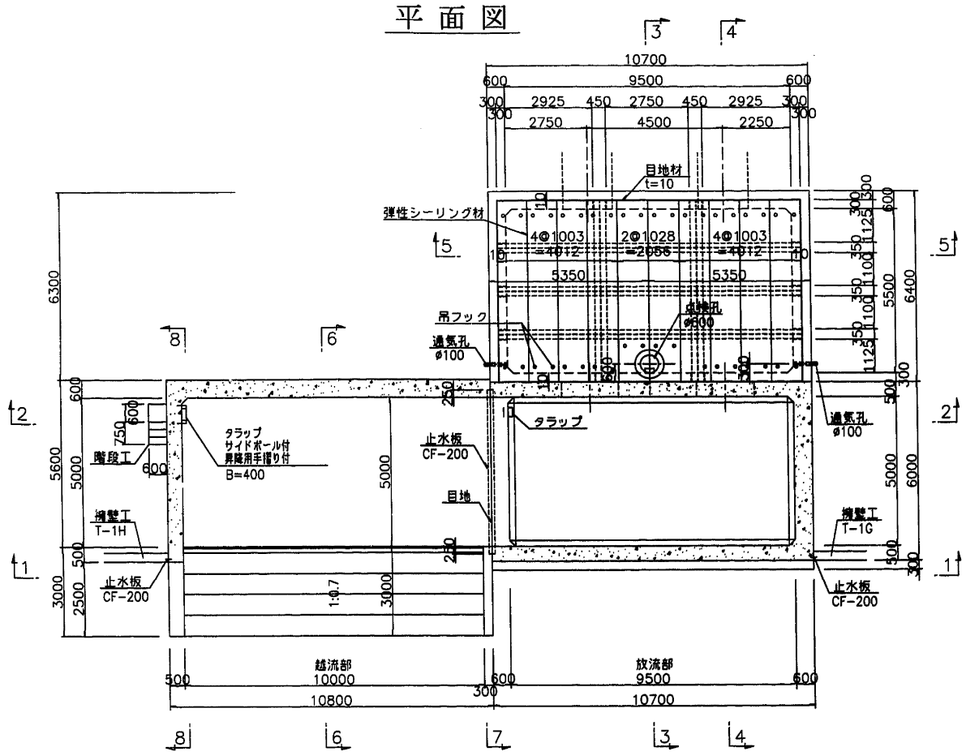
GH= 15.52
FH= 00.00



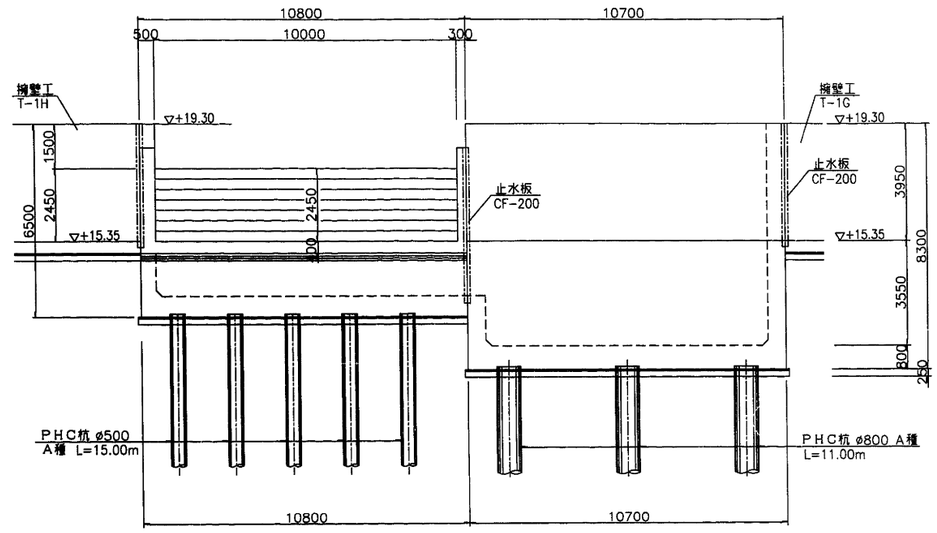
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	機場部横断図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-7/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

流入工構造図 (1)　S=1:100

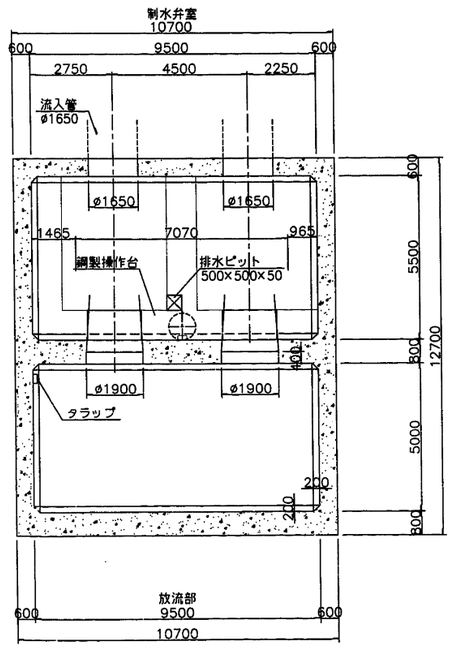
平面図



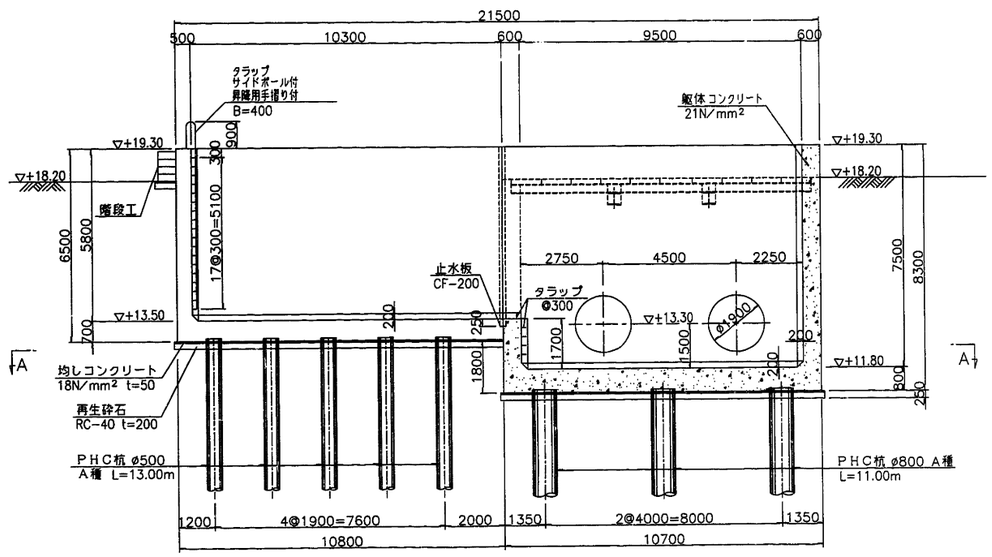
1 - 1



A - A



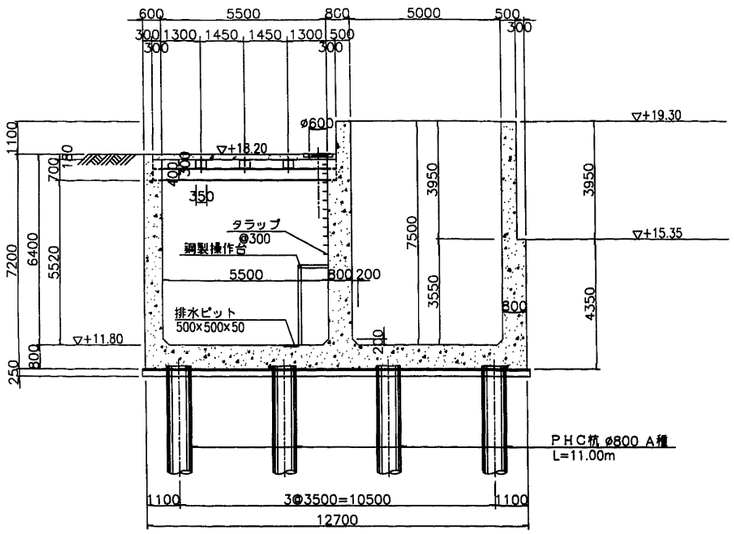
2 - 2



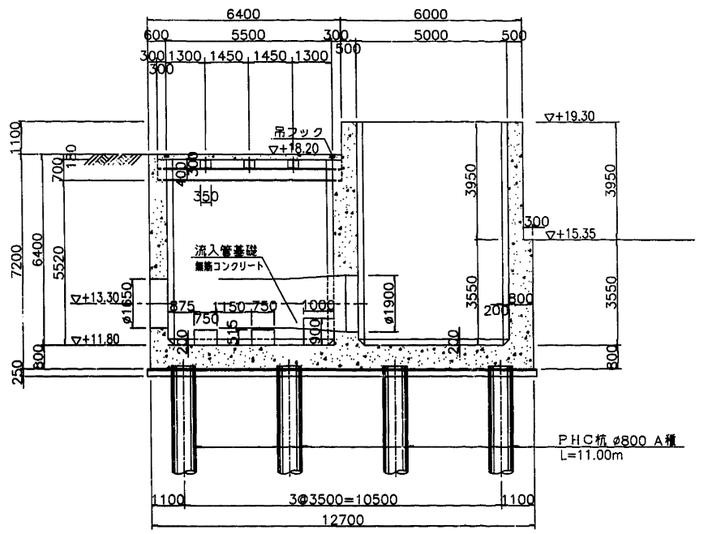
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	流入工構造図 (1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-8/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

流入工構造図 (2) S=1:100

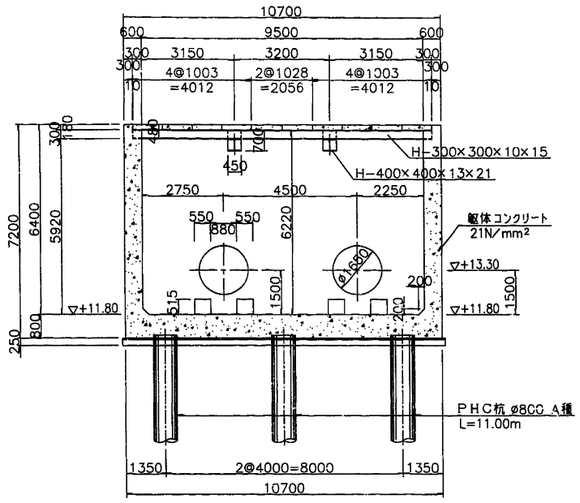
3 - 3



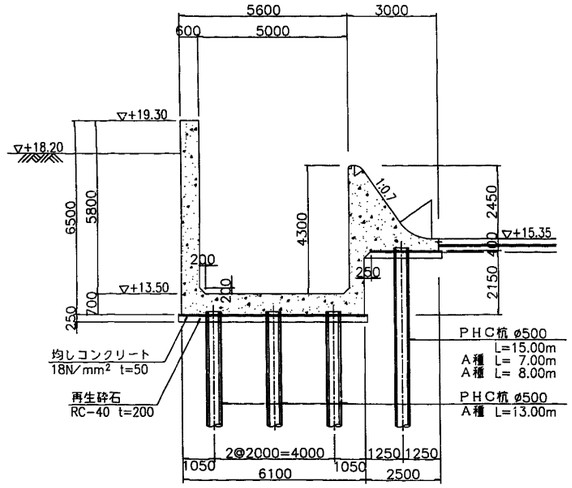
4 - 4



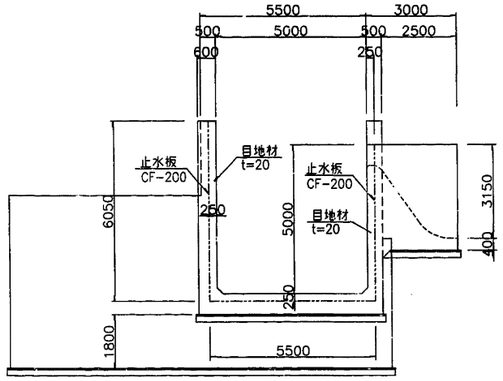
5 - 5



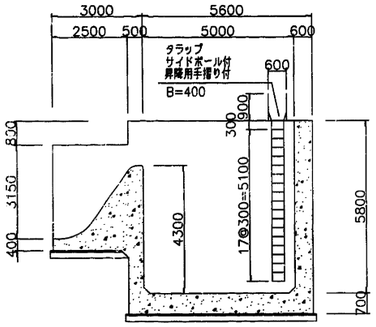
6 - 6



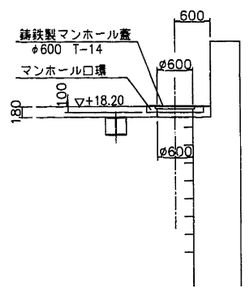
7 - 7



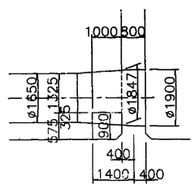
8 - 8



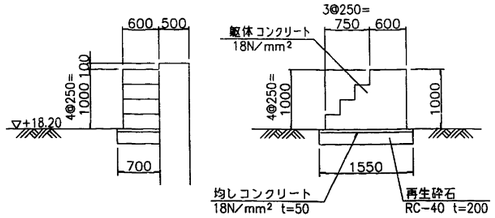
点検孔詳細図 S=1:50



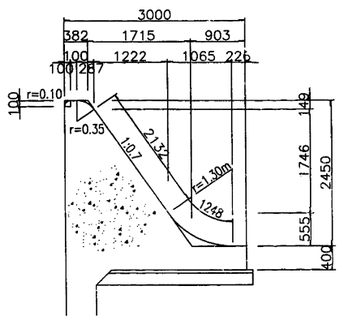
操作台吐出管部詳細図



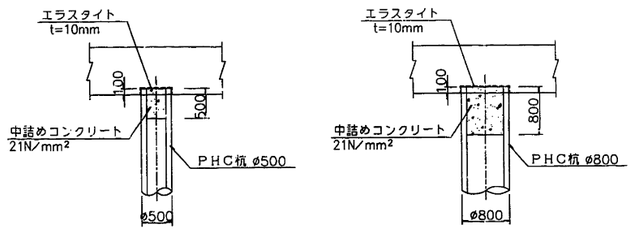
階段工詳細図 S=1:50



越流部詳細図 S=1:50



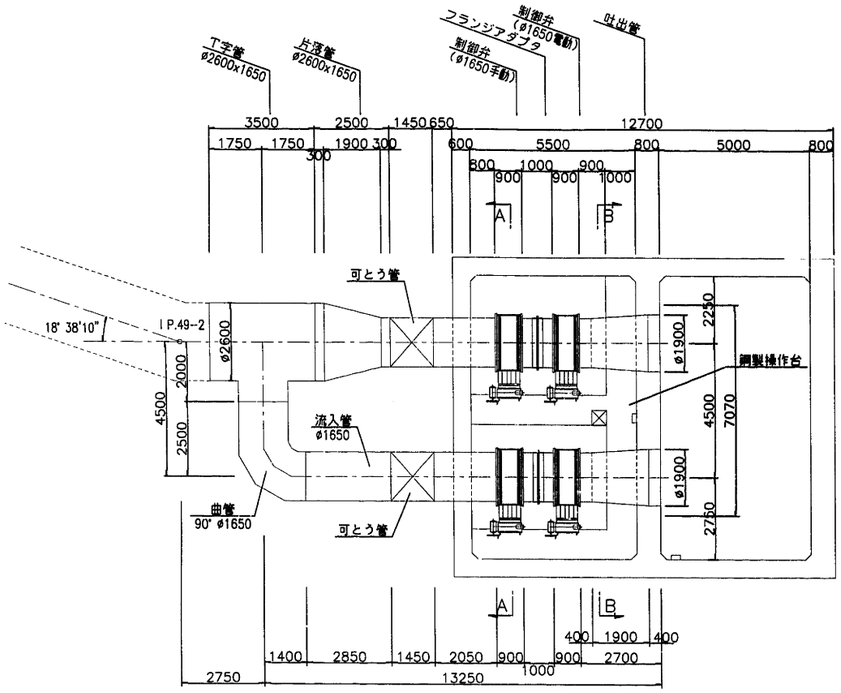
杭頭詳細図 S=1:50



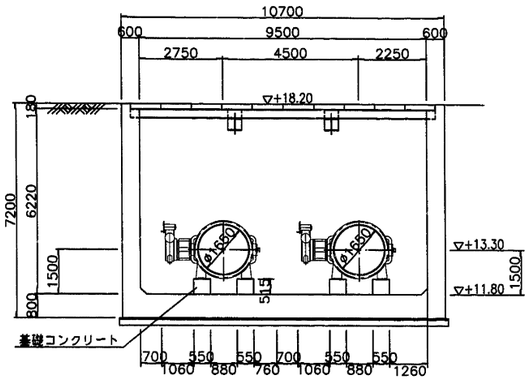
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	流入工構造図 (2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-9/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

流入工構造図 (3) S=1:100

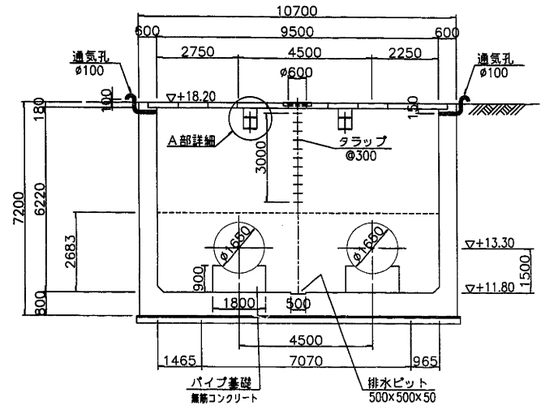
平面図



A－A



B－B



A部詳細図

S=1:10

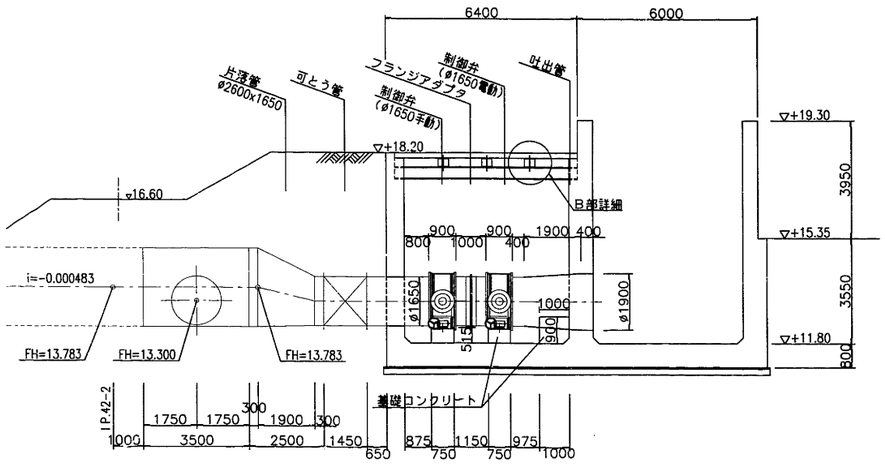
(参考図)

B部詳細図

S=1:10

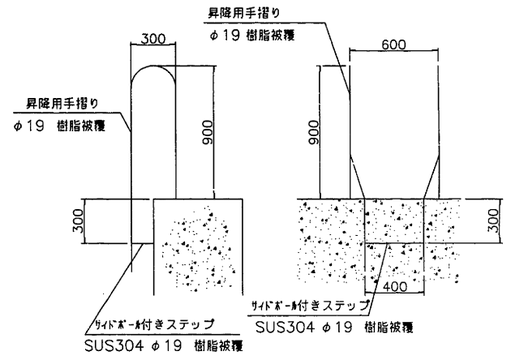
(参考図)

縦断面図



昇降用手摺り詳細図

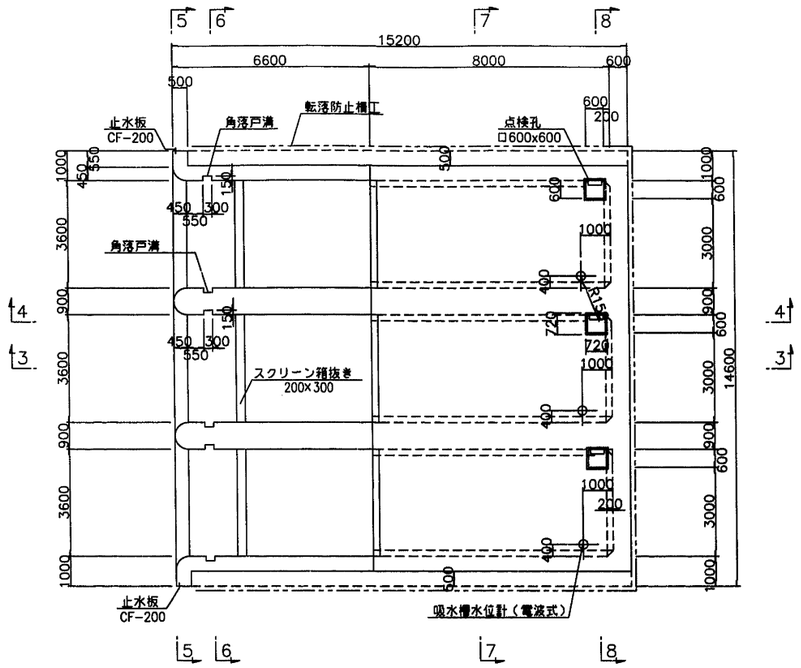
S=1:20



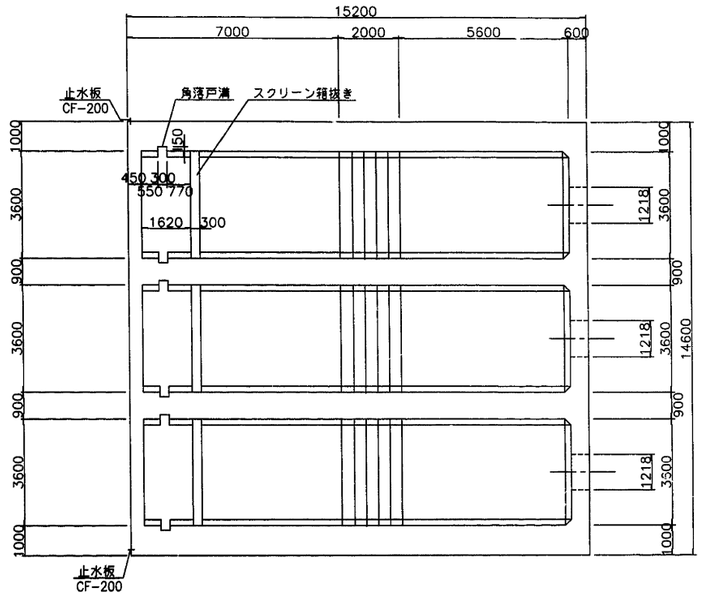
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	流入工構造図 (3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-10/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水槽工構造図 (1) S=1:100

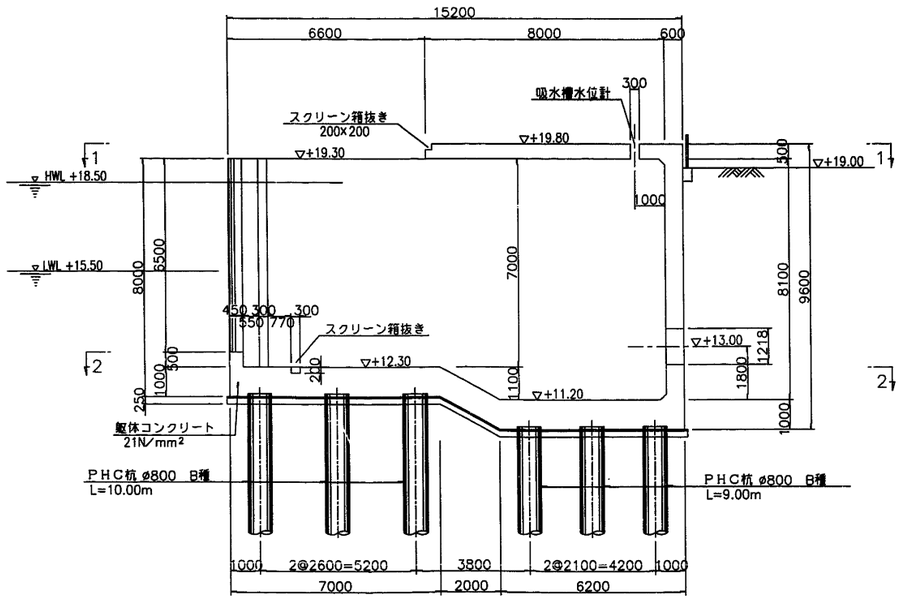
平面図 1 - 1



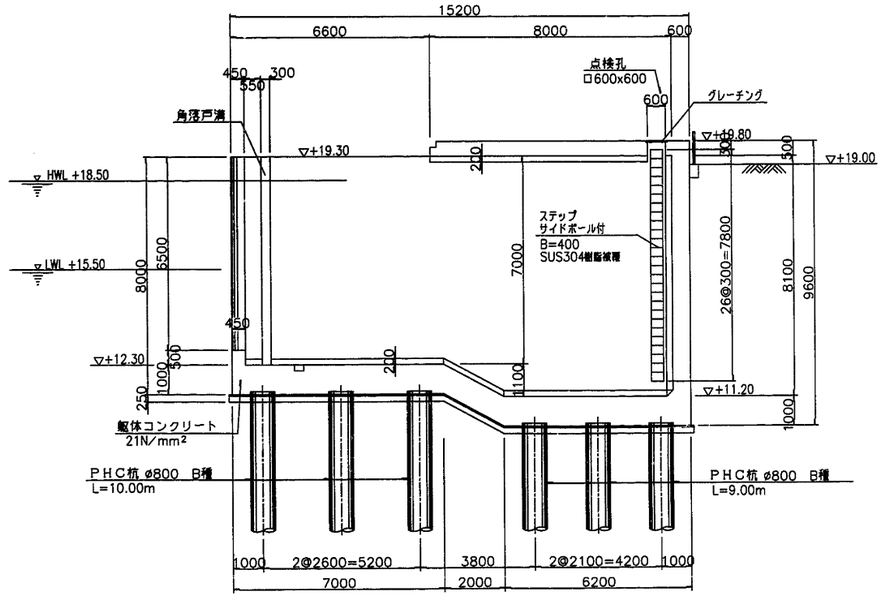
2 - 2



3 - 3



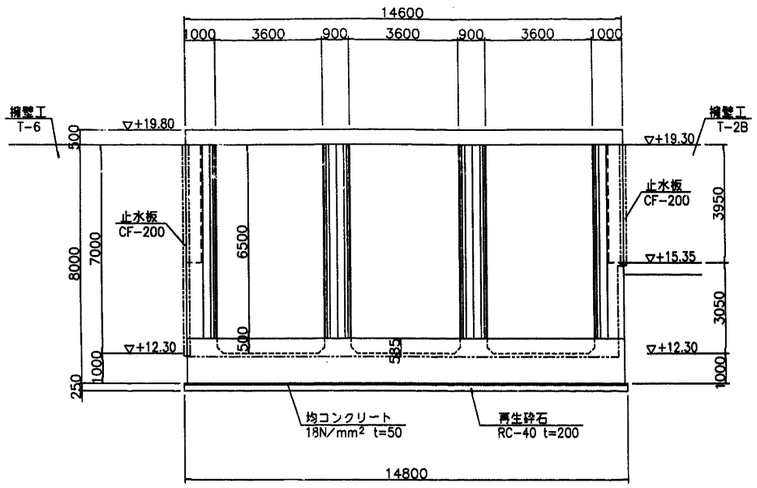
4 - 4



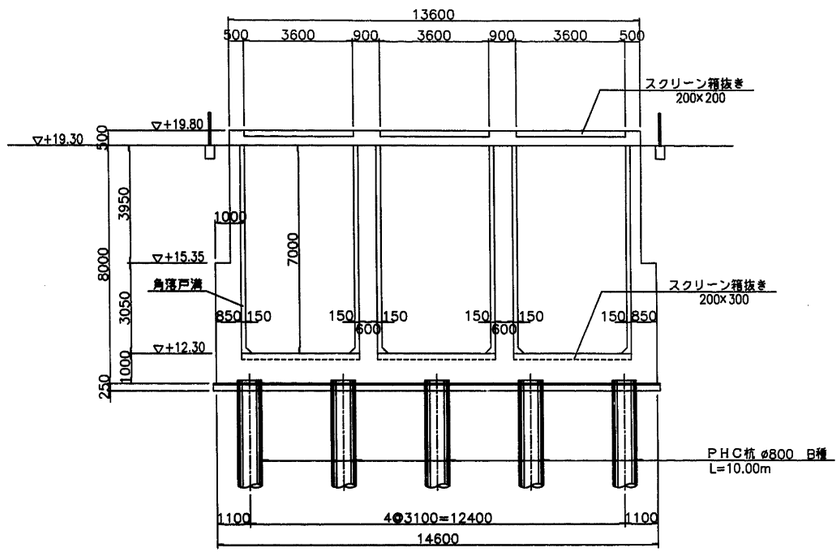
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水槽工構造図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-11/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水槽工構造図 (2) S=1:100

5 － 5

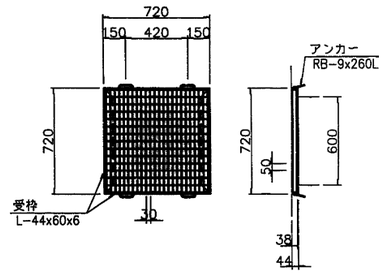


6 － 6

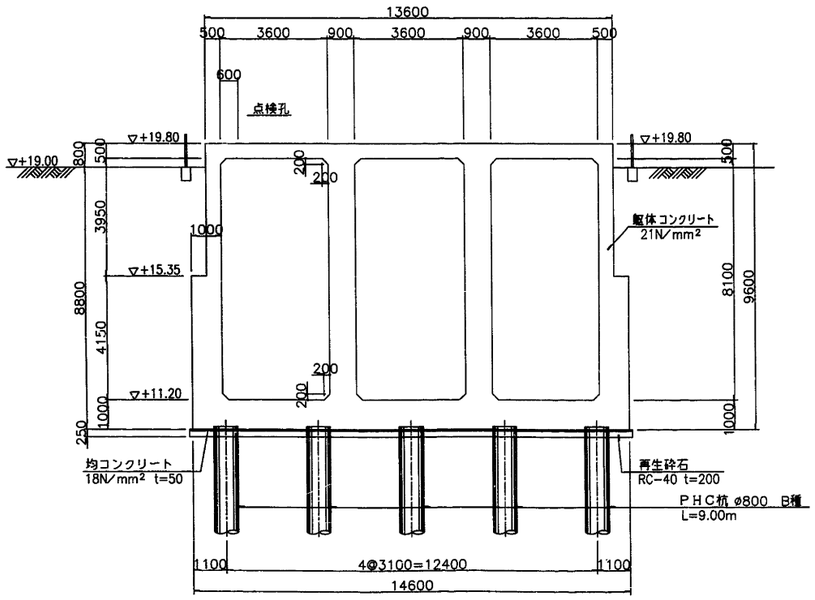


点検孔蓋詳細図

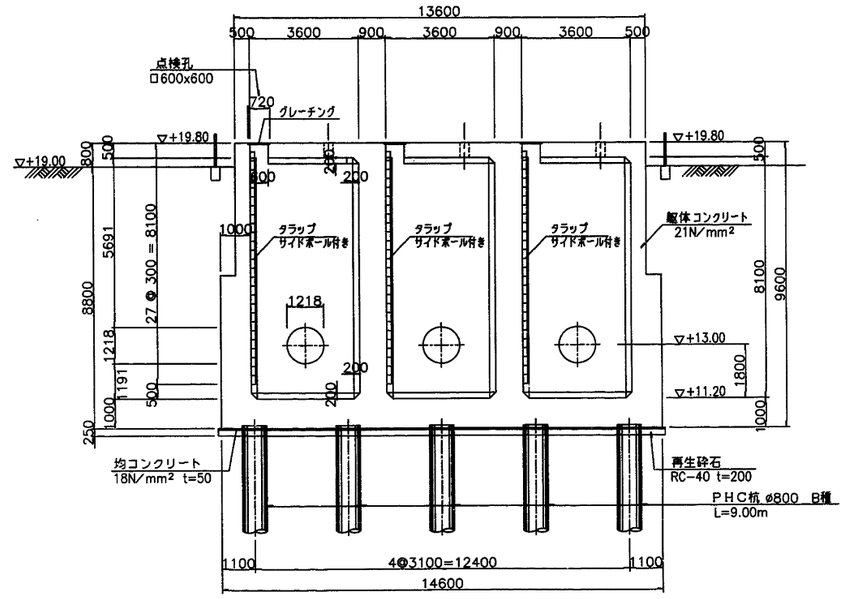
S=1:20



7 － 7

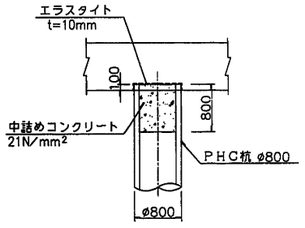


8 － 8



杭頭詳細図

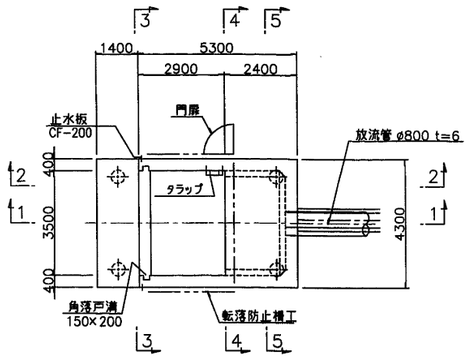
S=1:50



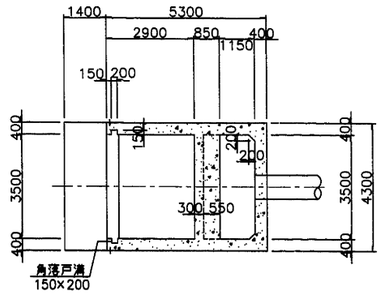
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	吸水槽工構造図 (2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-12/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

余水吐工構造図 S=1:100

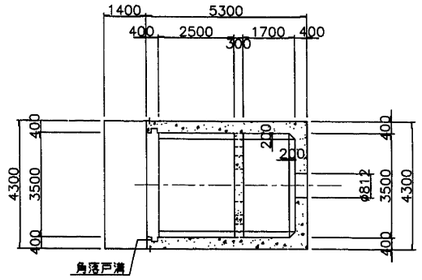
平面図



A－A

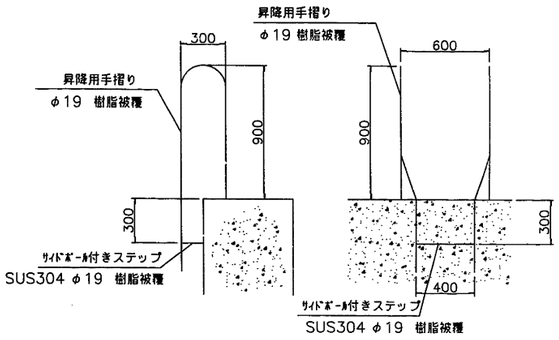


B－B

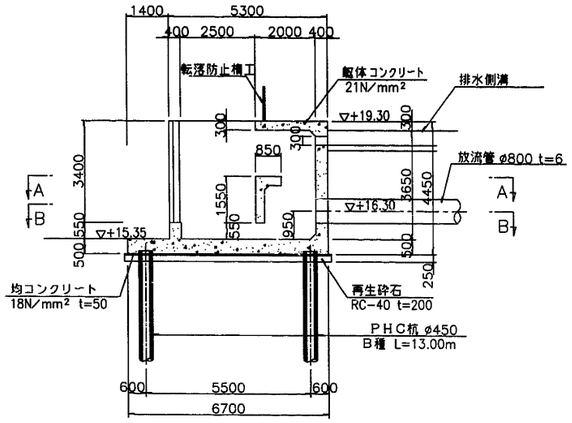


昇降用手摺り詳細図

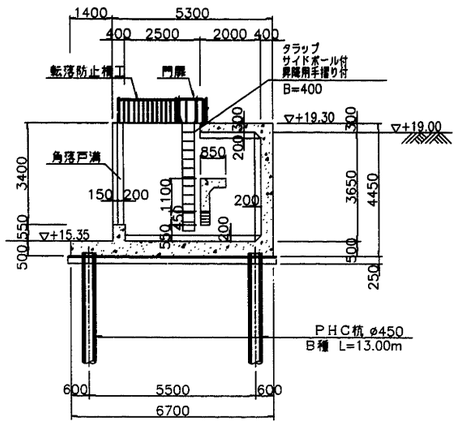
S=1:20



1－1

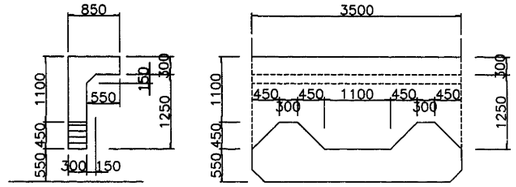


2－2

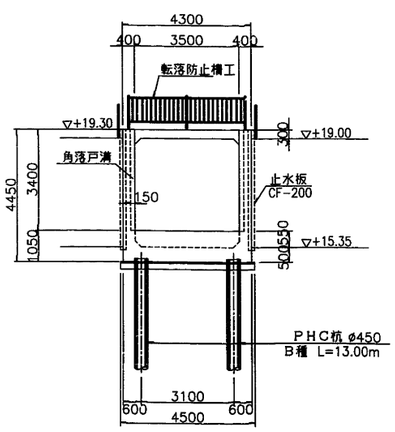


詳細図

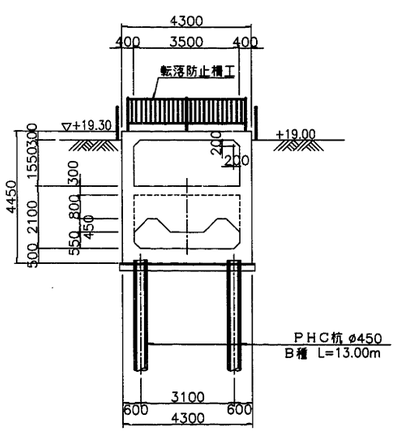
S=1:50



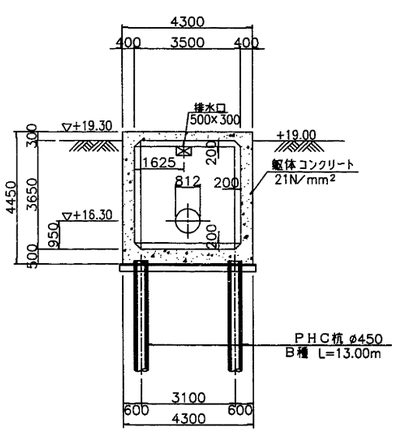
3－3



4－4

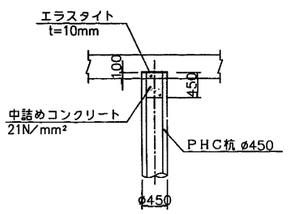


5－5



杭頭詳細図

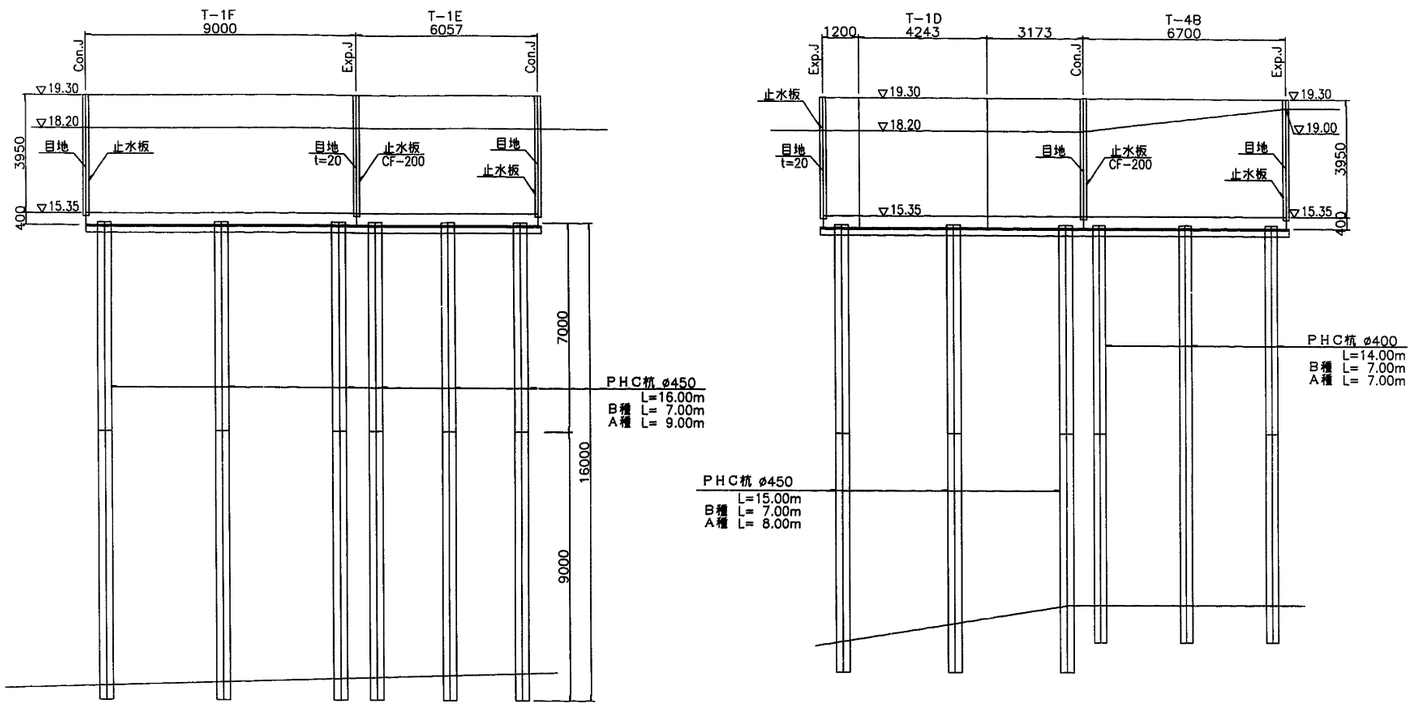
S=1:50



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	余水吐工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-13/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図（1） S=1:100

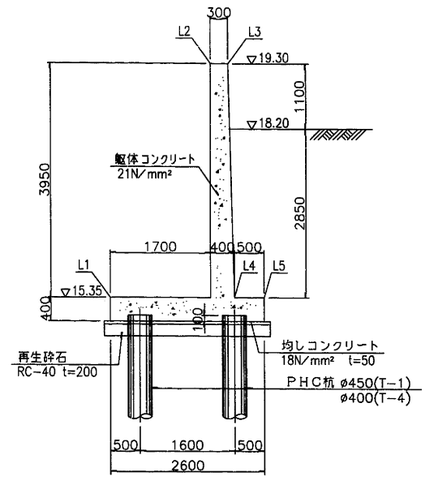
正面図



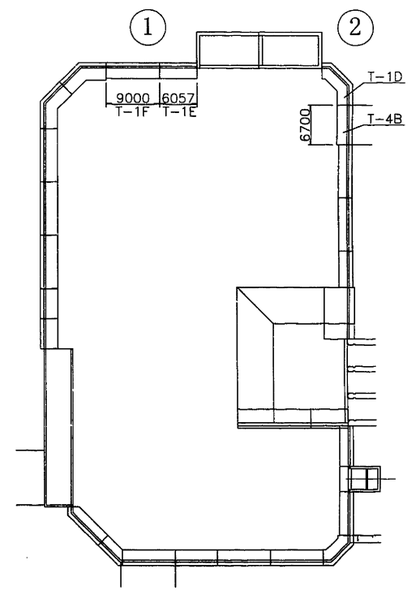
断面図

S=1:50

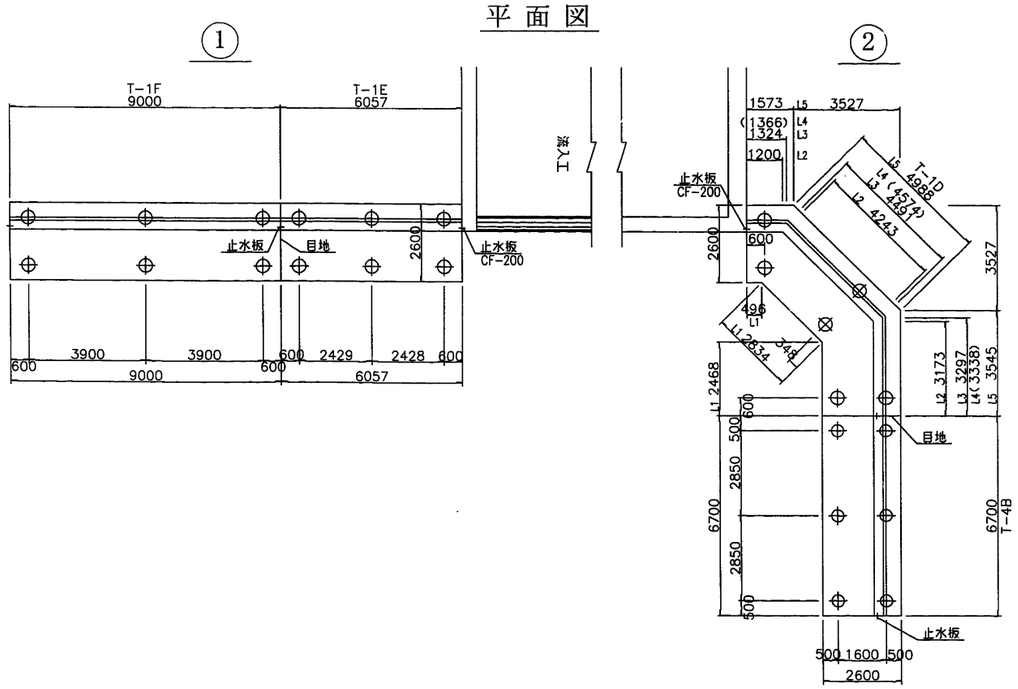
T-1, T-4



位置図



平面図

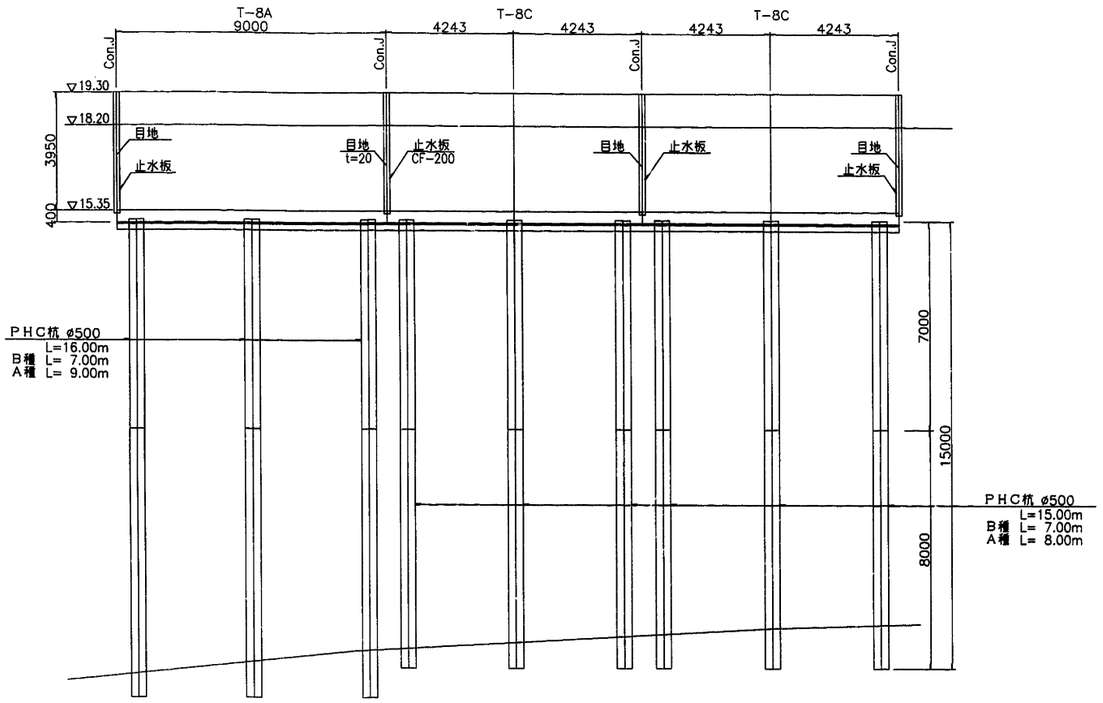


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-14/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図 (2)　S=1:100

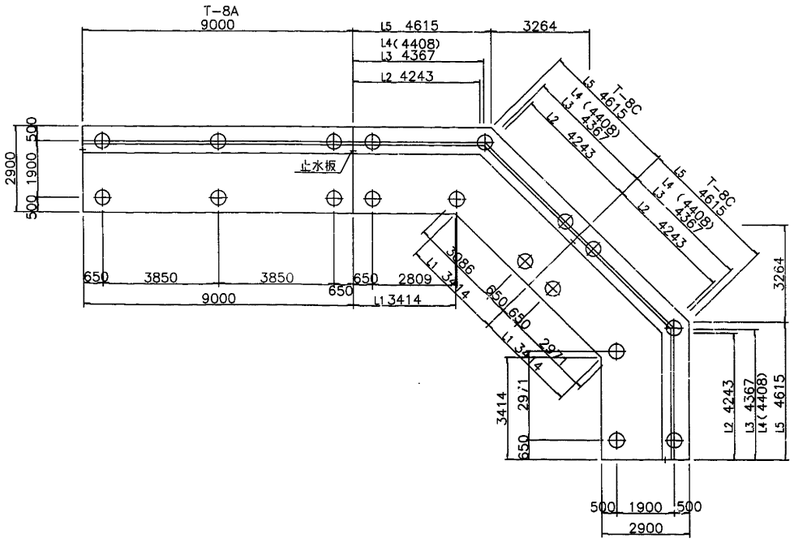
正面図

⑧



平面図

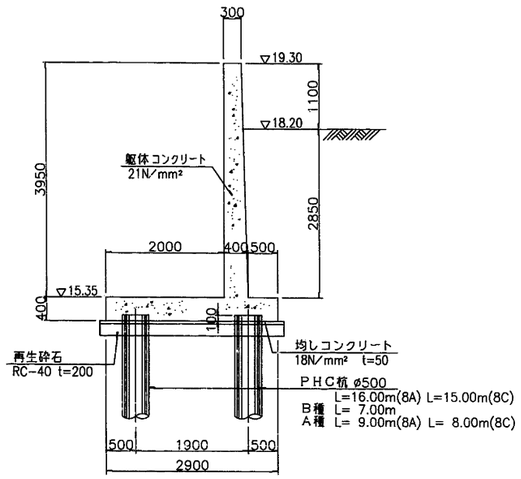
⑧



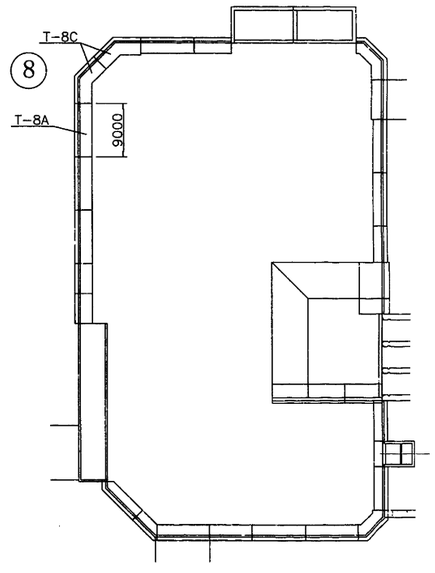
断面図

S=1:50

T-8



位置図

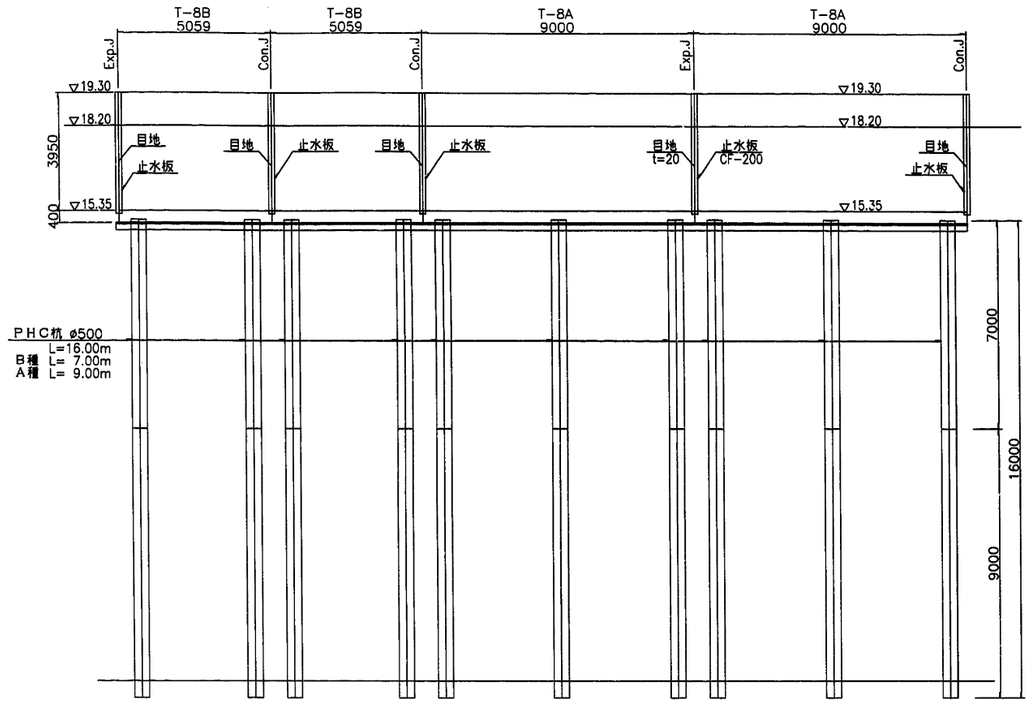


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図 (2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-15/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図 (3) S=1:100

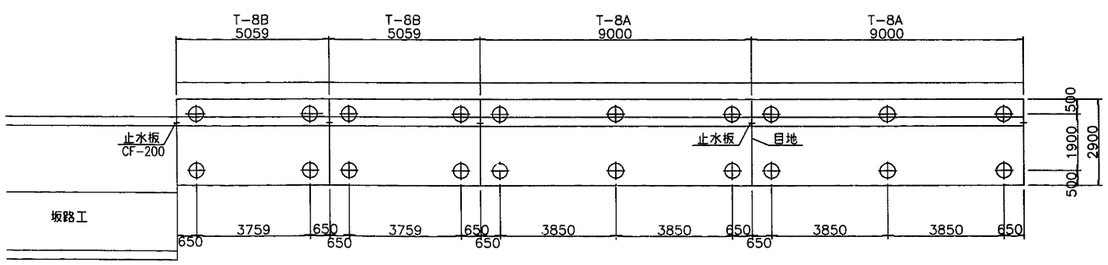
正面図

③



平面図

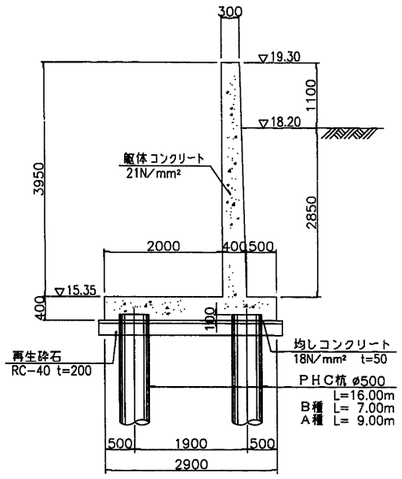
③



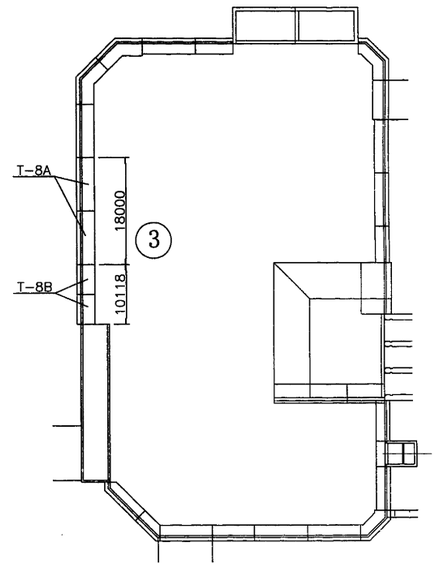
断面図

S=1:50

T-8



位置図

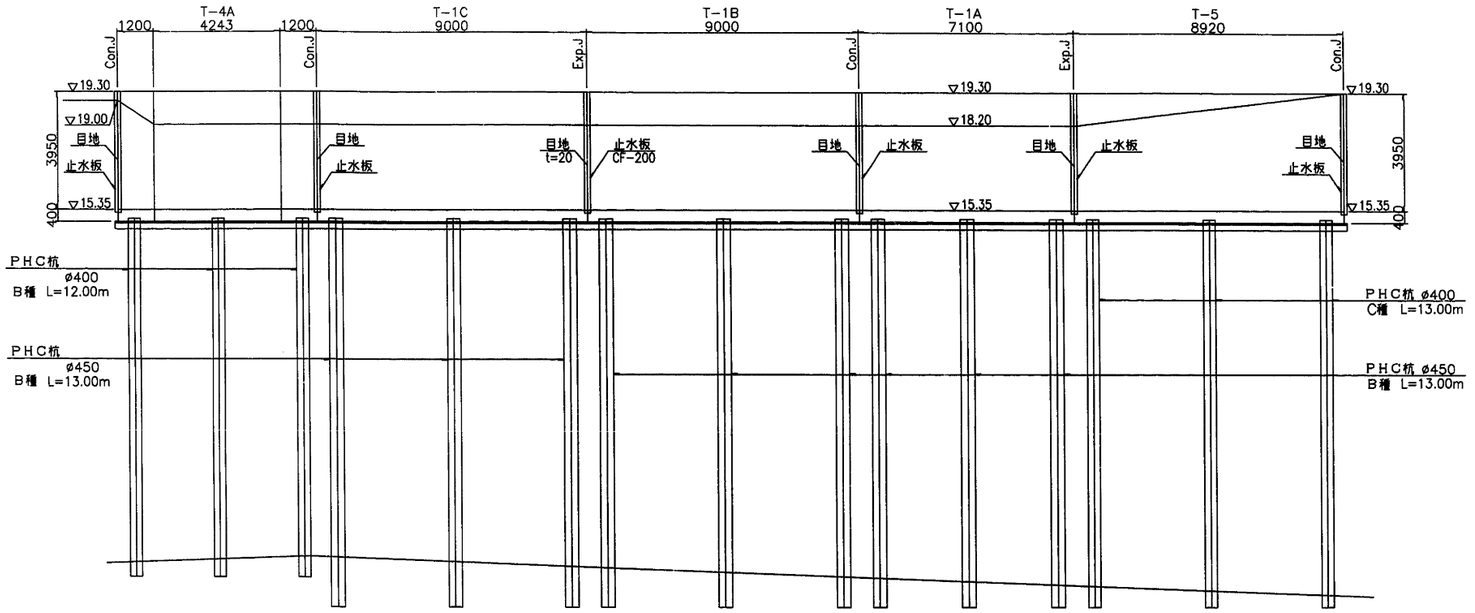


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-16/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図（4） S=1:100

正面図

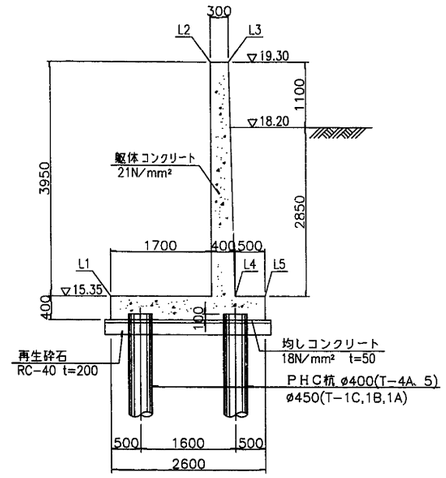
④



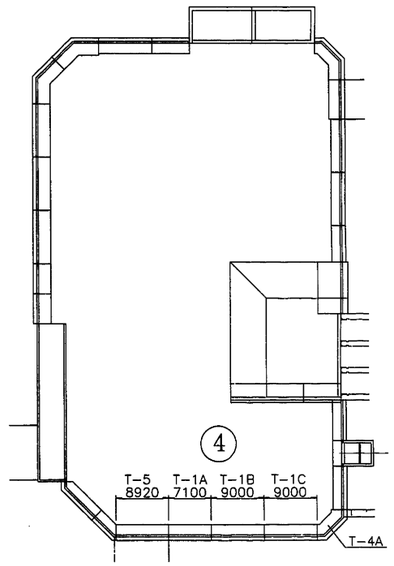
断面図

S=1:50

T-1, T-4, T-5

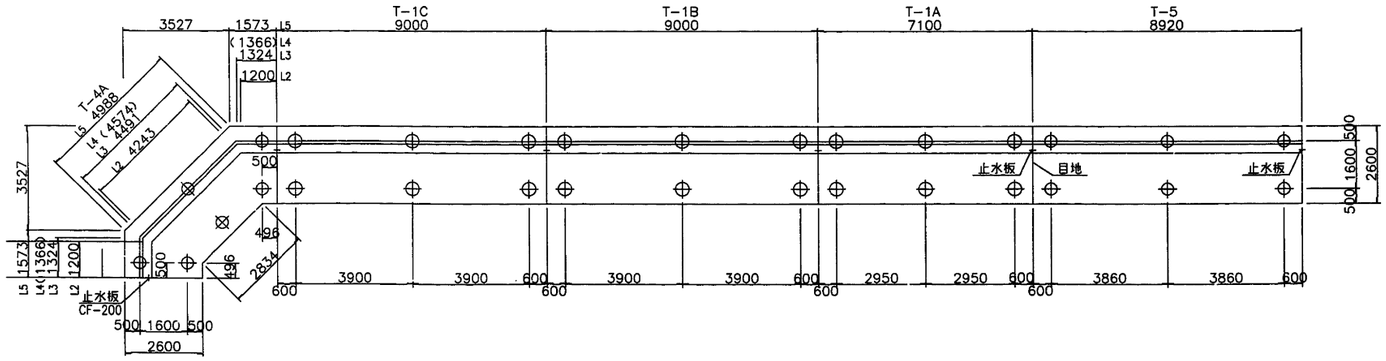


位置図



平面図

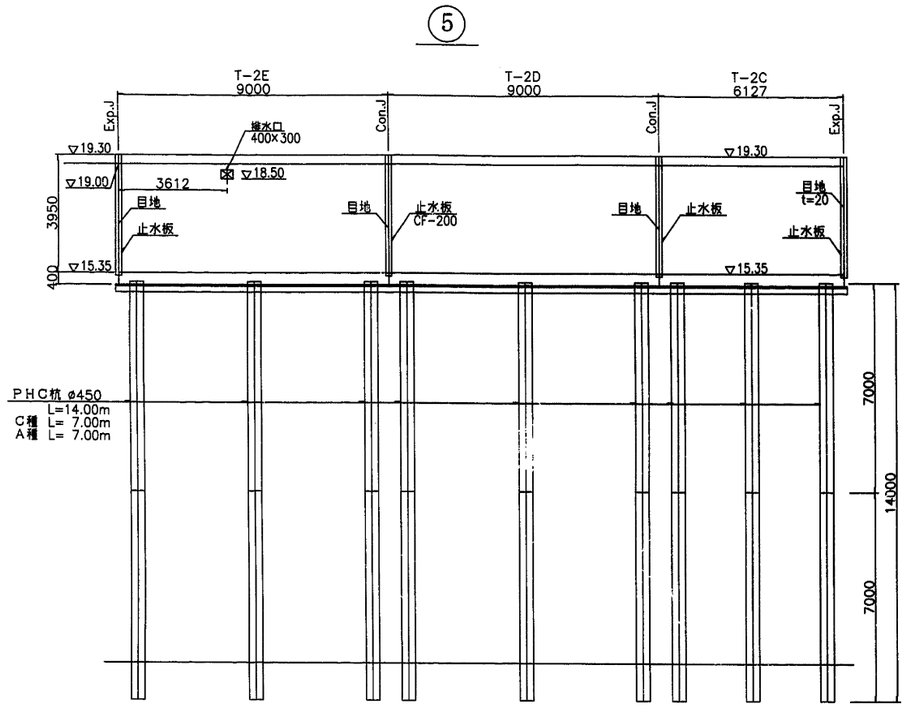
④

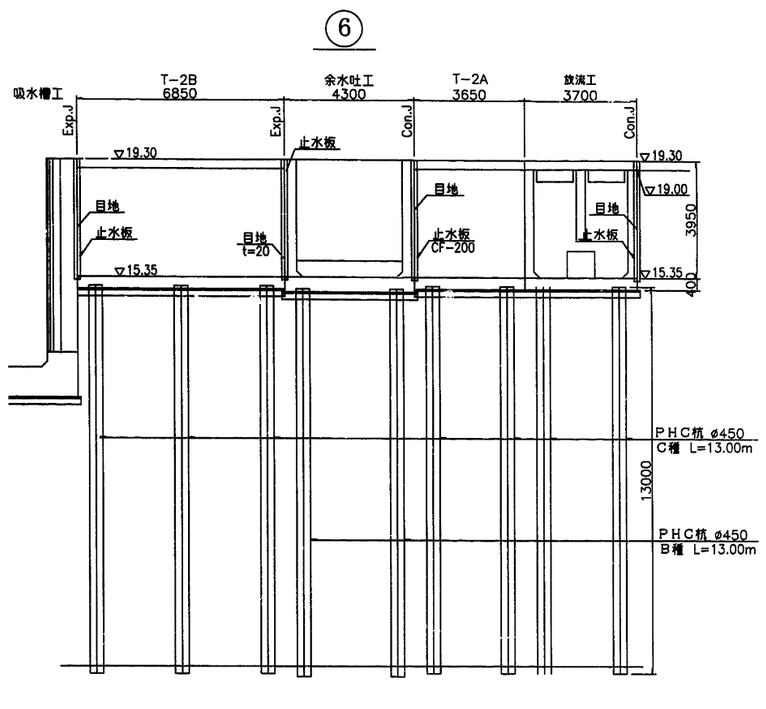


施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	吸水池擁壁工構造図（4）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-17/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図 (5) S=1:100

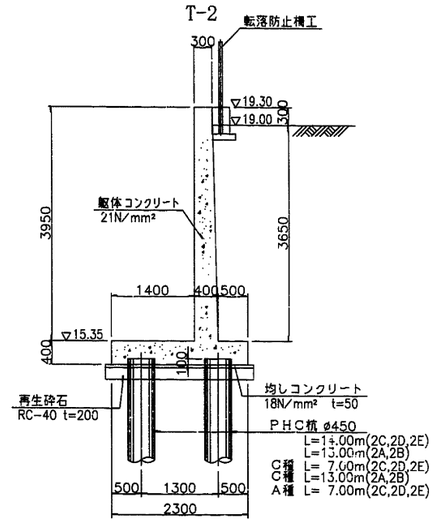
正面図



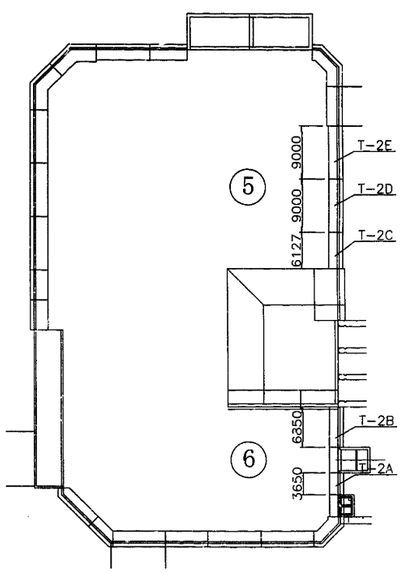


断面図

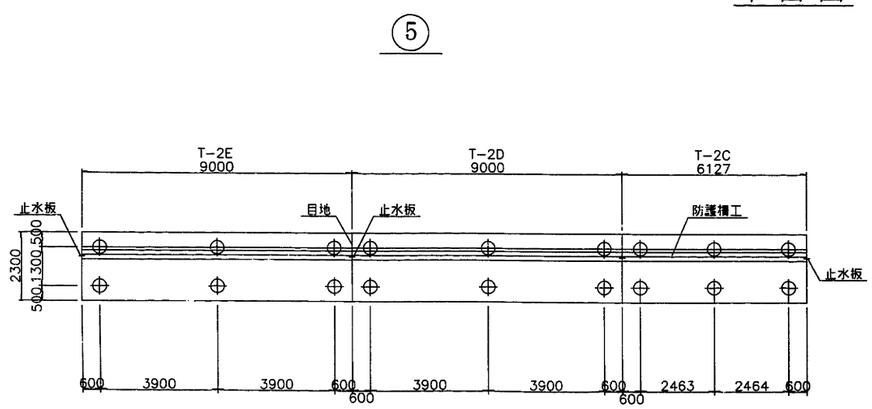
S=1:50

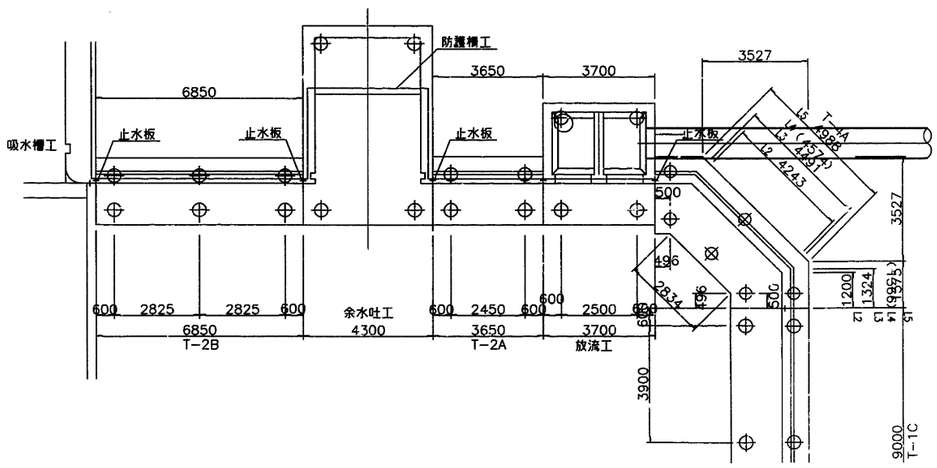


位置図



平面図



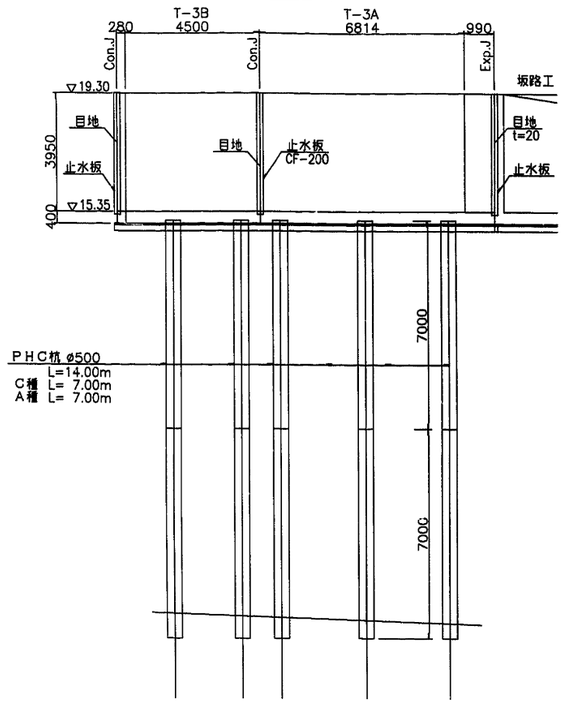


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図(5)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-18/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図（6） S=1:100

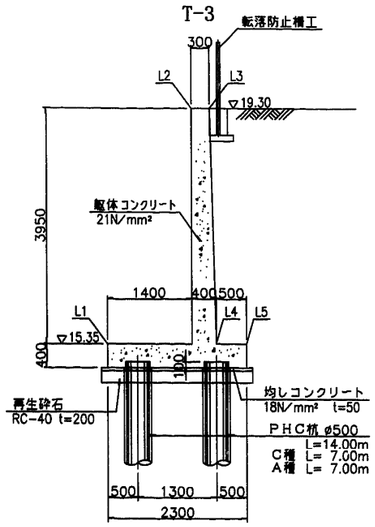
正面図

⑦



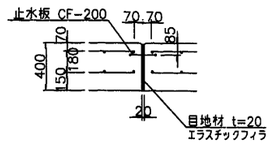
断面図

S=1:50



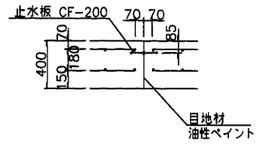
伸縮継目詳細図

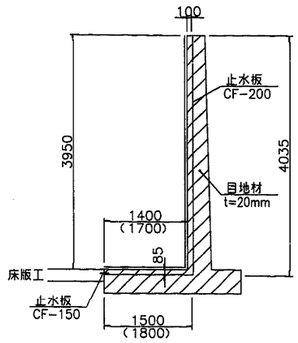
Exp.J S=1:25



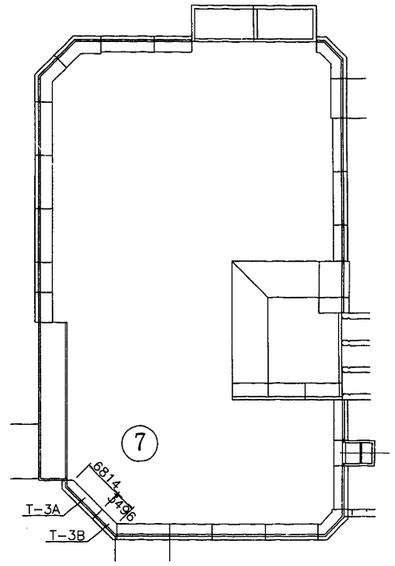
収縮継目詳細図

Con.J S=1:25



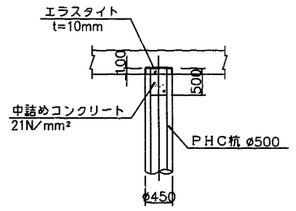


位置図



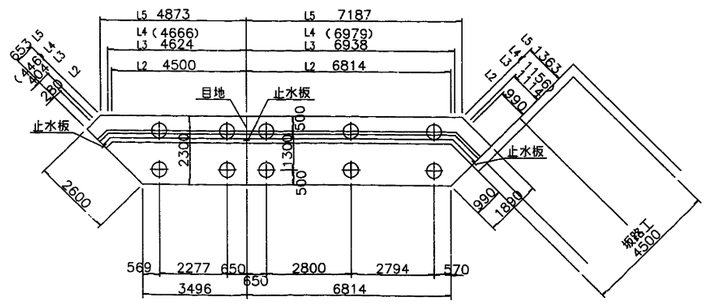
杭頭詳細図

S=1:50



平面図

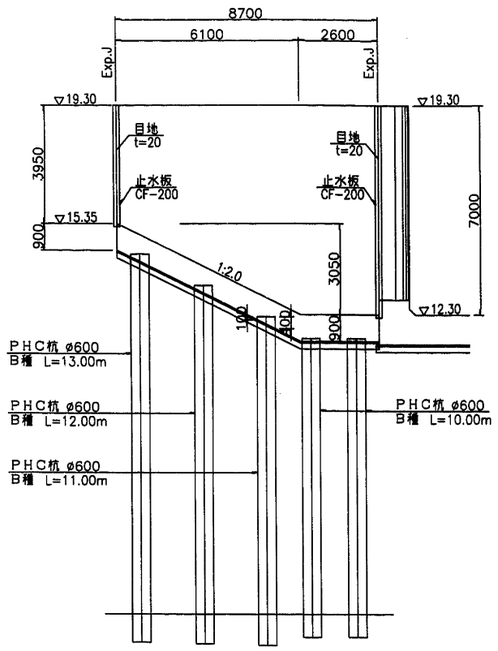
⑦



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図(6)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-19/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吸水池擁壁工構造図（7） S=1:100

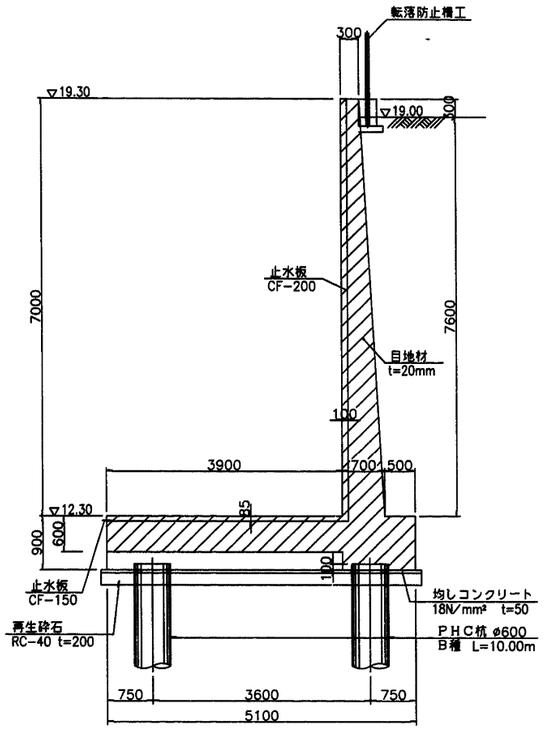
正面図



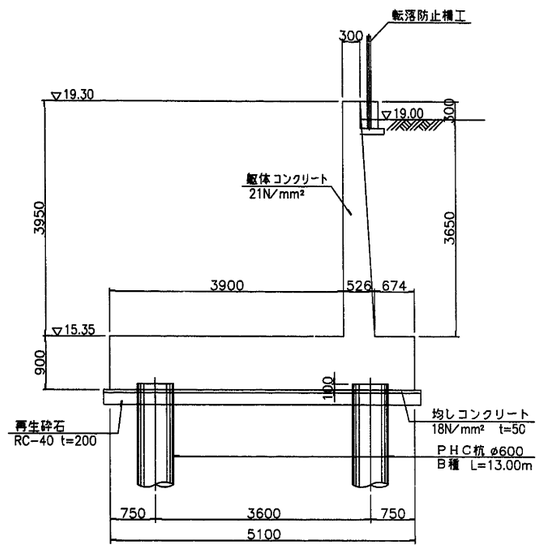
断面図

S=1:50

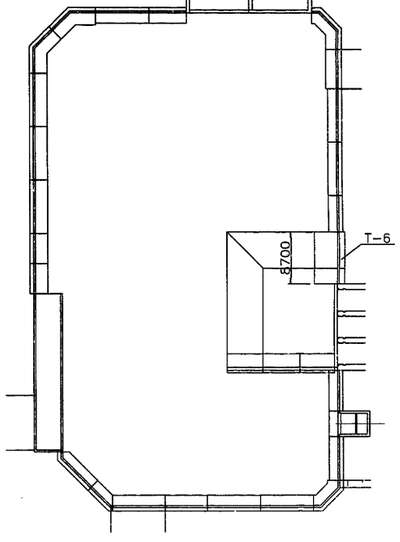
1 － 1



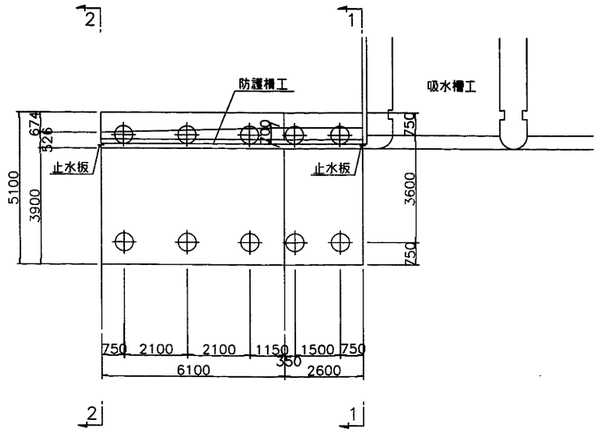
2 － 2



位置図



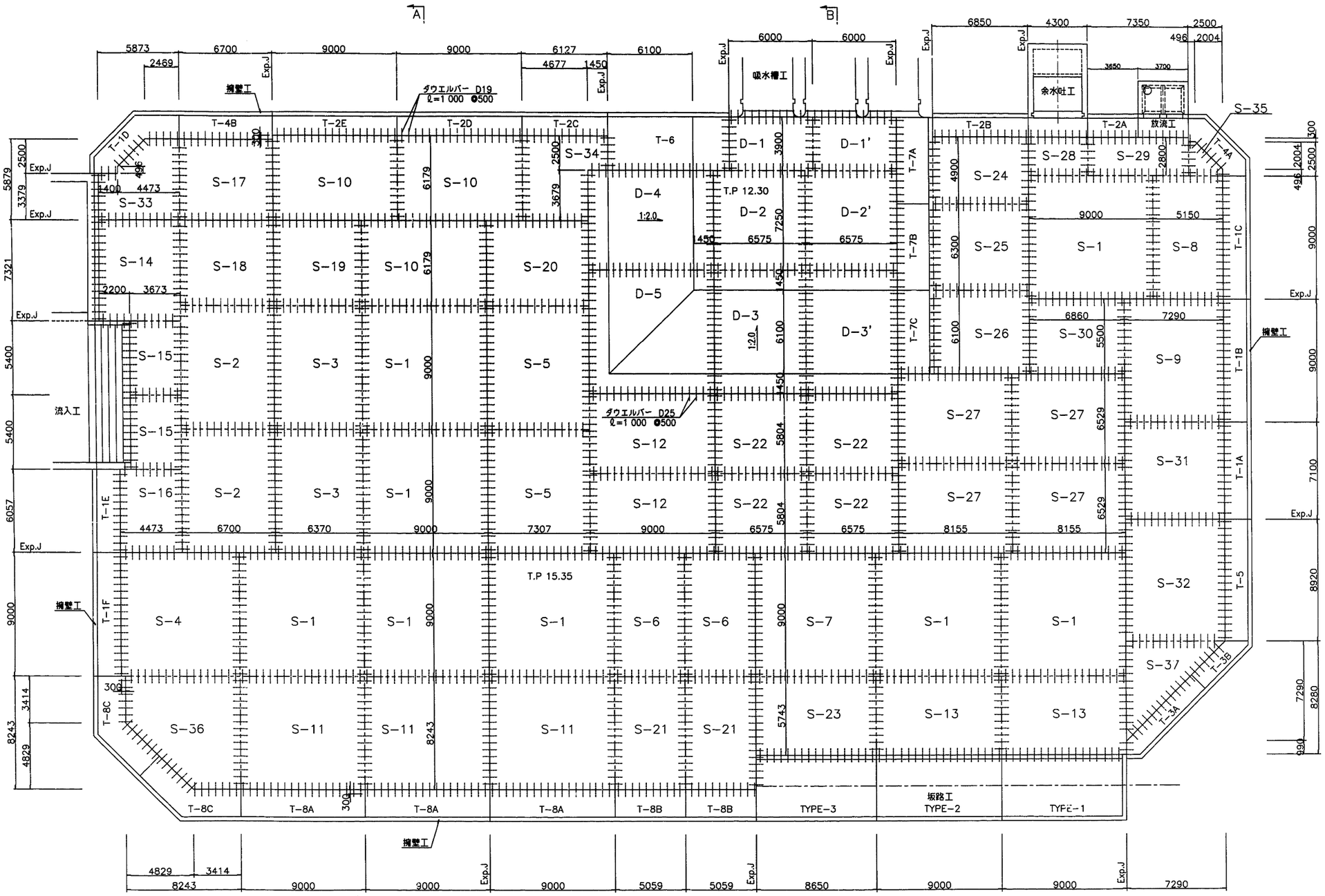
平面図



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池擁壁工構造図(7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-20/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

床版工構造図（1）　S=1:150

平 面 図



凡 例

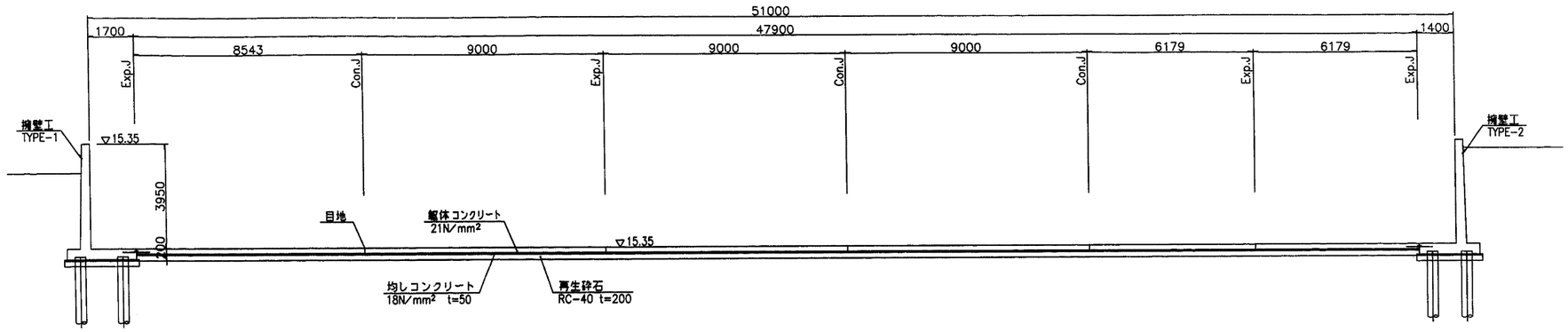
伸縮継目（Exp.J）

収縮継目（Con.J）

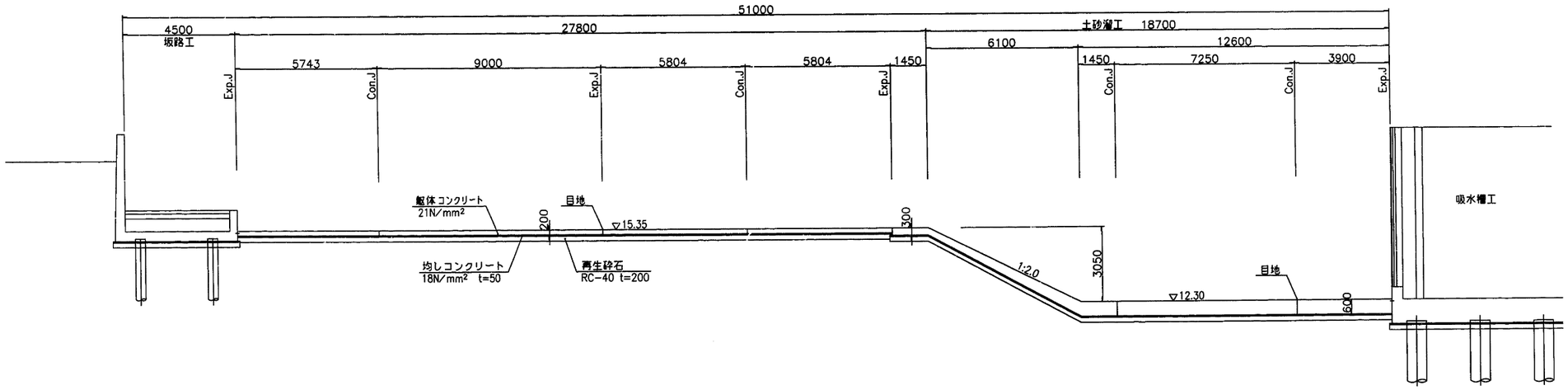
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	床版工構造図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-21/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

床版工構造図 (2) S=1:100

A-A 断面図

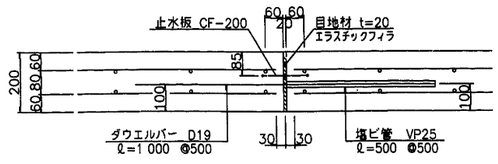


B-B 断面図



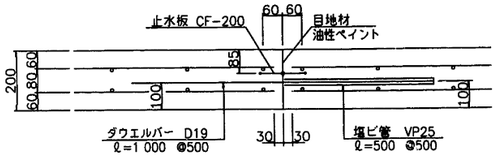
伸縮継目詳細図

Exp.J S=1:20



収縮継目詳細図

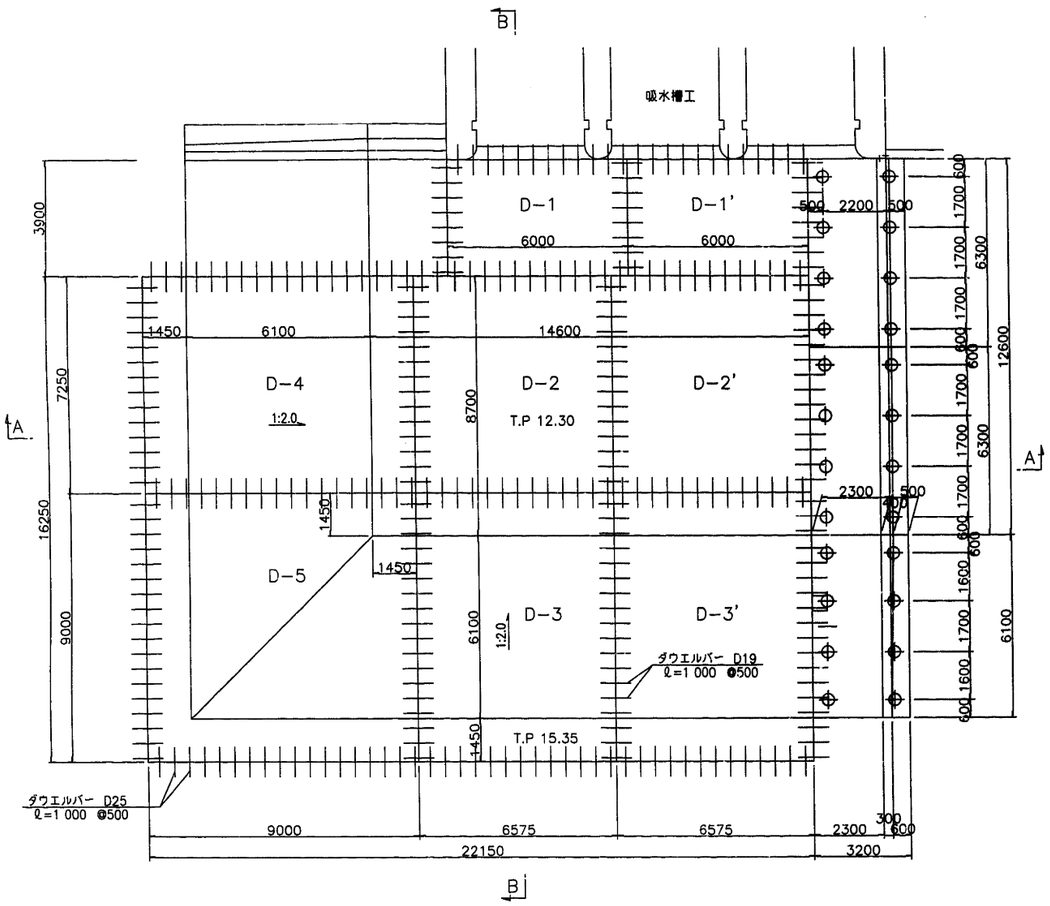
Con.J S=1:20



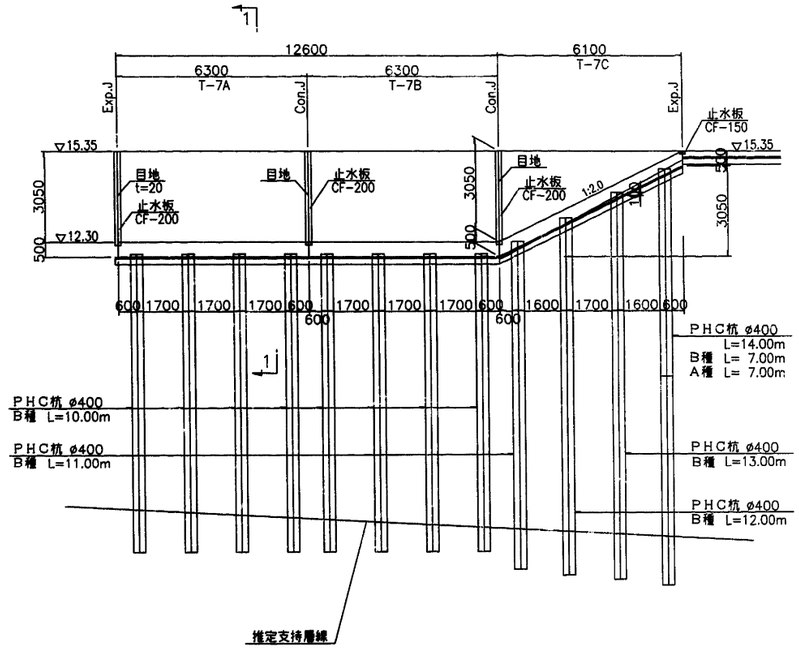
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	床版工構造図 (2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-22/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

吸水池床版工構造図（3） S=1:100

土砂溜工平面図



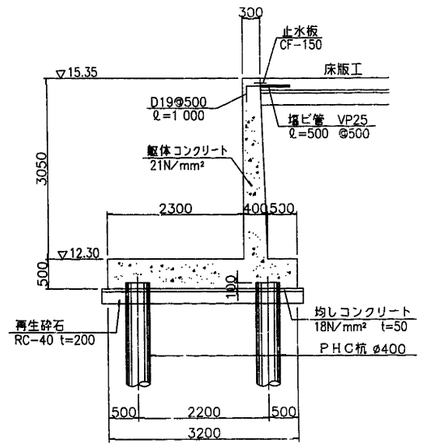
擁壁工正面図

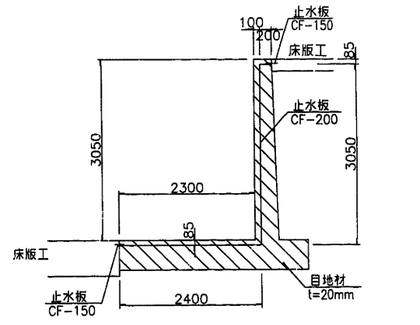


断 面 図

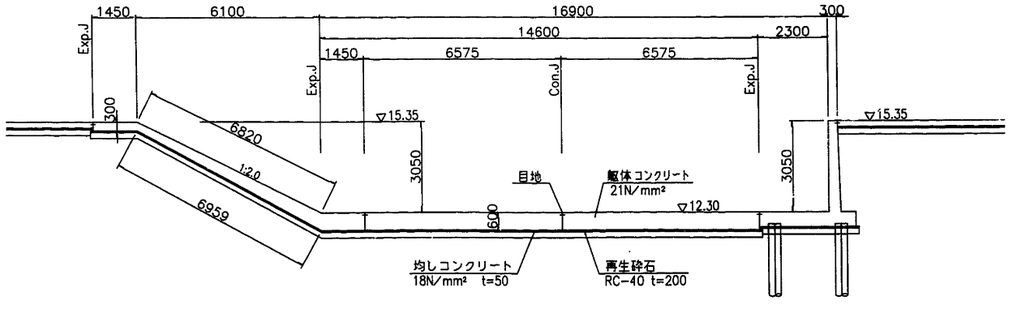
S=1:50

1 － 1

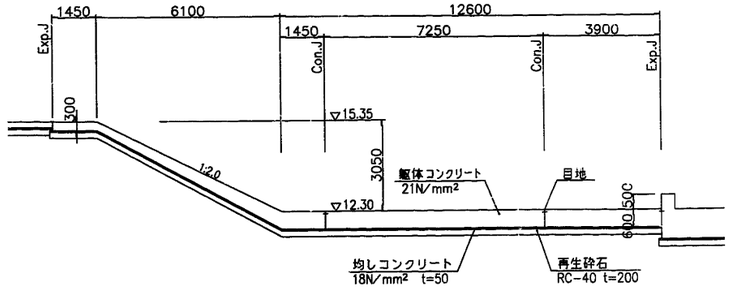




A － A

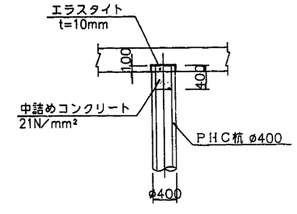


B － B



杭頭詳細図

S=1:50



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	床版工構造図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-23/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

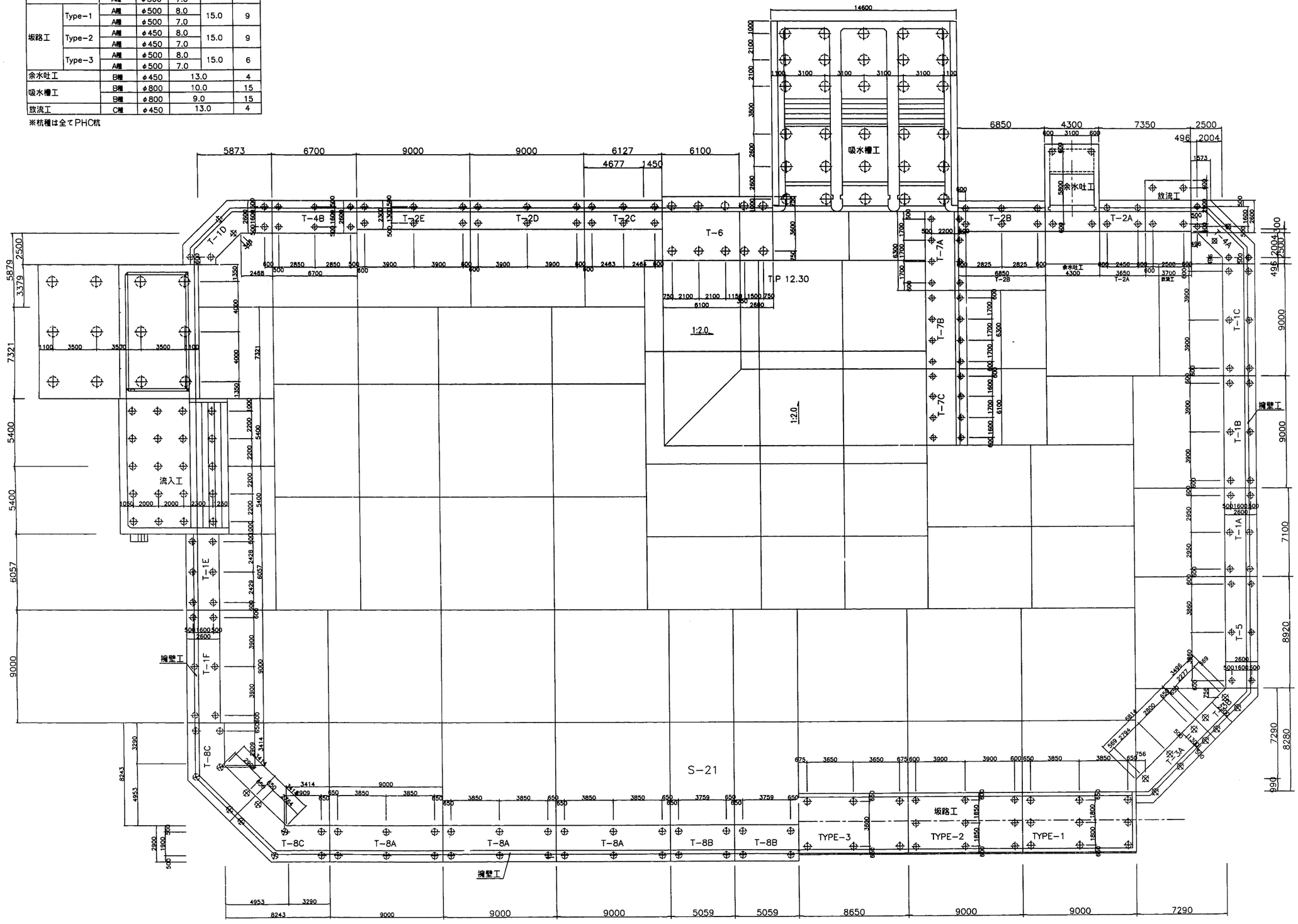
吸水池工杭伏せ図　S=1:150

平面図

凡　例

位置		種類	杭径	長さ(m)		本数
流入工		A種	φ500	13.0		15
		A種	φ800	11.0		12
		A種	φ500	8.0	15.0	5
		A種	φ500	7.0		
坂路工	Type−1	A種	φ500	8.0	15.0	9
		A種	φ500	7.0		
	Type−2	A種	φ450	8.0	15.0	9
		A種	φ450	7.0		
	Type−3	A種	φ500	8.0	15.0	6
		A種	φ500	7.0		
余水吐工		B種	φ450	13.0		4
吸水槽工		B種	φ800	10.0		15
		B種	φ800	9.0		15
放流工		C種	φ450	13.0		4

※杭種は全てPHC杭



凡　例

擁壁工

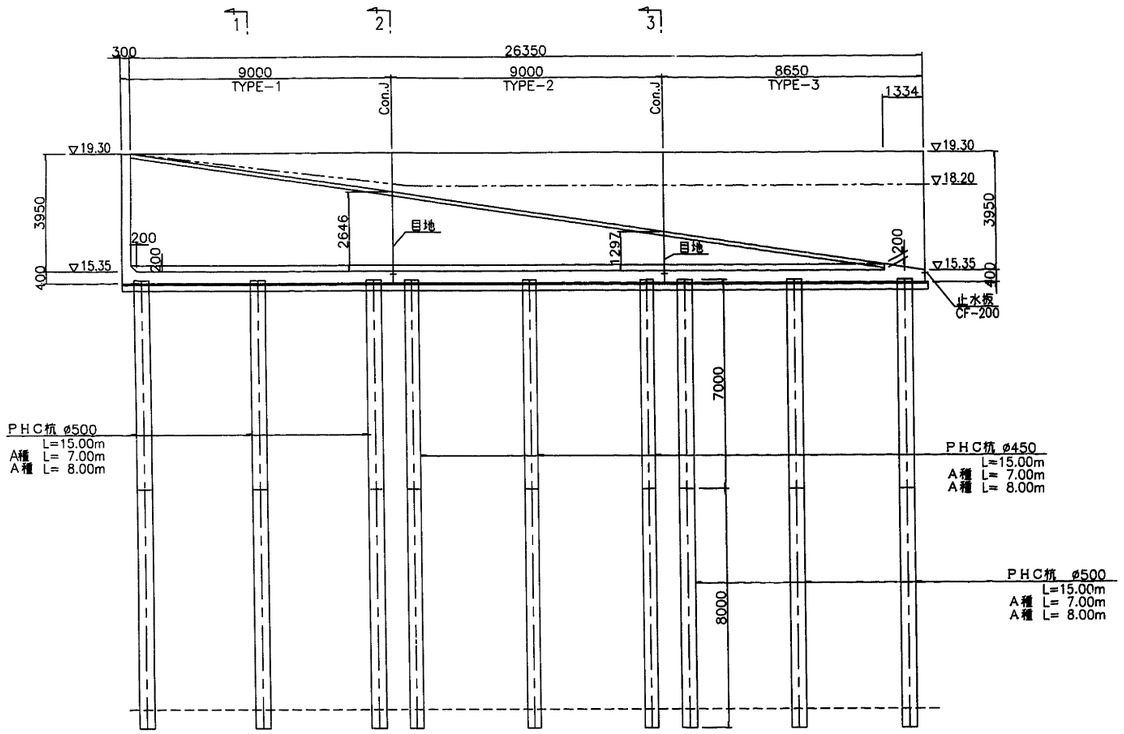
位置	種類	杭径	長さ(m)		本数
T−1A	B種	φ450	13.0		6
T−1B	B種	φ450	13.0		6
T−1C	B種	φ450	13.0		6
T−1D	A種	φ450	8.0	15.0	6
	B種	φ450	7.0		
T−1E	A種	φ450	9.0	16.0	6
	B種	φ450	7.0		
T−1F	A種	φ450	9.0	16.0	6
	B種	φ450	7.0		
T−2A	C種	φ450	13.0		4
T−2B	C種	φ450	13.0		6
T−2C	A種	φ450	7.0	14.0	6
	C種	φ450	7.0		
T−2D	A種	φ450	7.0	14.0	6
	C種	φ450	7.0		
T−2E	A種	φ450	7.0	14.0	6
	C種	φ450	7.0		
T−3A	A種	φ500	7.0	14.0	6
	C種	φ500	7.0		
T−3B	A種	φ500	7.0	14.0	4
	C種	φ500	7.0		
T−4A	B種	φ400	12.0		6
T−4B	A種	φ400	7.0	14.0	6
	B種	φ400	7.0		
T−5	C種	φ400	13.0		6
T−6	B種	φ600	10.0		4
	B種	φ600	11.0		2
	B種	φ600	12.0		2
	B種	φ600	13.0		2
T−7A	B種	φ400	10.0		8
T−7B	B種	φ400	10.0		8
T−7C	A種	φ400	7.0	14.0	2
	B種	φ400	7.0		
	B種	φ400	13.0		2
	B種	φ400	12.0		2
	B種	φ400	11.0		2
T−8A	A種	φ500	9.0	16.0	18
	B種	φ500	7.0		
T−8B	A種	φ500	9.0	16.0	8
	B種	φ500	7.0		
T−8C	A種	φ500	8.0	15.0	12
	B種	φ500	7.0		

※杭種は全てPHC杭

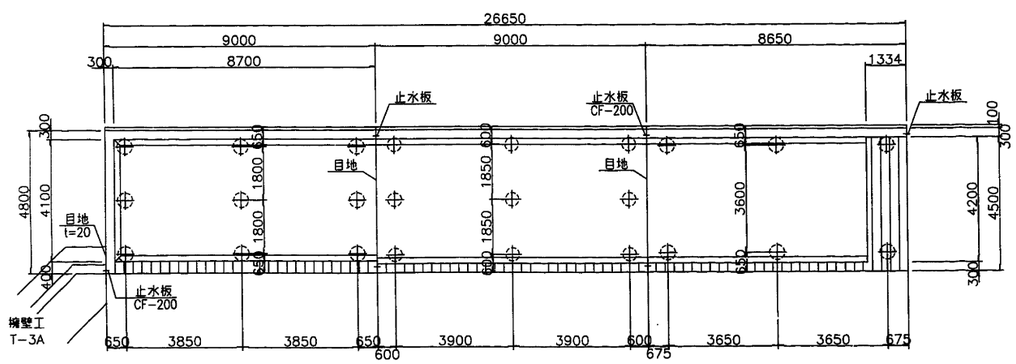
施設名	第3揚水機場(0312100−1100−21)
図面名	吸水池工杭伏せ図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6−24/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

吸水池坂路構造図　S=1:100

縦断面図

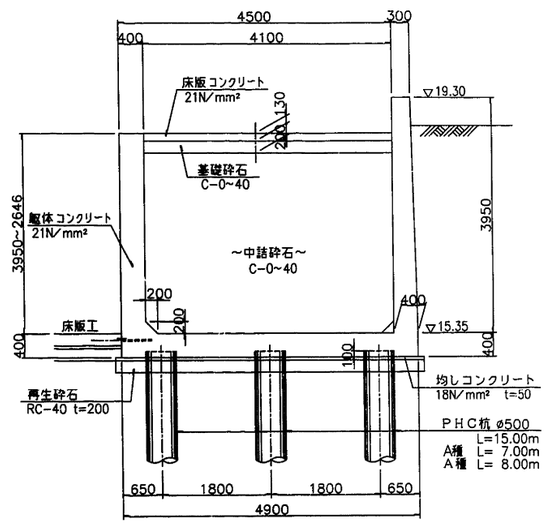


平面図

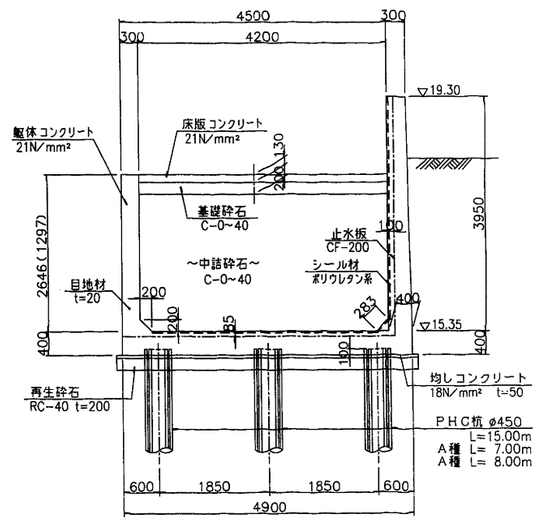


断面図　S=1:50

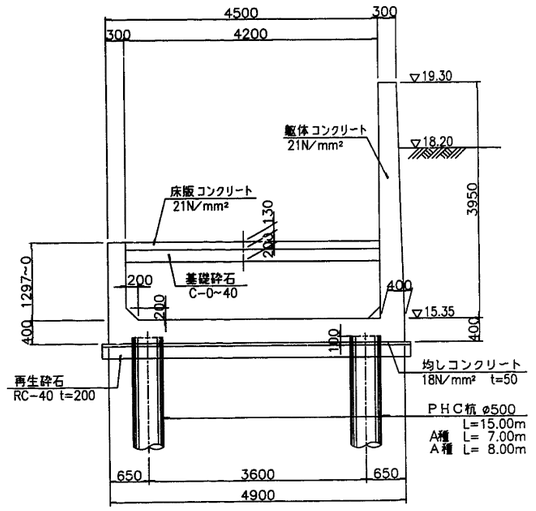
1 - 1
TYPE-1



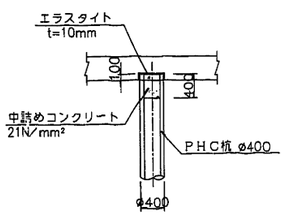
2 - 2
TYPE-2



3 - 3
TYPE-3



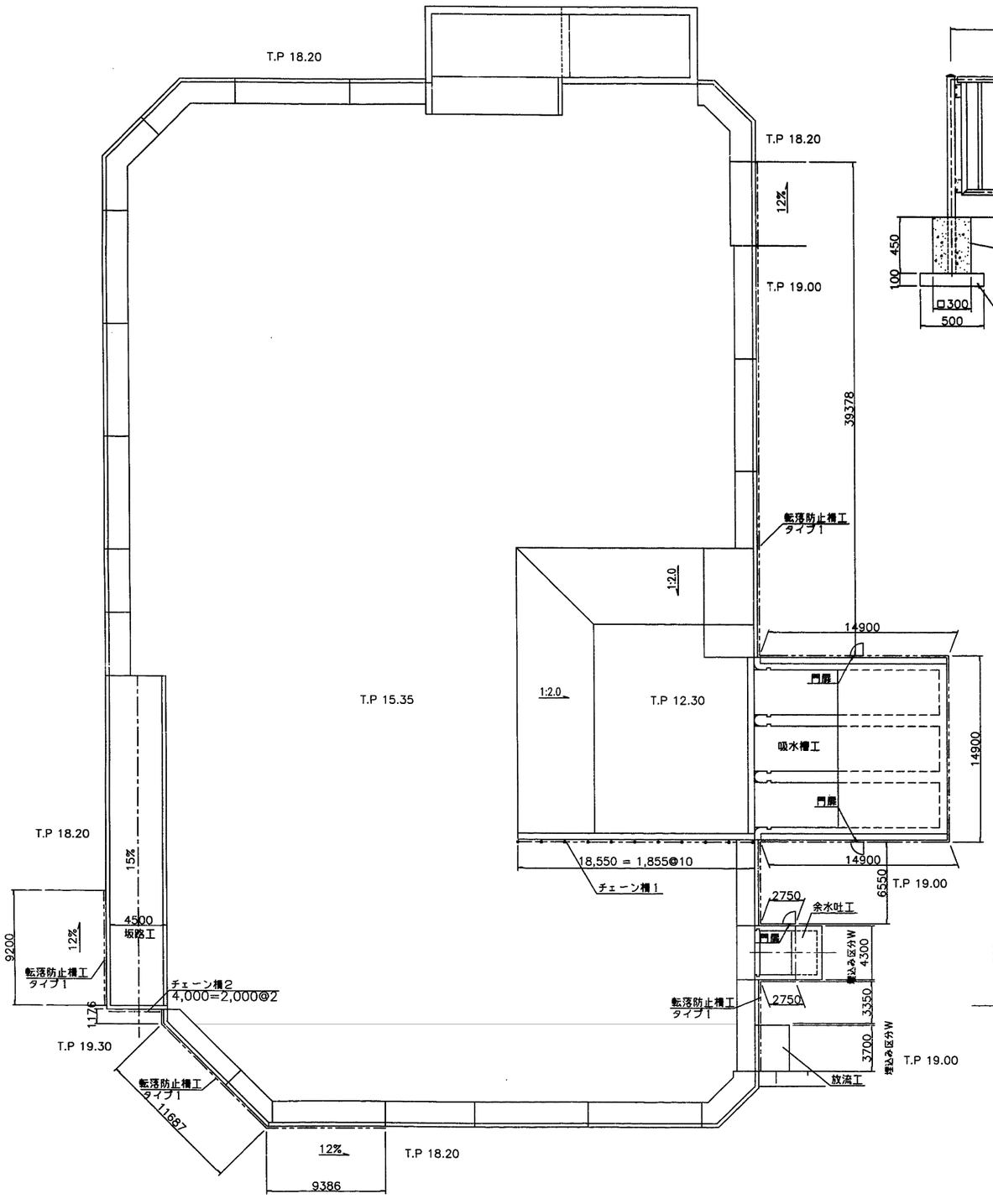
杭頭詳細図　S=1:50



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吸水池坂路工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-25/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

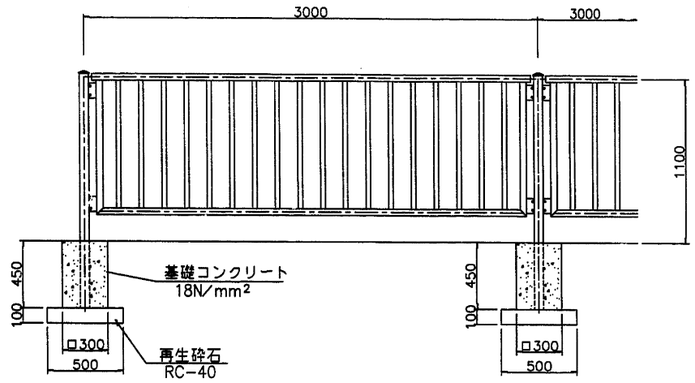
転落防止柵工構造図

平面図
S=1:200

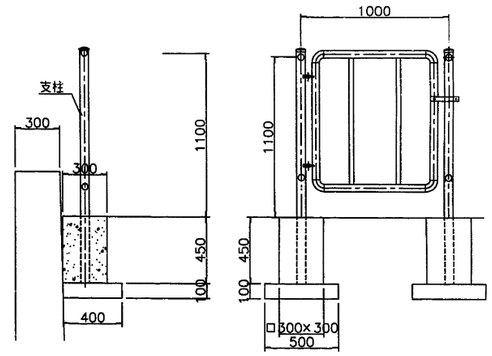


転落防止柵詳細図（ﾀｲﾌﾟ１） S=1:20
「防護柵設置要領・同資料集」P種基準相当品、縦格子タイプ

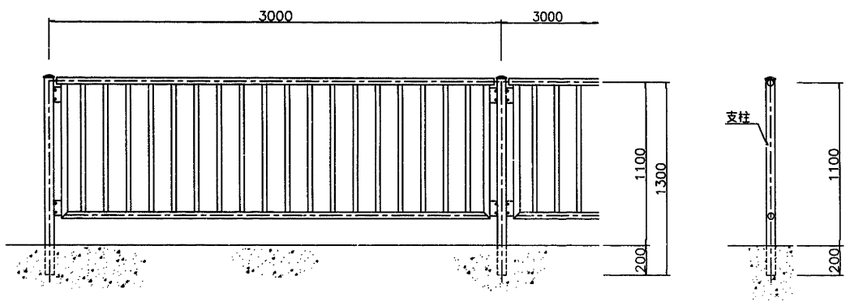
（独立基礎型：埋め込み区分C）



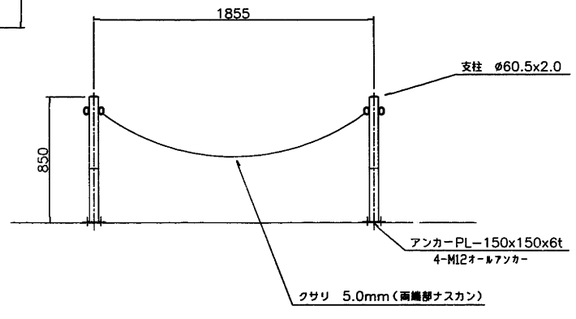
門扉



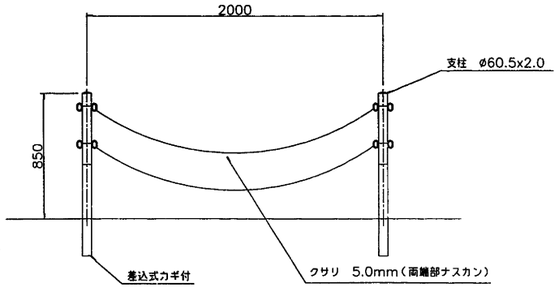
（構造物埋込み型：埋め込み区分W）



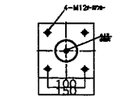
チェーン柵１詳細図
SUS304　φ60.5(t1.5)H850



チェーン柵２詳細図
SUS304　φ60.5(t1.5)H850

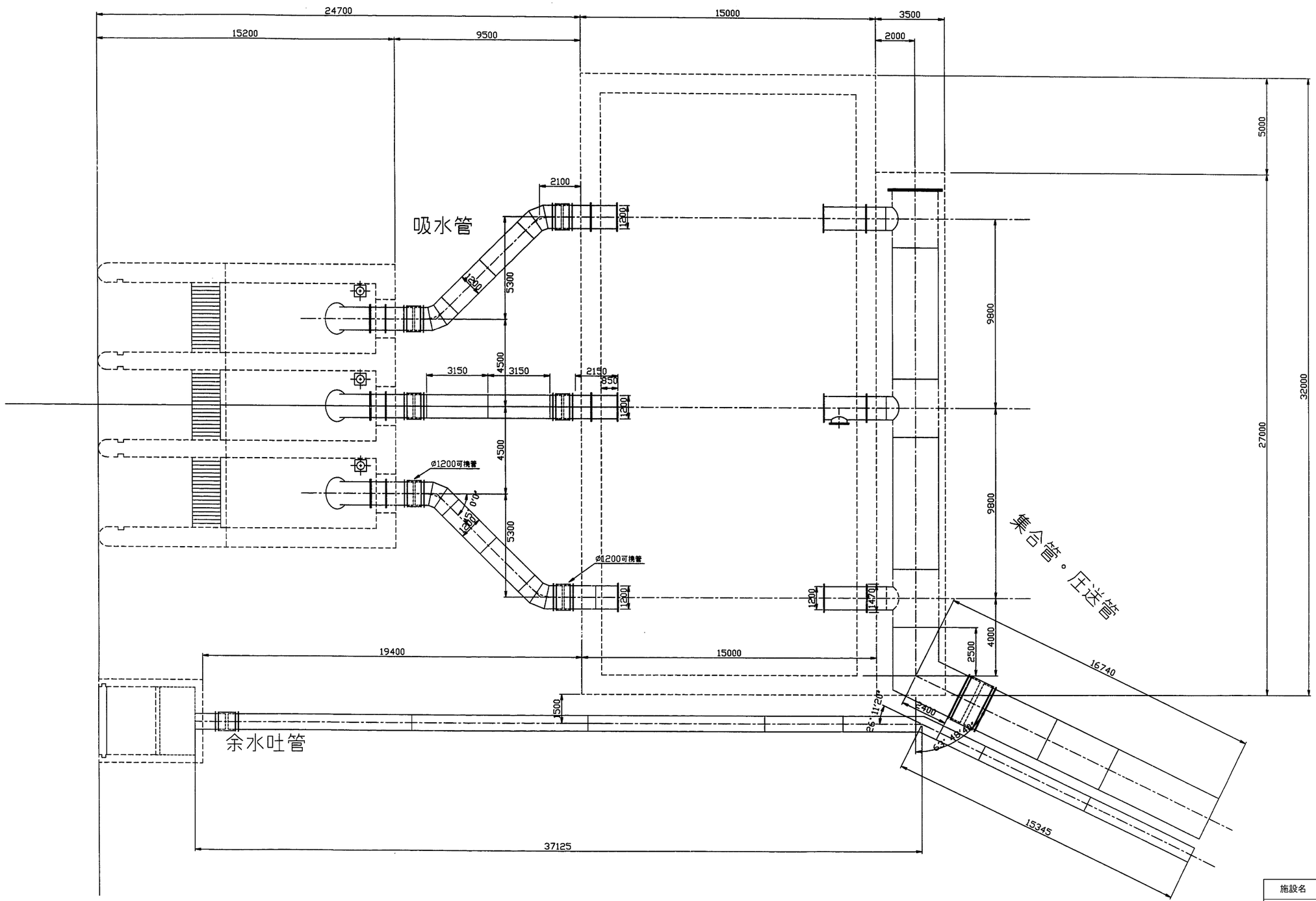


アンカープレート詳細図



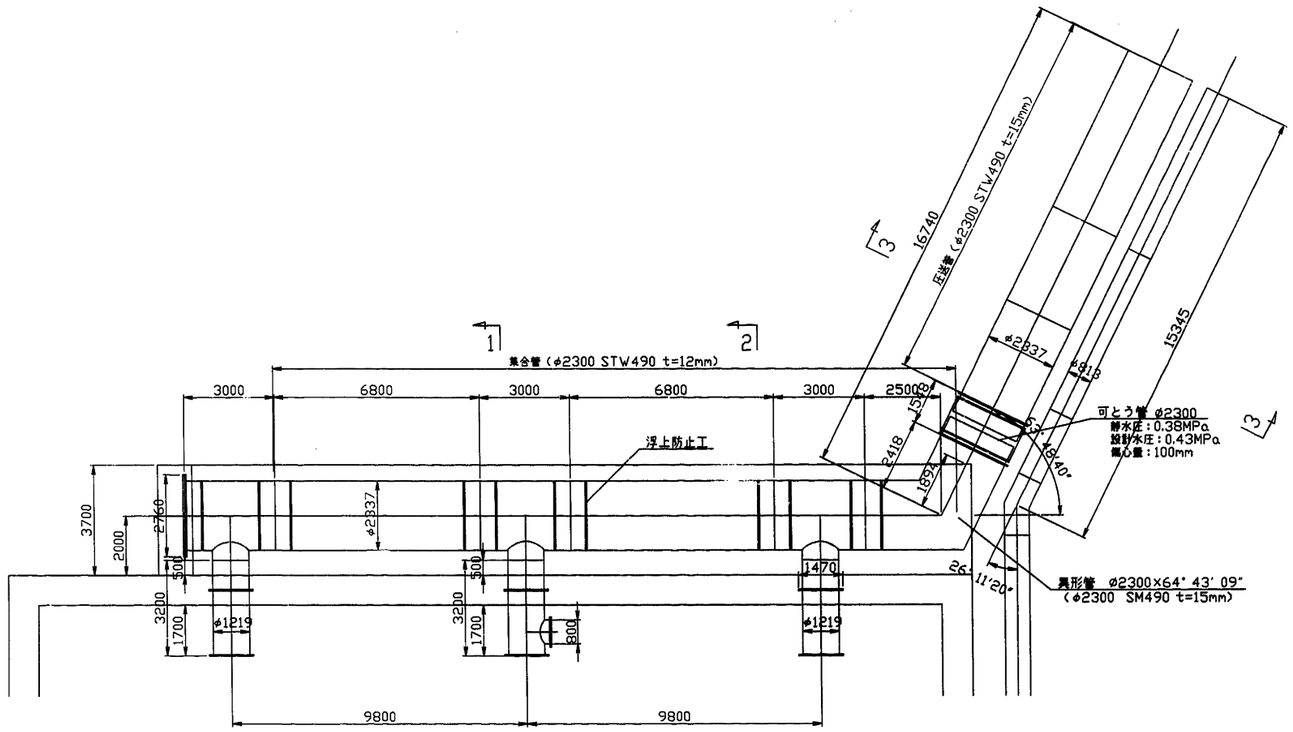
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	転落防止柵工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-26/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

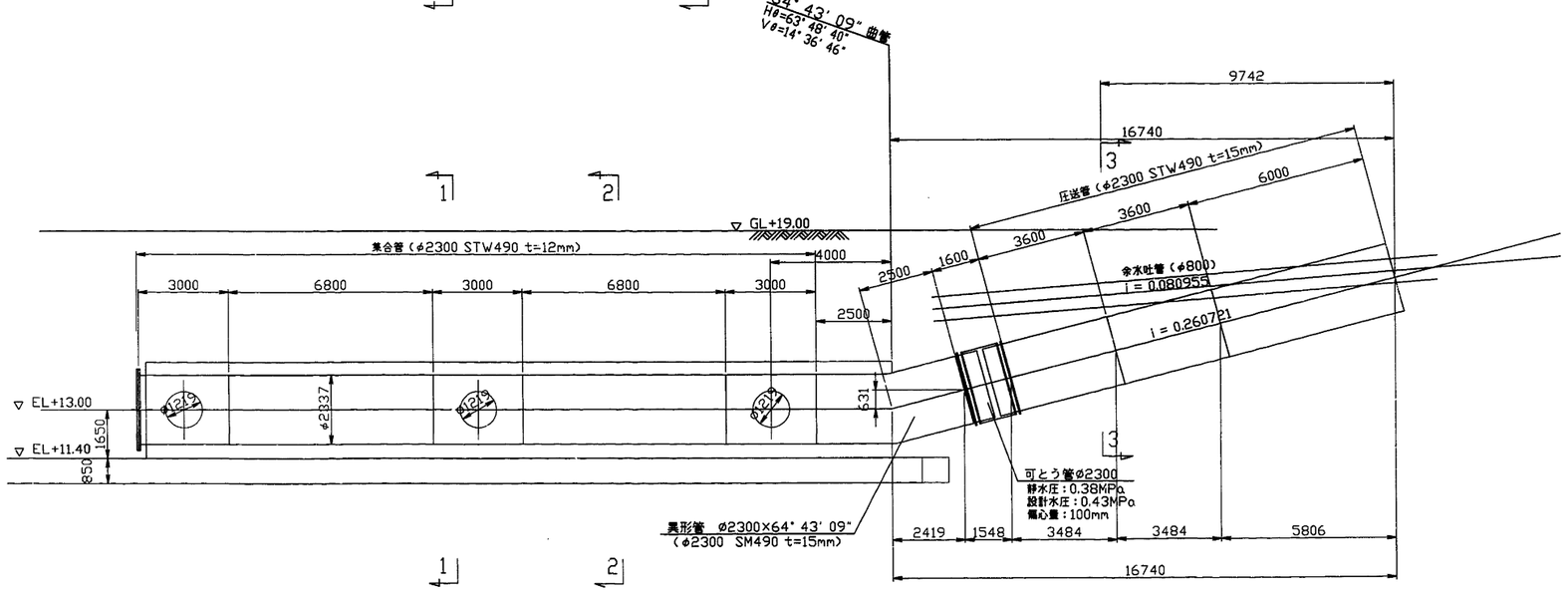
管路工　機場工周囲部配管全体平面図 S=1:100



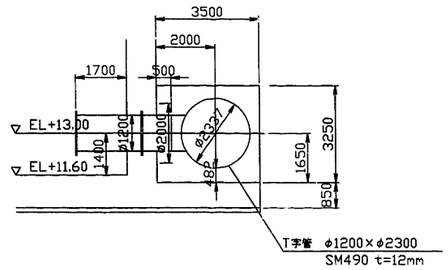
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 機場工周囲部配管全体平面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-27/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工一般図（1）　集合管・圧送管 S=1:100

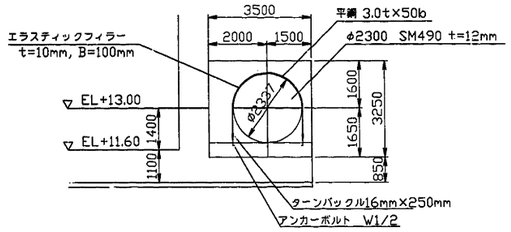




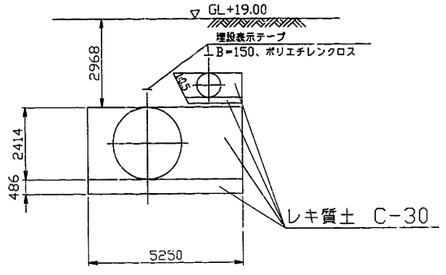
1 - 1



2 - 2

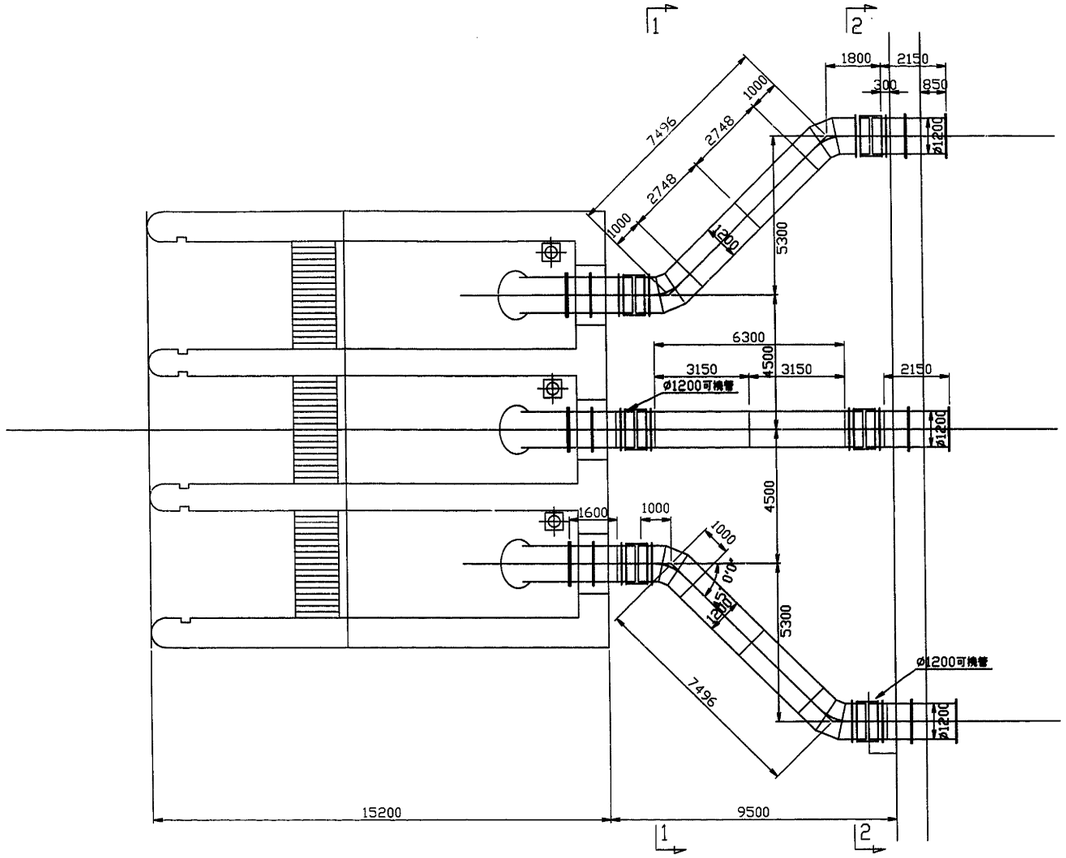


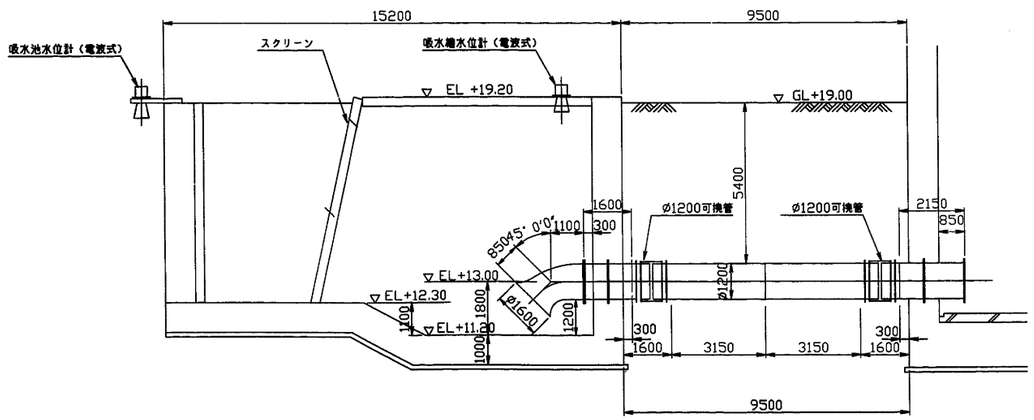
3 - 3



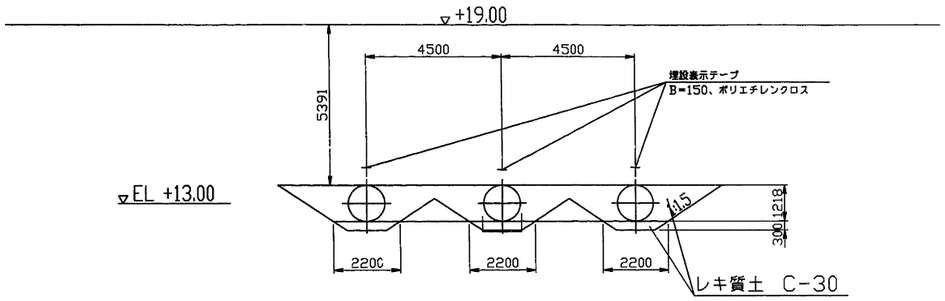
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 一般図(1) 集合管．圧送管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-28/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工一般図（2）　吸水管 S=1:100

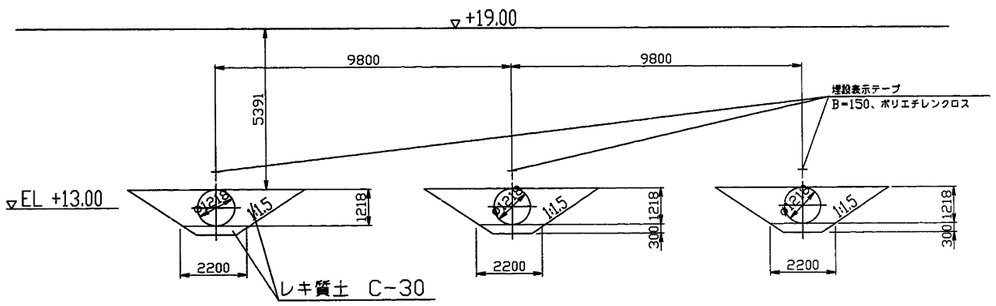




1 － 1

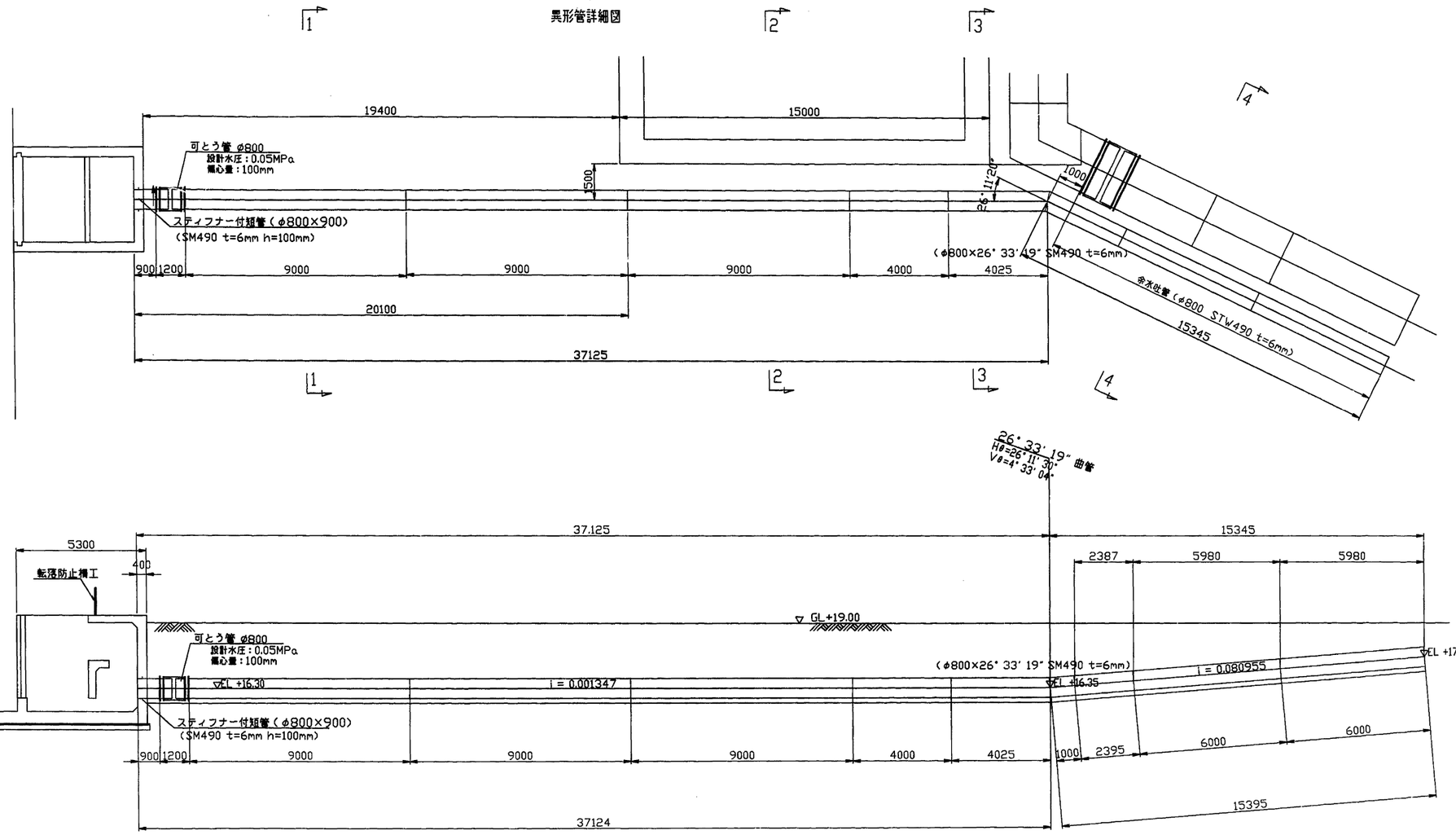


2 － 2

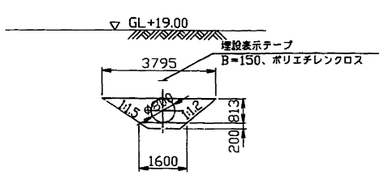


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 一般図(2) 吸水管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-29/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

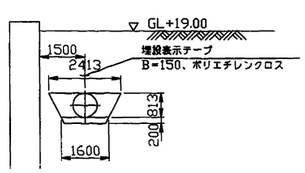
管路工一般図（3）　余水吐管 S=1:100



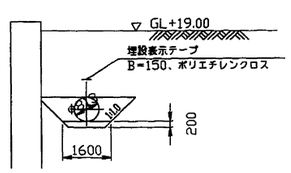
1 － 1



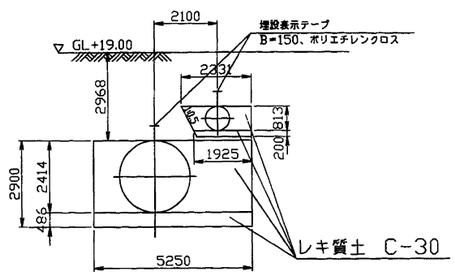
2 － 2



3 － 3

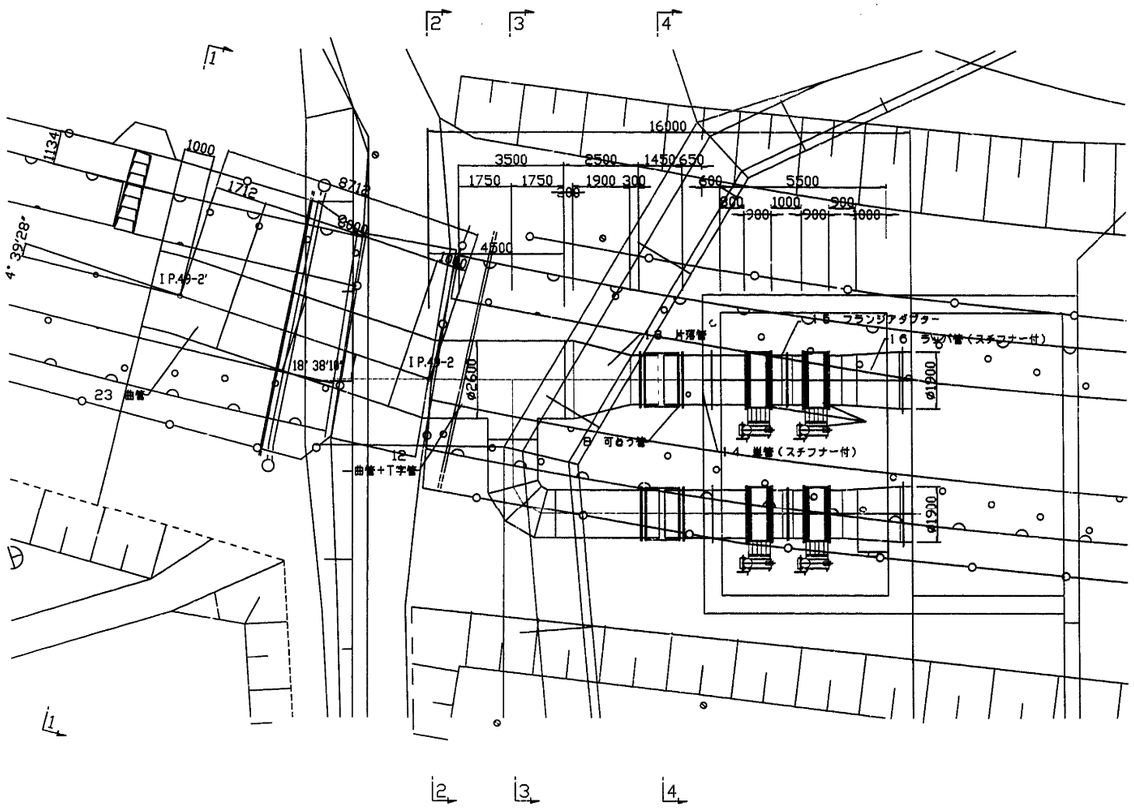


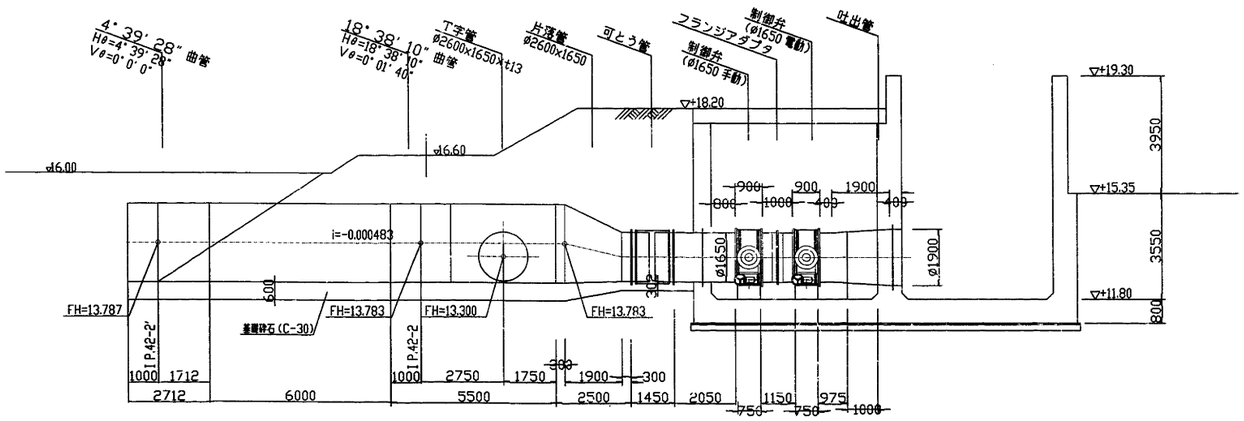
4 － 4



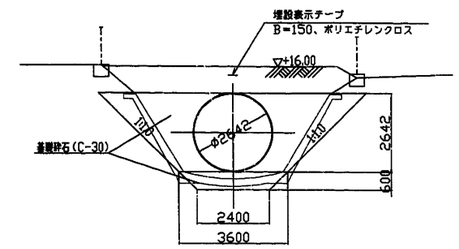
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 一般図(3) 余水吐管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-30/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工一般図（4）　流入管S=1:100

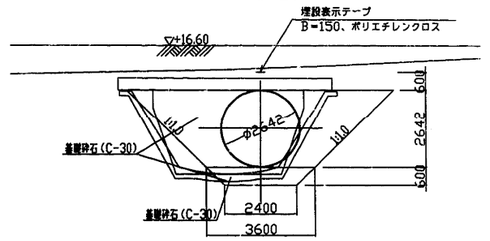




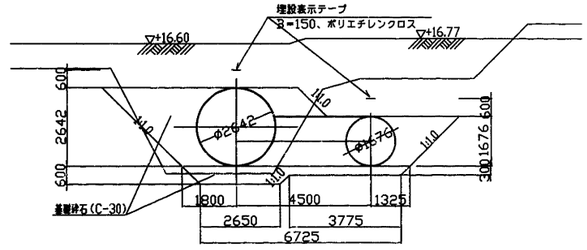
1 － 1



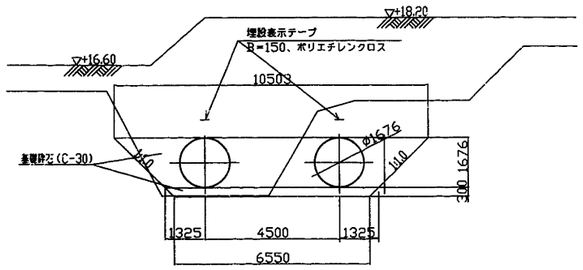
2 － 2



3 － 3

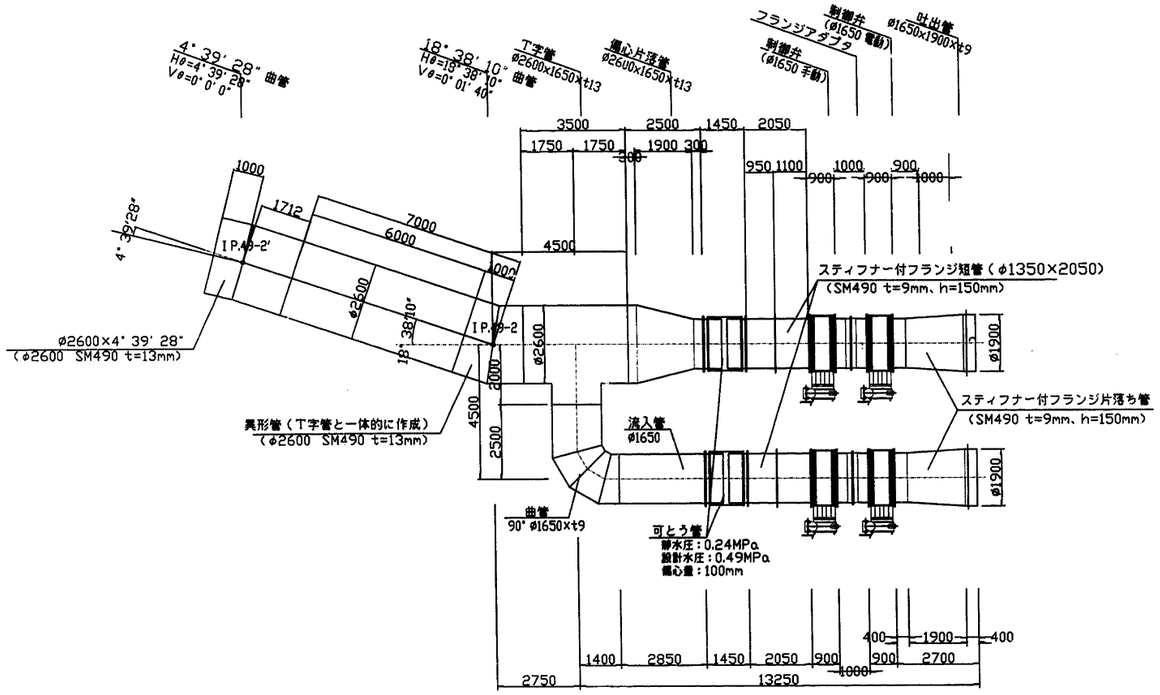


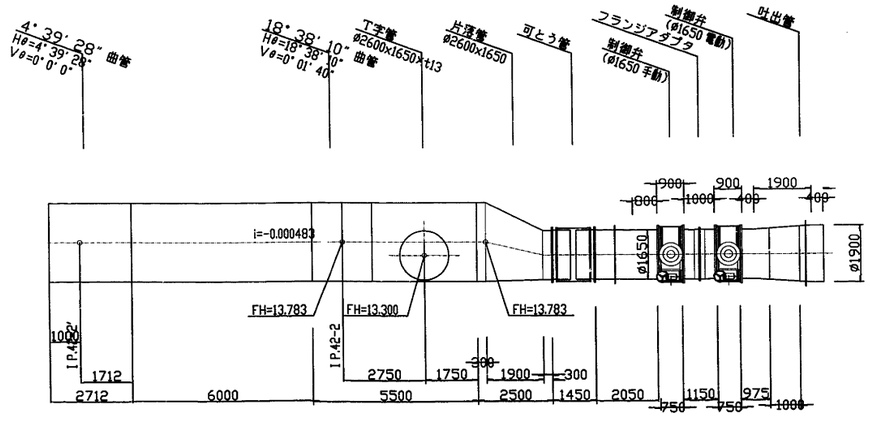
4 － 4



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 一般図(4) 流入管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-31/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工一般図（5）　流入管S=1:100





1）内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管 ・ 異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、 （JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆 （WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0.5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
1650以上	150（片面）	200（片面）

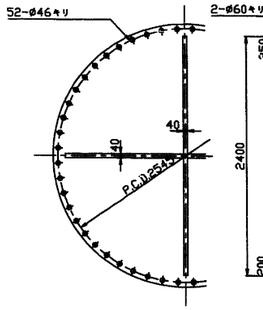
3）管形状・寸法の準拠規格
JIS G 3451 水輸送用塗覆装鋼管の異形管，管フランジ（F125　RF形）

4）管設計条件
設計内圧　0.49 MPa

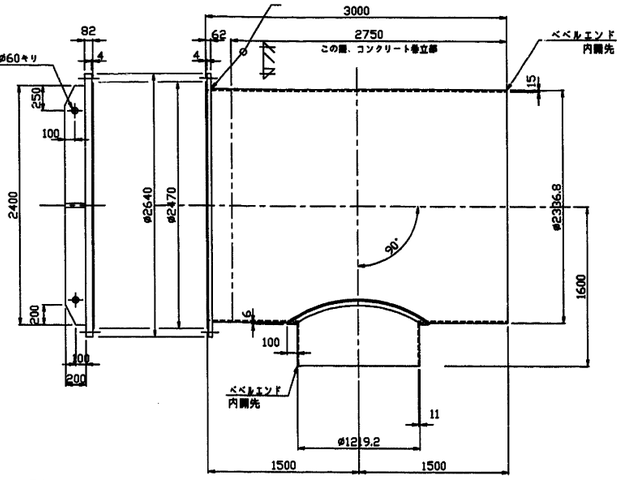
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 一般図(5) 流入管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-32/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工　異形管詳細図(1)集合管

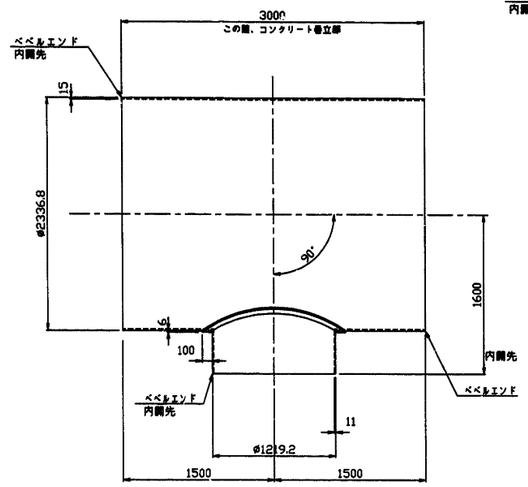
閉止フランジ
2300A　数量：1個
材質：SM490



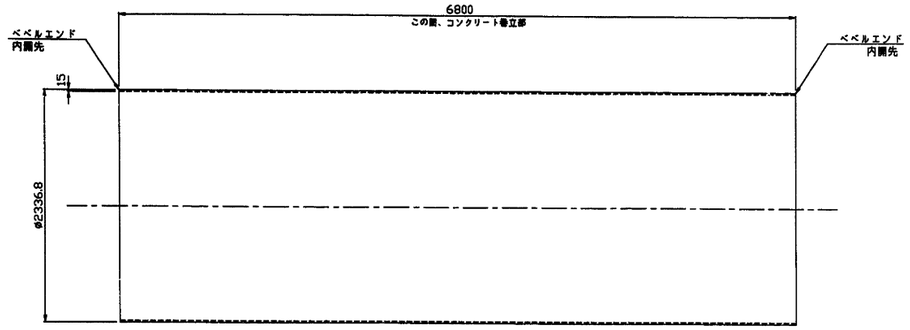
T字管（吐出用）
2300Ax1200A　数量：1個
材質：SM490



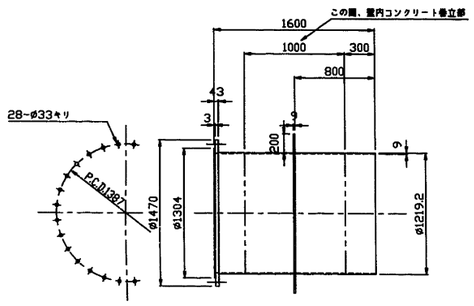
T字管（吐出用）
2300Ax1200A　数量：2個
材質：SM490



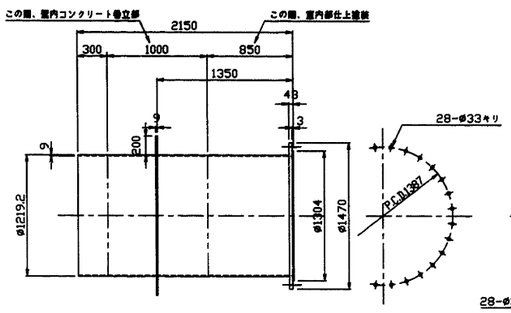
直　管（吐出用）
2300A　数量：2個
材質：SM490



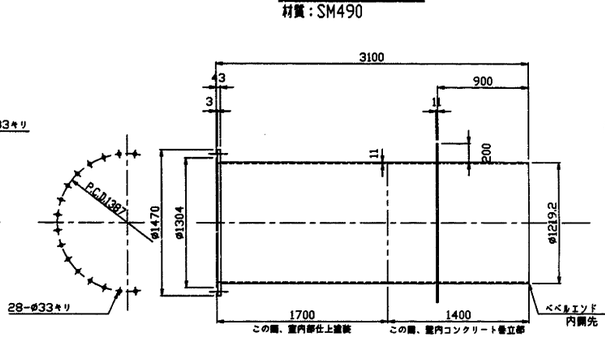
直　管（吸込用）
1200A　数量：3個
材質：SM490



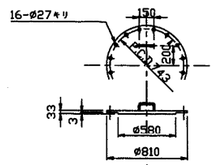
直　管（吸込用）
1200A　数量：3個
材質：SM490



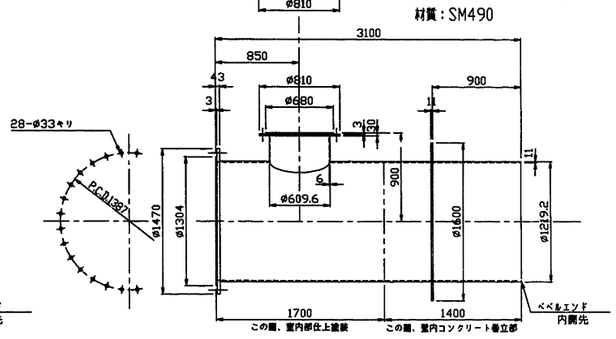
直　管（吐出用）
1200A　数量：2個
材質：SM490



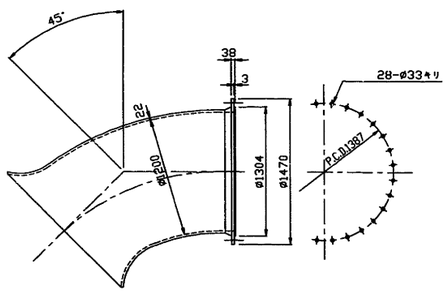
閉止フランジ（吐出用）
600A　数量：1個
材質：SM490



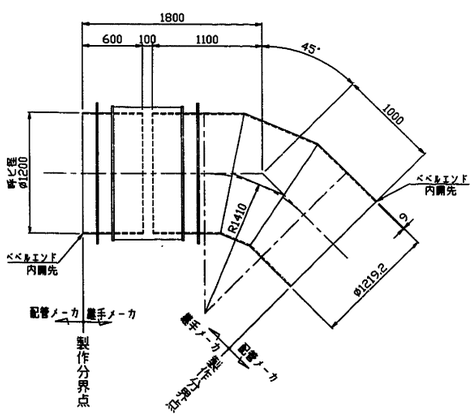
T字管（吐出用）
1200Ax600A 数量：1個
材質：SM490



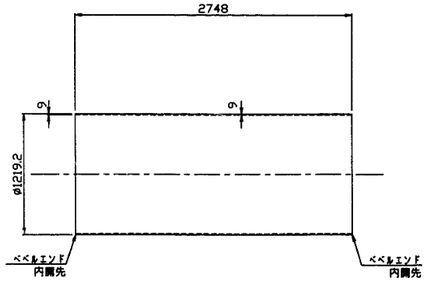
フッパ曲管（吸込用）
1200Ax45°　数量：3個
材質：FCD450
塗装：内外面共水道用エポキシ樹脂塗料塗装、膜厚0.5mm以上



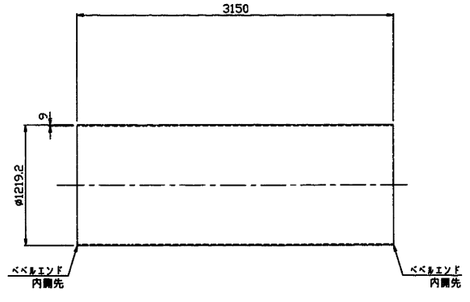
可撓継手管（吸込用）
1200Ax45°曲管付　数量：4個
材質：SM490



直　管（吸込用）
1200A　数量：4個
材質：SM490



直　管（吸込用）
1200A　数量：2個
材質：SM490



塗装仕様

1）内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135-2000[水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法]）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992[水道用プラスチック被覆鋼管]）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。

フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0.5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
2300	100（片面）	200（片面）
1200	100（片面）	150（片面）

3）管形状・寸法の準拠規格
JIS G 3451 水輸送用塗覆装鋼管の異形管，管フランジ（F5　RF形）

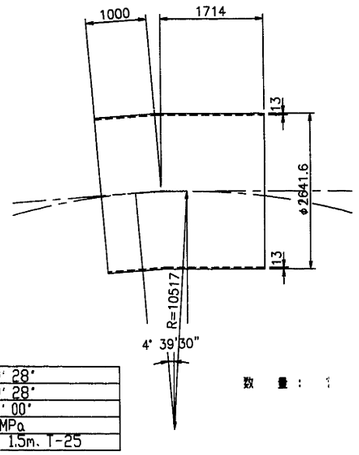
4）管設計条件

	設計内圧	埋設条件
吸込用	0.06 MPa	土被り 5.4 m，T-25
吐出用	0.44 MPa	土被り 4.85 m

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	管路工　異形管詳細図(1)集合管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-33/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工　異形管詳細図(2)流入管・圧送管

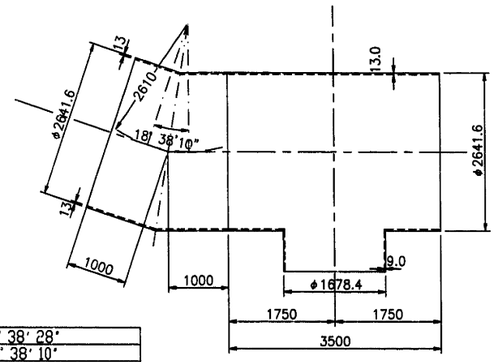
曲 管（流入工）
2600A × 4° 39′ 28″



CB	4° 39′ 28″
HB	4° 39′ 28″
VB	0° 00′ 00″
設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 1.5m、T-25

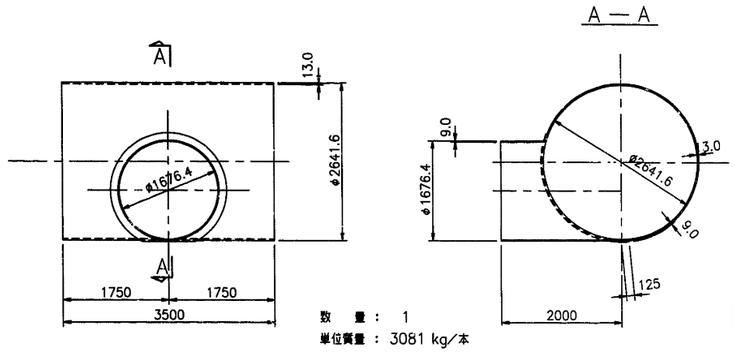
数　量：

T 字 管＋曲管（流入工）
2600A × 1650A



CB	18° 38′ 28″
HB	18° 38′ 10″
VB	0° 01′ 40″
設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 3.1m、T-25

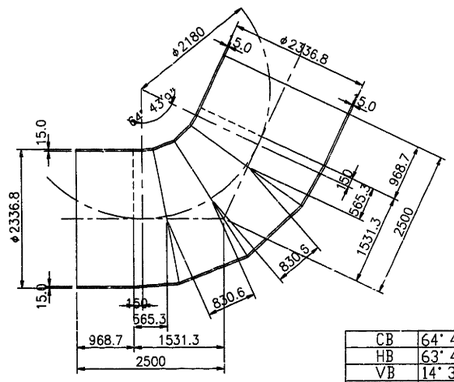
2600A × 1650A　T字管詳細



数　量：　1
単位質量：　3081 kg／本

設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 3.1m、T-25

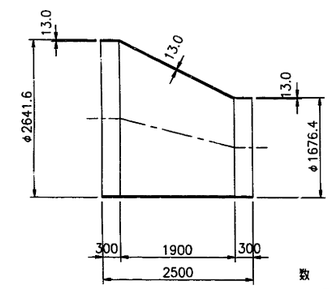
曲 管（吐出用）
2300A × 64° 43′ 09″



CB	64° 43′ 09″
HB	63° 48′ 40″
VB	14° 36′ 46″
設計内圧	0.44MPa
設計条件	土被り 4.9m、T-25

数　量：　1
単位質量：　3992 kg／本
備　考：　ΣL = 4647.2

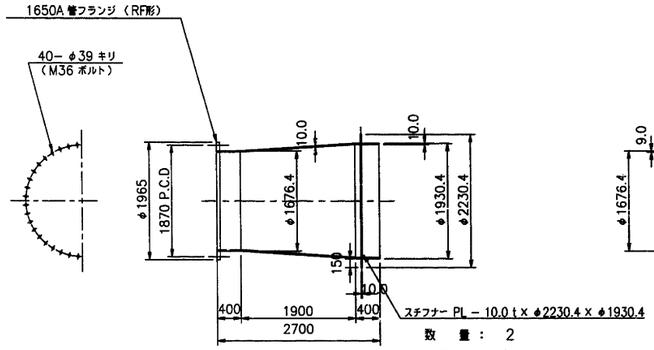
偏心片落ち管（流入管）
2600A × 1650A



数　量：　1
単位質量：　1713 kg／本
備　考：

設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 3.1m、T-25

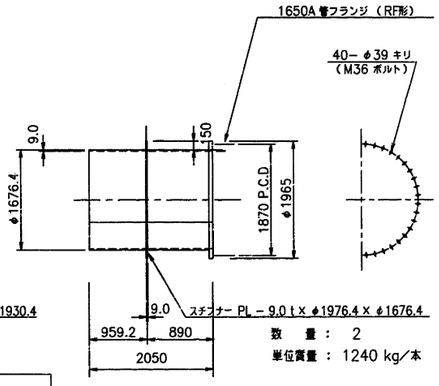
スチフナー付フランジ 片落ち管（流入管）
1900A × 1650A



数　量：　2
単位質量：　1600 kg／本

設計内圧	0.49MPa
設計条件	−

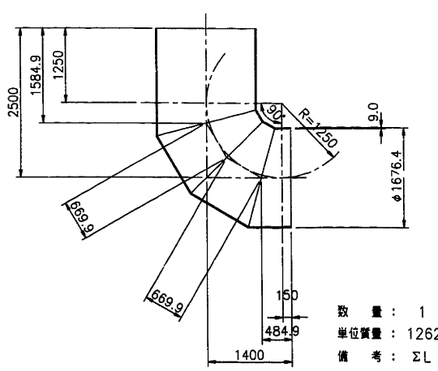
スチフナー付 一フランジ 短 管（流入管）
1650A × 2050



数　量：　2
単位質量：　1240 kg／本

設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 3.1m、T-25

曲 管（流入管）
1650A × 90°



数　量：　1
単位質量：　1262 kg／本
備　考：　ΣL = 3409.6

設計内圧	0.49MPa
設計条件	土被り 3.1m、T-25

1) 内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗装仕様	塗膜厚
直管・異形管	内面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、(JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」)	0.5mm以上
	外面	プラスチック被覆 (WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」)	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0.5mm以上とする。

2) 現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

口径mm	除外幅（mm）	
	内面	外面
1650以上	150（片面）	200（片面）
1650未満	100（片面）	150（片面）

3) 管形状・寸法の準拠規格
JIS G 3451 水輸送用塗覆装鋼管の異形管，管フランジ（RF形）

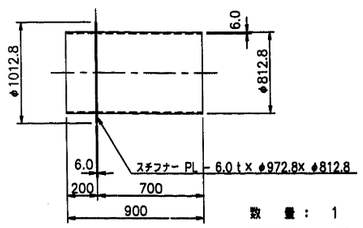
4)管体 材質は全て、SM 490 とする。

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	管路工 異形管詳細図(2)流入管、圧送管		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-34/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管路工　異形管詳細図（３）余水吐管　S=1/30

スチフナー付　短 管

800A × 900

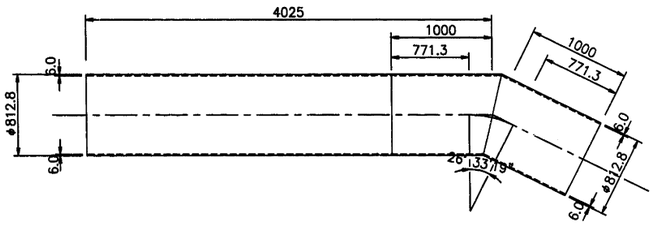


数　量：　1
単位質量：　118 kg/本

設計内圧	0.05MPa
設計条件	土被り　2.3m、T-25

曲 管

800A × 5025



数　量：　1

CB	26° 33′ 19″
HB	4° 33′ 04″
VB	26° 11′ 30″
設計内圧	0.07MPa
設計条件	土被り　2.3m、T-25

1）内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135--2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。

フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0.5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
1650以上	150（片面）	200（片面）
1650未満	100（片面）	150（片面）

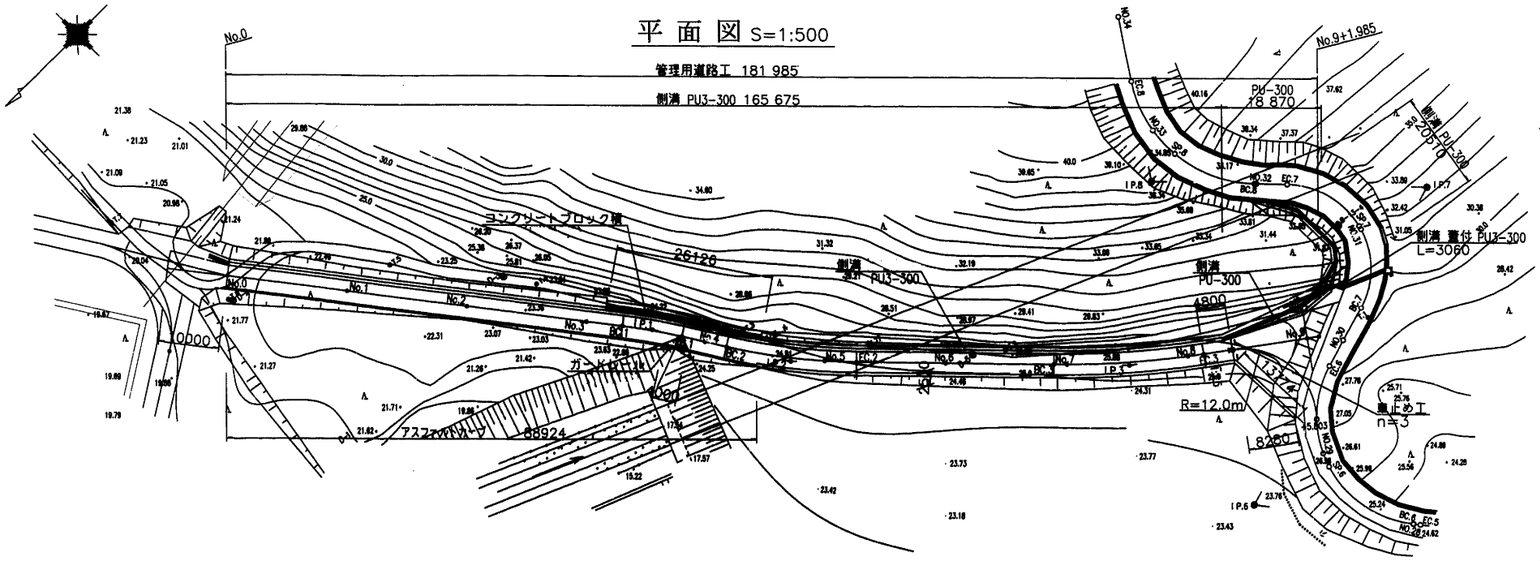
3）管形状・寸法の準拠規格
JIS G 3451 水輸送用塗覆装鋼管の異形管，管フランジ（RF形）

4)管体 材質は全て、SM 490 とする。

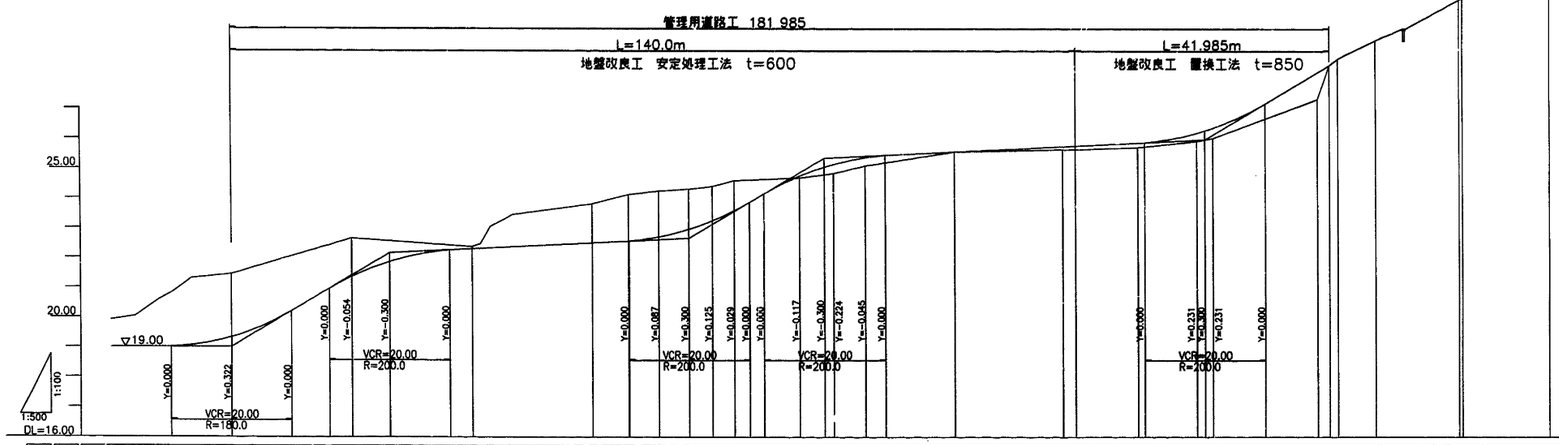
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管路工 異形管詳細図(3)余水吐		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-35/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工平面縦断図

平面図 S=1:500

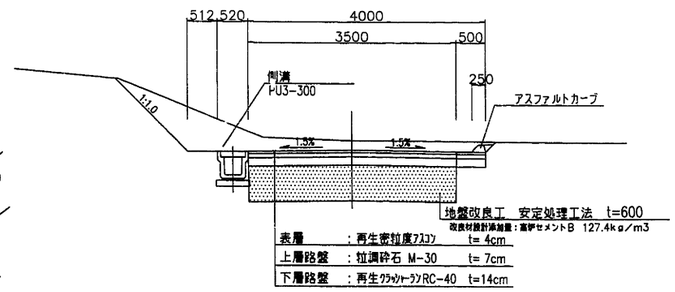


縦断図 V=1:100 H=1:500



標準断面図 S=1:50

No.0~No.7



No.7~EP

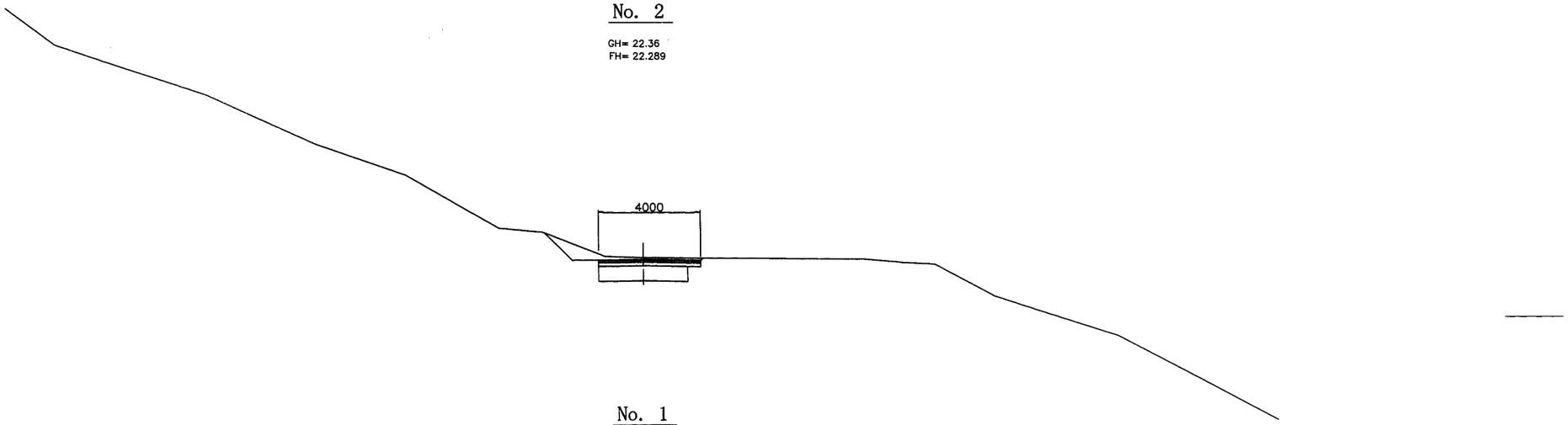
測点	X	Y
No.0	44530.1047	50525.3929
IP.1	44573.6943	50469.2300
IP.2	44586.0984	50449.4042
IP.3	44625.2188	50409.4676
No.9+1.912	44650.8716	50390.7594

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	管理用道路工平面縦断図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-36/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

管理用道路工横断図（1）S=1:100

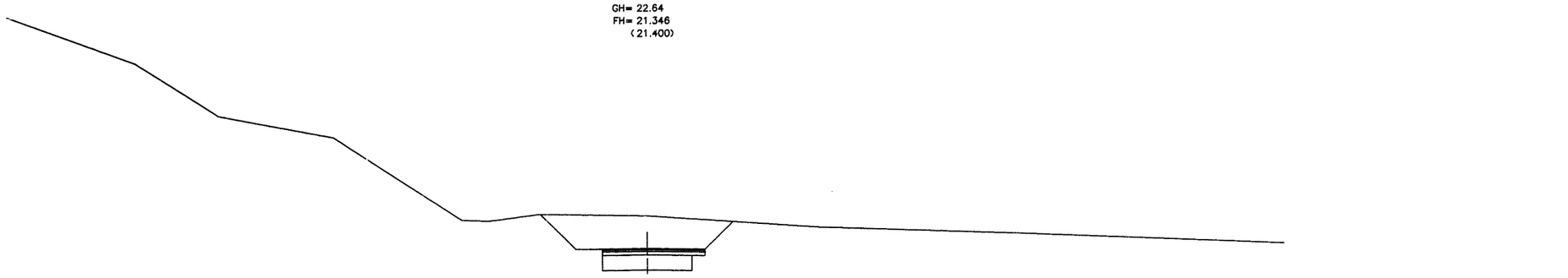
No. 2

GH= 22.36
FH= 22.289



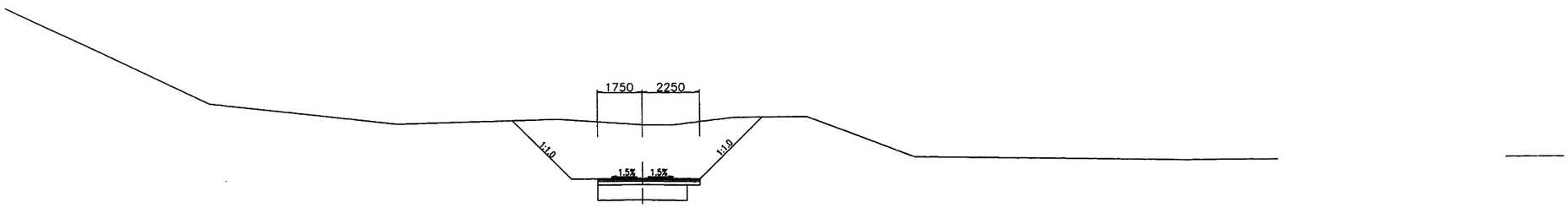
No. 1

GH= 22.64
FH= 21.346
（21.400）



No. 0

GH= 21.44
FH= 19.322
（19.000）

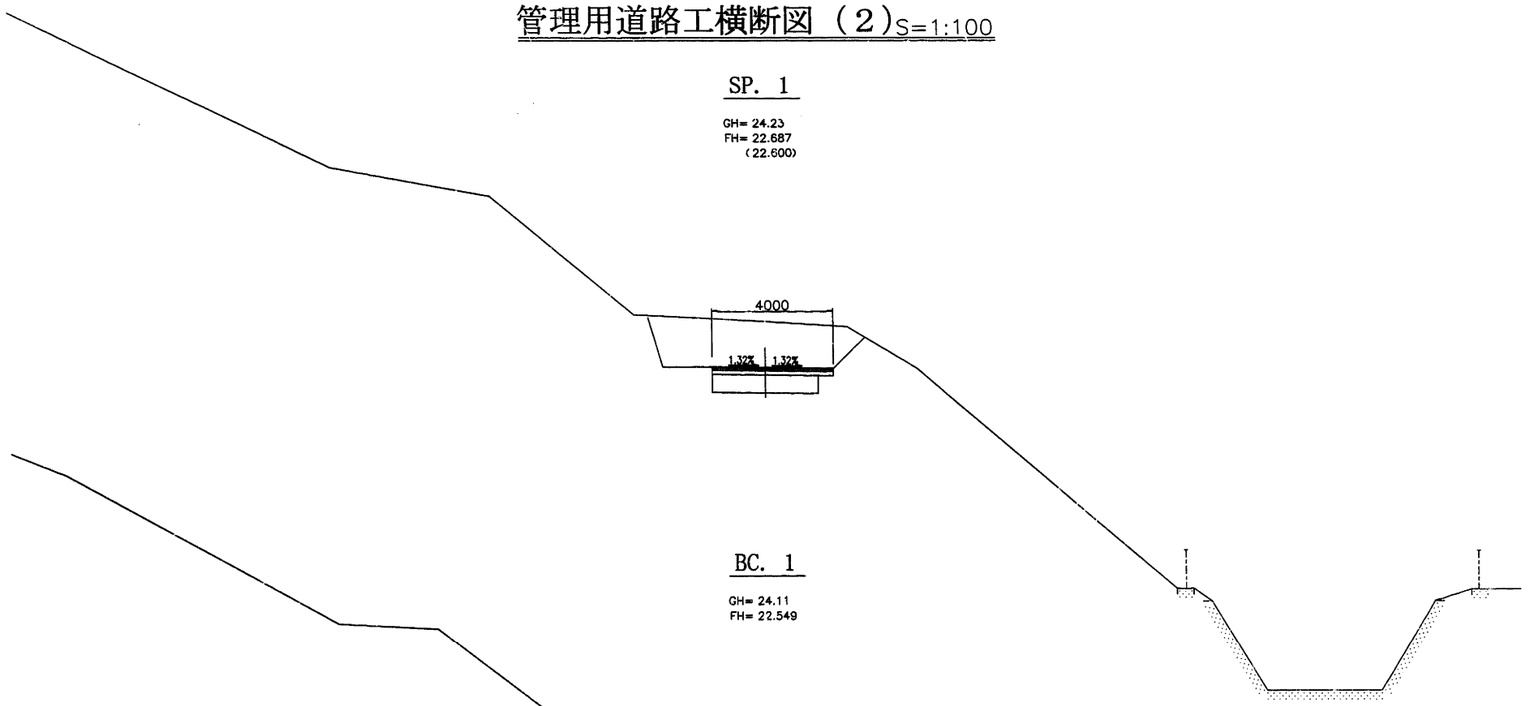


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-37/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（２）S=1:100

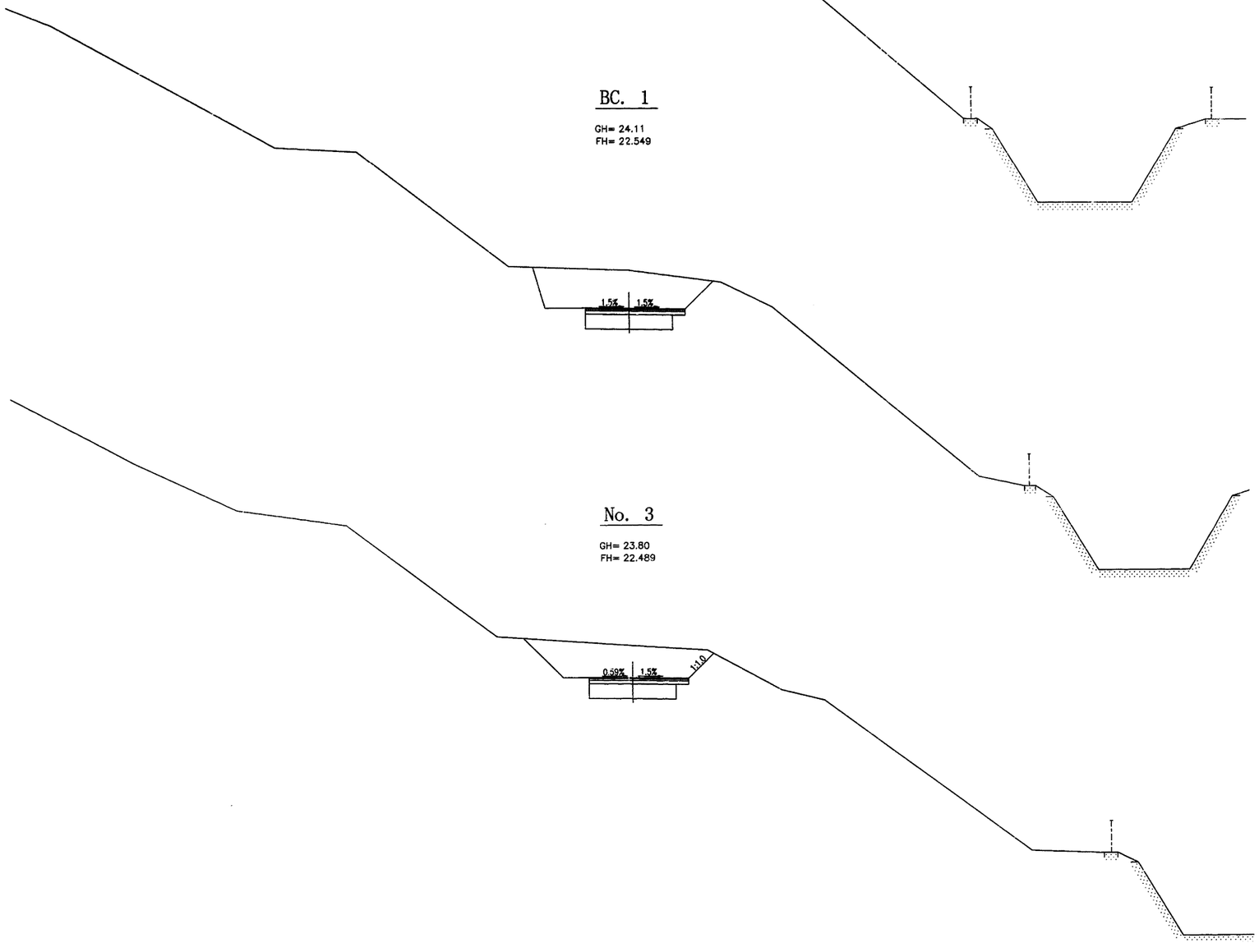
SP. 1

GH= 24.23
FH= 22.687
（22.600）



BC. 1

GH= 24.11
FH= 22.549

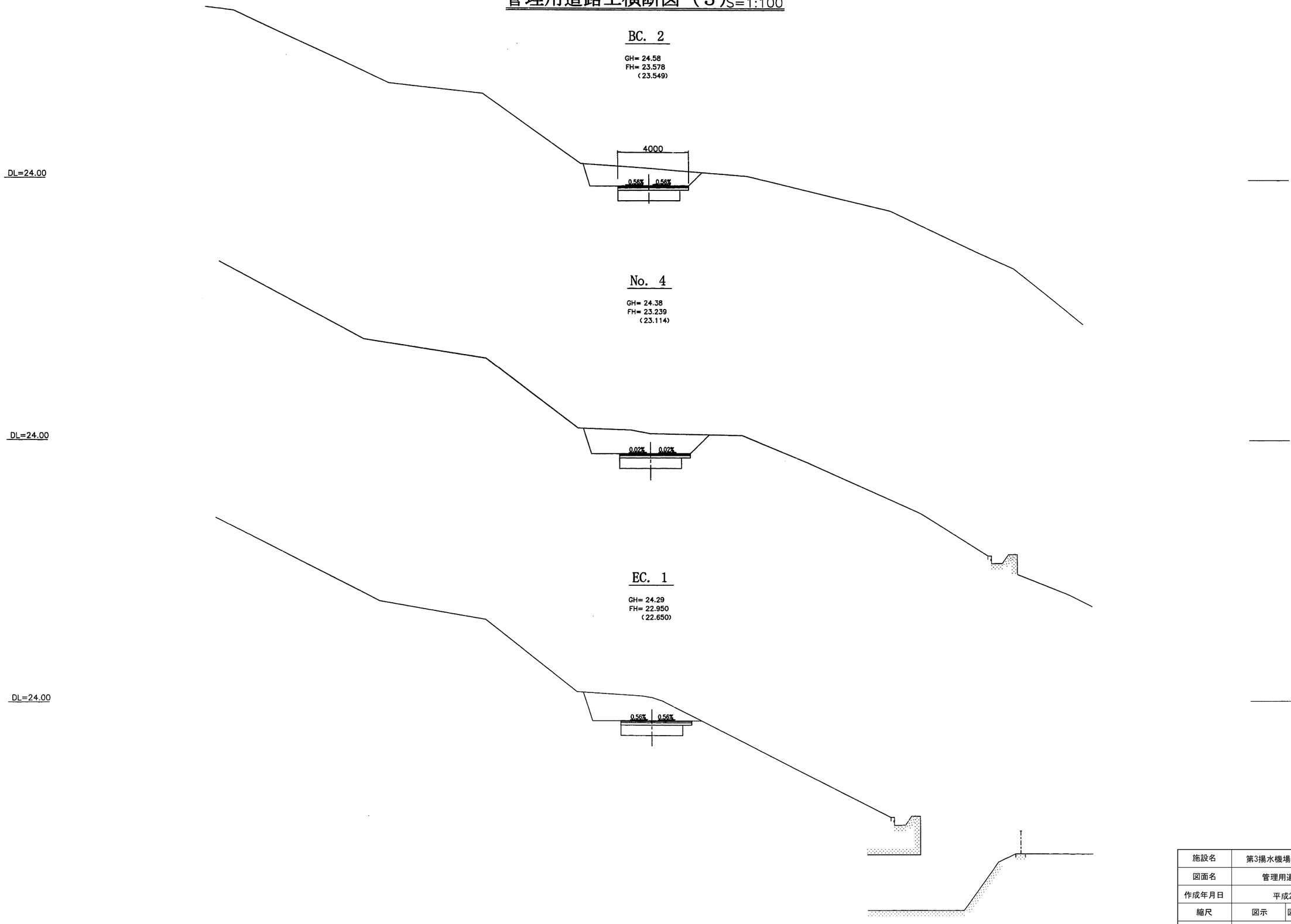


No. 3

GH= 23.80
FH= 22.489

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-38/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（３）S=1:100

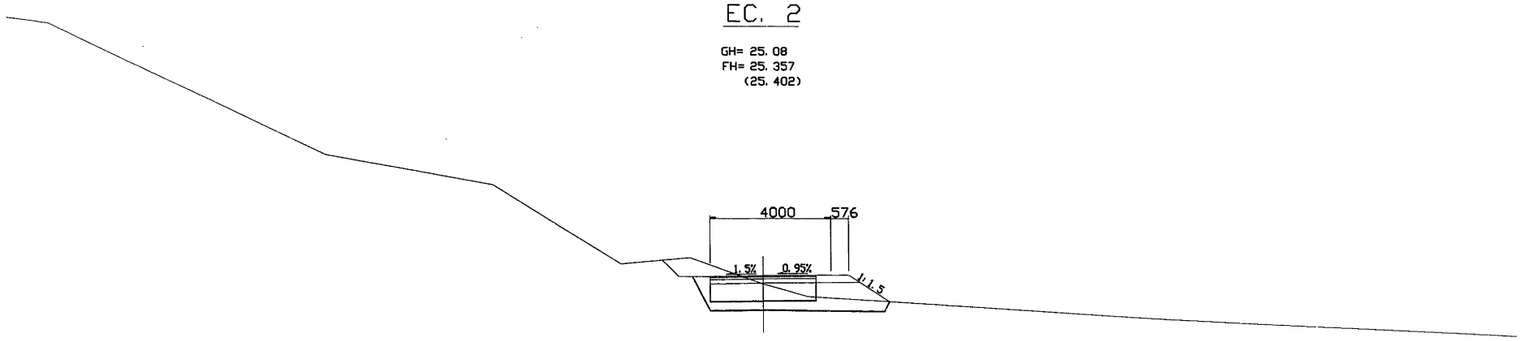


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-39/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（４）　S=1：100

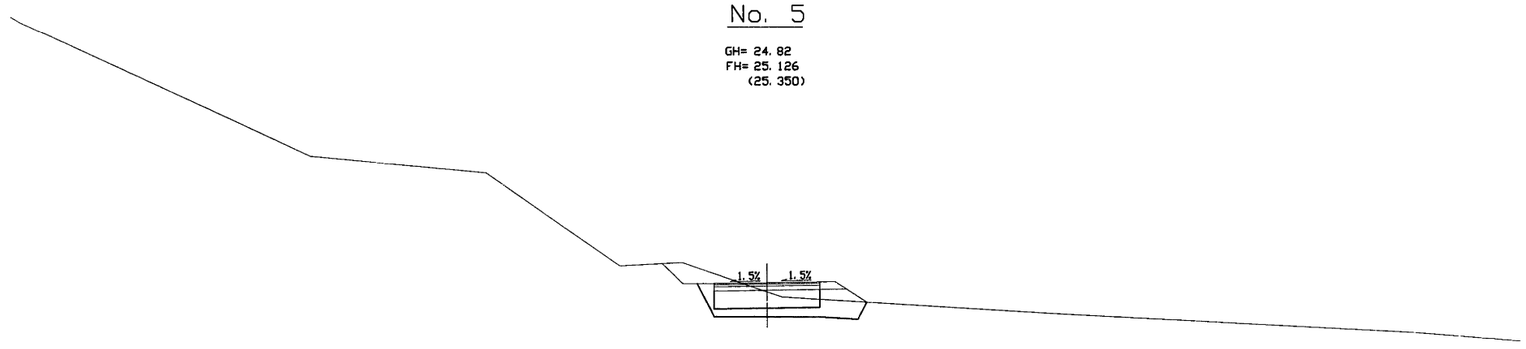
EC. 2

GH= 25. 08
FH= 25. 357
(25. 402)



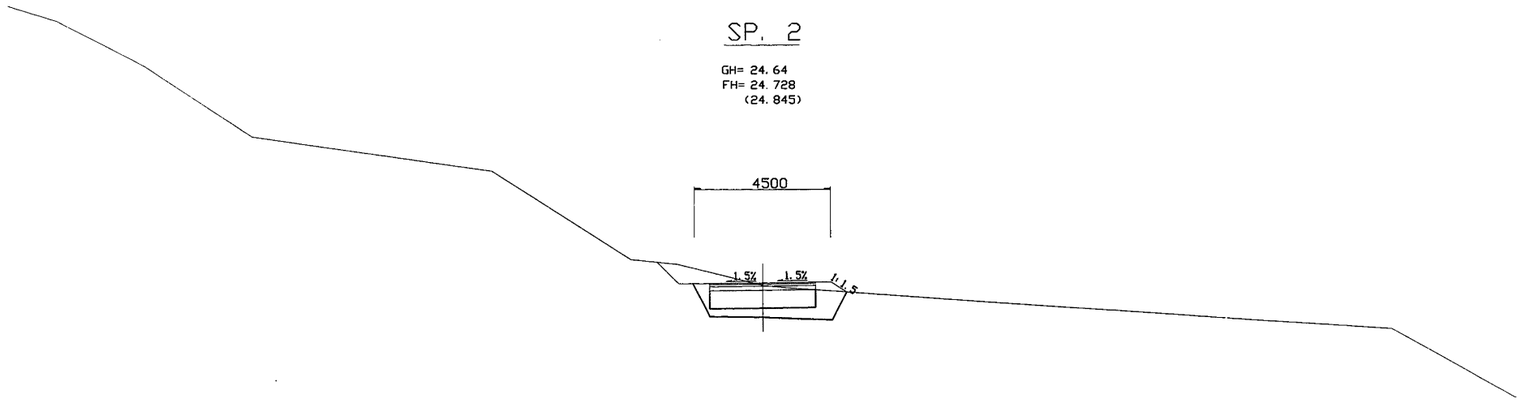
No. 5

GH= 24. 82
FH= 25. 126
(25. 350)



SP. 2

GH= 24. 64
FH= 24. 728
(24. 845)

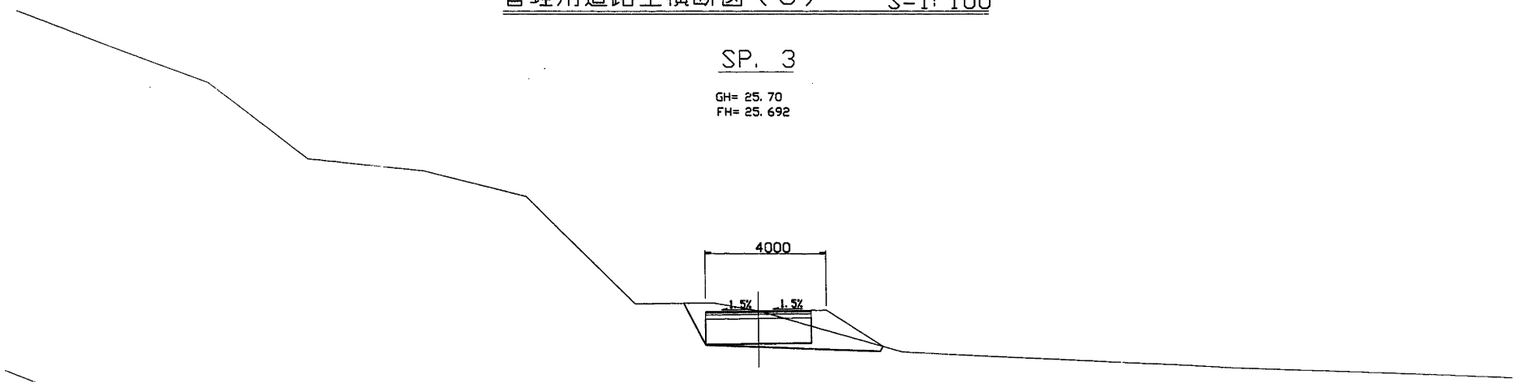


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-40/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（５）　S=1：100

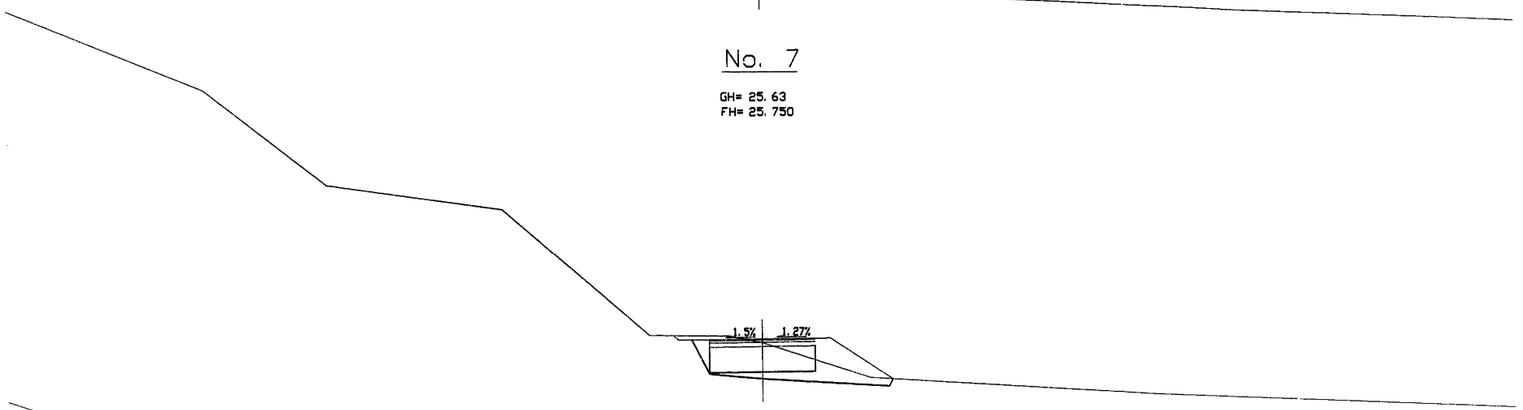
SP. 3

GH= 25.70
FH= 25.692



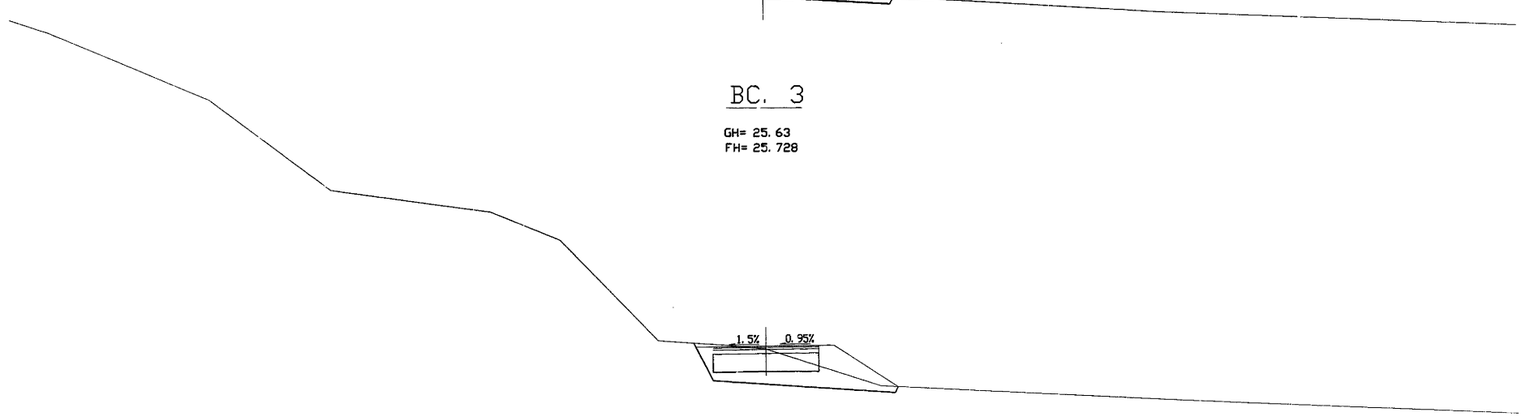
No. 7

GH= 25.63
FH= 25.750



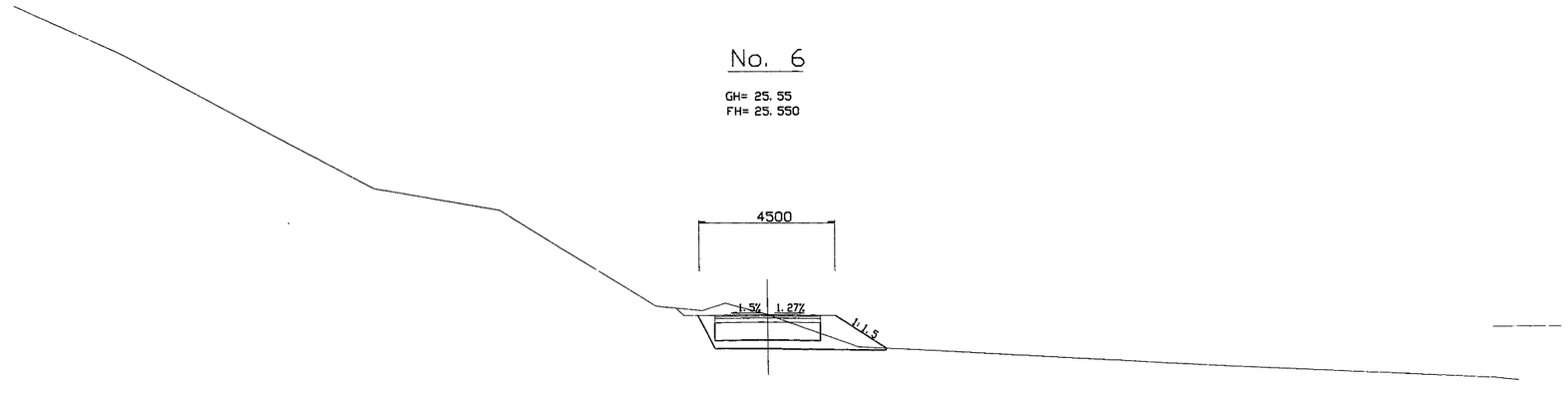
BC. 3

GH= 25.63
FH= 25.728



No. 6

GH= 25.55
FH= 25.550

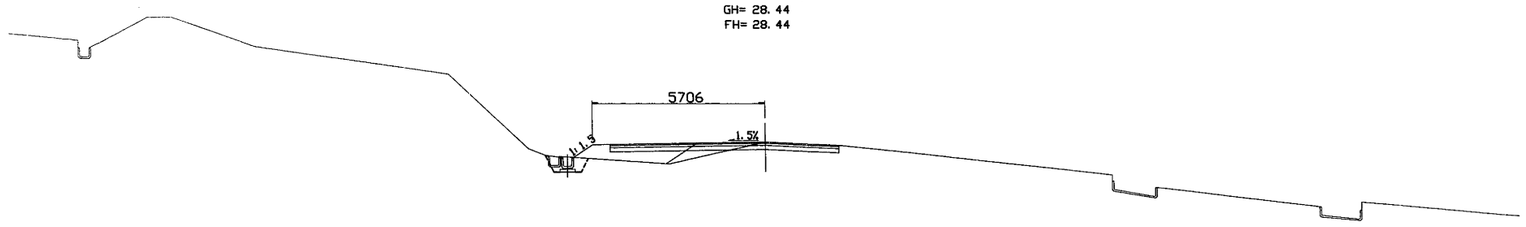


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(5)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-41/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（６）　S=1：100

E. P

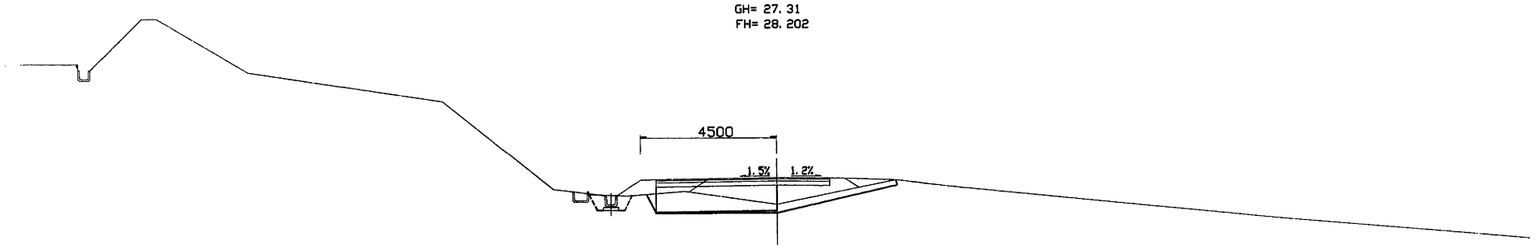
GH= 28. 44
FH= 28. 44



DL=25. 00

No. 9

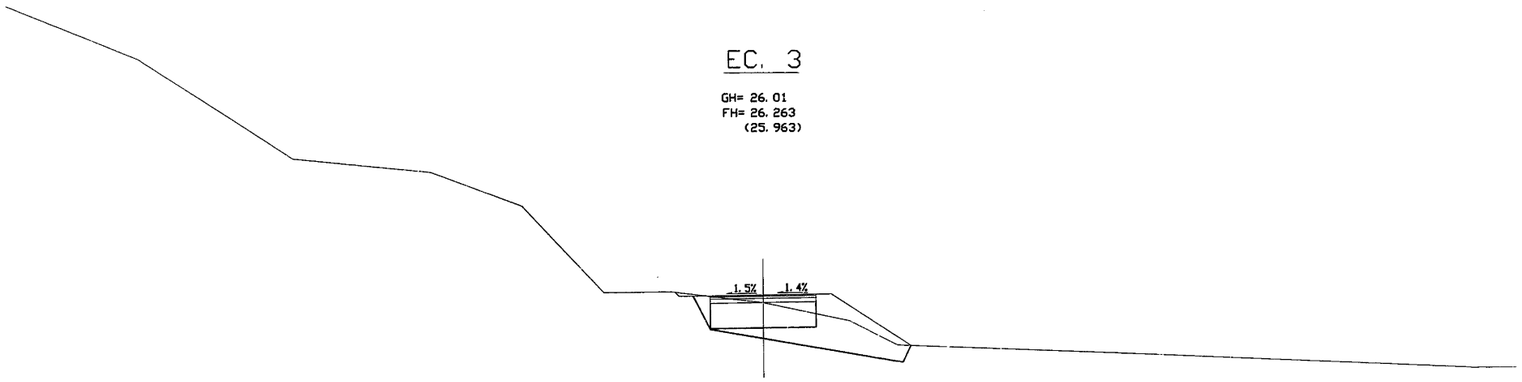
GH= 27. 31
FH= 28. 202



DL=25. 00

EC. 3

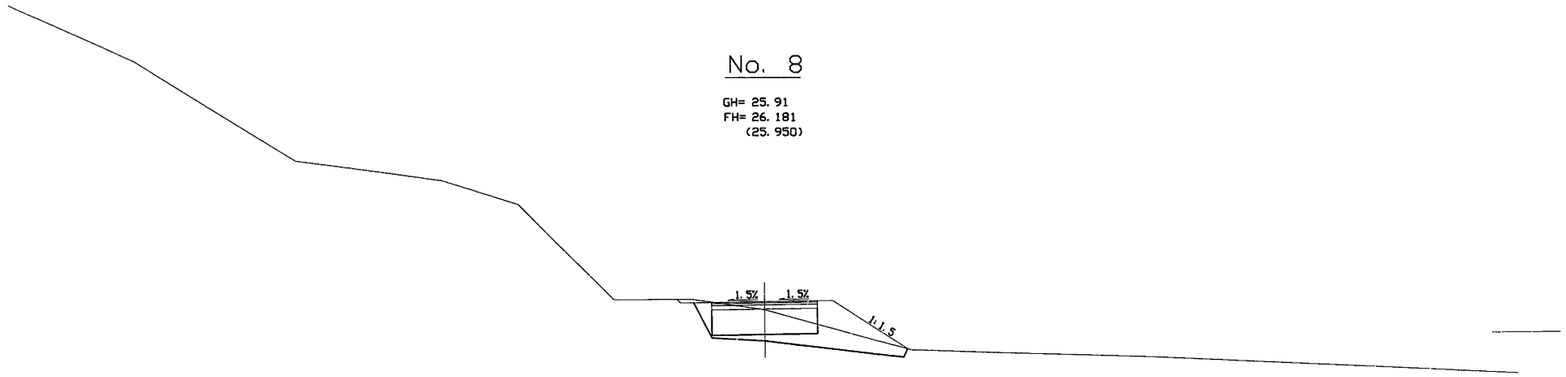
GH= 26. 01
FH= 26. 263
(25. 963)



DL=25. 00

No. 8

GH= 25. 91
FH= 26. 181
(25. 950)



DL=25. 00

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(6)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-42/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（7）S=1:100

No. 32

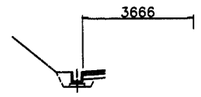
GH= 32.75
FH= 00.00

▽32.21

DL=30.00

EC. 7

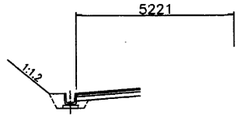
GH= 32.24
FH= 00.00



DL=30.00

No. 31

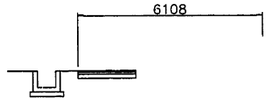
GH= 30.64
FH= 00.00



DL=30.00

BC. 7

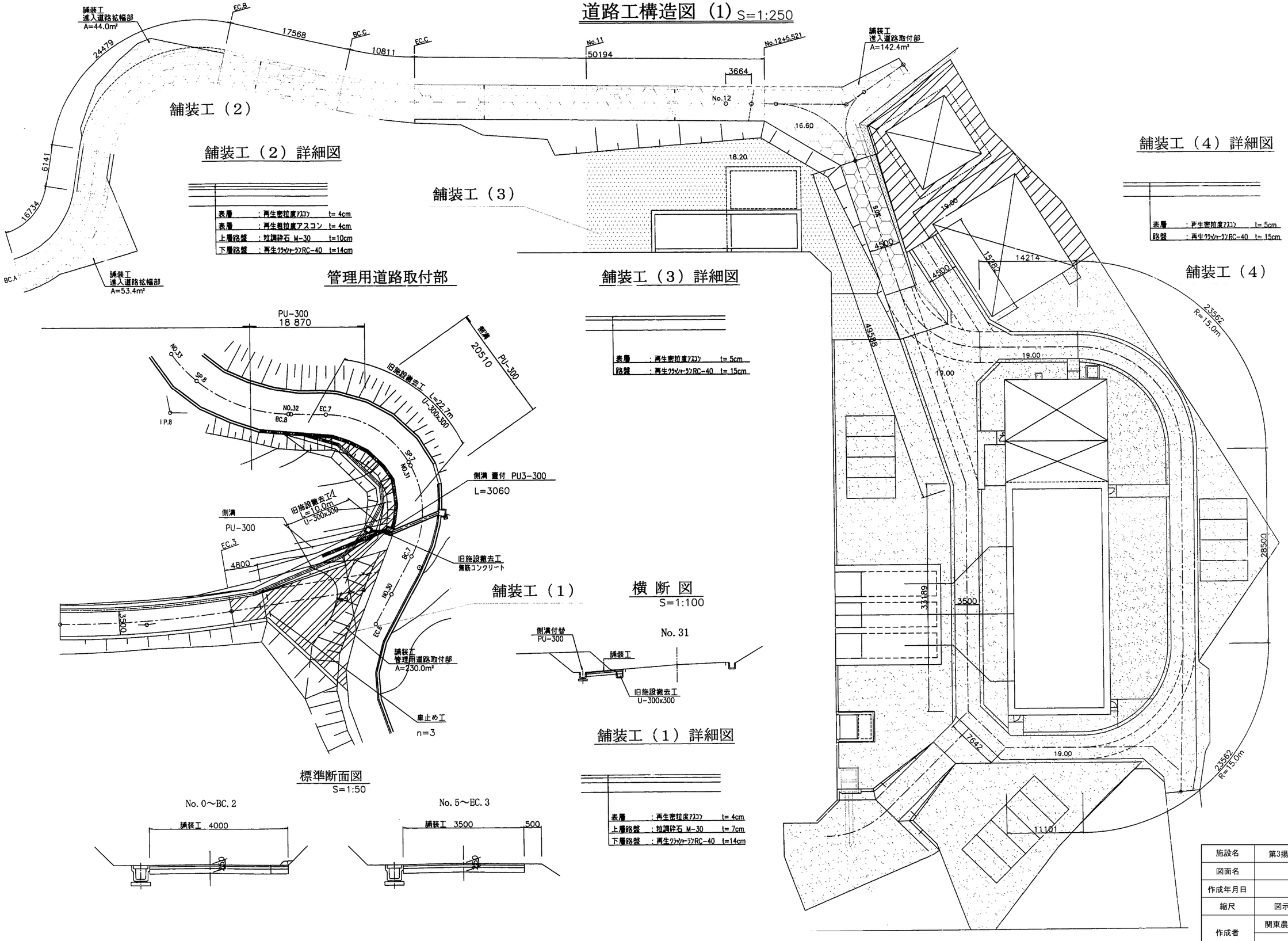
GH= 29.28
FH= 00.00



DL=25.00

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-43/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

道路工構造図（1） S=1:250



舗装工（2）詳細図

表層	：再生密粒度ｱｽｺﾝ	t= 4cm
表層	：再生粗粒度アスコン	t= 4cm
上層路盤	：粒調砕石 M-30	t=10cm
下層路盤	：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=14cm

舗装工（4）詳細図

表層	：再生密粒度ｱｽｺﾝ	t= 5cm
路盤	：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t= 15cm

管理用道路取付部

舗装工（3）詳細図

表層	：再生密粒度ｱｽｺﾝ	t= 5cm
路盤	：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t= 15cm

舗装工（1）

横 断 図
S=1:100

舗装工（1）詳細図

表層	：再生密粒度ｱｽｺﾝ	t= 4cm
上層路盤	：粒調砕石 M-30	t= 7cm
下層路盤	：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=14cm

標準断面図
S=1:50

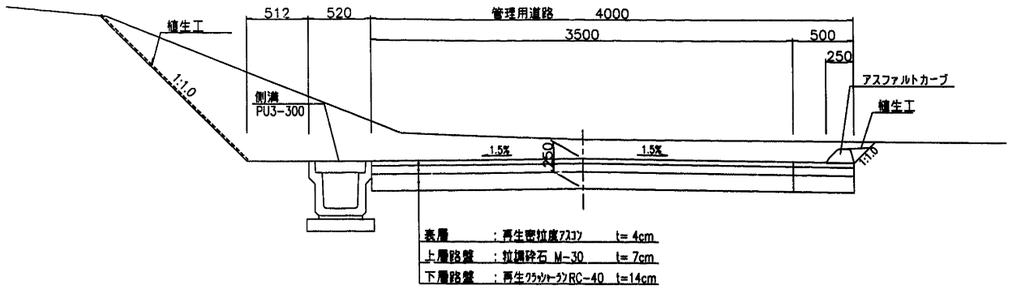
No. 0～BC. 2

No. 5～EC. 3

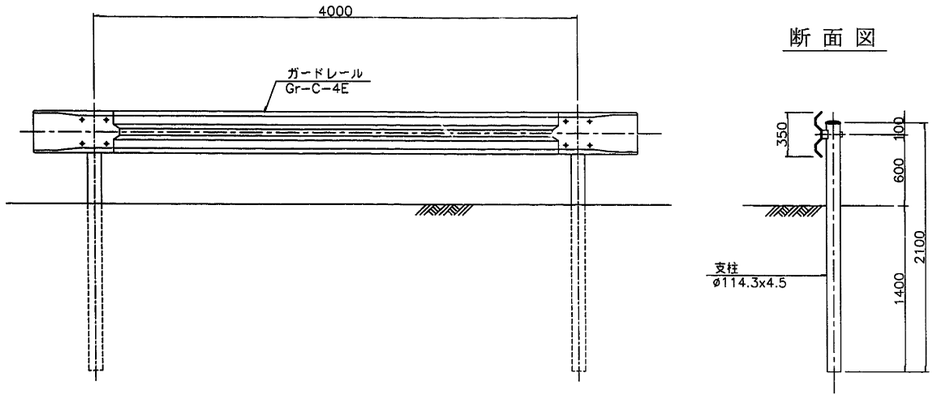
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	道路工構造図(1)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-44/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

道路工構造図(2) S=1:25

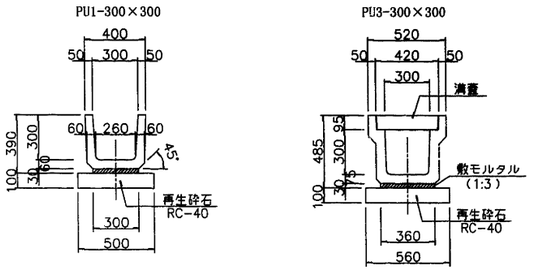
管理用道路標準断面図



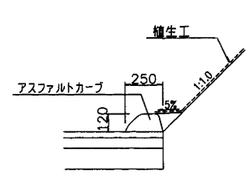
ガードレール詳細図



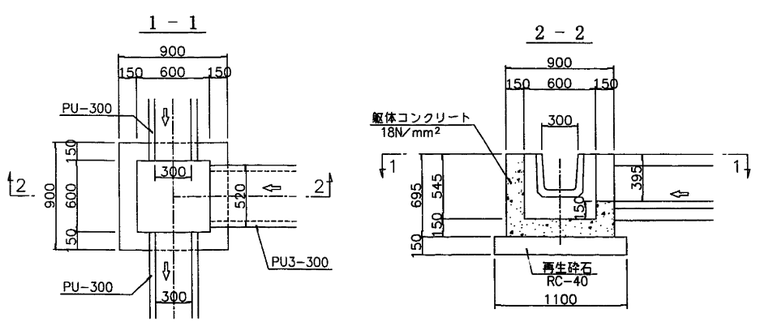
側溝詳細図
S=1:20



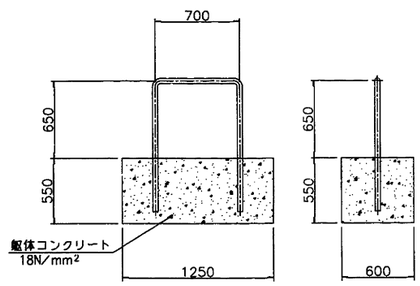
アスファルトカーブ詳細図
S=1:20



接続桝詳細図



車止め工(H650×B700)
S=1:20



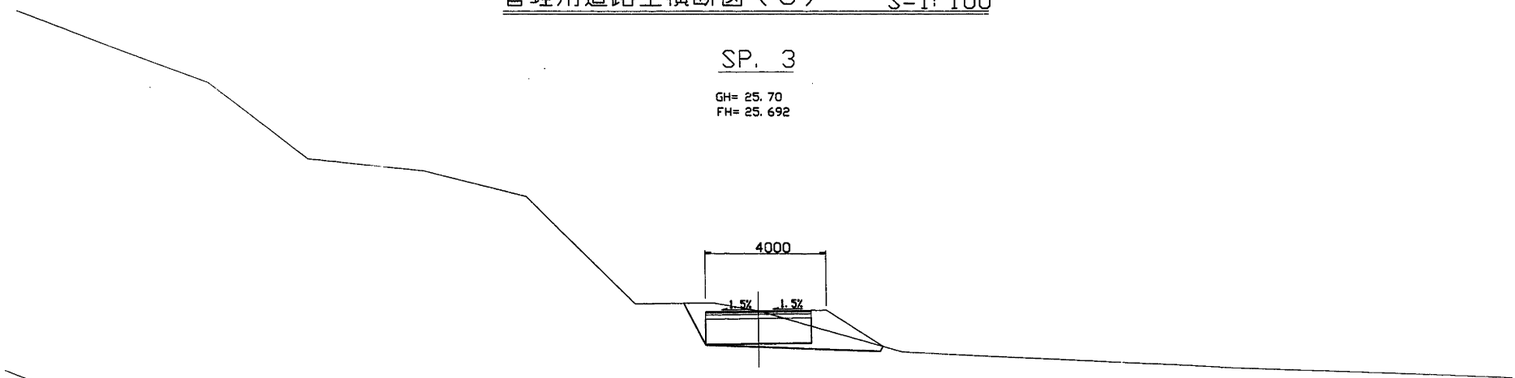
取り外し式（蓋・南京錠付き）
SUS304

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	道路工構造図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-45/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（５）　S=1：100

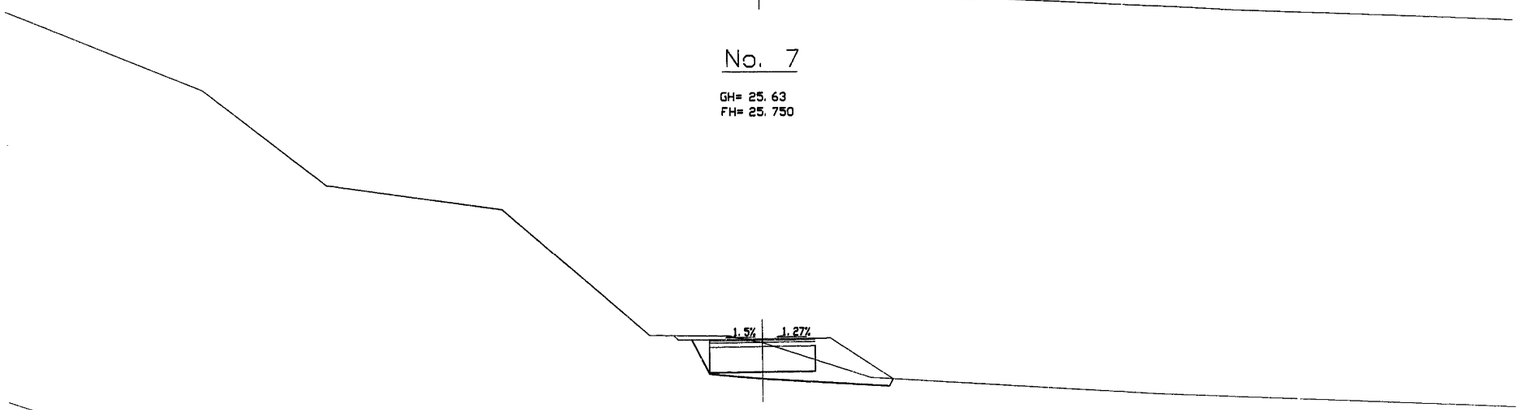
SP. 3

GH= 25.70
FH= 25.692



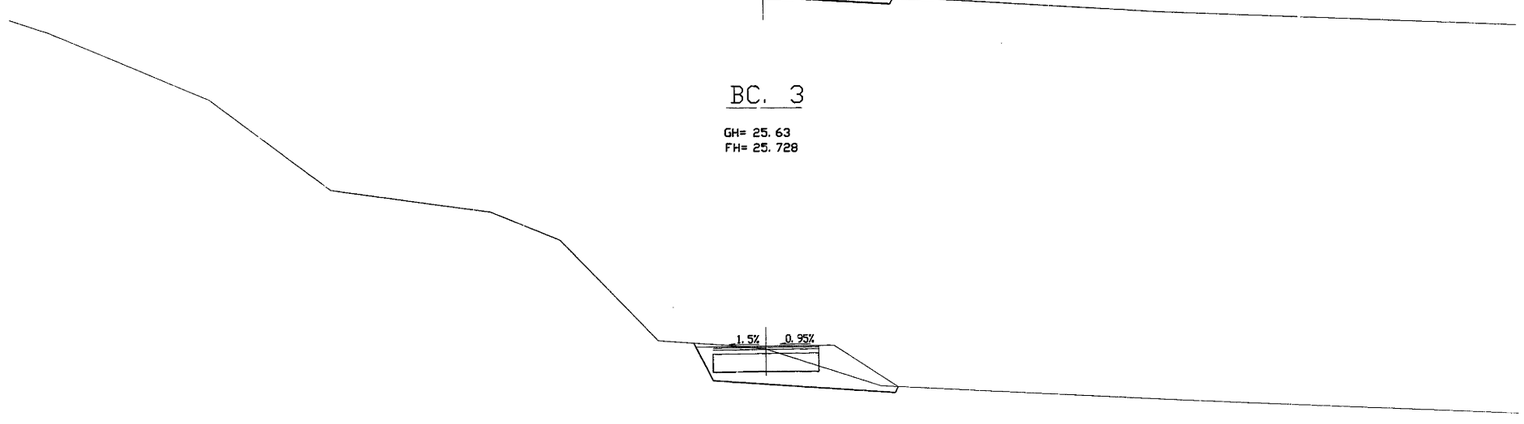
No. 7

GH= 25.63
FH= 25.750



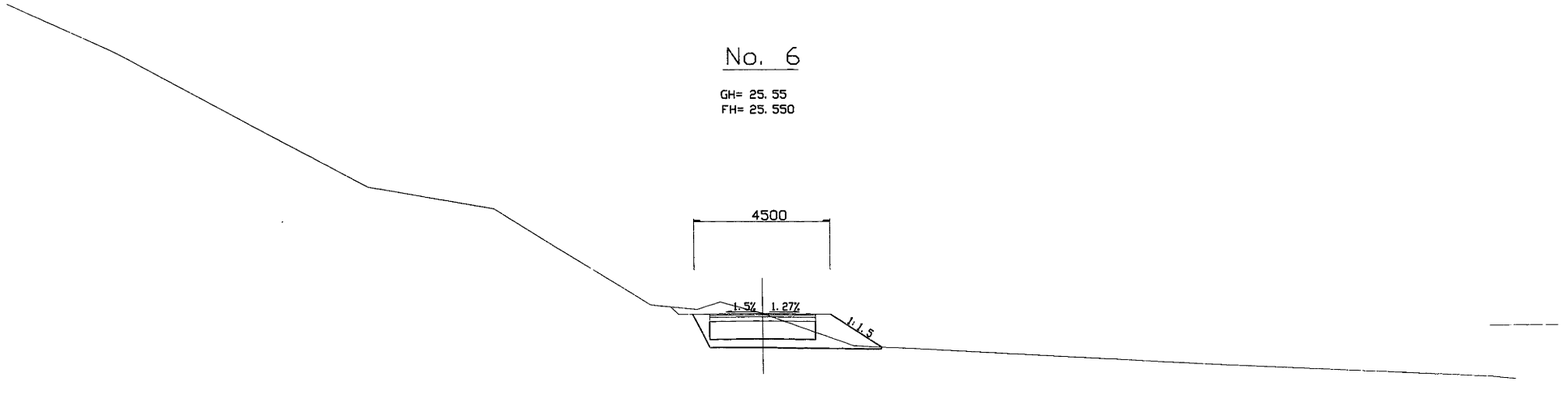
BC. 3

GH= 25.63
FH= 25.728



No. 6

GH= 25.55
FH= 25.550

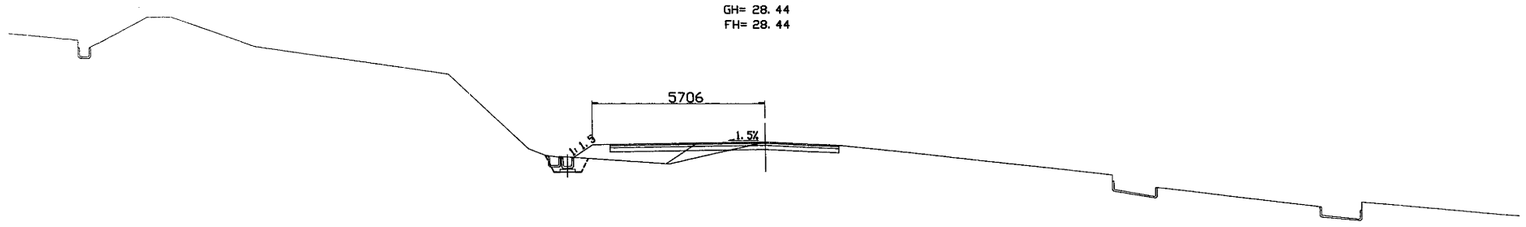


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(5)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-46/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（６）　S=1：100

E. P

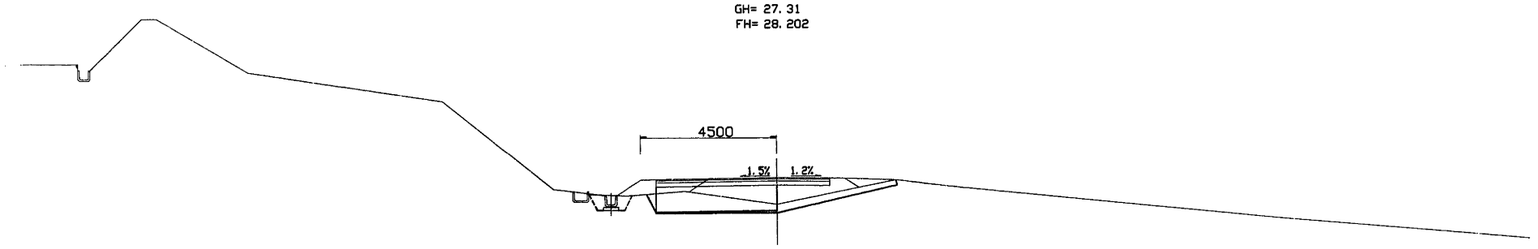
GH= 28. 44
FH= 28. 44



DL=25. 00

No. 9

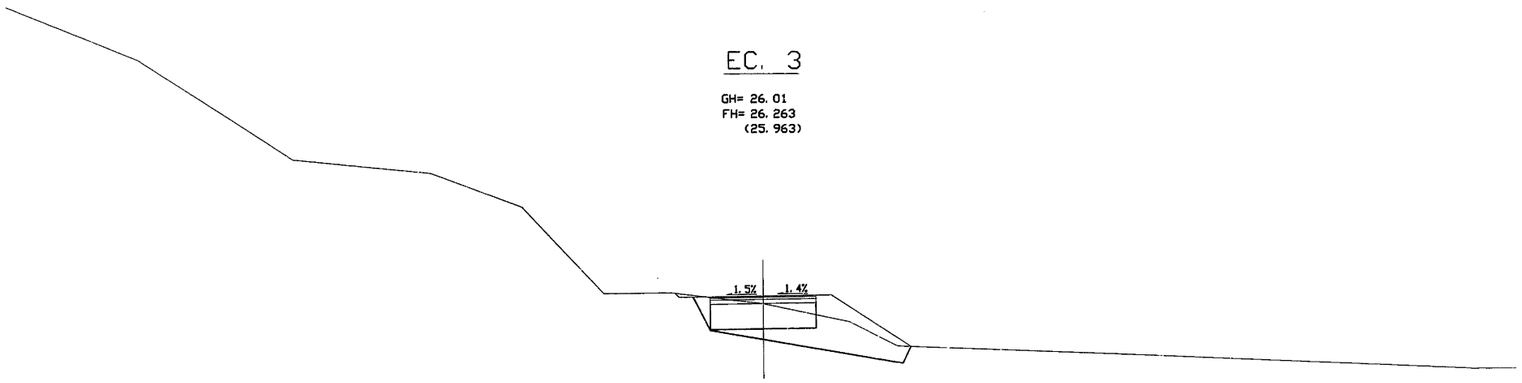
GH= 27. 31
FH= 28. 202



DL=25. 00

EC. 3

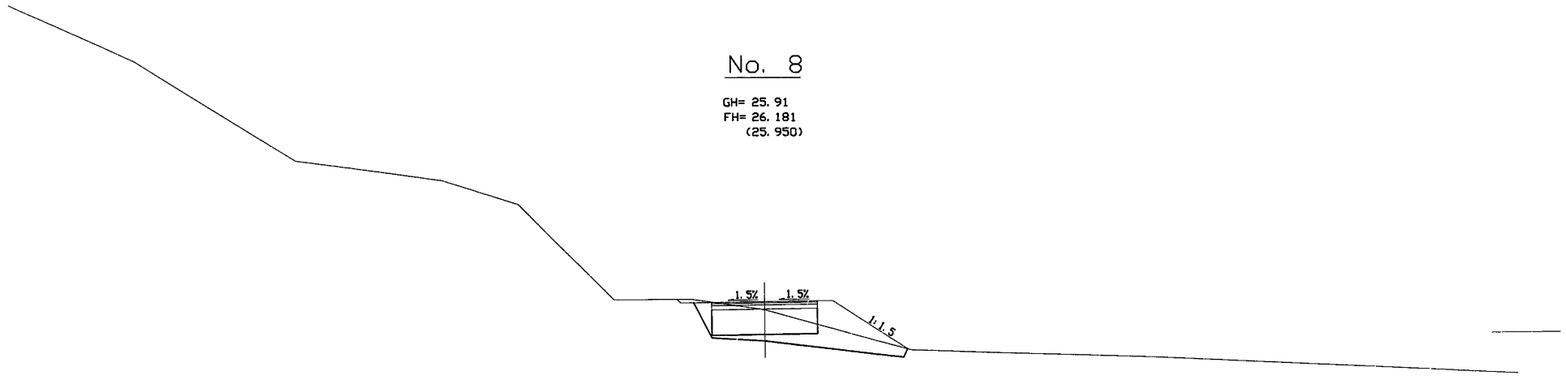
GH= 26. 01
FH= 26. 263
(25. 963)



DL=25. 00

No. 8

GH= 25. 91
FH= 26. 181
(25. 950)



DL=25. 00

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(6)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-47/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

管理用道路工横断図（7）S=1:100

No. 32

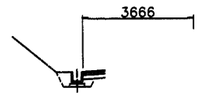
GH= 32.75
FH= 00.00

▽32.21

DL=30.00

EC. 7

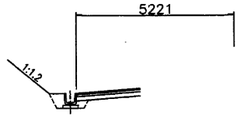
GH= 32.24
FH= 00.00



DL=30.00

No. 31

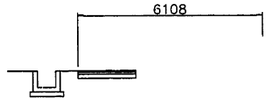
GH= 30.64
FH= 00.00



DL=30.00

BC. 7

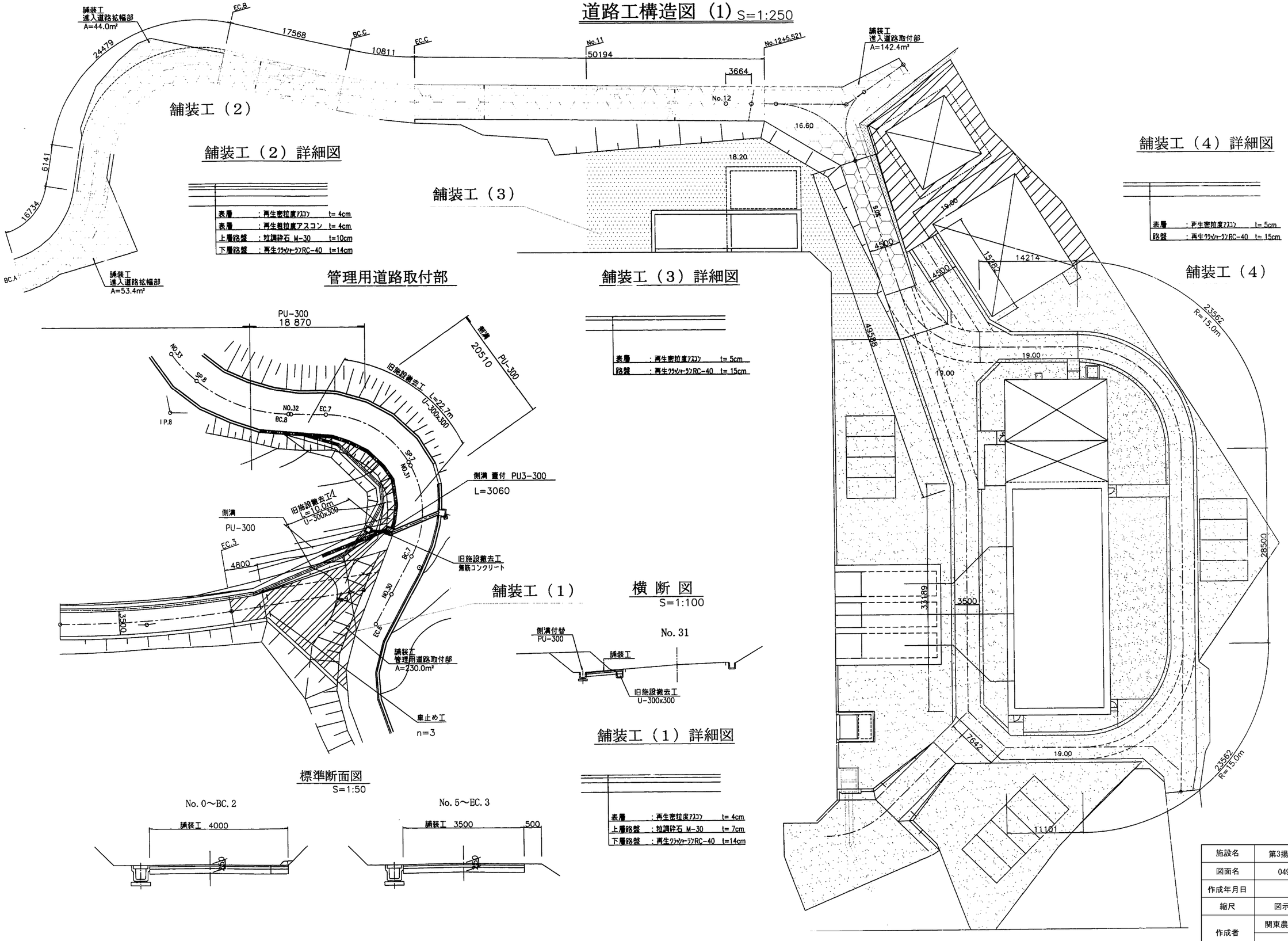
GH= 29.28
FH= 00.00



DL=25.00

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路工横断図(7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-48/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

道路工構造図（1） S=1:250



舗装工（1）詳細図

表層 ：再生密粒度アスコン t= 4cm
上層路盤 ：粒調砕石 M-30 t= 7cm
下層路盤 ：再生クラッシャーランRC-40 t=14cm

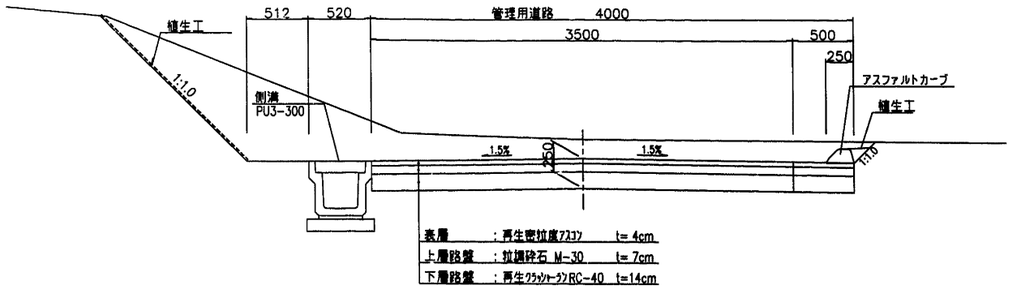
横断図
S=1:100

標準断面図
S=1:50

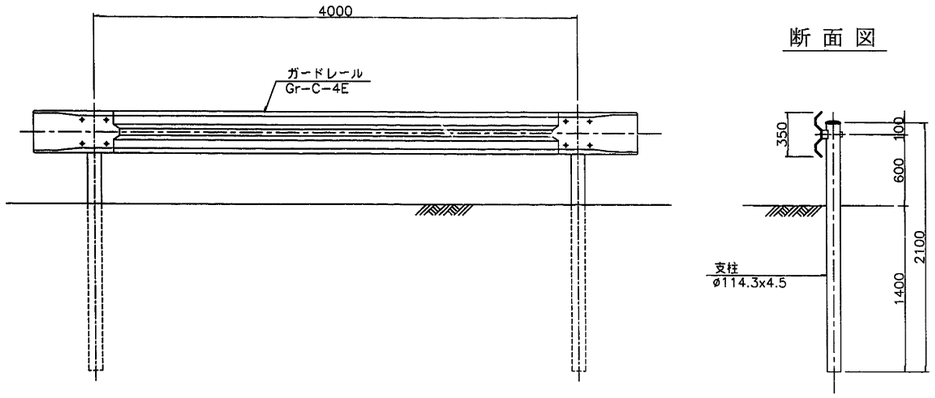
施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	049_0098_道路工構造図(1)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-49/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

道路工構造図(2) S=1:25

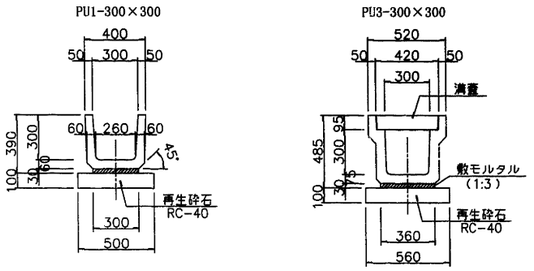
管理用道路標準断面図



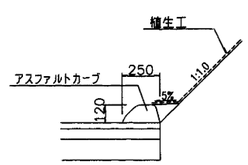
ガードレール詳細図



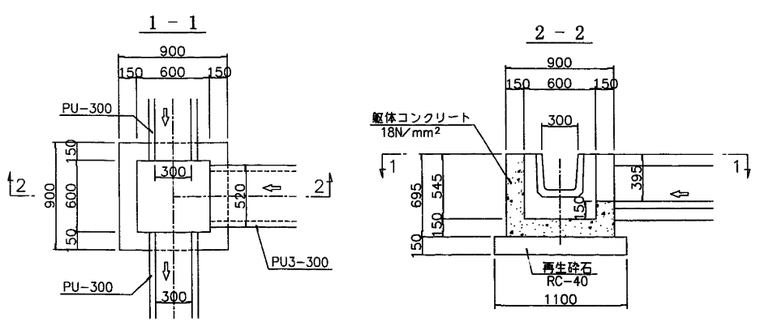
側溝詳細図
S=1:20



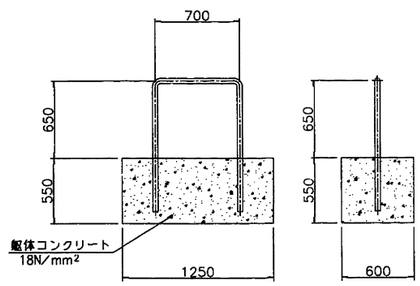
アスファルトカーブ詳細図
S=1:20



接続桝詳細図



車止め工(H650×B700)
S=1:20

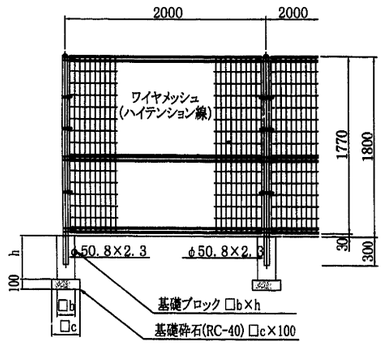


取り外し式（蓋・南京錠付き）
SUS304

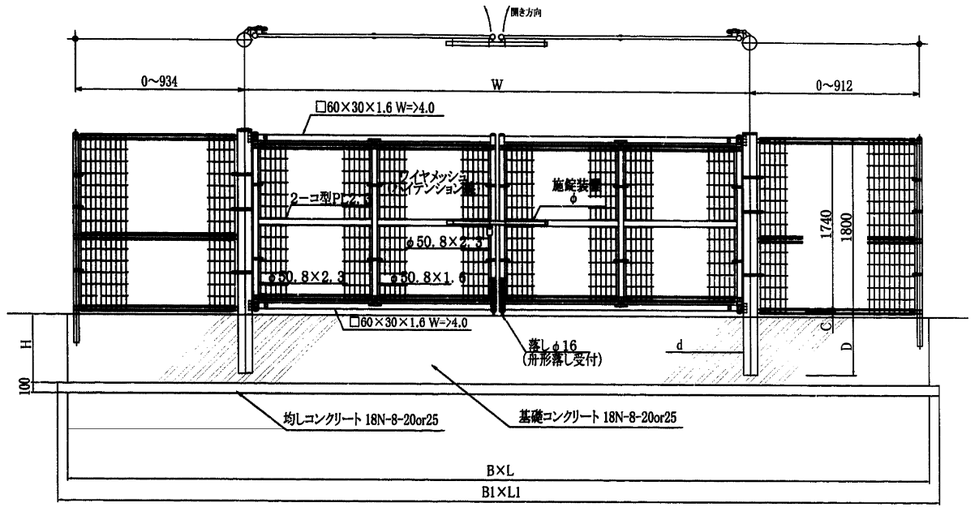
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	道路工構造図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-50/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

メッシュフェンス詳細図

メッシュフェンス H=1.8m　S=1:30

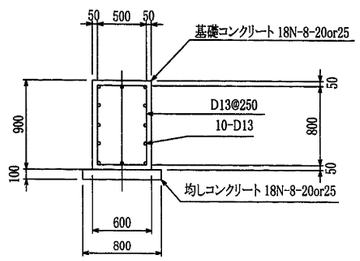


門扉 W=6.0～1.5m S=1:30

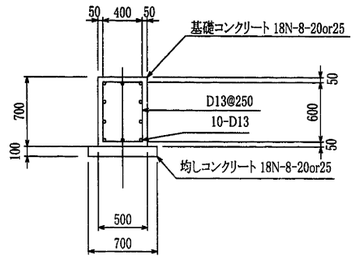


門扉基礎コンクリート配筋図 S=1:30

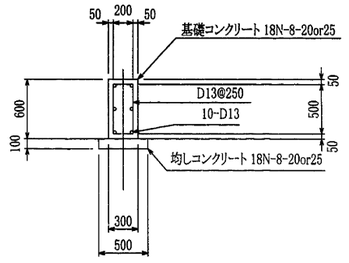
W=6.0m



W=4.0m



W=1.5m



フェンス基礎寸法表

設置箇所	種別	□b (mm)	h (mm)
法肩部	基礎ブロック	300	600
	基礎砕石	400	100
法尻部	基礎ブロック	200	450
	基礎砕石	300	100

門扉各部寸法表

門扉幅W(m)	d (mm)	C (mm)	D(mm)	φ (mm)
6.0	139.8	60	600	38.1
4.0	89.1	60	500	38.1
1.5	60.5	30	350	16.0

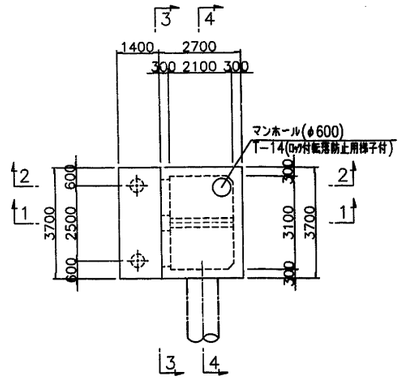
門扉基礎寸法表

門扉幅W(m)	種別	B,B1(mm)	L,L1(mm)	h (mm)
6.0	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	600	8500	900
	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	800	8700	100
4.0	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	500	5700	700
	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	700	5900	100
1.5	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	300	1800	600
	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	500	2000	100

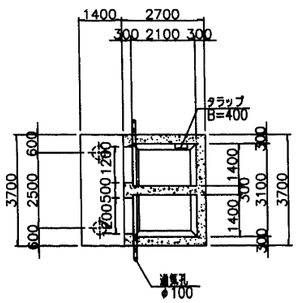
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	フェンス工構造図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-51/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

放流工構造図 S=1:100

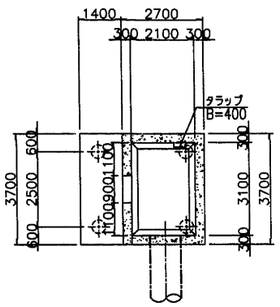
平面図



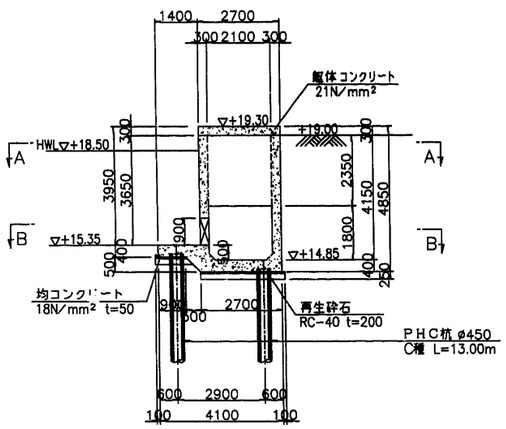
A－A



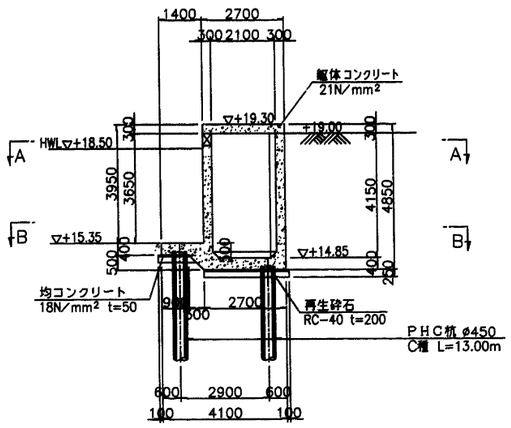
B－B



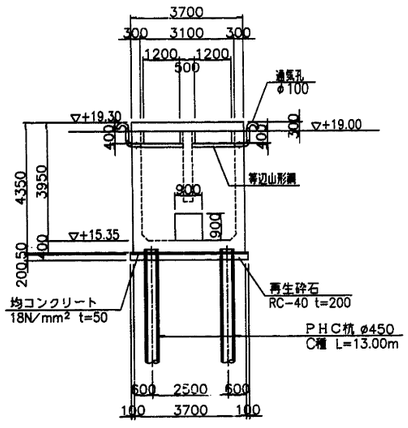
1－1



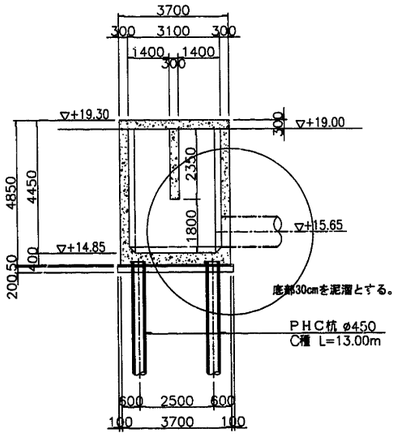
2－2



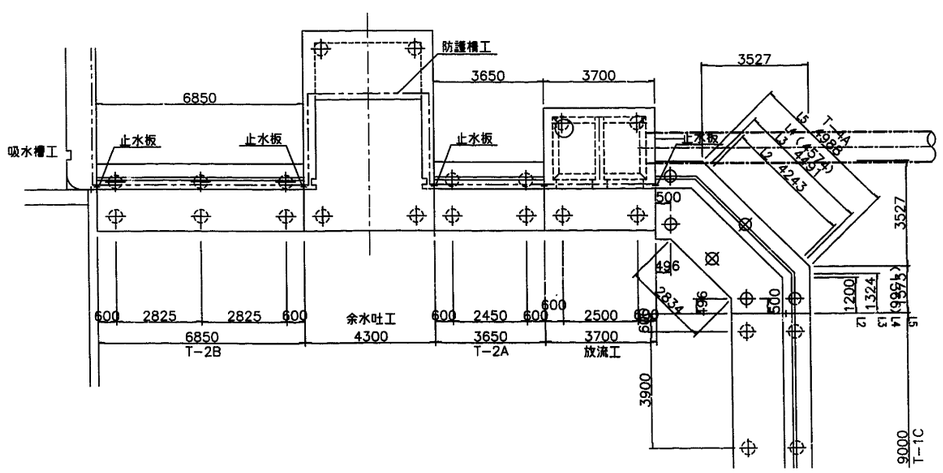
3－3



4－4

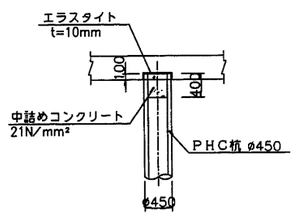


⑥



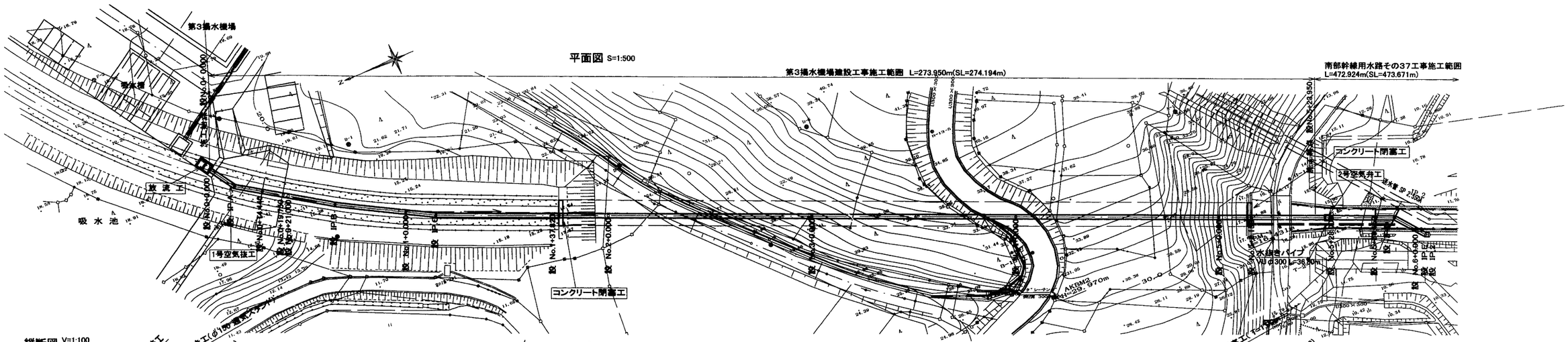
杭頭詳細図

S=1:50

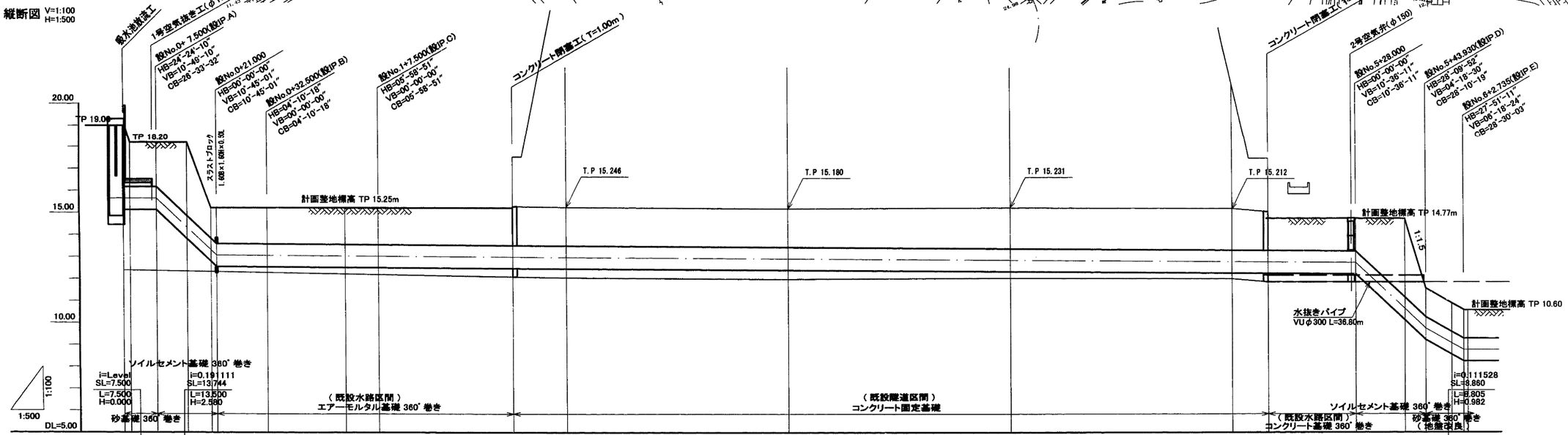


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-52/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

平面図 S=1:500



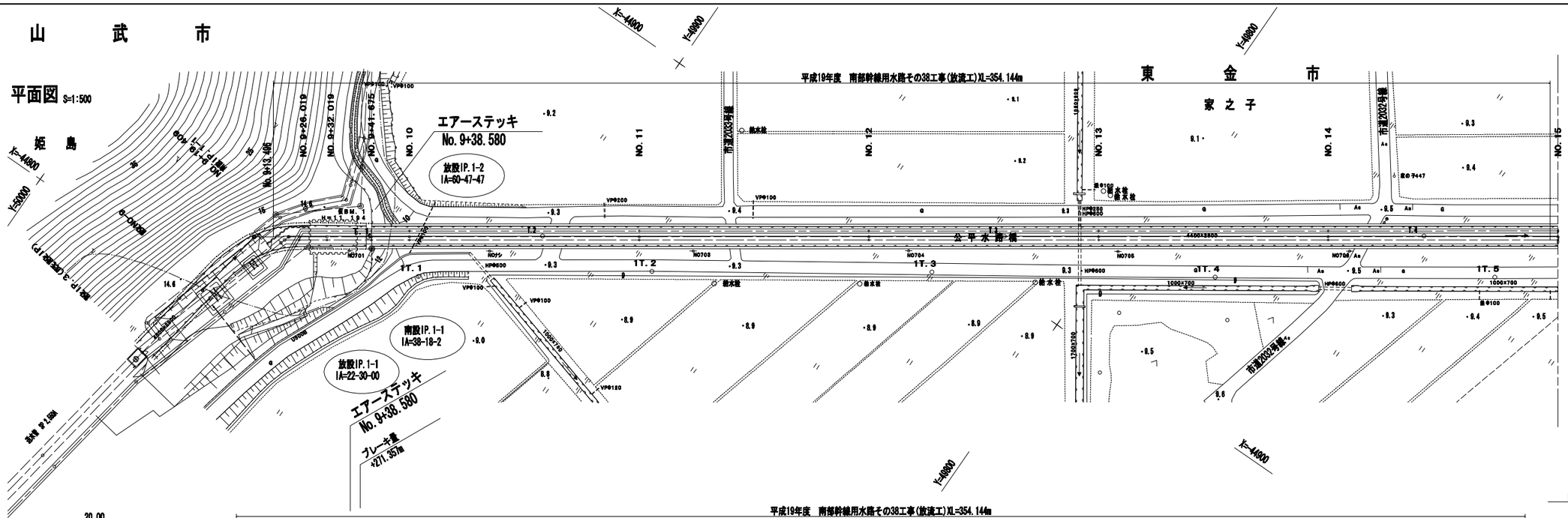
縦断図 V=1:100 H=1:500



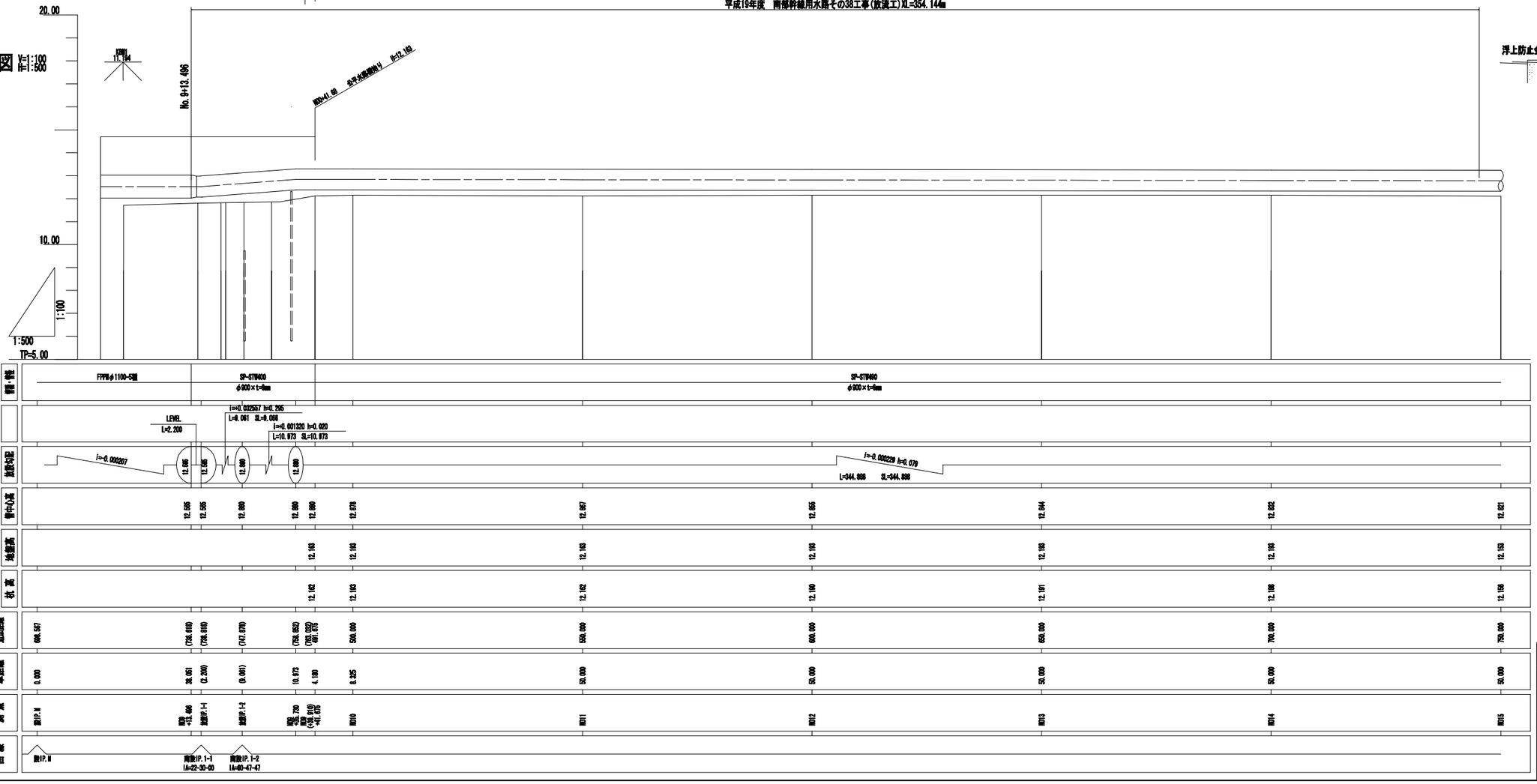
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (1/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:707 V=1:100 V=1:141
図面番号	6-53/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

山　　武　　市

平面図 S=1:500



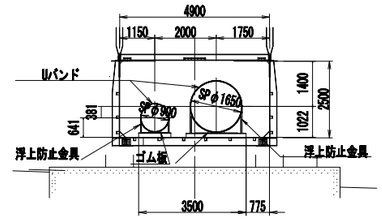
縦断図 V=1:100 H=1:500



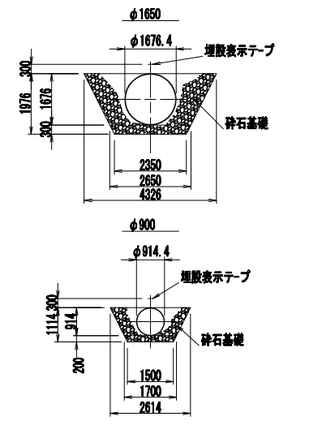
標準断面図

水路橋区間

S=1/100

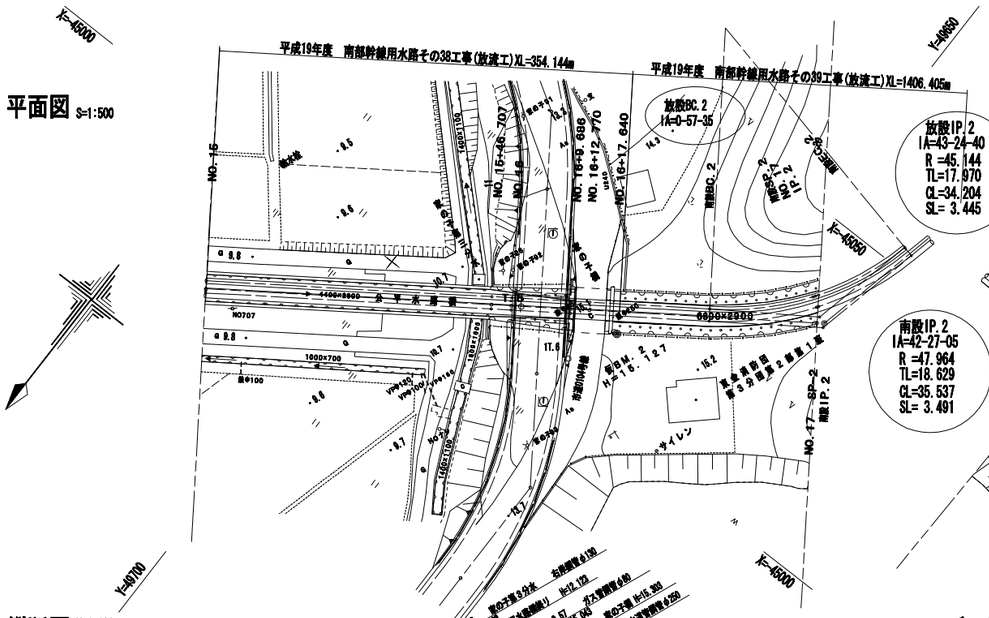


始点区間

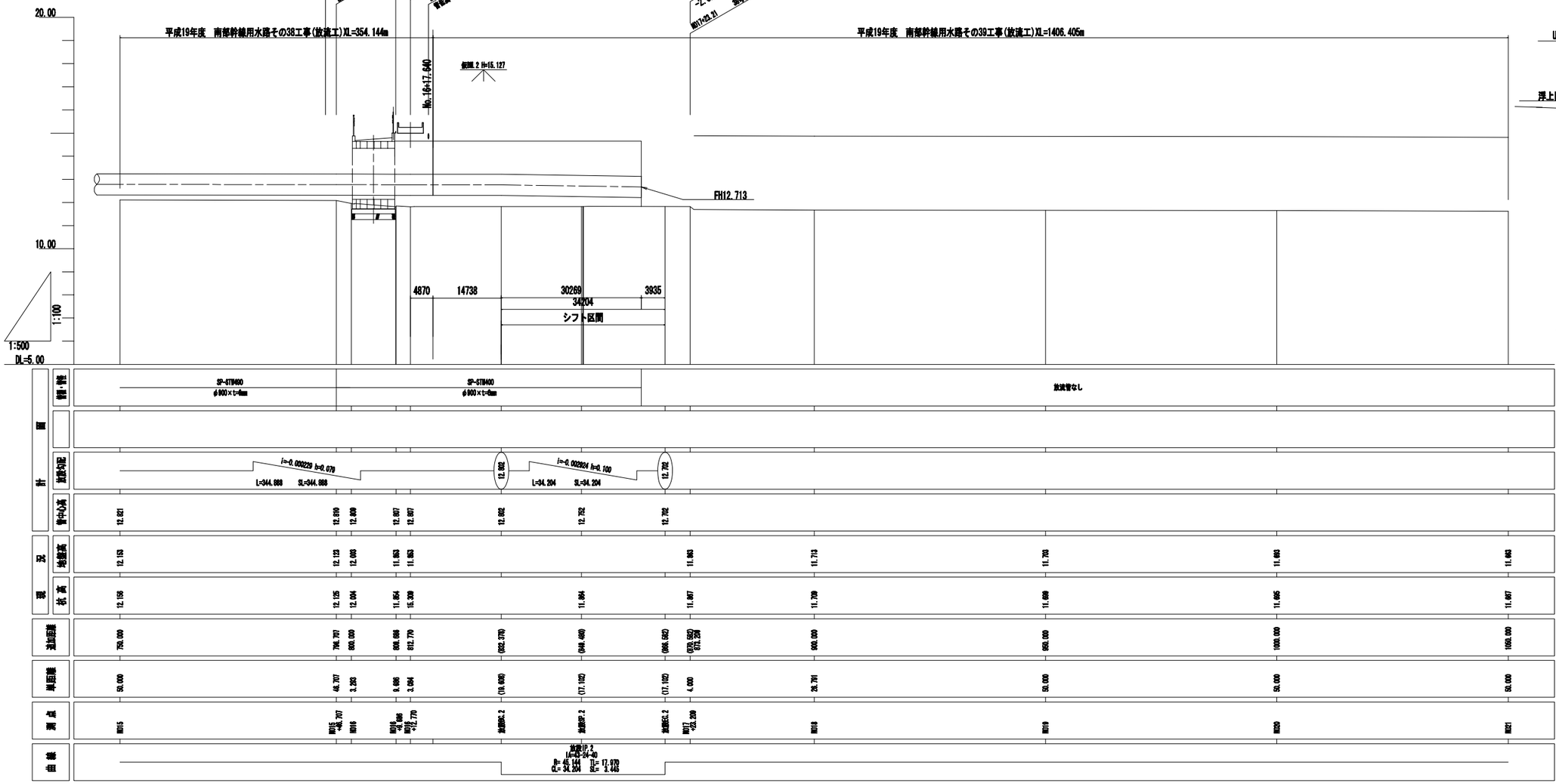


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (2/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:707 V=1:100 V=1:141　図面番号　6-54/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

平面図 S=1:500



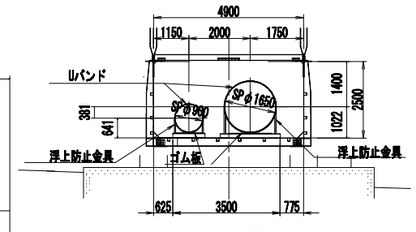
縦断図 V=1:100 H=1:500



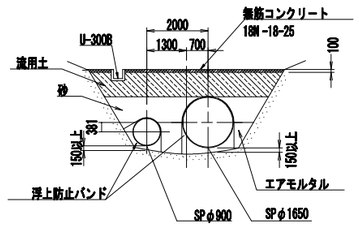
標準断面図

S=1/100

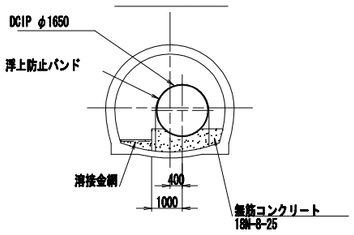
水路橋区間



開水路区間

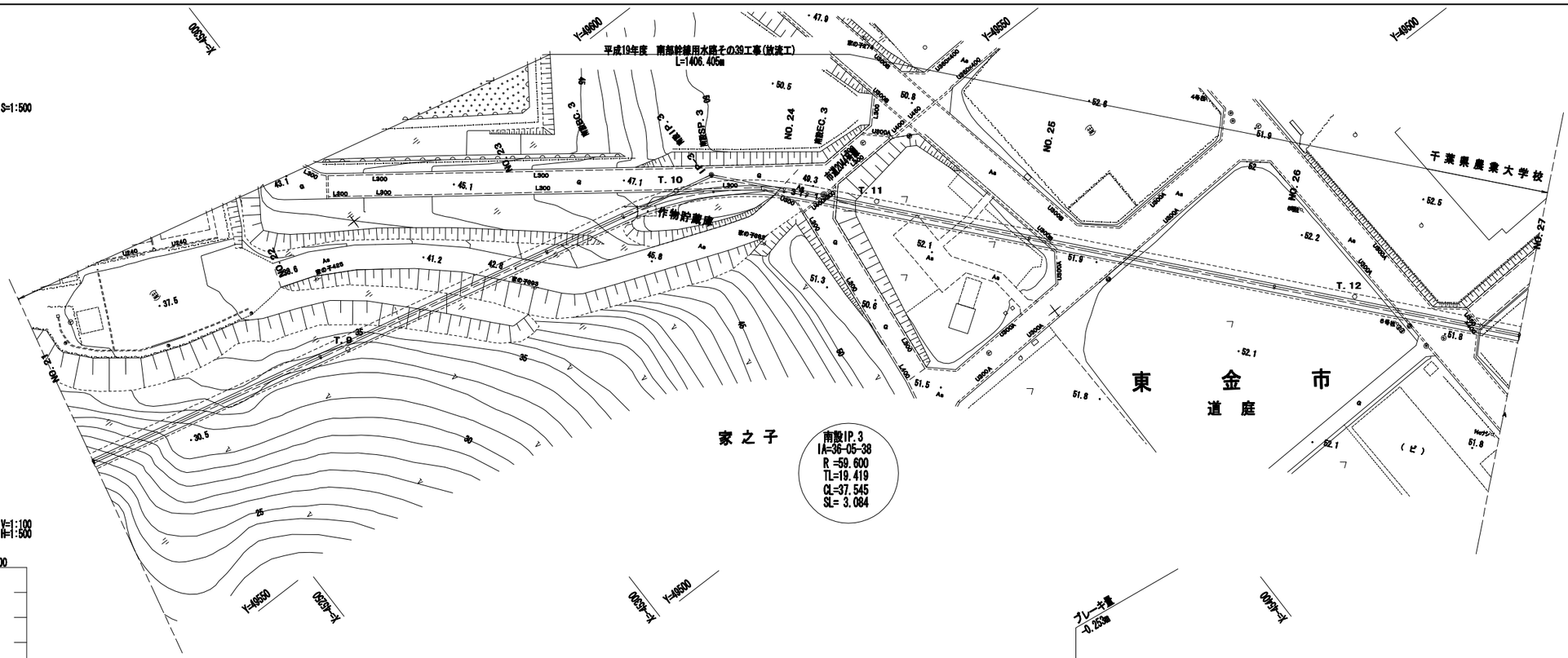


トンネル区間

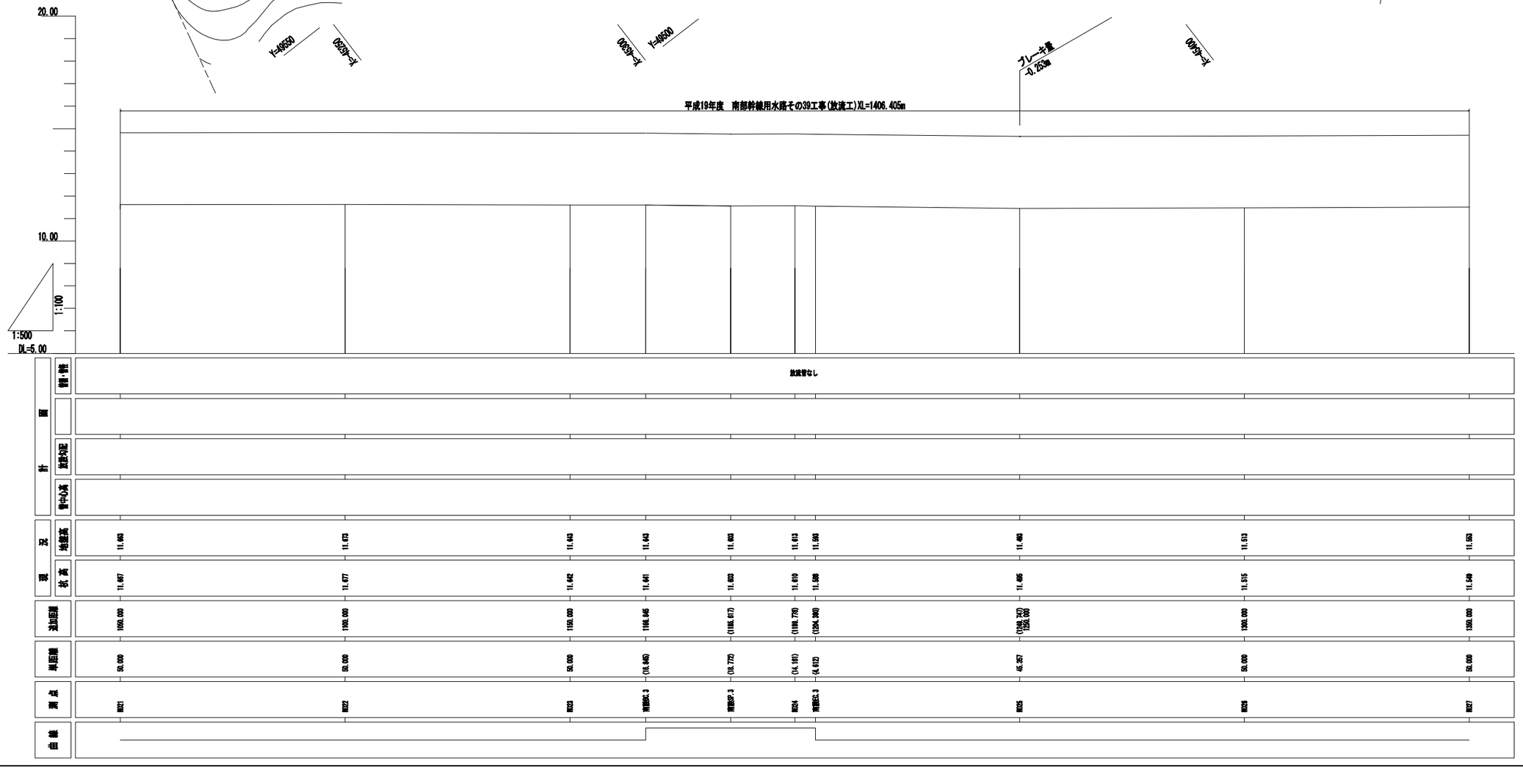


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (3/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:707 V=1:100 V=1:141　図面番号 6-55/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

平面図 S=1:500



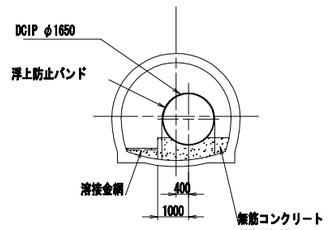
縦断図 V=1:100 H=1:500



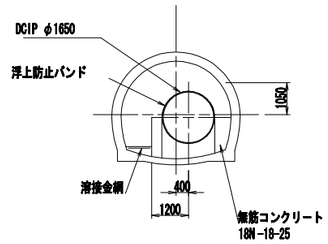
標準断面図

S=1/100

トンネル区間



スラストブロック区間

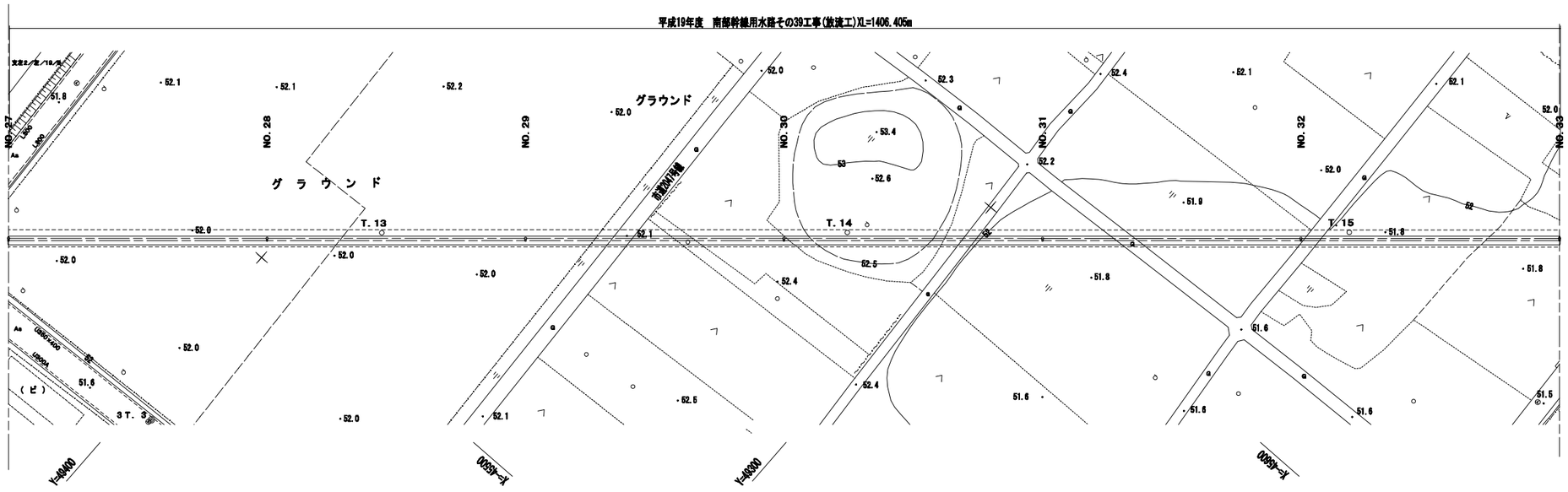


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (4/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:707 V=1:100 V=1:141　図面番号 6-56/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

東　金　市

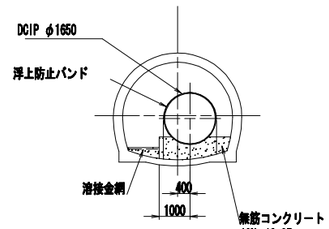
道　庭

平面図 S=1:500

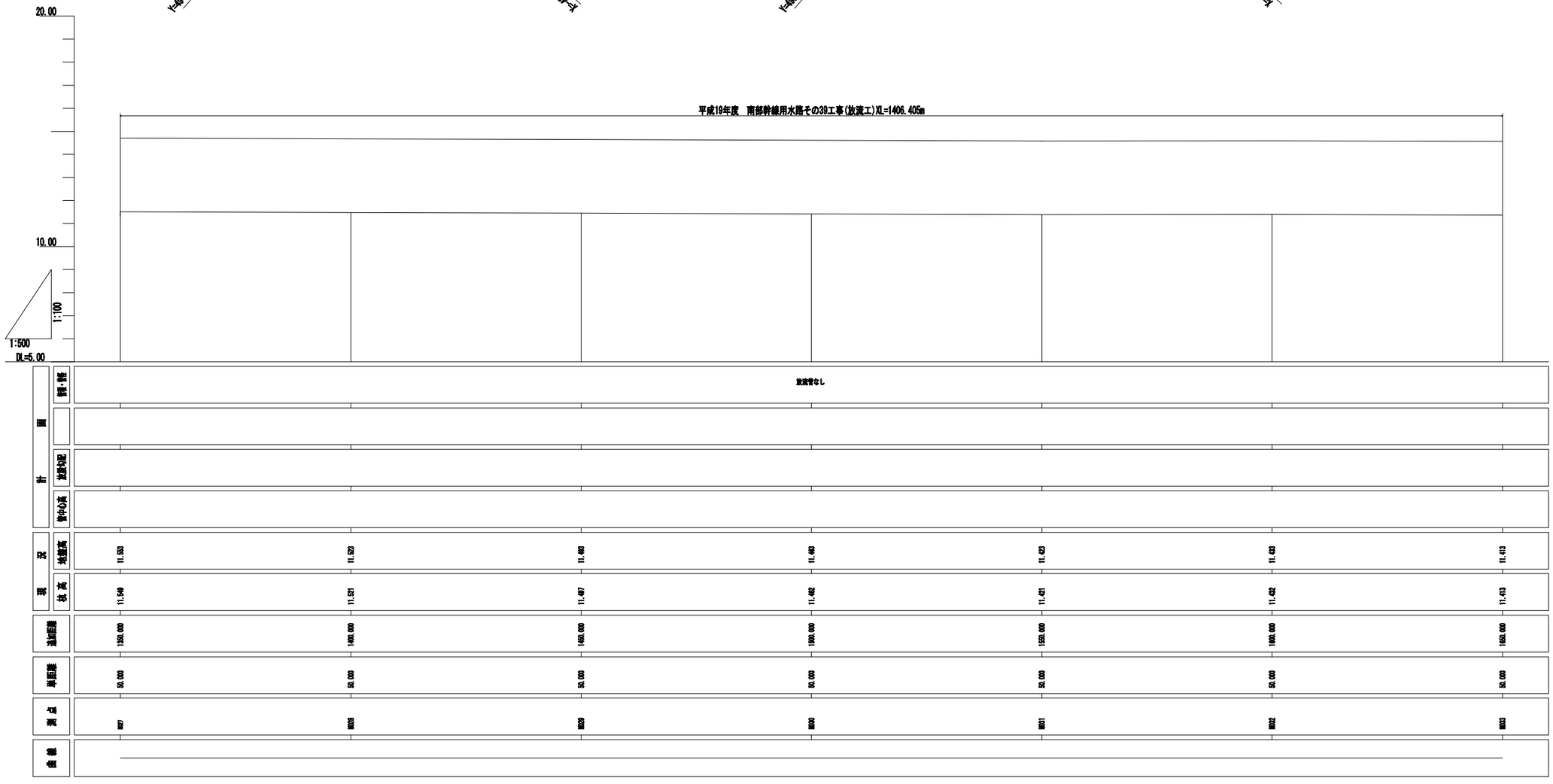


標準断面図

トンネル区間　S=1/100



縦断図 V=1:100 H=1:500



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管平面図．縦断図 (5/8)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 H=1:500 V=1:100 A2 H=1:707 V=1:141	図面番号	6-57/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

平面図 S=1:500

平成19年度　南部幹線用水路その39工事(放流工)XL=1406.405m

放設IP.4
IA=51-54-22
R =52.238
TL=25.425
CL=47.324
SL= 5.859

南設IP.4
IA=52-34-52
R =53.313
TL=26.338
CL=48.926
SL= 6.151

スラストブロック

東　金　市

平成19年度　南部幹線用水路その39工事(放流工)XL=1406.405m

放設IP.5
IA=30-03-50
R =48.298
TL=12.970
CL=25.343
SL= 1.711

南設IP.5
IA=30-03-50
R =46.448
TL=12.473
CL=24.372
SL= 1.646

点検孔
No.36+9.955

スラストブロック

東　金　市
松之郷

車止め工詳細図　S=1:30

道　庭

車止め工(H650×B700)
SUS304
取り外し式(壷・南京錠付き)
無筋コンクリート
18N-8-20or25
砕石

縦断図 V=1:100 H=1:500

1:500
DL=5.00

FH12.518

2272 LEVEL

シフト区間

管種・断面		放流管なし	FRPM φ1100-5種	FRPM φ1100-5種	FRPM φ1100-5種	FRPM φ1100-5種
計画	土被り	1.440	0.906	0.919	0.824	
	放流水位	12.517	i=-0.000551 h=0.310 L=47.324 SL=47.325	12.207	i=-0.000294 h=0.123 L=417.739 SL=417.739	
	管中心高	12.517	12.382	12.207	12.199	12.179 12.179 12.178 12.172 12.168 12.164
現況	地盤高	11.403	11.403	11.393	11.353	11.393 11.393
	仮高	11.413 11.407	11.402 11.398	11.400	11.384 14.679	11.392 11.395
追加距離		1650.000	1750.000 1750.000 (1752.262)	(1774.864)	(1800.526)	(1845.191) 1850.000 1900.000 1902.250 (1911.101) (1923.772) (1936.444) (1950.022) 1950.000
単距離		50.000	50.000 49.738 0.270 (2.262)	(23.602)	(25.662)	44.809 50.000 2.250 (7.851) (12.671) (12.672) 13.578
測点		NO.33	NO.34 NO.34+9.738 放流IP.4	放流EC.4	放流EC.4	NO.37 NO.38 NO.38+2.250 放流EC.5 放流SP.5 放流EC.5 NO.39
曲線			放流IP.4 IA=51-54-22 R= 52.238 TL= 25.425 CL= 47.324 SL= 5.859			放流IP.5 IA=30-03-50 R= 48.298 TL= 12.970 CL= 25.343 SL= 1.711

標準断面図

S=1/100

トンネル区間

DCIP φ1650
浮上防止バンド
溶接金網
無筋コンクリート
18N-18-25
400
1000

開水路区間

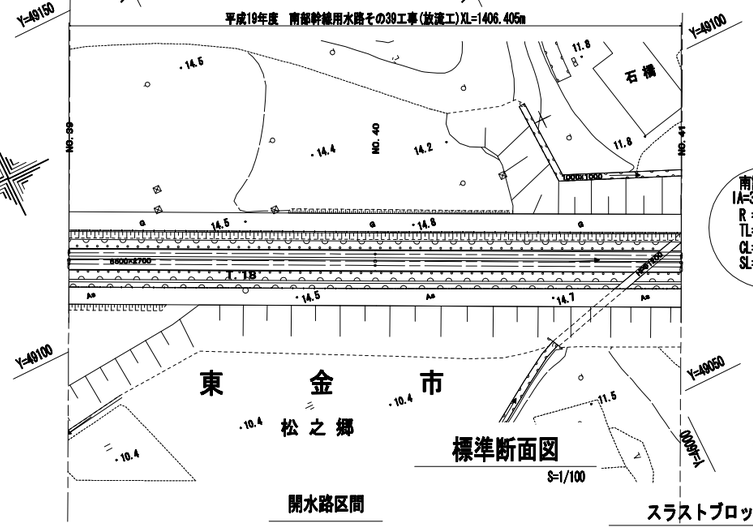
1850
1150　700
18N-8-25
無筋コンクリート
溶接金網
U-300B
流用土
砂
100
300
216
Z22以上
150以上
100以上
浮上防止バンド
FRPM φ1100
エアモルタル
FRPM φ1650

スラストブロック区間

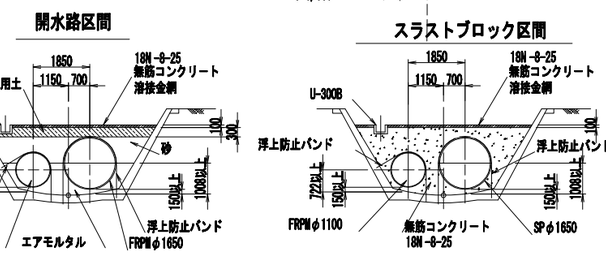
1850
1150　700
18N-8-25
無筋コンクリート
溶接金網
U-300B
100
Z22以上
150以上
100以上
浮上防止バンド
FRPM φ1100
無筋コンクリート
18N-8-25
SP φ1650

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (6/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 V=1:100　A2 H=1:707 V=1:141　図面番号 6-58/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

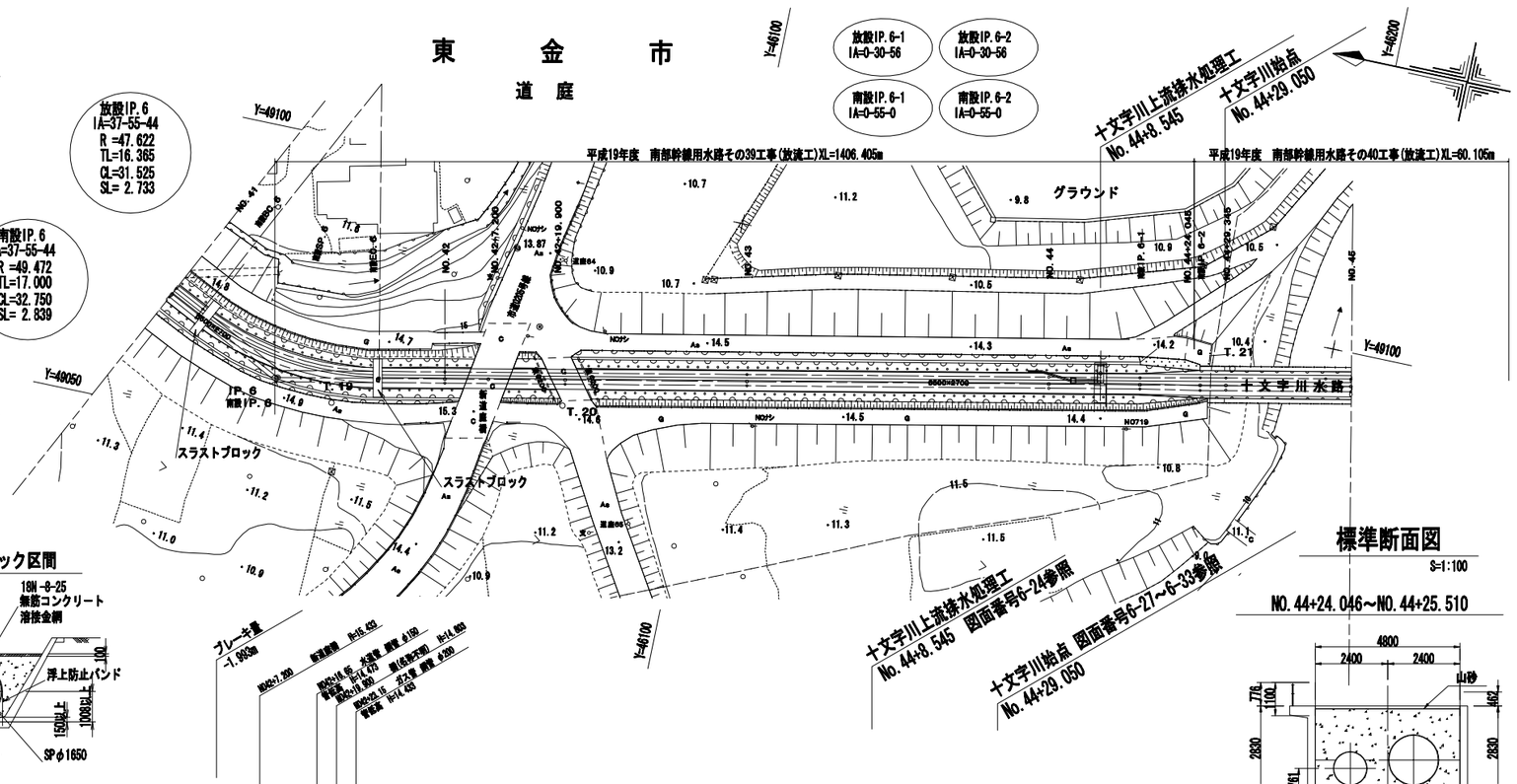
平面図 S=1:500



標準断面図 S=1/100

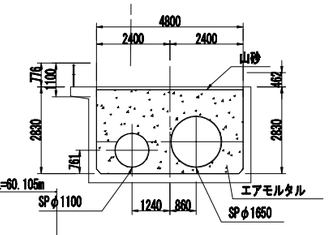


東　金　市　道庭

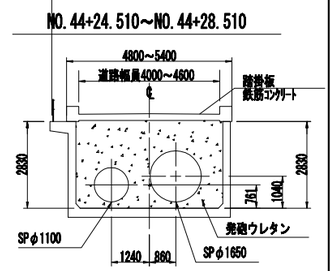


標準断面図 S=1:100

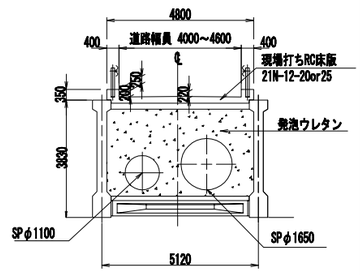
NO.44+24.046～NO.44+25.510



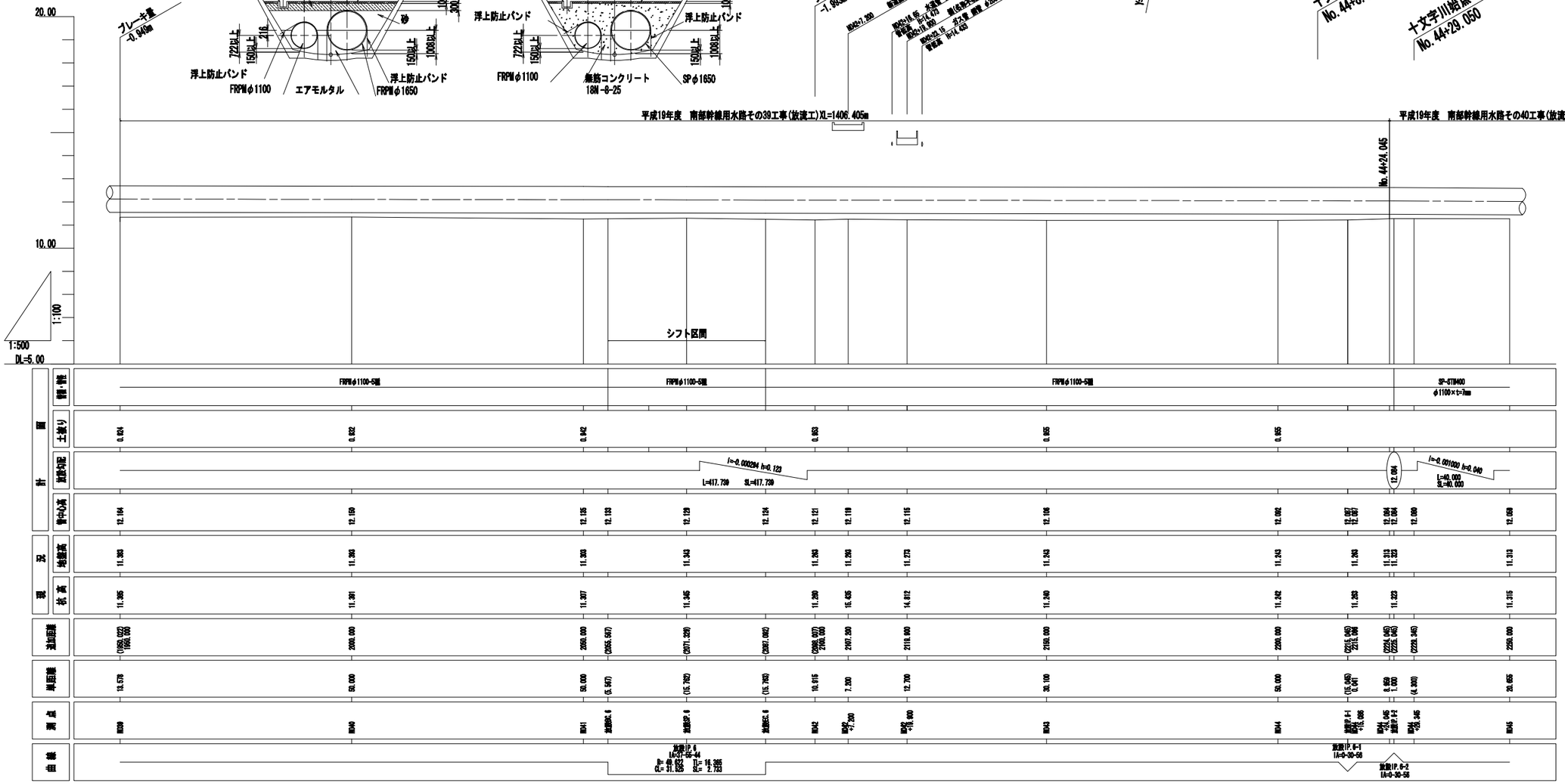
NO.44+24.510～NO.44+28.510



NO44+29.310～NO.45+10.490



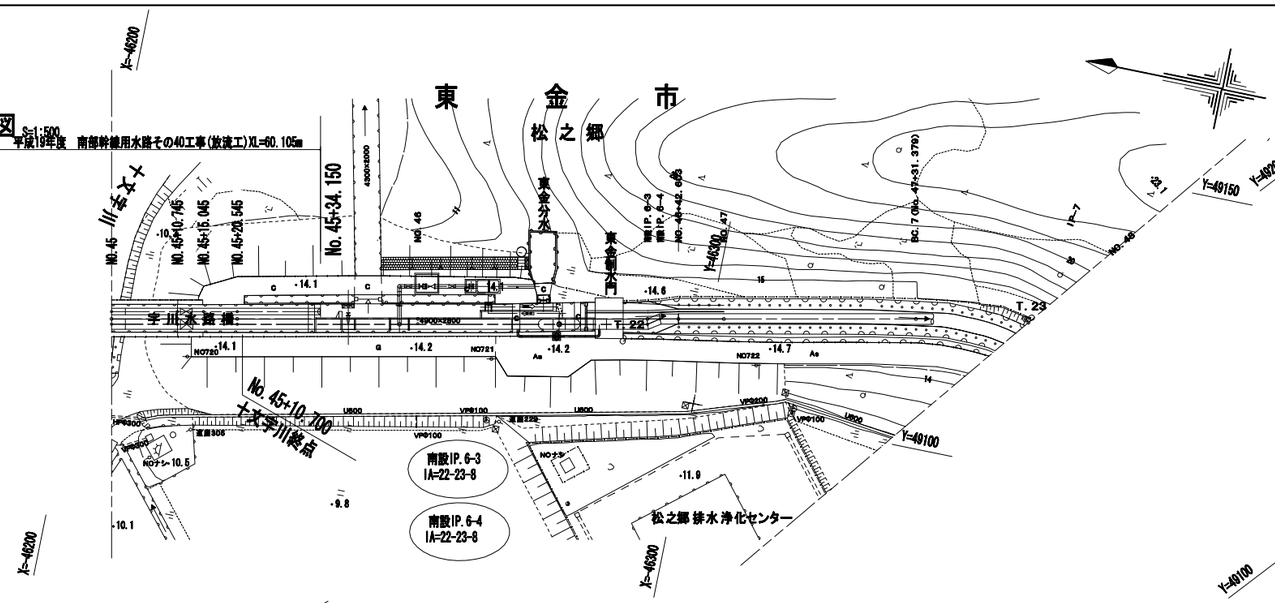
縦断図 V=1:100 H=1:500



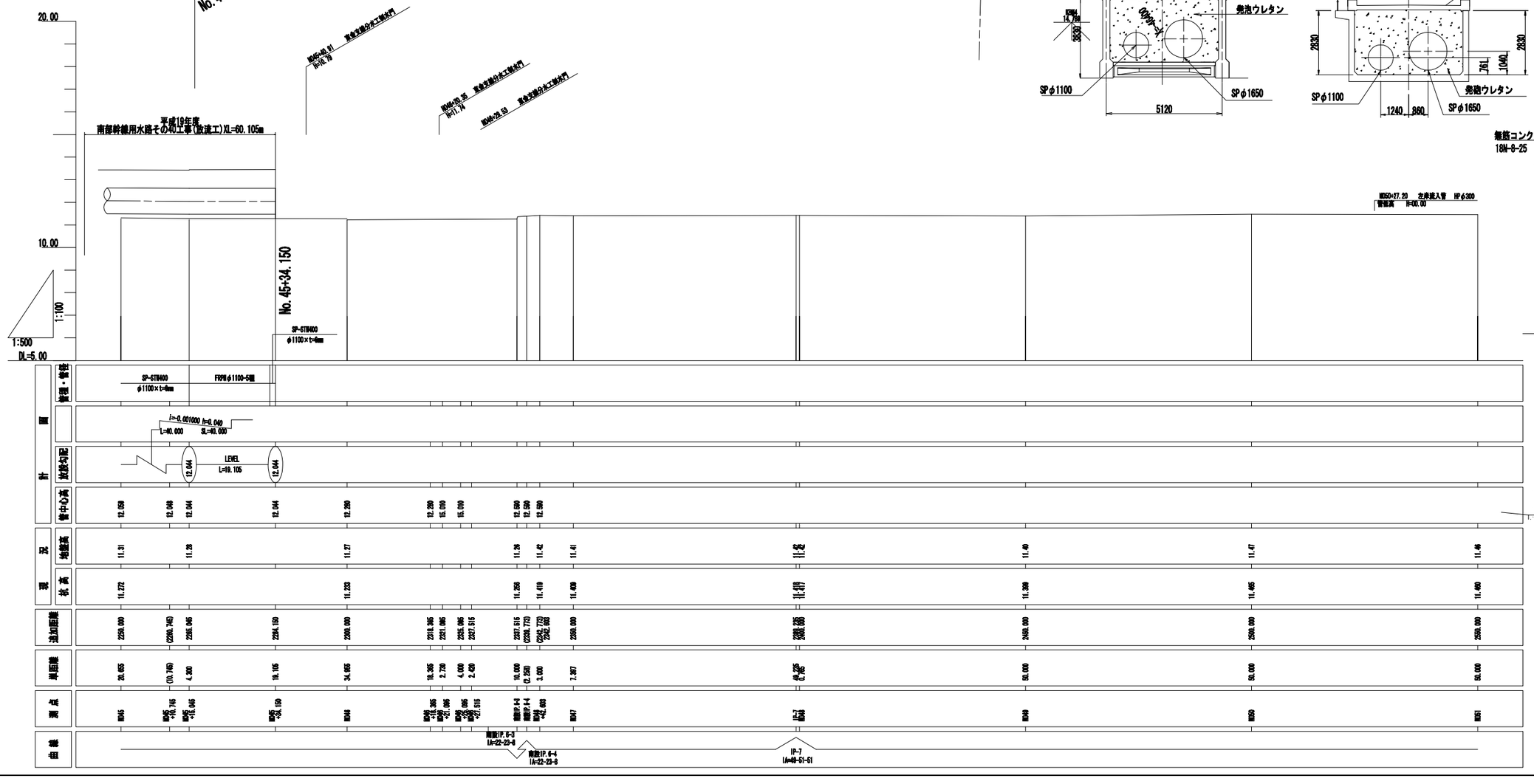
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)			
図面名	放流管平面図．縦断図 (7/8)			
作成年月日	平成25年3月25日			
縮尺	A1 H=1:500 V=1:100	A2 H=1:707 V=1:141	図面番号	6-59/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所			

平面図 S=1:500

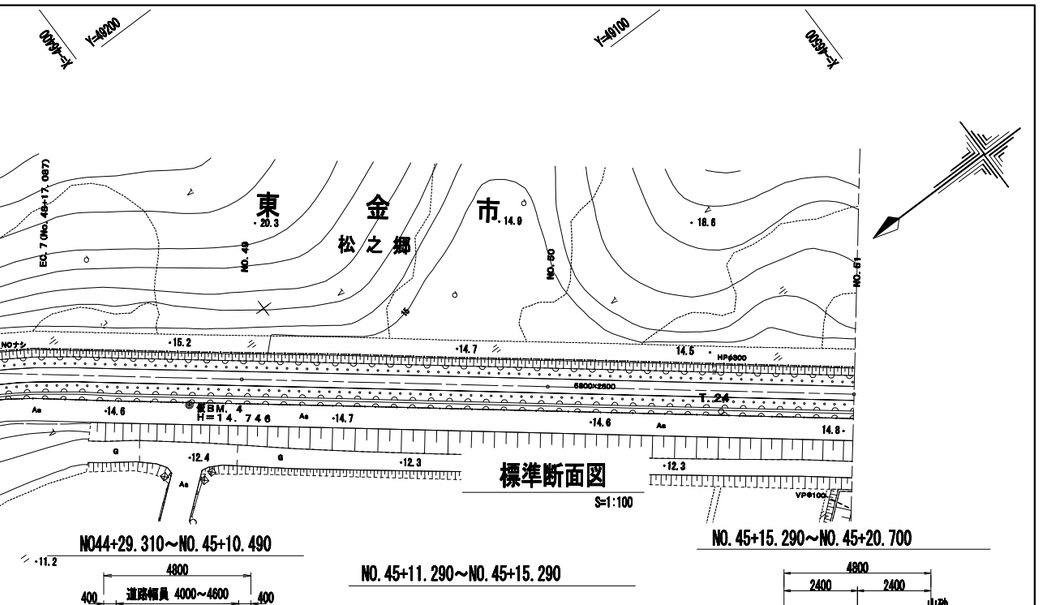
平成19年度　南部幹線用水路その40工事(放流工)XL=60.105m



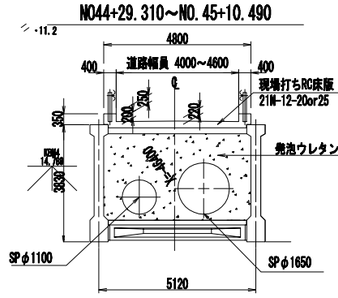
縦断図 V=1:100 H=1:500



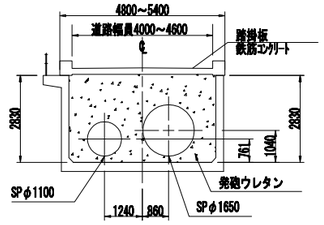
標準断面図 S=1:100



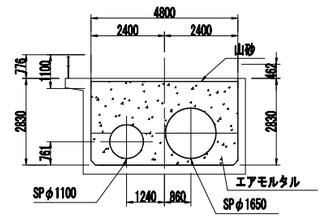
NO44+29.310～NO.45+10.490



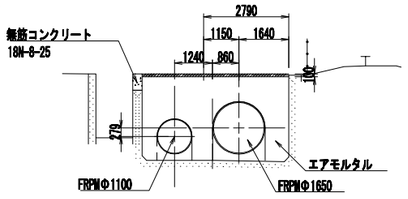
NO.45+11.290～NO.45+15.290



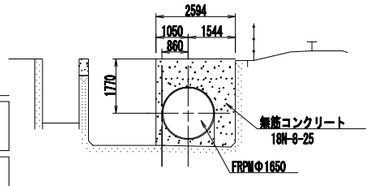
NO.45+15.290～NO.45+20.700



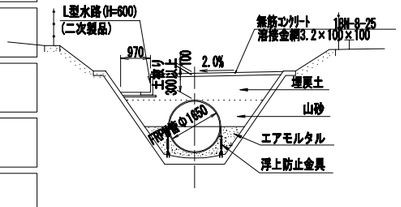
NO.45+20.700～NO.45+32.150



NO.45+34.150～NO.46+27.655



開水路部標準断面 (NO.46+42.603～NO.53)



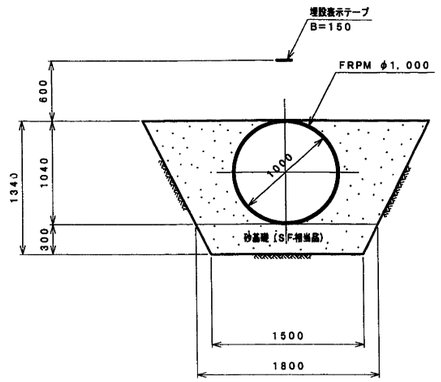
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	放流管平面図．縦断図 (8/8)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 V=1:100 / A2 H=1:707 V=1:141
図面番号	6-60/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

放流管管路基礎標準断面図（1／2）

S=1:30

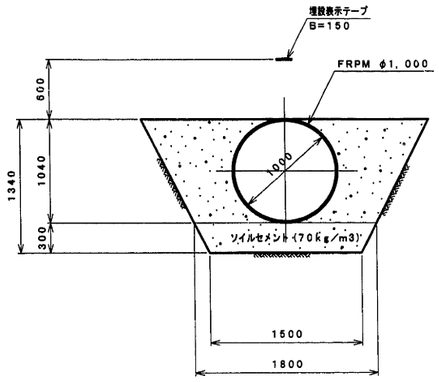
砂基礎360°巻

設No. 0+ 0. 000~設No. 0+ 4. 871



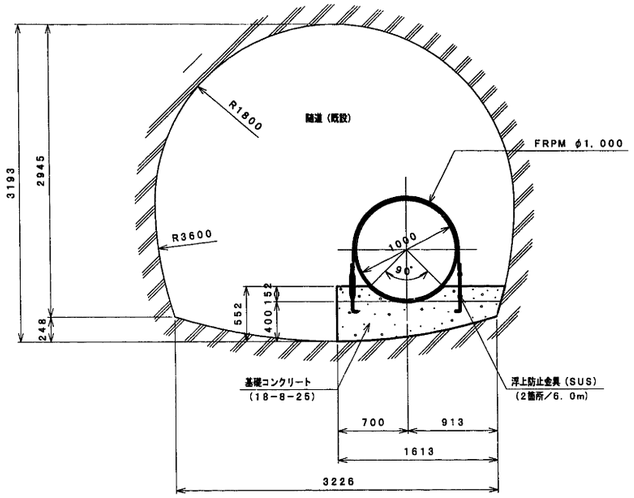
ソイルセメント基礎360°巻

設No. 0+11. 500~設No. 0+21. 000



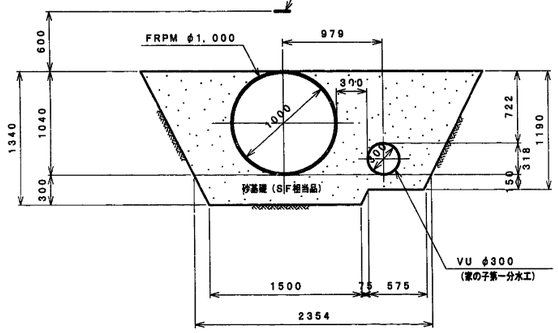
コンクリート固定基礎（随道区間）

設No. 1+38. 820~設No. 5+ 7. 150



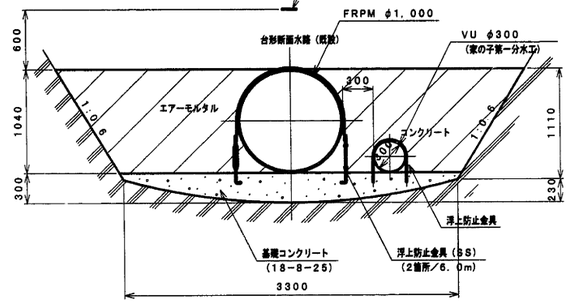
砂基礎360°巻（用水管並列区間）

設No. 0+ 4. 871~設No. 0+ 7. 500



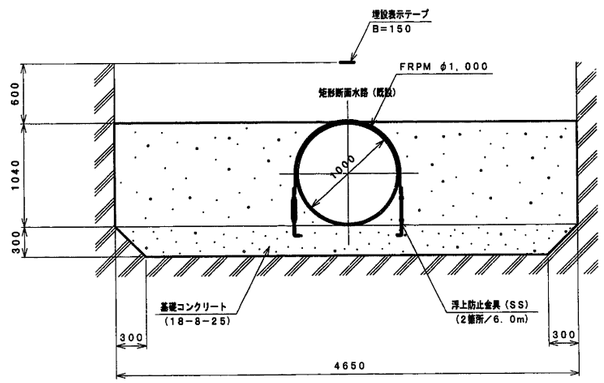
エアーモルタル基礎360°巻（台形断面区間）

設No. 0+21. 000~設No. 1+37. 820



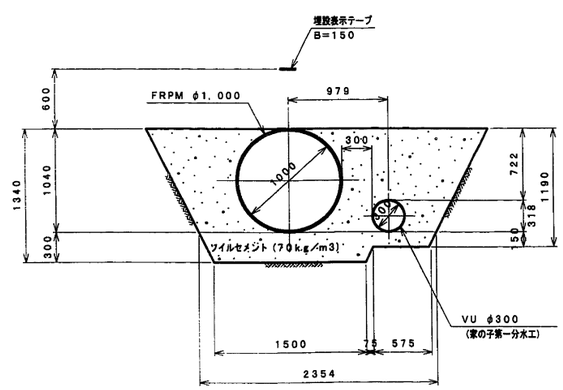
コンクリート基礎360°巻（矩形断面区間）

設No. 5+ 8. 150~設No. 5+23. 950



ソイルセメント基礎360°巻（用水管並列区間）

設No. 0+ 7. 500~設No. 0+11. 500

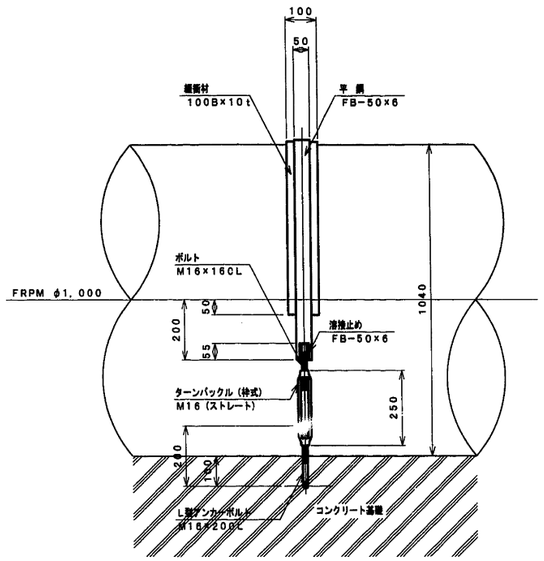


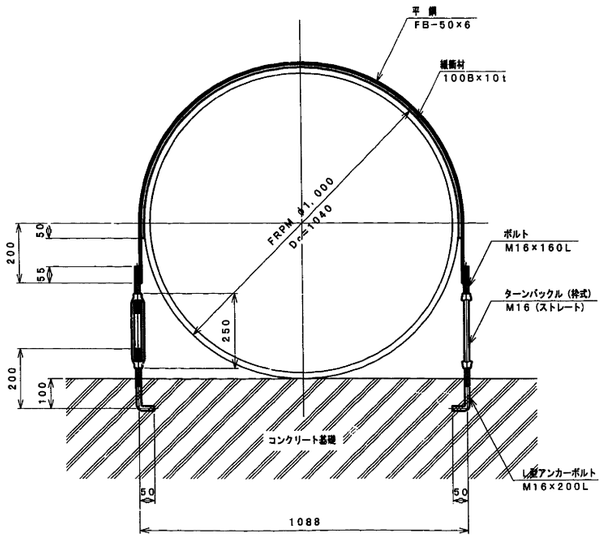
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管管路基礎標準断面図(1／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-61/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

放流管管路基礎標準断面図（2／2）

S=1:10

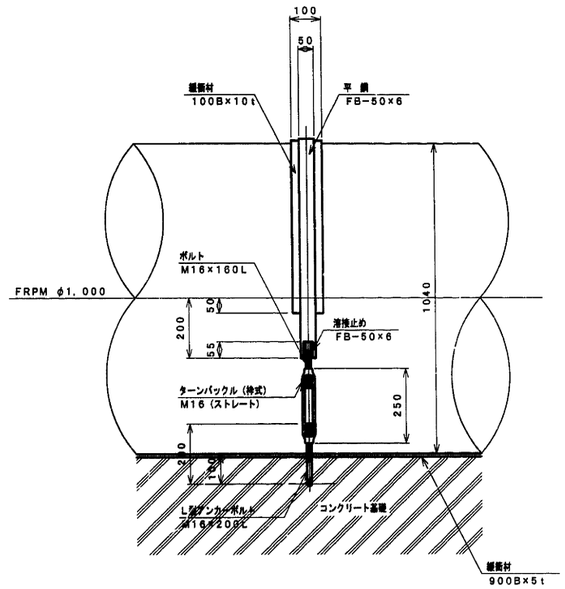
エアーモルタル基礎浮上防止金具構造図

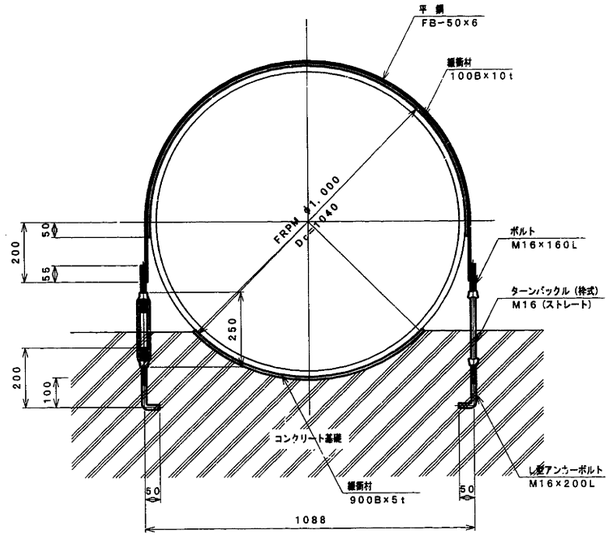




補剛材の材質は、「SS400」とする。

コンクリート基礎浮上防止金具構造図（隧道内）





補剛材の材質は、「SUS304」とする。

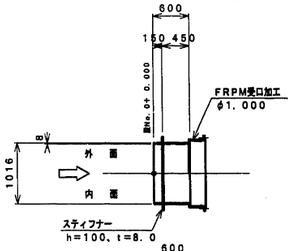
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管管路基礎標準断面図(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-62/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

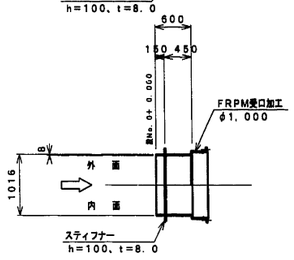
放流管鋼製異形管詳細図

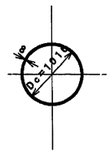
S=1:50

短　　管

管符号　①
管材質　STW 400
管　厚　T= 8mm

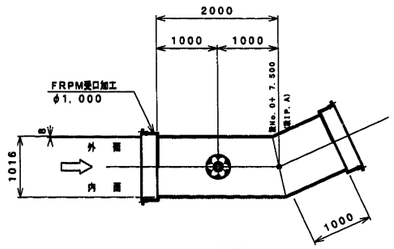


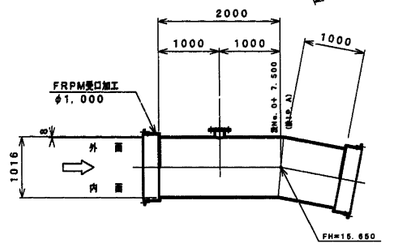




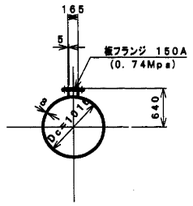
空気抜き用T字曲管

管符号　②
管材質　STW 400
管　厚　T= 8mm





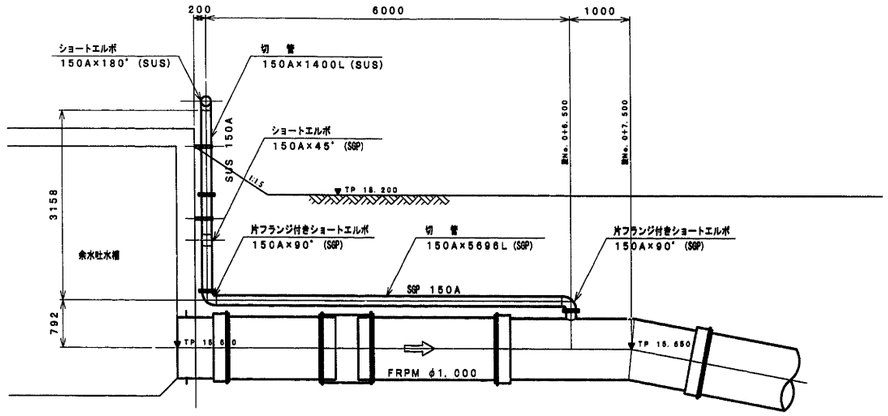
平面角	HB=24°-24'-10"
縦断角	VB=10°-49'-10"
合成角	CB=26°-33'-32"
入射角	VI=(+)00°-00'-00"
反射角	VJ=(-)10°-49'-10"



放流管１号空気抜き工構造図

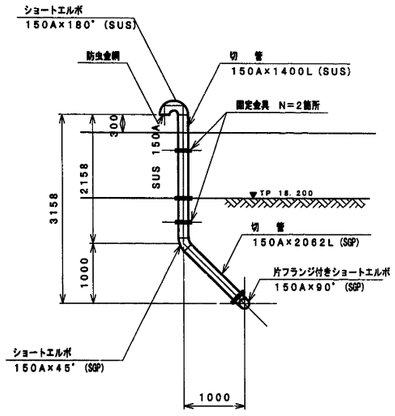
S=1:50

側　面　図



1. フランジは、「板フランジ0.74Mpa」とする。
2. 空気抜きの材質は「SUS304」および「SGP」とする。
3. 管厚は、標準管厚とする。
4. 溶接部は、工場製作とする。

正　面　図

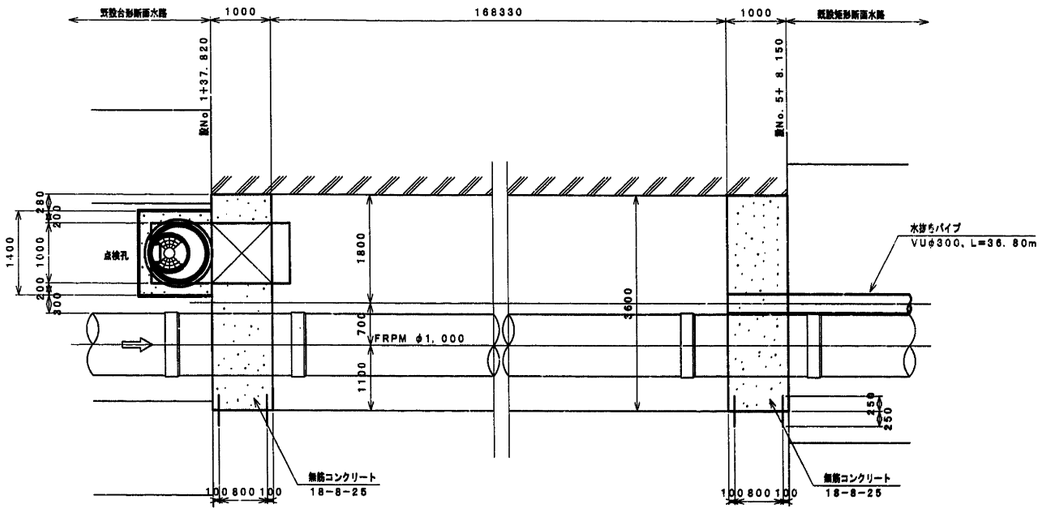


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管鋼製異形詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-63/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

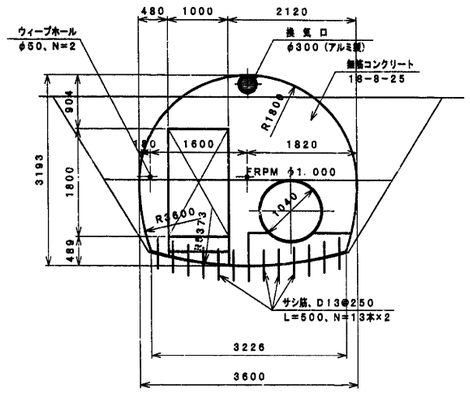
放流管随道閉塞工構造図

S=1:50

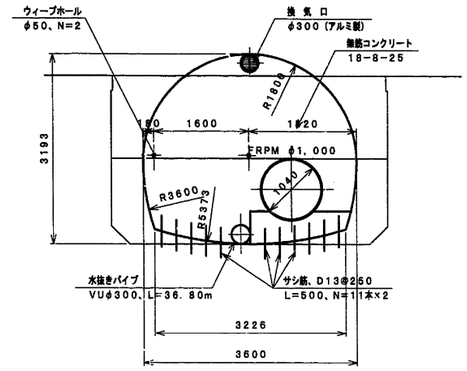
平　面　図



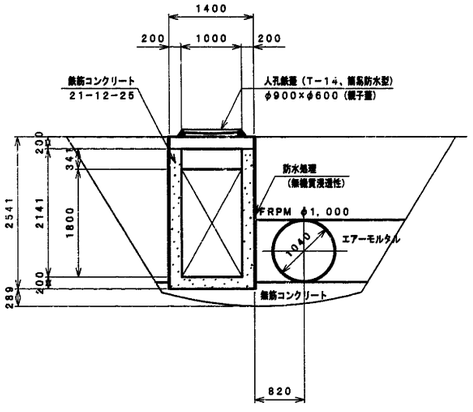
上流側正面図



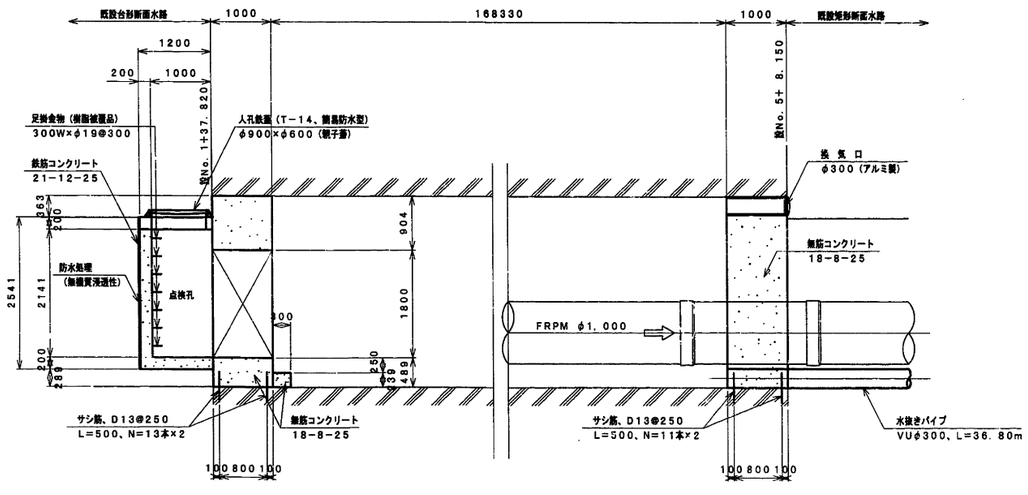
下流側正面図



点検孔正面図



側　面　図

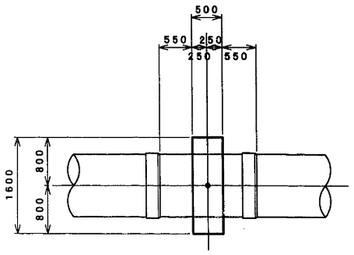


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管随道閉塞工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-64/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

放流管スラストブロック構造図

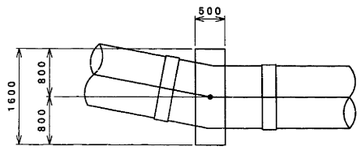
2ピース　同質曲管用

平　面　図

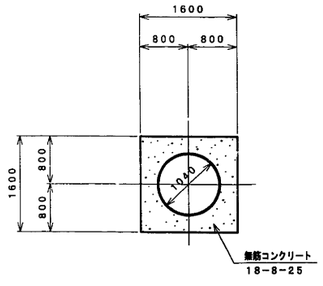


スラストブロック設置位置
設No. 1 ＋ 21.000

側　面　図

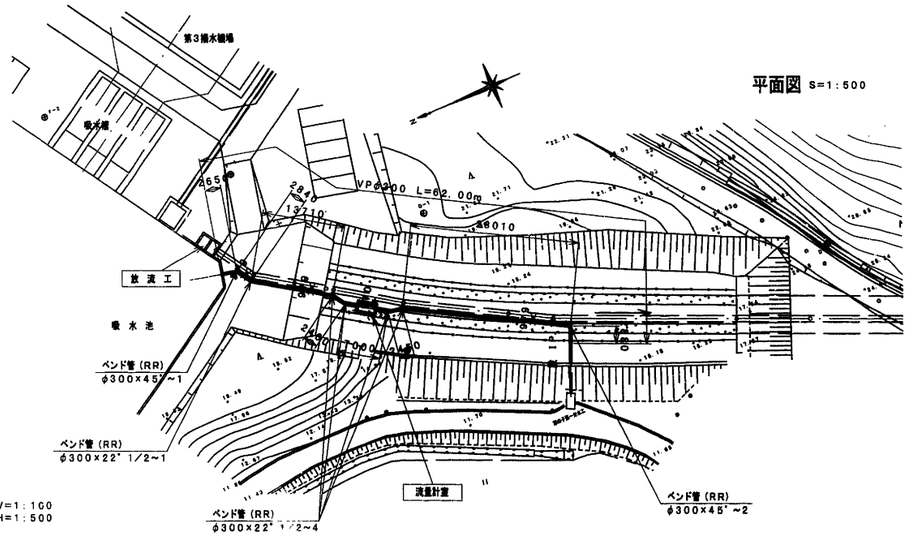


断　面　図



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	放流管スラストブロック構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-65/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

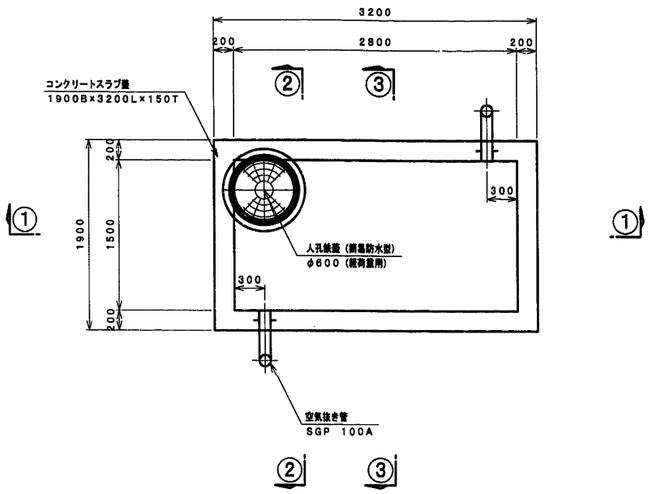
平面図 S=1:500


第3揚水機場
吸水槽
放流工
吸水池
ベンド管(RR)
φ300×45°~1
ベンド管(RR)
φ300×22°1/2~1
ベンド管(RR)
φ300×22°1/2~4
流量計室
ベンド管(RR)
φ300×45°~2
VP φ300 L=62.00m
No10
No9
No8
No7
No6
No5
No4
No3
No2
No1
2840
13710
2840
2840
2840

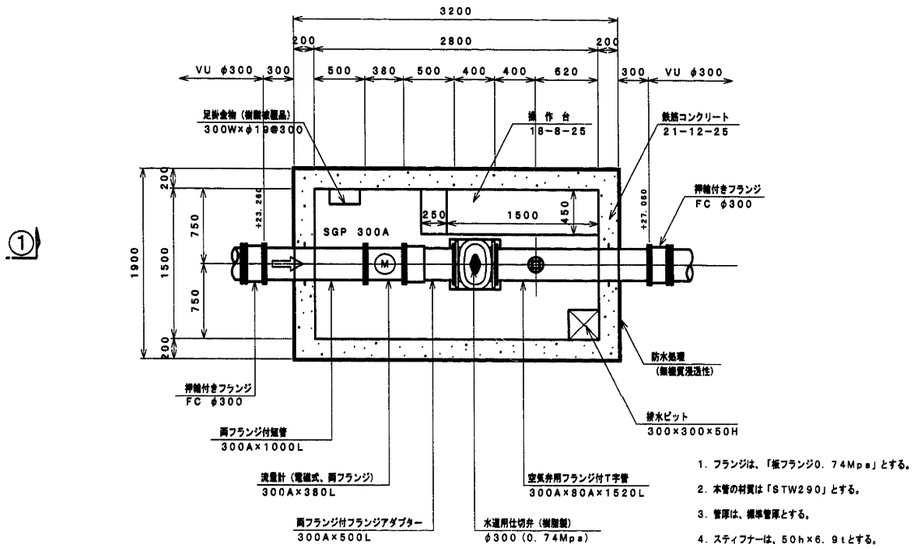
家の子第一分水工流量計室構造図（1／2）

S=1:30

頂版平面図

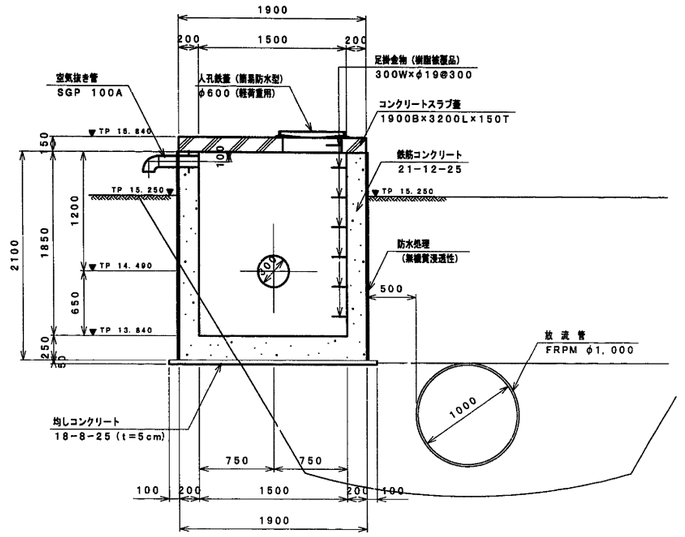


平 断 面 図

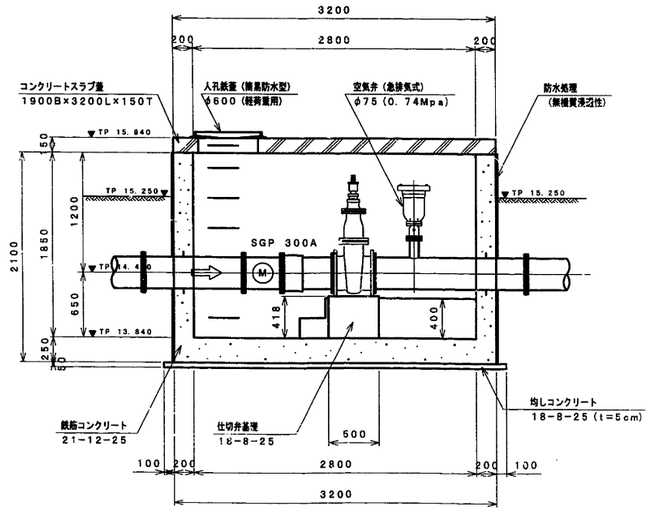


1. フランジは、「板フランジ0．74Mpa」とする。
2. 本管の材質は「STW290」とする。
3. 管厚は、標準管厚とする。
4. スティフナーは、50h×6．9tとする。

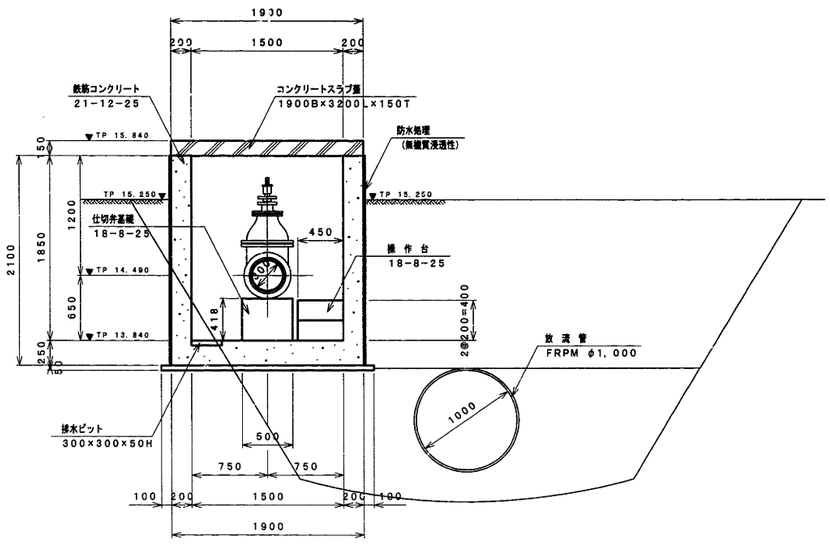
②−② 断面図



①−① 断面図



③−③ 断面図

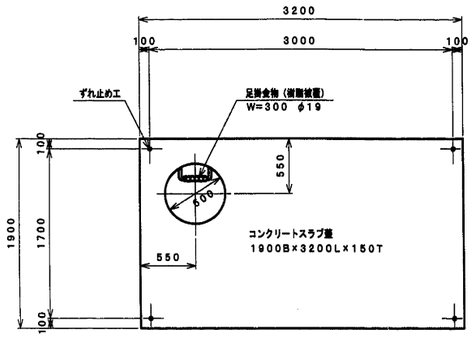


施設名	第3揚水機場（0312100−1100−21）		
図面名	家の子第一分水工流量計室構造図（1／2）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6−67/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

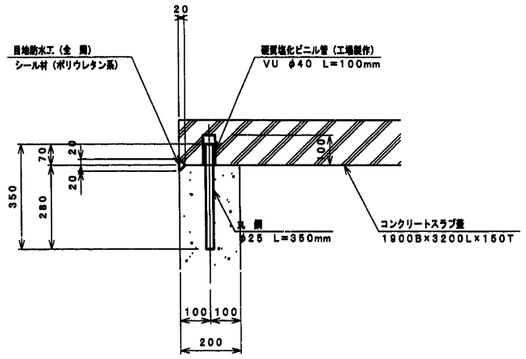
家の子第一分水工流量計室構造図（2／2）

吊り上げ金具詳細図

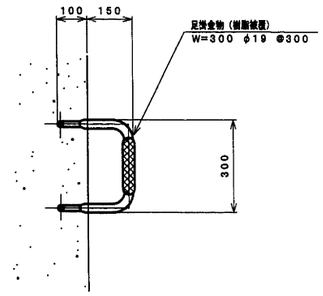
平　面　図
S=1:30

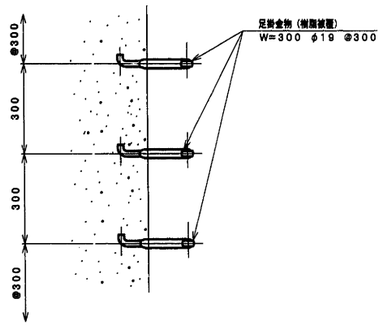


ずれ止め工詳細図
S=1:10

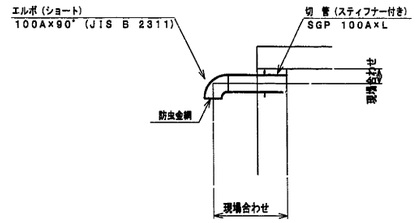


足掛金物詳細図
S=1:10



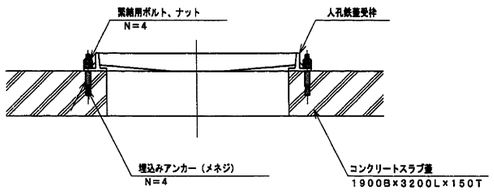


空気抜き詳細図
S=1:20



注）塗装は「溶亜鉛メッキ」仕上げとする。

鉄蓋受枠固定部詳細図
S=1:10



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	家の子第一分水工流量計室構造図(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-68/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第３揚水機場建設　工事設計図

平成　年　月(全　枚)

仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　千葉県山武郡成東町横蔵地内ほか
2. 敷地面積　4582.43 ㎡
3. 工事種目　建築工事 一式

建築面積	727.02 ㎡
2階床面積	79.22 ㎡
1階床面積	384.20 ㎡
B階床面積	462.00 ㎡
延床面積	925.42 ㎡

4. 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	工事範囲全て
4 地業工事	杭基礎（打撃工法）
5 鉄筋工事	工事範囲全て
6 コンクリート工事	工事範囲全て
7 鉄骨工事	工事範囲全て
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	工事範囲全て
9 防水工事	工事範囲全て
10 石工事	工事範囲全て
11 タイル工事	工事範囲全て
12 木工事	工事範囲全て
13 屋根及びとい工事	工事範囲全て
14 金属工事	工事範囲全て
15 左官工事	工事範囲全て
16 建具工事	工事範囲全て
17 カーテンウォール工事	対象外
18 塗装工事	工事範囲全て
19 内装工事	工事範囲全て
20 ユニット及びその他の工事	工事範囲全て
21 外構工事	出入口00ヵ所、ハンドホール、雨水桝、U字溝

Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成16年版）」（以下、「標仕」という。）による。

2. 特記仕様
（1）項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
　○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○ 印と ◎印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該個又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別冊「各部記号」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
（6）C 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	◎建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　平成13年版） ○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・ ・
	② 工事実施情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 品質計画	◎建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ◎風速（Vo＝34　　） ◎地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ） ○積雪区分　建告示第1455号 別表（24） ・
	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の職務を行うものとする。　(1.3.3) ・要　・不要
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	6 発生材の処理等	※現場説明書による ・構外搬出適切処理　(1.3.8)
	7 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計意図に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の管理体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計意図に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、個々個に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計意図に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質材は、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、器具、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

	⑥ 技能士		(1.5.2)
		適用工事種別	技能検定の職種
		鉄筋工事	◎鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
		コンクリート工事	◎型枠施工
		鉄骨工事	○とび
		ブロック・ALCパネル工事	・ブロック積築　◎ALCパネル施工
		防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
		石工事	・石材施工（石張り施工）
		タイル工事	・タイル張り
		木工事	・建築大工
		屋根及びとい工事	・瓦葺（内外装仕上作業）
		金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
		左官工事	○左官
		建具工事	◎サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
		カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
		塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
		内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
		建築工事	・造園
	11 化学物質の濃度測定		(1.5.9)
		施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 個工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・ 報告の様式等については、現場説明書による。	
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない	(1.7.1～3)（表1.7.1）
		※完成図　提出部数　※各2部　・　部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R）） ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工報　提出部数　※1部　・　部 ※保全に関する資料　提出部数　※1部　・　部	
	⑬ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。	

分類・撮影	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
・カラー ※キャビネ版 ※ベた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（　）内部（　）	※2 ・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ 4）内部（3 3）	※2 ・	
・電子データ	外部（　）内部（　）	※2 ・	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめベた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、竣工完成写真撮影の実績のある業者とする。）

	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL　○＋19.00
	⑯ 工事写真	◎営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。
2 仮設工事	① 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による　(2.3.1)
	② 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・A種　※B種　・C種　・D種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設発生土の処理 C	
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による　・構外搬出適切処理　(3.2.5) ・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し
4 地業工事	① 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.1～2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 ・

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭	600	8ｍ　B 種	0	3	本杭に含む
本 杭	600	8ｍ　B 種	0	47	試験杭以外
	600	7ｍ　B 種	0	1	
	600	7ｍ＋8ｍ　C種＋A種	1	10	

杭頭の処理　※切断しない　○A形　(4.3.7)
先端部形状　※閉塞形　・開そく平たん形　(4.3.2)
杭の継手　職業基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。　(4.3.6)
施工法　(4.3.3～5)
・既製埋込み杭工法
　工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀拡大根固め工法
　H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
　杭周固定液　・使用する
○打撃工法
セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による

	2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.3)（表4.5.1） （　）種かつ（　）N/mm² 以上	
		鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.3)	
		掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　(4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.5) ・拡径杭工法（※安定液使用　・　） ・	
		資質測定　・行う（　）　・行わない　(4.5.4) セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による	
	③ 砂利地業	※再生クラッシャラン C　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)	
	④ 床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　(4.6.6) 分解点検スペースを除く	
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1)（表5.2.1）	

種類の記号	呼び名（mm）
○SD295A	※D16以下 ・
○SD345	※D19以上 ・

	② 鉄筋の端手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　○重ね継手　(5.3.4)
	③ 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ○耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
○柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10 ・
・	

	④ 既製コンクリート杭の杭頭補強	・A形　・B形　※図示　(5.3.1)（別1.1）
	5 最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別2.1)
	6 帯筋	※H形（口は除く）　・　(別2.2)
	⑦ 壁開口部の補強	一般壁　・A形　※B形　・図示　(別4.2)（別表4.3～4） 耐震壁　※図示
	8 梁貫通孔の補強形式	※H形　・MH形　・M形　(別7.1)（別表7.1～3）
	9 機械吊上げ用フック	・A種　・B種　・C種（　ヶ所）　(別7.3)
	10 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	① 普通コンクリートの設計基準強度	(6.1.4)

設計基準強度Fc（N/mm²）	施工箇所
◎21	建物躯体（建物内土間コンクリートを含む）
○18	捨てコンクリート

	② レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　○Ⅱ類　(6.1.5)（6.4.1～2）（表6.1.1）
	③ スランプ	工作物のスランプ　15又は18cm，8cm　(6.2.3)
	④ セメントの種類	(6.3.2)（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1） ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 C（・　）

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/gl以下
	28d	402J/gl以下

	⑤ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.3)（6.5.4） ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³ 以下）
	⑥ 混和材料	※混和剤　・混和材　(6.3.5)（6.4.8）
	⑦ 無筋コンクリート	設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.3)
	8 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm² 以上かつ、2.5分/m² 以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※20mm　・ ※施工範囲は図示による。
	9 断熱材被用型枠	適用及び適用箇所について 標仕19章内装工事14断熱材による。

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	建築工事特記仕様書（その1）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-69/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

7 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場
製作工場の施工能力 (7.1.3)
⊙監督職員の承認する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鉄構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所 ・継手 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
開先と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※継手 ・

② 施工管理技術者 適用する (7.1.4)

③ 鋼材
鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SN 400	柱，大梁，仕口部	※JIS規格による
SS 400	梁	※JIS規格による
SSC400	母屋	※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

④ スカラップ 改良型スカラップ

⑤ エンドタブ 鋼製エンドタブ
切断する箇所（ ）

⑥ 高力ボルト ※トルシア形高力ボルト（S10T） (7.2.2) (7.12.4)
・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト

⑦ 溶接部の試験 AQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)
検査水準 ※第6水準 ・（ ） (7.6.1) (7.6.11) (表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11 (b) による ・（ ）
・放射線試験		
・マクロ試験		

⑧ 耐火被覆 (7.9.2~6)

種別		所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り		
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	見え隠れ部 柱，梁
	⊙半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
⊙耐火材張り		見え掛かり部 柱

⑨ アンカーボルトの保持及び埋込み工法
⊙構造用アンカーボルト （※標示 ・ ）
・建方用アンカーボルト （・A種 ※B種 ・C種） (7.10.3) (表7.10.1)

⑩ 柱底均しモルタル工法 ※A種 ・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)
無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及び/カルシウムサルフォアルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に無道されたもの を絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各質量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	JロートによるJ流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 凝結時間 10時間以内
無収縮性	材齢7日 収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日 25.0N/mm² 以上 材齢28日 45.0N/mm² 以上
付着強度	材齢28日 3.0N/mm² 以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1）日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。 2）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.3) (表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材 料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造
※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16−W (8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
※個仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁		・
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2mを超える	・150
・再生記憶用表裏みブロック		・100 ・

③ ALCパネル (8.4.2~6) (表8.4.3~4)

種 類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法記号
⊙外壁パネル	・1180 ⊙1960	※100 ⊙125	・A種 ・B種 ⊙C種
⊙間仕切壁パネル		※100 ⊙125	・B種 ⊙C種 ・D種 ・E種
・屋根パネル	・980	※100 ・	※標仕8.4.6による
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	

・床パネルの耐火性能（・1時間 ・2時間）

④ 押出成形セメント板（ECP） (8.5.2~6) (表8.5.1~2)

種 類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・外壁パネル	※F ・F−R			・A種
	・D ・D−R			・B種
	・T ・T−R			
・間仕切パネル	※F ・F−R			・B種
	・D ・D−R			・C種
	・T ・T−R			

耐火性能 ・有り（ ）
・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2~3) (表9.2.3~8)

種 別	施工箇所
※A I −2	
・A−2	
・D−2	
・B I −2	床面特殊鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材 厚さ（mm） ※25 ・ (9.2.2)
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材 ※押出成形セメント板（厚さ 15mm） (9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~4) (表9.3.1)

種 別	・AS−1 ・AS−2	厚 さ	（ ）
施工箇所	・		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~3) (表9.4.1)

種 別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S−F1	※1.2 ・		・シルバー	※非歩行
・S−F2	※2.0 ・		・カラー	・歩行
・S−M1	※1.5 ・			
・S−M2	※1.5 ・			
・S−M3	※1.2 ・			

4 塗膜防水 (9.5.2~3) (表9.5.1~2)

種 別	施工箇所	備 考
・X−1		仕上げ塗料塗り
・X−2		・シルバー
		・カラー
・Y−1	地下外壁防水	Y−2工法の保護シート
・Y−2		※適用する ・適用しない

脱気装置
・設ける 材質（ ） 設置数量（ m² 当たり1箇所）

⑤ シーリング 下表以外は、標仕表9.6.1による (9.6.2) (表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り、ALCパネル取合い	P I −2

10 石工事

① 天然石張り
石の種類・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1~2)

施工箇所	種 類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類
上り框	御影石		60×120	水磨き
便所廻り	御影石		30	水磨き

② テラゾ張り
張石の種類 ※大理石 ・ (10.2.1) (表10.2.2)
表面仕上げ ※本磨き ・
形状・寸法 ※図示

3 壁の石張り工法
外壁石張り (10.3.2~3) (10.5.2~3)
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法 ・ ）
・乾式工法
石裏面処理 ・行う（・小口共）
裏打ち処理 ・行う
ドレインパイプ ※ステンレスSUS304 ・

内壁石張り (10.4.2~3) (10.5.2~3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
裏打ち内埋 ・行う

4 床及び階段の石張り
床石張りの表面処理 ・行う (10.6.2)
屋内のワックス掛け ・行う (10.1.5)

11 タイル工事

① 陶磁器質タイル
タイルの種類 (11.2.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	密じ	目地	うわぐすり	釉掛	色	再生材の適用C	備考
玄関ポール	150X150	⊙	・	・	・	⊙	⊙	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ）

2 張り付け用材料
調成調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.90程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (11.2.3)

3 壁タイル張りの工法
内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・接上げ張り (11.3.3) (表11.3.2)

外装タイル ※密着張り ・マスク張り
躯体表面の処理 ・行わない ※行う（施工箇所 ※図示 ・ ）
躯体表面の処理方法 MCR工法又は同等以上工法（5章コンクリート工事）
下地モルタル塗り ※標仕15.2.2~15.2.5
タイルの試験張り ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ） (11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法 (11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)

種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート張	・小口タイル	※標仕6.9.3【材料】(b) (2) 又は
・壁地剤工法	・二丁掛タイル	金属製タイル先付け用パネル
・積木張	大型タイル	・

12 木工事

① 木材の品質
※標仕12.2.1 ・市販品 (12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（ ）

② 樹種
※標仕表12.2.3による (12.2.1) (表12.2.3)
・代用樹種を適用しない箇所（ ）

3 風致材等 C (12.2.2)

品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※風致材	※一般材	・たち ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1号 ・2号	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1号 ・2号	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

4 接着剤
接着剤に塗まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂及はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

5 防腐・防蟻処理
行う箇所（ ）
防腐処理 ※行う（※図示 ・ ） (12.2.8)
防蟻処理 ・行う（※標示 ・ ） (12.2.9)
防腐、防蟻処理の種類、品質
・表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

6 床板張り
フローリング及び縦甲板張り床 (12.7.1) (表12.7.1)

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	・縦甲板		※ひのき ・

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺
(13.2.2~3) (表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
⊙瓦棒葺	※塗装溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ⊙フッ素樹脂鋼板加工	※0.4 ・

製 造 所 川鉄鋼板㈱、住友金属鋼材㈱、元旦ビューティー工業㈱

② 折板葺
(13.3.2~3) (表13.2.1)

形 式	※重ね形 ⊙はぜ締め形 ・かん合形
形状（mm）	山高（ 160 ） 山ピッチ（ 250 ） 板厚※0.6 ⊙0.8
材 料	※塗装溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）
（絶縁等）	⊙フッ素樹脂鋼板加工
折先端戸当	※有り ・無し
断 熱 材	※有り（種別： ガラス繊維シート 厚さ： 5 mm） ・無し
耐火性能	※30分遮火 ・無し
製 造 所	川鉄鋼板㈱、住友金属鋼材㈱、元旦ビューティー工業㈱

③ とい
材 種 ※配管用鋼管 ⊙硬質塩化ビニル管 (13.5.2) (表13.5.1)
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） C
材種（幹線） ⊙塩化ビニル製（鉄砲入）W=200

露管養といの防露 ※標仕表13.5.5による (13.5.3) (表13.5.5)
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
掃 除 口 ※有り ⊙無し

14 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種 類	処理箇所
⊙HL程度	手摺、下記以外の見え掛かり全て
⊙No.2B程度	タラップ、屋根ステージ
・鏡面仕上げ	
・	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)

種 別	施工箇所
⊙B−1種（無着色）	手摺
・B−2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）	
・	

3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 金属成形板張り (14.6.2) (表14.2.1)

形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し	※アルミニウム製			・B−1種
	・ロール	・			・B−2種（ ）
・パネル形	※プレス				・
	・				

伸縮調整縁手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示）

⑤ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)

種 類	甲伸寸法（mm）	表面処理	固定間隔	備 考
・250形	1.6以上	※A−1又は B−1種 ・B−2種 （ ）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
⊙185形				

⑥ 手すり及びタラップ (14.2.1) (14.8.2~3) (表14.2.2)

種 類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度 ・鏡面程度 ・
	⊙鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 ・ 内部 ※E種 ⊙SOP
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し ・
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種 ・

15 左官工事

① モルタル塗り材料 (15.2.2)

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

当質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） (15.2.2)
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

耐久性のひび割れ及びそりがないこと。

② 床コンクリートの直均し仕上げ
下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4) (15.3.1~2)

施工箇所	平たん さ（mm）	備 考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合もさむ
フリーアクセスフロア（張構法）範囲	3mにつき7以下	

③ 仕上塗材仕上げ (15.5.2) (表15.5.1)

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S I	・
	・可とう形外装薄塗材S I	・
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・骨色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材S I	・
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
⊙複層仕上塗材	・複層塗材C E	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様
	・可とう形複層塗材C E	耐候性 ※3種 ・
	・複層塗材S I	上塗材
	⊙複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	※複層塗材R E	樹脂 ※アクリル系 ・ ・
	・複層塗材R S	外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材C E	・メタリック
	・防水形複層塗材E	
	・防水形複層塗材R E	
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽焼塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

施設名	第3揚水機場（0312100−1100−21）		
図面名	建築工事特記仕様書（その2）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6−70/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

16 建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の板組（建具符号：　　）（16.1.4）

② アルミニウム製建具
外部に面する建具（16.2.2）（16.2.4）（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特殊込み（mm）	施工箇所
・A種	S−4	※A−3	※W−4	※70	※記示　・
○B種	S−5	・	・	・	※記示　・
・C種	S−6	A−4	W−5	100	※記示　・

表面処理　※B−1種　・B−2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）（表14.2.1）

屋内建具
表面処理　※C−1種又はB−1種（表14.2.1）
・C−2種又はB−2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

③ 網戸
防虫網（16.2.3）
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

④ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（16.3.2）（表16.3.1）
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用あり

5 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（16.4.2）

6 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL程度　・鏡面仕上げ　・（16.5.4）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）（16.5.5）
特定防火設備の戸　・適用あり（表16.5.1）

7 自動ドア開閉装置（16.8.2〜3）（表16.8.1〜3）

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ ※光線スイッチ　・音波スイッチ ・熱線スイッチ　・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

8 自閉式上吊り引戸装置
品質規格　※標仕表16.9.1による（16.9.2〜3）
・製造所標準仕様による

⑨ 木製建具
かまち戸の断面　かまち（　　）　鏡板（　　）（16.6.2）

ふすまの上張り（表16.6.3）
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量（16.6.2）
※規制対象外　・第三種

⑩ 建具用金物
マスターキー　※製作する　・製作しない（16.7.4）
建具用金物（16.3.6）（16.4.6）
錠成はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける（16.7.2）
吊金物
○丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

⑪ ガラス
※建具表による（16.13.2）
・ガラスブロック　標仕16.13.5による（16.13.5）

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形 ・長方形	・	・	※クリア	※無し ・有り

⑫ ガラス留め材及び溝
ガラス留め材（16.13.2）（表9.6.1）

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.13.3）
標仕16.13.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を
監督職員に提出する

13 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質　JIS A 5759による

⑭ 重量シャッター（16.10.2）

シャッターの種類	
○一般重量シャッター	耐風圧性能（　120　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式（16.10.2）（表16.10.1）

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない（16.10.2）

15 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）（16.11.2）（表16.11.1）

スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板（16.11.3）
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形（16.11.4）
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）（表16.11.2）
耐風圧性能　（　　）N/m²

16 オーバーヘッドドア（16.12.2〜3）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）

耐風圧性能　（　　）N/m²

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類（17.2.2）

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・パックマリオン方式（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による（9.6.2）（17.2.2）（表9.6.1）

被接体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	モ、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない（17.2.2）
・適用する（施工箇所：記示　　）
断熱材　※適用しない（17.2.2）
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所※記示　）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による（17.2.3）（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理（17.2.3）（表14.2.1）

種別	色彩等
・A−1種　・B−1種	無着色
・A−2種　・B−2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク

耐風圧性能（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、顕著変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Kн）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の破損、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W−4　・W−5　・（17.1.3）
気密性　・A−3　・A−4　・（17.1.3）
耐火性能　※適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：記示）
騒音遮断　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質（17.3.2）
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（14.2.3）（表14.2.2）

金物種類及び部位	内部	外部
PC埋打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC埋打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・
・	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による（9.6.2）（17.3.2）（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール被開目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※記示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による（17.3.3）（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・開閉ふさぎ		

耐風圧性能（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
耐震性能（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Kн）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

18 塗装工事

① 材料
屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする（18.1.3）
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
●規制対象外　○第三種（　SOP　）

② 素地ごしらえ
亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別（18.2.4）（表18.2.3）（表18.3.4）

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別（18.2.7）（表18.2.7）
種別　※B種　・A種（施工箇所：　　）

3 床用塗料塗り
材質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする

4 防錆用塗料塗り
材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。

19 内装工事

① 接着剤（19.2.2）（19.3.3）
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート張り（19.2.2）

種類	JISの記号	色柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			
・			

工法　※無溶剤工法　・突付け（施工箇所：　　）（19.2.3）

3 ビニル床タイル張り（19.2.2）

種類	JISの記号	厚さ（mm）	備考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

4 帯電防止床タイル張り（19.2.2）

種類	厚さ（mm）	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10⁹ Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0×10¹⁰ Ω未満

⑤ ビニル幅木
高さ（mm）　※60　・75（19.2.2）

⑥ カーペット敷き
・織じゅうたん（19.3.3〜4）（表19.3.1〜2）

種別	パイル形状	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット（19.3.3〜4）（表19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工法	備考
・カットパイル	※5〜7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4〜6　・		
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

○タイルカーペット（19.3.3）（表19.3.2）

パイル形状	種類	寸法（mm）	繊維さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
・

⑦ 合成樹脂塗床（19.4.2〜3）（表19.4.1〜7）

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
○エポキシ樹脂塗床材	※骨材流し延べ仕上げ ・厚膜流し延べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量（19.4.2）
※規制対象外　・第三種

8 フローリング張り（19.5.2〜7）（表19.5.1〜4）

種別	樹種	工法	仕上げ塗装等	備考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	
・	・ひのき		・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種（19.5.2）

9 畳敷き（19.6.2）（表19.6.1）

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材
畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

① せっこうボード その他のボード張り

（19.7.2）（表19.7.1）

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
○硬質木毛セメント板	HW ○	・15　・20　○25　・
・普通木毛セメント板	NW ○	・15　・20　・25　・
○けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）○6　・8　○10　）
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）・12　・　）
		・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR（凹凸） DR（軒天） DR（軒天凹凸）	※フラットタイプ9（不燃） ・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）
○せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃補強せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
○化粧せっこうボード（木目）	GB-D	・12.5（不燃）幅440mm程度　○9.5 模様（※経目　・板目）　専用下地材ねき
・難燃合板	○	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF ○	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	○	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（常地）	HB ○	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	IB ○	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　・適用しない

② 吸音材（表19.7.1）

種類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　○50

③ 壁紙張り（19.8.2）

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
玄関ホール階段	・	・	○	・	・	・不燃○準不燃・難燃	
2F	・	・	○	・	・	・不燃○準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ（表18.2.4）（表18.2.7）
モルタル、プラスター面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種（19.8.2）

④ 断熱材（19.9.2〜3）

種類	施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部　・	※25　・	特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分　・	※25　・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの
		・一般部　・	※15　・	
		製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲）　・	※40以下　・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （m²・k/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種
○天井裏　グラスウール敷込み　t＝100　24kg/m³

15 浴室天井材
市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅（mm）	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	四り縁は確付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	建築工事特記仕様書（その3）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-71/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

20 コンクリートその他工事

① フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構造	仕上り高(mm)	積載荷重 水平力	積載荷重 集中荷重	表面仕上げ材	備考
操作室等	○パネル補強	300	・1.0G	○8,000N	・導電防止床タイル	
事務室	・置敷法		○0.6G	・5,000N	○タイルカーペット	
	・パネル補法		・1.0G	・3,000N	・導電防止床タイル	
	・置敷法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル補法		・1.0G	・3,000N	・導電防止床タイル	
	・置敷法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建築省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの純角」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
　コンセントの種所位は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
　※20～30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の縦厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式	・	※鋼板	※メラミン樹脂又は	・あり	・あり
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付け	(　)	・なし
・パネル式		・	・	・なし	

3 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式
		・	・壁紙張り	・部分電動式
・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式
(36db以上)		・	・壁紙張り	・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能は、JIS A 6512の遮音試験に準拠する

④ トイレブース (20.2.5)

表面仕上げ材
　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
　○ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

⑤ 階段滑止め (20.2.6)

材　質　ステンレスSUS304
形　状　ビニルタイヤ入り
　同幅フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑥ 階段手すり

種別	施工箇所
※鏡成材クリアラッカー仕上げ（巾木品　径　約45mm）	
○ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	屋内階段1～2箇

7 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

8 鏡 (20.2.9)

寸法（mm）　・図示　・
厚さ（mm）　※5　・

9 表示標識 (20.2.10)

誤突防止表示
　※図示（巾木品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）
　（・背景　・片面）
　・無し
表示種類、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は巾木品とし、その他は共通詳細図による。

10 煙突用成形ライニング (20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
　最高使用温度　※650℃　・400℃

・キャスタブル耐火材
　工　法　※こて押さえ
　最高使用温度　※400℃

⑪ ブラインド (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギヤ式　・コード式	※アルミニウム合金製	※25
	・操作棒式	・	
・縦型	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	・2本操作コード	・クロススラット	・100

12 ロールスクリーン (20.2.13)

防炎性能　※有り

施工箇所	装置 電動	装置 手引	備考
	・	・	
	・	・	
	・	・	

⑬ カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
体験室	○	・	・	・	・	ニつ	遮光	
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

⑭ カーテンレール (20.2.14)

材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形　式　○片引き　・引分け（※機種用は300mm以上の召合せの壁掛けとする）

⑮ ブラインドボックス及びカーテンボックス

○市販品（アルミニウム製　押出し型材）
　寸法×深さ（mm）　・90×150　※120×80　○120×150　・150×80　・
　色彩　※B－1　・B－2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
　・図示

16 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・桁行方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目地	内部（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

17 止水板

形　状　・埋込式　・壁張り式　・差込式
寸　法
製造所

⑱ 天井点検口

材　質　アルミニウム製（※鋼棒タイプ　・目地タイプ）

19 床点検口

材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

20 鋼製雑形及び物品棚

種類	規格号	耐荷重による種類
・鋼製棚類	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種　・2種　・3種

㉑ かぎ箱

市販品
形　式　○30組用　・60組用　・120組用　・

22 くつふき用マット

市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

㉓ 流し台ユニット

種類	寸法（L＝mm）	適用内容	備考・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※器具性能部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード ※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品
○ミニキッチン	※1200	冷蔵庫　※なし	※市販品

24 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

26 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不織布定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板側又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知警報連動及び手動降放装置（壁込型）

27 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材） (19.2.2)

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
　・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

28 旗竿

材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29 旗竿受金物

材　種　ステンレス製SUS304

30 フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス

31 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

32 車止め支柱

※ステンレス製（上下式横内蔵型）　径114.3mm　t=2.5mm　H=GL+700mm
　※スプリング付　・スプリング無し
・

33 収納家具

材質
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34 エキスパンション・ジョイント金物

材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・
耐火性能　・有り（　　）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

35 建築物緑化

屋上緑化システム ○
・管理方法による区分　・管理型
　荷重の上限値　（　　）kg/m²
　かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
　遮水層、排水層及び排水勾等
　　排水層及び排水層の創積方向の排水性能：240l/m²・h以上
　耐荷重性能
　　管理型：3×10³ N/m² 以上の垂直荷重で損傷のないこと。
　耐候性の材料
　合成樹脂製根シート（厚さ3mm以上）又は抗菌性剤とする（耐候性能の実績を有すること）
　植込み用土　製造所の仕様による
　植物の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

21 排水工事

① 排水管 (21.2.1)（表21.2.1）（21.3.3）

排水管用材料

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種　・2種）	B形（ゴム接合）
○硬質塩化ビニル管	※VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・REP-VU ○	

車道部の排水管の敷設 (21.3.1)（21.3.3）
　※図示
　・砂基礎（地盤厚さ20cm以上　材料　山砂の種）

② 排水桝及びふた

特殊側マンホールふた (21.2.2)

種類	適用荷重
・水封型　・側溝形（チーパー・パッキン式）	・T－2用
・開電気管形（パッキン式）　・中ふた付管開形	・T－6用
	・T－14用
	・T－20用

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
○鋳鋼	※受枠付き	○溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	○溝ふた用	○T－2用（乗用）	※普通目	※平形
	ボルト固定	・かさ上げ用	・T－6用		
	※無し	・U字溝用	・T－14用	・細目	・凹凸形
	・図示		○T－20用（荷用）		

③ 雨買し土 (21.2.3)（表3.2.1）

※8種　・

4 浸透管及び浸透桝

製造所

22 舗装工事

1 盛り土に用いる材料 (22.2.3)（表3.2.1）

・A種　※B種　・C種　・D種

2 遮断層及び凍上抑制層の材料 (22.2.2～3)

・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・
　厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
　厚さは図示

3 路床安定処理 (22.2.2～3)（表22.2.2）

※添加材料による安定処理
　種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
　　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
　添加量　kg/m³（目標CBR　※5以上　・　　）

4 路床土の支持力比試験

※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

5 路床締め固め度の試験

※行う (22.2.5)

6 舗装材料 ○

※再生クラッシャラン（RC－40） (22.3.3)
・クラッシャラン（C－40）又はクラッシャランスラグ（CS－40）
　遮水性アスファルト舗装にもちいる場合は遮水性の高いもの

7 アスファルト舗装 (22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の骨色骨材　・有色骨材（珪砂）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト ○　・ストレートアスファルト

(22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)（表22.4.6）

区分	一般地域	寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F）
	・細粒度アスファルト混合物（13）	・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　） (22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

8 コンクリート舗装 (22.5.3)

早強セメント　※使用しない　・使用する
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)（表22.5.3）

溶接金網　※有り　・無し (22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.5.6)

9 遮水性舗装 (22.6.6)（22.4.6）

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 排水性舗装 (22.7.3)（表22.7.2）

・改質アスファルトⅠ型　※改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)（表22.7.3）

適用時期	種類
下記以外	PKR－T1
冬期	PKR－T2

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)

23 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

芝及び地被類

適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	・裏張りの範囲
・7超～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	・C種	・図示
・3以下	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2 植込み用土

※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

3 土壌改良材 ○

※適用する (23.2.3～4)
　施工箇所　※植栽範囲　・図示

パークたい肥
　有機物の含有量（乾物）　：70%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：35以下
　陽イオン交換容量（乾物）　：70meq/100g以上
　pH　：5.5～7.5
　水分　：55～65%
　幼虫有害試験の結果　：生育阻害その他の異常を認めない
　窒素全量（現物）　：0.5%以上
　りん酸全量（現物）　：0.2%以上
　加里全量（現物）　：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
　ひ素　：0.005%以下
　カドミウム　：0.0005%以下
　水銀　：0.0002%以下
　ニッケル　：0.03%以下
　クロム　：0.05%以下
　鉛　：0.01%以下
　有機物の含有量（乾物）　：35%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：20以下
　pH　：8.5以下
　水分　：50%以下
　窒素全量（現物）　：0.8%以上
　りん酸全量（現物）　：1.0%以上
　アルカリ分（現物）　：15%以下

4 支柱材

※杉の焼丸太（雑伏材） ○　・竹 (23.3.2)

5 幹巻き用材料

※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

6 芝張り

種類　・こうらい芝　・野芝

11 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板（N）　・カラー平板（C）	※300角	※60	※砂
・乳出平板（W）　・擬石平板（S）	・		・モルタル

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)

種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等
※標準ブロック	車道部　※80　・	※標準品
・遮水性ブロック	歩道部　※60　・	・
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※80　・100	

インターロッキングブロック

項目		品質・性能
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び舗装上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。
寸法許容差（mm）		長さ　幅　厚さ
普通タイプ		±3　±3　±3
遮水性タイプ		±3　±3　+5～−1
植生用タイプ		±3　±3　±3
曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	5.0以上
	遮水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上
遮水係数（cm/sec）	遮水性タイプ	1×10⁻⁷ 以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	32.0以上
	遮水性タイプ	17.0以上

・擬石舗装 (22.8.2～3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小擬石（花こう岩）	※80～100　・	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

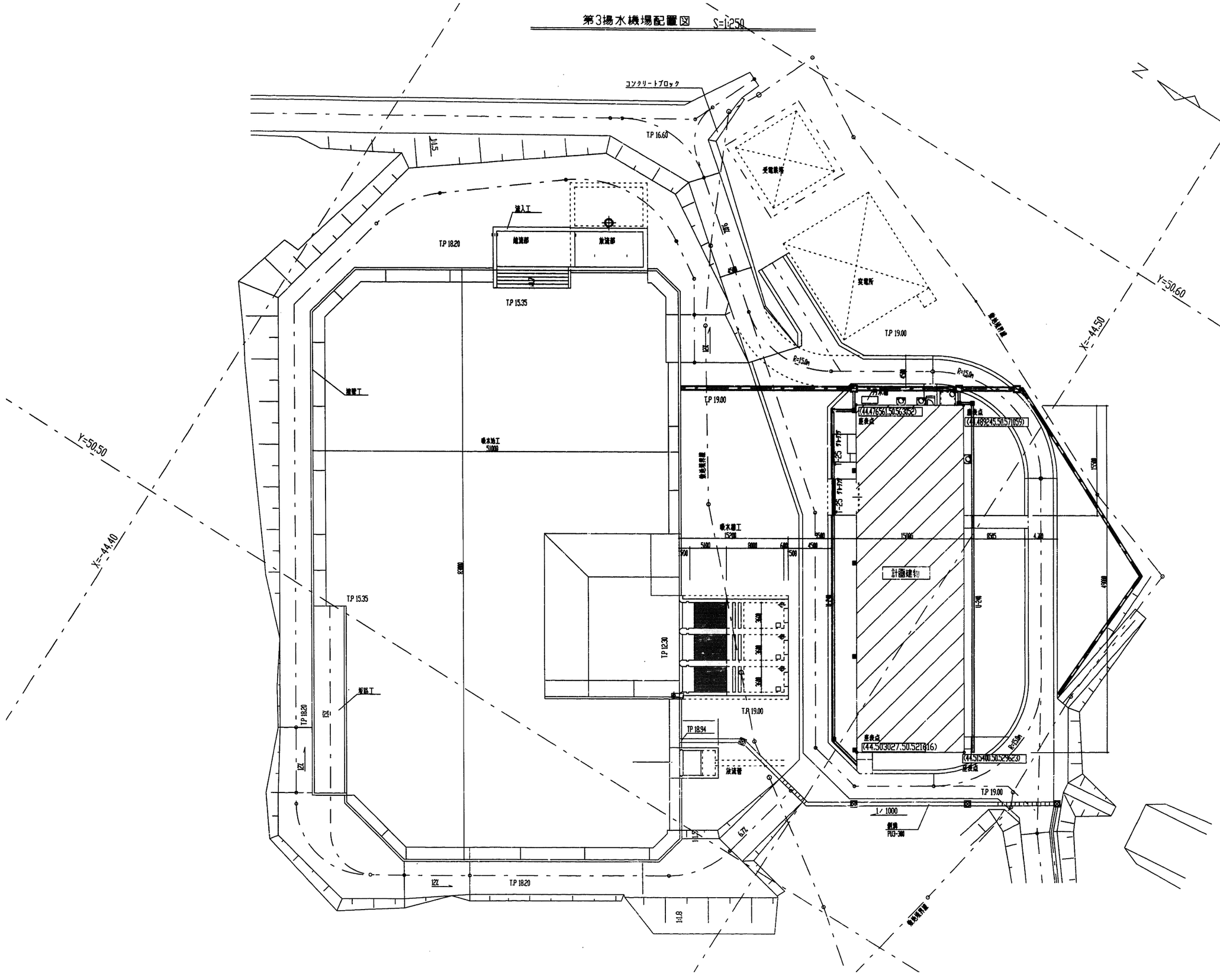
12 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

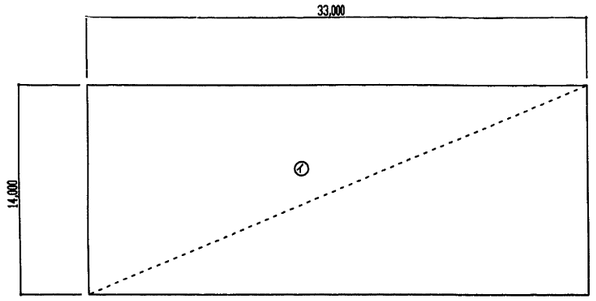
種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 ○	溶融	車状	※白	※150	※1.0	塗料組質量に対して
・1種 ○	加熱		・	・	・	5%以下
・3種1号	常温	粉体状				

施設名	第3揚水機場（0312100−1100−21）
図面名	建築工事特記仕様書（その4）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6−72/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

第3揚水機場配置図　S=1:250

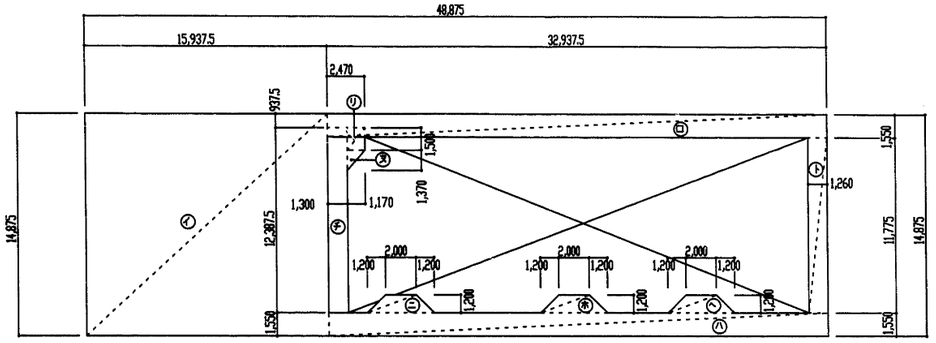


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-73/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



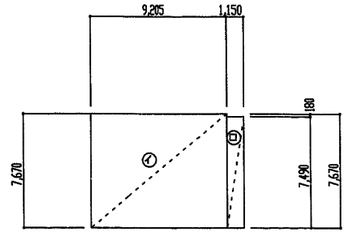
地階床面積　462,00 ㎡（壁芯面積）

符号	計算式
㋑	33,00 × 14,00 = 462,00
	462,00 ㎡



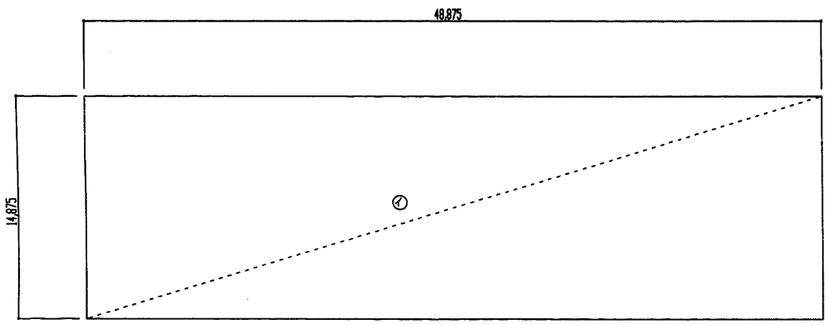
1階床面積　384,20 ㎡

符号	計算式
㋑	15,937.5 × 14,875 = 237,071
㋺	32,937.5 × 1,55 = 51,053
㋩	32,937.5 × 1,55 = 51,053
㋥	$\frac{4,40 + 2,00 \times 1,20}{2}$ = 3,84
㋭	$\frac{4,40 + 2,00 \times 1,20}{2}$ = 3,84
㋬	$\frac{4,40 + 2,00 \times 1,20}{2}$ = 3,84
㋠	1,26 × 11,775 = 14,837
㋮	1,30 × 12,387.5 = 16,104
㋕	1,17 × 1,50 = 1,755
㋲	$\frac{1,17 \times 1,37}{2}$ = 0,801
	合計 384,194
	384,20 ㎡



2階床面積　79,22 ㎡

符号	計算式
㋑	9,205 × 7,670 = 70,602
㋺	1,15 × 7,49 = 8,614
	合計 79,216
	79,22 ㎡



建築面積　727,02 ㎡

符号	計算式
㋑	48,875 × 14,875 = 727,016
	727,02 ㎡

延べ床面積　925,42 ㎡

地階	462,00 ㎡
1階	384,20 ㎡
2階	79,22 ㎡
合計	925,42 ㎡

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	面積表		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-74/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

外部仕上表

屋根	フッソ樹脂鋼板 ｔ0.4 横葺　木毛セメント板 ｔ25 アスファルトルーフィグ 940（雪止め金物取付）	軒樋	塩化ビニール樹脂製W=200 前上（既製品）
	フッソ樹脂鋼板折版葺 ｔ0.8 ガラス繊維シート ｔ5裏貼山高160	竪樋	塩化ビニール100φ（カラー） 下部雲生管 SGP150A SOP H=2,000
軒裏	フレキシブルボード ｔ5 EP		
庇	玄関庇：フッソ樹脂鋼板 ｔ0.4 横葺 （庇裏 フレキシブルボード ｔ5 EP）　その他 アルミ製（既製品）	窓　出入口	カラーアルミサッシ・カラーアルミドア・電動式重量スチールシャッターSOP
外壁	ALC版 ｔ125 複層塗材E　　一部フレキシブルボード ｔ8 複層塗材E		
腰	コンクリート打放シ 複層塗材E 増打 ｔ20（GL+1,300）　誘発目地 @ 3,000 程度		
搬入スロープ・叩き	コンクリート直均し仕上		

註記事項

不燃,準不燃認定番号

化粧石膏ボード ｔ9.5	QM-9824
石膏ボード ｔ12.5	NM-8619
けい酸カルシウム ｔ5 ｔ6 ｔ10	NM-8578
ビニールクロス（防かび）	NM-9904
ガラスクロス額縁貼 ｔ50	NM-8610

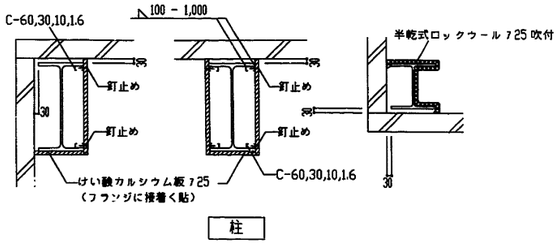
内装仕上材
シックハウス対策に依る内装材料は第4種建材を使用
木製建具,ミニキッチン,第4種建材使用のものとする

内部仕上表

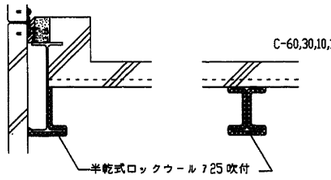
階	室名		床	巾木	H	腰	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	玄関	下地	モルタル	コンクリート打放シ			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	2,590	下足入（スチール製既製品 900 X 900 X 400程度 ）
		仕上	磁器質床用150角タイル貼	磁器質床用150角タイル貼（接着貼）	100		ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			上り框御影石（本磨き） 室名札
	ホール	下地	コンクリート直均し	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	2,490	室名札（3箇所）
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			
	電気室	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ ,ALC版		コンクリート打放シH=850 一部ALC版	ALC版	軽鉄下地	塩ビ製	3,500	柱・梁形 耐火被覆板（けい酸カルシウム ｔ25 EP）
		仕上	別途工事	素地		EP	EP	化粧石膏ボード ｔ9.5			天井裏 グラスウール ｔ100敷込み （密度24kg／㎥ ）
	低圧受電盤室	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ ,ALC版 けい酸カルシウム板 ｔ10		コンクリート打放シH=850 ,ALC版 けい酸カルシウム板 ｔ10	ALC版 一部軽鉄W=65 けい酸カルシウム板 ｔ10	軽鉄下地	塩ビ製	3,000	室名札（3箇所）
		仕上	別途工事	素地		EP	EP	化粧石膏ボード ｔ9.5			
	自家発電機室	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ			ALC版	軽鉄下地 けい酸カルシウム板 ｔ5 捨貼		3,000	
		仕上	別途工事	素地	100		ガラスクロス額縁貼 ｔ50 （密度32kg／㎥ ）	ガラスクロス額縁貼 ｔ50 （密度32kg／㎥ ）			
	倉庫	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ		コンクリート打放シH=850	ALC版 側仕切 軽鉄W=65 けい酸カルシウム板 ｔ10		塩ビ製	3,300	階段裏及び鉄部 SOP
		仕上	素地	素地	100	素地	素地	素地			
	手洗所	下地	コンクリート直均し	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地 けい酸カルシウム板 ｔ5	塩ビ製	2,300	甲板御影石（本磨き）
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	EP			
	便所	下地	コンクリート直均し	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地 けい酸カルシウム板 ｔ5	塩ビ製	2,300	
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	EP			
	分解点検スペース	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ		コンクリート打放シH=1,000	ALC版	木毛セメント板・折版			室名札（3箇所）
		仕上	エポキシ系耐摩耗塗装	エポキシ系耐摩耗塗装	100	素地	素地	素地			鉄部 SOP
	ポンプ室上部	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ		コンクリート打放シH=1,000	ALC版	木毛セメント板・折版			鉄部 SOP
		仕上	エポキシ系防塵塗装	エポキシ系防塵塗装	100	素地	素地	素地			
2階	操作室兼事務室	下地	フリーアクセスフロアー H=300	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	3,000	ブラインドボックス ブラインド
		仕上	帯電防止カーペットタイル	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			天井裏 グラスウール ｔ100敷込み （密度24kg／㎥ ）
	休憩室	下地	コンクリート直均し	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	2,400	カーテンボックス 遮光カーテン　ミニキッチンL=1,200
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			天井裏 グラスウール ｔ100敷込み （密度24kg／㎥ ）
	廊下	下地	コンクリート直均し	軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5			軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	2,400	天井裏 グラスウール ｔ100敷込み （密度24kg／㎥ ）
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0	ビニール巾木	60		ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			室名札（2箇所）
共通	階段室	下地	モルタル金ゴテ				軽鉄W=65 石膏ボード ｔ12.5	軽鉄下地	塩ビ製	2FL+2,400	天井裏 グラスウール ｔ100敷込み （密度24kg／㎥ ）
		仕上	長尺塩化ビニールシート貼 ｔ2.0				ビニールクロス貼	化粧石膏ボード ｔ9.5			
地階	ポンプ室	下地	コンクリート直均し	コンクリート打放シ			軽鉄W=50 けい酸カルシウム板 ｔ6	吹抜 一部コンクリート打放シ（歩廊裏）			
		仕上	別途工事		300		一部コンクリート打放シ 素地 グラスウールボード ｔ50 （密度32kg／㎥ ）	吹抜 素地			

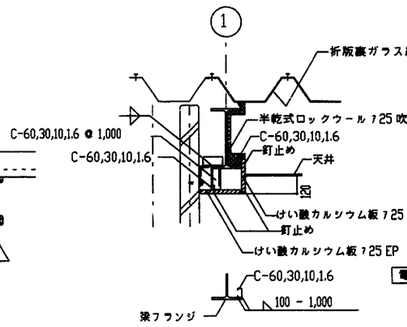
註記事項

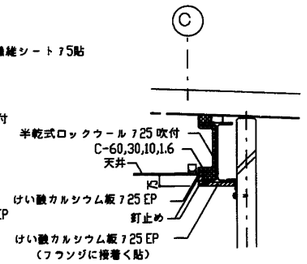
耐火被覆
- 分解点検スペース 柱 ： けい酸カルシウム板 ｔ25（梁耐火被覆不要）
- 電気室　柱 ： けい酸カルシウム板 ｔ25
- 電気室　梁 ： けい酸カルシウム板 ｔ25 1・C 通のみ　（1時間耐火指定番号FP060CN-9416）
- 自家発電機室　柱 ： けい酸カルシウム板 ｔ25
- 休憩室　柱 ： けい酸カルシウム板 ｔ25
- その他　柱・梁 ： 半乾式ロックウール ｔ25 吹付　（1時間耐火指定番号FP060CN-9408）
- 屋根　：折版裏ガラス繊維シート ｔ5貼　（30分耐火指定番号FP030RF-9325）



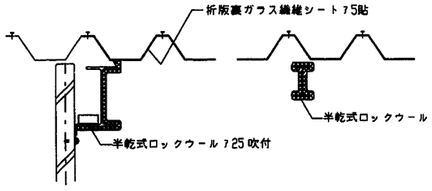
柱



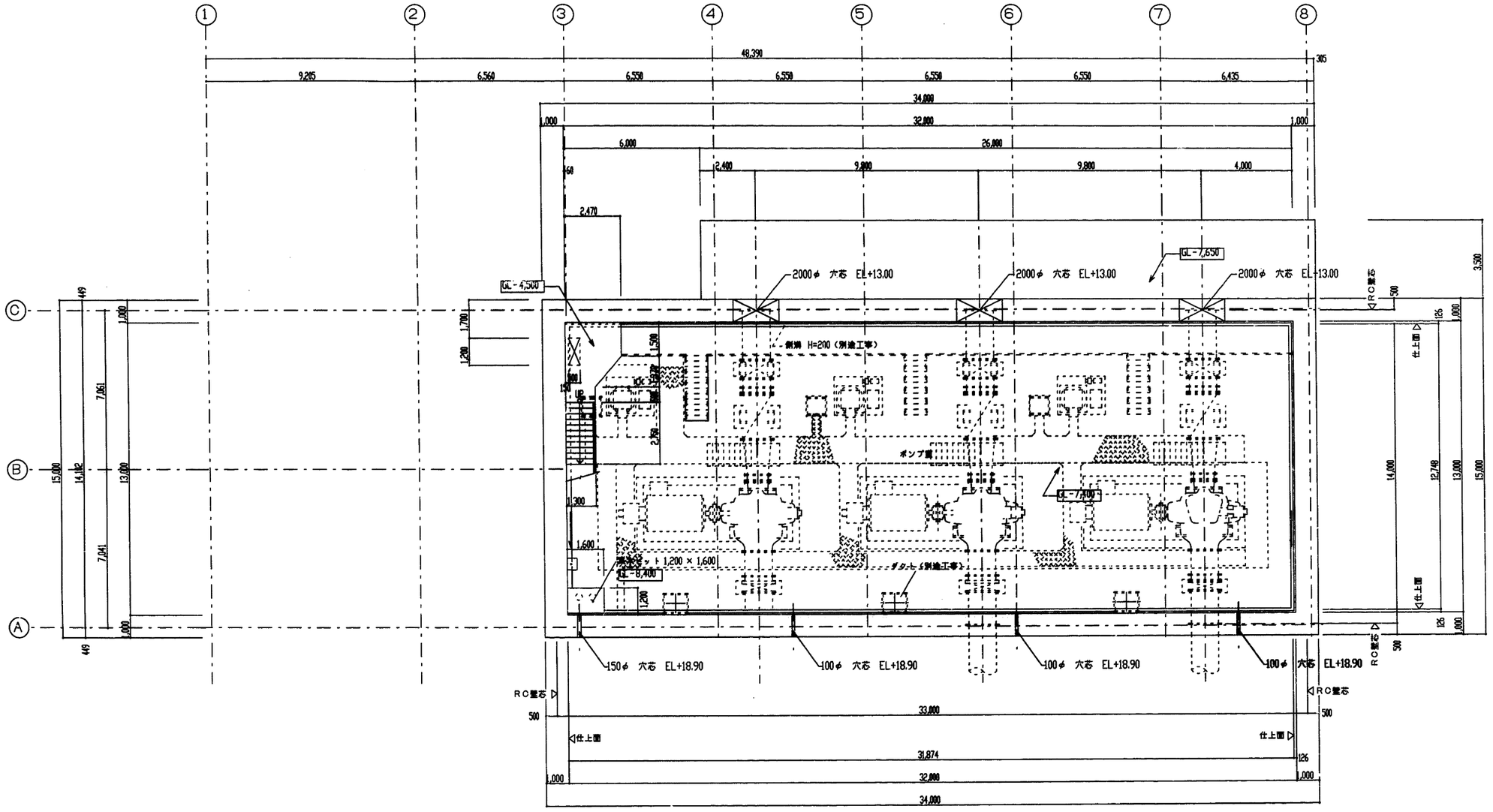




梁



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	仕上表
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-75/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



地階 平面図　S=1/100

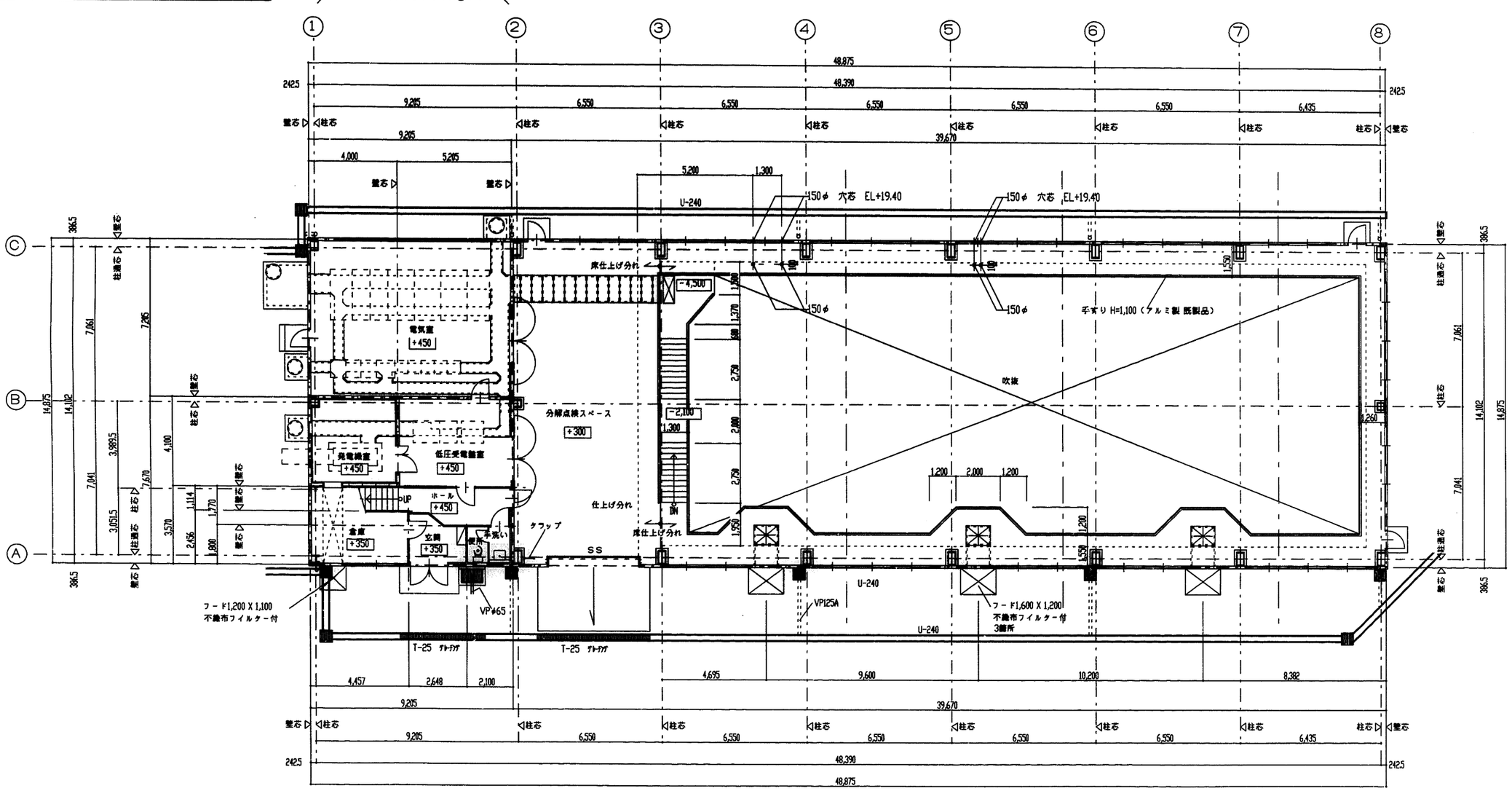
註記

□ 内書入寸法は設計GLからの床高さを示す

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図(1)地階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-76/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

無窓階の判定		
1階床面積	384.20 ㎡	判定
必要開口面積	384.20 ÷ 30 = 12.80 ㎡	OK
有効開口面積	1.70 × 2.00 = 3.40	
	0.80 × 2.00 × 4 = 6.40	
	1.70 × 1.20 ÷ 2 = 1.02	
	3.40 × 1.20 × 6 ÷ 2 = 12.24	
	5.10 × 1.20 × 5 ÷ 2 = 15.30	
合計	38.36㎡	

階段	
階段巾	1,000
踏面	250
蹴上	200



1階 平面図 S=1/100

註記

設計GL．EL＋19.00

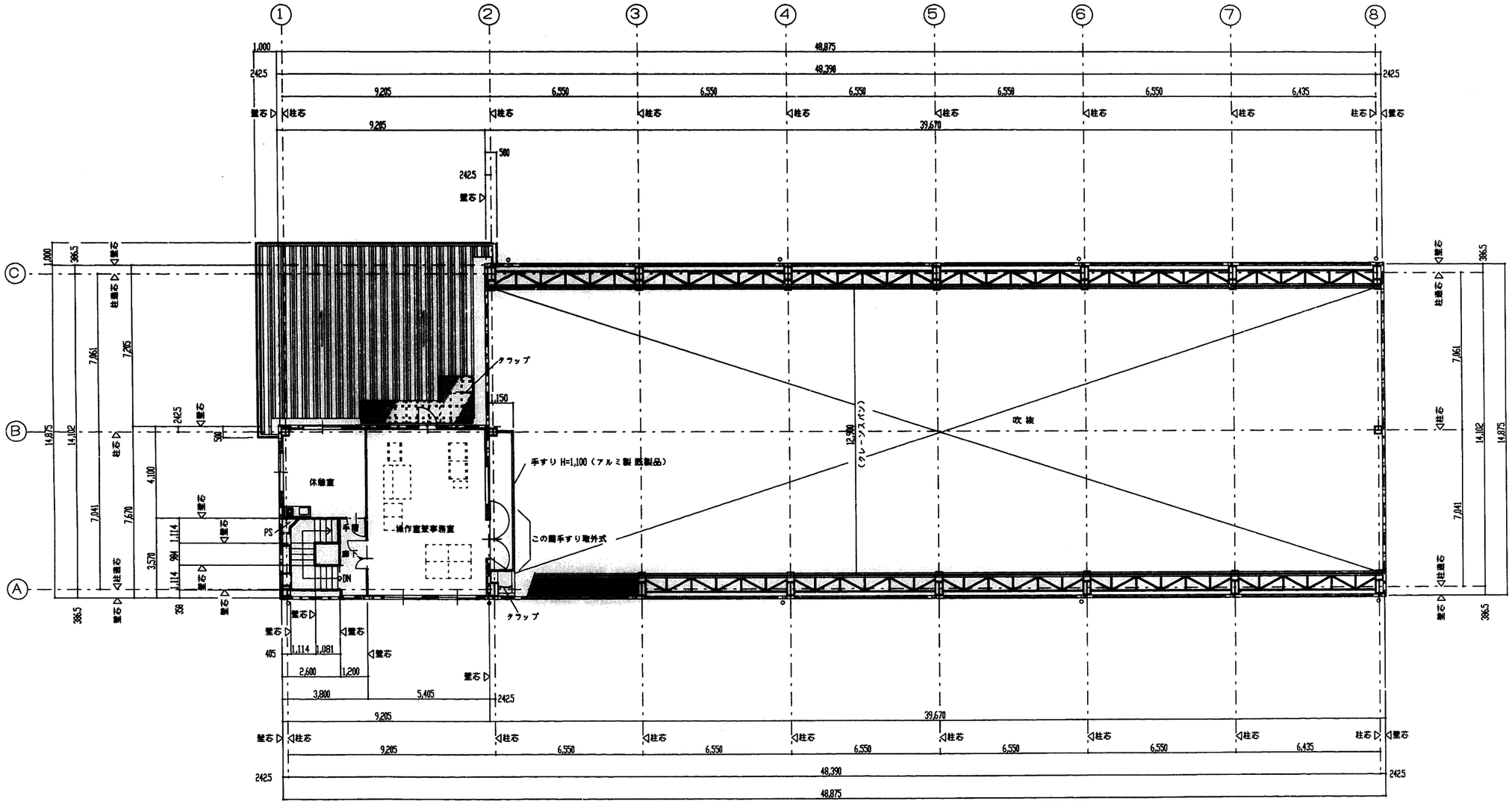
□ 内書入寸法は設計GLからの床高さを示す

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図(2)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-77/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

室名	操作室管事務室		
床面積	5.405×7.67 =41.46 ㎡		
		計算式	判定
採光面積	必要	41.46÷10=4.15 ㎡	OK
	有効	1.70×1.76×2 = 5.98 ㎡	
換気面積	必要	41.46÷20=2.07 ㎡	OK
	有効	5.98 ÷ 2 = 2.99 ㎡	
排煙面積	必要	41.46 ÷ 50 = 0.83 ㎡	OK
	有効	1.70×0.66÷2×2 = 1.12 ㎡	

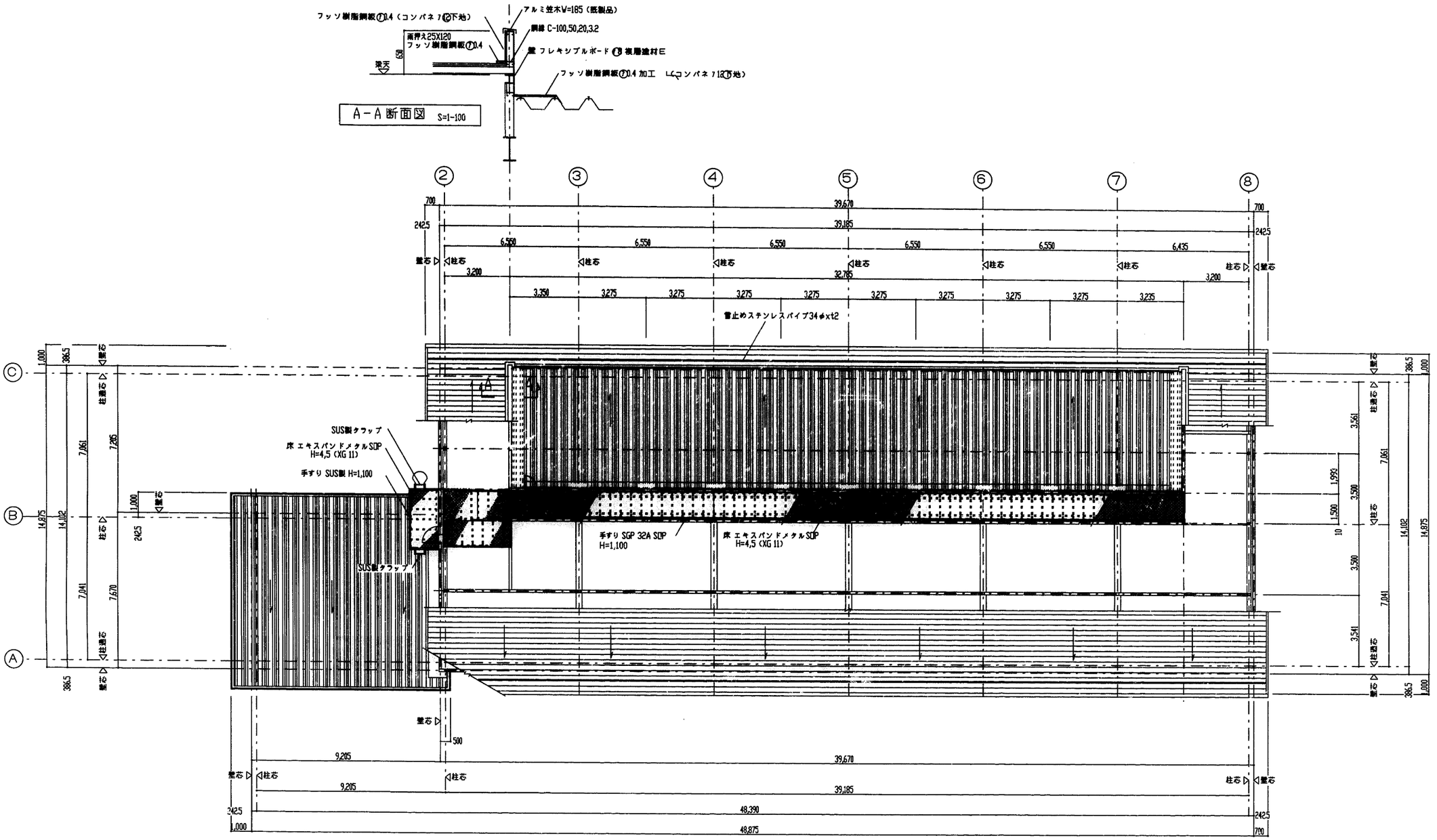
室名	休憩室		
床面積	3.80×4.10 = 15.58 ㎡		
		計算式	判定
採光面積	必要	15.58÷10=1.56 ㎡	OK
	有効	1.70×1.28×2 = 4.35 ㎡	
換気面積	必要	15.58÷20=0.78 ㎡	OK
	有効	4.35 ÷ 2 = 2.17 ㎡	
排煙面積	必要	15.58 ÷ 50 = 0.31 ㎡	OK
	有効	1.70×0.78÷2×2 = 1.32㎡	

無窓階の判定		
2階床面積	79.22 ㎡	判定
必要開口面積	79.22 ÷ 30 = 2.64 ㎡	OK
有効開口面積	0.80 × 2.00 = 1.60	
	1.70 × 1.76 × 2 ÷ 2 = 2.99	
	1.70 × 1.28 × 2 ÷ 2 = 2.17	
合計	6.76㎡	



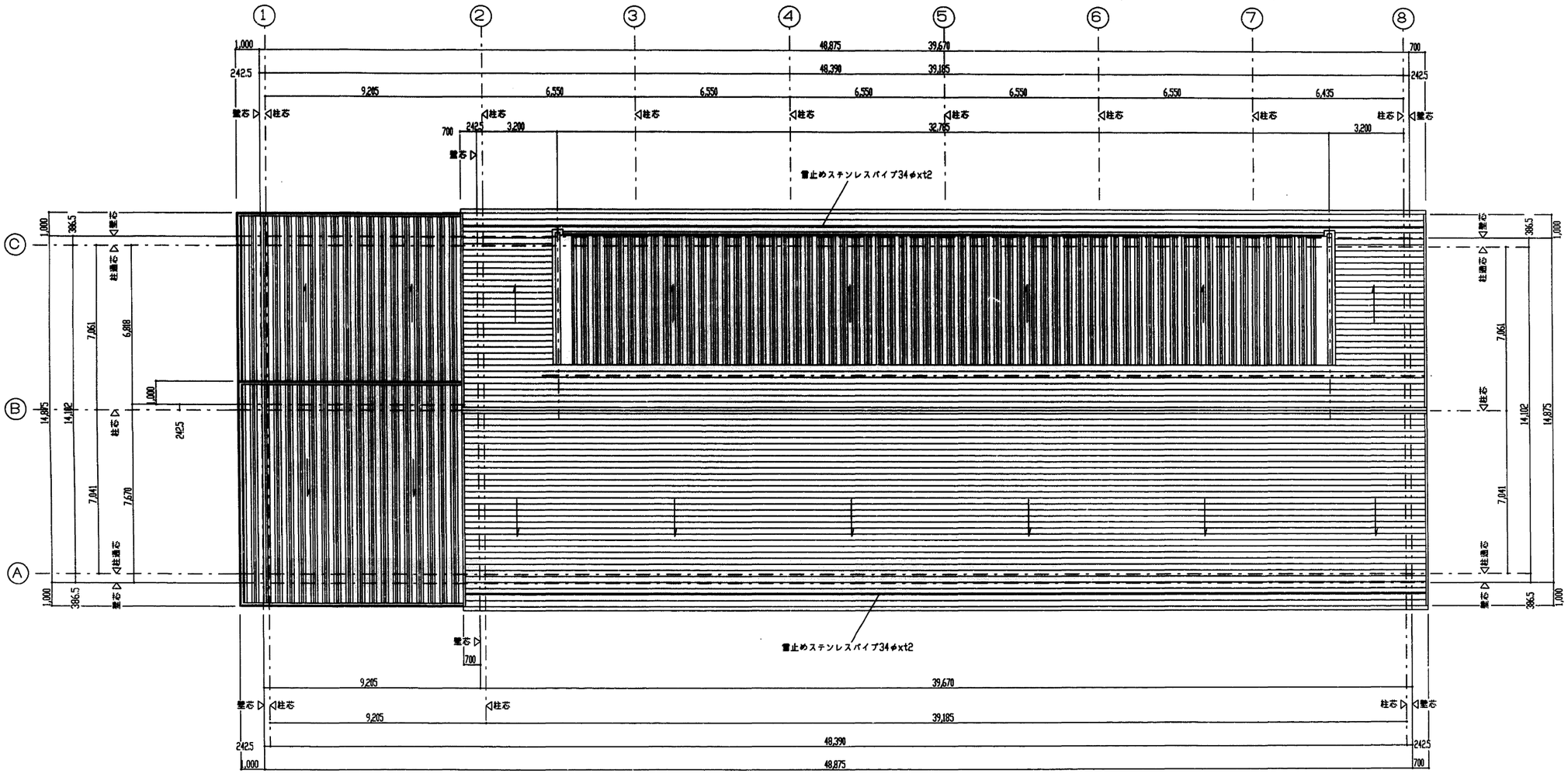
2階 平面図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図(3)2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-78/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



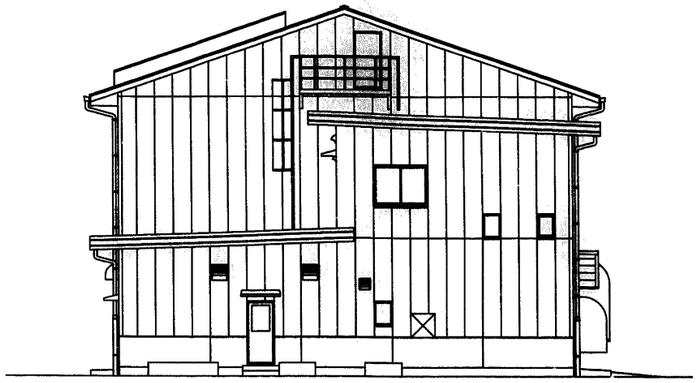
小屋裏 平面図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図(4)小屋裏		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-79/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

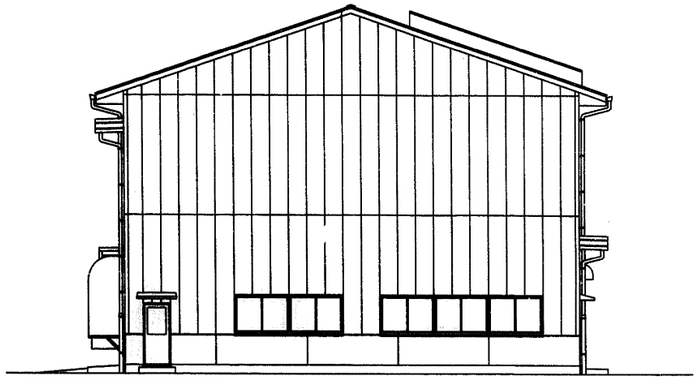


屋根 平面図 S=1/100

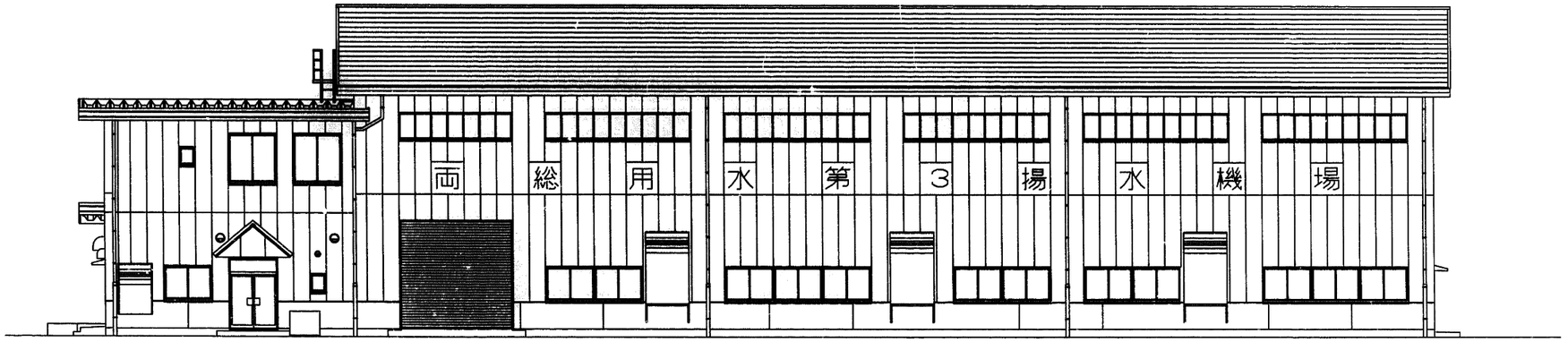
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図(5)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-80/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



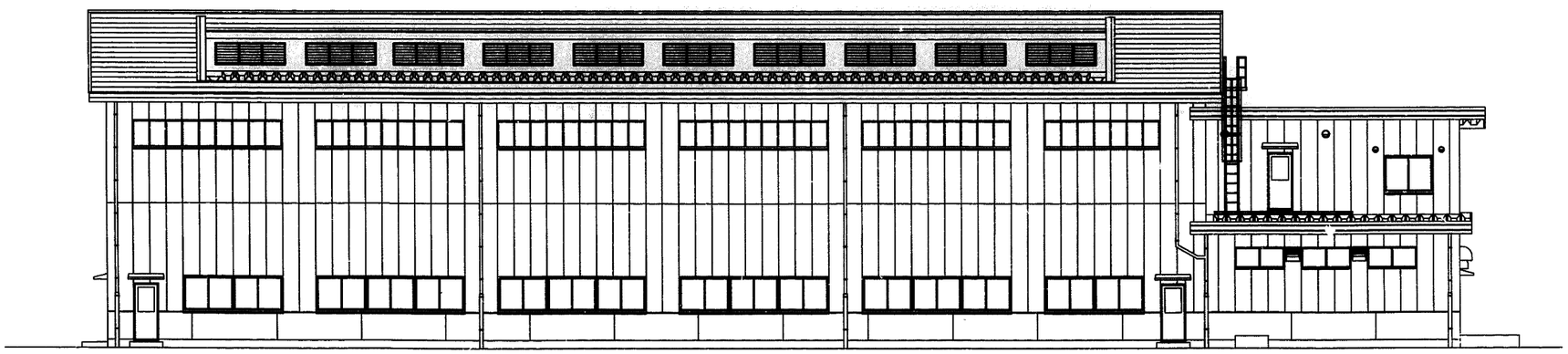
東側 立面図 S=1/100



西側 立面図 S=1/100

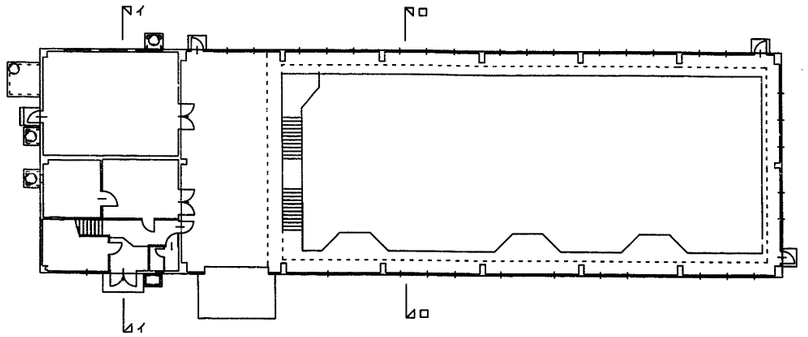


北側 立面図 S=1/100

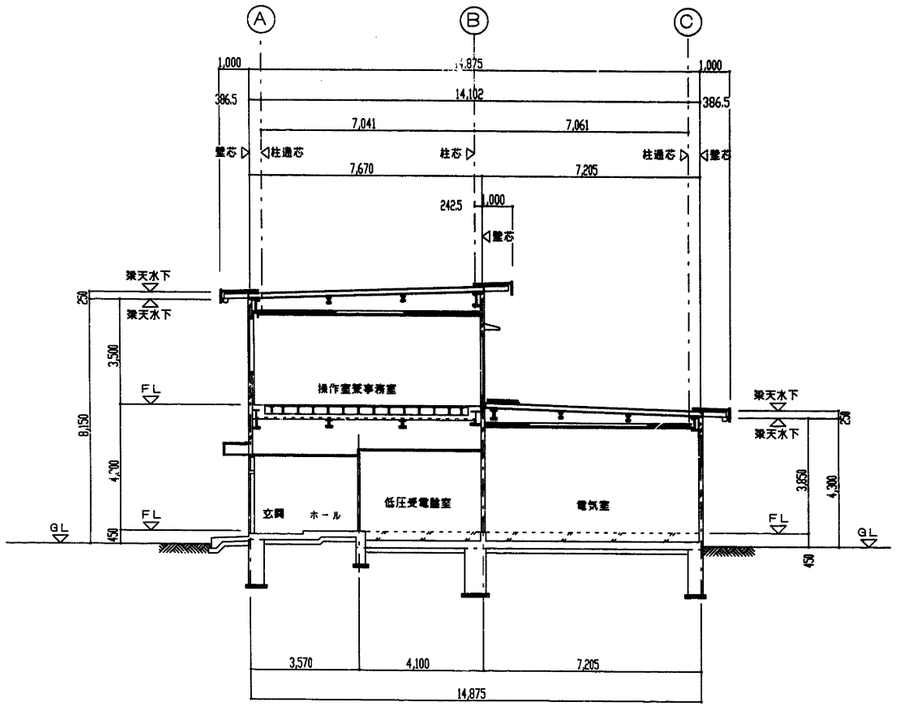


南側 立面図 S=1/100

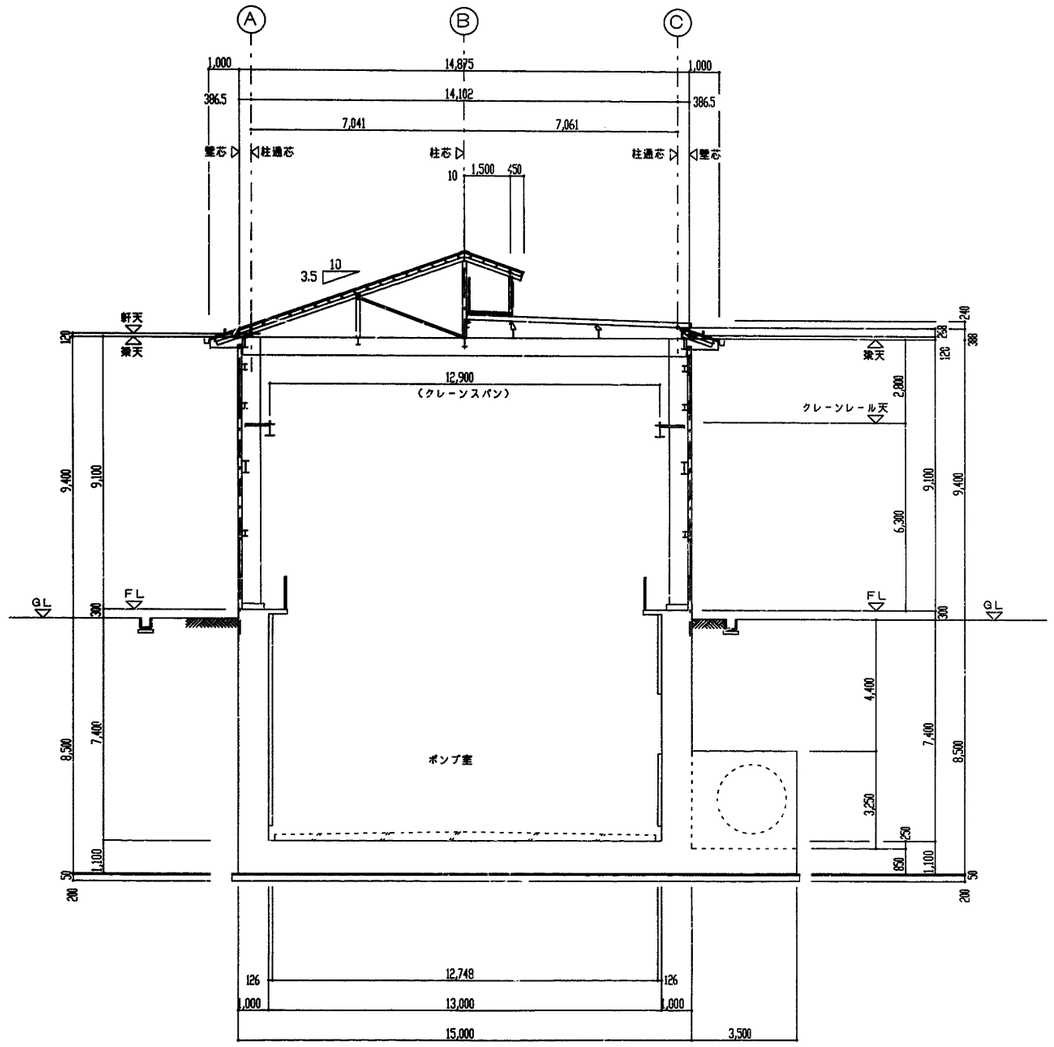
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	立面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-81/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



KEYPLAN

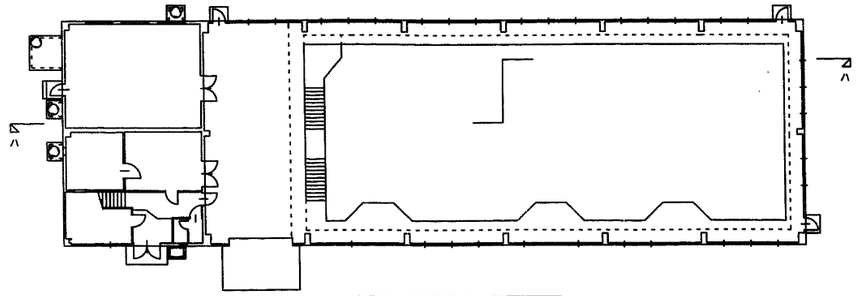


イ－イ 断面図 S=1/100

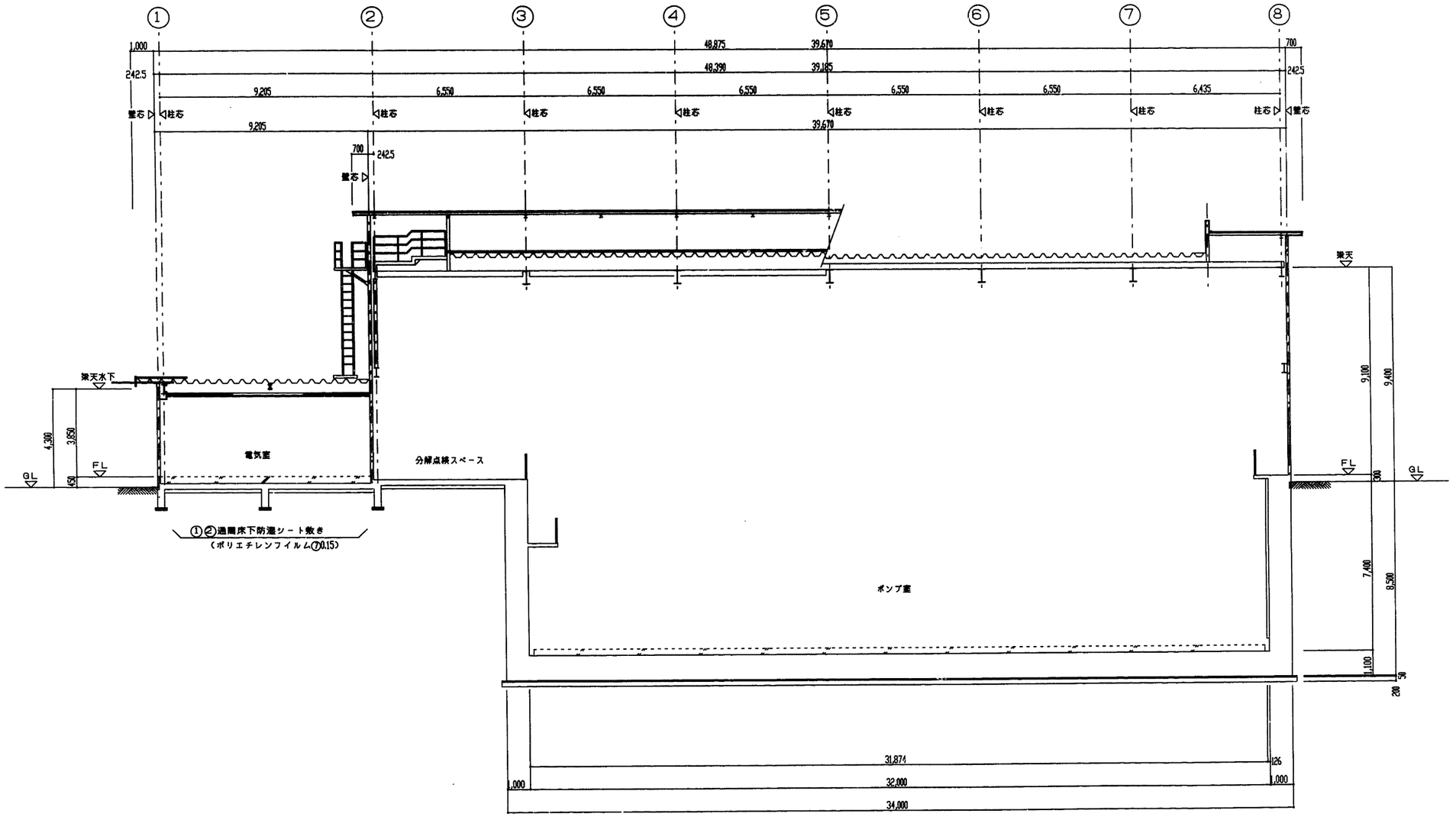


ロ－ロ 断面図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	断面図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-82/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

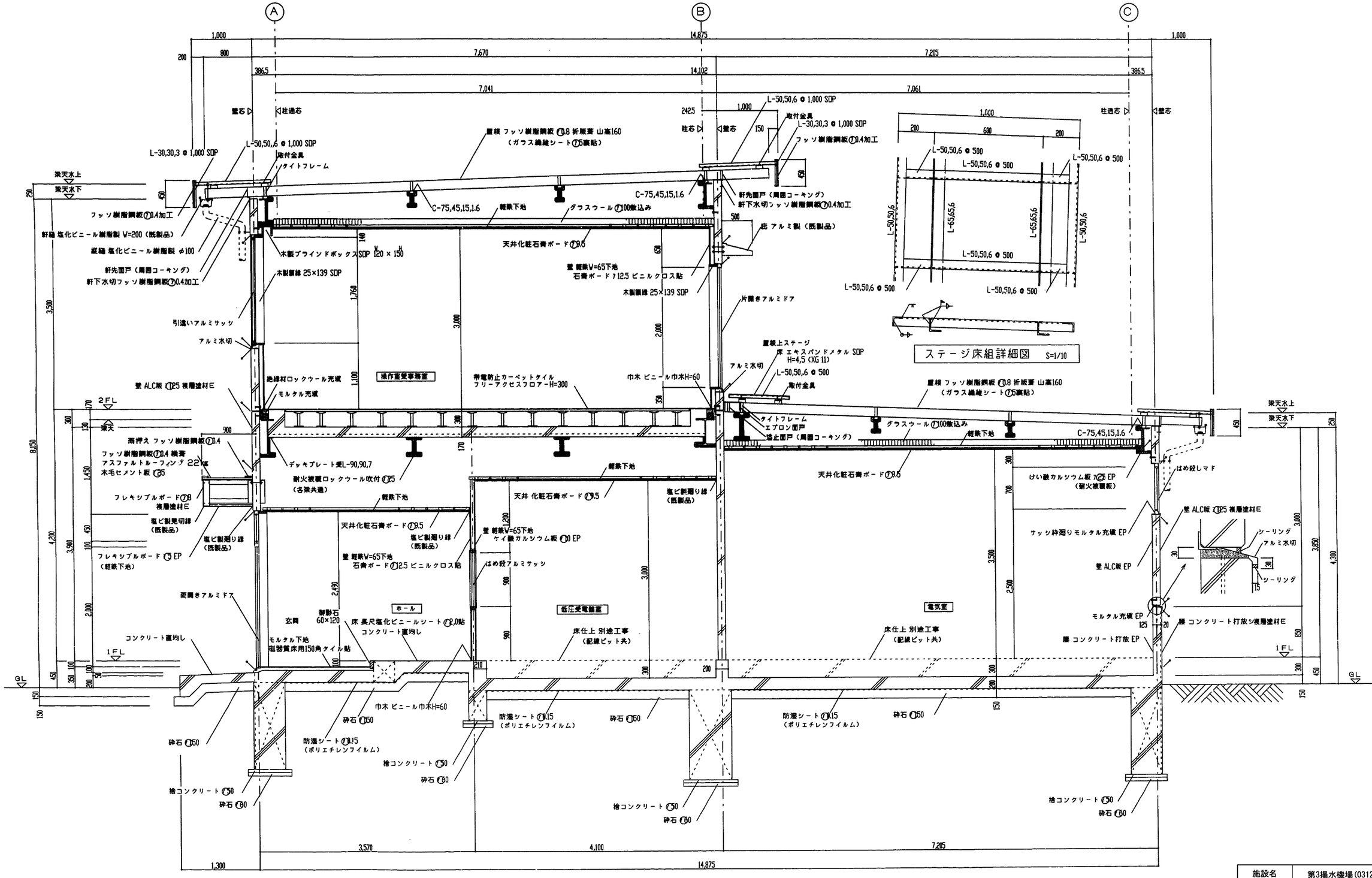


KEYPLAN



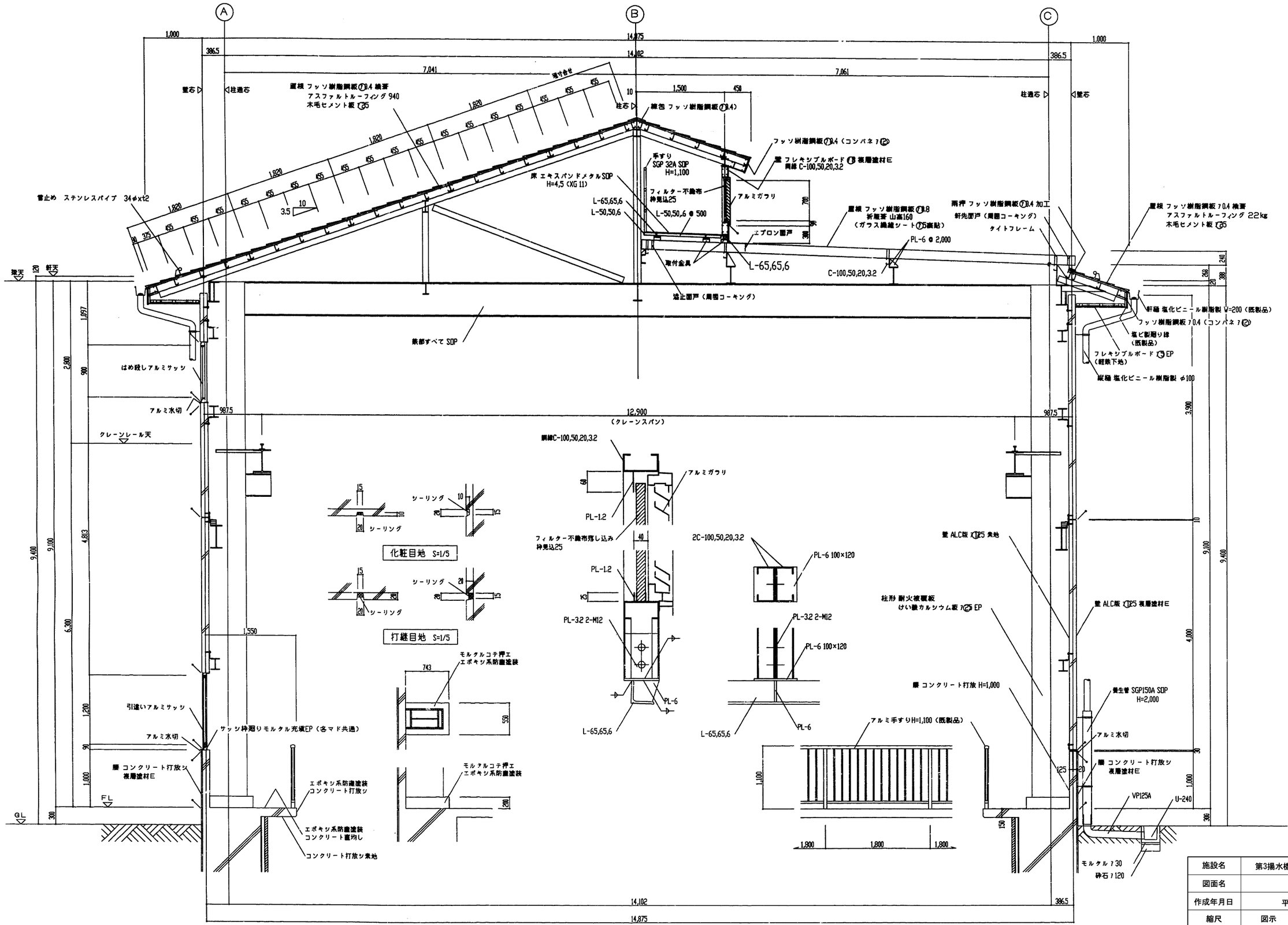
ハ－ハ 断面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	断面図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-83/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

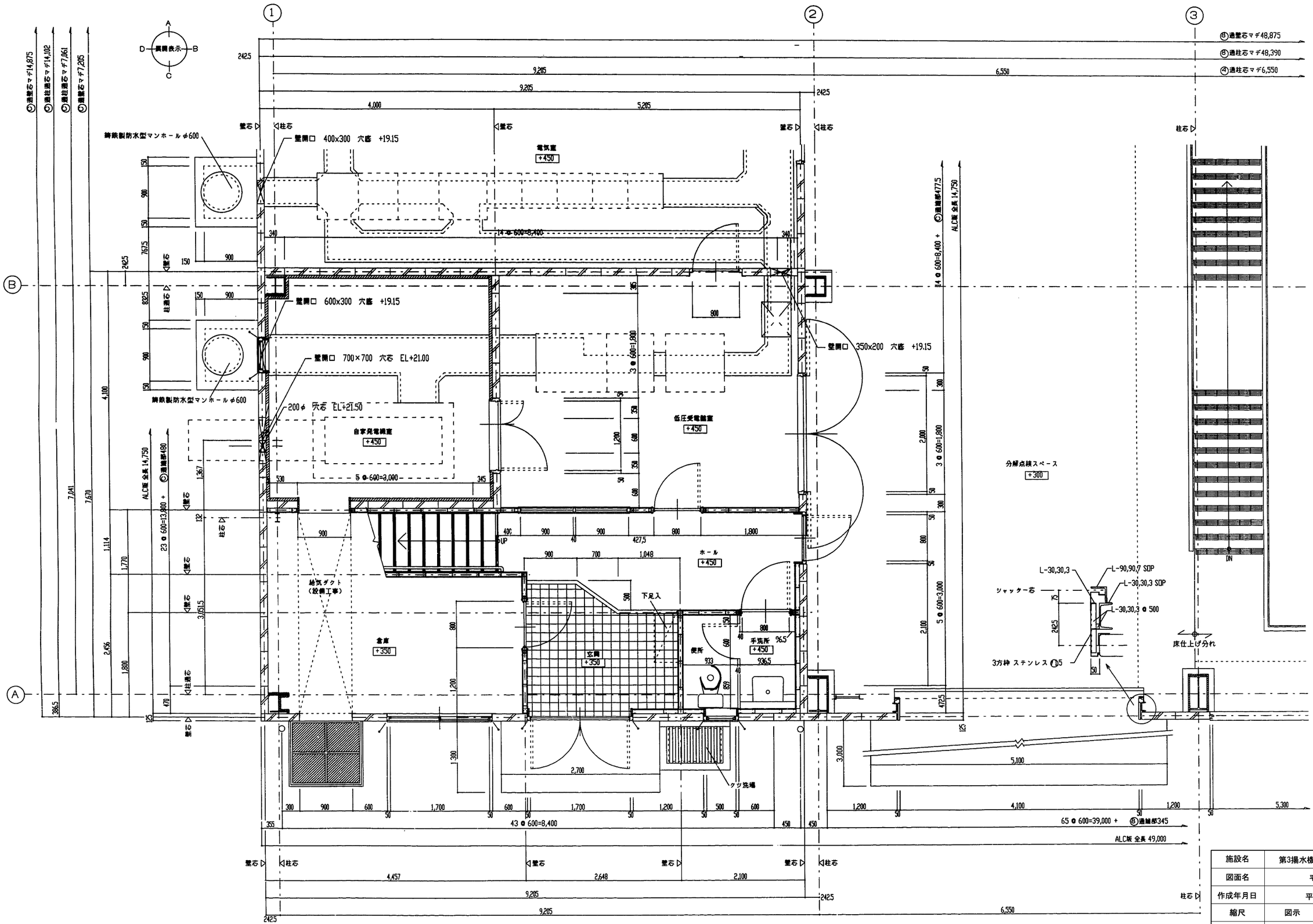


ステージ床組詳細図 S=1/10

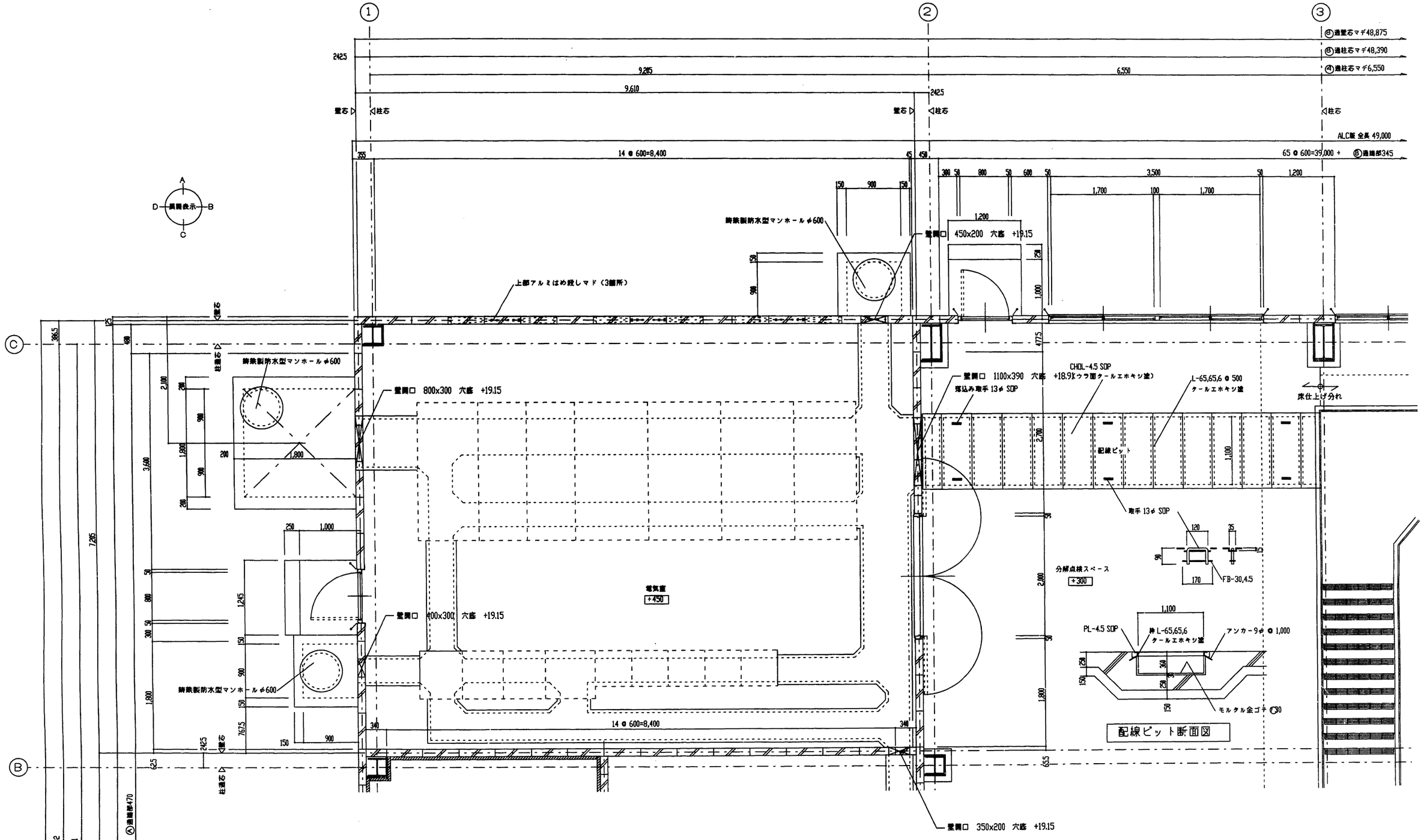
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	短計詳細図(1)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-84/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



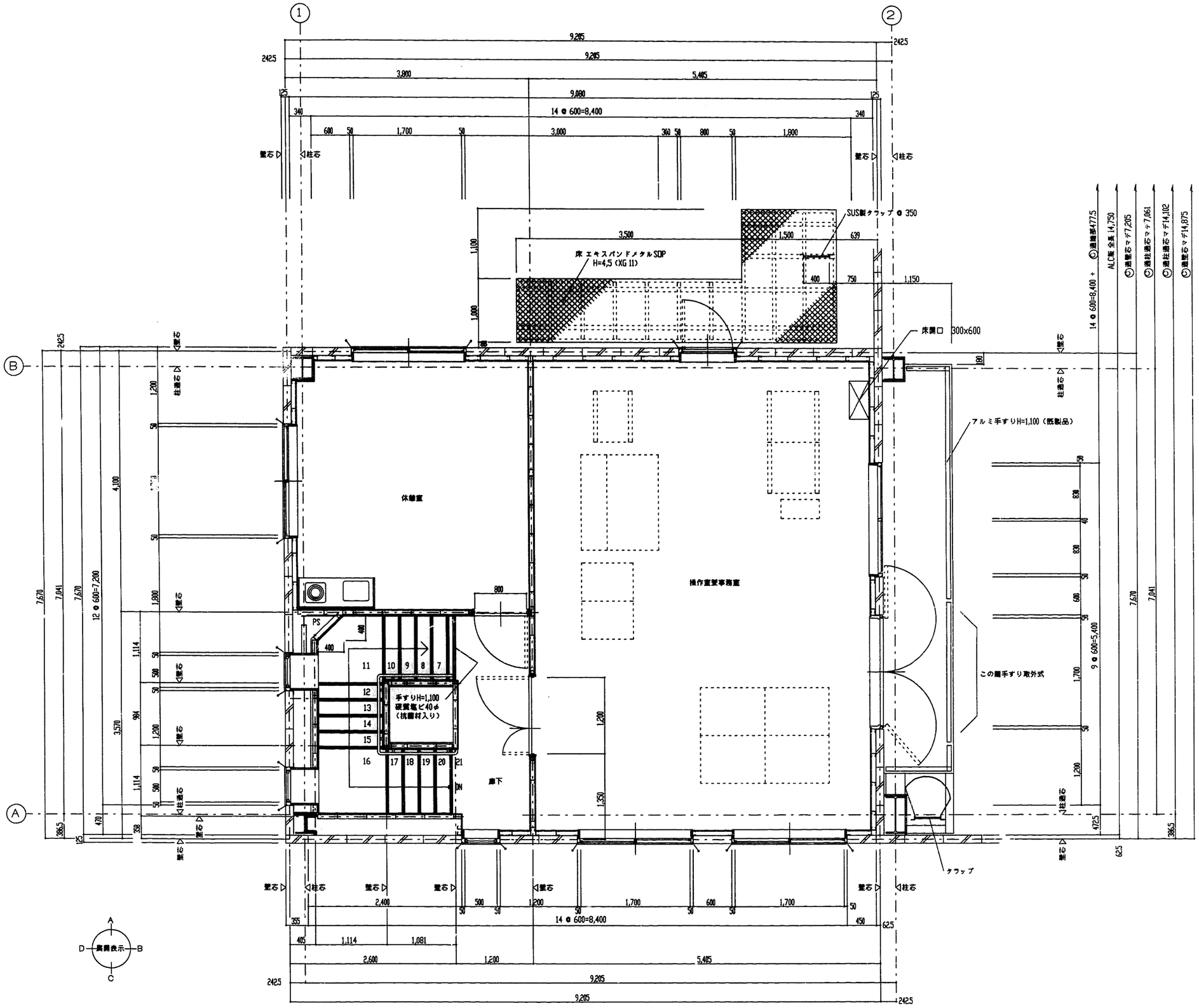
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	短計詳細図 (2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-85/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面詳細図(1)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-86/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

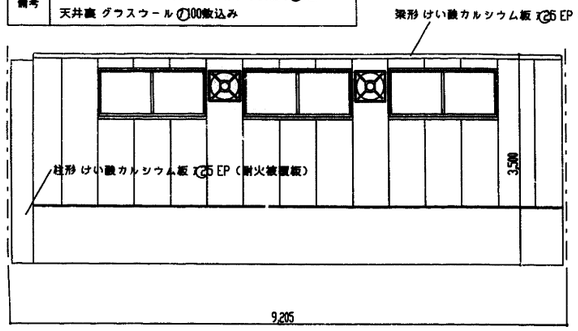


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面詳細図(2)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-87/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

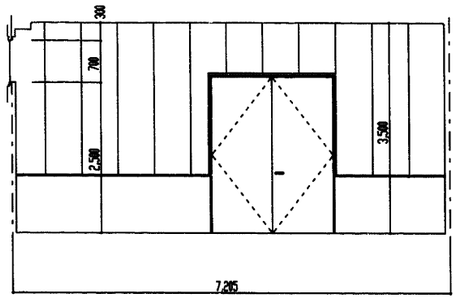


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	平面詳細図(3)2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-88/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

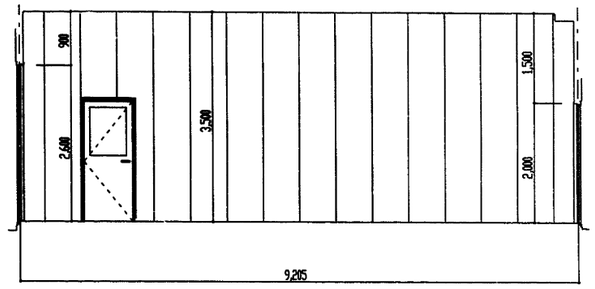
室名	電気室
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ALC版 EP
腰	コンクリート打放シ EP H=850　　ALC版 EP
巾木	―――
床	仕上別途工事
備考	柱・梁形 耐火被覆板けい酸カルシウム板 7㉕ EP
	天井裏 グラスウール㉑100敷込み



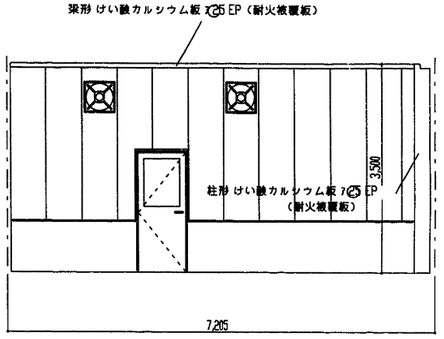
A 面



B 面

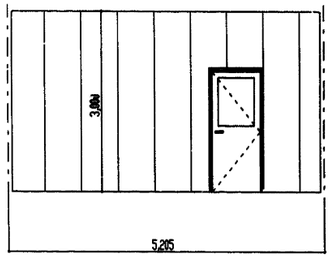


C 面

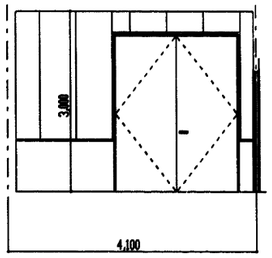


D 面

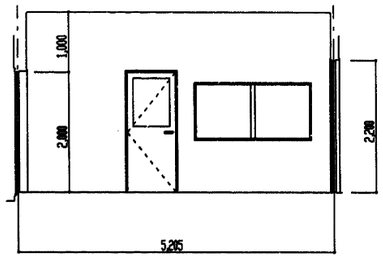
室名	低圧受電盤室
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ALC版 EP
	C面のみけい酸カルシウム板 7⑪ EP（軽鉄W=65下地）
腰	コンクリート打放シ EP H=850　　ALC版 EP
	C面のみけい酸カルシウム板 7⑪ EP（軽鉄W=65下地）
巾木	―――
床	仕上別途工事
備考	



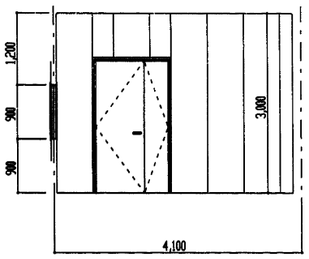
A 面



B 面

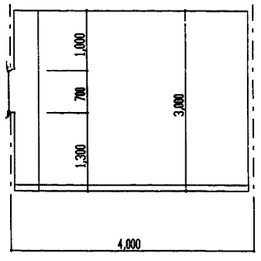


C 面

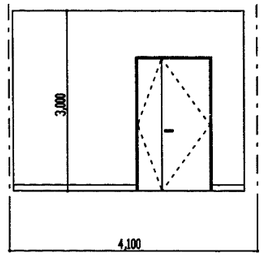


D 面

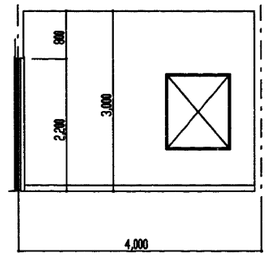
室名	自家発電機室
天井	ガラスクロス額縁貼 ⑰50
	軽鉄下地 けい酸カルシウム板⑰5 捲貼
壁	ガラスクロス額縁貼 ⑰30 （下地ALC版）
巾木	コンクリート打放 EP H=100
床	仕上別途工事
備考	



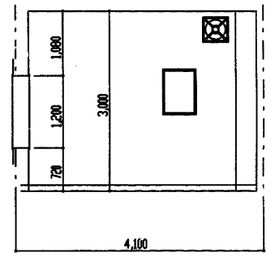
A 面



B 面

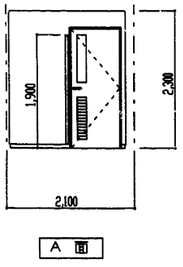


C 面

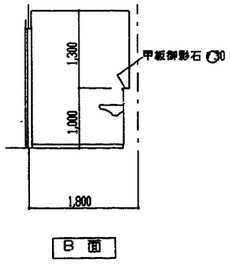


D 面

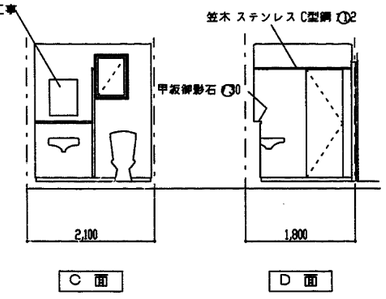
室名	手洗所,便所
天井	けい酸カルシウム ⑮ EP（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄W=65 石膏ボード7⑮5
巾木	ビニール巾木 H=60
床	長尺塩化ビニールシート貼⑦2.0
	下地 コンクリート直均し
備考	甲板御影石（水磨き）⑦ 30



A 面

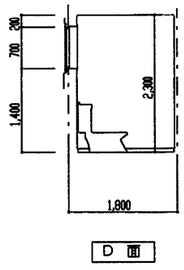


B 面



C 面

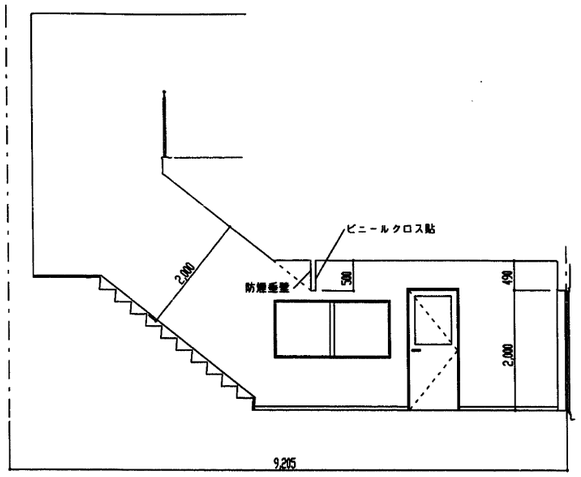
D 面



D 面

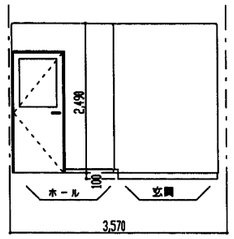
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	展開図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-89/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

室名	玄関
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄V=65 石膏ボード7①5
巾木	磁器質床用150角タイル貼（接着貼）H=100
	下地 コンクリート打放
床	磁器質床用150角タイル貼
	下地 モルタル
備考	上り框 御影石 50×120（水磨き）

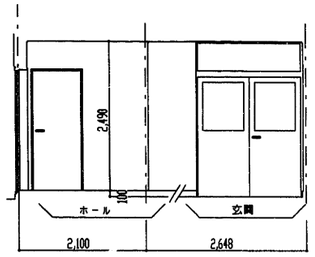


A 面

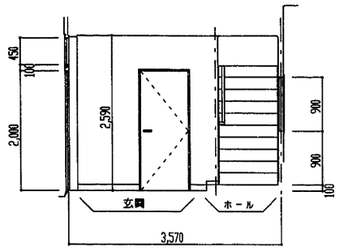
室名	ホール
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄V=65 石膏ボード7①5
巾木	ビニール巾木 H=60
床	長尺塩化ビニールシート貼⑦2.0
	下地 コンクリート直均し
備考	



B 面

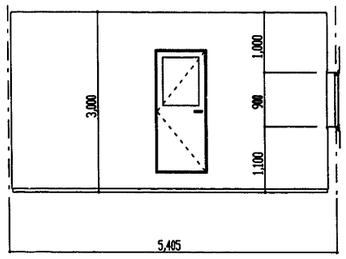


C 面

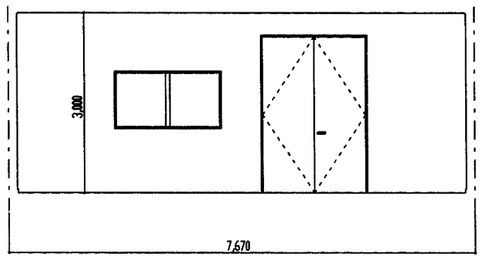


D 面

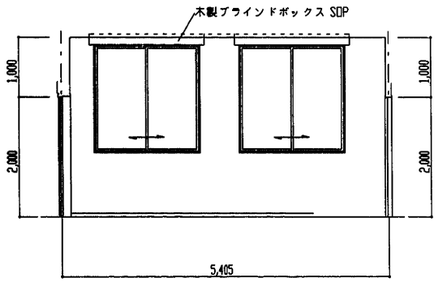
室名	操作室兼事務室
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄V=65 石膏ボード7①5
巾木	ビニール巾木 H=60
床	帯電防止カーペットタイル
	フリーアクセスフロアーH=300
備考	木製ブラインドボックス SOP ・ ブラインド 天井裏 グラスウール⑦100敷込み



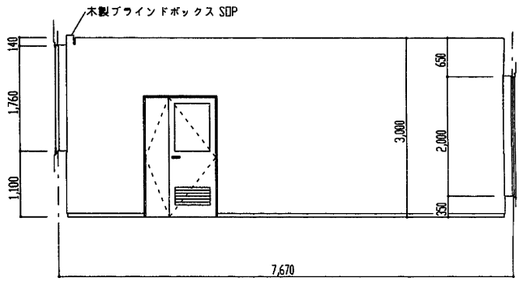
A 面



B 面

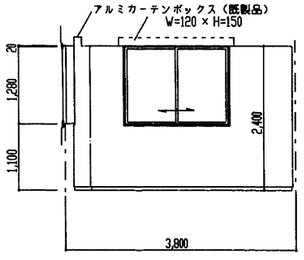


C 面

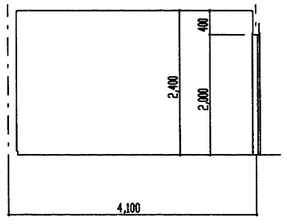


D 面

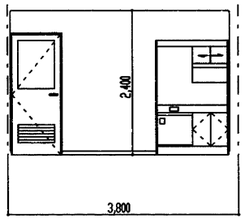
室名	休憩室
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄V=65 石膏ボード7①5
巾木	ビニール巾木 H=60
床	長尺塩化ビニールシート貼⑦2.0
	下地 コンクリート直均し
備考	アルミカーテンボックス（既製品遮光カーテン 天井裏 グラスウール⑦100敷込み



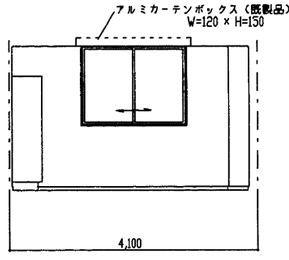
A 面



B 面

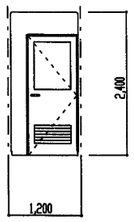


C 面

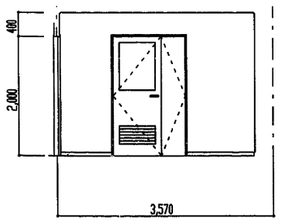


D 面

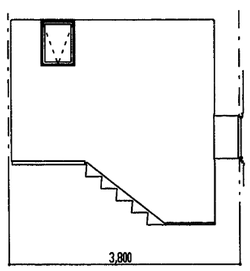
室名	廊下
天井	化粧石膏ボード⑦9.5（軽鉄下地）
	塩ビ廻り縁（既製品）
壁	ビニールクロス貼
	下地 軽鉄V=65 石膏ボード7①5
巾木	ビニール巾木 H=60
床	長尺塩化ビニールシート貼⑦2.0
	下地 コンクリート直均し
備考	天井裏 グラスウール⑦100敷込み



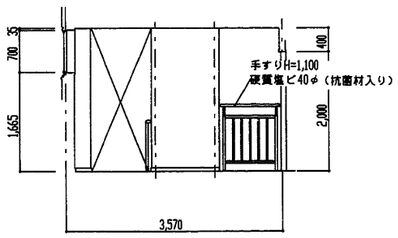
A 面



B 面

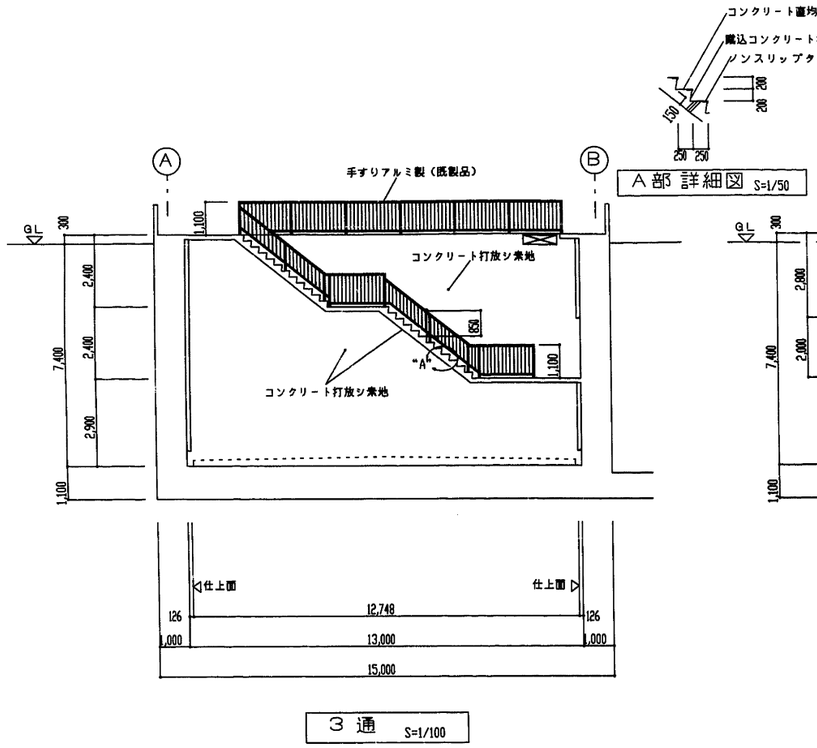


C 面



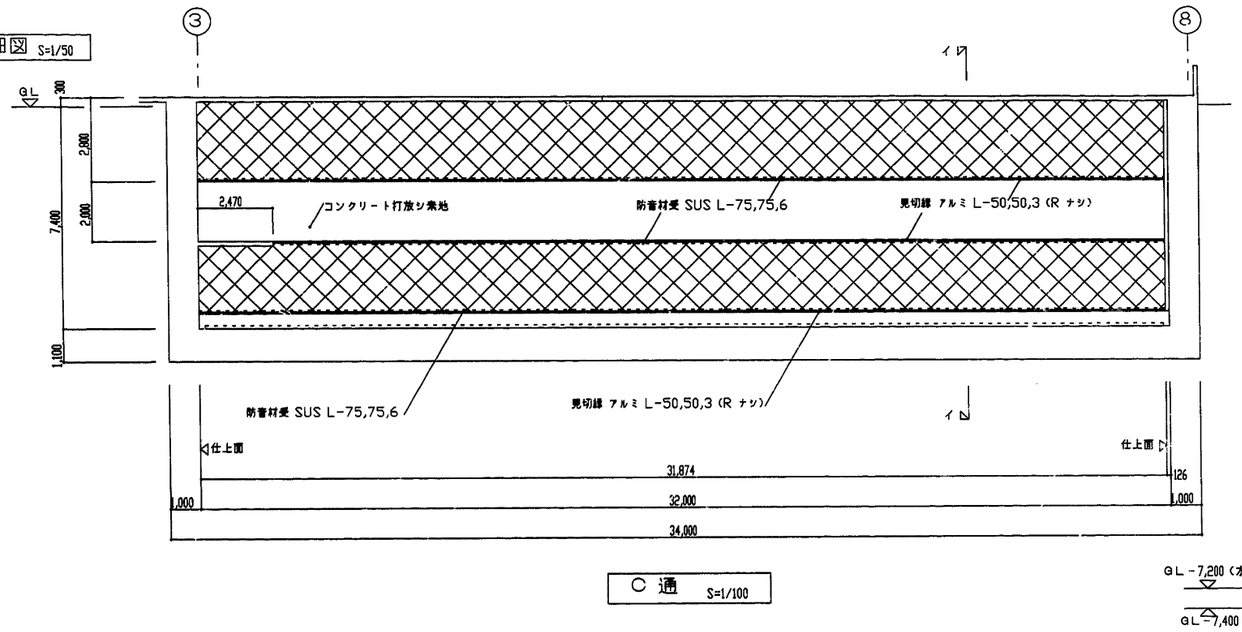
D 面

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	展開図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-90/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

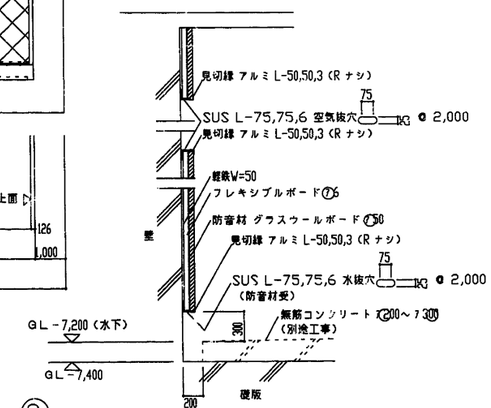


3 通 S=1/100

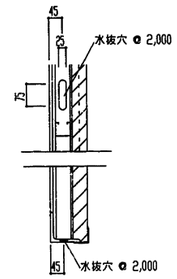
A部 詳細図 S=1/50



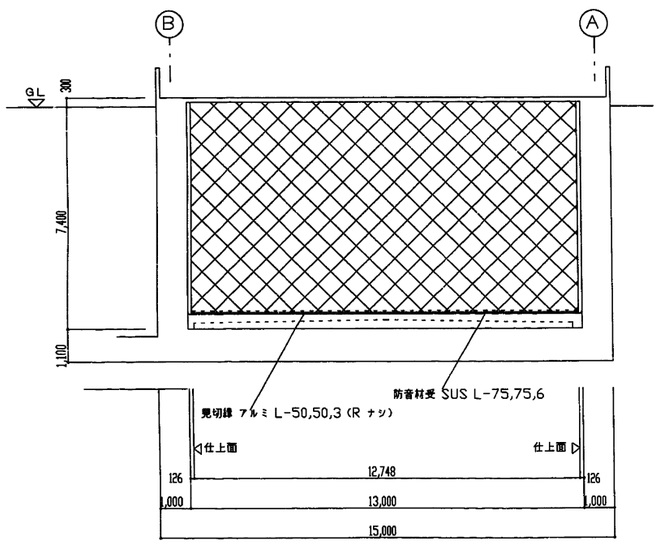
C 通 S=1/100



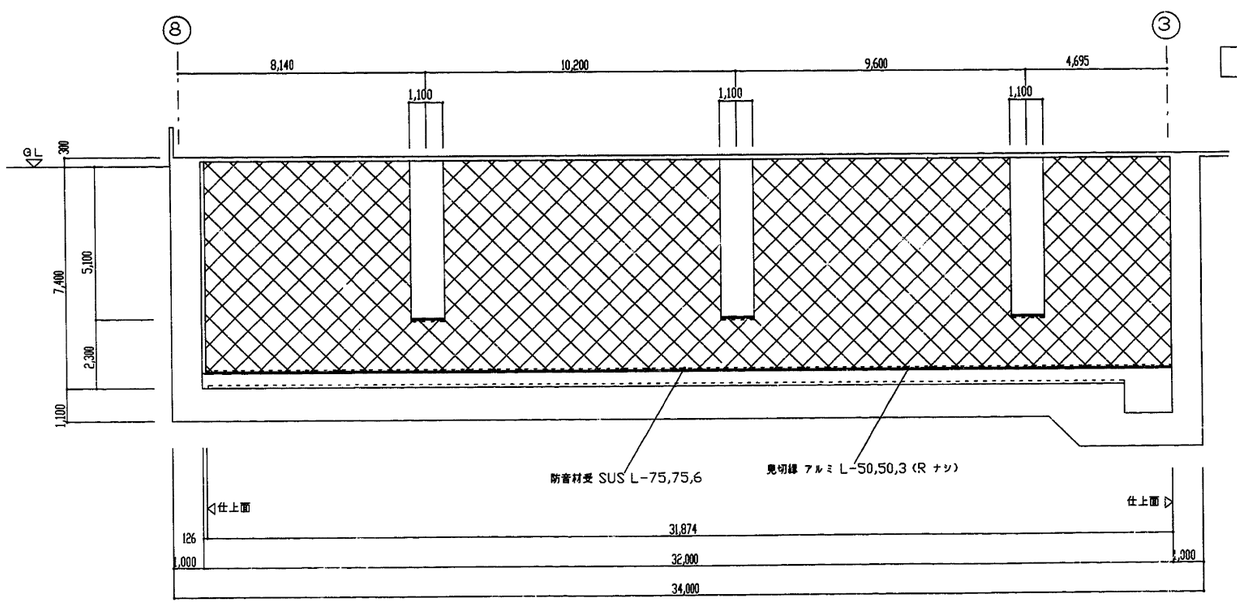
イ－イ 断面詳細図 S=1/30



水抜穴 部分詳細図 S=1/10



8 通 S=1/100

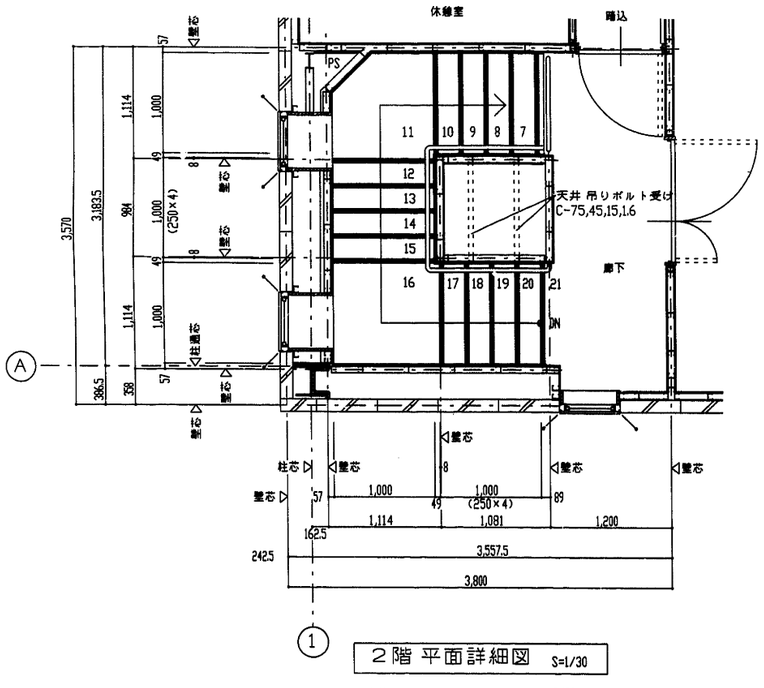


A 通 S=1/100

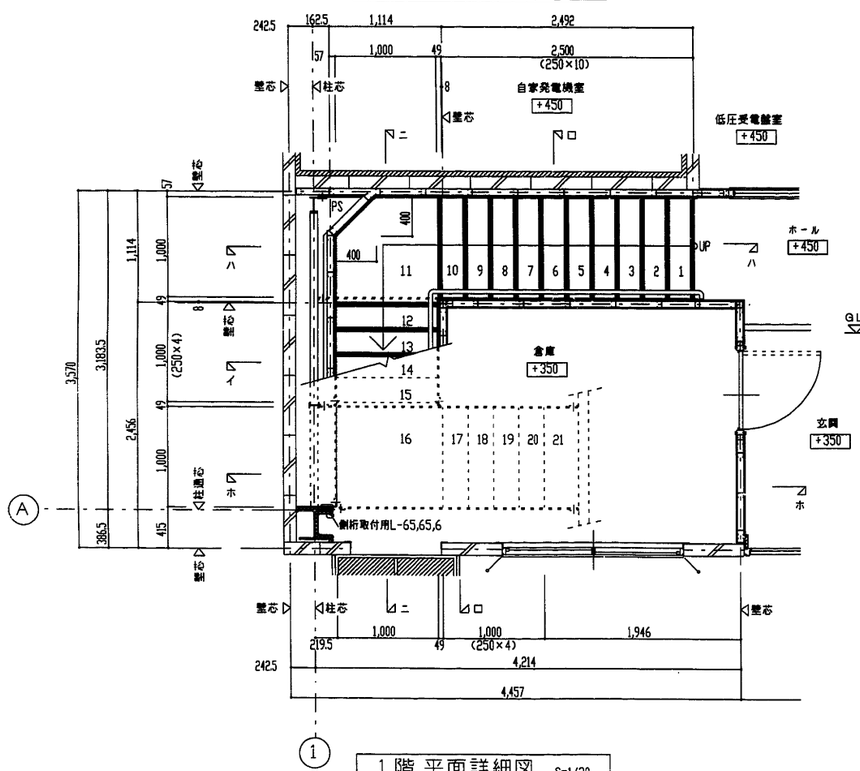
防音材施工範囲図 S=1/100

印 防音材（軽鉄W=50 フレキシブルボード7⑥下地
グラスウールボード⑦50）

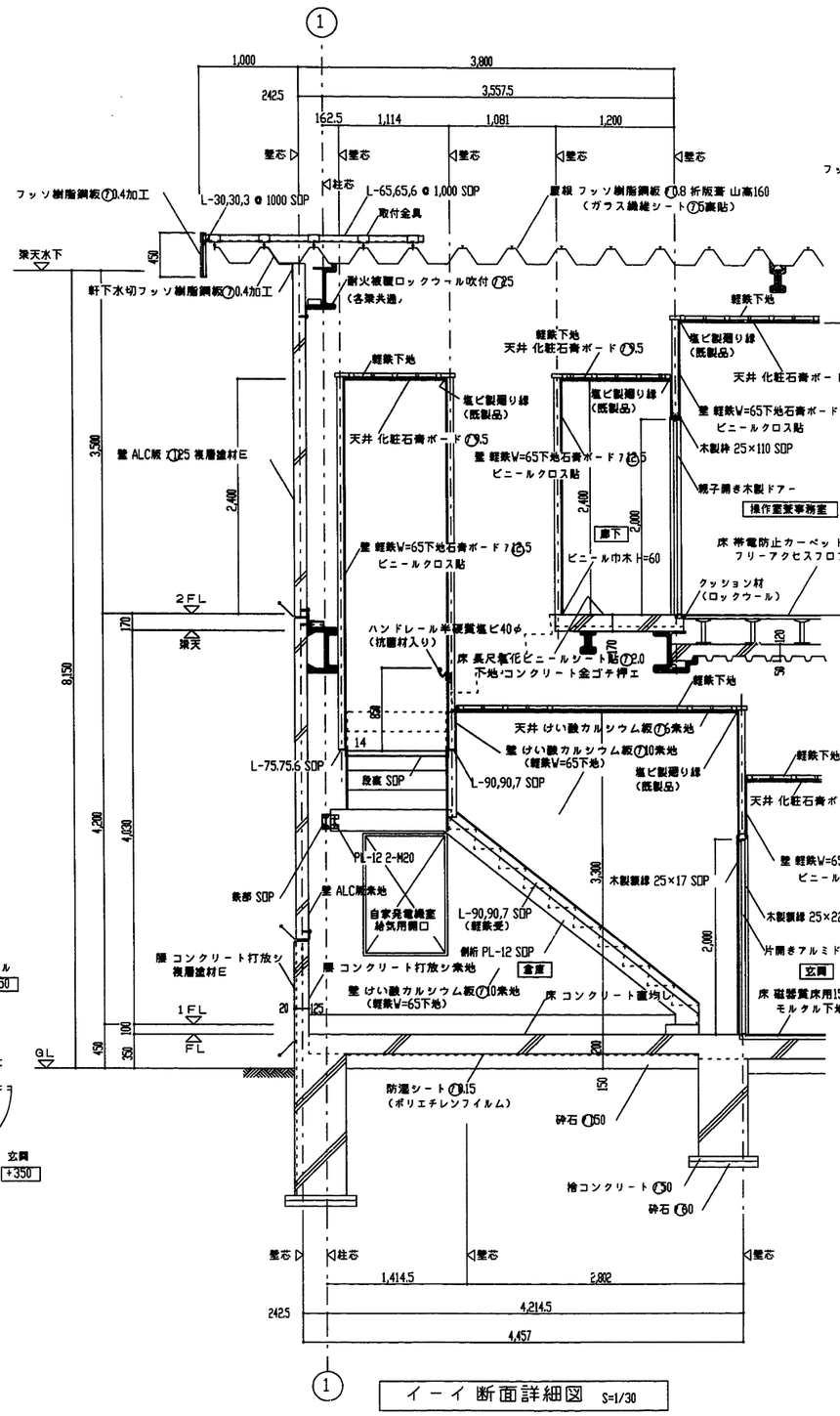
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	展開図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-91/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



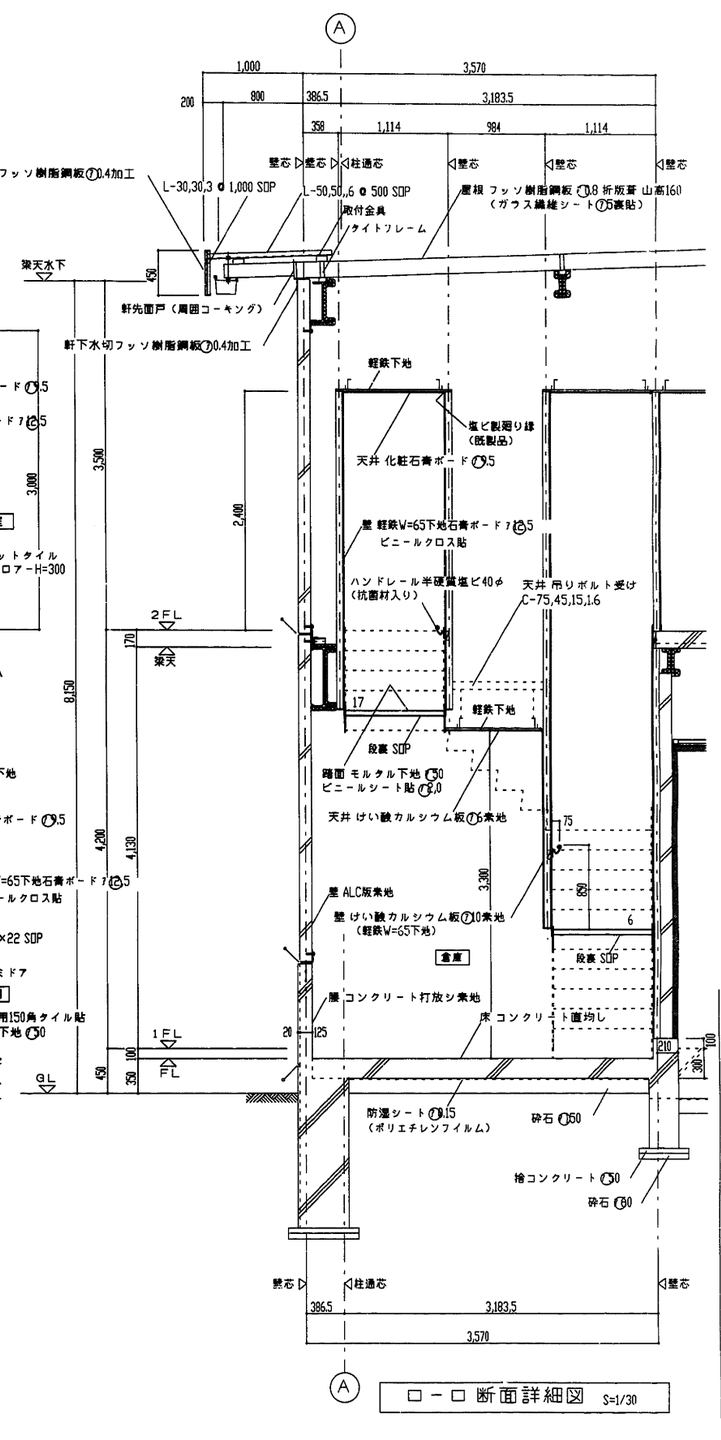
2階 平面詳細図 S=1/30



1階 平面詳細図 S=1/30

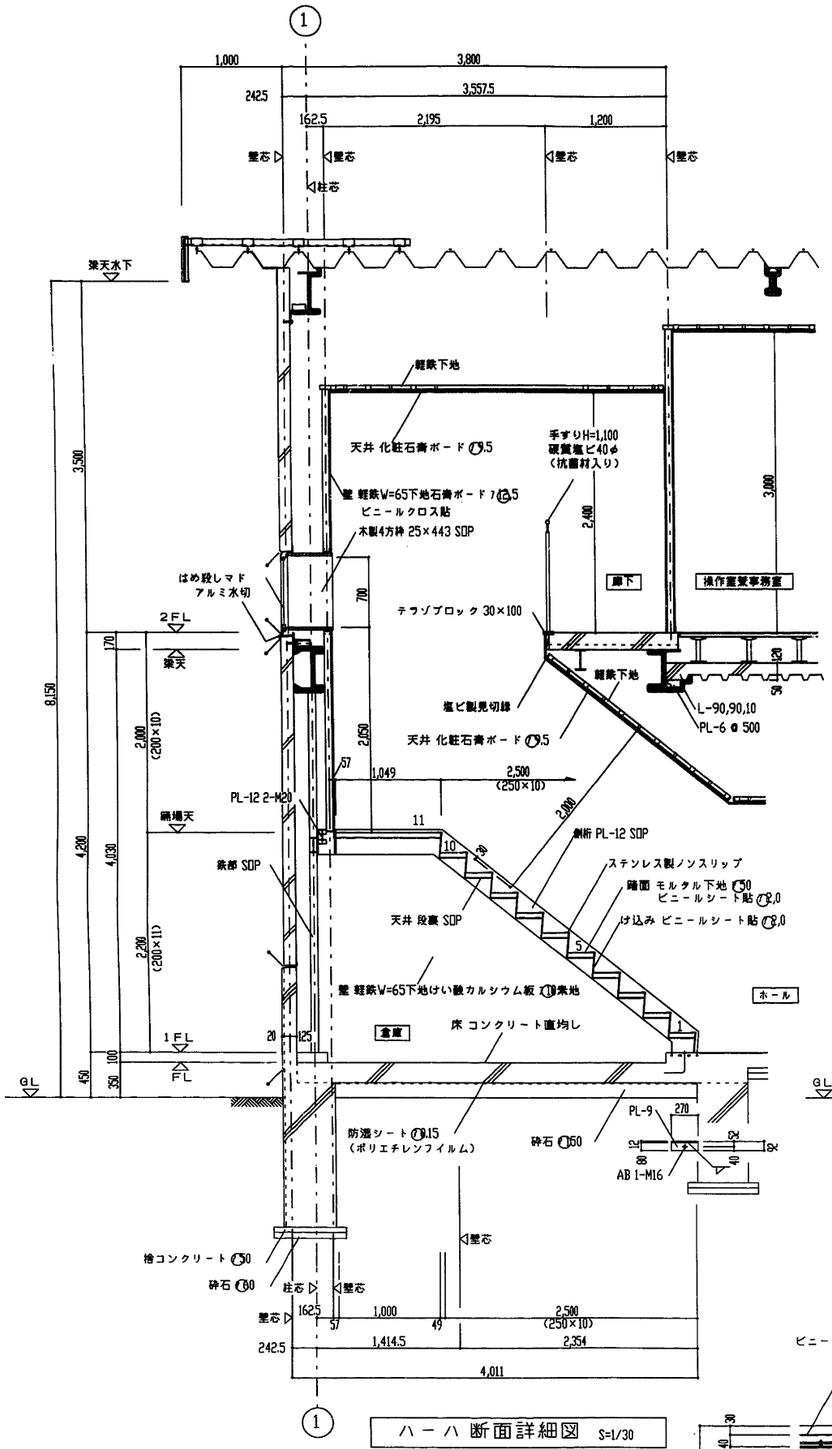


イ－イ 断面詳細図 S=1/30

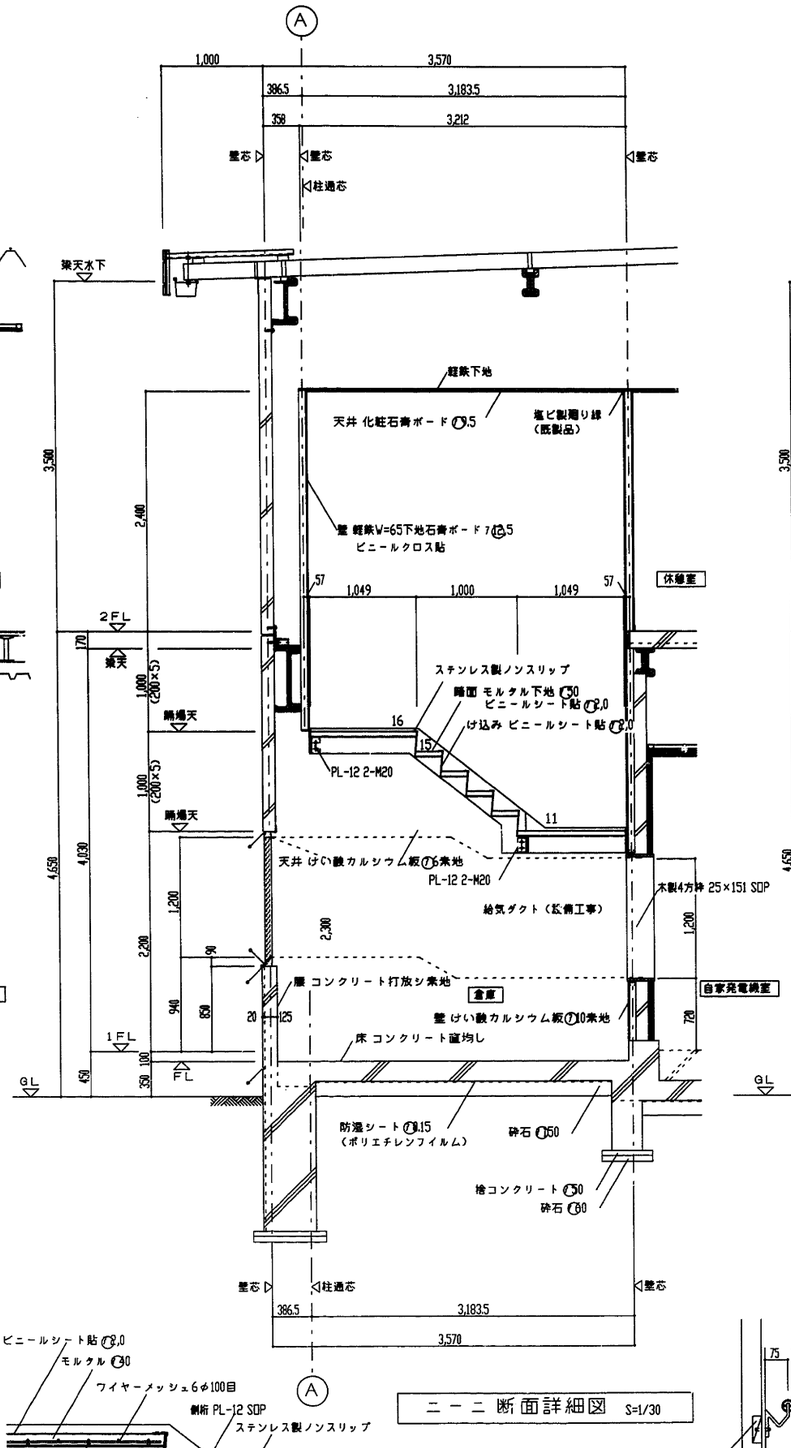


ロ－ロ 断面詳細図 S=1/30

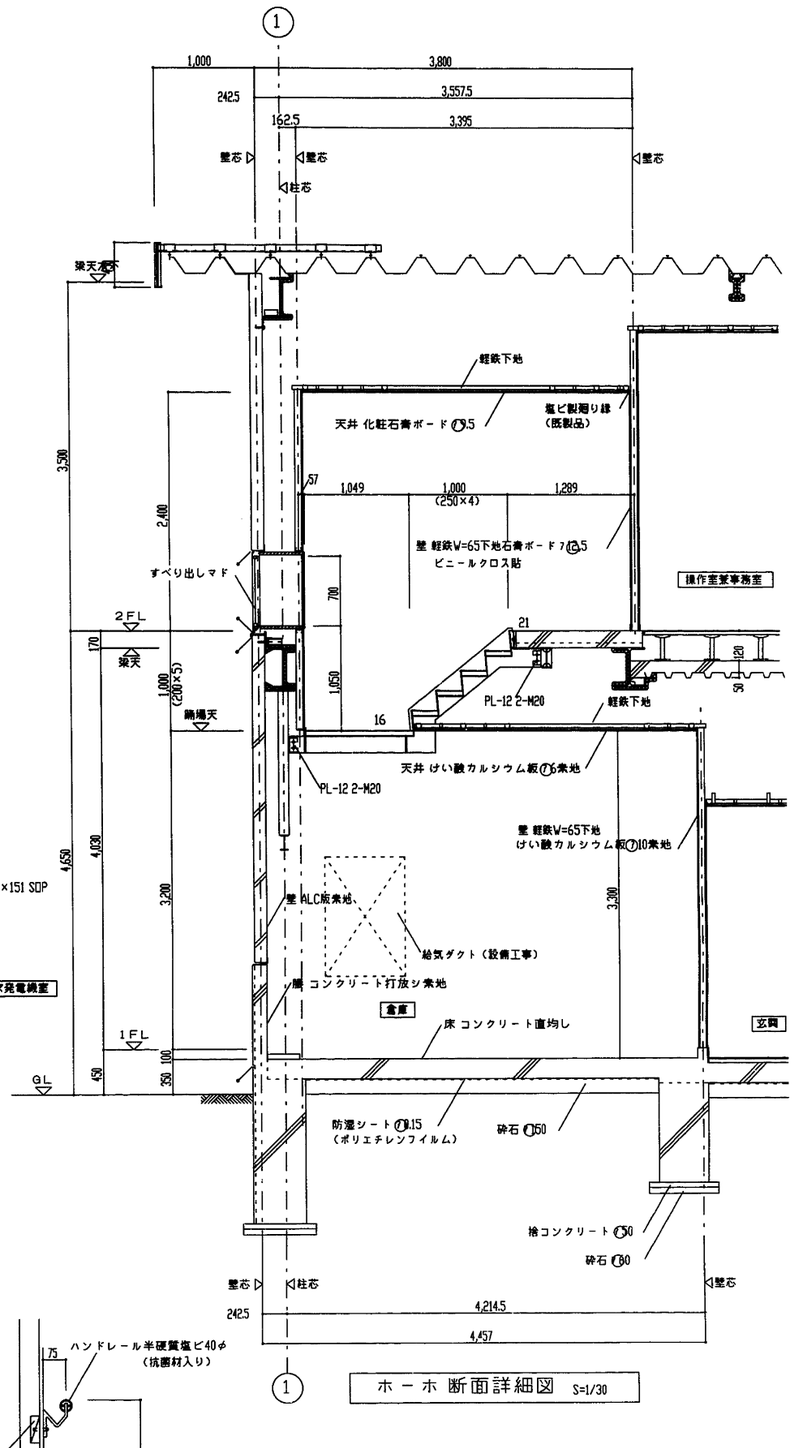
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	階段詳細図 (1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-92/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



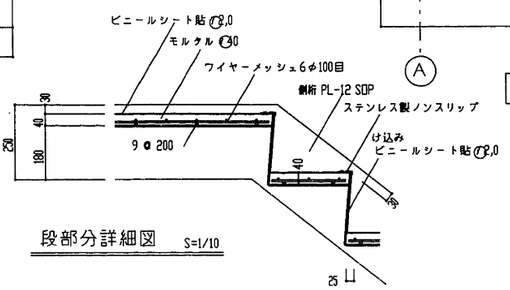
ハ ー ハ 断面詳細図 S=1/30



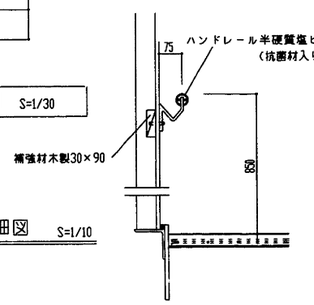
ニ ー ニ 断面詳細図 S=1/30



ホ ー ホ 断面詳細図 S=1/30

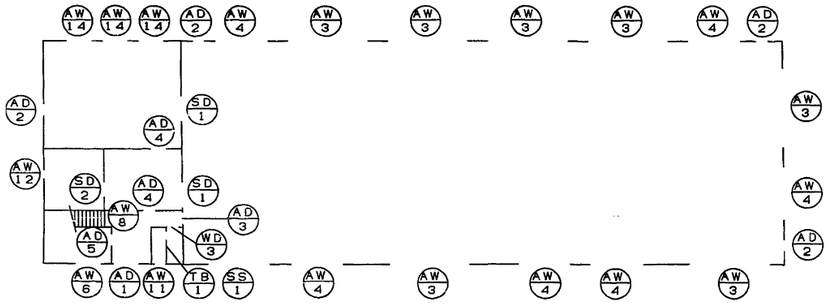


段部分詳細図 S=1/10

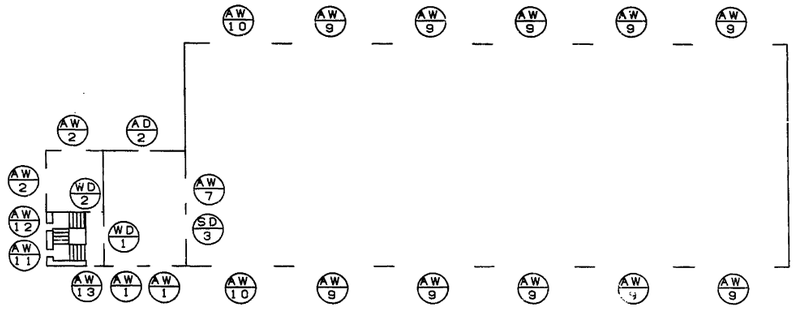


手すり詳細図 S=1/10

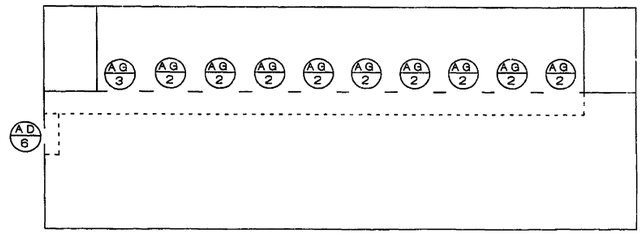
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	階段詳細図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-93/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



1階 建具配置図 S=1/200

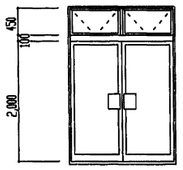
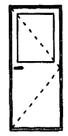
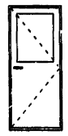
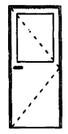
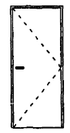
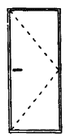


2階 建具配置図 S=1/200



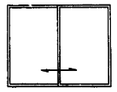
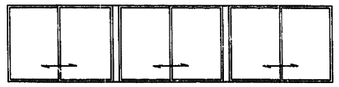
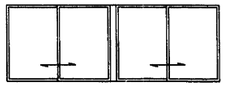
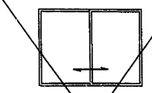
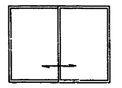
小屋裏 建具配置図 S=1/200

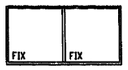
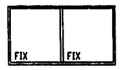
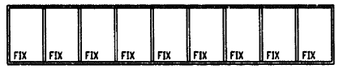
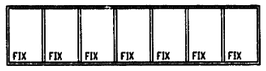
建具表

符号	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4	AD 5
場所	玄関	電気室・ポンプ室・分解点検スペース・操作室繁事務室	ホール	低圧受電設室	倉庫
	 ランマ内倒し網入型板ガラス引違窓（オペレーター方式露出タイプ）				
型式	ランマ内倒し両開ドア	片開き框フラッシュドア	片開き框フラッシュドア	片開き框フラッシュドア	片開きフラッシュドア
内法幅 × 内法高	1,700 × 2,550	800 × 2,000	800 × 2,000	800 × 2,000	800 × 2,000
ガラス	6.8mm 網入り透明　ランマ 5mm透明	6.8mm 網入り透明	6.8mm 網入り透明	6.8mm 網入り透明	
金物	押板 フロアーヒンジ フランス落シ シリンダーサムターン付	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック
見込 / 数量	70 / 1	70 / 5	70 / 1	70 / 2	70 / 1
材料 / 仕上	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / アルマイト	アルミ / アルマイト	アルミ / アルマイト
備考	下枠 ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20	下枠 ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20	下枠 ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20	くつずり ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20	くつずり ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20
符号	AD 6	○			
場所	小屋裏				
					
型式	片開きフラッシュドア				
内法幅 × 内法高	800 × 1,800				
ガラス					
金物	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック				
見込 / 数量	70 / 1				
材料 / 仕上	アルミ / アルマイト				
備考	下枠 ステンレス（SUS304）ｱｰﾙ20				

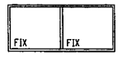
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	建具表(1)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-94/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

建具表

符号	AW-1	AW-2	AW-3	AW-4	AW-5	AW-6
	操作室兼事務室	休憩室	ポンプ室	ポンプ室		倉庫
						
型式	引違い窓	引違い窓	引違い窓 3連窓	引違い窓 2連窓	引違い窓	引違い窓
内法幅 × 内法高	1,700 × 1,760	1,700 × 1,280	5,300 × 1,200	3,500 × 1,200	1,700 × 1,200	1,700 × 1,200
ガラス	6,8mm 網入り透明	6,8mm 網入り透明	6,8mm 網入り透明	6,8mm 網入り透明	6,8mm 網入り透明	6,8mm 網入り型ガラス
金物	引手 クレセント	引手 クレセント	引手 クレセント	引手 クレセント	引手 クレセント	引手 クレセント
見込 / 数量	70 / 2	70 / 2	70 / 7	70 / 6	70 / 3	70 / 1
材料 / 仕上	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー
備考	ステンレス網戸 アルミ水切	ステンレス網戸 アルミ水切	ステンレス網戸 アルミ水切	ステンレス網戸 アルミ水切	ステンレス網戸 アルミ水切	ステンレス網戸 アルミ水切

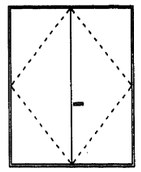
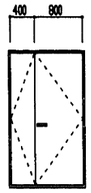
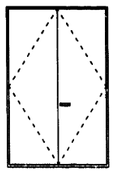
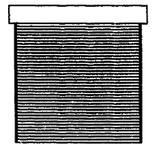
符号	AW-7	AW-8	AW-9	AW-10	AW-11	AW-12
	操作室兼事務室	低圧受電盤室	ポンプ室	ポンプ室	階段室	発電機室・階段室
						
型式	はめ殺し窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓 9連窓	はめ殺し窓 7連窓	すべり出し窓	すべり出し窓
内法幅 × 内法高	1,840 × 900	1,700 × 900	5,300 × 1,200	4,100 × 1,200	500 × 700	500 × 700
ガラス	合せガラス透明6mm+6mm	5mm 透明	5mm 透明	5mm 透明	5mm 透明	5mm 透明
金物						
見込 / 数量	70 / 1	70 / 1	70 / 10	70 / 2	70 / 2	70 / 2
材料 / 仕上	アルミ / アルマイト	アルミ / アルマイト	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー	アルミ / カラー
備考			アルミ水切	アルミ水切	アルミ水切	アルミ水切

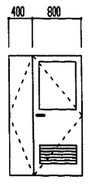
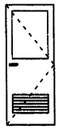
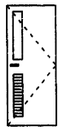
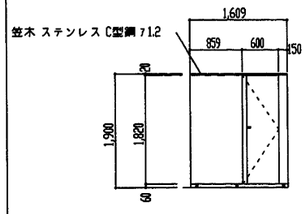
注記
発電機室のみ合せガラス型ガラス6mm+6mm

符号	AW-13	AW-14	AG-1	AG-2	AG-3
	2階廊下	電気室	倉庫	ポンプ室上部	ポンプ室上部
					
型式	内倒し併用窓（オペレーター方式露出タイプ）	はめ殺し窓	固定ガラリ	固定ガラリ	片開きガラリ戸付固定ガラリ
内法幅 × 内法高	500 × 700	1,700 × 700	800 × 1,200	2,460 × 700	2,460 × 700
ガラス	5mm 透明	5mm 透明			丁番 握り玉 カマ錠
金物	丁番 ステイダンパー				
見込 / 数量	70 / 1	70 / 3	70 / 1	70 / 9	70 / 1
材料 / 仕上	アルミ / カラー	アルミ / アルマイト	アルミ / カラー	アルミ / アルマイト	アルミ / アルマイト
備考	アルミ水切	アルミ水切	アルミ水切	アルミ水切 半外付	アルミ水切 半外付

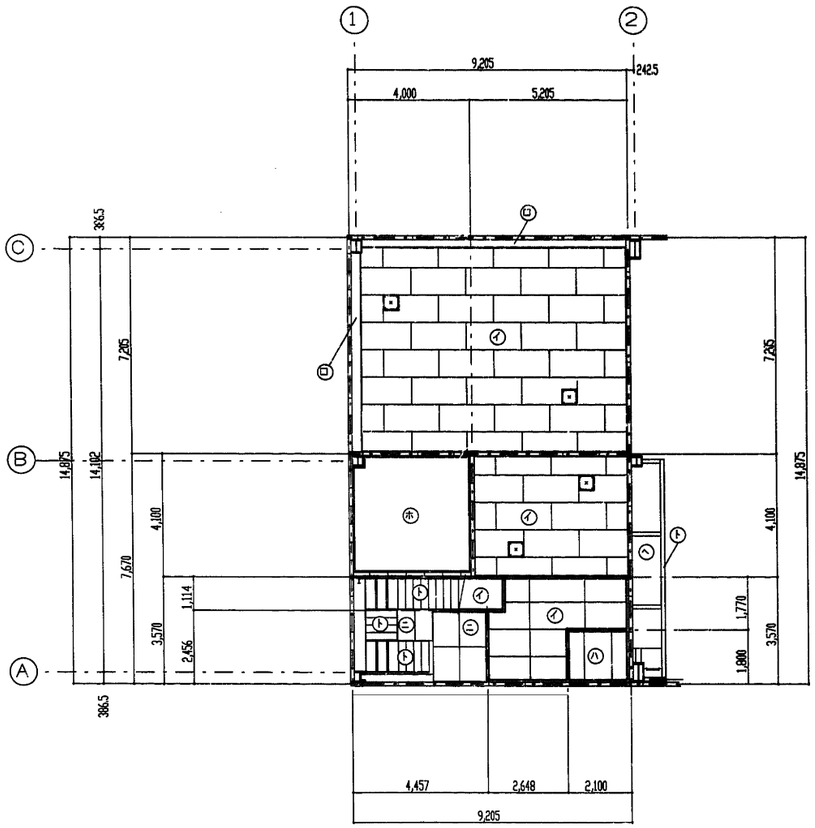
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	建具表 (2)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-95/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

建具表

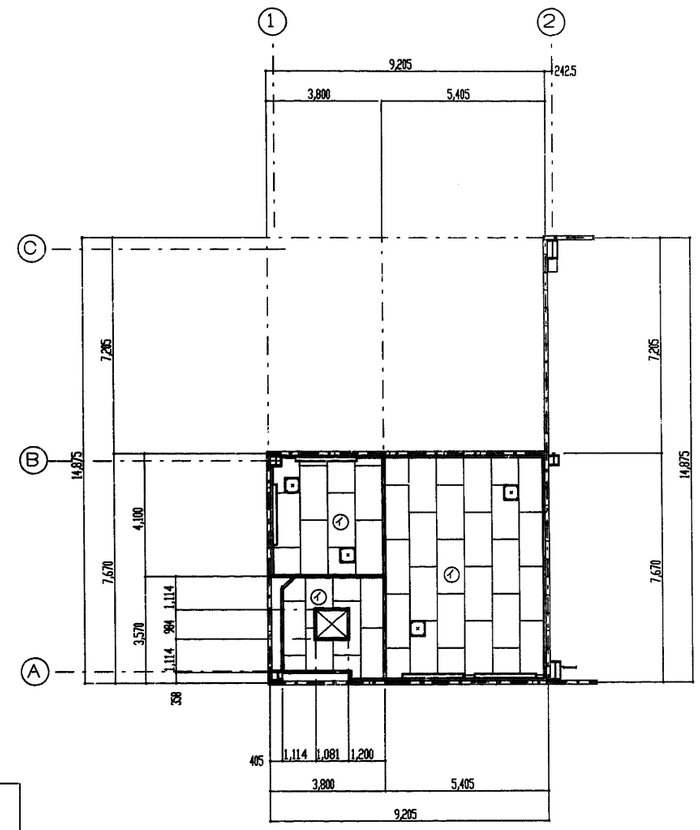
符号	SD 1	SD 2	SD 3		SS 1
	低圧受電設置・電気室	自家 発電機室	操作室兼事務室		分解・点検スペース
					 ガイドレール：SUS 304 7 ⑤ 座板：SUS 304 7⑫ 三方枠：SUS 304 7⑮ 加工 S=1/100
型式	両開きフラッシュドア（180°開き）	開き防音フラッシュドア（ロックウール35kg充填）	両開きフラッシュドア（180°開き）		電動式重量シャッター
内法幅 × 内法高	2,000 × 2,600	1,200 × 2,200	1,700 × 2,600		4,100 × 4,000
ガラス					
金物	大型丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック フランス落シ 戸当	丁番 レバーハンドル グレモン錠 ドアチェック フランス落シ 召合せ調整蝶	丁番 レバーハンドル シリンダーサムターン付 ドアチェック フランス落シ 戸当		シャッターケース 付属金物一式
見込 / 数量	枠見込 145 ドアー見込 50 / 2	枠見込 190 ドアー見込 40 / 1	枠見込 220 ドアー見込 50 / 1		1
材料 / 仕上	スチール / SOP	スチール / SOP	スチール / SOP		スチール⑦1.6 / SOP
備考	下枠 ステンレス（SUS304）7 ⑧3.0 縦枠補強材 L-50,50,6	下枠 ステンレス（SUS304）7 ⑧3.0	下枠 ステンレス（SUS304）7 ⑧3.0 縦枠補強材 L-50,50,6		ケース：スチール ⑦1.6 SOP塗 安全装置付 1 φ-0.25Kw

符号	WD 1	WD 2	WD 3	TB 1	
	操作室兼事務室	休憩室	便所	便所	
					
型式	親子開き腰フラッシュドア	片開き腰フラッシュドア	片開きフラッシュドア	トイレブース	
内法幅 × 内法高	1,200 × 2,000	800 × 2,000	800 × 2,000	1,609 × 1,900	
ガラス	4㎜ 型ガラス	4㎜ 型ガラス	4㎜ 型ガラス		
金物	丁番 レバーハンドル ドアチェック フランス落シ シリンダーサムターン付	丁番 レバーハンドル 空錠 ドアチェック 戸当り シリンダーサムターン付	丁番 レバーハンドル 空錠 ドアチェック 戸当り	ラバトリーヒンジ ラバトリーラッチ 戸当り	
見込 / 数量	40 / 1	40 / 1	40 / 1	40 / 1	
材料 / 仕上	/ ポリ合板	/ ポリ合板	/ ポリ合板	/ ポリ合板	
備考	くつずり ステンレス（SUS304）7 ㉘ 塩ビガラリ	くつずり ステンレス（SUS304）7 ㉘ 塩ビガラリ	くつずり ステンレス（SUS304）7 ㉘ 塩ビガラリ		

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	建具表(3)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 / 図面番号 6-96/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所



1階 天井伏図 S=1/100

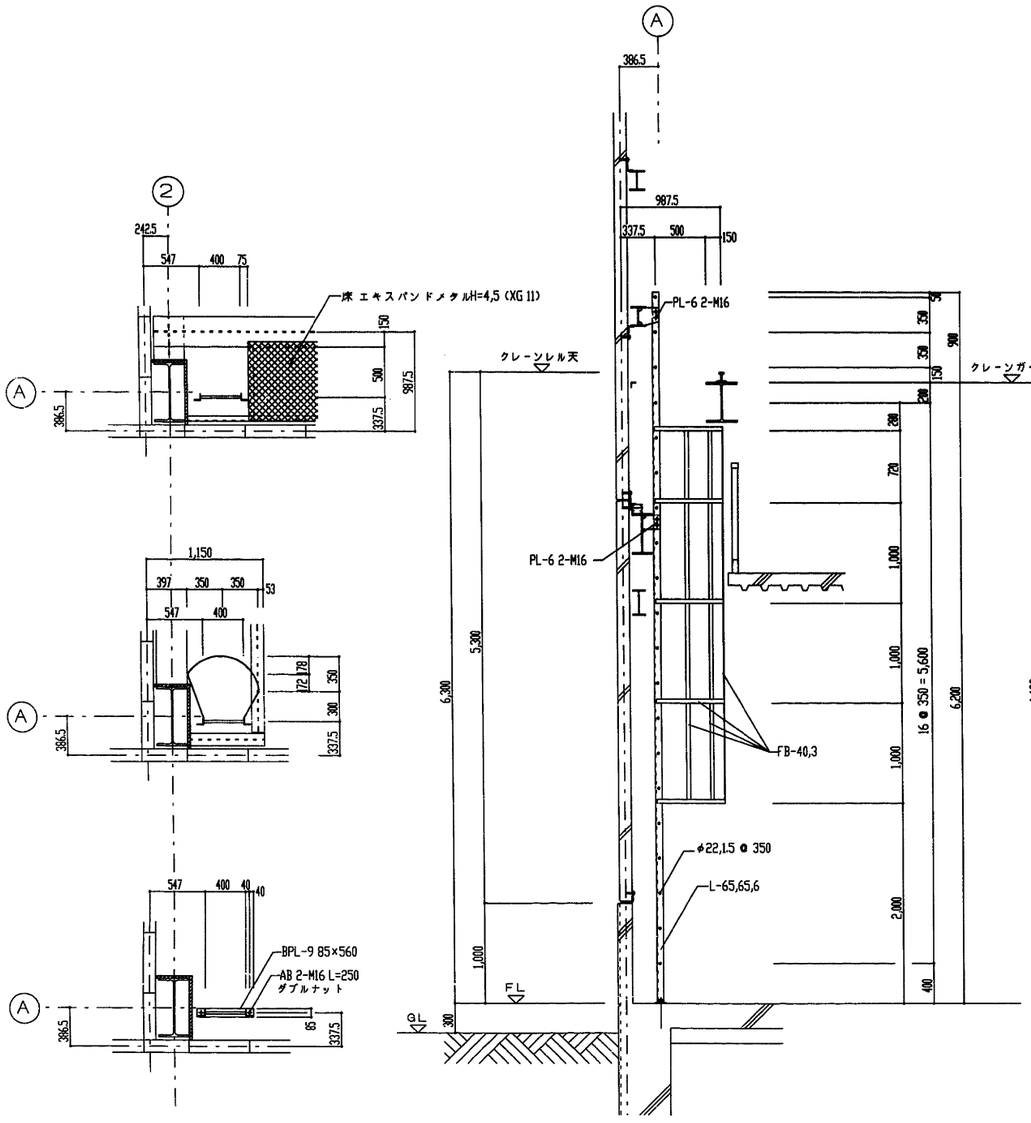


2階 天井伏図 S=1/100

凡例

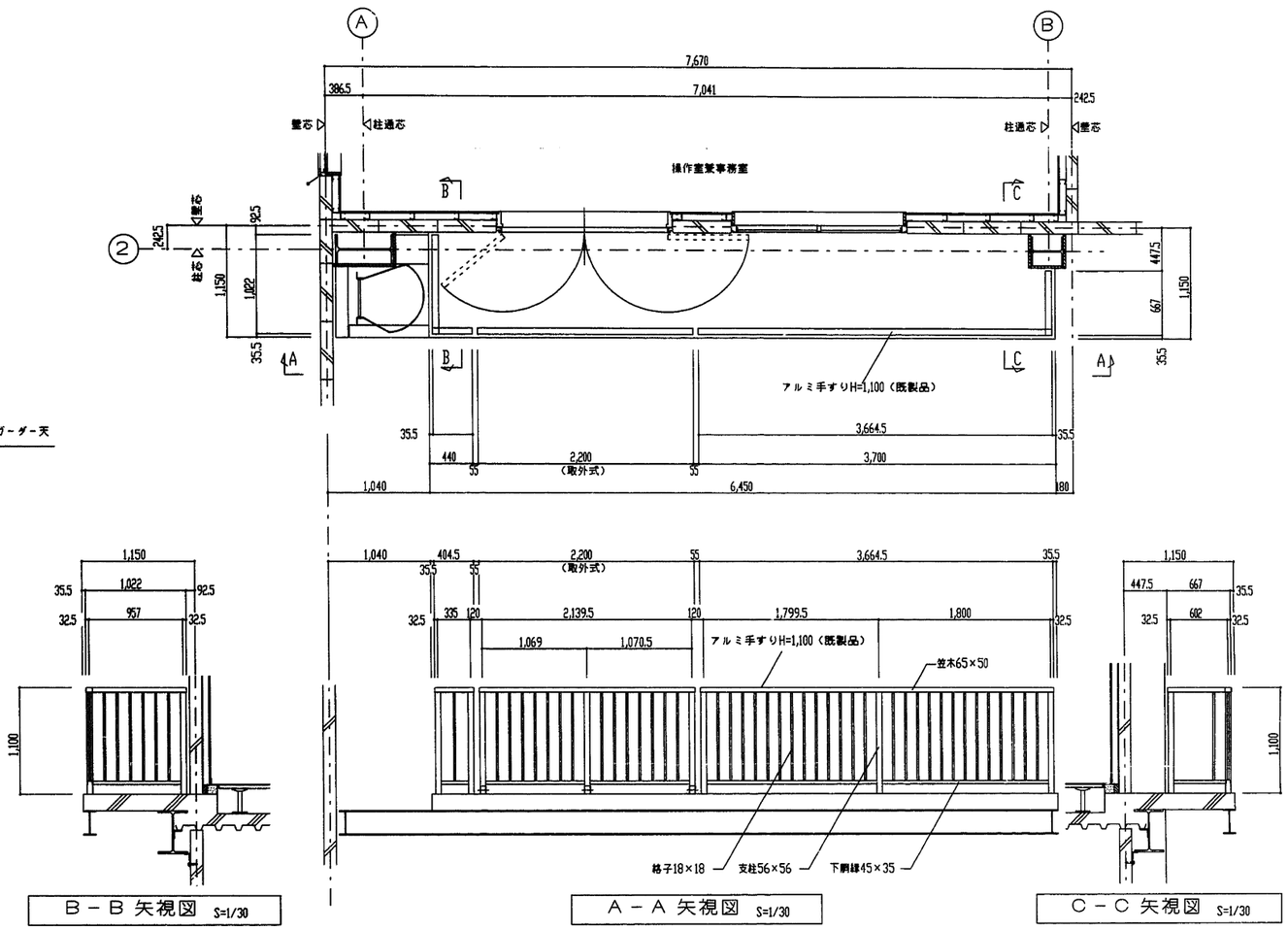
- (イ) 化粧石膏ボード ㋈9.5
- (ロ) けい酸カルシウム板 ㋈25 EP
- (ハ) けい酸カルシウム板 ㋈5 EP
- (ニ) けい酸カルシウム板 ㋈5 素地
- (ホ) ガラスクロス張縁貼 ㋈50
- (ヘ) デッキプレート SDP
- (ト) 鉄部 SDP
- 天井点検口 450 × 450 化粧 アルミ枠

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	天井伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-97/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



分解点検スペースタラップ詳細図 S=1/30

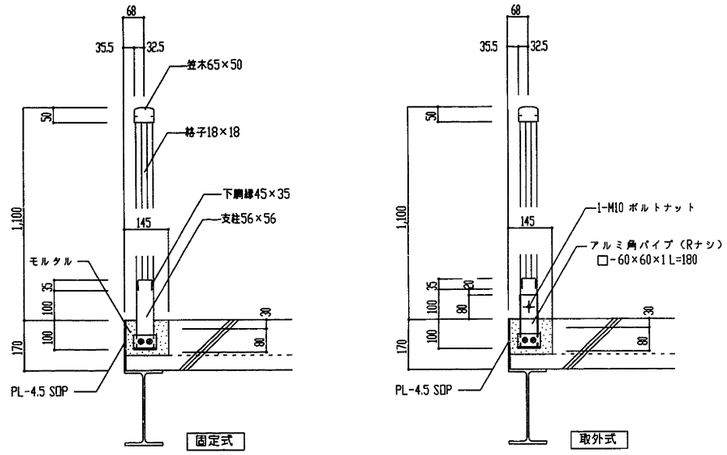
註記
タラップ仕様
スペチの部材 ステンレス（SUS304）



B－B 矢視図 S=1/30

A－A 矢視図 S=1/30

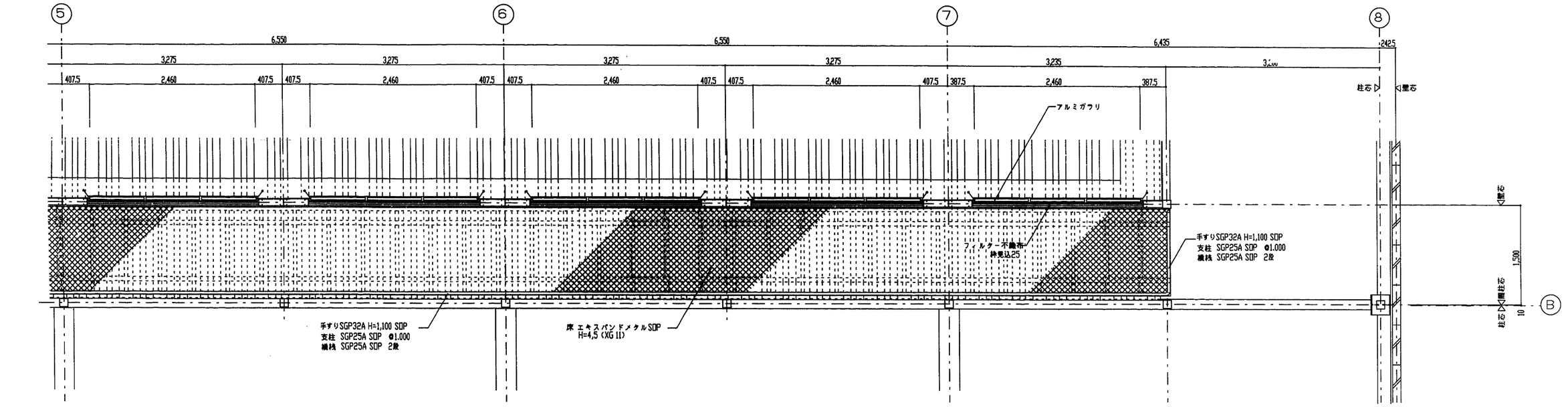
C－C 矢視図 S=1/30

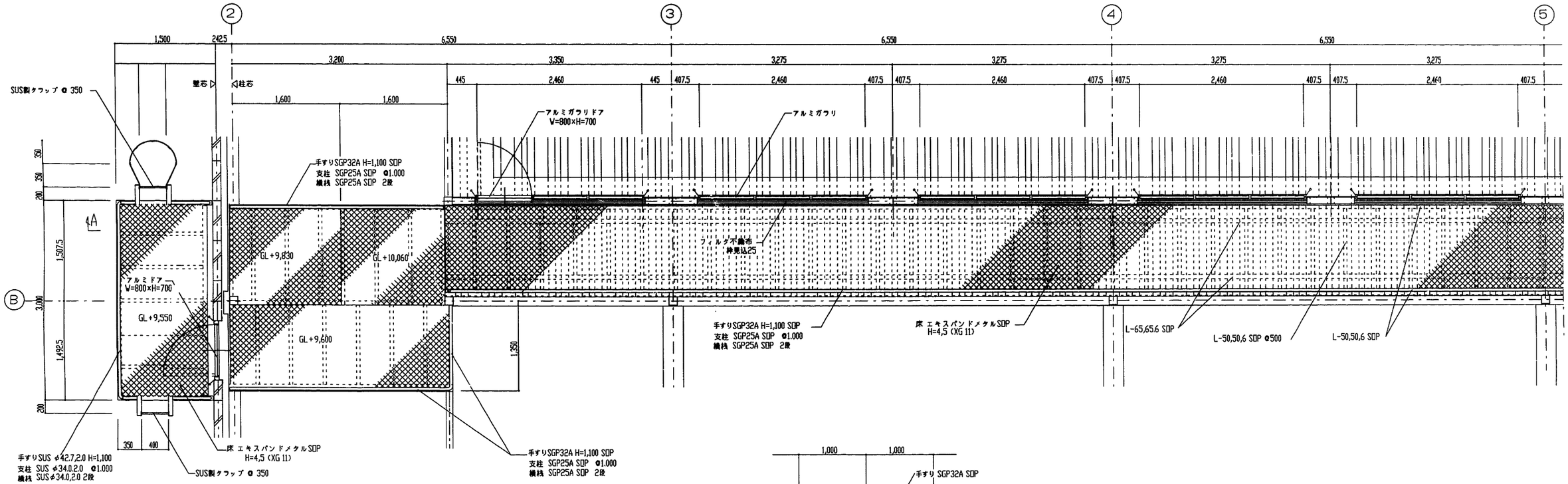


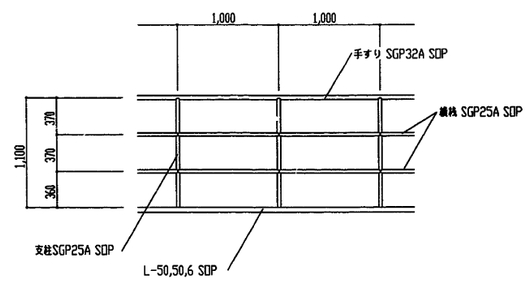
手すり取付詳細図 S=1/10

註記
手スリ部材参考

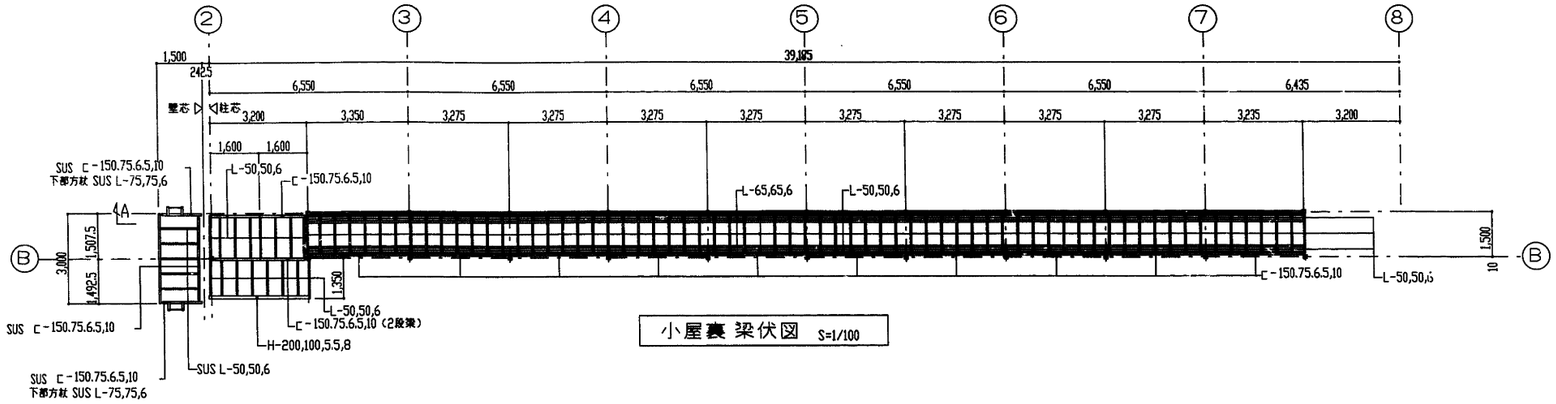
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図 (1) タラップ詳細		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-98/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



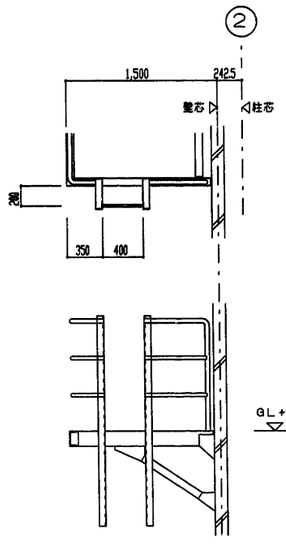


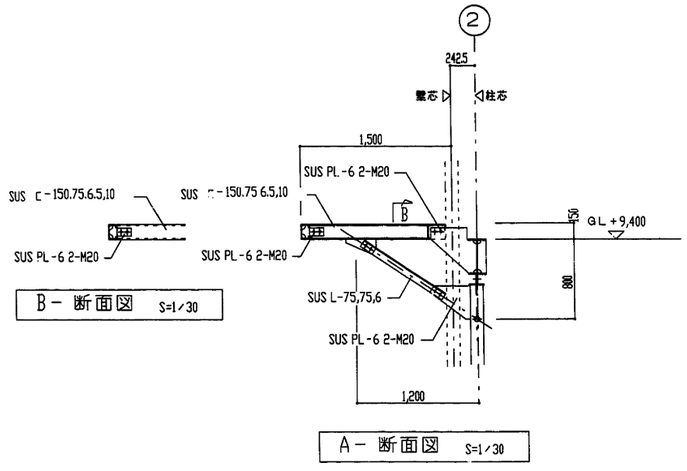


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図 (2) 屋根裏詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-99/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



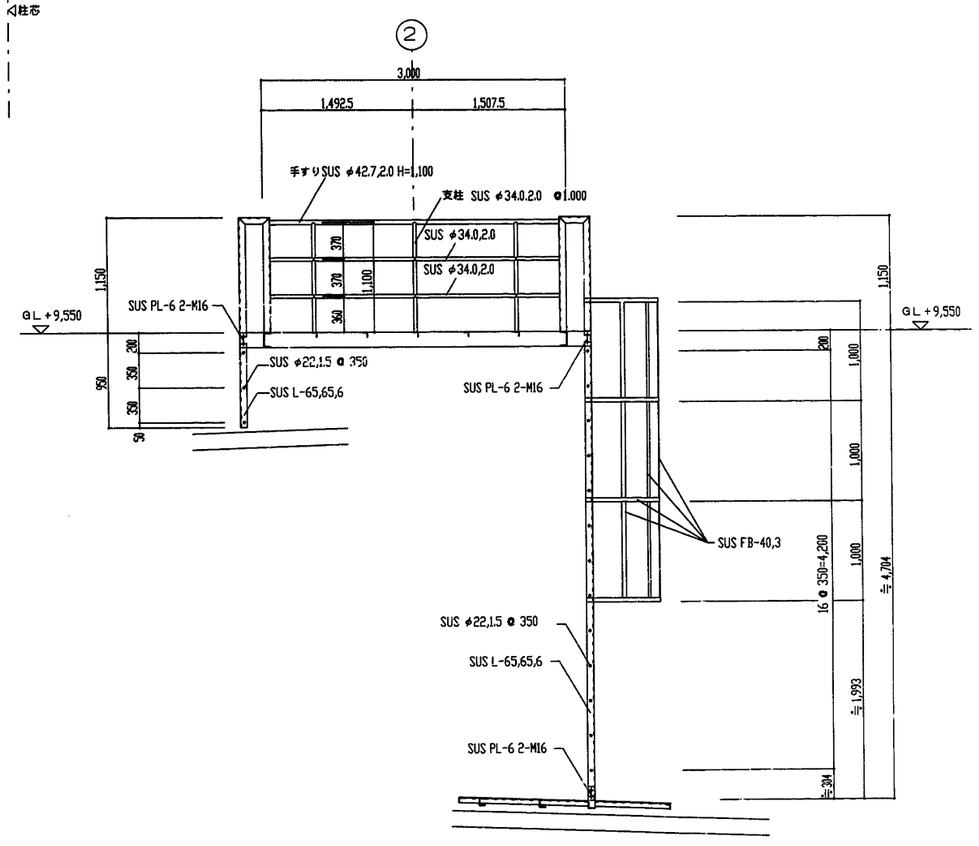
小屋裏 梁伏図 S=1/100



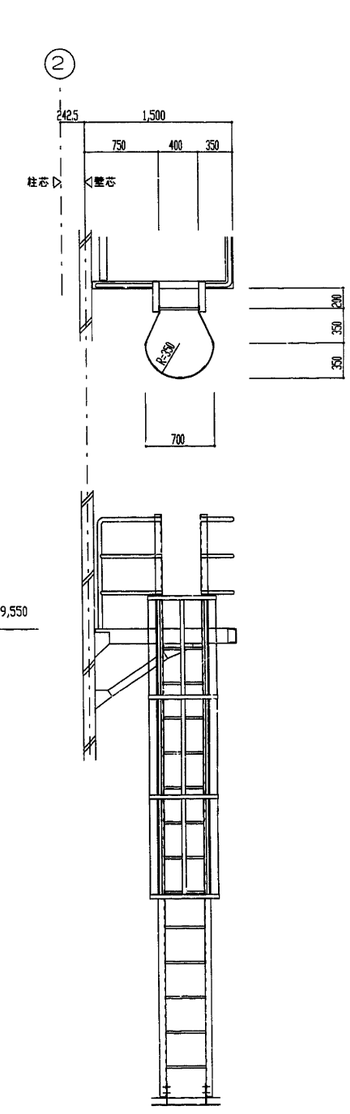


B－断面図 S=1/30

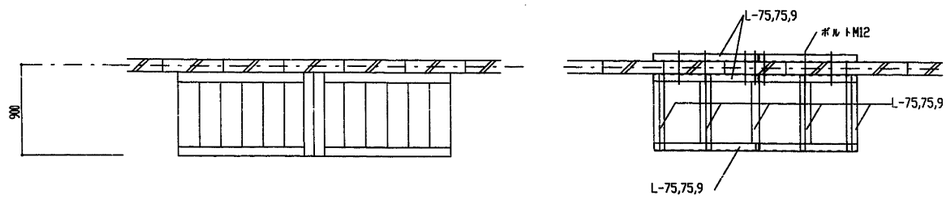
A－断面図 S=1/30

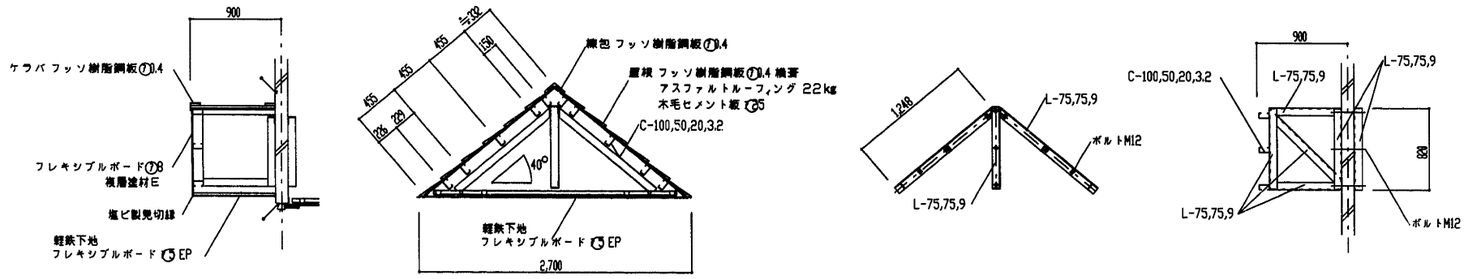


屋外タラップ詳細図 S=1/30

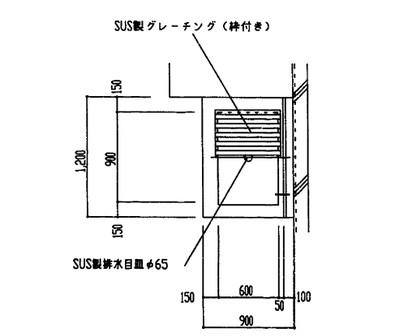


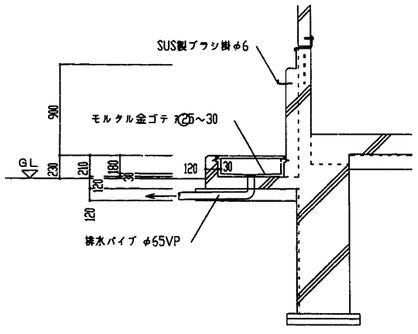
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図 (3) 外部タラップ詳細		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-100/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



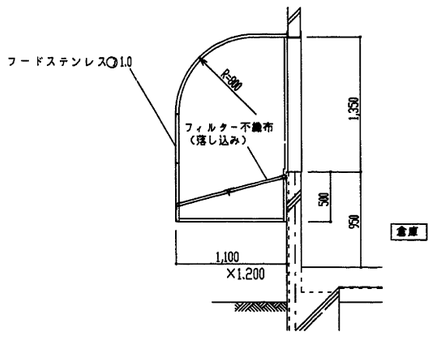


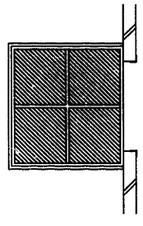
玄関庇詳細図　S=1/30

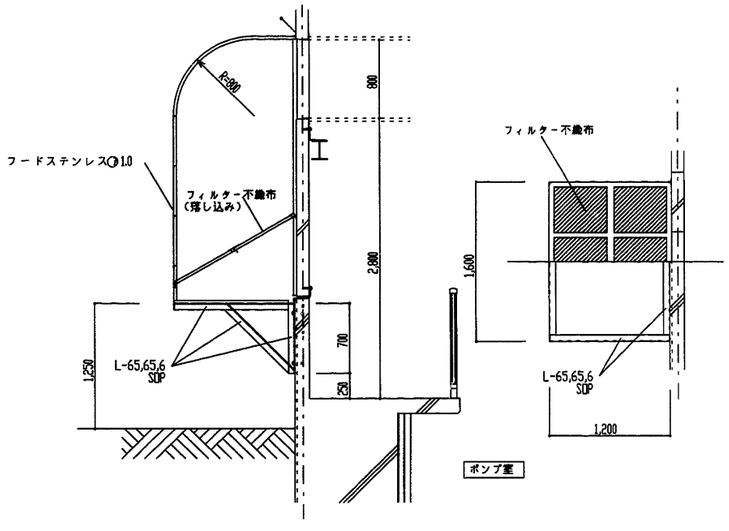




クツ洗場詳細図　S=1/30







フード詳細図　S=1/30

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図(4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-101/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

構造設計標準仕様

適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称　両総農業水利地業　第3揚水機場建設工事
　建築場所　千葉県山武郡成東町板倉地内ほか

(2) 工事種別　■新築　□増築　□増改築　□改築

(3) 構造種別
□木造 (W)　□補強コンクリートブロック造 (CB)　■鉄骨造 (S)
■鉄筋コンクリート造 (RC)　□壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) □

(4) 階数
地下 1 階　地上 2 階　塔屋 0 階

(5) 主要用途　揚水機場

(6) 屋上付属物
□広告塔　□高架水槽 kN □　□
□煙突　□キュービクル kN □　□

(7) 増築計画　□有 (　)　■無

(8) 付帯工事
□門扉　□塀　□　□　□

(9) 特別な荷重
□エレベータ　人乗 (ロープ式・油圧式)　■クレーン 150 kN □ホイスト kN
□倉庫積載床用 kN/m²　□受水槽 kN

(10) 構造計算ルート　X方向ルート 3－(　)　Y方向ルート 3－(　)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート　注) 水セメント比 (W/C)は 60%以下とすること
単位セメント量は 300kg/m³以上とすること。

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm²	スランプ cm	備考
捨コンクリート	■普通	□13.5 □16 ■18	15	
土間コンクリート	■普通	□18 ■21	15	
	□普通	□18 □21 □24 □27		比重
柱、梁、床、壁	■普通 □軽量	□18 ■21 □24 □27	18	比重 23
	□普通 □軽量	□18 □21 □24 □27		比重
	□普通 □軽量	□18 □21 □24 □27		比重
押えコンクリート	□普通 □軽量	□13.5 □16 □18	18	比重 23

(2) コンクリートブロック (CB)
□A種　□B種　□C種　□100　□120　□150　□190

(3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	重手工法
異形鉄筋	■SD295A	D10~D16		■重ね重手 D10~D16
	□SD295B			□ガス圧接重手 D19~D25
	■SD345	D19~D25		
	□SD390			□特殊重手
丸鋼	□SR235			( )
溶接金網	□			

(4) 鉄骨

	種類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
鋼材	■SS400 □SN400A ■SN400B		□有 ■無	■0.9F □1.0F
	□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	□0.9F □1.0F
	□SM490A □SM490B □		□有 □無	□0.9F □1.0F
	□SSC400 □ □		□有 □無	□0.9F □1.0F
備考				

(5) ボルト
■高力ボルト　□F10T □S8T ■S10T 認定品 (□M12 ■M16 ■M20 □M22)
□中ボルト　φ= φ= 高力ボルトすべり係数試験 ■要 □否
■アンカーボルト　SS400　M16 L= 600 mm ナット(シングル,ダブル)
M20 L= 600 mm ナット(シングル,ダブル)
□頭付スタッド

(6) 屋根、床、壁　使用箇所
□ALC版
□折 版　型式　H=　厚
□デッキプレート　型式　厚
□キーストンプレート　型式　厚
□
□

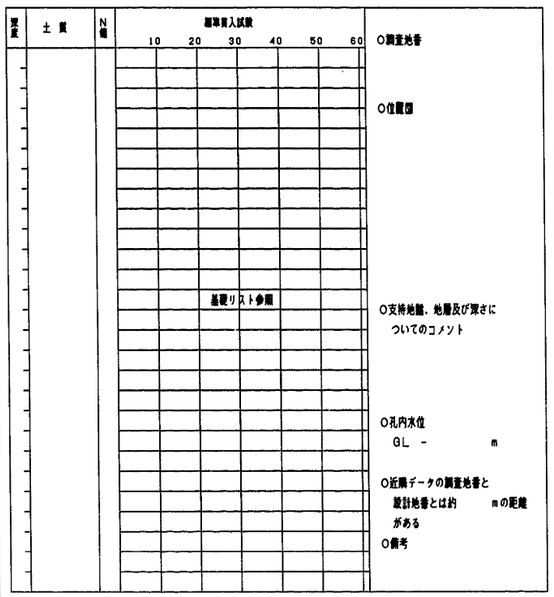
3. 地盤

(1) 地盤調査資料
■有 (■敷地内　□近隣)　■ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定
□無 (調査予定　□有　□無)　□

(2) 地盤調査計画
□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
□土質試験　□物理探査　□平板載荷試験　□

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質柱状図　(基礎・杭の位置を明確すること)



4. 地業工事

(1) 直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験篩 □有 □無
深さ GL　支持層－　長期許容支持力度 kN/m²　載荷試験 □有 □無

(2) 杭基礎　支持層－ GL－16m付近

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC □PHC □H鋼 □調管 □厚肉杭 □	PC □A種 ■B種 □C種) PHC □A種 ■B種 □C種) 鋼材 □SS400□STK400 □HC-TOPパイル	■打ち込み □埋込み(セメントミルク工法) □MT工法 □	大臣認定第 号 年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc スランプ cm セメント量 kg/m³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手掘 □機械掘	拡底杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭仕様　■施工計画書承認　■杭施工結果報告書
試験杭　(■有 □無)　(■打ち込み □載荷)　本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項
600	1200	GL-17	61	

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
■ コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 (1997)による。
■ セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が 150m³ をこえる場合は 150m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み最終中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 150 分、25℃以上の場合は 120 分以内とする。

(2) 鉄筋
■ 鉄筋は JISG3112 の規格品を標準とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)(2) 」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)(2) 」による。
■ D16未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200 箇所を超えるときは、200 箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観検査 ■有 □無、引張試験 ■有 □無、超音波探傷試験 □有 ■無
■ 柱帯筋 (HOOP) の加工方法は、 ■H型 (タガ型) □W型 (溶接型) □S型 (スパイラル型) とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3) 型枠
■ 材料 合板厚 12 mmを標準とする。 □
■ 型枠存置期間

部位	せき板		支柱				
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下		スラブ下	はり下	
セメントの種類 / 圧縮強度の平均値	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリート (日) 1種以上	2	3	4	6	8	17	28
コンクリート (日) 2種	3	5	6	10	12	25	28
コンクリート (日) 3種	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	50N/mm²		設計基準強度の 50%		設計基準強度の 85%		100%

注) 1 片持ばり、庇、スパン 9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大はりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱脚部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「 JASS6 」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
■製作工場 □製作要領書 ■工作図 ■施工計画書
□建設省告示第 1109号による認定工場 (大臣認定 R グレードまたは都登録 C ランク)
■材料規格証明書または試験成績書
■鋼材 □高力ボルト ■特殊ボルト □スタッドボルト
■社内検査表 □ □

(3) 工事監理者が行う検査項目
(□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
■現寸検査 □組立・開先検査 ■製品検査
■建方検査 □ □

(4) 接合部の溶接は下記によること
□東京都アーク溶接工事管理規準 (建築構造設計指針第 12 章)
□鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第 12 章)
□日本建築学会「溶接工作規準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」

(5) 接合部の検査
□溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
□突合せ溶接部	超音波探傷試験	%	%	%	
□	外観 (目視) 検査	%	%	%	
□	マクロ試験・その他	箇	箇	箇	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

■高力ボルトは「 JIS B1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが 50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
■高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装
■防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、 JIS K5621 、2回塗りを標準とする。
□現場における高力ボルト接合部及び接合部の条絞調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被服の材料
□

7. 設備関係

■特記以外の埋設配管は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
■設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
■床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さに1/3以下とし管の間隔を5c以上とする。

8. その他

■諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	構造設計標準仕様		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-102/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

1．一般事項

（1）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（2）記号

d－異形鉄筋の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　D－部材の成　　R－曲径

@－間隔　r－半径　℄－中心線　l o －部材間の内法距離　h o －部材間の内法高さ

ST－あばら筋　HOOP －帯筋　S. HOOP －螺旋帯筋　φ－曲径記号又は丸鋼

2．鉄筋加工、かぶり

（1）鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	
図				
鉄筋の余長	4d 以上	6d 以上（※4d以上）	8d 以上（※4d以上）	

折曲げ内法寸法Rは、　SR235は3d 以上、 SD295A、SD295B、SD345の D16以下は、 3d 以上、 D19 以上は 4d 以上

※片持スラブ上端筋の先端

（2）鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度　以下　90°

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法　(R)
	帯　筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SD295A SD295B, SD345	16φ D16　以下	3d　以上
			19φ D19　以上	4d　以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SD295A SD295B, SD345	16φ D16　以下	3d　以上
			19φ～25φ D19～D25	6d　以上
			29φ～32φ D29～D38	8d　以上

（3）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (kg/cm²)	定着の長さ 一般 (L₂)	下ば筋 (L₂) 小梁	下ば筋 (L₂) スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ (L₁)
SR235	210 225 240	35d フックつき	25d フックつき	15cm以上のフックつき	35d フックつき
	150 180	45d フックつき			45d フックつき
SD295A SD295B SD345	210 225 240	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
	150 180	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

継　手

1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

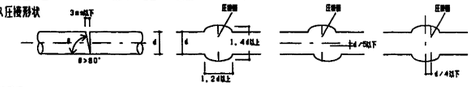
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

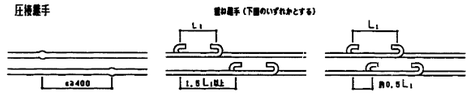
4．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない

5．鉄筋径の差が　7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



圧接継手



（4）かぶり厚さ　（単位：mm）

ひびわれ調査目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	30 (20)
		屋外	40(1)	30 (20)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50(2)	40(3) (30)
	擁　壁		50(2)	40
土接する部分	底・ばり・床・スラブ・耐力壁		50	40(4)
	基礎・擁壁		70	60(4)



（注）、(1) 最大仕上げ別の仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて 30mmとすることができる。

(2) 最大仕上げ別の仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて 40mmとすることができる。

(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて 40mmとすることができる。

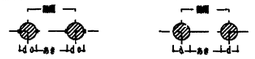
(4) 軽量コンクリートの場合は、 10mm増しの値とする。

(5) ○印仕上げがある場合、決定により最小かぶり厚さは 10mm増し

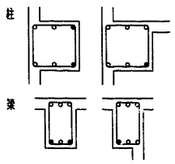
（5）鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値　　1．5d以上

粗骨材の最大寸法の　1．25倍以上かつ　25以上



図の◉印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



（6）鉄筋のフック　（a～hに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

a．丸鋼　b．あばら筋、帯筋　c．壁受の鉄筋

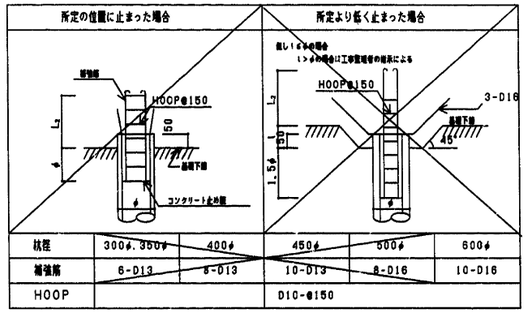
d．柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）

e．単独梁の下端筋

f．その他、本配筋標準に記載する箇所

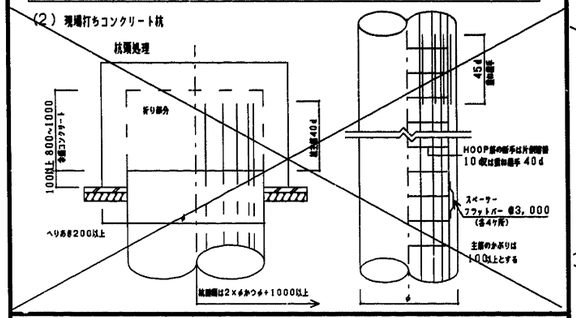
3．杭　（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

（1）PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う



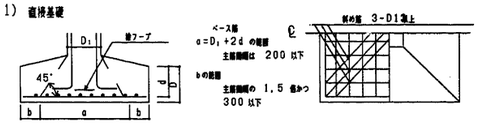
杭径	300φ, 350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP			D10-@150		

（2）現場打ちコンクリート杭

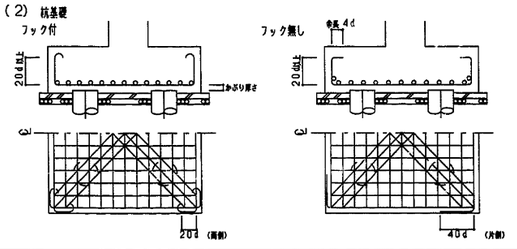


4．基　礎

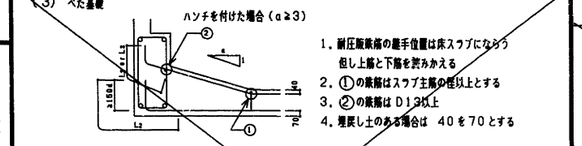
（1）直接基礎



（2）杭基礎

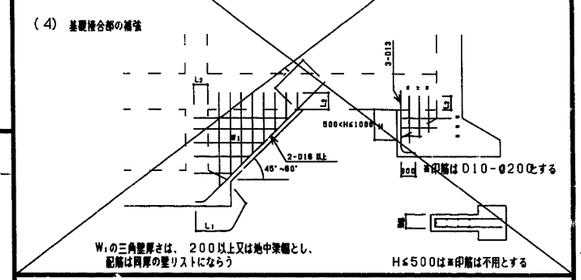


（3）べた基礎



1．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を別々かえる
2．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3．②の鉄筋はD13以上
4．埋戻し土のある場合は　40を70とする

（4）基礎接合部の補強

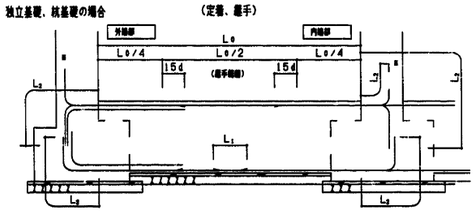


W₁の三角壁厚さは、 200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

H≦500は※印筋は不用とする

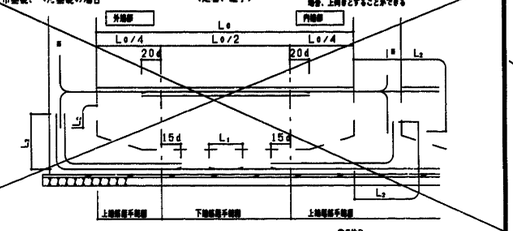
5．地中梁

（1）独立基礎、杭基礎の場合　（定着、継手）

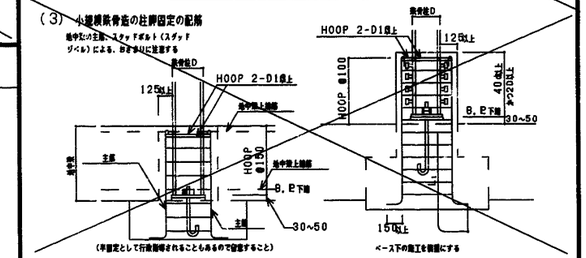


（2）布基礎、べた基礎の場合　（定着、継手）

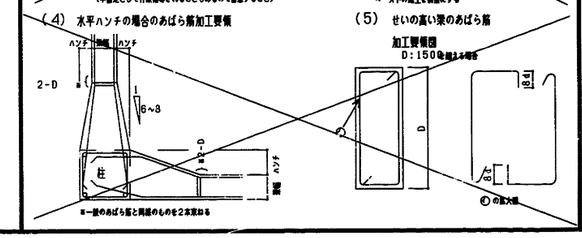
※上端主筋の定着は、やむを得ない時を、上例をとることができる



（3）小梁貫鉄骨筋の柱脚固定の配筋



（4）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

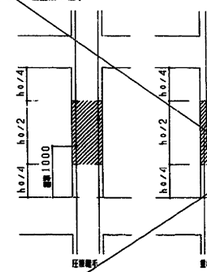


（5）せいの高い梁のあばら筋

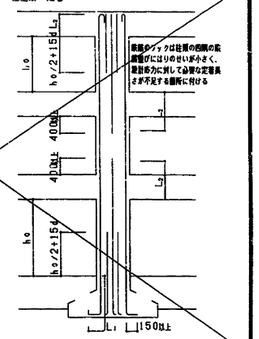
加工要領図
D:150を超える場合

6．柱

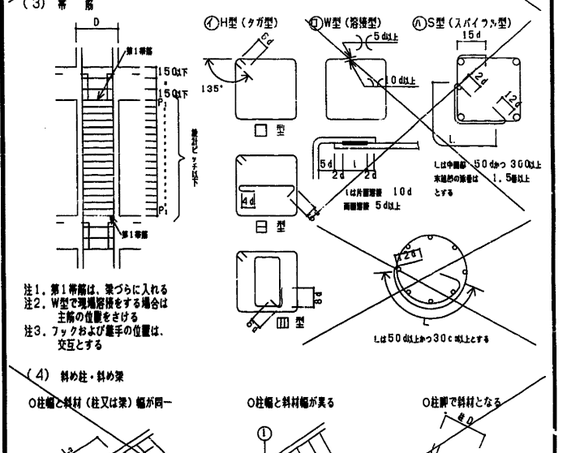
（1）柱主筋の継手



（2）柱主筋の定着



（3）帯　筋


D
第1帯筋
150以下
150以下
P₁
P₂
第1帯筋
(d) H型（タガ型）
135°
□型
(d) W型（格揚型）
5d以上
10d以上
□型
(d) S型（スパイラル型）
15d
12d
12d
L
5d
2d
2d
L=D
L=D
L=D

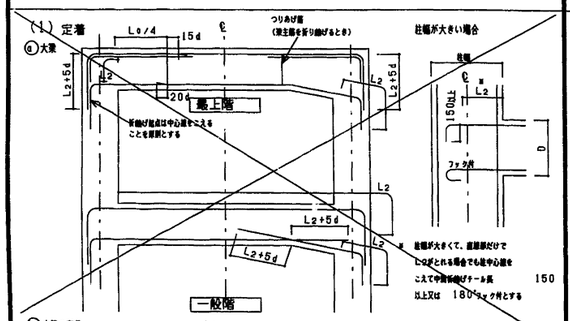
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図　（1）の 2－（3）による。

7．大梁、小梁、片持梁

（1）定着

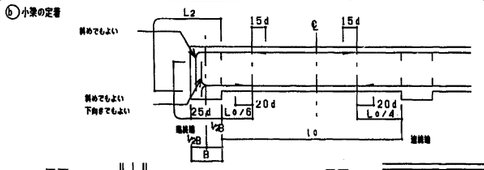
ⓐ大梁

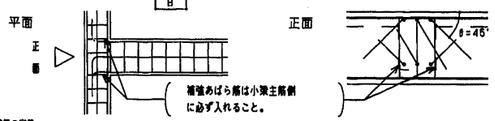


手前が柱芯は中心筋をこえることを原則とする

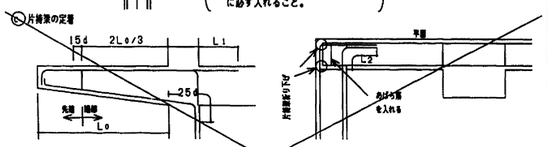
※ 柱幅が大きくて、直部部だけでしっかりとれる場合でも柱中心筋をこえて中間折曲げテール長 150 以上又は 180°フック付とする

ⓑ小梁の定着

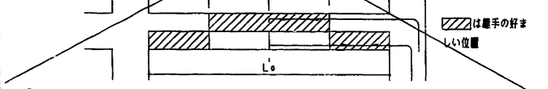




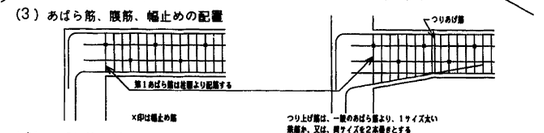
ⓒ片持梁の定着



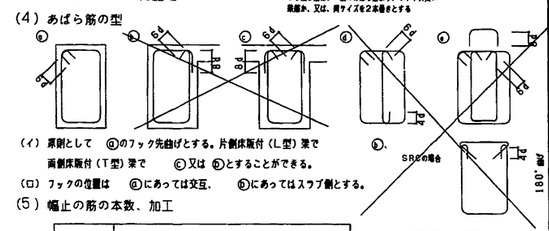
（2）大梁主筋の継手



（3）あばら筋、腹筋、幅止めの配置



（4）あばら筋の型

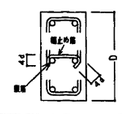


（イ）原則として　ⓐのフック先曲げとする。片側床版付（L型）梁で
両側床版付（T型）梁で　ⓒ又は ⓑとすることができる。

（ロ）フックの位置は　ⓐにあっては交互、　ⓑにあってはスラブ側とする。

（5）幅止の筋の本数、加工

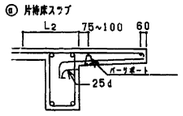
腹筋	D<600　不要		
	600≦D<900	2-D10（9ϕ）	1段
	900≦D<1200	4-D10（9ϕ）	2段
	1200≦D	D10（9ϕ）@300	以内
幅止め筋	D10（9ϕ）@1000	以内で振り付ける	



8．床　板

（1）定着および継手

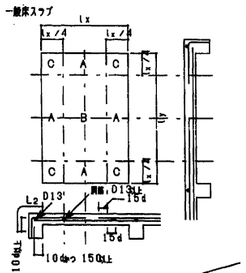
ⓐ片持床スラブ



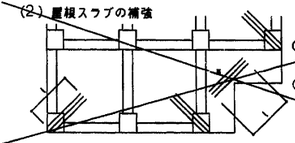
端手位置は原則として下表による。

		標準端手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A　C

ⓑ一般床スラブ



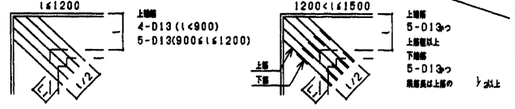
（2）屋根スラブの補強



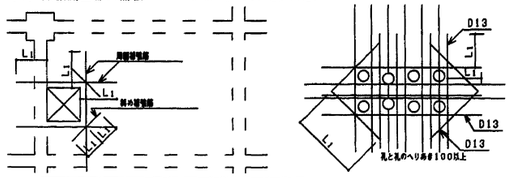
ⓐ補強筋は各 3-D13 又はスラブ主筋の同一径で l=1,500とし、上端筋の下に配筋する

ⓑ×の箇所（入隅）は各隅補強する

（3）片持ちスラブ出隅部補強



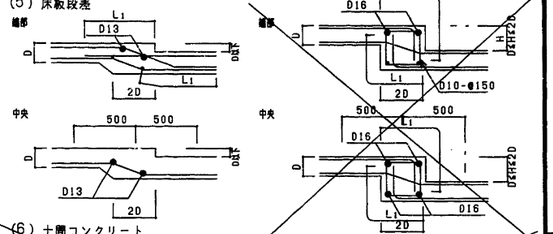
（4）床板開口部の補強　（開口の径　500 程度の場合）



床版厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

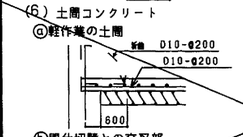
注）最個の小開口が連続してあく場合は梁、壁、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

（5）床板段差

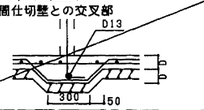


（6）土間コンクリート

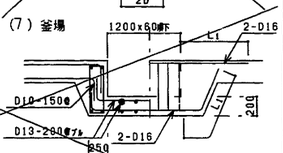
ⓐ軽作業の土間



ⓑ間仕切壁との交叉部



（7）釜場



（8）打継ぎ補強　（ダメ穴打設面について）

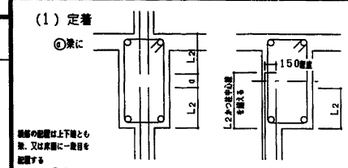
●設計配筋間隔の　½ピッチ　長さ 2L1以上

●無筋部分　D10-@200　長さ 800以上

9．壁

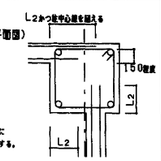
（1）定着

ⓐ梁に



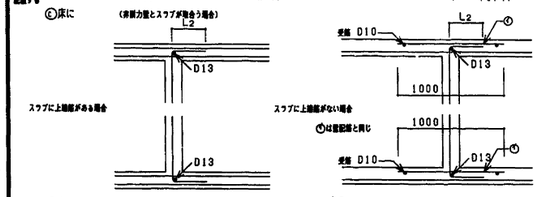
縦筋の配置は上下端とも共、又は床面に一段目を配置する

ⓑ柱に（平面図）

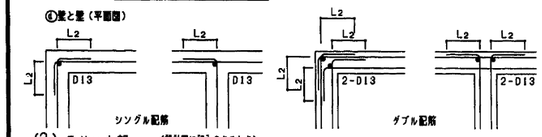


屋根は、柱面に一本目を配置する。

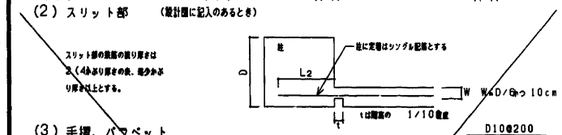
ⓒ床に　（非耐力壁とスラブが取合う場合）



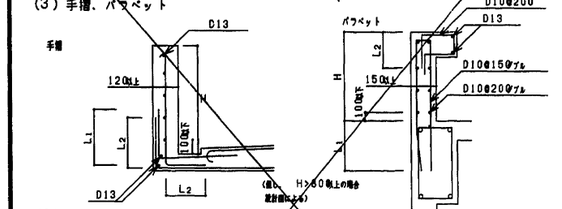
ⓓ壁と壁（平面図）



（2）スリット部　（設計図に記入のあるとき）

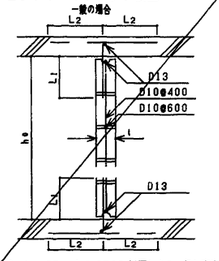


（3）手摺、パラペット

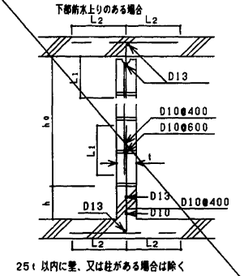


（4）コンクリートブロック帳壁

一般の場合



下部新立上りのある場合



注）h≦25t かつ 3500 以下とする。但し直交方向 25t 以内に壁、又は柱がある場合は除く

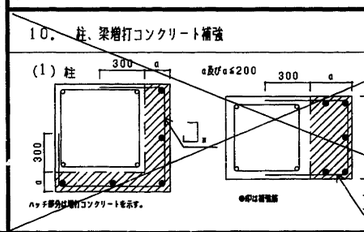
注）hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400

注）壁手部は必ずモルタルをてん充すること

10．柱、梁増打コンクリート補強

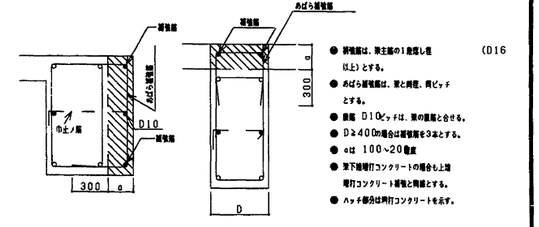
（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（1）柱



ハッチ部分の断面 補強クサ筋	Ac m²
Ac<500	500≦Ac<1000	1000≦Ac<1500
3-D16	4-D16	6-D16

（2）梁

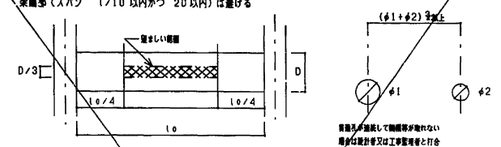


- 補強筋は、梁主筋の1直径以上（D16以上）とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋 D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- a は 100~200程度
- 壁下地増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は同打コンクリートを示す。

11．梁貫通孔補強

（1）設置可能範囲

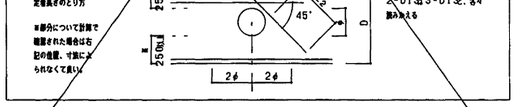
梁端部（スパン　l/10 以内かつ 2D 以内）は避ける



貫通孔が接近して補強筋が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

（2）鉄筋標準配筋　　但し、ϕ≦D/3 とする

80<ϕ≦100	100<ϕ≦150	150<ϕ≦250
斜筋　2-(2-D13)	斜筋　2-(2-D13)	斜筋　4-(2-D13)
縦筋　ST 2-D13-100@	縦筋　ST 2-D13-100@	縦筋　ST 2-D13-100@
	横筋　2-(2-D13)	横筋　2-(2-D13)
		上下 縦筋　ST 2-D13



ϕ>250

孔補強の有効幅と定着長さのとり方

※部分について計算で確認された場合はその位置、寸法にとらわれなくて良い

※開口が 400を超える場合は補強筋で D13は D16又は、2-D13を3-D13とし、さらに斜め補強する

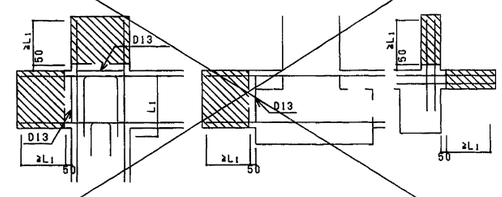
（3）既製品　（使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

□リング型　□パイプ型　□金網型　□プレート型

12．増築予定

（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して配置する）

（1）柱、梁　（2）地中梁　（3）床版、壁



施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-104/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

鉄骨構造標準図　（1）

1．一般事項

（1）材料及び検査
- （a） 構造設計仕様による
- （b） 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが　　40mm以下のものとする
- （c） 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

（2）工作一般
- （a） 鉄骨製作及び施工に先立って　　「 鉄骨工事施工要領所 」を提出し工事監理者の承認を得る
- （b） 鋼管部材の分岐屋手部の溶着切断は、鋼管自動切断機による
- （c） 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

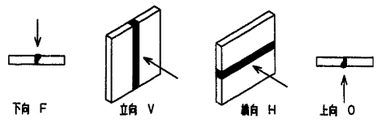
（3）高力ボルト接合
- （a） 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

（4）溶接接合
- （a） 溶接工

溶接工は施工する溶接に適応する　　、 JIS Z3801(手溶接)又は JIS Z3841半自動溶接 ）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- （b） 溶接機器
  - （イ） 交流アーク溶接機　　300A～500A
  - （ロ） アークエヤーガウジング機（直流）
  - （ハ） サブマージアーク溶接機1式
  - （ニ） 炭酸ガスアーク半自動溶接機
  - （ホ） 溶接電流を測定する電流計
  - （ヘ） 溶接棒乾燥器
- （c） 溶接方法

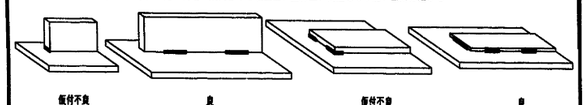
アーク手溶接　（MC）　　ガスシールドアーク溶接　（GC）

セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接　（NGC）　アークエアーガウジング　（AAG）
- （d） 溶接姿勢

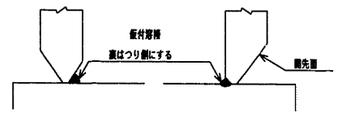


- （e） 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
  - （イ） 仮付位置

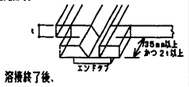
仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



  - （ロ） 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



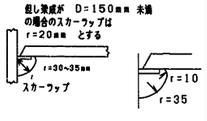
- （f） 溶接施工
  - （イ） エンドタブ
    - I） 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
    - II） エンドタブの材質は、母材と同質とする
    - III） エンドタブの長さは、　　MC：35mm　以上
      NGC、GC：40mm　　以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より　10mm　程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
    - IV） プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



  - （ロ） 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

但し業成が　D＝150mm　未満の場合のスカーラップは r＝20mm　とする



  - （ハ） スカーラップ　半径は　　30～35mmと10mm　のダブルアールとする
  - （ニ） 裏はつり

規準図の溶接において　　AAG と記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- （ホ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

5　塗装

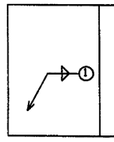
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2．溶接規準図

（注）f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長

（単位　mm）

（1）スミ肉溶接



t	7以上	8～10	11～13	14～16
s	6	7	10	12

●t≦16mm

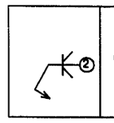
●差し片面溶接の場合は　　S＝t とする

●t は　t1、t2 の小なる方とする

●余盛は　(1+0.1S) mm　以下とする

●応力が加わる場合のSは規程と同厚とすることが望ましい

（2）部分溶け込み溶接　　（使用箇所に注意）

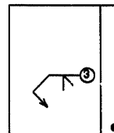


t/4≦S≦10mm
t≦t1

t	t>16mm
溶接記号	F, V

●開先に溶接すみ肉溶接を付加する

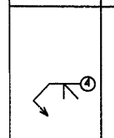
（3）突合せ溶接　　（平鋼手　T鋼板手）



f＝t／4

t	6<t<19mm
溶接記号	F, V

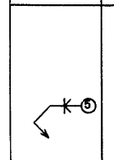
●開先に溶接すみ肉溶接を付加する　　AAG



f＝t／4

t mm	MC, NGC θ	G	t1	L	GC θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接記号	F, V							

●溶接すみ肉溶接を付加する



f＝t／4

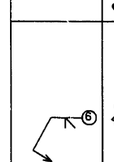
T形突合せ開手参照

のど厚 t mm	余盛の高さ mm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
t>19	4

t	t≧19mm
溶接記号	F, V

●AAG は内は GC で F, H の場合

●開先に溶接すみ肉溶接を付加する



t	6<t<19mm
溶接記号	F, V

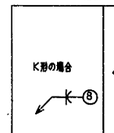
●溶接すみ肉溶接を付加する



f＝t／4

t mm	MC, NGC θ	G	t1	L	GC θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t>19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接記号	F, V							

（4）フレア－溶接



寸法 (mm)		
θ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

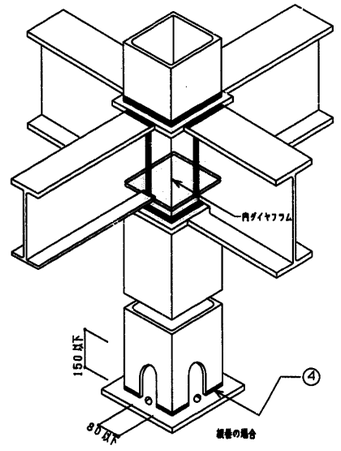
●フレア－溶接長は、開始に接する全長とする

●9mm～16mm　は1パス以上、19mm　以上は2パス以上とする

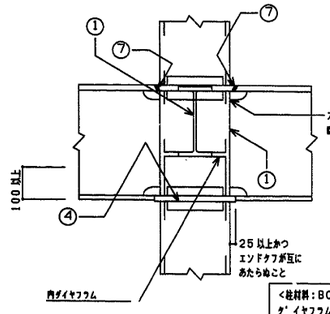
溶接部角度 θ は　30°～40°　とする

○ 溶接記号を　○中に記入のこと

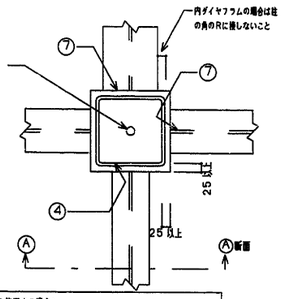
●BOX型　　（通しダイヤフラムの場合）



Ⓐ－Ⓐ断面図



平面詳細

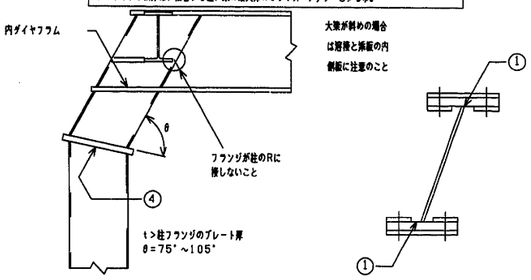


●柱が途中で折れる場合及び梁成が異なる場合

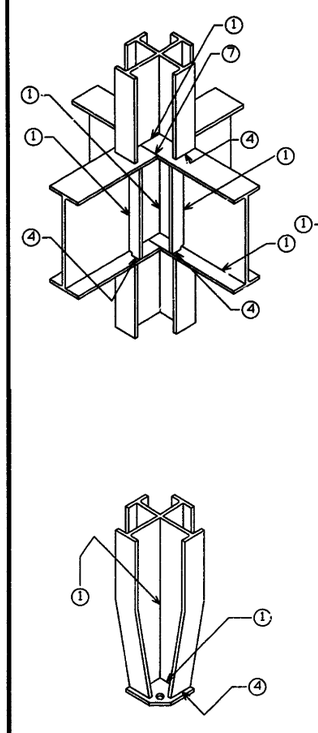
<柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合>

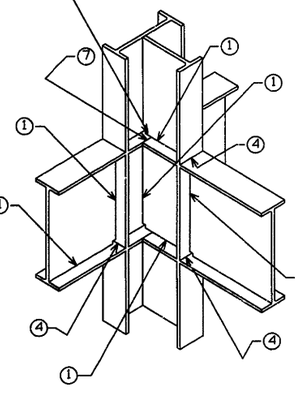
ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用する事。

ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ厚は、接合する柱、梁の最大厚の1サイズ' アップ' とする事。



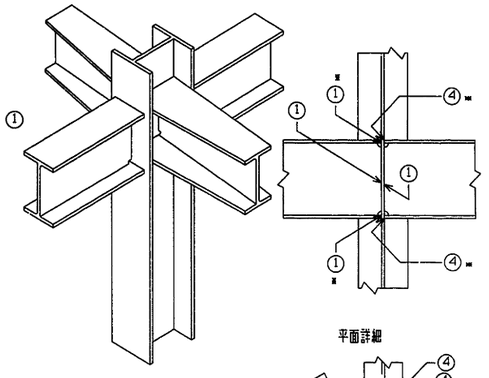
●H、H、H型



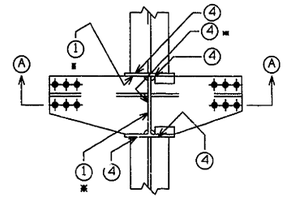


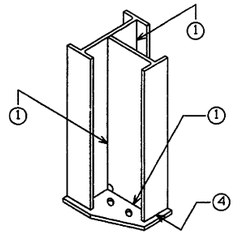
●B，H　方式

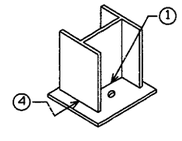
Ⓐ－Ⓐ断面図



平面詳細







※全周すみ肉溶接又は突合せ（裏あて金付）

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	鉄骨構造標準図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-105/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

鉄骨構造標準図 (2)

3．継手規準図、その他

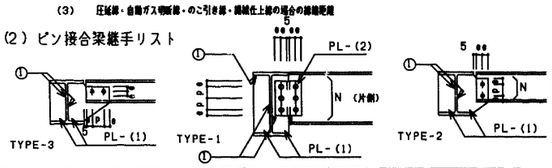
(1) ボルトピッチ (P)、ボルト穴径・最小縁端距離

(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2X3)の基準	ピッチ (P) 最小	基準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

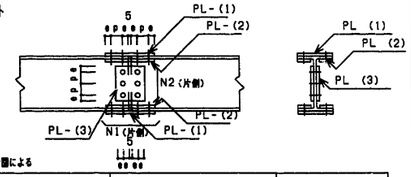
(注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の最小縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の最小縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の最小縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

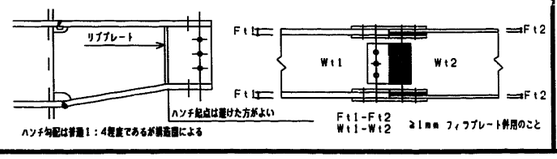
(3) 剛接合継手リスト



注) 端部をBHとする場合の原材は設計図による

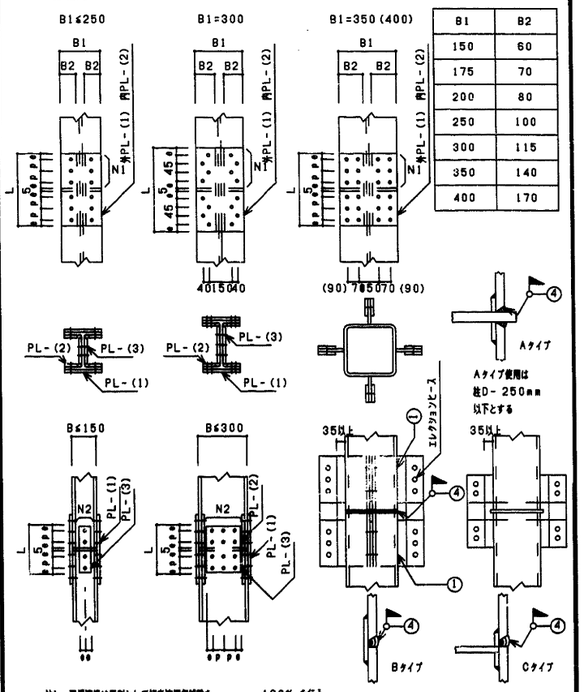
符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径

(4) ハンチ部の継手



フランジ及ウエブ厚の差のある場合

(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を 100% を行う

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする ―JISA5540～5542―1982)

(a) 羽子板ボルト

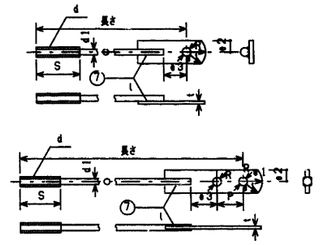
ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差+0 -0.5mm	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小)	(1) ø1	35	40	45	50	50	55	50
切板製 へりあき (最小)	(2) ø1	22	28	28	34	34	38	38
切板製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製 へりあき (最小)	(1) ø2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
平鋼製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト孔から取付ボルト穴心のあき (最小)	ø3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小)	l	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト (2)	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数	1	1	1	1	1	1	2

注 (1) ø1, ø2 が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、 一面せん断 (支圧) 接合とする

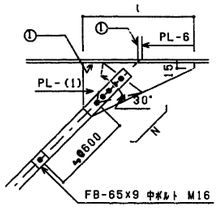
(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	l

羽子板ボルト



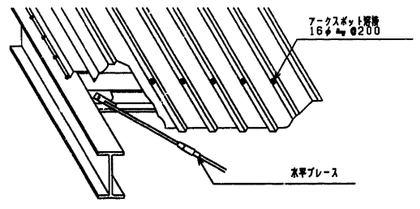
形鋼ブレース



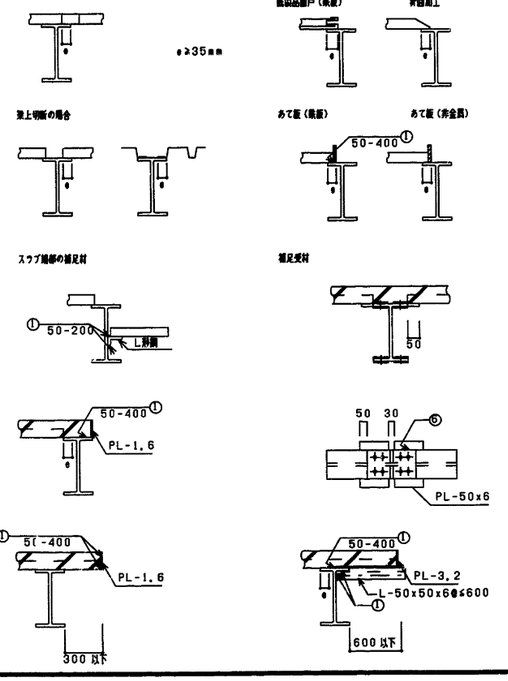
(7) デッキプレート

(疲労性を考慮する合成床、合成梁のときは別途図参照)

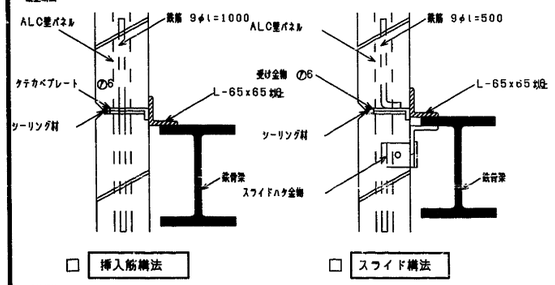
梁との接合およびコネクター



受梁へのかかり寸法および端部処理



(8) ALC板取付要領



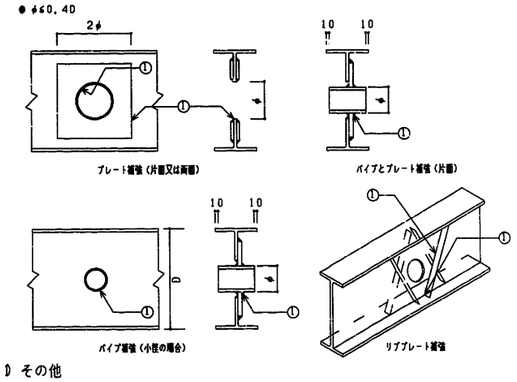
(9) 頭付きスタッド (JIS1198)

スタッド材の簡単形状・寸法

スタッド材 呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強

●計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
●端部 (スパンの (1/10以内かつ2D以内)) は避ける
● φ≦0.4D



(11) その他

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	鉄骨構造標準図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-106/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

構造用アンカーボルト工法施工標準（H形鋼）（参考資料　日立スーパーハイベース）

・スーパーハイベース（H形鋼用）

基礎			ハイベース形式	ばね定数 kl 0kNm/rad		寸法 (mm)											質量 (kg)	セット質量 (kg)	L	L_1	基礎柱部の設計例 ＜個・開放用＞				基礎柱部の設計例 ＜中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示します。）＞			
柱符号	数量			強軸	弱軸	A	B	C_1	D_1	E	F	G	tw	H	t_2	ハイベース	部品				柱部 axb (mm)	柱主筋 (axb) I ゾーンの場合	柱主筋 (axb) II ゾーンの場合	帯筋	基礎柱部主筋の定着長さ (mm)	柱部 axb (mm)	柱主筋 (axb) I ゾーンの場合	柱主筋 (axb) II ゾーンの場合	帯筋	基礎柱部主筋の定着長さ (mm)
		H200×200シリーズ*	H200×200-C1	-24	21.9	11.5	400	300	300	140	206	160	220	32	65	40	35	19	54	480	94	600x450	D16 (3x3)	D16 (5x5)	D13 @150	300	600x450	D16 (3x3)	D16 (5x5)	D13 @150	300
		H250×250シリーズ*	H250×250-C1	-24	35.7	10.9	480	350	380	180	256	206	270	34	75	51	61	21	82	480	105	650x450	D16 (3x4)	D16 (5x5)	D13 @150	300	650x450	D16 (3x3)	D16 (5x5)	D13 @150	300
C2	3			-30	45.1	24.2												32	93	600	118	700x500	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @150	460	700x500	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @150	460
		H300×200シリーズ*	H300×300-C1	-30	54.8	36.9	520	400	420	220	306	254	320	40	75	55	74	33	107	600	122	700x500	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @150	460	700x500	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @150	460
C2	2	H300×300シリーズ*		-36	67.8	39.8												51	125	720	135	750x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @150	580	750x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @150	580
				-30	69.2	30.9												35	124	600	117	750x550	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @150	440	750x550	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @150	440
		H350×250シリーズ*	H350×350-C1	-36	80.9	56.5	560	450	460	270	360	296	370	40	70	50	89	52	141	720	130	800x600	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @150	550	800x600	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @150	550
		H350×350シリーズ*		-36	94.7	56.5												53	163	720	146	800x600	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @150	550	800x600	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @150	550
			H350×350-S1	-42	108	62.2	600	450	500	270	360	296	370	40	90	66	110	89	199	840	161	850x600	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D13 @100	610	850x600	D25 (3x3)	D25 (5x5)	D13 @100	610
		H400×200シリーズ*		-30	89.8	18.5												35	124	600	121	800x500	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @150	460	800x500	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @150	460
		H400×300シリーズ*	H400×300-C1	-36	108	39.1	620	400	520	220	410	340	320	40	75	54	89	53	142	720	134	850x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @100	500	850x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	500
		H400×200シリーズ*		-42	132	82.1												91	237	840	163	900x650	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D13 @100	580	900x650	D25 (3x3)	D25 (5x5)	D13 @100	580
		H400×300シリーズ*	H400×400-S1	-48	157	98.4	670	500	550	300	420	330	420	45	95	68	146	124	270	960	175	900x650	D25 (3x4)	D25 (6x6)	D13 @100	700	900x650	D25 (4x5)	D25 (6x6)	D13 @100	700
		H400×400シリーズ*		-48	203	113												128	383	960	197	1000x700	D25 (4x5)	D25 (6x6)	D13 @100	690	1000x700	D25 (3x4)	D25 (6x6)	D13 @100	690
			H400×400-M1	-56	234	125	800	550	660	330	458	342	440	60	115	90	255	200	466	1120	213	1050x700	D25 (4x6)	D26 (7x8)	D16 @100	740	1050x700	D25 (3x5)	D25 (7x8)	D16 @100	740
				-30	109	19.9												36	134	600	123	900x550	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @100	410	900x550	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @100	410
		H450×200シリーズ*	H450×300-C1	-36	137	24.4	680	400	580	230	460	384	330	40	80	56	98	53	151	720	136	900x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @100	510	900x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	510
		H450×300シリーズ*		-36	148	23.6												54	174	720	152	950x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @100	520	950x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	520
			H450×300-S1	-42	166	35.1	730	400	610	210	460	384	330	40	95	72	120	90	210	840	167	950x550	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D13 @100	650	950x550	D25 (3x3)	D25 (5x5)	D13 @100	650
				-30	139	15.0												36	146	600	123	950x550	D19 (3x4)	D19 (5x5)	D13 @100	410	950x550	D19 (3x3)	D19 (5x5)	D13 @100	410
		H500×200シリーズ*	H500×300-C1	-36	159	23.9	730	400	630	230	510	434	330	40	80	56	110	54	164	720	136	950x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @100	520	950x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	520
		H500×300シリーズ*		-36	161	31.1												60	195	720	147	950x550	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D13 @100	520	950x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	520
C1	14		H500×300-S1	-42	190	38.9	760	450	640	220	510	428	320	40	90	67	135	91	226	840	162	950x550	D25 (4x4)	D25 (5x5)	D13 @100	650	950x550	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D13 @100	650
				-36	225	30.6												62	197	720	146	1050x550	D22 (4x4)	D22 (5x5)	D13 @100	540	1050x550	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D13 @100	540
		H600×200シリーズ*	H600×300-C1	-42	262	36.7	850	400	740	220	616	528	330	40	90	66	135	94	229	840	161	1050x550	D25 (4x4)	D25 (5x5)	D13 @100	670	1050x550	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D13 @100	670
		H600×300シリーズ*		-42	273	36.7												95	270	840	173	1100x600	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D16 @100	570	1100x600	D25 (3x3)	D25 (5x5)	D16 @100	570
			H600×300-S1	-48	305	50.1	900	450	760	220	616	528	320	40	100	78	175	128	303	960	185	1100x600	D25 (4x5)	D25 (6x6)	D16 @100	710	1100x600	D25 (3x4)	D25 (6x6)	D16 @100	710
				-36	298	31.5												64	228	720	147	1150x600	D22 (3x4)	D22 (5x5)	D16 @100	470	1150x600	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D16 @100	470
		H700×300シリーズ*	H700×300-C1	-42	350	36.5	950	450	840	220	720	628	320	40	90	67	165	106	271	840	162	1150x600	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D16 @100	580	1150x600	D25 (3x3)	D25 (5x5)	D16 @100	580
				-48	412	50.9												140	360	960	197	1200x650	D25 (4x5)	D25 (6x6)	D16 @100	690	1200x650	D25 (3x4)	D25 (6x6)	D16 @100	690
			H700×300-S1	-56	472	54.9	1000	450	860	220	720	628	320	40	115	90	220	204	424	1120	213	1200x700	D25 (6x6)	D26 (7x8)	D16 @100	790	1200x700	D25 (5x5)	D25 (7x8)	D16 @100	790
				-36	394	39.7												66	242	720	147	1250x600	D25 (3x3)	D25 (4x4)	D16 @100	460	1250x600	D25 (3x3)	D25 (4x4)	D16 @100	460
		H800×300シリーズ*	H800×300-C1	-42	453	40.2	1050	450	940	220	820	728	320	40	90	67	176	110	286	840	162	1300x600	D25 (4x4)	D25 (5x5)	D16 @100	600	1300x600	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D16 @100	600
				-48	529	55.9												144	376	960	197	1350x650	D29 (4x4)	D29 (5x5)	D16 @100	710	1350x650	D29 (3x3)	D29 (5x5)	D16 @100	710
			H800×300-S1	-56	611	57.6	1100	450	960	220	820	728	320	40	115	90	232	209	441	1120	213	1350x700	D29 (5x5)	D29 (6x6)	D16 @100	840	1350x700	D29 (4x5)	D29 (6x6)	D16 @100	840
				-36	519	41.5												69	257	720	147	1350x600	D22 (4x4)	D22 (5x5)	D16 @100	490	1350x600	D22 (3x3)	D22 (5x5)	D16 @100	490
		H900×300シリーズ*	H900×300-C1	-42	591	41.8	1160	450	1040	220	920	828	320	40	90	67	188	114	302	840	162	1400x600	D25 (4x4)	D25 (5x5)	D16 @100	620	1400x600	D25 (3x4)	D25 (5x5)	D16 @100	620
				-48	695	57.6												148	392	960	197	1400x650	D29 (5x4)	D29 (5x5)	D16 @100	730	1400x650	D29 (4x3)	D29 (5x5)	D16 @100	730
			H900×300-S1	-56	770	59.1	1200	450	1060	220	920	828	320	40	115	90	244	214	458	1120	213	1400x700	D29 (5x5)	D29 (6x6)	D16 @100	860	1400x700	D29 (4x5)	D29 (6x6)	D16 @100	860

部品の質量はアンカーボルト部品と溶接の1セットの質量です。
表中に無いサイズについても別形可能です。日立商材課に問い合わせ下さい。
表中の鉄筋の材質は、D13・D16はSD295、D19・D22・D25・D29はSD345を標準用下さい。
注 1)　1、Ⅱゾーン外についてはSuperHIBASE設計ハンドブックの各形式の耐力諸元を参照下さい。
注 2) 上記表内の＜中柱用＞とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を表します。この条件を満たさない状態については、＜個・開放用＞を参照用下さい。
注 3) 表中の鉄筋径は基礎立上りのない場合（基礎底天端と基礎施工面が一致する場合）の設計例です。立上りがある場合、独立基礎の場合は、SuperHIBASE設計ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行う
注 4) ＜中柱用＞の鉄筋径は、基礎梁内のあばら筋をD10@250として算定しています。　あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は＜個・開放用＞の鉄筋径として下さい。

表示例

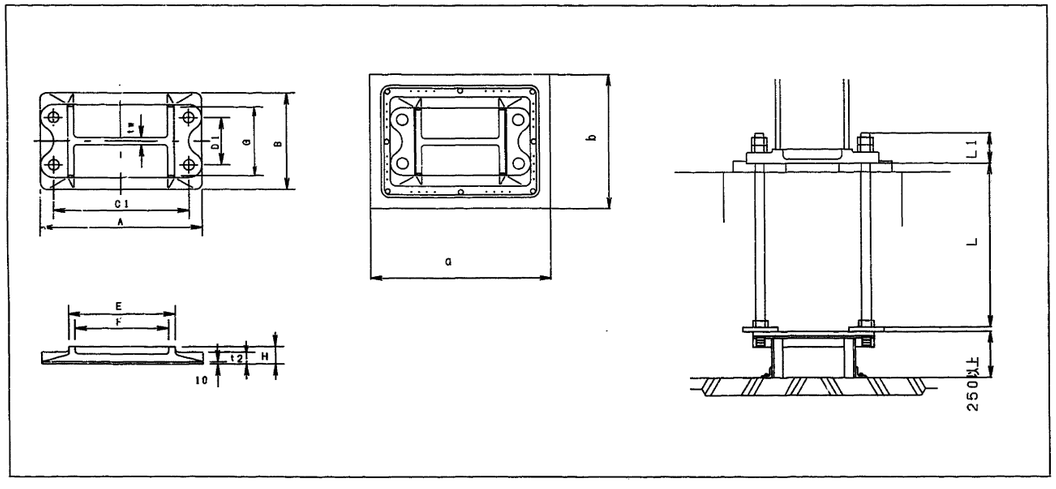
H 200x200-C1-24

- アンカーボルト径
- ハイベースのタイプ
- H形鋼柱用

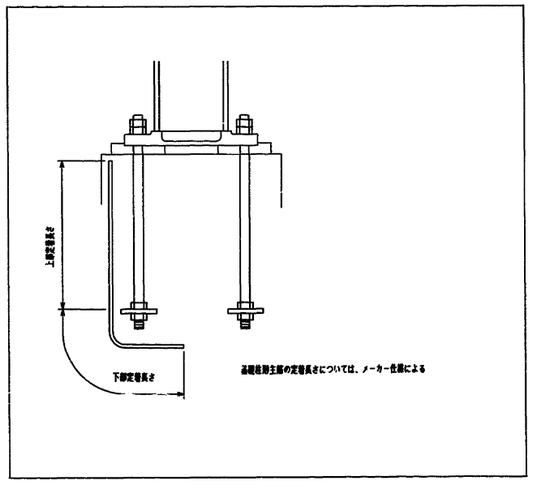
註

・壁ブレース付きのベースは、アンカーボルトナット締付後、ベースとナットを全周隅肉溶接を行う

構造用アンカーボルト要領



構造用アンカーボルト定着長さ要領

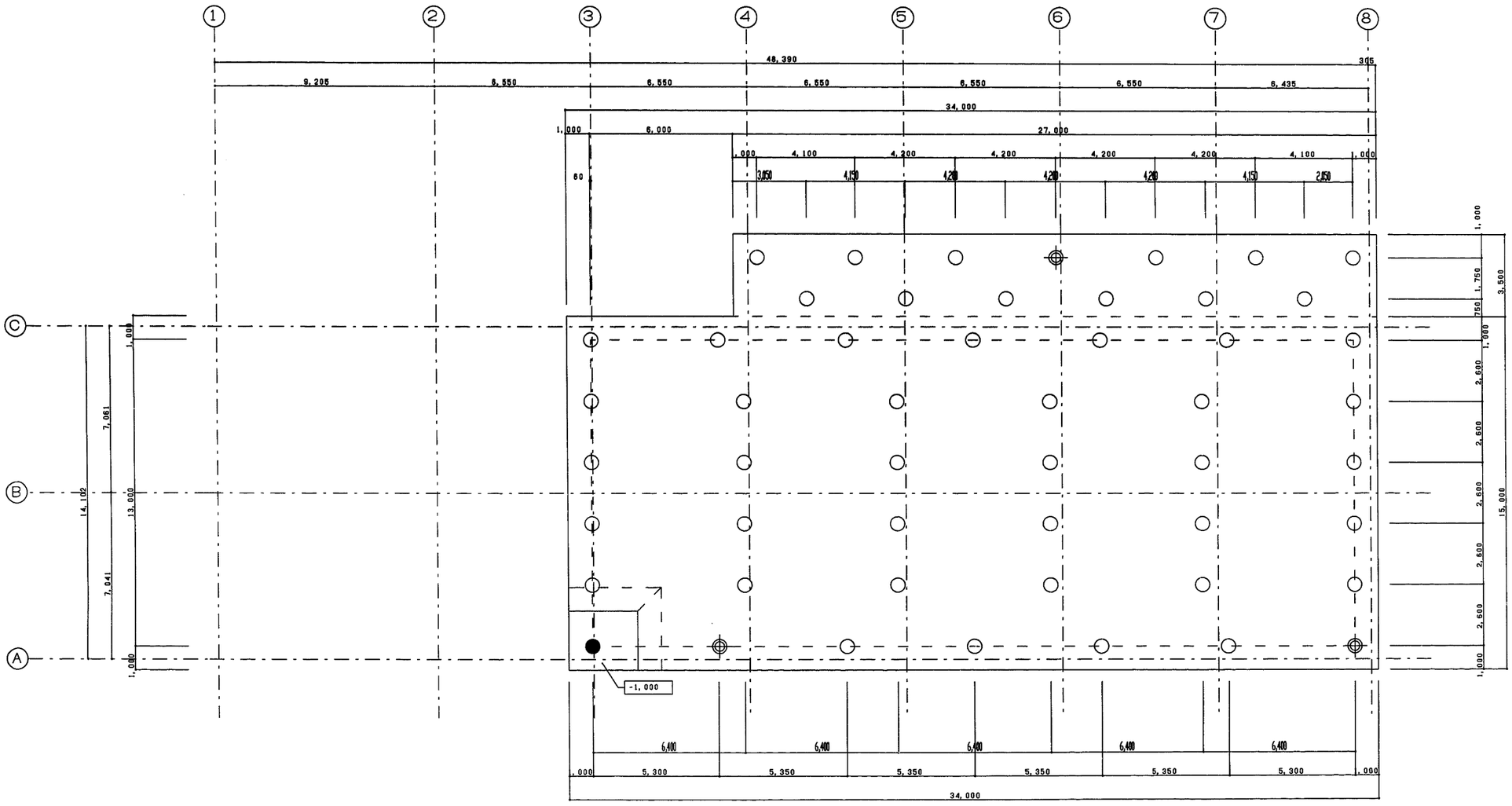


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	構造設計標準仕様		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-107/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

共通事項

使用材料

コンクリート	Fc=21N/mm²	
鉄筋	SD295A	D10~D16
	SD345	D19~D29
鋼材	柱・壁	SN400
	二次部材	SS400
ボルト	HTB	2種 S10T (トルシア形)
	中ボルト	4T



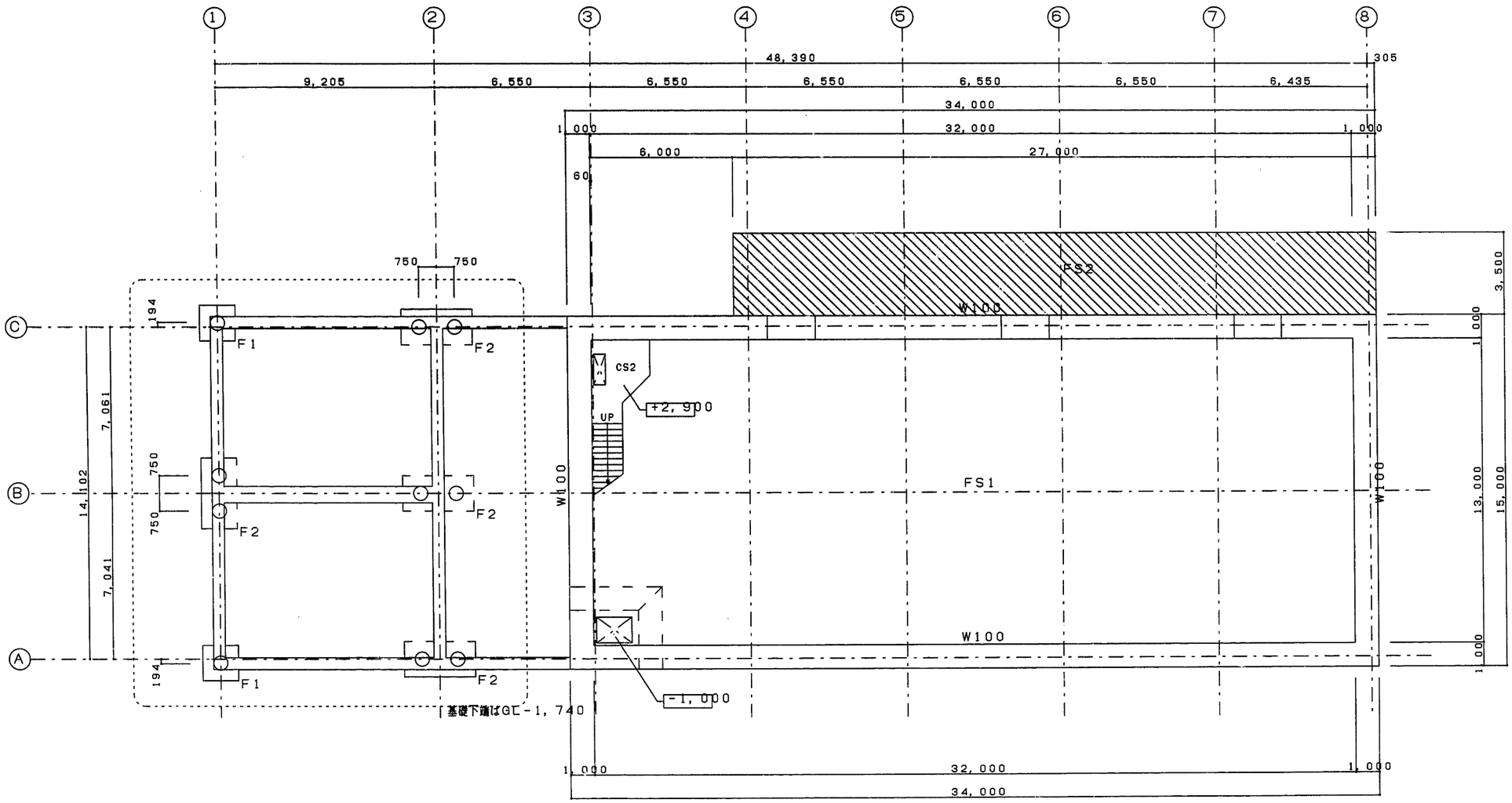
記号	杭種	杭径	杭長	本数
◈	PHC杭 B種(試験杭)	600φ	8.0 m	3 set
○	PHC杭 B種	600φ	8.0 m	47 set
●	PHC杭 B種	600φ	7.0 m	1 set

地階杭伏図　S=1/100

特記事項

1. 基礎下端はGL-8,900
2. □内数字は基礎下端から杭下端までの距離を示す。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	地階杭伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-108/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



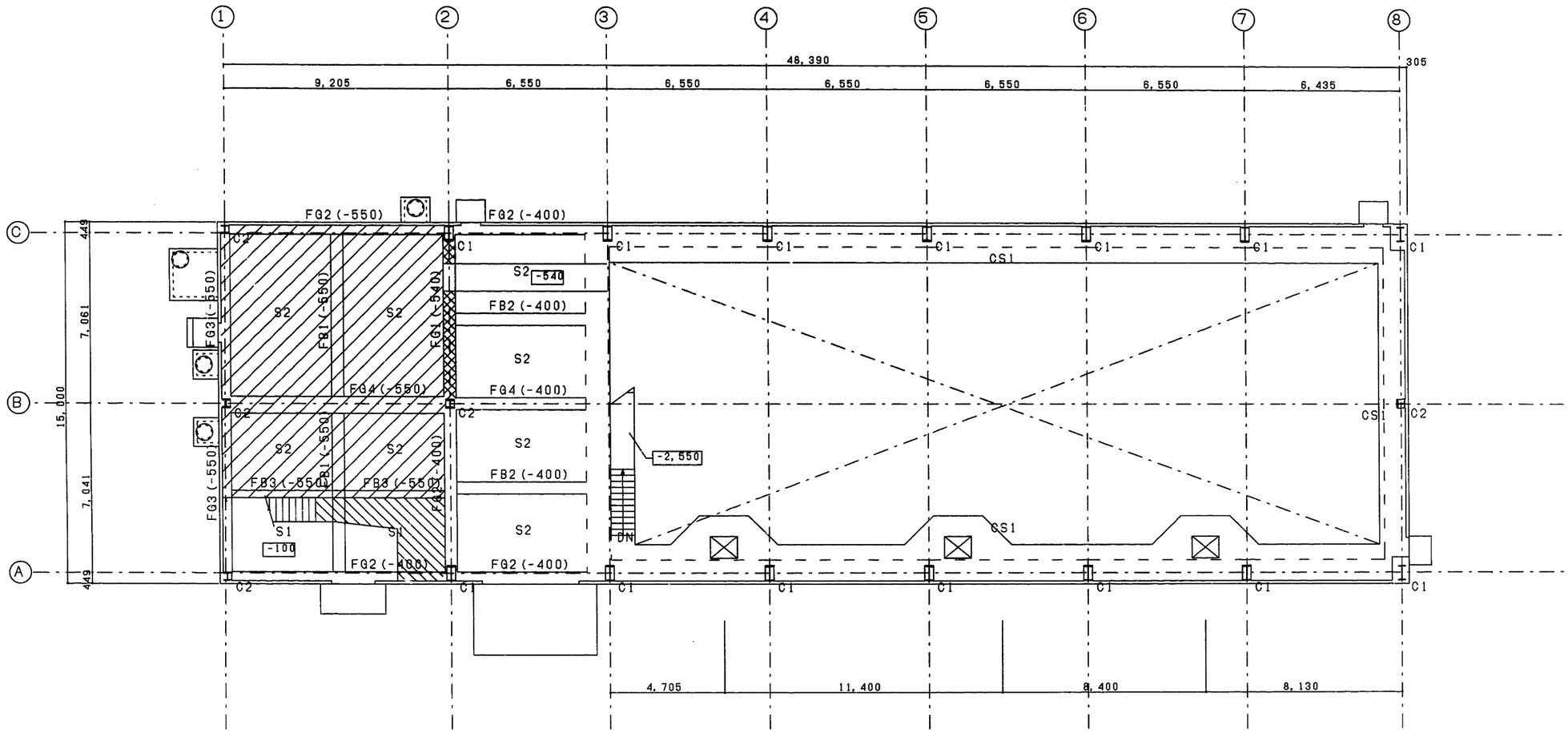
記号	杭種	杭径	杭長	本数
○	PHC杭 C種+A種	600φ	7.0(C種) + 8.0(A種)	10 set

地階 床伏図 S=1／100

特記事項

1. B1CL=GL－7, 400
2. 底版下端はGL－8, 900
3. □ 内数字はB1CLから床天端までの距離を示す。
4. ▨ 印はB1SL+3, 000を示す。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	基礎伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-109/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

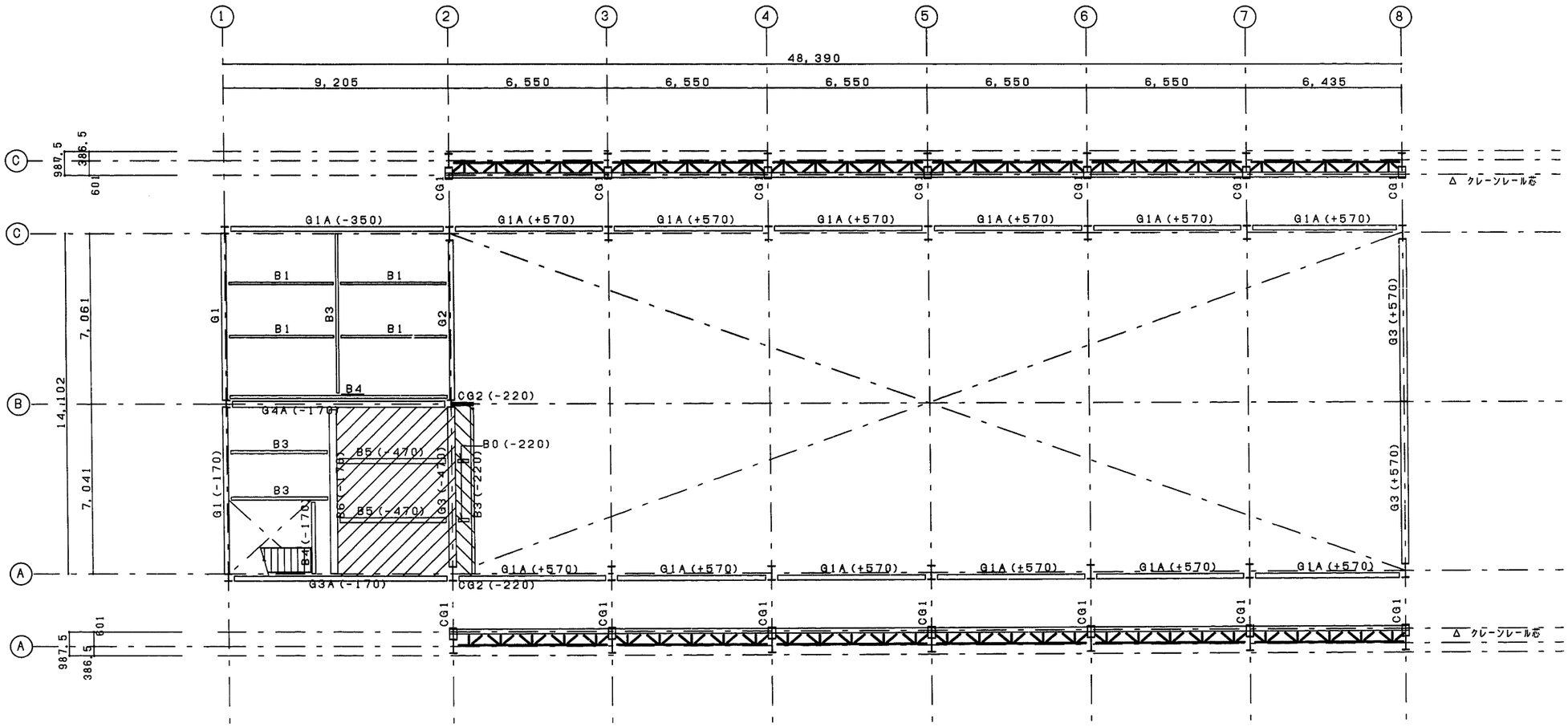


1階床伏図　S=1/100

特記事項

1. 1FL=GL+450
2. ( )内は1FLから梁天までの距離を示す。
3. 無表示床は1FL-150を示す。
4. □　内数字は1FLから床天端までの距離を示す。
5. ▨　印は1FL-300を示す。
6. ▧　印は1FL±0を示す。
7. ▩　増厚打を示す。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	1階伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-110/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

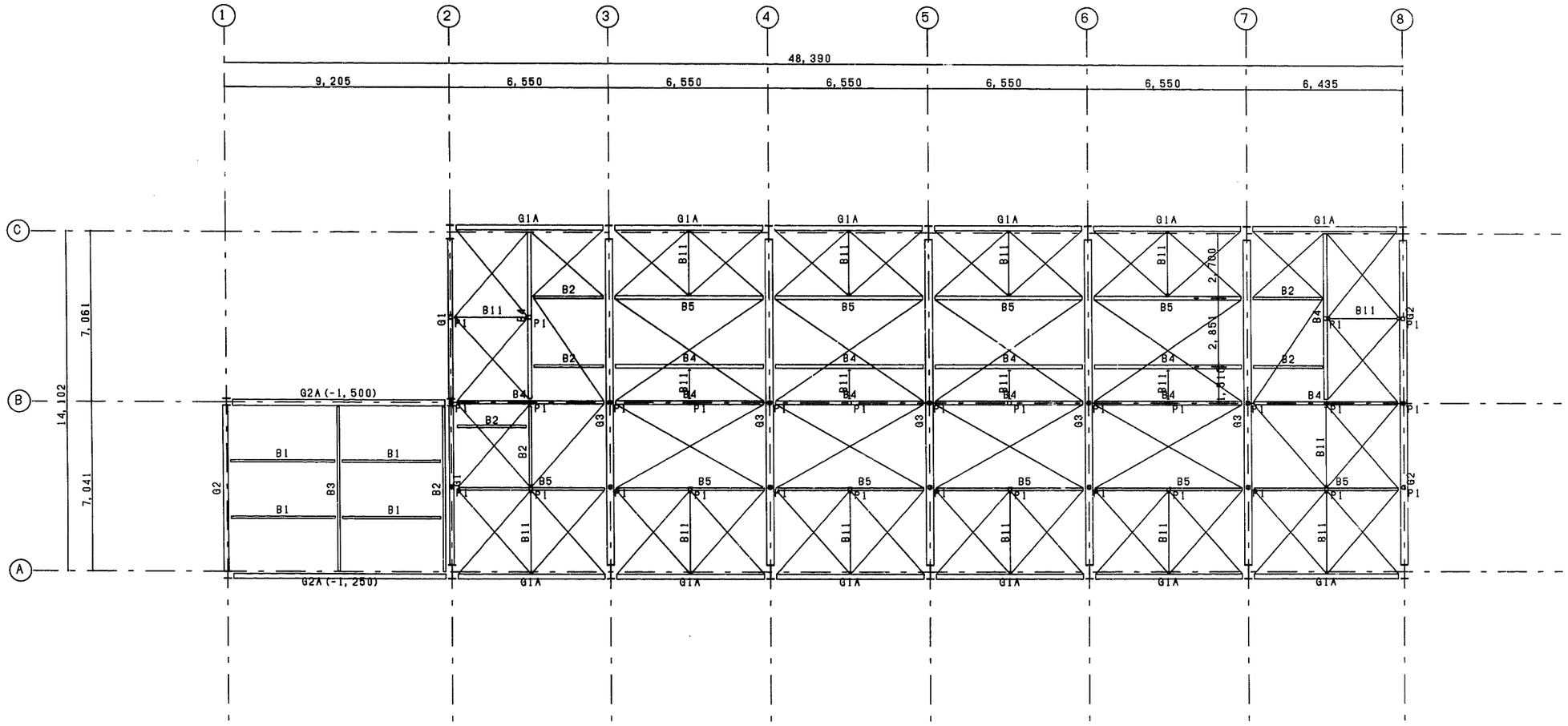


2階床伏図・CG伏図　S=1/100

特記事項

1. 2FL=GL+4,650
2. ( )内は2FLから梁天までの距離を示す。
3. ▨ 印は2FL-300を示す。
4. ▧ 印は2FL-50を示す。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	2伏図. CG伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-111/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

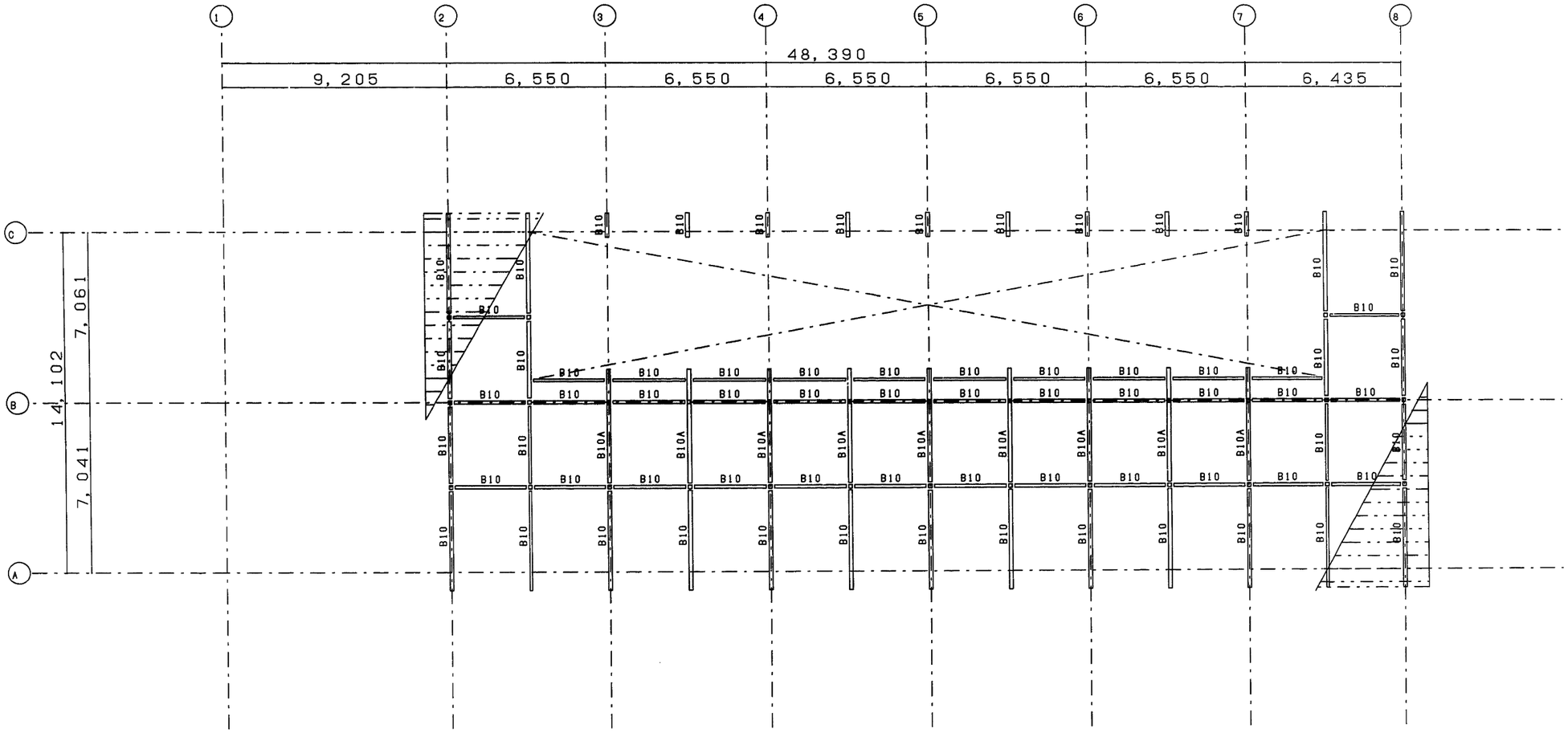


R階床伏図　S=1/100

特記事項

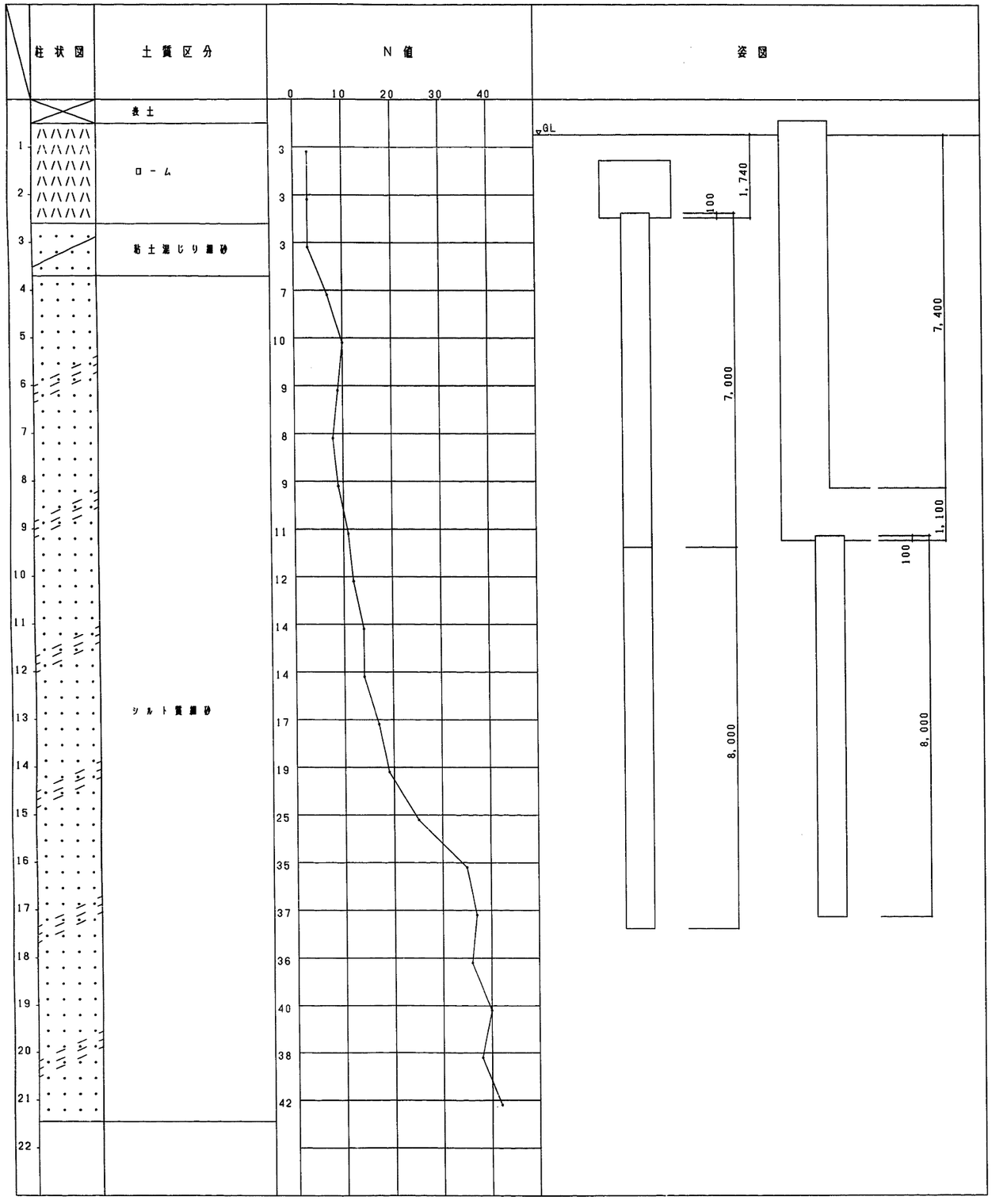
1. RSL=GL+9,400
2. ( )内はRSLから笠天までの距離を示す。
3. 水平ブレースは1-M16(ターンバックル付)を示す。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	R階床伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-112/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



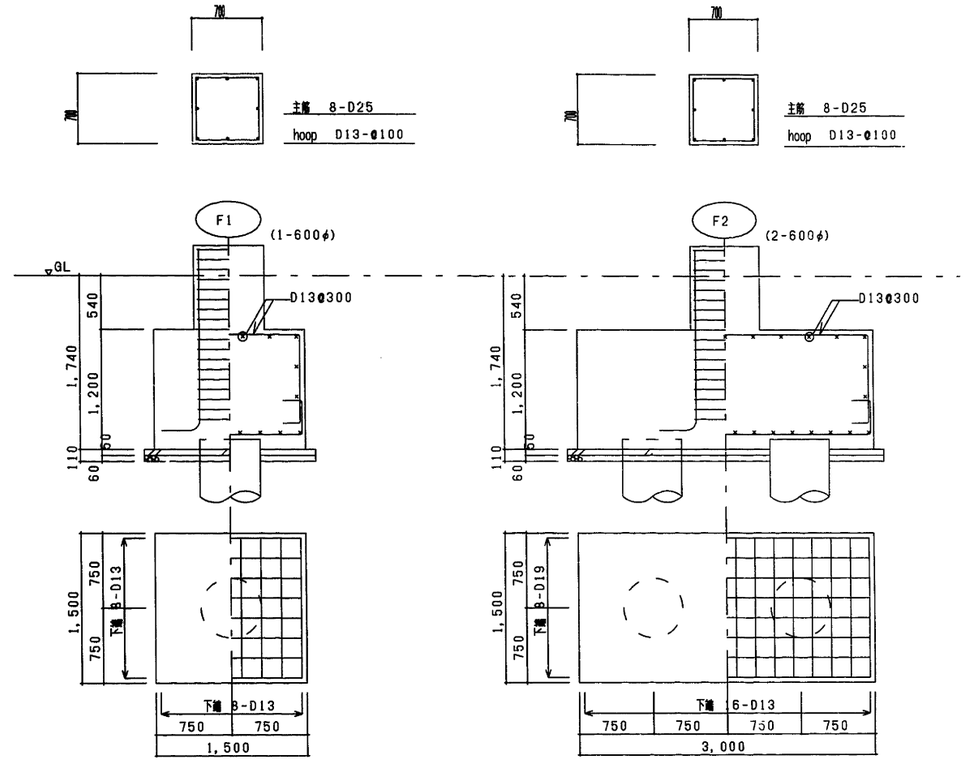
屋根伏図　　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	屋根伏図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-113/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



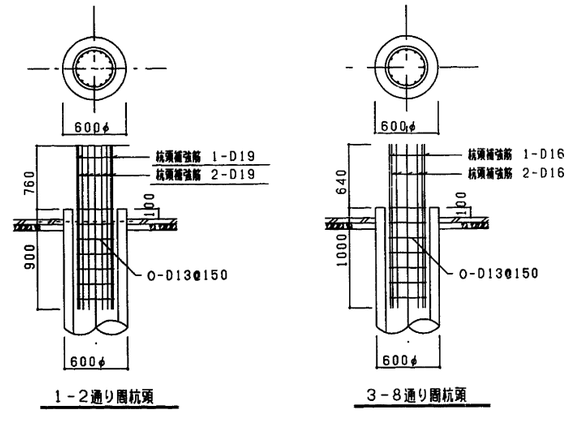
基礎リスト　S=1/30

特記なき限り、コンクリートはFc21N/mmとする。



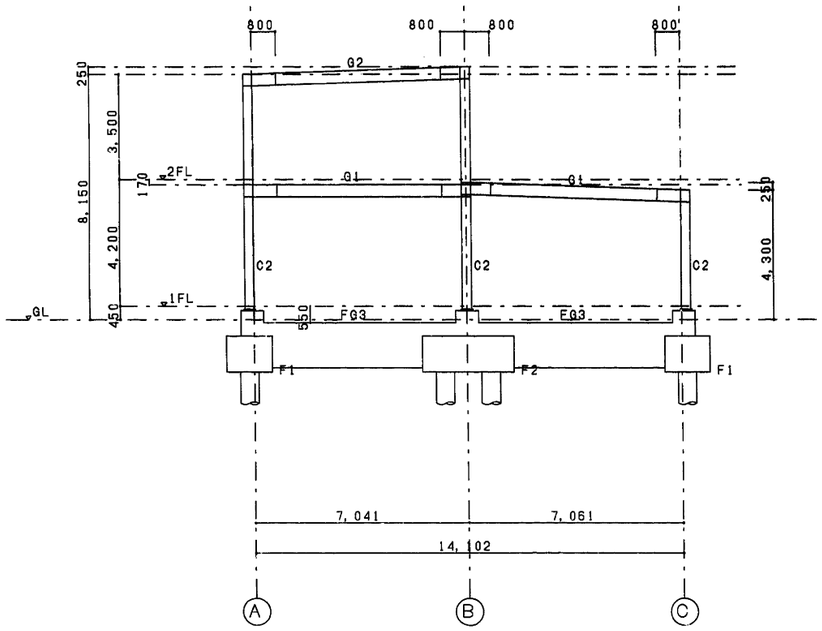
杭径	杭種	杭長	備考	本数	備考
600φ	PHC杭 B種	8.0 m		50 set	試験杭3本含む
600φ	PHC杭 B種	7.0 m		1 set	
600φ	PHC杭 C+A種 C種は上杭	15.0 m	2本継ぎ 7.0 m + 8.0 m	10 set	

杭頭補強要領図

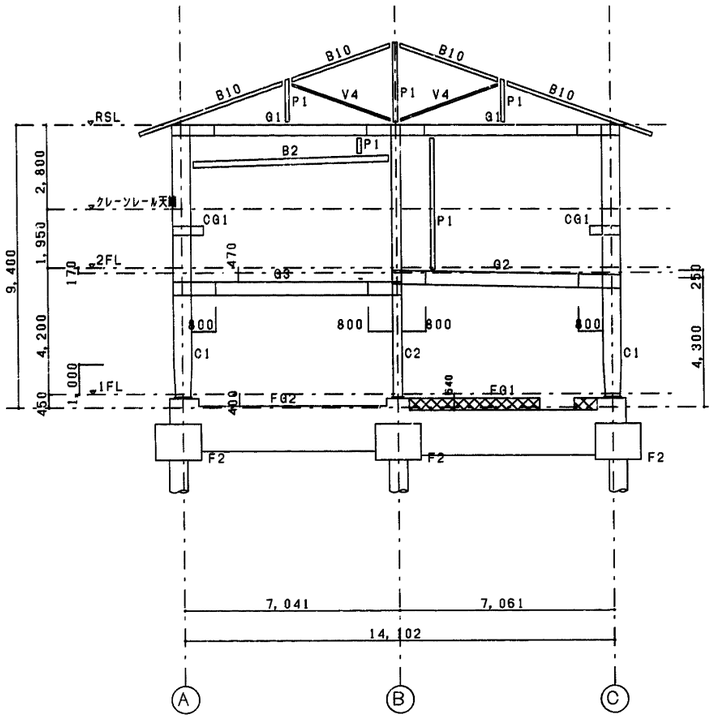


1－2通り周杭頭　　3－8通り周杭頭

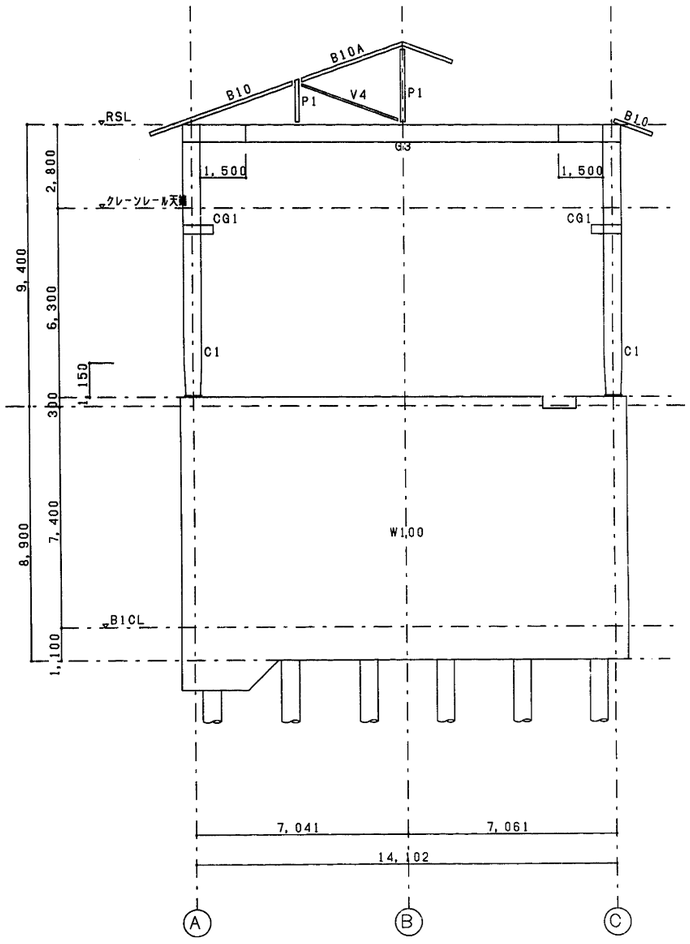
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	基礎リスト		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-114/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



1通り軸組図 S=1/100

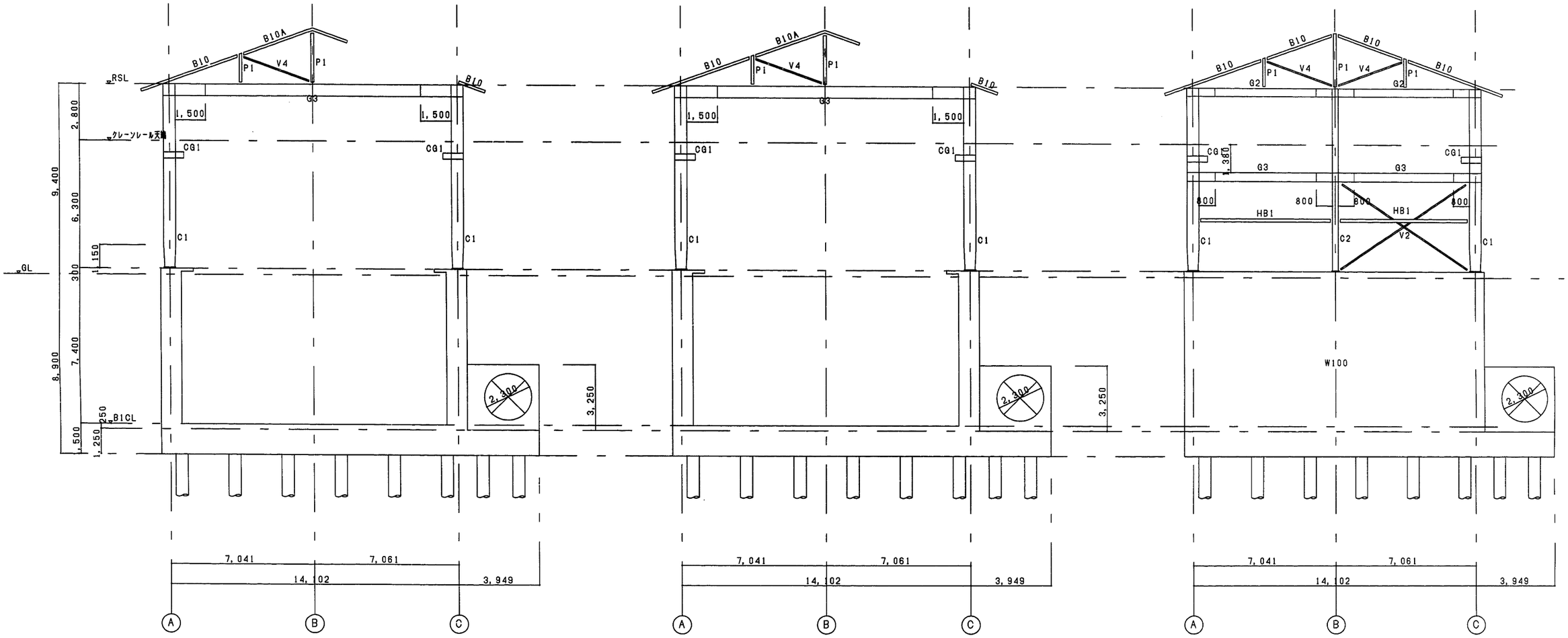


2通り軸組図 S=1/100



3通り軸組図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-115/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

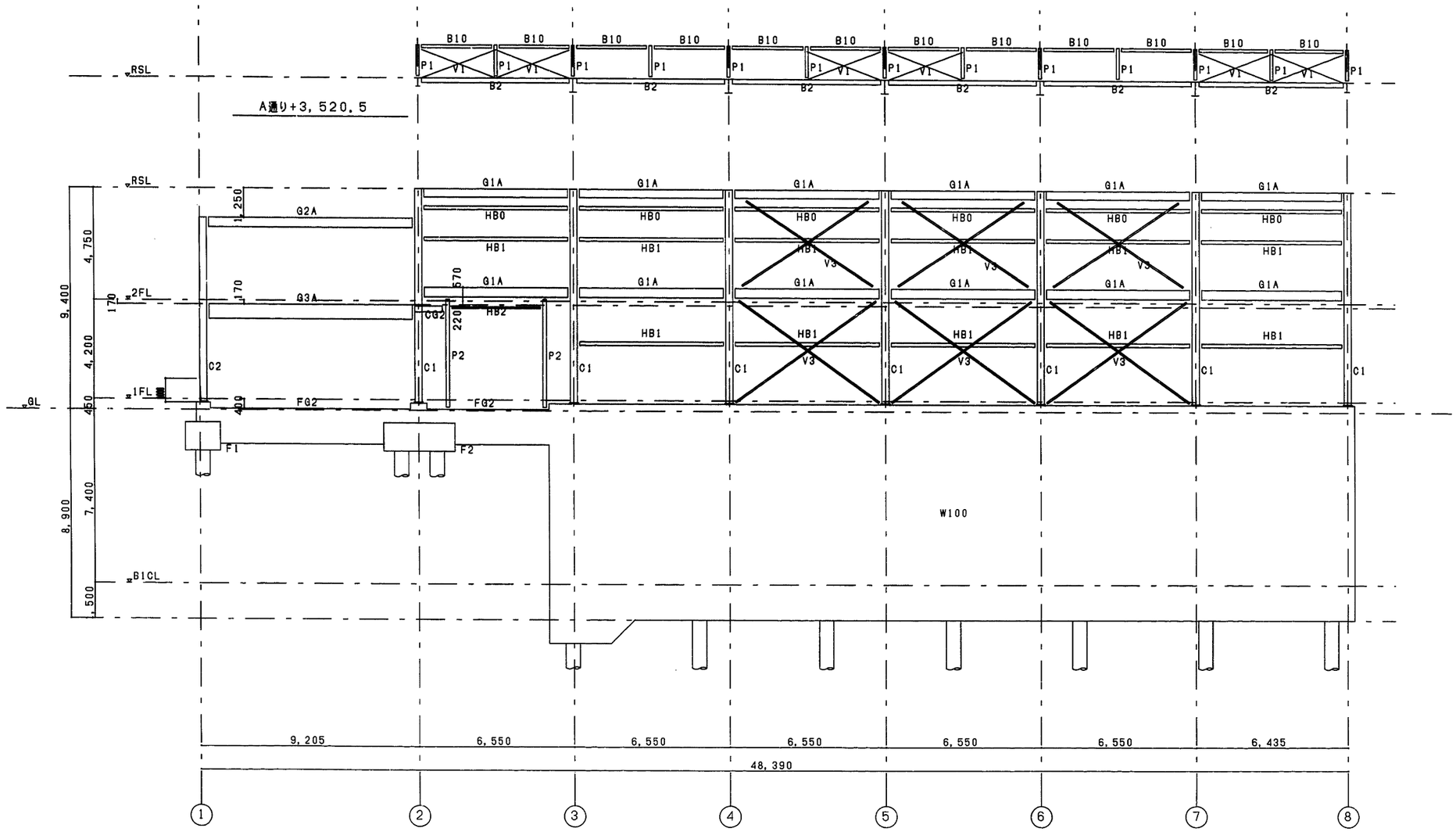


4，5通り軸組図 S=1/100

6，7通り軸組図 S=1/100

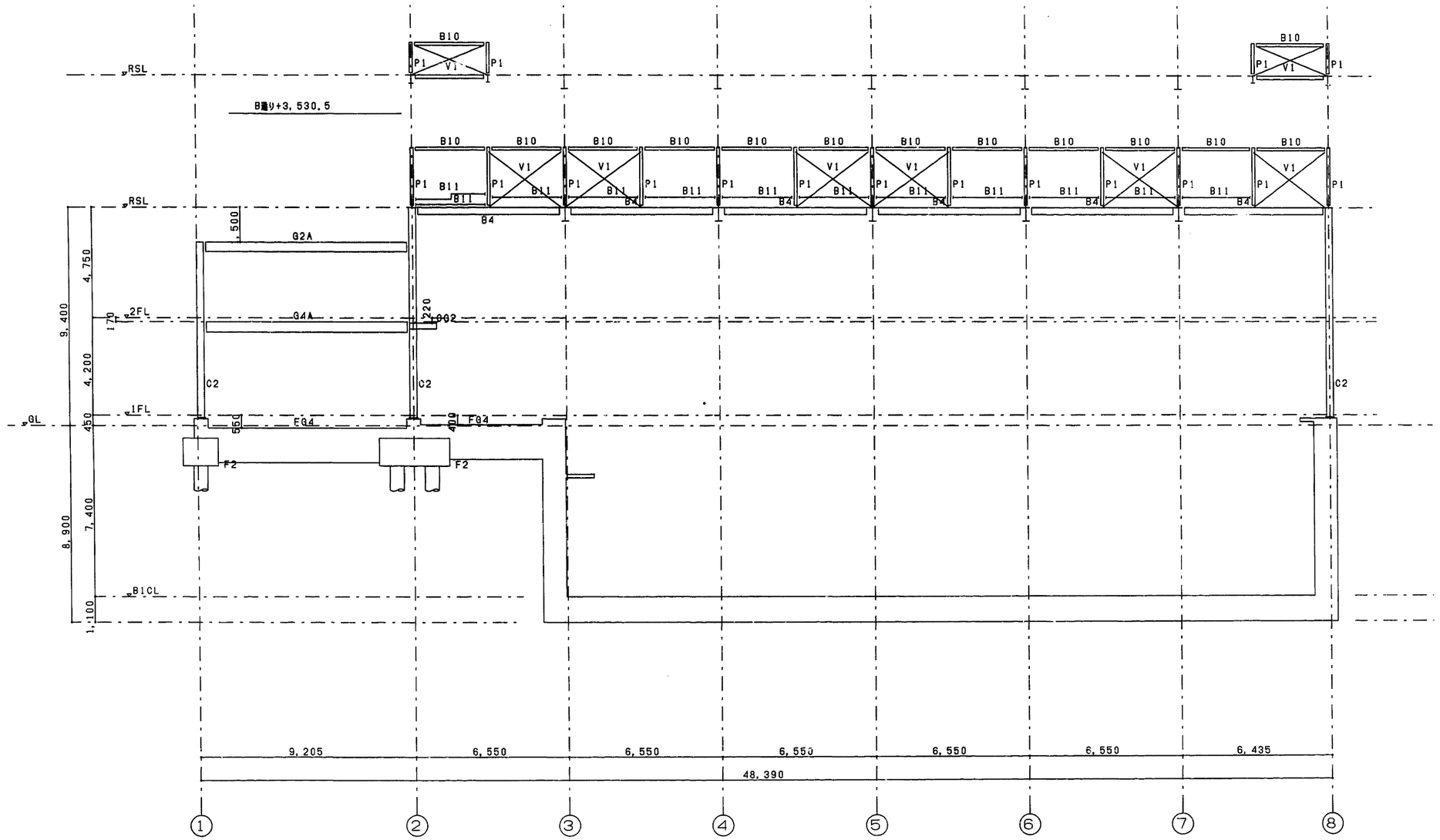
8通り軸組図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-116/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



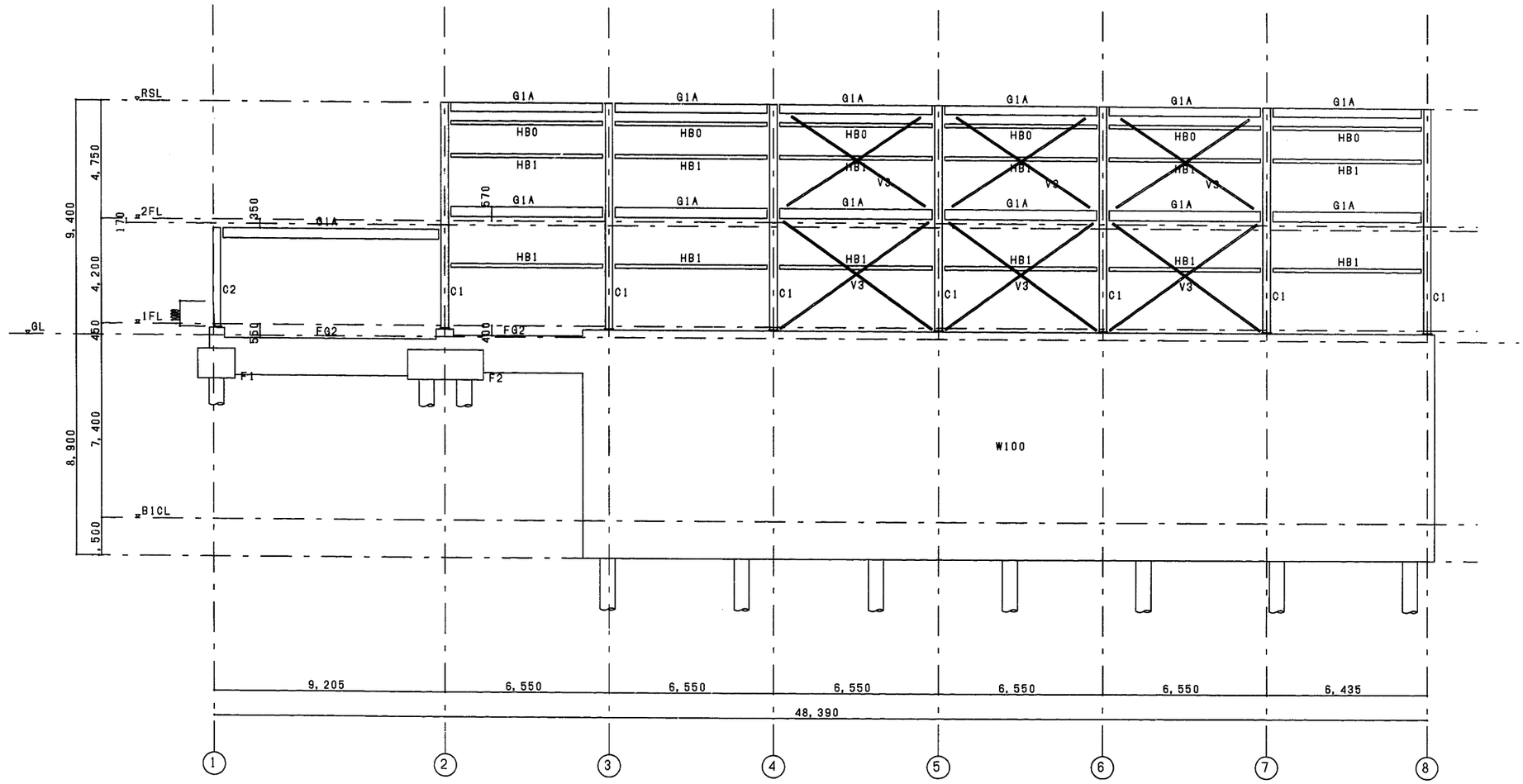
A通り軸組図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-117/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



B通り軸組図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図(4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-118/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



C通り軸組図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図(5)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-119/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

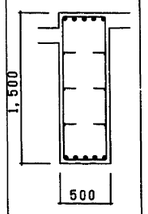
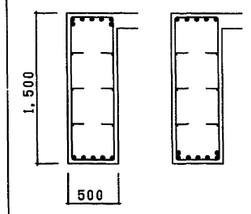
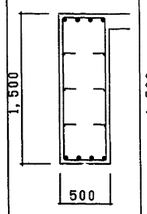
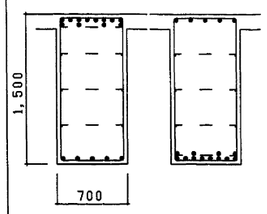
鉄骨部材リスト

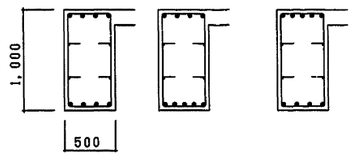
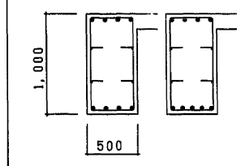
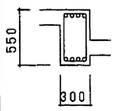
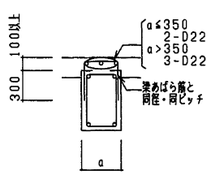
大梁SN材は端部を示し、中央部はSS400とする。

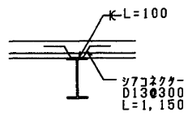
符号	部材		継手板厚 フランジ	継手板厚 ウェブ	接合ボルト フランジ	接合ボルト ウェブ
C 1	H-588x300x 12x20	(SN400)				
C 2	H-300x300x 10x15	(SN400)				
R G 1	H-350x175x 7x11	(SN400)	2PL-9	2PL-6	HTB 4-M20	HTB 3-M20
R G 2	H-400x200x 8x13	(SN400)	2PL-12	2PL-9	HTB 6-M20	HTB 4-M20
R G 3	H-588x300x 12x20	(SN400)	2PL-16	2PL-9	HTB 14-M22	HTB 7-M22
R G 1 A	H-350x175x 7x11	(SS400)		PL-6		HTB 3-M20
R G 2 A	H-400x200x 8x13	(SS400)		PL-9		HTB 4-M20
2 G 1	H-400x200x 8x13	(SN400)	2PL-12	2PL-9	HTB 6-M20	HTB 4-M20
2 G 2	H-450x200x 9x14	(SN400)	2PL-12	2PL-9	HTB 8-M20	HTB 5-M20
2 G 3	H-440x300x 11x18	(SN400)	2PL-12	2PL-9	HTB 12-M20	HTB 5-M20
2 G 1 A	H-400x200x 8x13	(SS400)		PL-9		HTB 4-M20
2 G 3 A	BH-650x200x 12x22	(SN400)		PL-12		HTB 7-M20
2 G 4 A	H-488x300x 11x18	(SS400)		PL-12		HTB 5-M20
C G 1	H-390x300x 10x16	(SN400)				
C G 2	H-250x125x 6x 9	(SN400)				
B 0	L- 65x 65x 6	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
B 1	H-175x 90x 5x 8	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
B 2	H-200x100x5.5x 8	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
B 3	H-250x125x 6x 9	(SS400)		GPL-6		HTB 3-M20
B 4	H-300x150x6.5x 9	(SS400)		GPL-6		HTB 3-M20
B 5	H-244x175x 7x11	(SS400)		GPL-9		HTB 3-M20
B 6	H-390x300x 10x16	(SS400)		GPL-12		HTB 4-M20
B10	H-125x125x6.5x 9	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M20
B10A	H-125x125x6.5x 9	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M20
B11	C-150x 75x6.5x10	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
母屋	C-100x 50x 20x3.2	(SS400)		L-65x65x6		~~ｷﾘﾑ 2-13ﾟn~~
HB0	H-194x150x 6x 9	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
HB1	H-200x200x 8x12	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M16
HB2	C-150x 75x6.5x10	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M20
P 1	□-125x125x 9	(SS400)		PL-6		HTB 2-M20
P 2	C-150x 75x6.5x10	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M20
P 3	H-150x 75x 5x 7	(SS400)		GPL-6		HTB 2-M20
V 1	1-M16 (ターンバックル付) JIS規格品			GPL-6		HTB 1-M20
V 2	L- 65x 65x 6	(SS400)		GPL-9		HTB 5-M20
V 3	L- 65x 65x 6	(SS400)		GPL-9		HTB 5-M20
V 4	L- 75x 75x 9	(SS400)		GPL-9		HTB 5-M20
						HTB 6-M20
水平ブレース	1-M16 (ターンバックル付) JIS規格品			GPL-6		中ボルト 1-M20

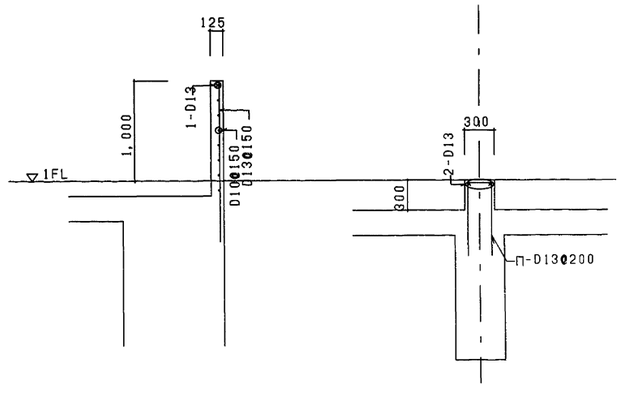
梁リスト 1/30

特記無き限り下記による。
1. コンクリートはFc21N/mmとする。
2. 幅止め筋は、D10@1000程度とする。

符号	FG1	FG2		FG3	FG4	
位置	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央
断面						
上端筋	5-D25	7-D25	5-D25	4-D25	12-D25	5-D25
下端筋	5-D25	5-D25	7-D25	4-D25	5-D25	12-D25
STR	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@150	
腹筋	6-D10	6-D10		6-D10	6-D10	

符号	FB1			FB2		FB3	梁増打ち要領図
位置	外端	中央	内端	端部	中央	全断面	
断面							
上端筋	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D19	
下端筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D19	
STR	□-D13@200			□-D13@200		□-D10@200	
腹筋	4-D10			6-D10			

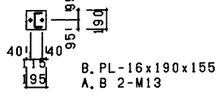




立上がり壁配筋要領図

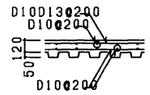
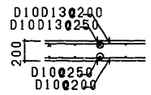
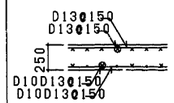
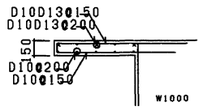
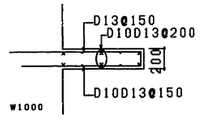
立上がり配筋要領図

P2



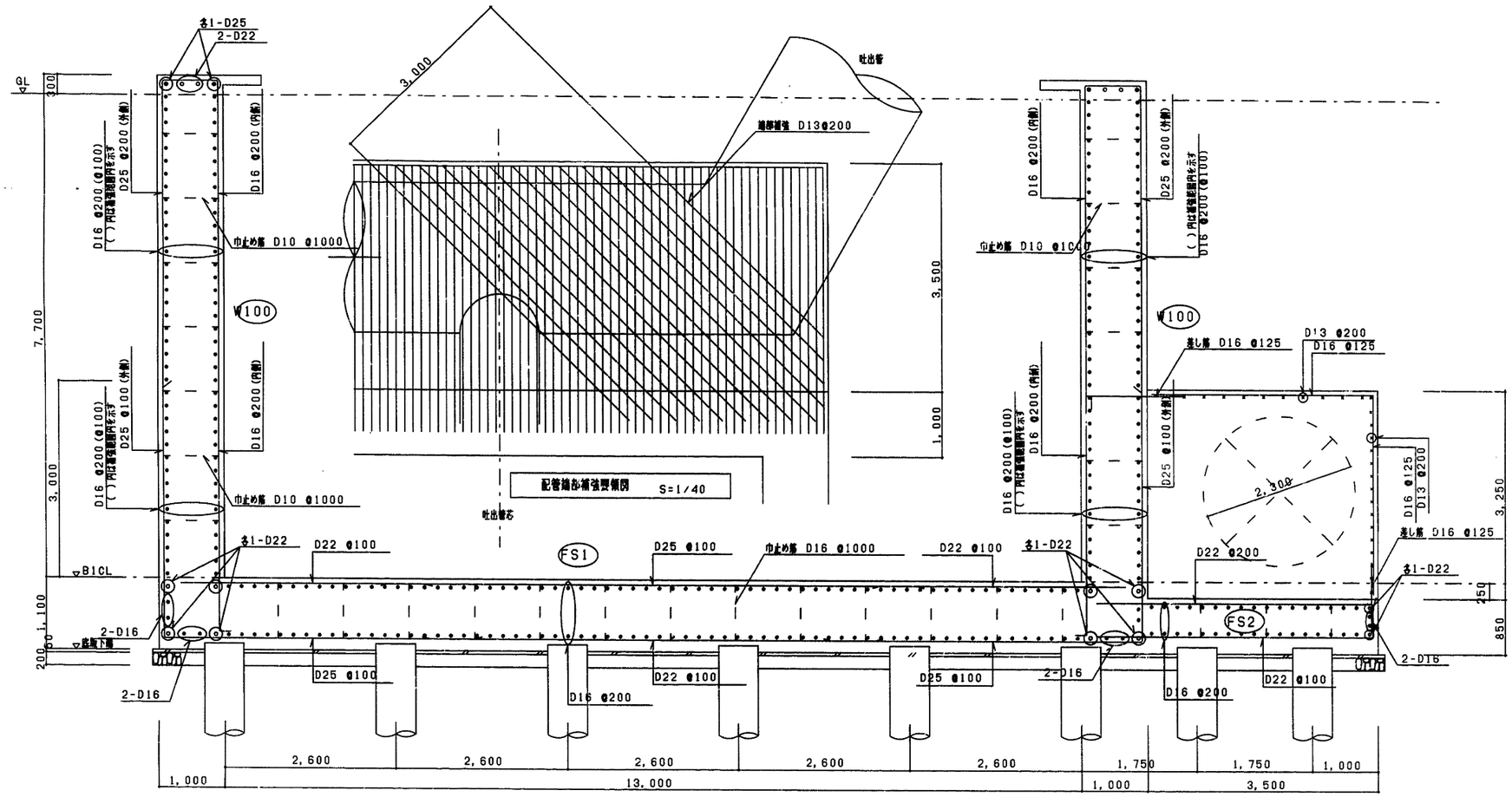
床リスト S=1:30

特記無き限り下記による。
1. コンクリートはFc21N/mmとする。

符号	DS1	S1	S2	CS1	CS2
断面					

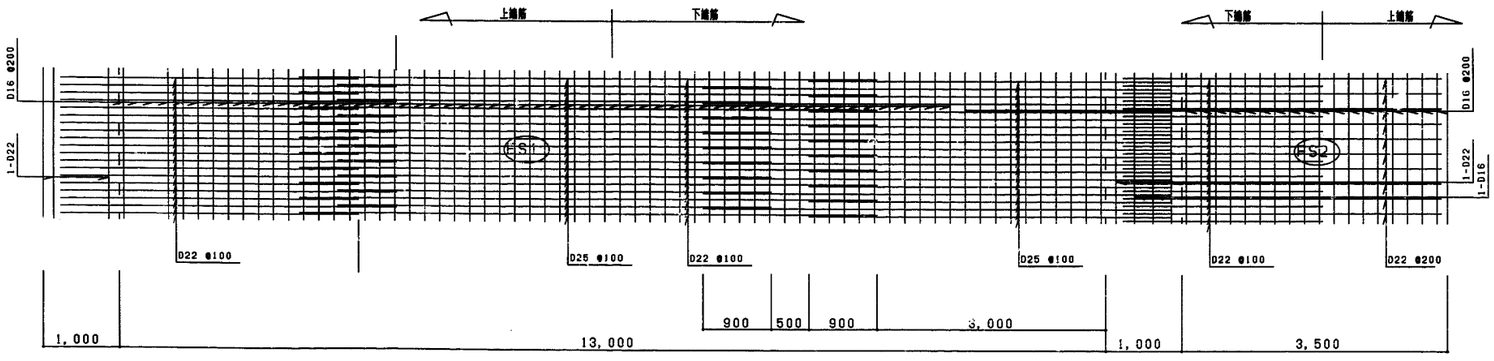
V50A 型(DP-V50A) ALF t=1.2

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	断面リスト
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 6-120/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所



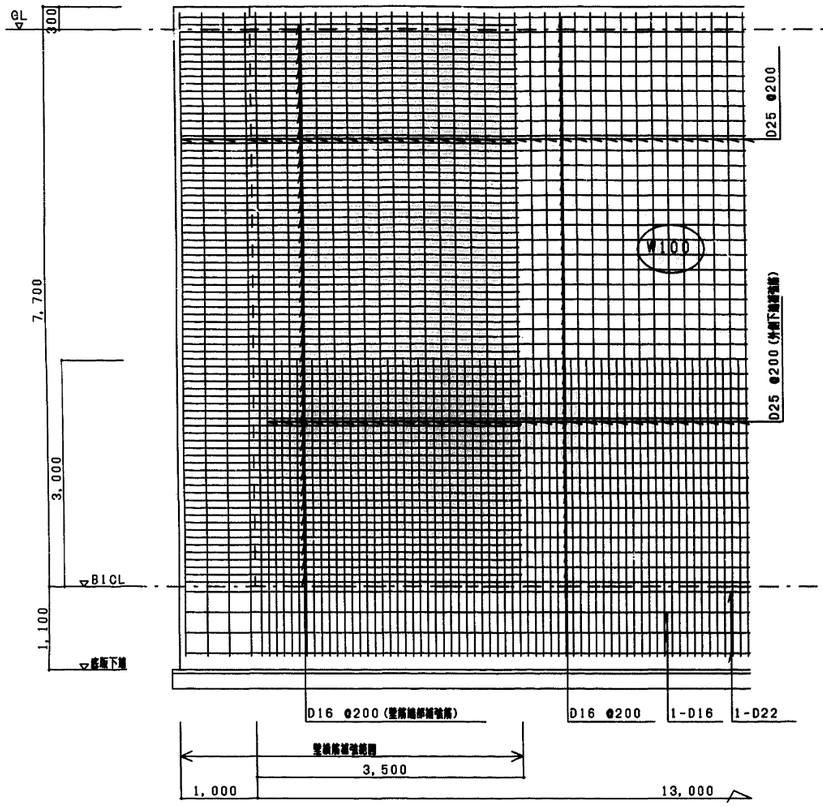
配筋詳細図 S=1/40

ポンプ室釜場配筋要領図

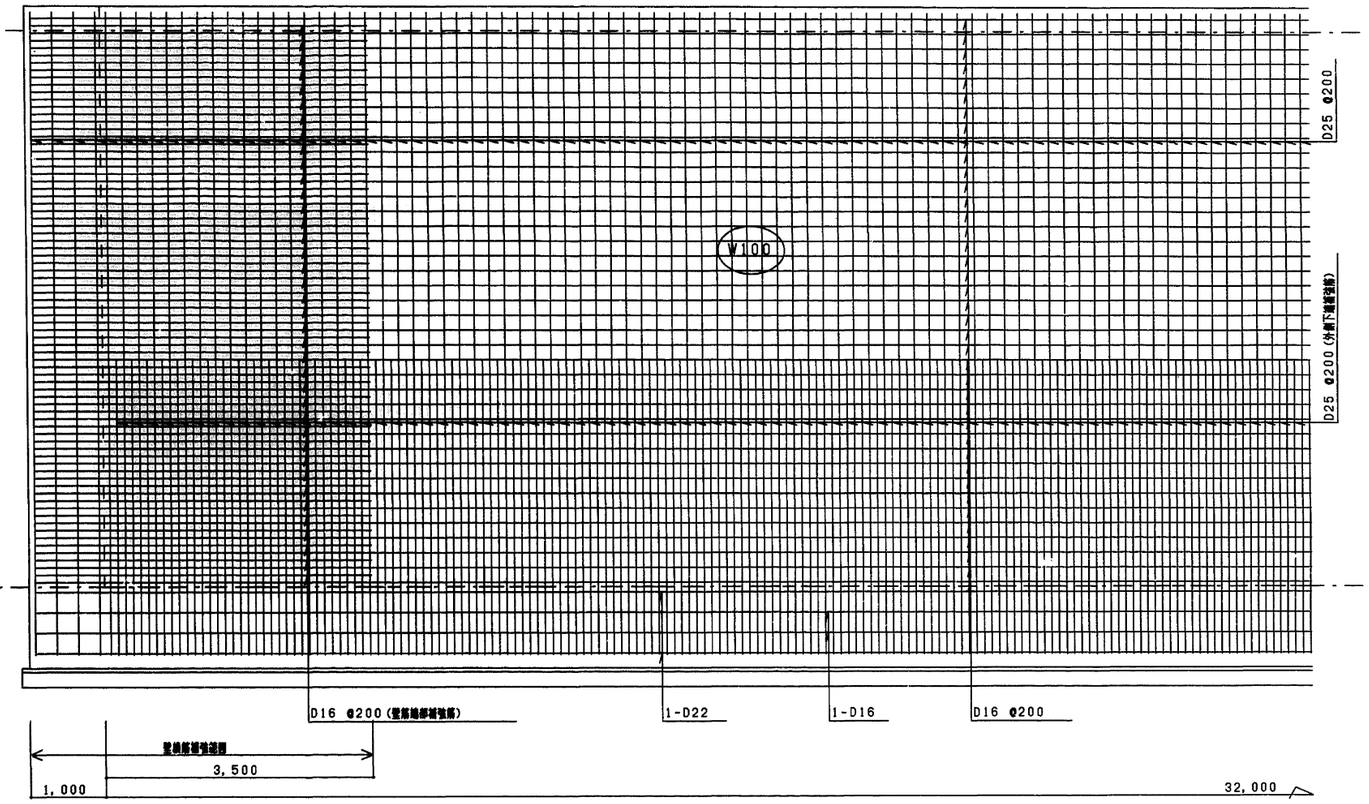


底版定着位置図 S=1/40

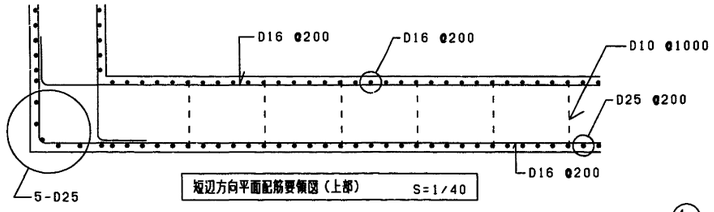
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	断面詳細図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-121/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



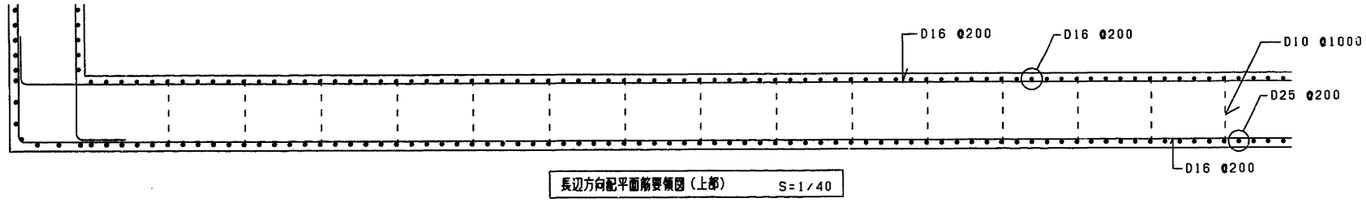
短辺方向（外側）配筋要領図　S=1/40



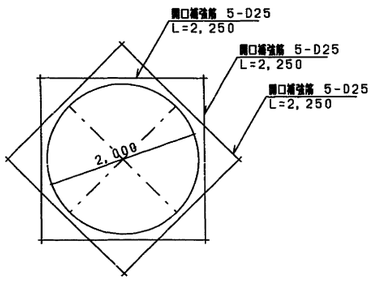
長辺方向配（外側）筋要領図　S=1/40



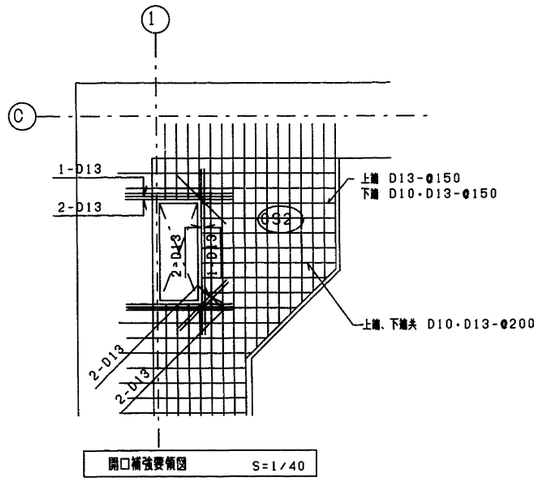
短辺方向平面配筋要領図（上部）　S=1/40



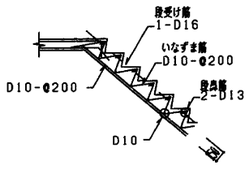
長辺方向配平面筋要領図（上部）　S=1/40



W100開口補強要領図

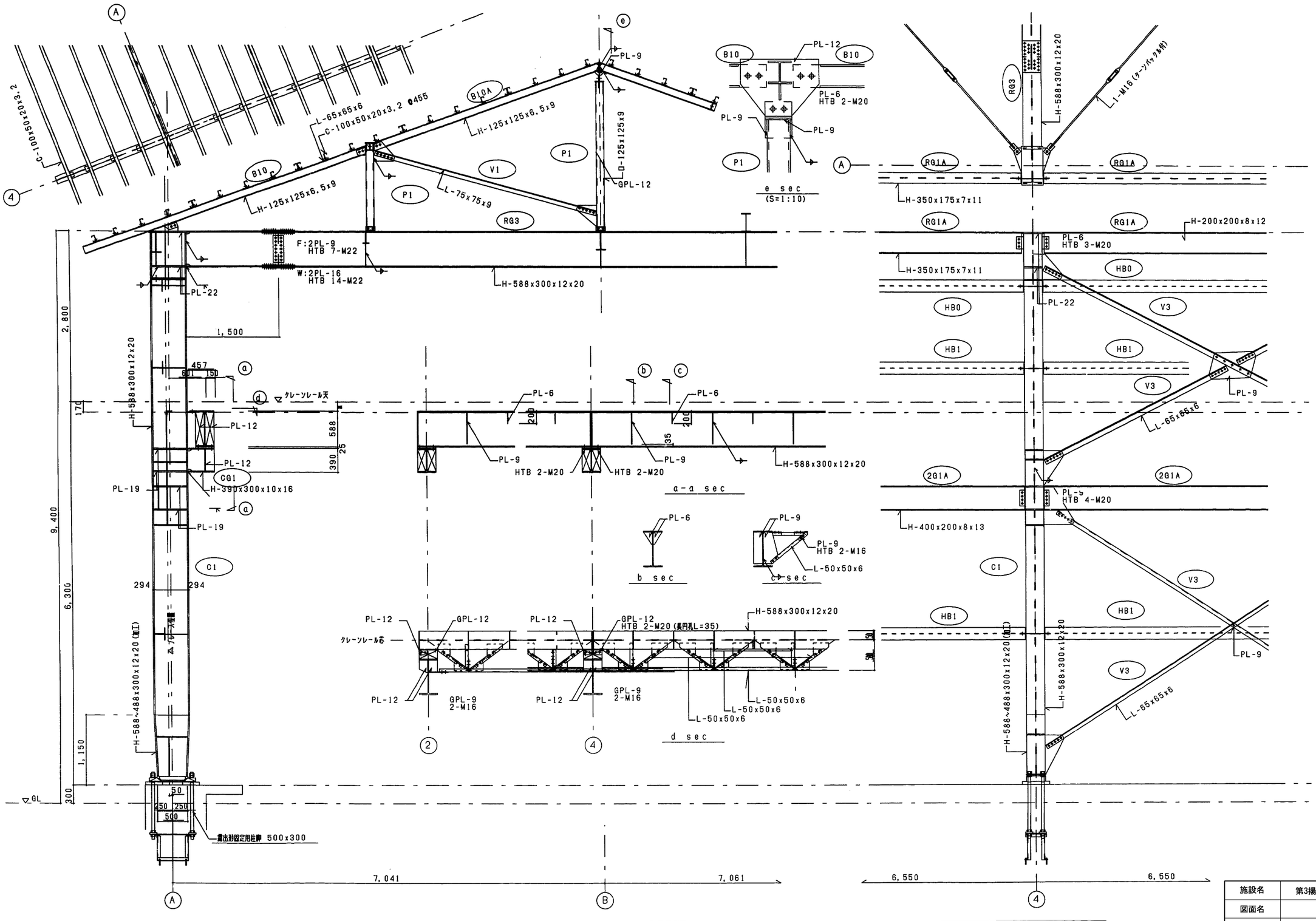


開口補強要領図　S=1/40



階段配筋要領図

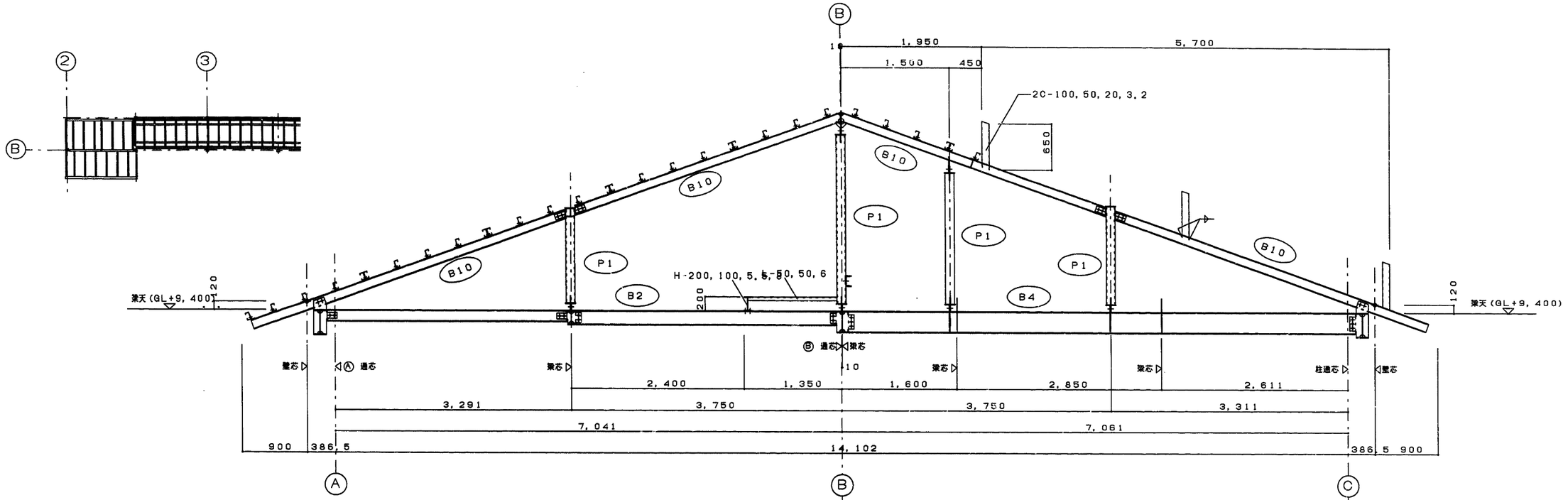
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	断面詳細図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-122/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

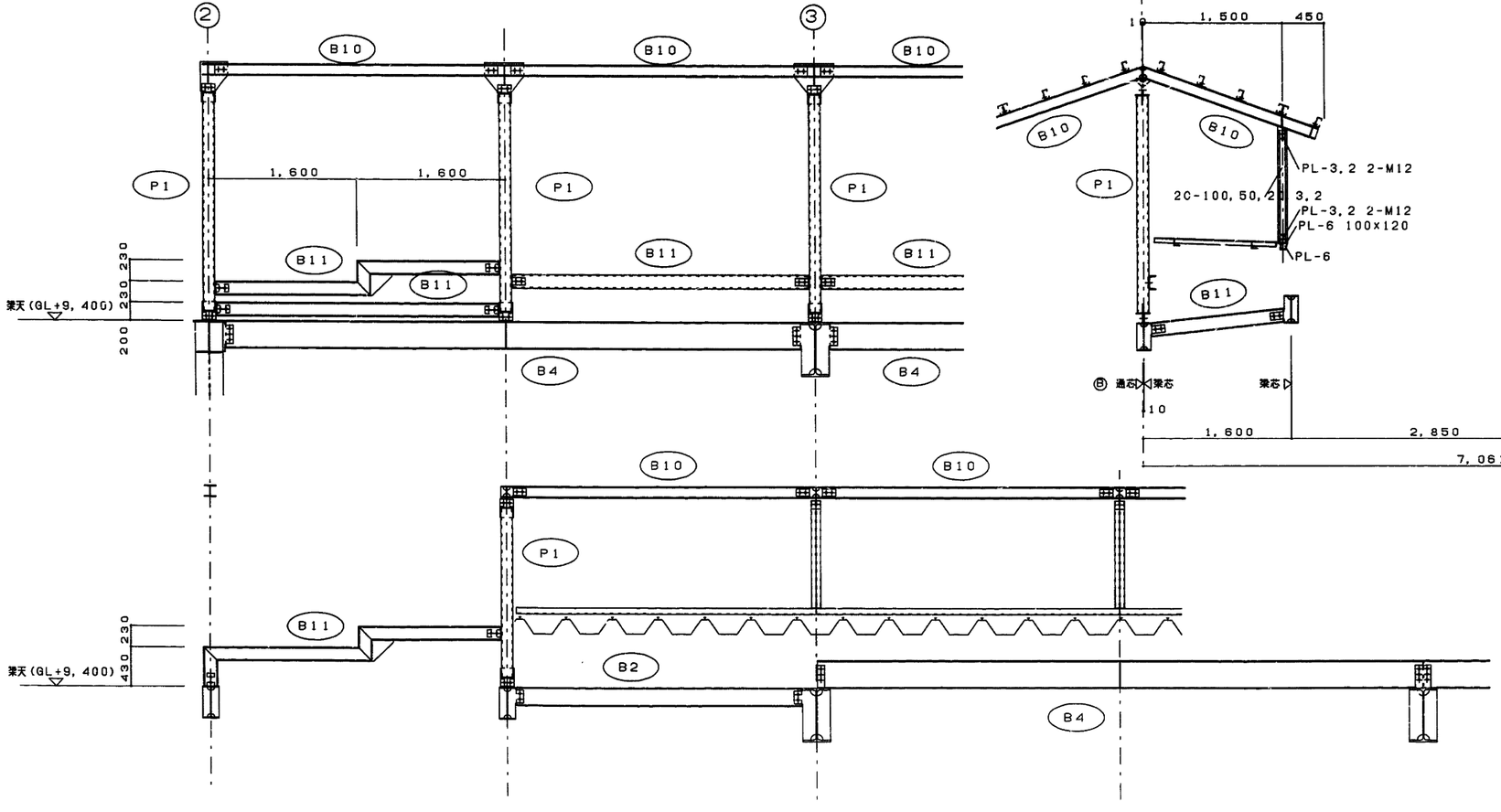


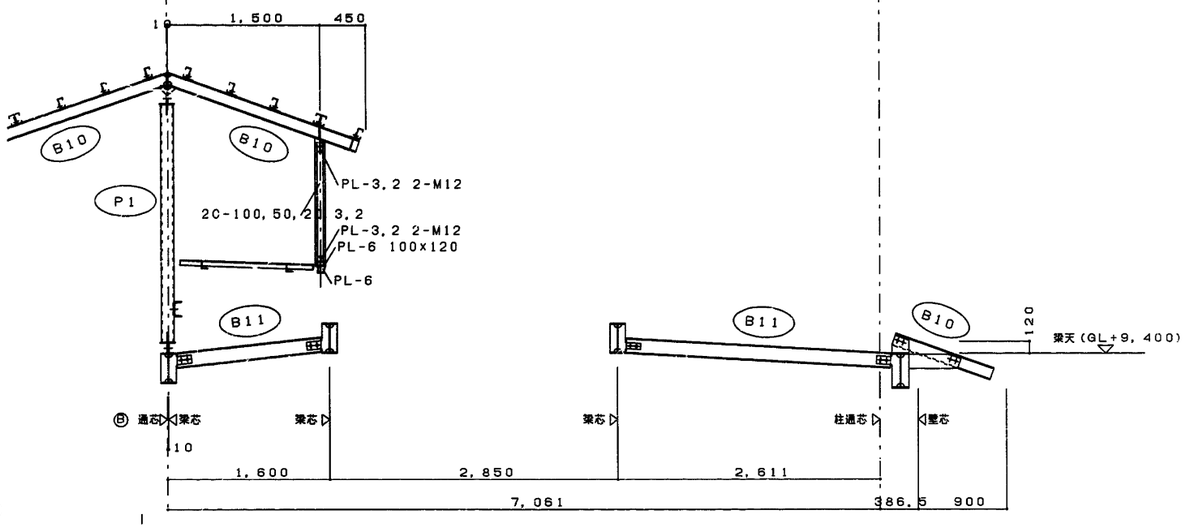
4通り架構詳細図 S=1/30

A通り架構詳細図 S=1/30

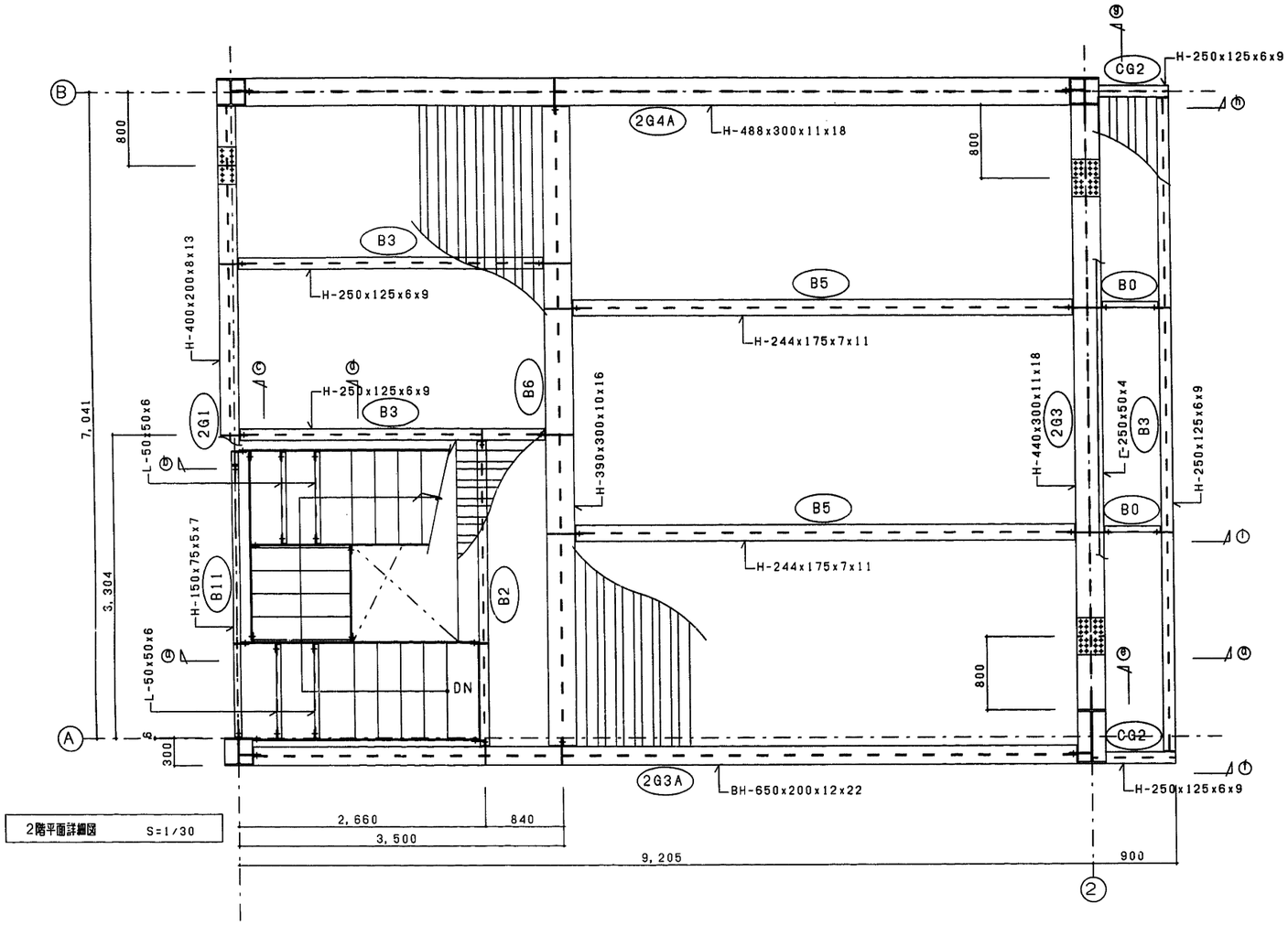
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄骨詳細図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-123/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

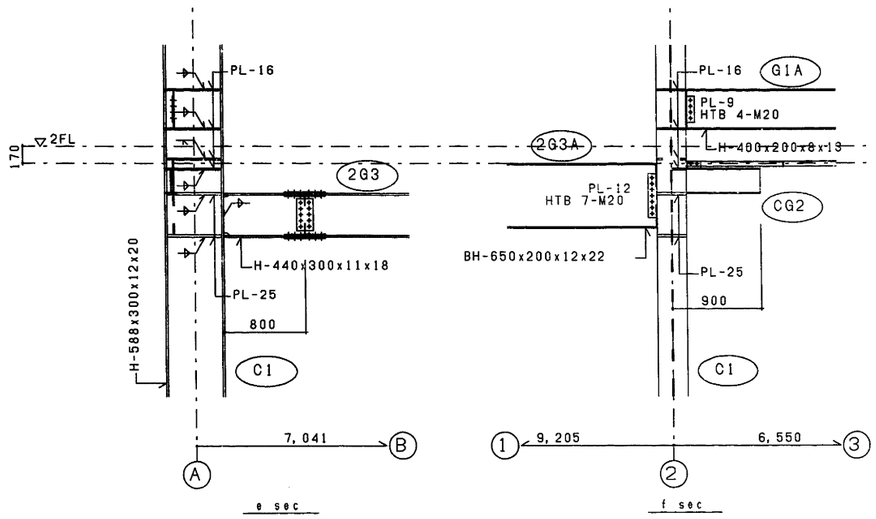


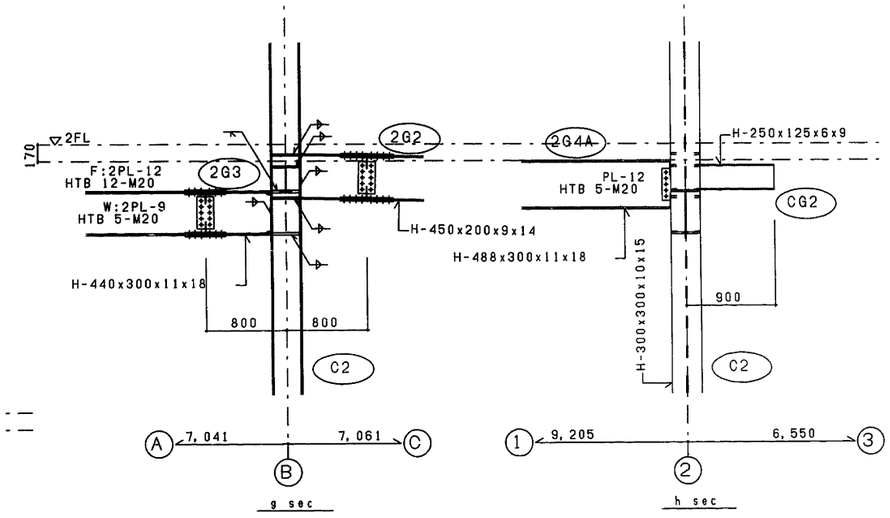


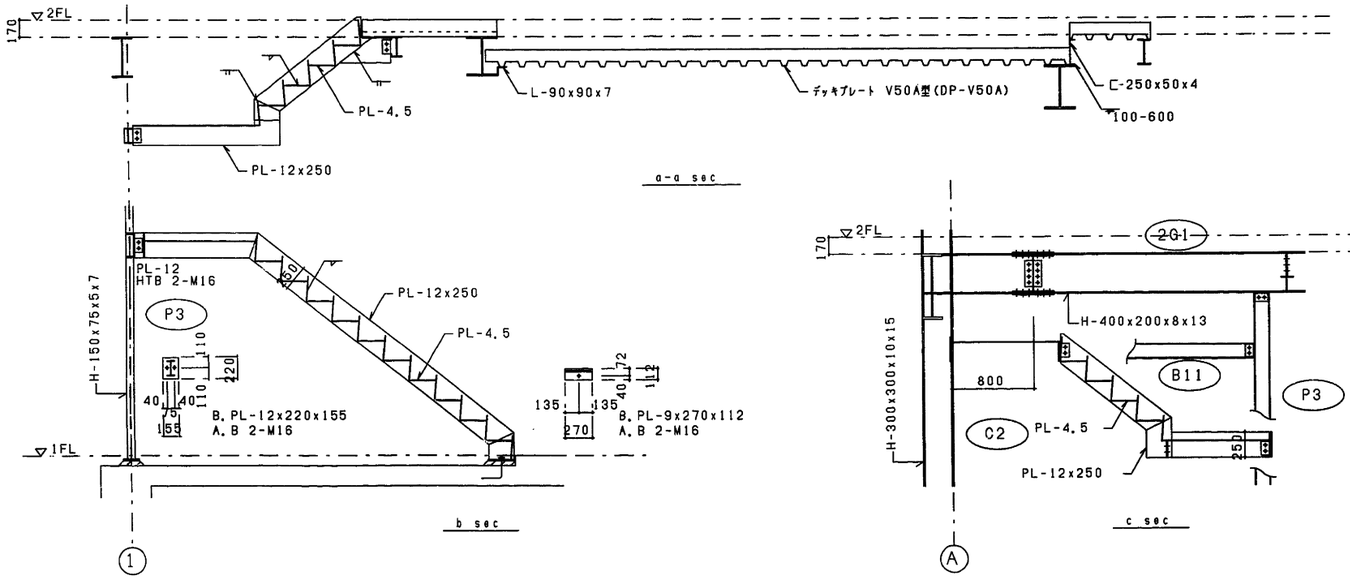


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄骨詳細図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-124/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

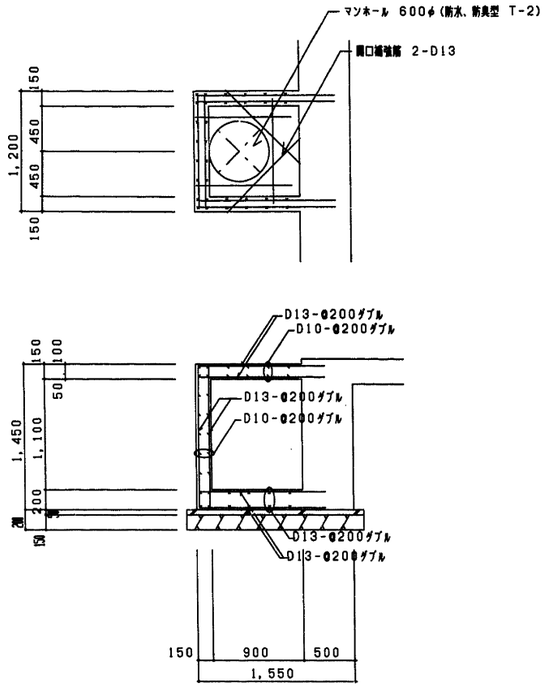




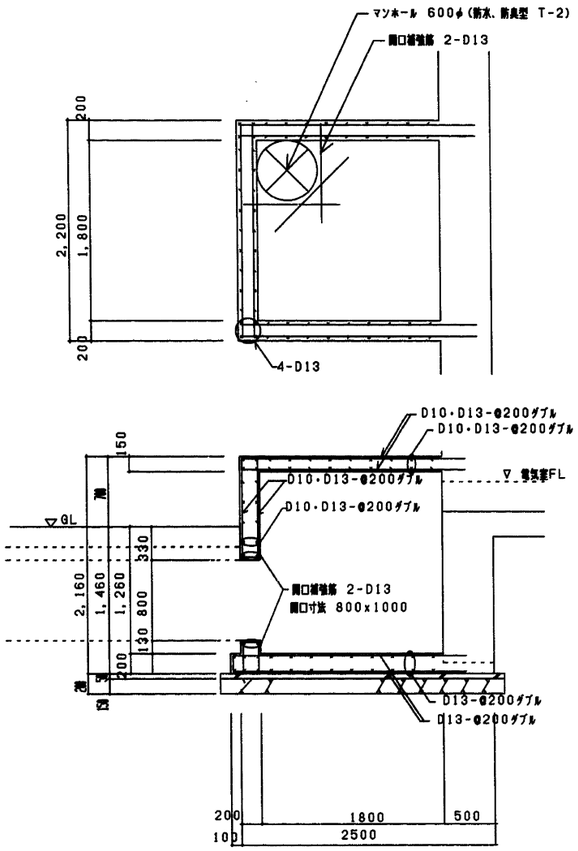




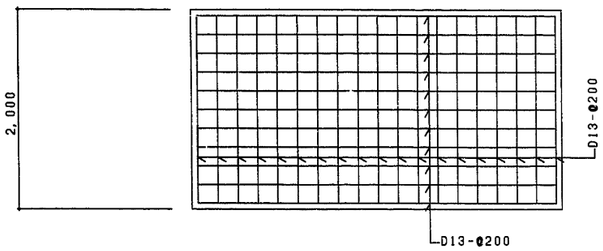
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄骨詳細図(3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-125/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

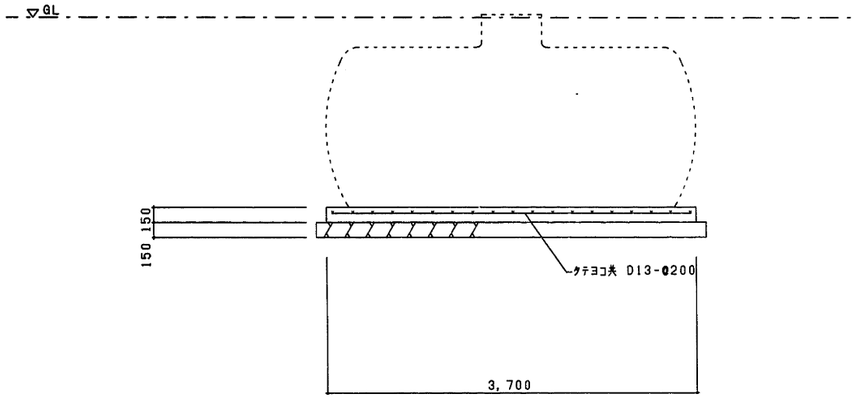


900角ハンドホール配筋要領図 S=1/30

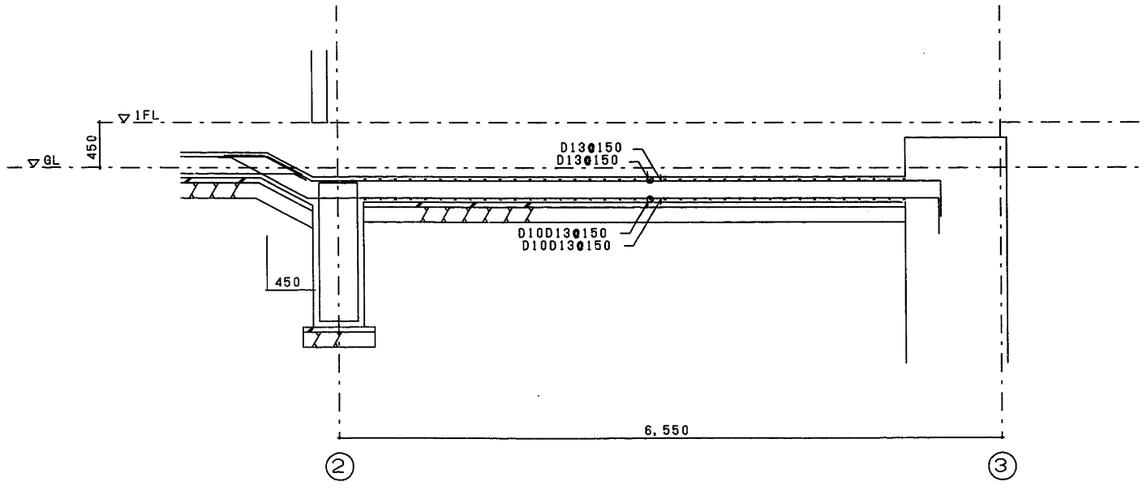


1800角ハンドホール配筋要領図 S=1/30





汚水ポンプ基礎配筋要領図 S=1/30



荷捌ヤード断面詳細図 S=1/30

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-126/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

国営両総土地改良事業
土地改良施設整理台帳付属図面

第３揚水機場
２分冊の２

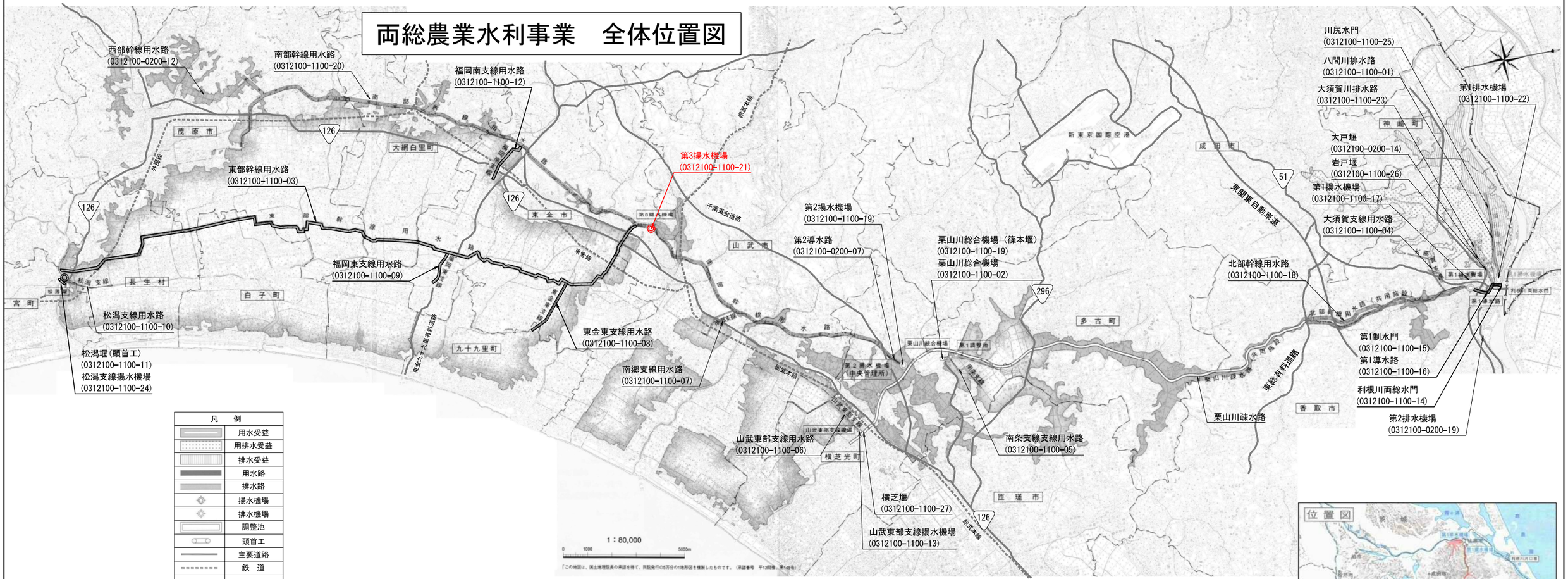
施設管理図
用地管理図

関東農政局両総農業水利事業所

土地改良施設整理台帳付属図面一覧表（2分冊の2）

番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	番号	施設名	図面番号	名称	備考
2-5	第3揚水機場	1	全体位置図	2-5	第3揚水機場	6	1階平面詳細図 (169/259)	2-5	第3揚水機場	6	横断図 (200/259～201/259)	2-5	第3揚水機場	6	配線布設図(吐水槽・幹線制御弁) (245/259～247/259)	
		2	管理用設備模式図			6	建具表．建具キープラン (170/259)			6	一般図 (202/259～204/259)			6	配線敷設図(吐水槽詳細図) (248/259)	
		3	水路路線図			6	雑詳細図 (171/259)			6	構造一般図 (205/259)			6	場内舗装整備図 (249/259)	
			【施設管理図】			6	構造設計標準仕様 (172/259)			6	配管図 (206/259～207/259)			6	場内張コンクリート整備図 (250/259)	
		6	特記仕様書 (127/259)			6	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図 (173/259～174/259)			6	銅製異形管詳細図 (208/259～214/259)			6	吐水槽　場内張コンクリート整備図 (251/259)	
		6	配置図 (128/259)			6	鉄骨構造基準図 (175/259～176/259)			6	歩廊部詳細図 (215/259)			6	管理用道路整備図 (252/259)	
		6	機器表 (129/259)			6	露出柱脚(認定)工法設計施工標準 (177/259～178/259)			6	配管保護詳細図 (216/259～219/259)			6	管理用道路整備工詳細図 (253/259)	
		6	給排水衛生設備 (130/259～134/259)			6	合成スラブ設計．施工標準 (179/259)			6	杭配置図 (220/259)			6	階段工・コンクリート舗装工図 (254/259)	
		6	換気設備．空調設備 (135/259～138/259)			6	ボーリング柱状図 (180/259)			6	杭詳細図 (221/259)			6	築木整備工図 (255/259)	
		6	特記仕様書 (139/259)			6	杭伏図．基礎伏図 (181/259)			6	余水吐管取付金具詳細図 (222/259)			6	建築工事平面詳細図 (256/259)	
		6	配置図 (140/259)			6	1階伏図．R階床伏図 (182/259)			6	圧送管．排泥弁室構造図 (223/259)			6	給排水衛生設備図 (257/259～258/259)	
		6	電灯．動力分電盤結線図 (141/259)			6	軸組図 (183/259)			6	送水管制水弁室構造図 (224/259)			6	弱電設備図 (259/259)	
		6	電灯設備図 (142/259～144/259)			6	基礎詳細図 (184/259)			6	送水管通気管構造図 (225/259)					
		6	照明器具姿図 (145/259)			6	地中梁リスト．雑詳細図 (185/259)			6	送水管通気管異形管加工図 (226/259)					
		6	コンセント設備図 (146/259～148/259)			6	鉄骨断面リスト．柱脚リスト．スラブリスト (186/259)			6	吐水槽手摺り配置図 (227/259)				【用地管理図】	
		6	弱電設備図 (149/259～150/259)			6	継手リスト (187/259)			6	吐水槽螺旋階段詳細図 (228/259～229/259)			4	図郭割図	
		6	自動火災報知設備系統図 (151/259)			6	鉄骨詳細図 (188/259)			6	吐水槽内部梯子詳細図 (230/259)			7	用地管理図 (1/4～4/4)	
		6	自動火災報知設備図 (152/259～154/259)			6	電気設備 特記仕様書 (189/259)			6	吐水槽手摺り．ピット梯子詳細図 (231/259)			8	用地管理図(現況平面図入り) (1/4～4/4)	
		6	設備配置図 (155/259)			6	電気設備 凡例．照明器具．盤 (190/259)			6	1･2階平面図 (232/259)			9	用地境界標識設置図 (1/4～4/4)	
		6	接地配線図 (156/259)			6	電気設備 平面図 動力．電灯コンセント設備 (191/259)			6	ポンプ室据付平面図 (233/259)			10	転写連続図 (1/4～4/4)	
		6	単線結線図 (157/259)			6	電気設備 平面図 火災報知．電話設備 (192/259)			6	据付断面図 (234/259～235/259)					
		6	特記仕様書 (158/259～162/259)			6	機械設備　特記仕様書 (193/259)			6	基礎図 (236/259)					
		6	配置図 (163/259)			6	機械設備　平面図．機器表 (194/259)			6	ピット兼穴開図 (237/259)					
		6	設計概要．外部仕上表 (164/259)			6	電線引き留め点プレート詳細図 (195/259)			6	電気室ピット兼穴開図 (238/259)					
		6	内部仕上表 (165/259)			6	外構工事平面．断面図 (196/259)			6	歩廊図 (239/259)					
		6	平面図 (166/259)			6	外構工事詳細図 (197/259)			6	点検歩廊図 (240/259)					
		6	立面図．断面図 (167/259)			6	張芝工詳細図 (198/259)			6	吸水槽エスクリーン詳細図 (241/259)					
		6	短計図 (168/259)			6	平面．縦断図 (199/259)			6	単線結線図 (242/259～244/259)					

両総農業水利事業　全体位置図

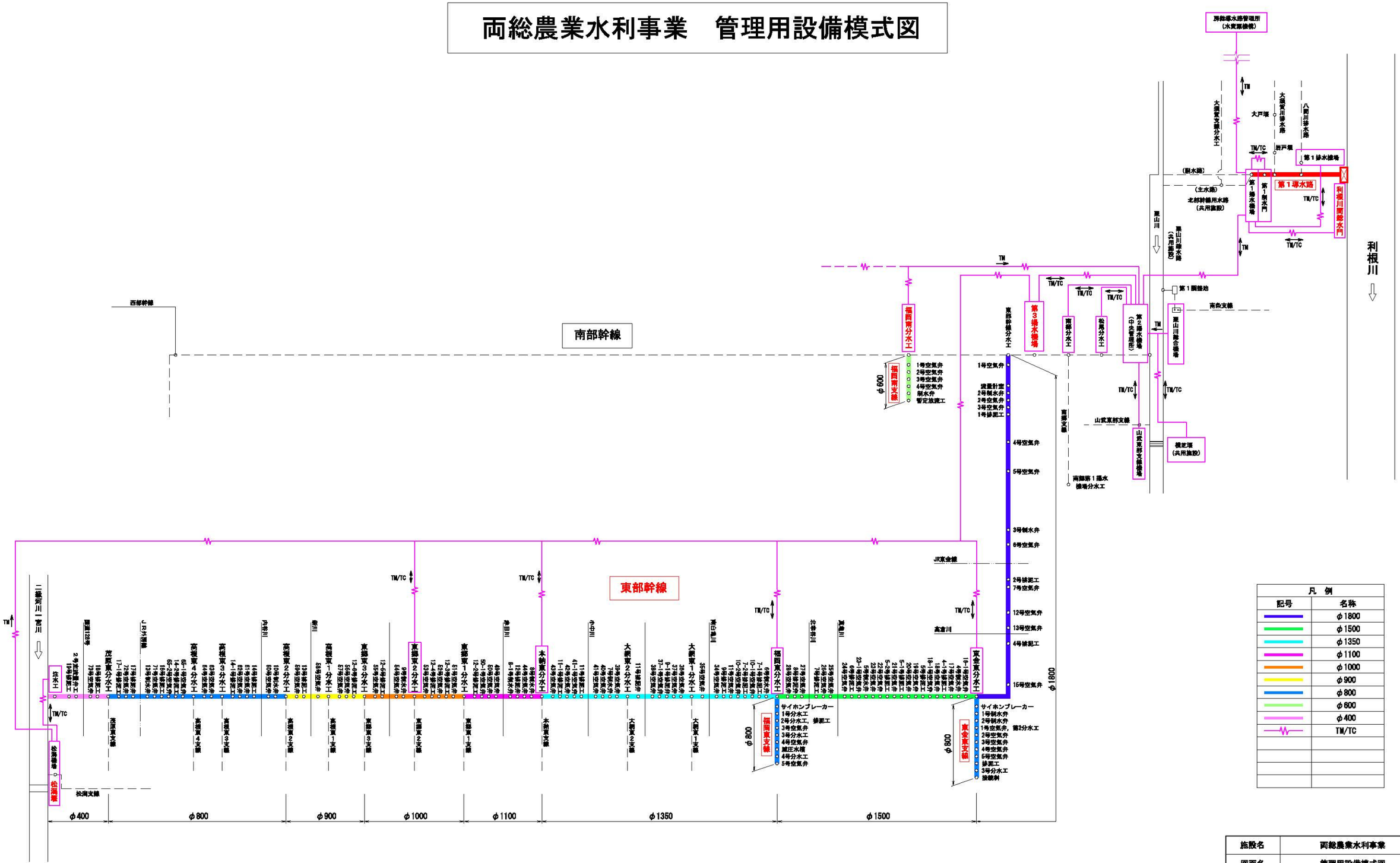


凡　例
用水受益
用排水受益
排水受益
用水路
排水路
揚水機場
排水機場
調整池
頭首工
主要道路
鉄　道



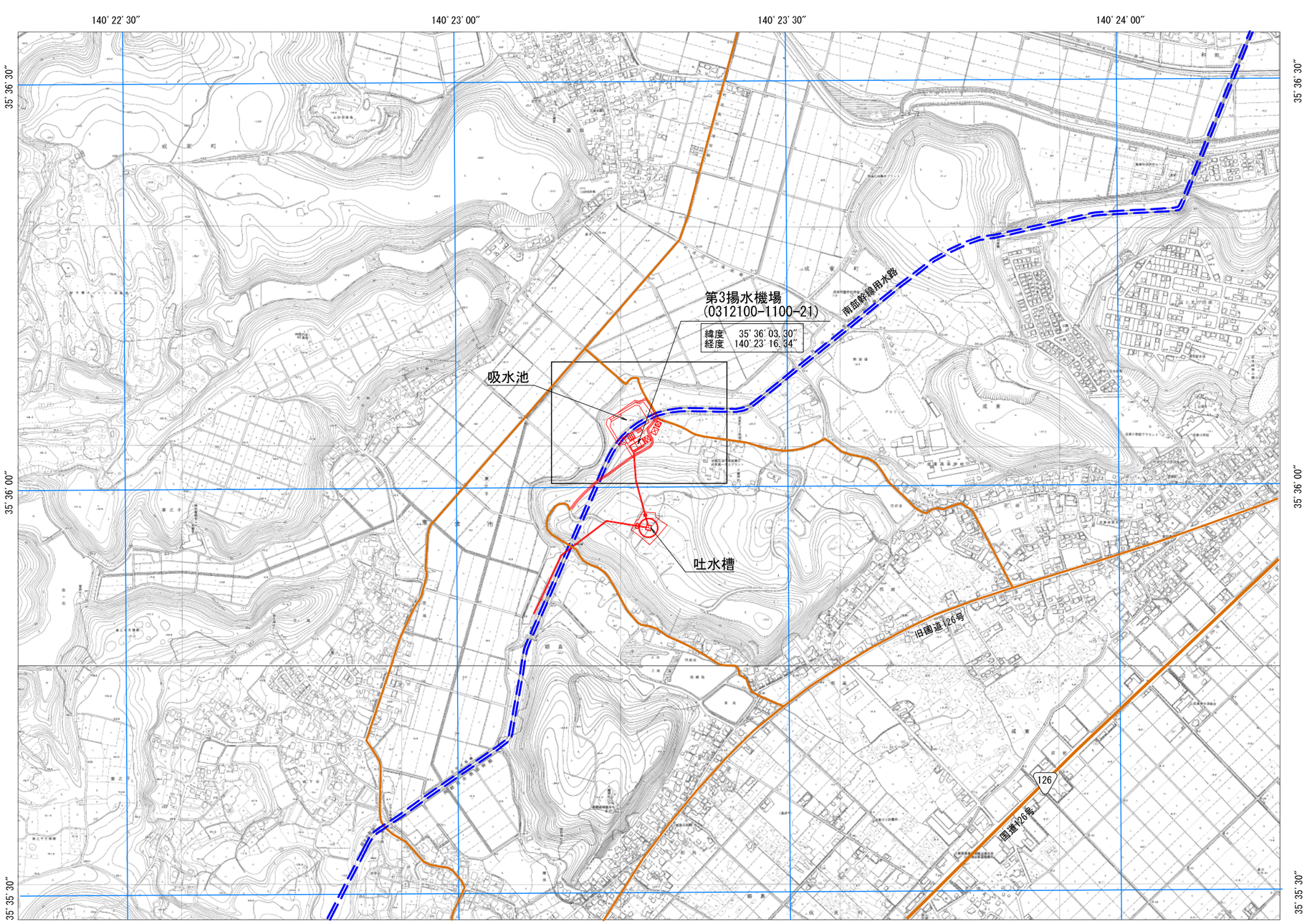
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	全体位置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1：80,000 A2 1:113,137	図面番号	1-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

両総農業水利事業　管理用設備模式図



凡　例	
記号	名称
	φ1800
	φ1500
	φ1350
	φ1100
	φ1000
	φ900
	φ800
	φ600
	φ400
	TM/TC

施設名	両総農業水利事業		
図面名	管理用設備模式図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	――	図面番号	2-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

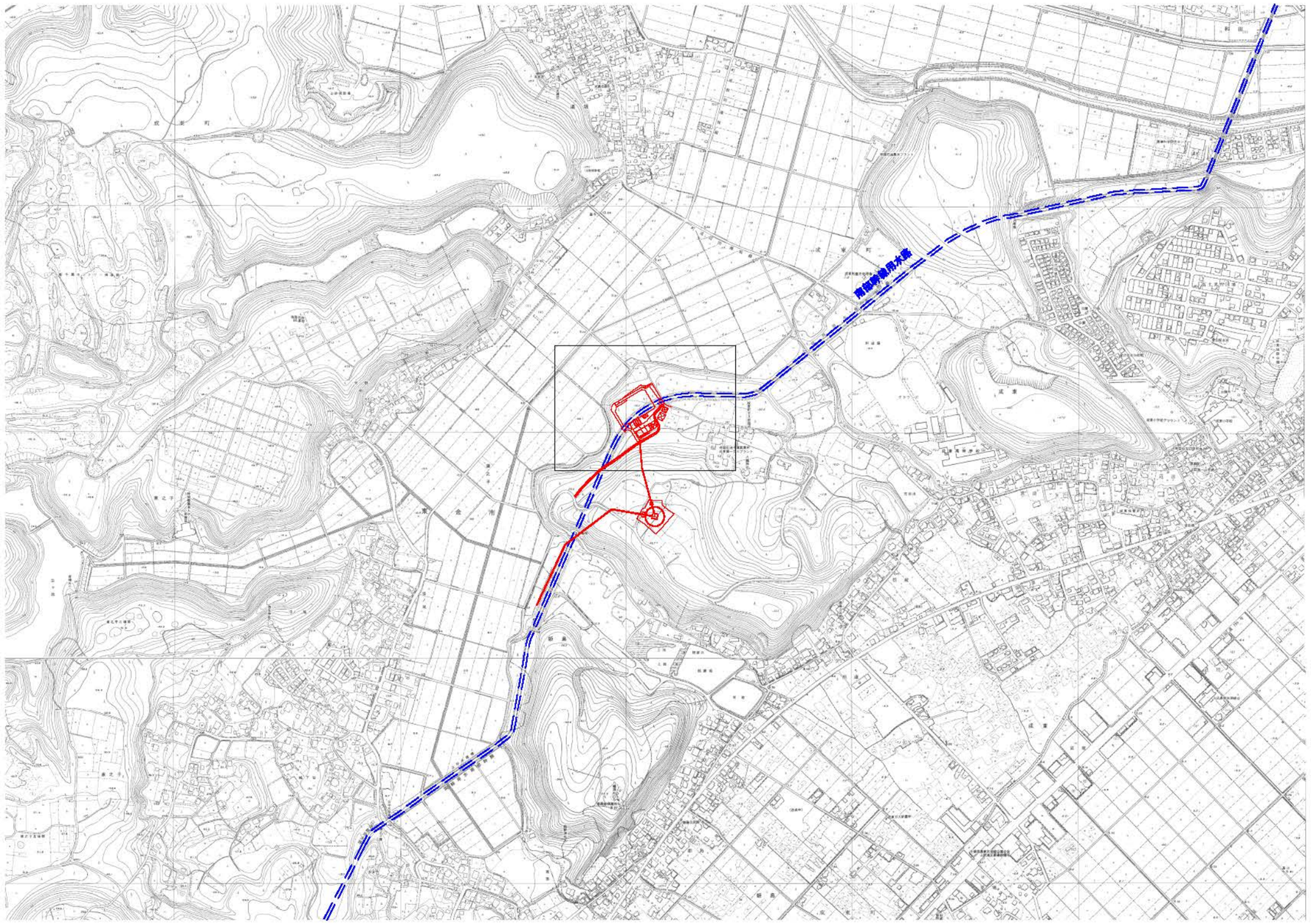


凡　例

管理施設名 （管理番号） 施設の位置 （緯度経度）	
記号	名称
	対象施設
	主要道路
	鉄道

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	水路路線図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:5,000 A2　1:7,070	図面番号	3-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

両総農業水利事業
第３揚水機場
図郭割図　縮尺 1:5,000



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	図郭割図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:5,000 A2 1:7,070	図面番号	4-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

工事設計図

平成　年　月(金　曜)

仕様書

1．工 事 概 要

1．工事箇所　千葉県山武郡成東町板尾地内ほか

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表該当	備考
第3揚水機場	RC造（一部S造）	塔上0階地下0階機械0階	725．15		新築　特定の機械

（複合中の特定の施設、一体の施設とは建設業法施行令の分類を示す。）

3．工 事 種 目（●印を付けたものを適用する）

建物種別と階外 / 工事種別	工事種別			
				屋 外
●空気調和設備	一式	一式	一式	一式
●換 気 設 備	一式	一式	一式	一式
○排 煙 設 備	一式	一式	一式	一式
○自動制御設備	一式	一式	一式	一式
●衛生器具設備	一式	一式	一式	一式
●給 水 設 備	一式	一式	一式	一式
●排 水 設 備	一式	一式	一式	一式
○給 湯 設 備	一式	一式	一式	一式
○消 火 設 備	一式	一式	一式	一式
○厨 房 設 備	一式	一式	一式	一式
○ガ ス 設 備	一式	一式	一式	一式
○排水処理設備	一式	一式	一式	一式
○				一式
○				
○				
○				

4．指定部分　○無　○有（　　工期：平成　年　月　日）

5．設備概要

2．工 事 仕 様

1．共 通 仕 様

（1）建築及び特記仕様に記明されていない事項は、全て1）による。
ただし、2）による場合は、1）によるものと見做とみなす。

1）「国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成15年3月）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成15年3月）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公益建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成15年3月）」（以下、「標準図」という。）

2）「国土交通省大臣官房官庁営繕部の「機械設備工事共通仕様書（平成13年度版）」、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成15年3月）対応追補」、「機械設備改修工事共通仕様書（平成13年度版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械工事編）（平成15年度版）対応追補」及び「機械設備工事標準図（平成13年版）」、「公共建築設備工事標準図（平成15年3月）対応追補」
注：（社）公共建築協会のホームページ「http：//www.pba.or.jp」を参照。

（2）電気設備工事及び通信工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び通信工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、電気設備工事の工事仕様は、（　／　）版、通信工事の工事仕様は（　／　）版による。

2．特 記 仕 様

本、節、特記事項共に●印のついたものを適用し、○印のものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
●一般共通事項	● 機材等	（1）本工事に使用する機器材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 （2）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、題材等を満たすものとする。 （3）給水装置及び給湯設備に使用する機材は、厚生労働省令　第138号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」（平成14年10月29日）に適合する機材を使用すること。 （4）化学物質を発散する建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する物とし、次の　1）から　4）までを満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、繊維板/パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質基材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及びこれらの建築材料等を使用して作られた家具、畳床、断熱材、その他の付属等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない建築用性の等級用を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを発散しないもつとは、ＪＩＳおよびＪＡＳのＦ☆☆☆☆表示記号材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは、ＪＩＳおよびＪＡＳのＦ☆☆☆表示基準材料又は同等品をいい、原則としてＦ☆☆☆表示基準材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、Ｆ☆☆☆表示基準材料又は同等品を使用するものとする。
	● 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。 測定はパッシブ型簡易測定により行う。 測定対象室　・居室　・操作室兼事務室、休憩室 測定箇所数　・階ごと
	● 機材の品質・性能証明	該当機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部団体（（社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。

	● 主任技術者等	下記資格を所有する資料を監督職員に提出する。 ○ 資格の区分1） （イ）建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）技術士法（昭和58年法律第25号）による第二次試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「熱油脂及び水蒸機械」とするものに限る。）、水道部門又は衛生工学部門に合格した者 ○ 資格の区分2） （イ）技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）資格の区分1）の資格を有する者
	○ 地気候変動特性	適用　（○ する　○ しない）
	○ 技術士の適用	○ 設備計画（設備工事）　○ 建築物全般工（ダクト設計および取付け） ○ 熱源機器工（製造工事）　○ 冷凍空気調和機器工（冷凍空調機器の据付）
	● 監督員事前説明	○ 設けない　　○ 設ける
	● 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力、水及び暖房燃などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	● 工事用建設物	現地につくることが　○ できる　○ できない
	● 足場・さん橋類	○ 建築物の躯体調査者が支度したものは原則で使用できる。 ○ 大工等で製造とする。 ○ 建築工事仕様書第1編2．2．1による他が下記による。 ○ 内部建築足場等（○　塩　○　他） ○ 外部建築足場等（○　塩　○　他）
	● 建築廃生土の処理	○ 現内容をならしとする。 ○ ○
	○ 盛り囲い土・盛土	○ 現場引土の中の良質土（ただし、コンクリート管・ステンレス管・樹脂管以外の管の場合は山砂用） ○ 山砂の使
	● 工事管理	建築大臣官房官営庁営繕部作成「工事写真の撮り方（改訂第2版）建築編機械」による他か、監督職員の指示による。
	○ 現内容	現場等の取り扱い方及び建築仕様書機械設備編を参いたアクリル樹脂製の現内容を機械室に設ける。現内容の大きさは、約　m とする。
	○ 現材の承認書	国土交通省官房官庁営繕部作成機械設備官営管理者の官材認証工事現材承認書様式集（平成15年版）によるほか、監督職員の指示による。
	● 総合調整	○ 本工事（建築機械設備下部のものとする。） ○ 建築調整　○ 水道調整　○ 現内外空気の環境度の測定　○ 騒音の測定 ○ 制御とする。
	● 電源周波数	○ 50Hz　○ 60Hz
	● 容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機能力、燃料消費量、圧力損失は、数値として表示された数値以下とする。
	● 基礎基盤	機器類の基礎等は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針１９９７年版」により行う。ただし、設計用地盤力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度Ｋ及び設計用鉛直震度Ｋｖ（Ｋｈ／２）を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度 （表：設置場所 / 耐震安全性の分類 / 特定の施設 / 一般の施設 / 重要機器 / 一般機器） 上層階 屋上及び階直：2．0 / 1．5 / 1．5 / 1．0 （2．0） / （2．0） / （2．0） / （1．5） 〈2．0〉 / 〈1．5〉 / 〈1．5〉 / 1．0 中間階：1．5 / 1．0 / 1．0 / 0．6 （1．5） / （1．0） / （1．0） / （1．0） 〈1．5〉 / 〈1．0〉 / 〈1．0〉 / 〈0．6〉 1階及び地下階：1．0 / 0．6 / 0．6 / 0．4 （1．0） / （1．0） / （1．0） / （0．6） 〈1．5〉 / 〈1．0〉 / 〈1．0〉 / 〈0．6〉 （注）（　）内の数値は耐震支持の個数の場合に適用する。 〈　〉内の数値は水道用に適用する。 ※上層階とは2～5階立の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階の場合は上層3階、13階階以上の場合は上層4階）
		中間階とは地下階、1階を除く各層で上層列に該当しないもの　（平屋建の場合は原し） 屋階機器はその他の全ます。 ○ 給水装置　○ 排水装置　○ 消火機器　○ 空調機器　○ 他多機器 ○ 給湯設備　○ 衛生機材設備　○ 自動制御設備 ○ 火を使用する設備　○ 屋階機器上に装置する機器　○
	○ 配管	埋設部の非被覆材質　○ 要（　　）
	○ 絶縁フランジ	取付け箇所は指示による。
	● 地中埋設標等	（1）地中埋設標　○ 要（指示の箇所）　○ 不要 （2）埋設ポリ用テープ　● 要（排水管を除く）○ 不要
	● 保温	○ 屋外露出部（○給水管　○消火管　○排油管　○ドレン管 ○　　○　　弁類を含む）は防凍保温を行う。 その仕様は標準仕様書第2編3．1．4及び3．1．5とする。尚とは配管の呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。 ○ 共用部、床下ピットの保温は標準仕様書第2編の施工箇所（　　）を適用する。 ○ 多機種材は下記の場所とする。（天井内共多層箇所とする。ただしユニット内は含まない。） （○ 浴室　○ 調炊室　○　　○　　） ● 屋内露出（○ 実験室 ○　　）の保温外装は（● アルミガラスクロス　● 綿布　　）とする。
	● 塗装	下記の金属地物管は塗装を行なう。 ● 屋外露出　○（　　）の屋内露出 下記の保温を施さない屋線めっきを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ○ 機械室　● 倉庫　○ 電気室　○ 自家発室　○ EV機械室　○
	○ はつり	当ぼコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、ダイヤモンドカッターを用いる。
	● 電線管	電線及びケーブルの接続は標準仕様書第4編2．4．1節4．2．12による。
	● 天井仕上区分	（　）書きの室名は当天井を示し、その他は二重天井を示す。

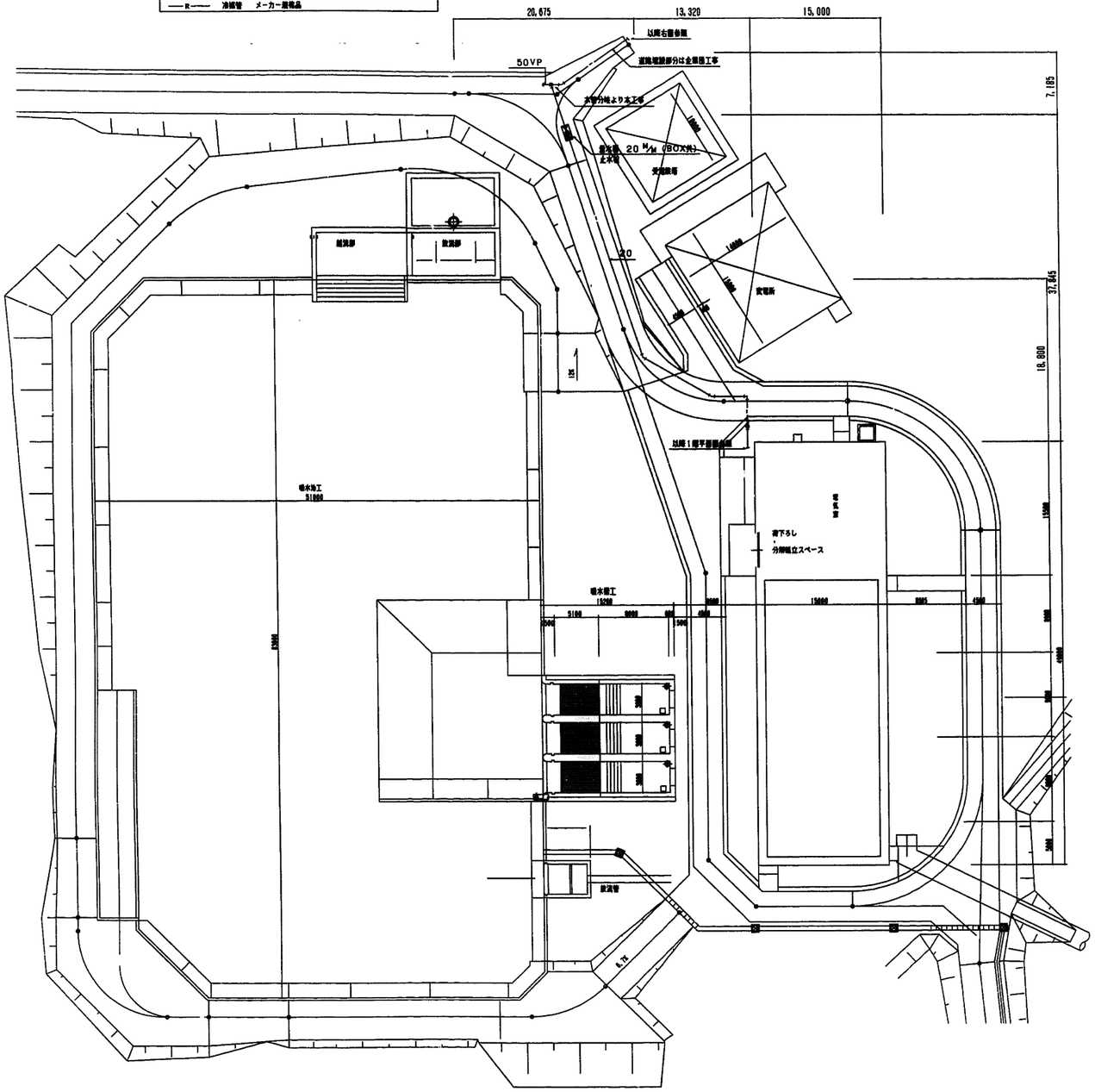
	○ 吊り及び支持金物	（○ 鋼内　○　　）の吊り金物・支持金物材はステンレス鋼製（SUS304）とする。
	● 施 工 箇 所	○下記による他か、設備標準仕様書第1編1．5．1及び1．5．2による。 （吊り間隔） 屋階機器　○ 屋階機器　○　階床　○ 屋階方法　○　階床　○
●機械設備試験調整	● 試　　験	（1）各設備等の試験は、原則設備に適用する。 （2）試験記管は、設備設管との試験時に試験を行う。
	● 設計用温湿度	（表：　/ 外気：温度（DB） / 湿度（RH） / 室内 一般系統：温度（DB） / 湿度（RH） / 室内：温度（DB） / 湿度（RH） / 室内：温度（DB） / 湿度（RH） 夏期：30．6℃ / 73．8% / 26 ℃ / 50 % / ℃ / % / ℃ / % 冬期：2．4℃ / 42．7% / 22 ℃ / 40 % / ℃ / % / ℃ / %
	○ 盛	仲間間手、排熱口及び点いしん器開電口の位置は指示による。
	○ ダクト	○ 低圧ダクト（○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1，500mm以下の部分）　○ アングル・フランジ工法）とする。 ○ 高圧1ダクト（適用機器は指示による。）とする。
	○ 風量測定口	取付け箇所は指示による。
	○ チャンバー	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機、送風機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風基系で箱合内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは指示による。 （3）ガラリに直接取り付けるチャンバー部は雨水の浸侵のないように施工する。
	○ ダンパー	（1）防煙ダンパー　自動方式（○ 温調　○　　） 定格入力はDC24V、0．7A以下とする。 （2）ピストンダンパー　自動方式（○ 温調　○　　）
	● 記管材料	（1）冷媒配管　● メーカー選定品 （2）冷却水管　○ （3）油　管　○ （4）蒸 気 管　給気管　○ 還　管　○ （5）排管管，空気抜管管　● 硬質塩化ビニル管（VP） ドレン管及び排管タンク よりボイラ等への補給ポ2
	○ 弁類	ＪＩＳ及はＪＶ　（○ 5K　　○ 10K（指示部分）） ○ 排管等仲絡管材ポの箇所は指示による。 ○ ステンレス記管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	○ 温度計	取付け箇所は指示による。
	○ 圧力計	取付け箇所は指示による。
	○ 弁開閉器	コック付とし、取付け箇所は指示による。
	○ 冷却塔関連	計測器には（○ 給水ポンプ制御　○ 発泡管理　○ 薬品管理　○ 電部外制御　○ 屋地ポンプ制御　○ 冷却塔制御 ○　　）の端子を設ける。なおフロートスイッチ部と制御盤間の配管記線は関連省の標準仕様とする。
	● 保温及び塗装内貼り	○ 屋内ダクトの保温（厚さ25mm）箇所は（○　　○　　） ○ 外気ダクトの保温（厚さ25mm）箇所は（○　　○　　） ○ 排排タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3．1．4の断熱管の項による。 ○ 屋内の空気調和機器の保温は、標準仕様書第2編3．1．4の断熱管の項による。 ○ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3．1．5の排水管の項による。 ● 冷却塔の外装の塗装は（○ 標示による　● ステンレス製（屋外露出）
	○ ダクト	● 低圧ダクト（○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）　● アングルフランジ工法）とする。 ○ 高圧1ダクト（適用機器は指示による。） ○ 長形系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
	○ 風量測定口	取付け箇所は指示による。
	● ダンパー	空気調和機器の指示による。
	○ 排気ダクトのシール	溶接（シャワー室、厨炊室を含む）系統
	● チャンバー	空気調和機材の指示による。
	○ 保温	○ 全熱交換ユニット用ダクト（保温の厚さ25mm、他は指示による） （○ 屋階　○ 屋階機　　）用の露ベり部ダクト（仕様はh・(イ)・(ロ)とし、他は指示による。
●衛生器具設備	○ ダクト	○ 現場製図　○
	○ 排管口の形式	○ 指示による
	○ 排管口手動開閉装置（開閉及び操作方式）	○ ワイヤー式　○ 電気式（遠隔操作　○ 不要　○ 要）
	○ 排管品質測定	建築機能測定等検査業務機関等（日本建築設備安全センター）の排管品質の検査方法に準ずる。
○衛生器具設備	○ 指示その他	指示による。
	○ 電気計装工事の配線	使用する電線類はEM電線とし、線種は標準仕様書第4編4．2．12の使用する電線類の規格による。（接続、接種は除く） 屋外・屋内露出の電線は、原則に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、原則に特記のない限りケーブル配線とする。
●衛生器具設備	● 衛生器具付属水栓	本数栓を使用する場合、本栓は指定に従とする。
	○ 給湯大便器洗浄弁カバー	○ 設ける（ピット内は除く）　○設けない
	● 洗面器	手洗器は止水栓付とする。
	● 標記板	●取付箇所　（●大便器　○小便器）　材　質（● 塩ビ製　）

●給水設備	○ 小便器自動洗浄装置	小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4Ｌ／回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。
	○ 再生器具ユニット	ユニットの記管材料は、再生器具ユニットの仕様による。
	● 記管材料	（1）給水引込管（屋階部分）水道事業者の指定による（ ○　　）
		（2）給中間記管　● 硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）
		（3）その他の一般記管　● 硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）
	● 水栓	●合所流し用の水栓は混成とする。 ○水抜栓を使用する場合、おいは指定に従とする。 （ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。）
	● 量水器	●積メーター（● 発寄　品 ○　　） ○ テレメータ　－（○ 買い取り ○　　）
	● 量水器例	○水道事業者指定品（○ 発寄　品 ○ 買い取り）　● 標準MC形 量水器例及び弁外のコンクリート部は工器例品としてもよい。
	○ 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ ○ 水道協協部分）（ ○10K ○　　） ○ その他の部分）（ ○ 5K ○　　）
		○ 逆止弁の記管構成式はライニング不要とする。
		○ ステンレス記管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	○ 水栓柱	○ 合成樹脂例　○ アルミニウム合金製　○ 人造石と切出し製　○ ステンレス製
	● 管の埋設深さ	管の上端より原則として、一般地域は（ 30 cm）物件箇所は（ 75cm）以上とする。
	● 建物導入部記管	標準図（建築物導入部の変位吸収記管図）の ● （a） ○ （b） ○ （c） による。
	● 引込給付金等	● 要（● 関連工事　○ 本工事）　○ 不要
●排水設備	● 記管材料	（1）屋　内　汚　水　管　● 硬質塩化ビニル管（VP） 雑 排 水 管　● 硬質塩化ビニル管（VP） 通　気　管　● 硬質塩化ビニル管（VP）
		（2）屋　外　汚一例まで　○ 例　同　● 硬質塩化ビニル管（VP）
	● 汚排管等の排水管	汚排管に直結する排水管は、臭気トラップより1サイズアップとする。 合所流し等の床上部分の記管は、硬質塩化ビニル管（VP）でもよい。
	○ 掃水試験栓	管系の適所に設ける。
	○ インバート例 ため例	例のコンクリート部は工器例品としてもよい。
	○ 弁類給付金等	○要（○関連工事　○本工事）○不要
○雑排水設備	○ 記管材料	○ ＪＩＳ又はＪＶ　（ ○ 5K　　○ 10K　（指示部分））
	○ 弁類	○ ステンレス記管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
○消火設備	○ 記管材料	（1）屋内消火栓　一般 ○ 地中 ○
		（2）連結送水管　一般 ○ 地中 ○
		（3）　○
	○ 保温	屋外露出記管は標準仕様書第2編3．1．5．e．・(ハ)・Vによる保温を行う。 ただし、防凍保温は共通事項による。
	○ 建物導入部記管	標準図（建築物導入部の変位吸収記管図）○ （a） ○ （b） ○ （c） による。
○昇降設備	○ システム	○ ドライシステム　○　　○
	○ 屋階機器類	指示による。
	○ 機器の接続等	指示による。
○ガス設備	○ ガス種別	○ 都 市 ガ ス　（供給者名：　　発熱量　　MJ/m³）
	○ 記管材料	○ 液化石油ガス 都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 液化石油ガス　（1）一般 （2）地中
	○ 充 て ん 容 器	屋地（050ｋｇ　○　　○　　）× 本
	○ 集 合 装 置	標準図（液化石油ガス容器集り記管室図）による　本組
	○ 転 倒 防 止 等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○（a）　○（b））による。
	○ メ ー タ ー	○ 量メーター（○発寄品　○　　）子メーター（○ 買い取り　　）
	○ ガス漏れ警報器	○ 本工事（指示による）　○関連工事　　）
	○ 集排気装置	○ 要　○ 不要
	○ 電 気 防 食	○ 要　○ 不要
	○ 引込負担金等	○ 要（○ 関連工事　○ 本工事）　○ 不要
○浄水処理設備	○ 凍動方式	○雨水利用　○排水再利用　○屋階単体　○浄化槽
	○ 仕様等	指示による。

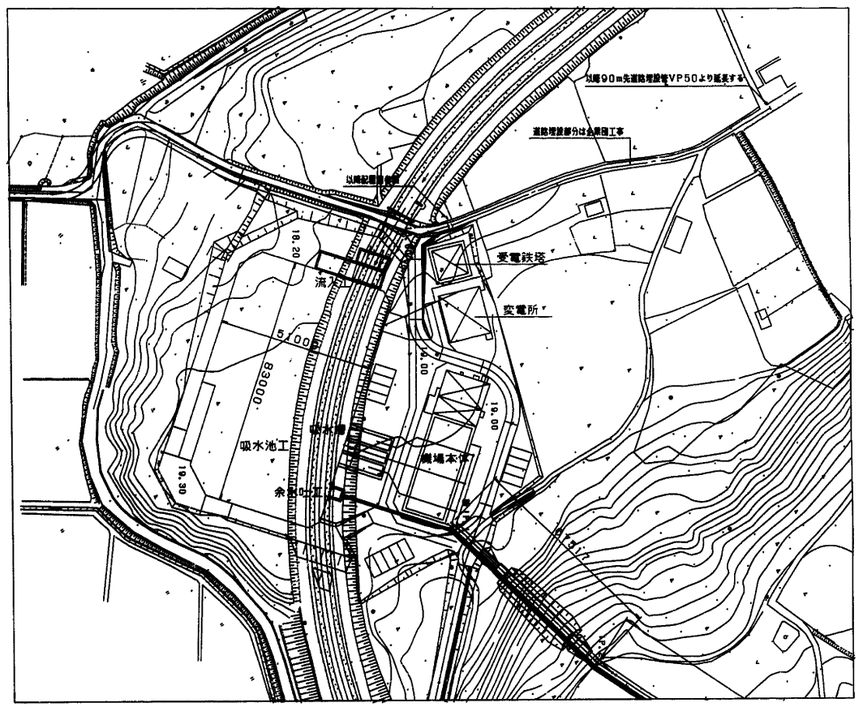
施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	特記仕様書
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-127/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

凡　例

———	給水管	屋外埋設・土中硬質塩化ビニールライニング鋼管（VD） 屋内（土中以外）硬質塩化ビニールライニング鋼管（VB）
———	排水管	排水用硬質塩化ビニール管
- - - - -	通気管	排水用硬質塩化ビニール管
——D——	ドレン管	排水用硬質塩化ビニール管
——R——	冷媒管	メーカー指定品



配置図　S＝1／300



全体配置図　S＝1／1000

注）　1．構内道路給水管埋設深さは、0．75mとする

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-128/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

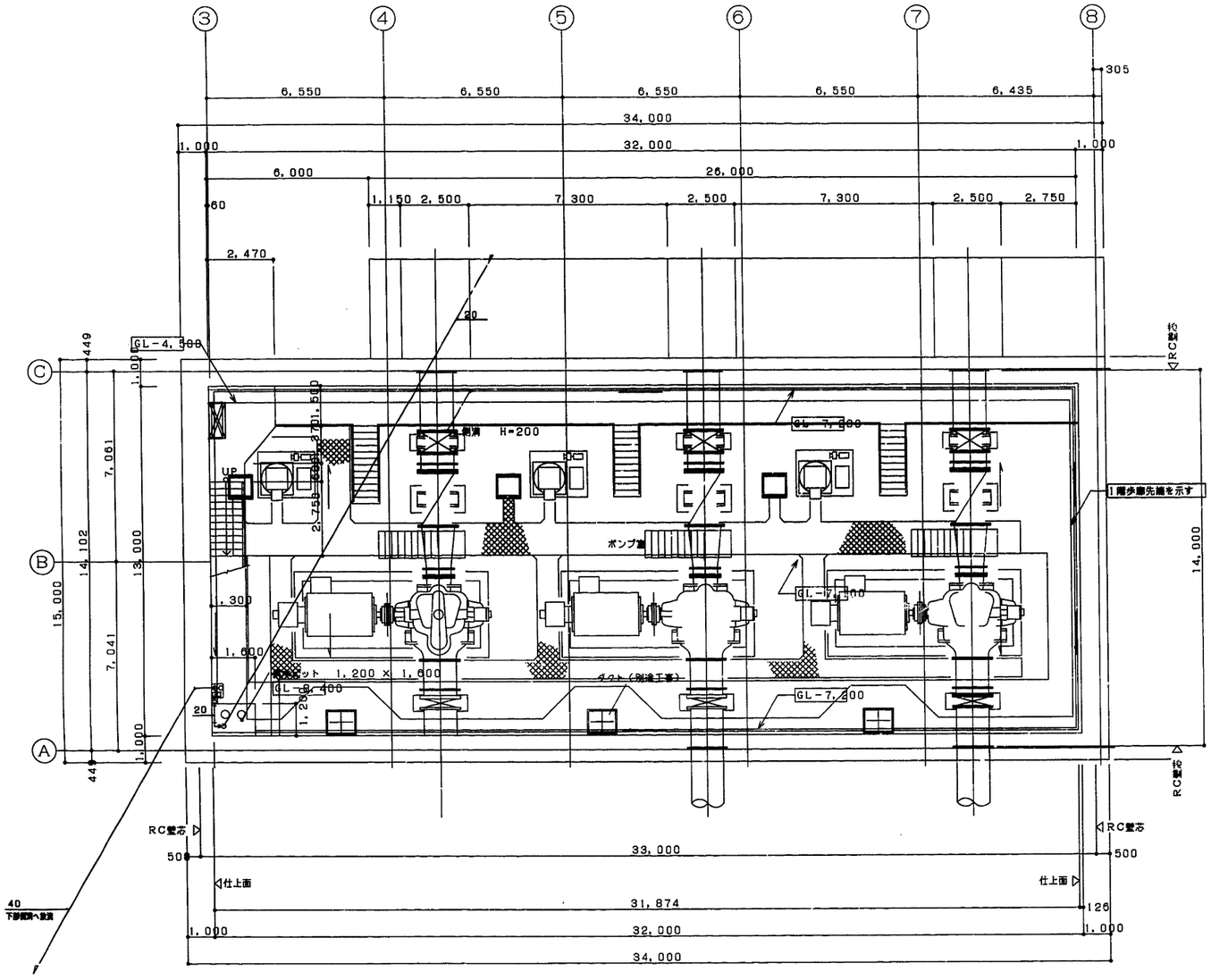
機器表 (50Hz)

機番	名称	仕様	電源 KW	相	V	台数	設置場所	備考
HEX - 1	空調換気扇	形式 ：天井埋込ダクト型				1	2階操作室事務室	
		150φ X 250CMH X 110Pa	163W	1	100			
		熱交換効率 ： 50%						
		附属品 ：コントロールスイッチ						
		その他標準附属品						
HEX - 2	空調換気扇	形式 ：天井埋込ダクト型				1	2階休憩室	
		100φ X 150CMH X 100Pa	115W	1	100			
		熱交換効率 ： 50%						
		附属品 ：コントロールスイッチ						
		その他標準附属品						
SF - 1	給気ファン	形式 ：有圧換気扇 （低騒音型）				2	1階電気室	
		φ400 X 2280CMH X 40Pa	200W	1	100			
		附属品 ：電動式シャッター						
		防鳥ネット						
		ステンレス製ウェザーカバー						
SF - 2	給気ファン	形式 ：ストレートシロッコファン （低騒音型）				1	1階低圧受電設置	
		#1 1/2 X 700CMH X 150Pa	163W	1	100			
		附属品 ：ゴム脚						
		その他標準附属品						
EF - 1	排気ファン	形式 ：有圧換気扇 （低騒音型）				2	1階電気室	
		φ400 X 2280CMH X 40Pa	200W	1	100			
		附属品 ：電動式シャッター						
		防鳥ネット						
		ステンレス製ウェザーカバー						
		サーモスイッチ						
EF - 2	排気ファン	形式 ：ストレートシロッコファン （低騒音型）				1	1階低圧受電設置	
		#1 1/2 X 700CMH X 150Pa	163W	1	100			
		附属品 ：ゴム脚						
		その他標準附属品						
		サーモスイッチ						
EF - 3	排気ファン	形式 ：有圧換気扇 （低騒音型）				1	1階発電機室	
		φ250 X 540CMH X 40Pa	25W	1	100			
		附属品 ：電動式シャッター						
		防鳥ネット						
		ステンレス製ウェザーカバー						
		タイマースイッチ						
EF - 4	排気ファン	形式 ：天井換気扇 （低騒音型）				1	1階便所	
		φ100 X 50CMH X 30Pa	8.4	1	100			

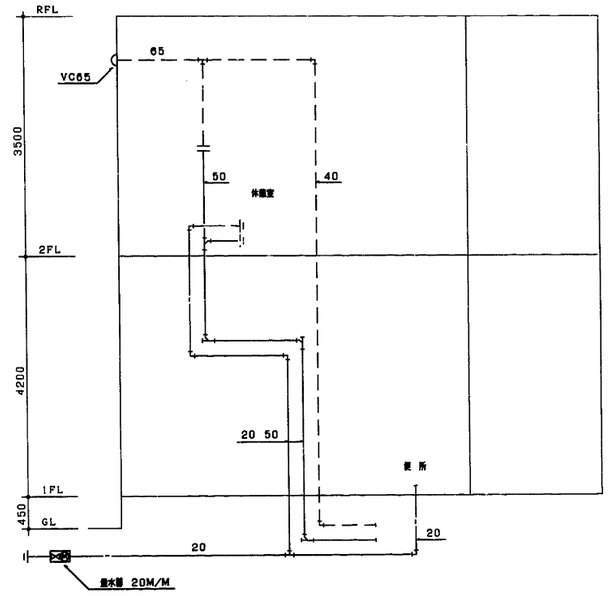
機器表 (50Hz)

機番	名称	仕様	電源 KW	相	V	台数	設置場所	備考
AC - 1	室内ヒートポンプエアコン	形式 ：天吊カセット型				1	2階操作室事務室	
	（同時ツイン型）	冷房能力 ： 10.0 KW						
		暖房能力 ： 11.2 KW						
		消費電力 ：	2.26	3	200			
		室外機						
		圧縮機 ：	1.9	3	200			
		送風機 ：	0.075+0.075	3	200			
		室外機 （x2台）						
		送風機 ：	0.03x2	3	200			
		冷媒配管						
		液管 （内） 6.4φ （外） 9.5φ						
		ガス管 (内) 12.7φ （外）15.9φ						
		附属品 ：コントロールスイッチ						
		防振ゴム						
		その他標準附属品						
AC - 2	室内ヒートポンプエアコン	形式 ：天吊カセット型				1	2階休憩室	
	（ペア型）	冷房能力 ： 7.1 KW						
		暖房能力 ： 8.0 KW						
		消費電力 ：	1.8	3	200			
		室外機						
		圧縮機 ：	1.8	3	200			
		送風機 ：	0.075	3	200			
		室内機						
		送風機 ：	0.03	3	200			
		冷媒配管						
		液管 9.5φ						
		ガス管 15.9φ						
		附属品 ：コントロールスイッチ						
		防振ゴム						
		その他標準附属品						

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	機器表
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-129/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

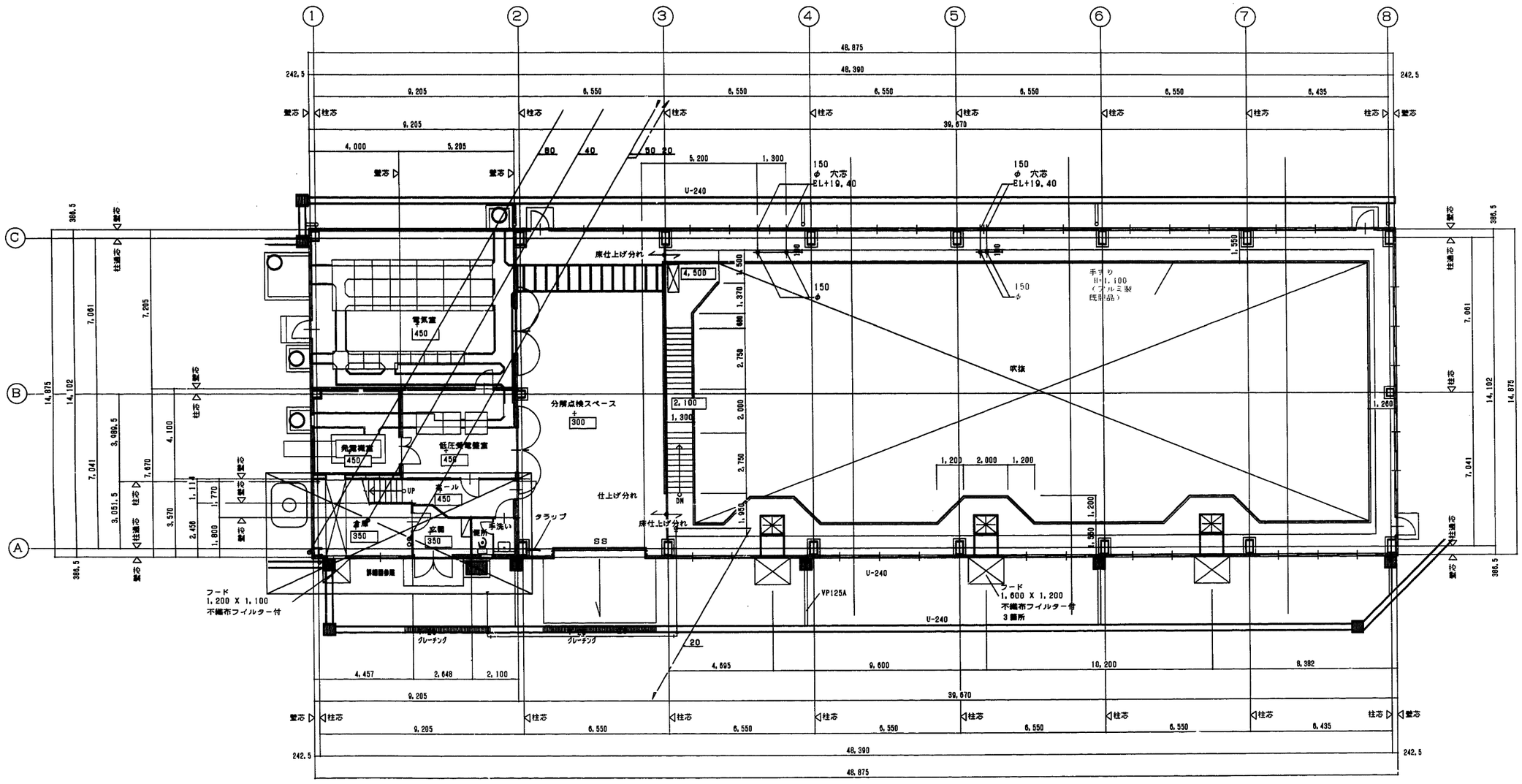


地階平面　S=1/100



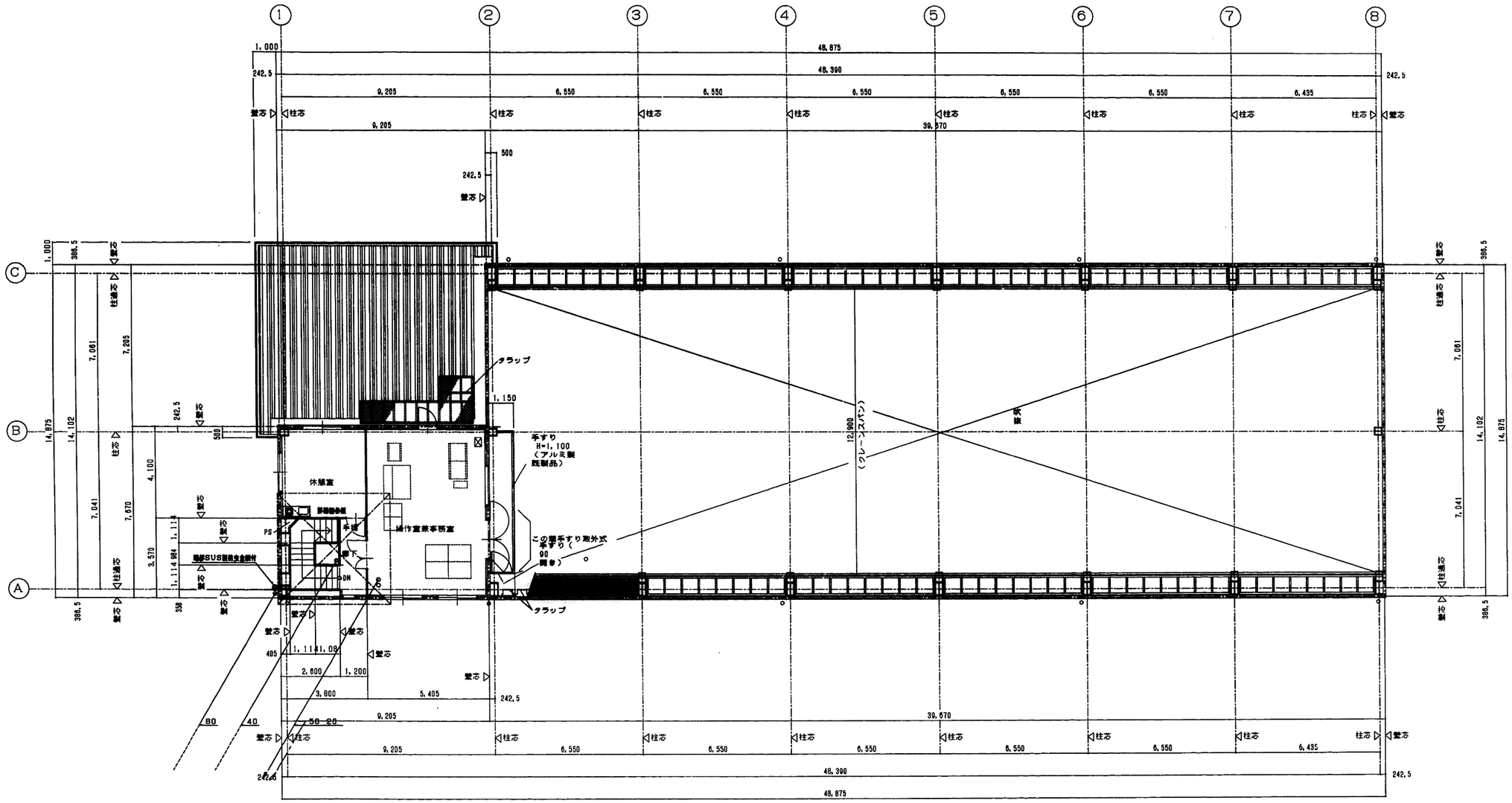
系統図

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	給排水衛生設備(1)地階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-130/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



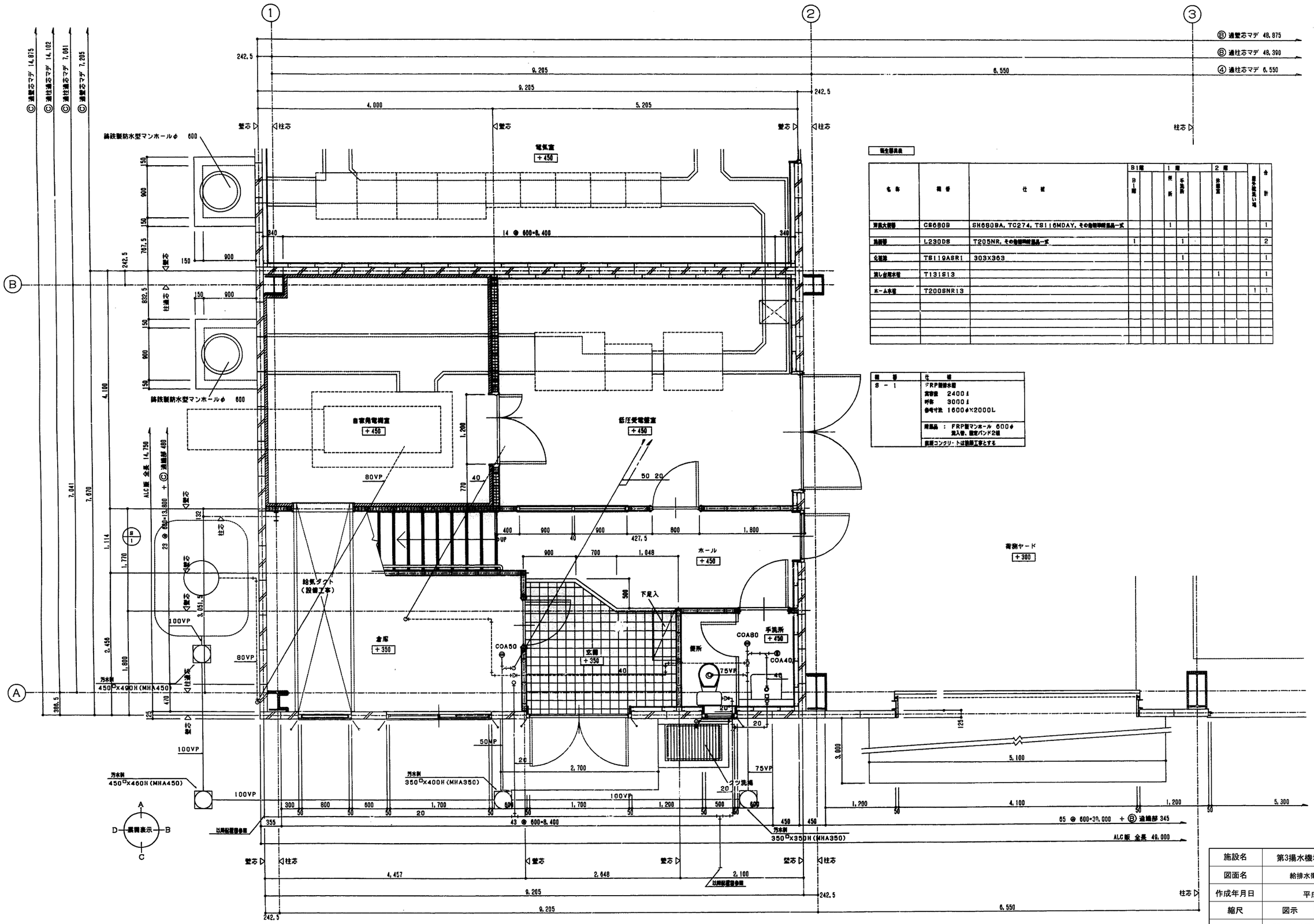
1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	給排水衛生設備(2) 1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-131/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	給排水衛生設備(3) 2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-132/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

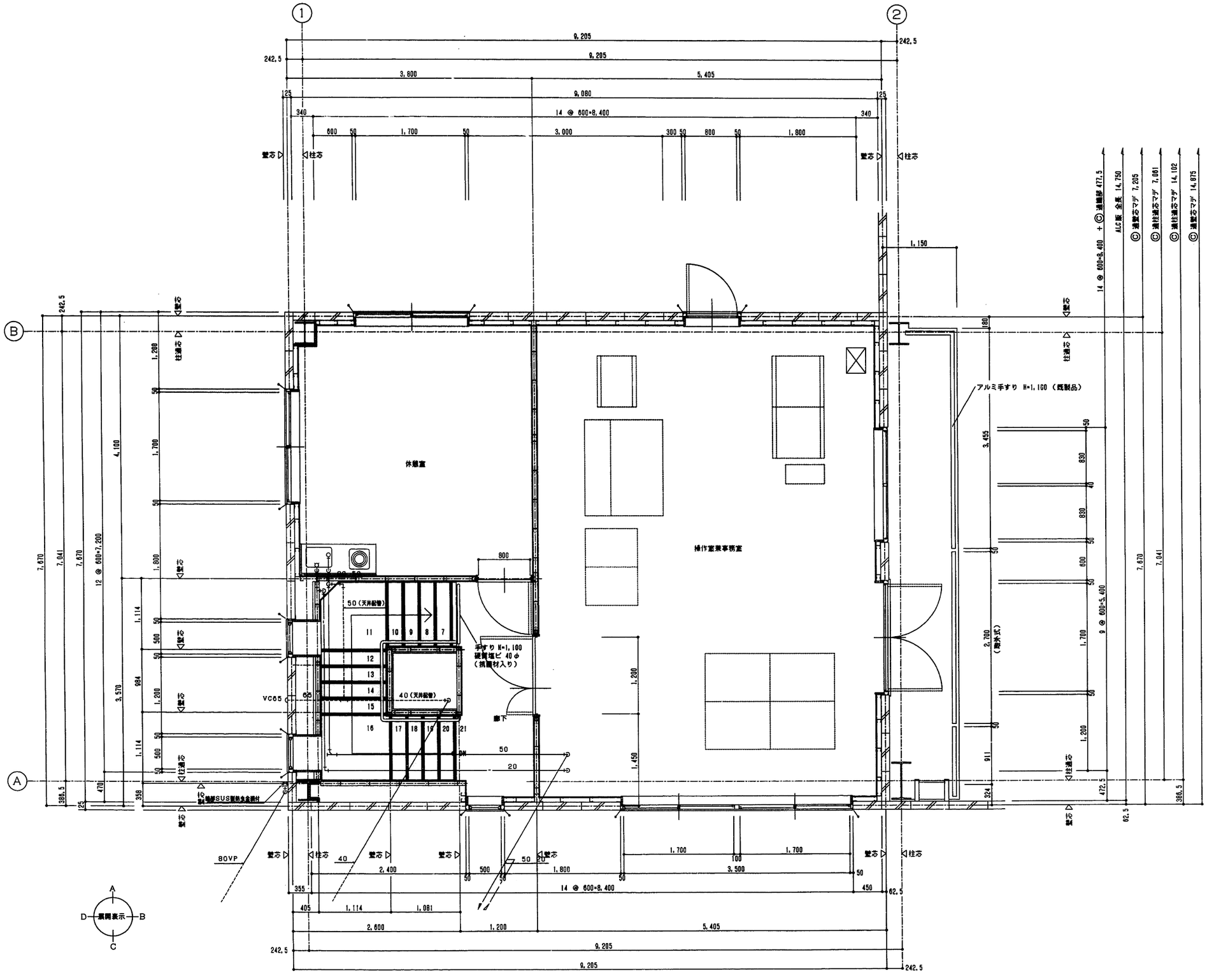


衛生器具表

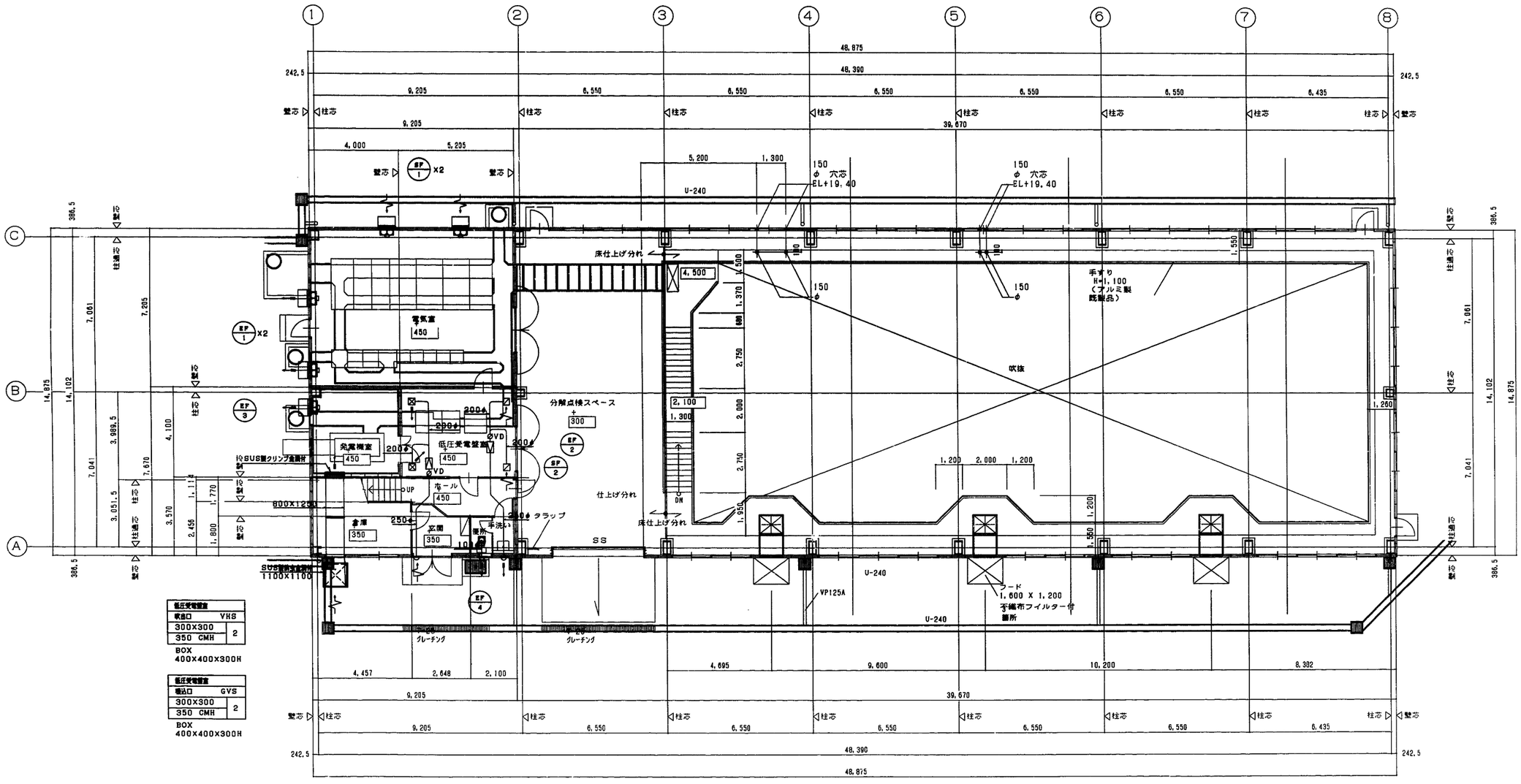
名称	種番	仕様	B1階 B-1階	1階 便所	1階 手洗所	2階 休憩室	屋外給水栓に準	合計
洋風大便器	C8680B	SH680BA, TC274, TS116MDAY, その他関連付属品一式		1				1
洗面器	L230DS	T205NR, その他関連付属品一式	1		1			2
化粧鏡	TS119ASR1	303×363			1			1
流し台用水栓	T131S13					1		1
ホース水栓	T200SNR13						1	1

種別	仕様
S-1	FRP製浄水槽 容量 2400ℓ 呼称 3000ℓ 参考寸法 1600φ×2000L 附属品：FRP製マンホール 600φ 流入管、固定バンド2個 底版コンクリートは建築工事とする

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	給排水衛生設備 (4) 1階詳細図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-133/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	給排水衛生設備(5)2階詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-134/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



低圧受電盤		
吸込口	VHS	
300X300		2
350 CMH		

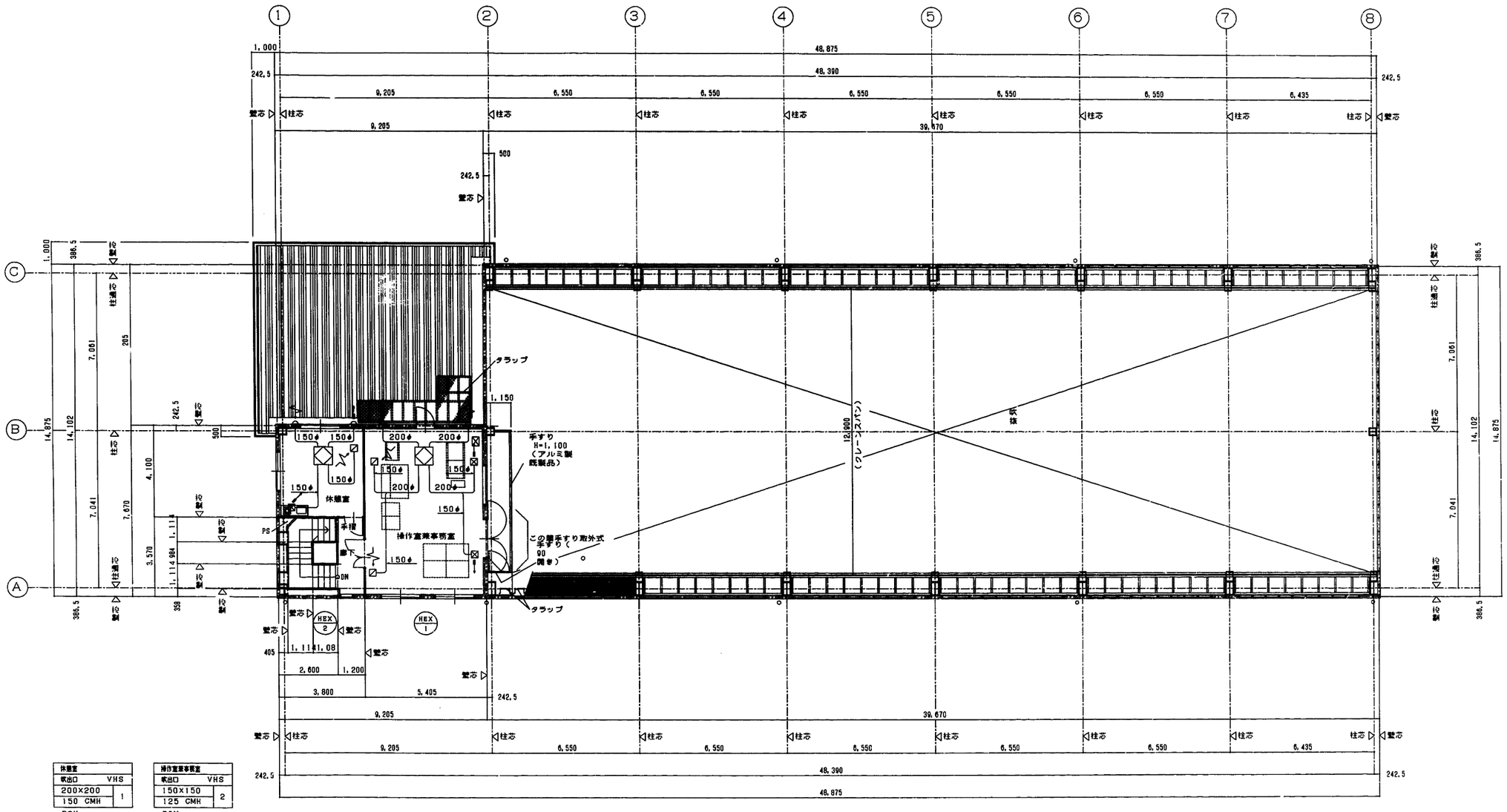
BOX
400X400X300H

低圧受電盤		
吸込口	GVS	
300X300		2
350 CMH		

BOX
400X400X300H

1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	換気設備．空調設備(1)換気設備1階
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-135/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



休憩室	
吹出口	VHS
200×200	1
150 CMH	

BOX
300×300×300H
(GW25M/M内貼)

操作室兼事務室	
吹出口	VHS
150×150	2
125 CMH	

BOX
250×250×250H
(GW25M/M内貼)

休憩室	
吸込口	GVS
200×200	1
150 CMH	

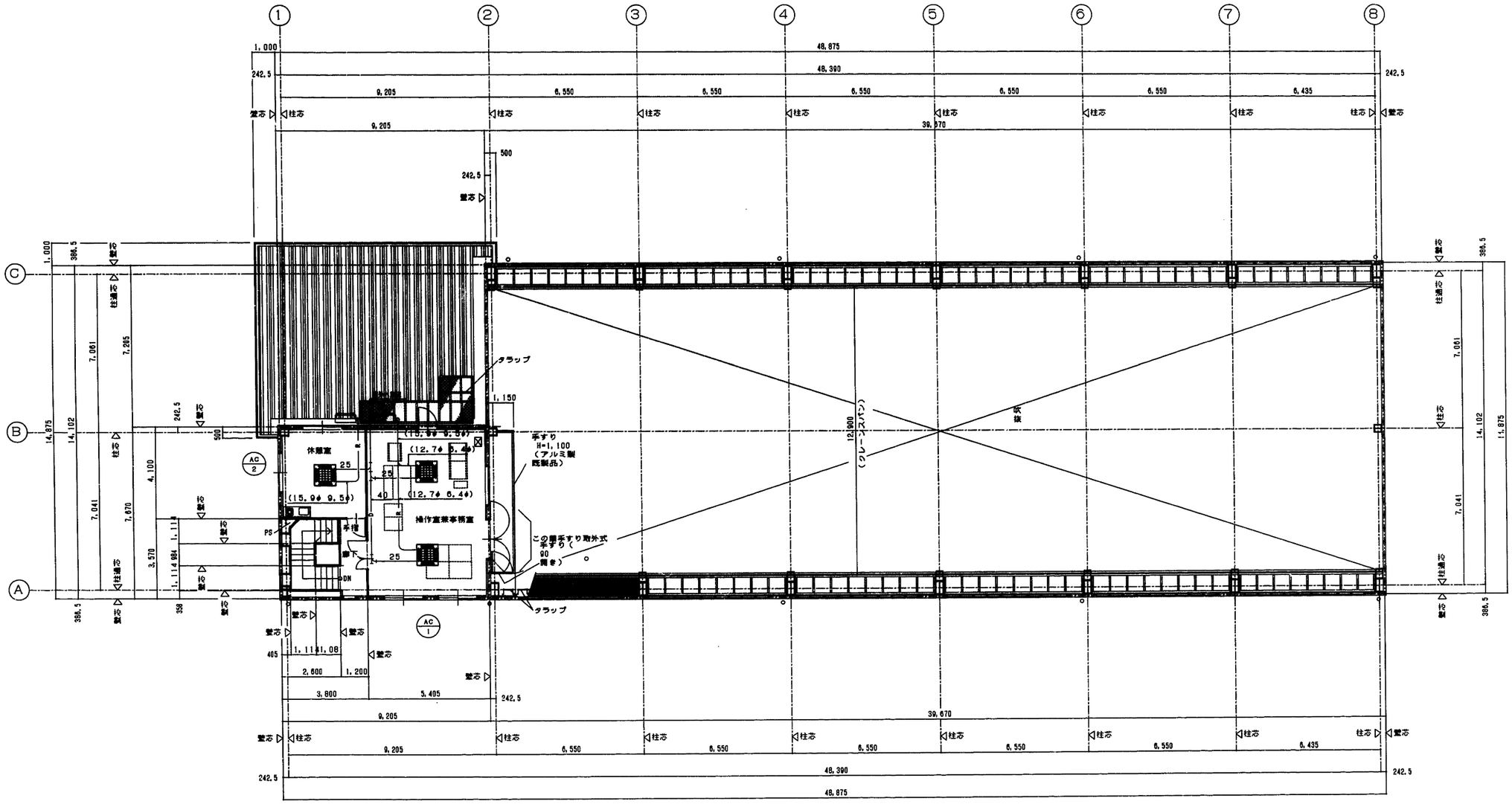
BOX
300×300×300H
(GW25M/M内貼)

操作室兼事務室	
吸込口	GVS
150×150	2
125 CMH	

BOX
250×250×250H
(GW25M/M内貼)

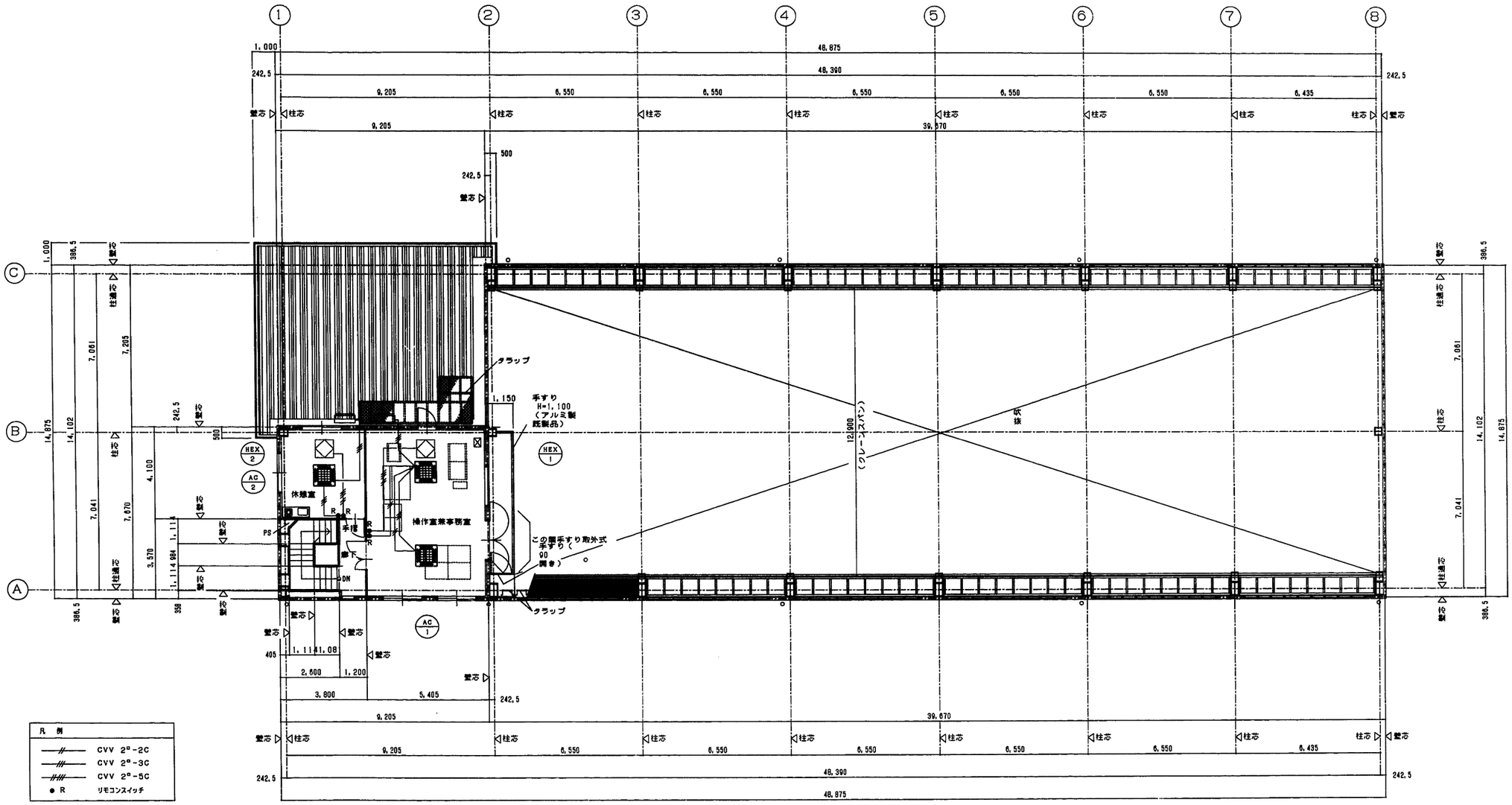
2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	換気設備．空調設備(2)換気設備2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-136/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	換気設備．空調設備(3)空調設備2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-137/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	換気設備．空調設備(4)制御設備2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-138/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

工事設計図

平成　年　月(定　改)

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　千葉県山武郡九十九里町東福岡地内ほか

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防活動行為 別表施一	備考
第３揚水機場		２階建（地下１階建屋　階）	７２５．１５		
		階建（地下　階建屋　階）			
		階建（地下　階建屋　階）			

（注）延面積は建築基準法による数値）

3．工事種別（○印のついたものを適用する）

建物部位別区分 / 工事種別	工事種別					屋外
● 電灯設備	一式					
● 動力設備	一式					
・ 制御設備	一式					
・ 監視設備	一式					
・ 受変電設備	一式					
・ 静止形電源設備	一式					
・ 発電設備	一式					
● 構内情報通信網設備	一式					
・ 構内交換設備	一式					
・ 情報表示設備	一式					
・ 映像・音響設備	一式					
・ 拡声設備	一式					
・ 無線支援設備	一式					
・ 呼出し設備	一式					
・ テレビ共聴受信設備	一式					
・ 監視カメラ設備	一式					
・ 自家用電話設備	一式					
・ 入退室管理設備	一式					
● 火災報知設備	一式					
・ 中央監視制御設備	一式					
● 構内配線設備						一式
● 構内器材設備						一式
・ テレビ電波障害防除設備						一式
・						
・						
・						
・						

4．指定事分　・無　・有（　　）

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）標準及び特記仕様に記載されていない事項は、全て1）による。ただし、2）による場合は、1）によるものと同等とみなす。

1）国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成１５年３月）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成１５年３月）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成１５年３月）」（以下、「標準図」という。）

2）国土交通省大臣官房官庁営繕部の「電気設備工事共通仕様書（平成１３年版）」、「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成１５年３月）知事通知」、「電気設備改修工事共通仕様書（平成１３年版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成１５年３月）知事通知」、「電気設備工事標準図（平成１３年版）」、及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成１５年３月）知事通知」

注：（社）公共建築協会のホームページ「ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｂａ．ｏｒ．ｊｐ」を参照。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は（　／　）版、建築工事の工事仕様書は（　／　）版による。

2．特記仕様

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）特記事項において選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項目	特記事項
1　グリーン調達	「調達による環境負荷等の調達の推進等に関する法律」（平成１２年法律第１００号）に基づく特定調達品目「公共工事」の品目 ・ 照明制御システム 価格制御機器は、社団法人日本照明工業会技術資料１３０「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」による総合省エネルギー率３３．６%以上であることを確認する。
2　資材等	1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等承認表」を含む。）に指定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 2）化学物質を発散する建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に指定する所定の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（4）を満足するものとする。 （1）合板、木質系フローリング、複合成形パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質繊材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及びこれらの建築材料等を使用して作られた家具、器具、装飾品、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （2）壁紙材、接着材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （3）断熱材はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆表示機器材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆表示機器材料又は同等品をいい、原則としてＦ☆☆☆☆表示機器材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、Ｆ☆☆☆表示機器材料又は同等品を使用するものとする。

3　機材の品質・性能区分	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（（社）公共建築協会）が発行する同等の旨を設備機器に添付して納品を受ける。 ただし、ＪＩＳ（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。
4　電源周波数	●50Ｈｚ　・60Ｈｚ
5　電気工作物の種類	●非常用電気工作物　・一般用電気工作物
6　電気保安技術者	工事現場に置く電気保安技術者は、関東地方整備局長制定の国土交通省関東地方整備局電気工作物保安規程第５条に定める工事現場技術者の資格を有し、電気工作物の保安の監督を行うものとする。
7　電気工事士	受給電力500ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
8　工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び雷公害その他の周辺環境への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
9　監督員事務所	・設ける　・設けない
10　工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内につくること　・できる　・できない
11　足場、さん橋	・設置時の荷重は請負者が指定したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置とする。 ・改修工事の場合は、改修共通仕様書第１編2、2、1による部が下記による。 ・内部仮設足場等（・　種　・　種） ・外部仮設足場等（・　種　・　種）
12　完成図等	・竣工完成図（ＣＡＤデータ　）の修正を行う。
13　工事写真	国土交通省関東地方整備局の「工事写真　の撮り方（改訂第２版）電気通信編」による。
14　発生材の処理	1）再使用を指定するもの ・有（　） 2）再使用を指定するもの以外 ・構外搬出とし、搬出及びその処理費は新地とする。 3）特別管理産業廃棄物 ・有（ＰＣＢ使用部材：　） ＰＣＢ使用部材は関係法令により適切に処理し、処理管理者に引渡す。 4）再利用又は再資源化を図るもの ・有（　） ・処理時期による。
15　埋土処置	・処理時期による。 ・処理し後の発生土は、監督職員が指示する場所の箇所に敷均ならしとする。
16　耐震施工	設計震度の設定は、「建築構造物耐震設計・施工指針　１９９７年版」（建設省告示等関連耐震基準）により、耐震設計診断を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。なお設計用水平震度、設計用鉛直震度は下記による。 1）設計用水平地震力 設計用水平地震力は階層の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	・特定の機器（甲種・乙種）		・一般の機器（乙種）	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階の天井以上	２．０ （２．０） <２．０>	１．５ （２．０） <１．５>	１．５ （２．０） <１．５>	１．０ （１．５） <１．０>
１階天井～上層階の床	１．５ （１．５） <１．５>	１．０ （１．５） <１．０>	１．０ （１．５） <１．０>	０．６ （１．０） <０．６>
１階の床以下	１．０ （１．０） <１．０>	０．６ （１．０） <１．０>	０．６ （１．０） <１．０>	０．４ （０．６） <０．６>

（注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
＜　＞内の数値は水槽類に適用する。

重要機器
・記憶機　・非常用発電機　・交流無停電電源装置　・直流電源装置
・交換機　・火災報知受信機　・中央監視制御　・
上層階の定義は次による。
６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２層、１０～１２階建ての場合は上層３階、１３階以上の場合は上層４層とする。

2）設計用鉛直地震力
設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

17　電線管類など	分電盤、制御盤及び端子箱等の二次側以降の記号組種は、電線太さ、電線本数及び管種等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。 また、機械設備等の未記載は露出上　ＰＦ管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は金具に沿って塗装を施す。
18　呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線ぜには、電線太さ　１．２ｍｍ　ｕ上の被覆鉄線を挿入する。
19　金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ●屋外　・屋内（　）
20　蛍光灯器具	蛍光灯器具（搭載灯は除く。）の安定器の取付方式、電圧は器具に記載なき場合は次による。

	蛍光灯の種類	点灯方式	電圧
電球形		EL	100V
直管形	15形以下	GL	100V
	20形 防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵＆非常用照明器具	GL	100V
	40形	RH	V
コンパクト形	D	EL	100V
	H、P	PN	V
	防雨形器具・防湿形器具	GL	100V
Hf形	器具に記載のない場合	PH	200、100V

21　非常用の照明装置の種類指定箇所	階段室　２箇所以上
22　電動開閉用押しボタン	玄関扉作用押ボタンは、適用形とする。
23　コンセント	器具に特記なき場合は、コンセント　２Ｐ１５Ａ（接地極付）は、プラグ不要とする。
24　ハイテンションアウトレット	・外部露出　・内部埋込　・上下開閉
25　フロアベース	フロアベースは、水平高低調整機能付（空転防止リング付）とする。
26　プレートの材質	フラッシュプレート　●金属製　・樹脂製 フロアプレート　・樹脂製　・アルミ合金製
27　ローテンションアウトレット	一般用　個
28　設置場所基地	●本工事　・別途
29　地中部の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその標柱は、器具に記載のない場合は次による。 ・鉄製（　箇所）　・コンクリート製（　箇所）
30　天井仕上げ表示	器具において、室名に（　）を付したものは露天井の、それ以外は二重天井の室を示す。
31　接地種	接地極の材料は下記による。なお、接地種ＥＢ（１４φ）の長さは　１５００ｍｍ　以上とし、１０φ、１４φは、Ｗ＝４０　としてよい。

・　接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　種
・　共　用　接　地	$E_{A,D}$	Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所　組
・　共　用　接　地	$E_{A,D,D}$	Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所　組
・　Ａ　種　接　地	E_A	１００Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所−２組
・　Ｂ　種　接　地	E_B	Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所　組
・　Ｄ　種　接　地	E_D	１００Ω以下	ＥＢ（１０φ）×１　（Ｌ＝１５００ｍｍ）
・　Ｃ　種　接　地	E_C	Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所　組
・　高圧避雷器	E_{LH}	１００Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所−２組
・　低圧避雷器	E_{LL}	１００Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所−２組
・　避　雷　設　備	E_L	１００Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所−２組
・　交　換　機　用	E_1	Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所　組
・　通　信　用	E_{A1}	１００Ω以下	ＥＢ（１４φ）×３箇所−２組
・　通　信　用	E_{C1}	１００Ω以下	ＥＢ（１０φ）×１　（Ｌ＝１５００ｍｍ）
・　測　定　用	E_0		ＥＢ（１０φ）×１　（Ｌ＝１０００ｍｍ）

32　取付高さ	壁付、開閉等の機器等の取付高さは、器具に記載のない場合は原則として、下図による。

名　称	適　点	取付高（　）
ブラケット（一般）	床上～中心	２，１００
〃　（廊下）	〃	２，５００
〃　（床上）	床上面～中心	１５０
誘導灯避難灯	床上～下端	１，５００以上
非常用照明灯	床上～上端	１，０００以下
スイッチ（一般）	床上～中心	１，３００
〃　（自体検査用）	〃	１，１００
コンセント、電話用アウトレット、盤内ユニット（一般）	〃	３００
〃　（物置）	〃	１５０
〃　（台上）	台上～中心	１５０
コンセント（非常）	床上～中心	８００
引込開閉器箱（架空）	床上～中心	１，５００
分電盤、制御盤、開閉器	床上～中心	１，５００（上端１，９００以下）
開閉器箱	〃	１，５００
電動開閉器用押しボタン	〃	１，３００
学校用端子箱	床上、床上～中心	５００
電話引込用端子箱	床上～下端	８００
電話配線盤	床上～中心	６００
接地ボックス	床上～接地口	１，０００
屋内端子盤（屋下・屋内）	床上～下端	３００
中継端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上～中心	１，５００
時計台	〃	１，５００（上端１，９００以下）
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×０．９
アッテネータ	〃	１，３００
出退表装置	〃	（天井高）×０．９
表時器（出退表共用）	〃	１，３００
インターホン	〃	１，５００
各種非常用局内インターホン子機	〃	１，１００
呼出ボタン（各種非常用）	〃	９００
操作ボタン（　〃　）	〃	１，８００
誘下表示灯（　〃　）	〃	２，０００
テレビ共聴受信端子	〃	１，８００
火災受信機（壁掛型）	床上～操作部	８００～１，５００
副受信機	床上～中心	１，５００
自動火災報知受信機	〃	８００～１，５００
発信機	〃	８００～１，５００
警報ベル	〃	（天井高）×０．９
表示灯	〃	（天井高）×０．８
連動制御器（自動閉鎖）	〃	１，５００
ガス漏れ検知器（ＬＰＧ・１）	〃	３００
〃　（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）−２００

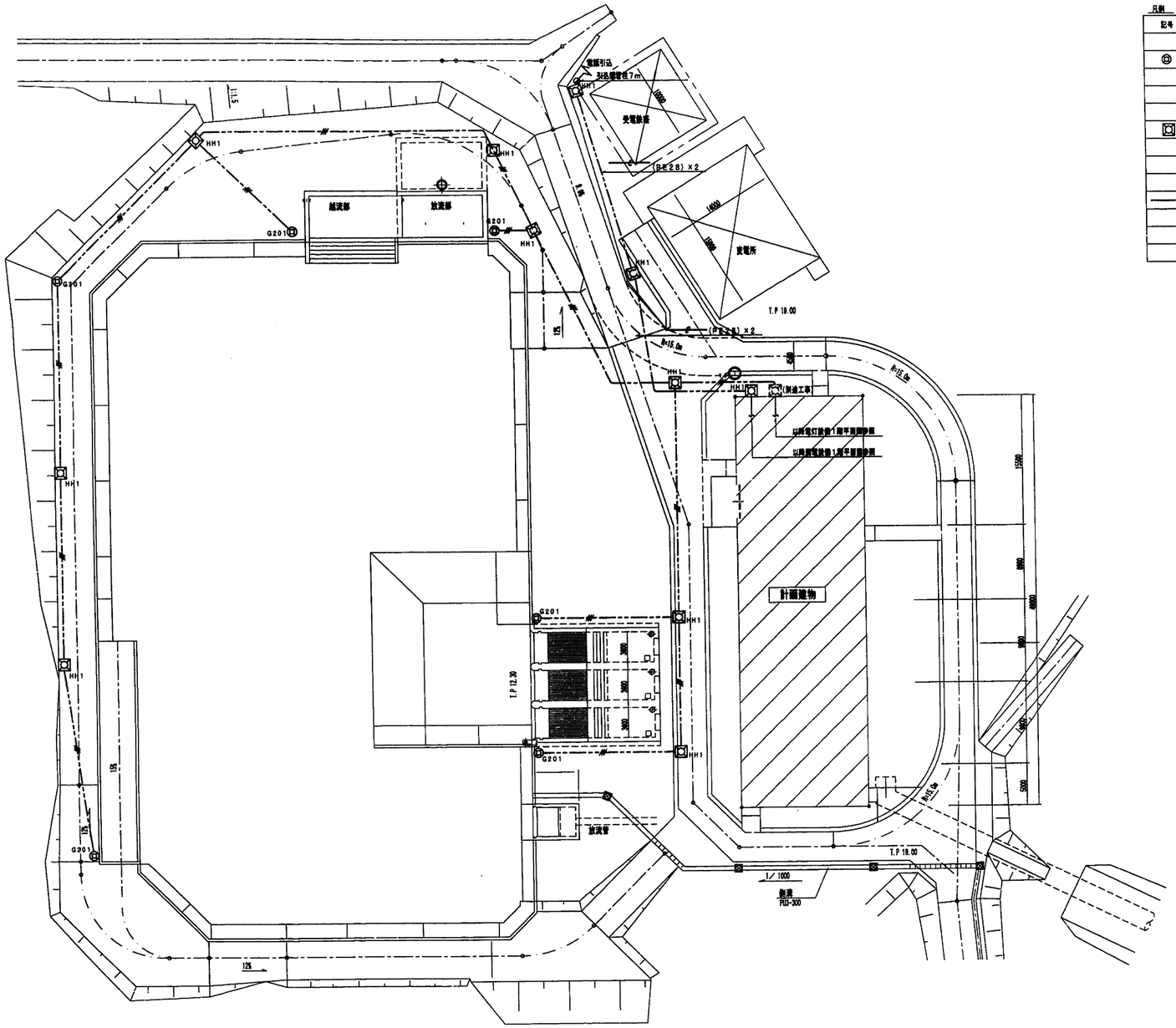
（備考）　（天井高）×０．９及び（天井高）×０．８は天井高が２５００～３０００ｍｍの場合に適用する。

33　施工図等の取扱い	施工図等の製作前に係わる協議等に関る使用物は、発注者に帰属するものとする。
34　他工事又は他工区との取合い	工事区分表（平成１５年版）による。　ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。

35　施工順序	・事前調査 調査項目（　） 調査期間（　／　）間による ・監督職員の指示による。 調査方法（　／　）記による ・非破壊検査（実用は自由）
36　試験	試験機関名（・官支給　・自電　・　） 試験機関（・提示　・　・　）
37　養　生	養生時間（　／　）間による 養生方法（　／　）間による
38　電線類	接地極の材料は下記による。なお、接地種ＥＢ（１４φ）の長さは　１５００ｍｍ　以上とし、１０φ、１４φＥＭ電線等で記号の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により環境汚れているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕　様
EM-UTP	ＪＩＳ　Ｘ　５１５０（ＵＴＰ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐候性ポリエチレンを用いたもの
EM-CEES	ＪＩＳ　Ｘ　４２５８　Ｄ（耐候性ケーブル（屋へい付））に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐候性ポリエチレンを用いたもの
EM-MEES	ＪＣＳ　２７１（ＭＶＳ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐候性ポリエチレンを用いたもの

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	特記仕様書
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-139/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



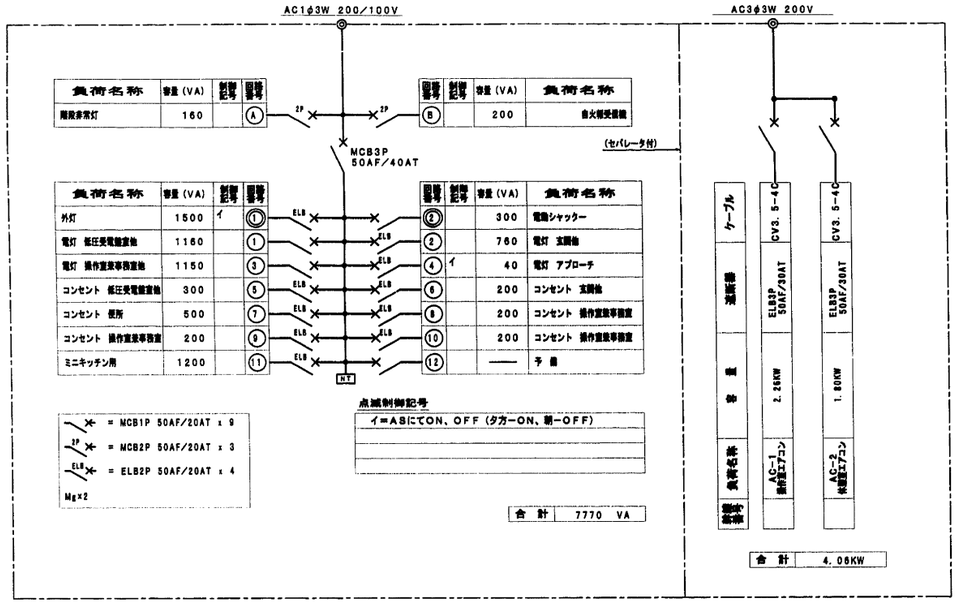
凡例

記号	名 称	摘 要	備考
⊕	外灯		
▣	ハンドホール		
———	配管配線 地中埋設		

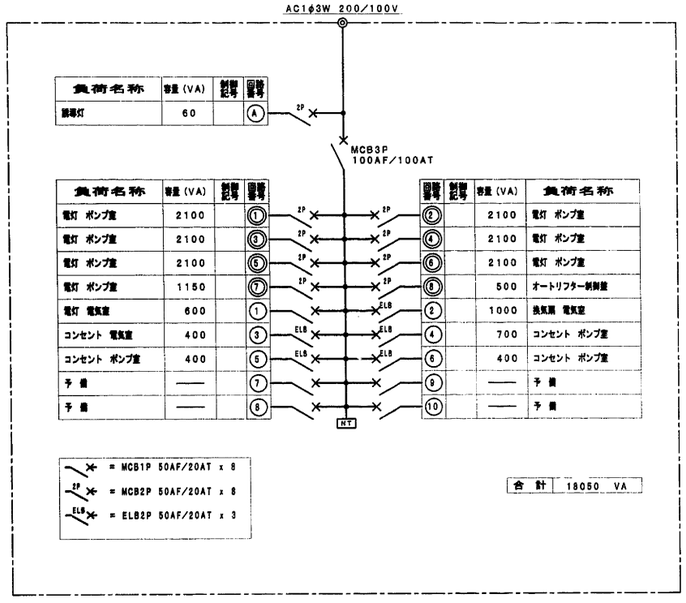
注記

1. 特記なき配線は、下記とする。
   - ——//—— = EM-CE5.5²-3C (FEP30)
   - ——//——[14] = EM-CE14²-3C (FEP30)
2. ハンドホールサイズは、下記とする。
   - HH1= 900× 900×1500、600φ直胴直筒鉄蓋付

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-140/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

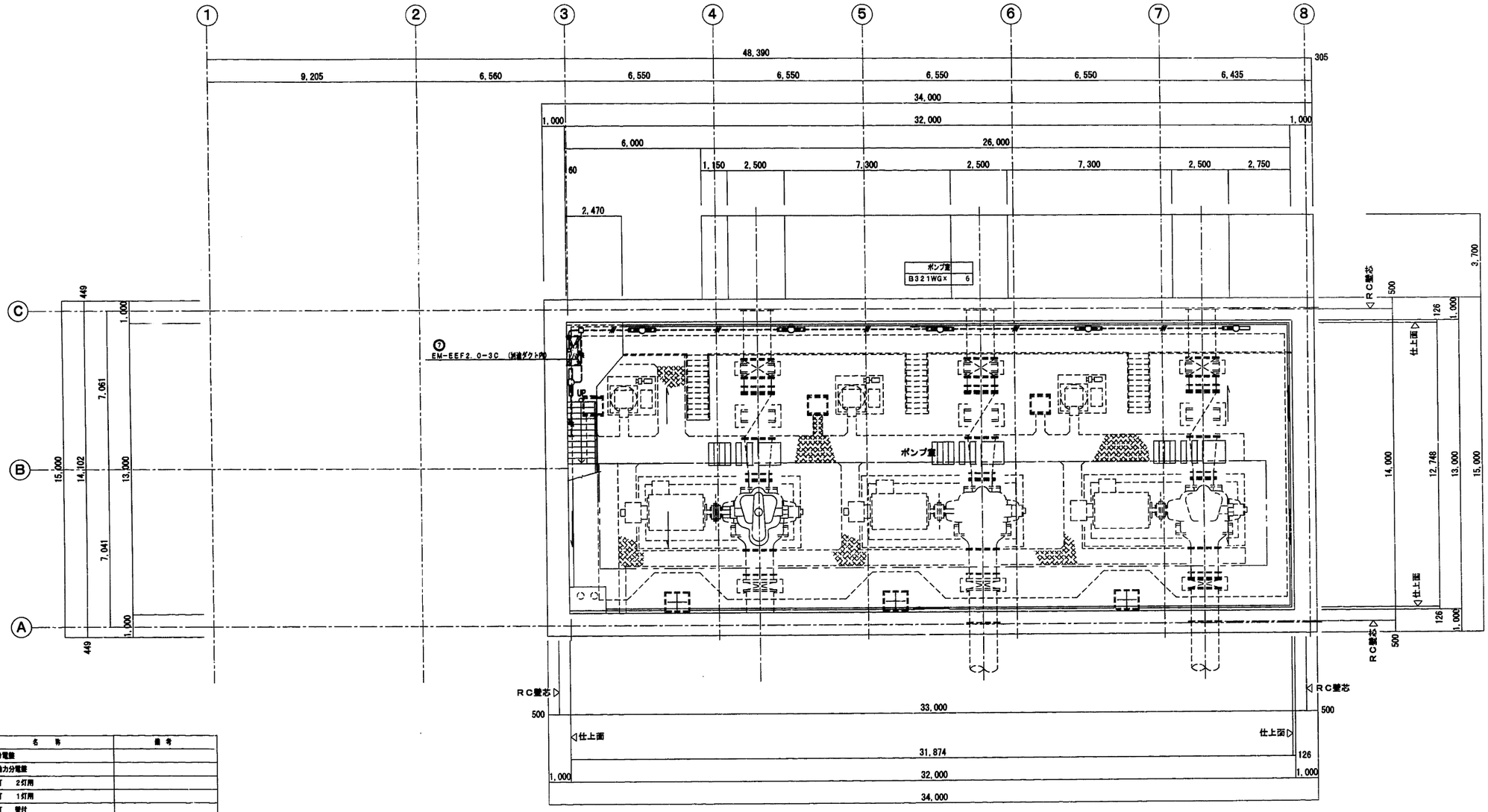


LP−T 鋼板製、壁掛型



L−S 鋼板製、壁掛型

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	電灯．動力分電盤結線図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-141/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
	蛍光灯 2灯用	
	蛍光灯 1灯用	
	蛍光灯 壁付	
	ダウンライト	
	ブラケット	
	HID灯	
$\oplus_1$	コンセント	2P15A×1
●	埋込型スイッチ	
$●_L$	埋込型スイッチ パイロットランプ付	
$●_{AS}$	自動点滅器	
□	ジャンクションボックス	
———	ケーブルころがし配線	
———	配管配線 天井隠蔽	
- - - -	配管配線 露出	

注記

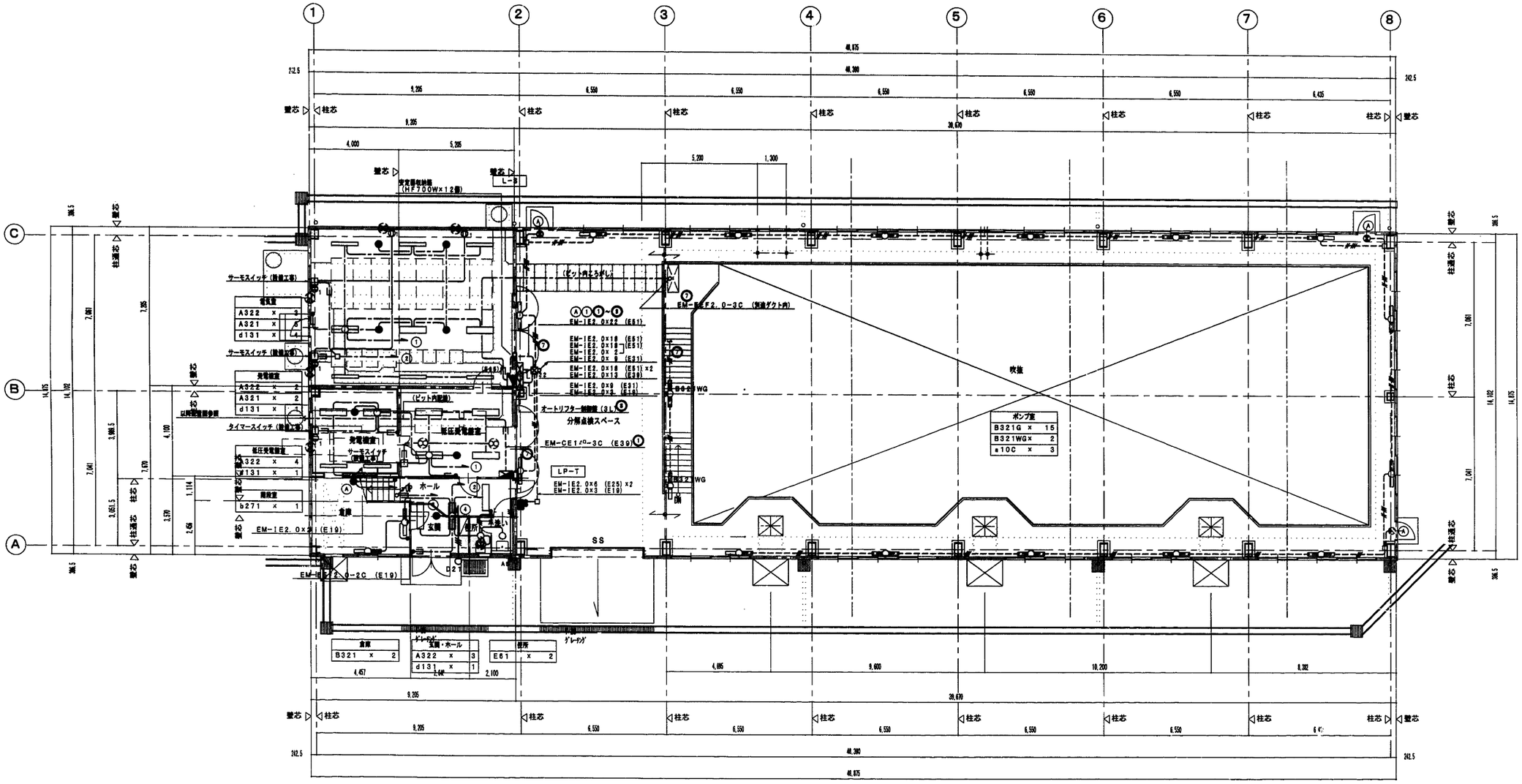
1. 特記なき配線は、下記とする。
   - ——— = EM-IE2.0×2 (E19)
   - ———/// = EM-IE2.0×3 (E19)
   - - -///- - - = EM-IE2.0×3 (露出E19)
   - - -/3A- - - = EM-IE2.0×6 (露出E25)
   - ———C——— = ———C——— (E25)
   - ———··——— = EM-EEF2.0-2C 保護管(E19)
   - ———·//·——— = EM-EEF2.0-3C 保護管(E25)

   ※立上げ、立下げ部は、E管により保護すること。

2. プルボックス寸法は、下記とする。
   - $\boxtimes_{32}$ = 300×300×200

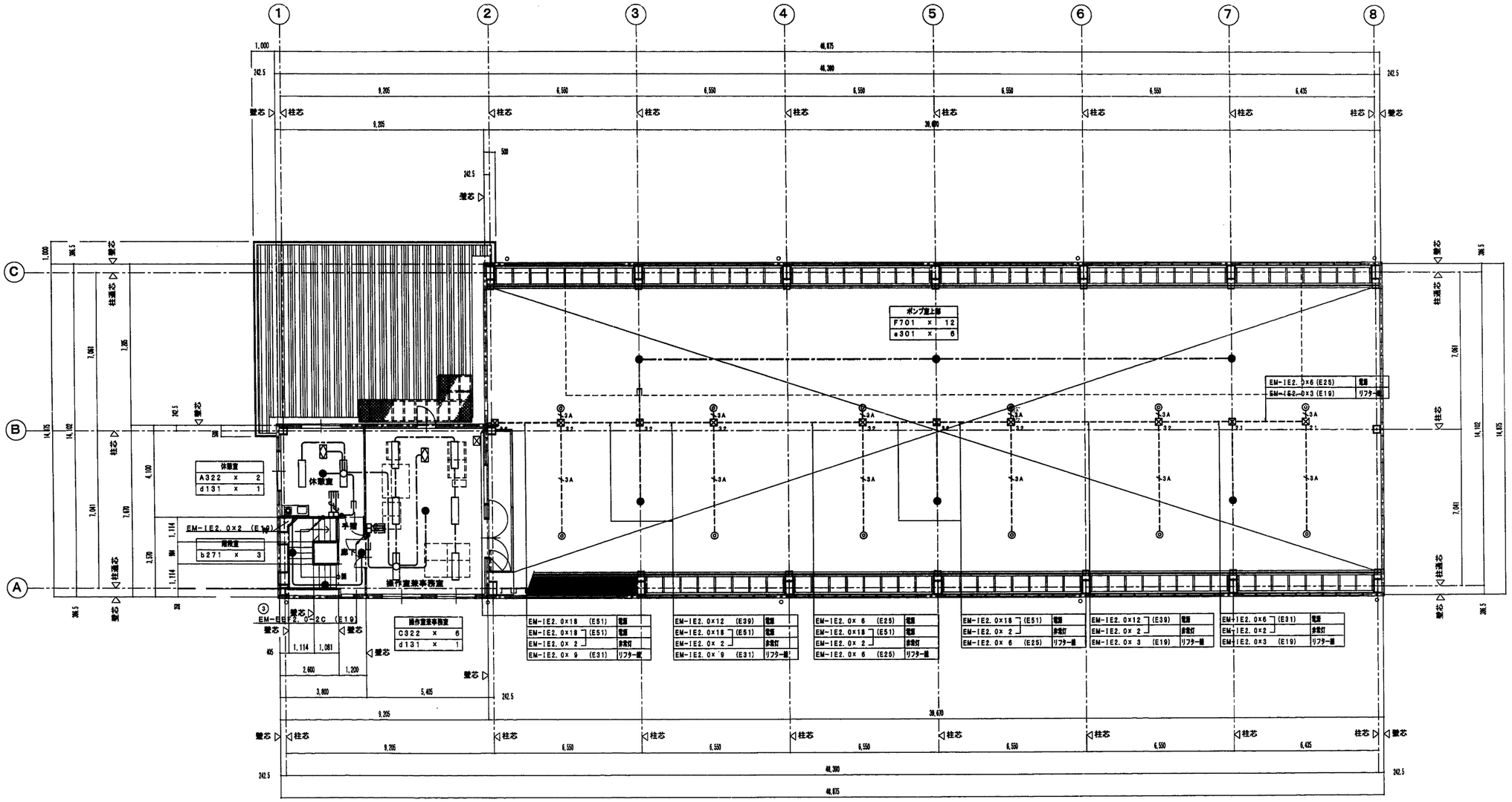
地階平面図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電灯設備図(1)地階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-142/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電灯設備図(2)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-143/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

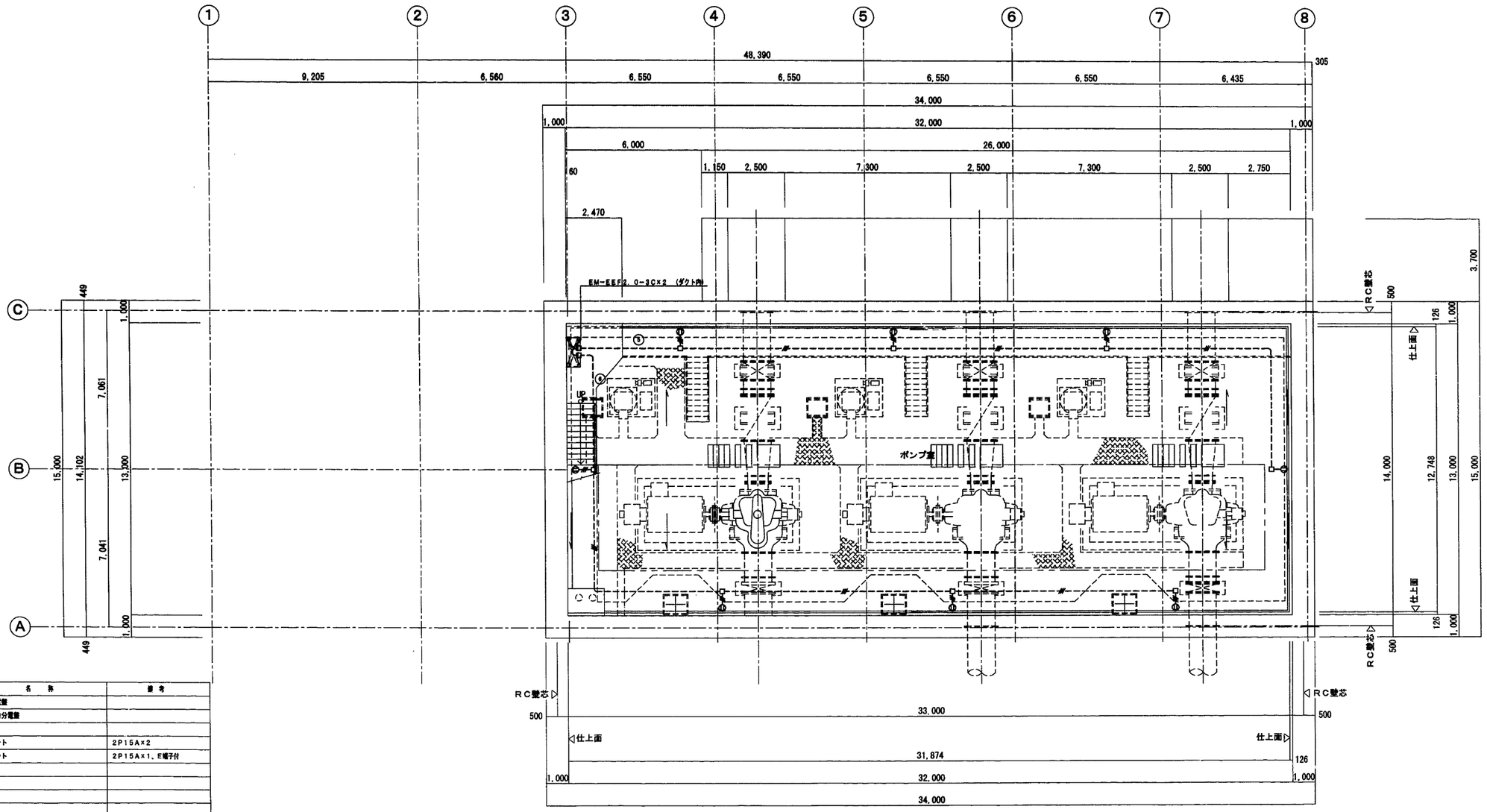
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	電灯設備図(3)2階
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-144/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

照　明　器　具　姿　図

A	逆富士型		B	トラフ型		C	下面ルーバー付		D	ブラケット、防水型		E	ダウンライト		F	投光器		G	ポール灯	
A322	Hf32Wx2	FSS9-322-PN	B321	Hf32Wx1	FSS8-321-PN	C322	Hf32Wx2	FRL9-322-PN	D21	FL20Wx1	FBC2RP-201	E61	IL60Wx1	IRS6-K60	F701	HF700Wx1、昇降装置付	HSR1W-700-HML1	G201	HF200Wx1、H=4m	HST5A-200-T4.5
A321	Hf32Wx1	FSS9-321-PN	B321G	Hf32Wx1、ガード付	FSS8-321-PN															
	100V		B321WG	Hf32Wx1、防水型、ガード付	FSS8RP-321-PN		100V			100V			100V			200V			200V (ポールは、ステンレス製とする)	
				B321　:100V B321G　:200V B321WG:200V																

a	高輝度避難口誘導灯		b	ブラケット		d	非常照明		e	非常照明	
a10C	C級、電池内蔵型	SH1-FBF20-C	b271	FDL27Wx1、電池内蔵型	SK1-FST13-D271	d131	ハロゲン13Wx1、電池内蔵型	K1-ISS4-J13	e301	ハロゲン30Wx1、電池内蔵型	-ISS4-J30
				100V							特高天井用

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	照明器具姿図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-145/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
Ⓒ	コンセント	2P15A×2
$Ⓒ_E$	コンセント	2P15A×1、E端子付
□	ジャンクションボックス	
———	ケーブルころがし配線	
———	配管配線 天井隠蔽	
- - - - -	配管配線 露出	

注記

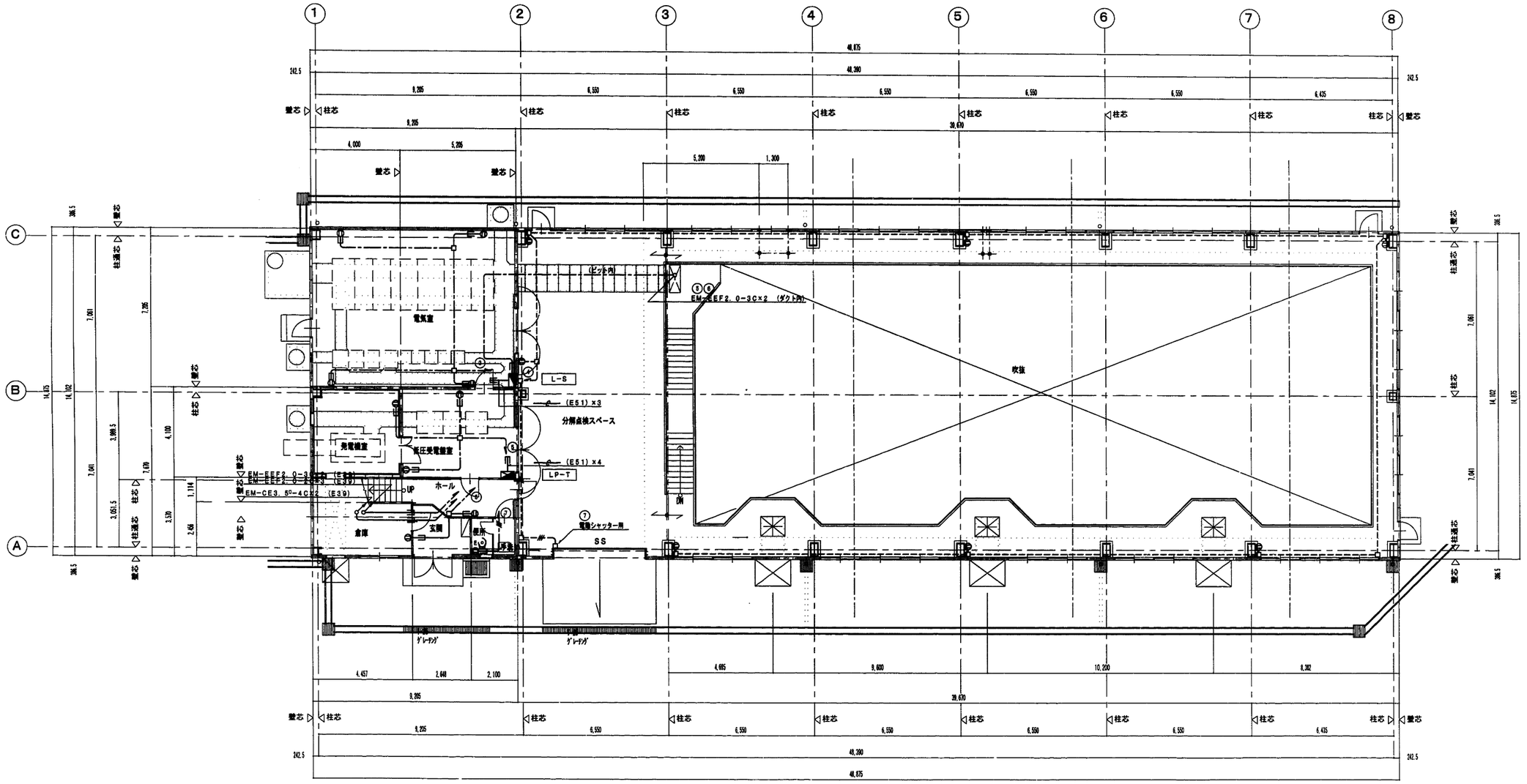
1．特記なき配線は、下記とする。

———	= EM-IE2.0×2	(E19)
——//———	= EM-IE2.0×3	(E19)
——////———	= EM-IE2.0×4	(E25)
- - - - -	= EM-IE2.0×2	(露出E19)
- - -//- - -	= EM-IE2.0×3	(露出E19)
———	= EM-EEF2.0-2C	鋼製管(E19)
——//———	= EM-EEF2.0-3C	鋼製管(E25)

※立上げ、立下げ部は、E管により保護すること。

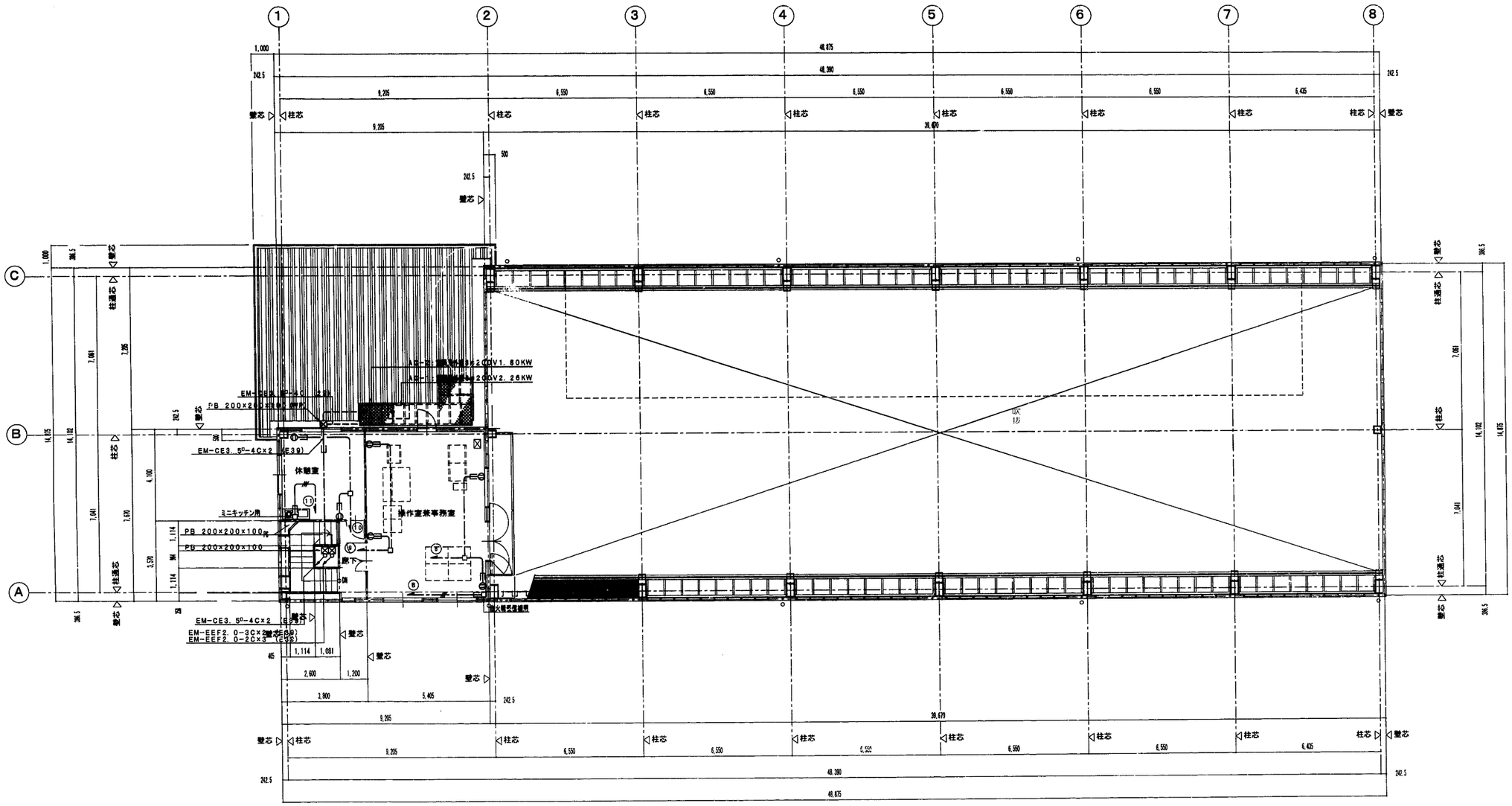
地階平面図 S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	コンセント設備図(1)地階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-146/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



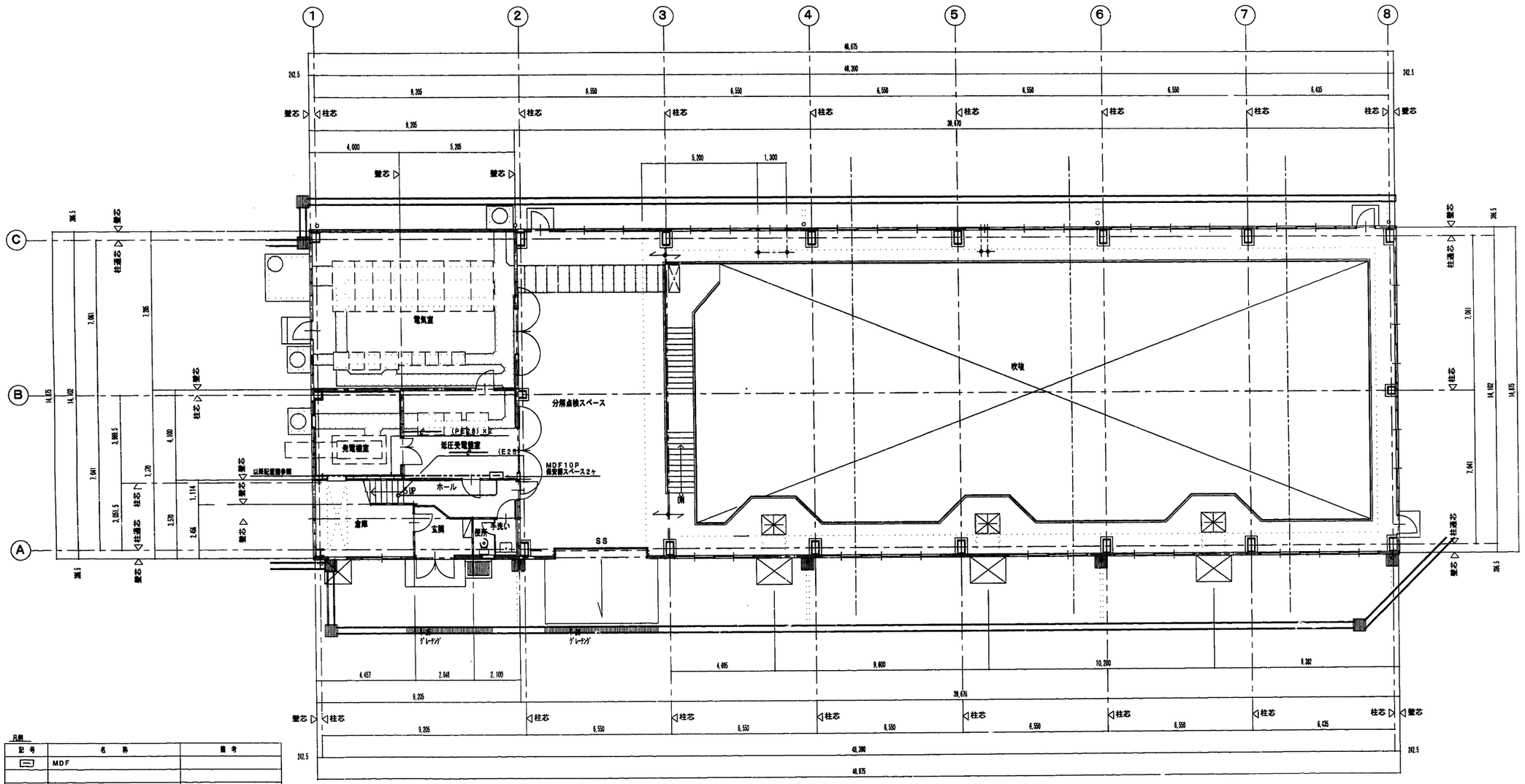
1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	コンセント設備図(2)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-147/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	コンセント設備図(3)2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-148/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

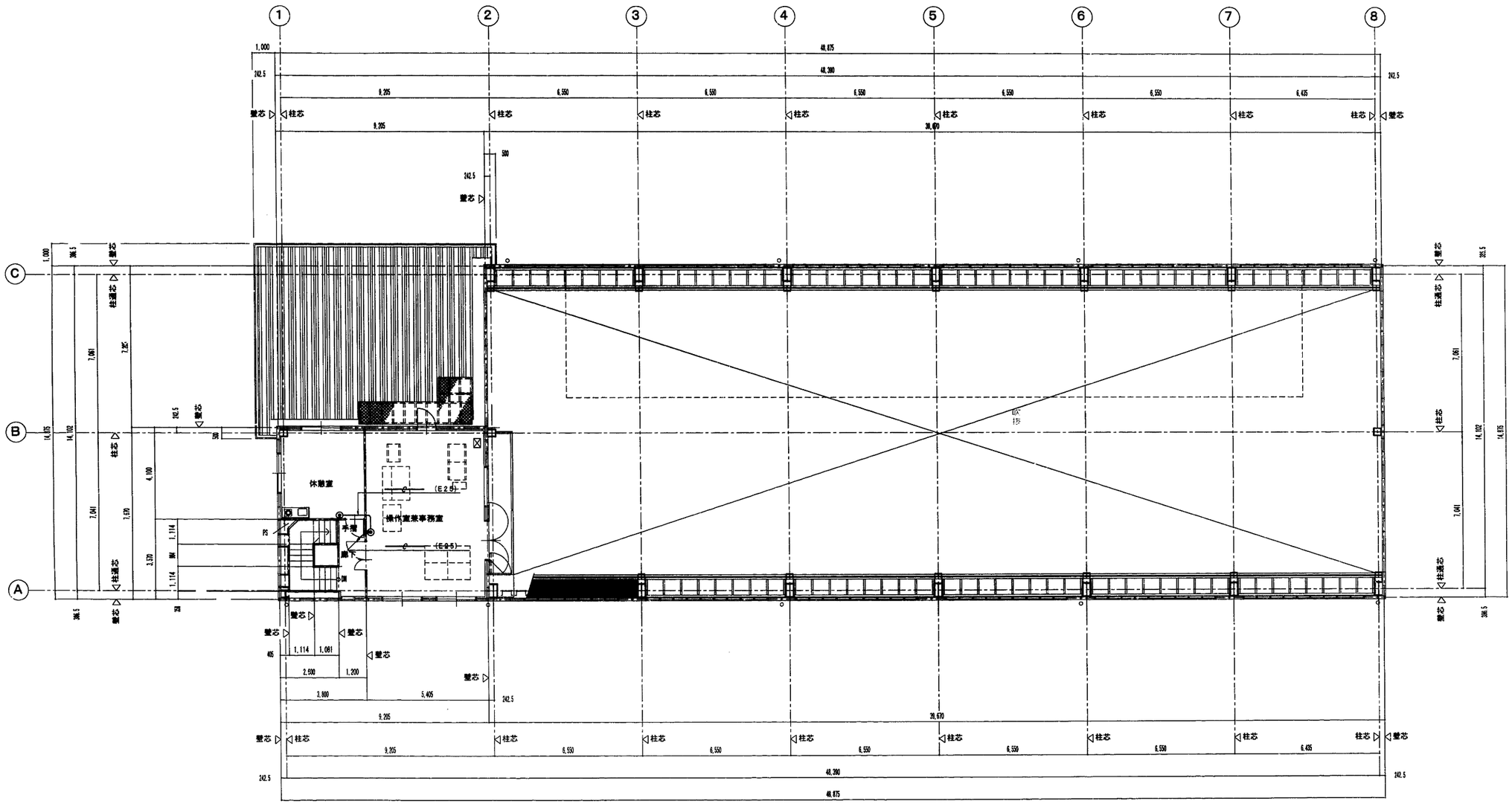


凡例

記号	名称	備考
▭	MDF	
◉	電話用モジュラージャック	6極4芯
———	配管配線　天井隠蔽	
- - - -	配管配線　地中埋設	

1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	弱電設備図(1)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-149/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	弱電設備図(2)2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-150/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

凡		例
記　号	名　称	備　考
	受信機	仕様注記参照
	機器収容箱	埋込鍵型　Ⓟ◯Ⓑ収容
Ⓟ	P型発信機	1級
◯	表示灯	AC24V，LED
Ⓑ	火災警報ベル	DC24V，10mA，ダイオード付
S	光電式スポット型感知器	2種，非蓄積型
Sc	光電式スポット型感知器	1種，自動試験機能付
	差動式スポット型感知器	2種
Ω	終端抵抗	10KΩ
	終端抵抗	地区ベル用（10KΩ）
㊀	警戒区域番号	火災表示用
㊀c	警戒区域番号	火災表示用（自動試験機能付を含む）
㊀階	警戒区域番号	火災表示用，階段用
——·——	警戒区域線	
——·——	ケーブル配線	天井いんぺい
———	配管配線	いんぺい
——·——	外線路	地中埋設
□　⊠	ジャンクション，プルボックス	
	配管配線立上げ引下げ	

［注　記］

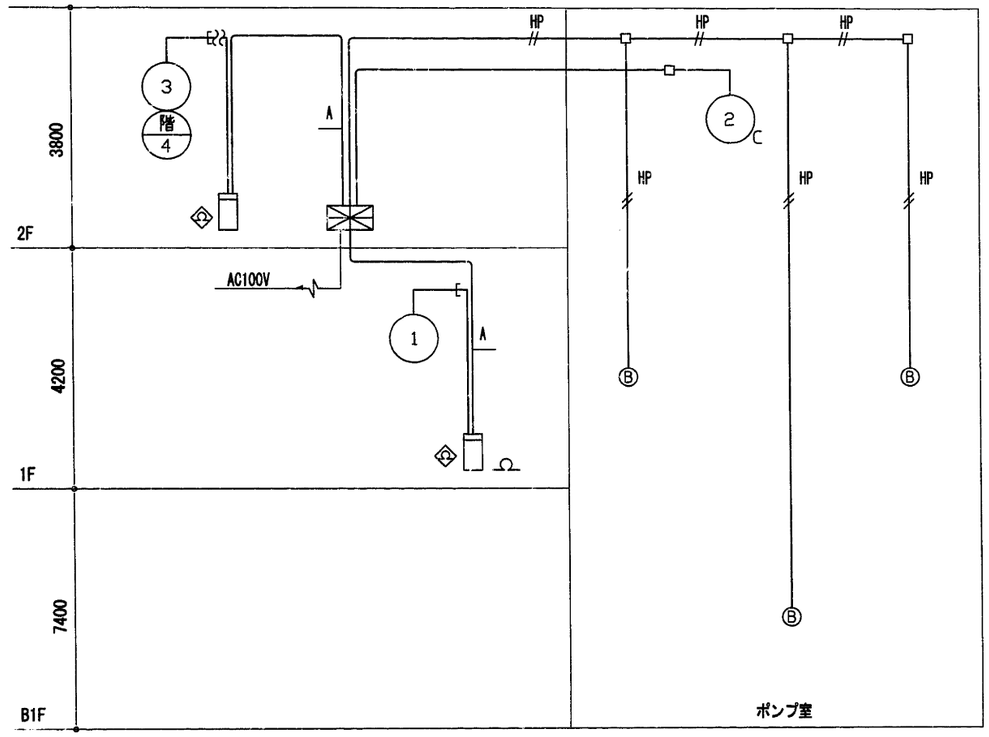
1．受信機仕様
　1）P型1級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵
　　蓄積式
　2）自動試験機能付
　3）地絡検出機能付（感知器配線の絶縁を常時監視する機能）
　4）アドレス表示付
　5）操作部の誤操作防止機能付
　6）表示内訳
　　・火災表示　　4L ＋ 6L（予備）＝　10L
　7）諸表示部（5L標準装備）

2．受信機は自動試験機能付感知器のアドレス（7セグメント）表示を可能とする。

3．感知器はすべて確認灯付とする。

4．地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。

5．特記なき配管配線は、下記とする。
　——//—— ；EM−AE1．2−2C（E19）　——·//·—— ；EM−AE1．2−2C
　——///—— ；EM−AE1．2−4C（E19）　——·///·—— ；EM−AE1．2−4C
　——HP//—— ；EM−HP1．2−2C（E19）
　EM−AE；蓄報用ケーブル
　EM−HP；耐熱ケーブル
2重天井部分はケーブルころがし配線、直天井で打ち込み配管出来ない部分は露出配管配線とする。

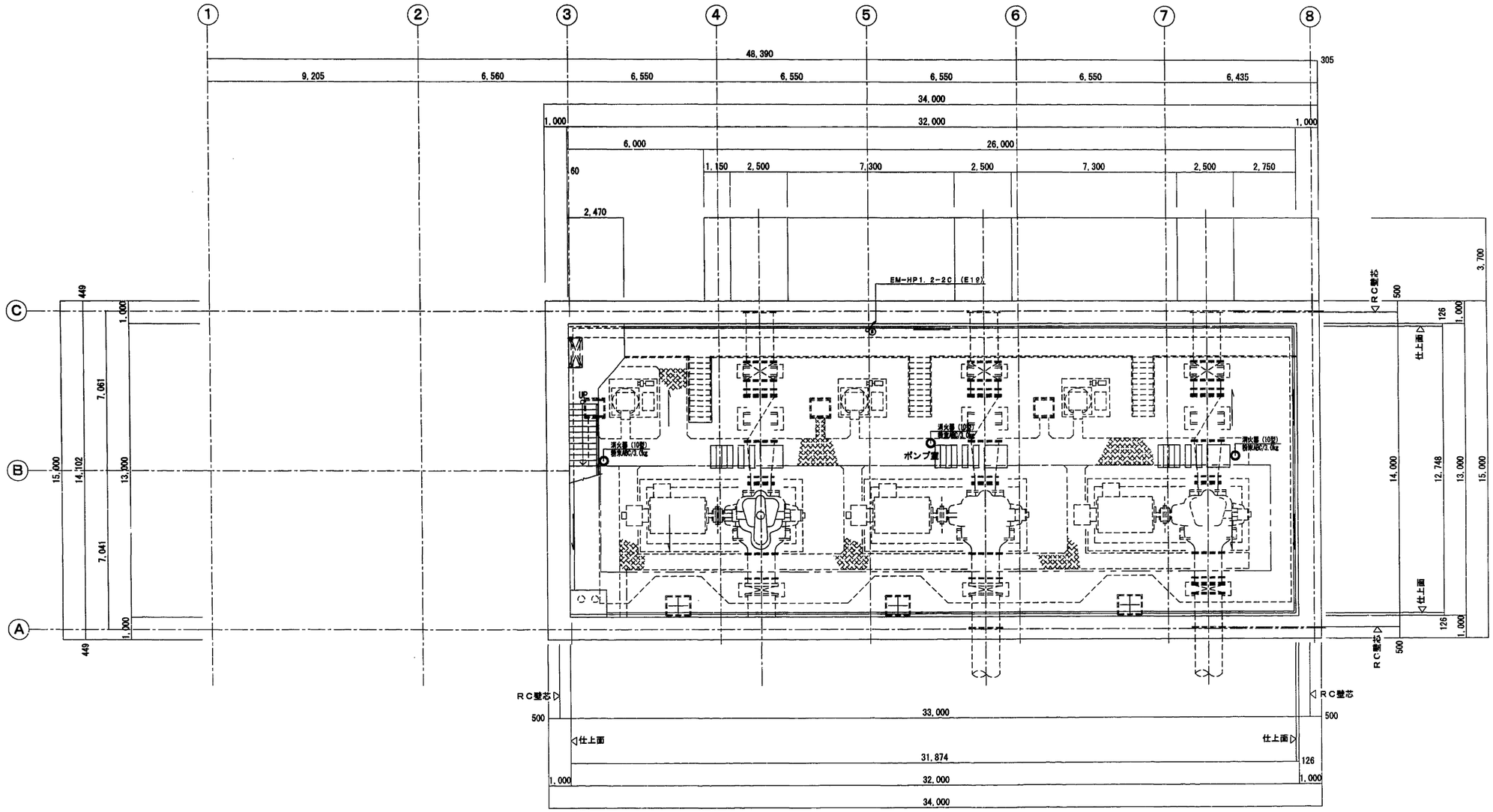


設　備　系　統　図

配管配線内訳表

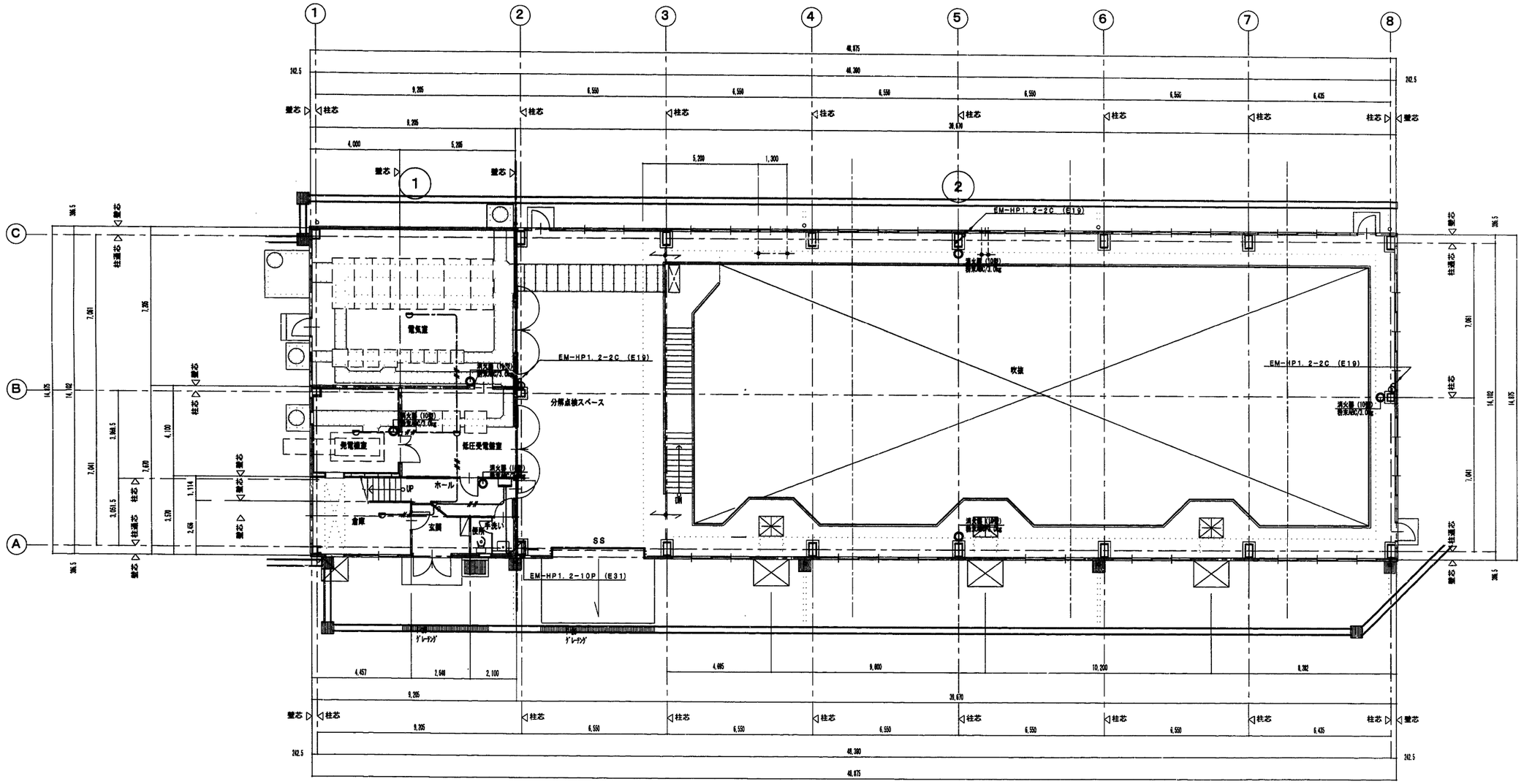
記号	配管配線内訳
A	EM−HP1．2−10P（E31）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	自動火災報知設備系統図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-151/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



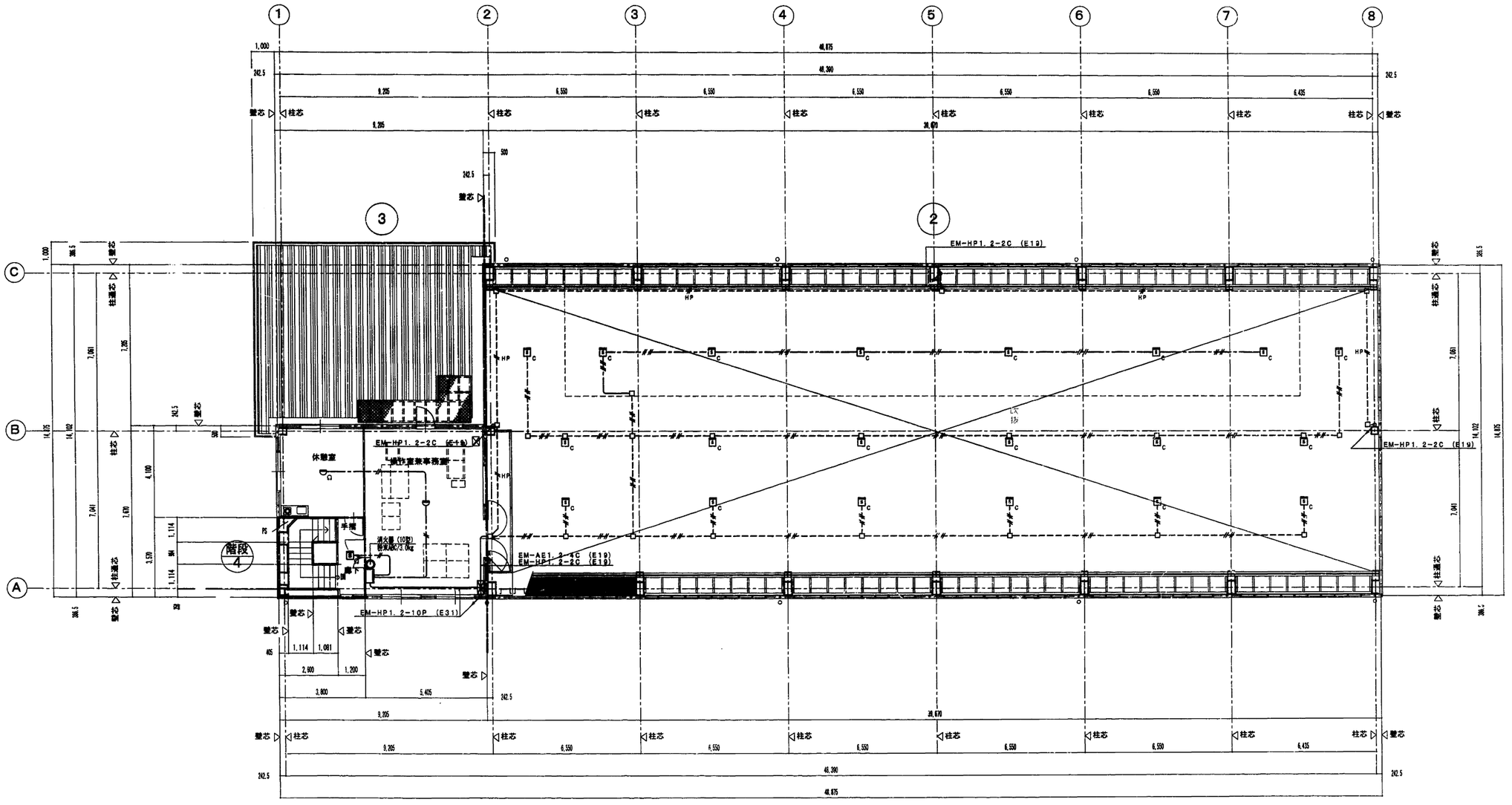
地階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	自動火災報知設備図(1)地階
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-152/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



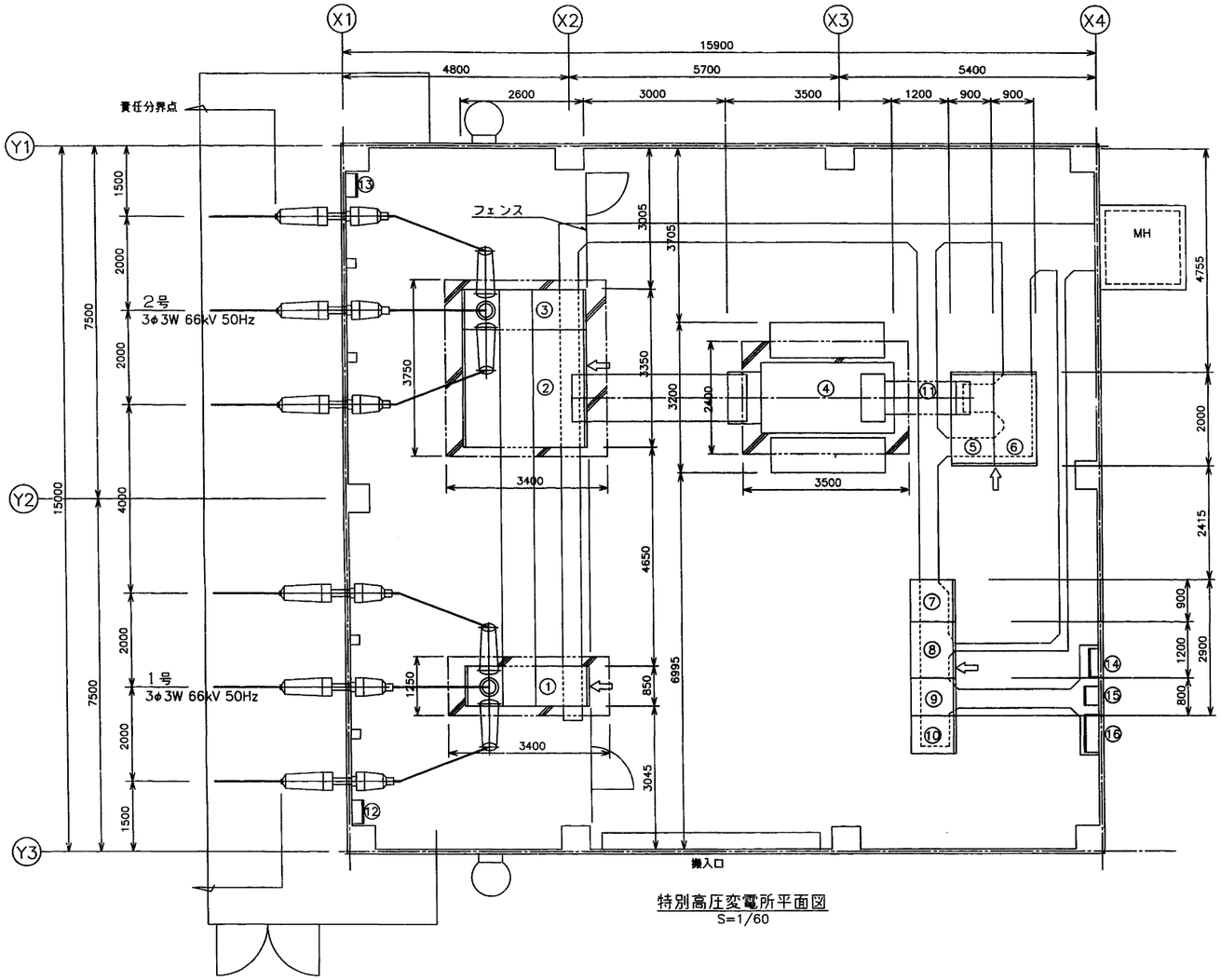
1階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	自動火災報知設備図(2)1階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-153/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



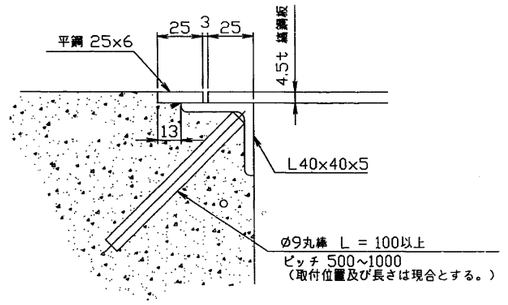
2階平面図　S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	自動火災報知設備図(3)2階		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-154/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

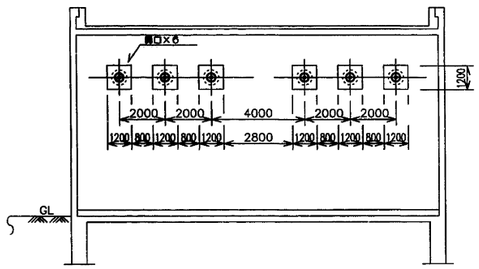


特別高圧変電所平面図
S=1/60

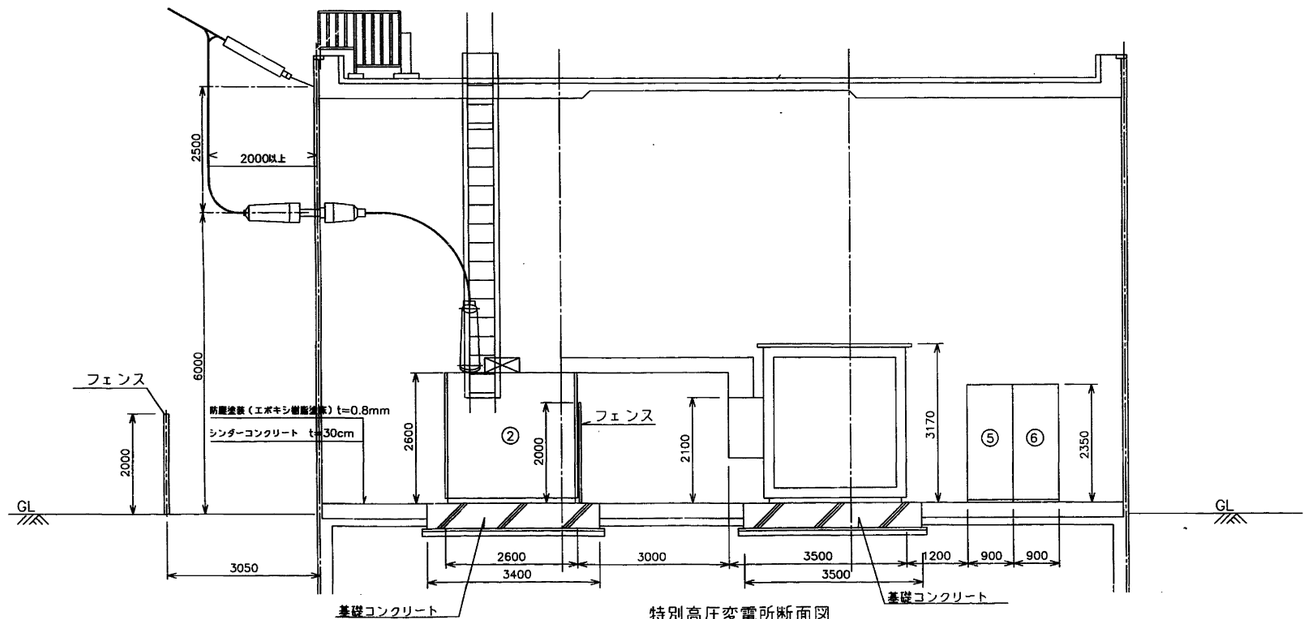
記号	名称	備考
①	常用線受電盤	
②	VCT盤	
③	予備線受電盤	
④	特高変圧器	
⑤	変圧器二次盤	
⑥	コンデンサ盤	
⑦	特高保護継電器盤	
⑧	特高監視操作盤	
⑨	特高補助継電器盤	
⑩	直流電源盤	
⑪	バスダクト	
⑫	接地端子箱－1	
⑬	接地端子箱－2	
⑭	受電計器盤	電力会社支給品
⑮	受電端末装置	〃
⑯	電灯動力盤	



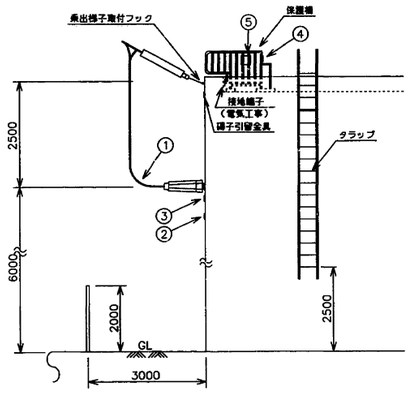
ピット蓋金具詳細図



壁貫ブッシング用穴開け図



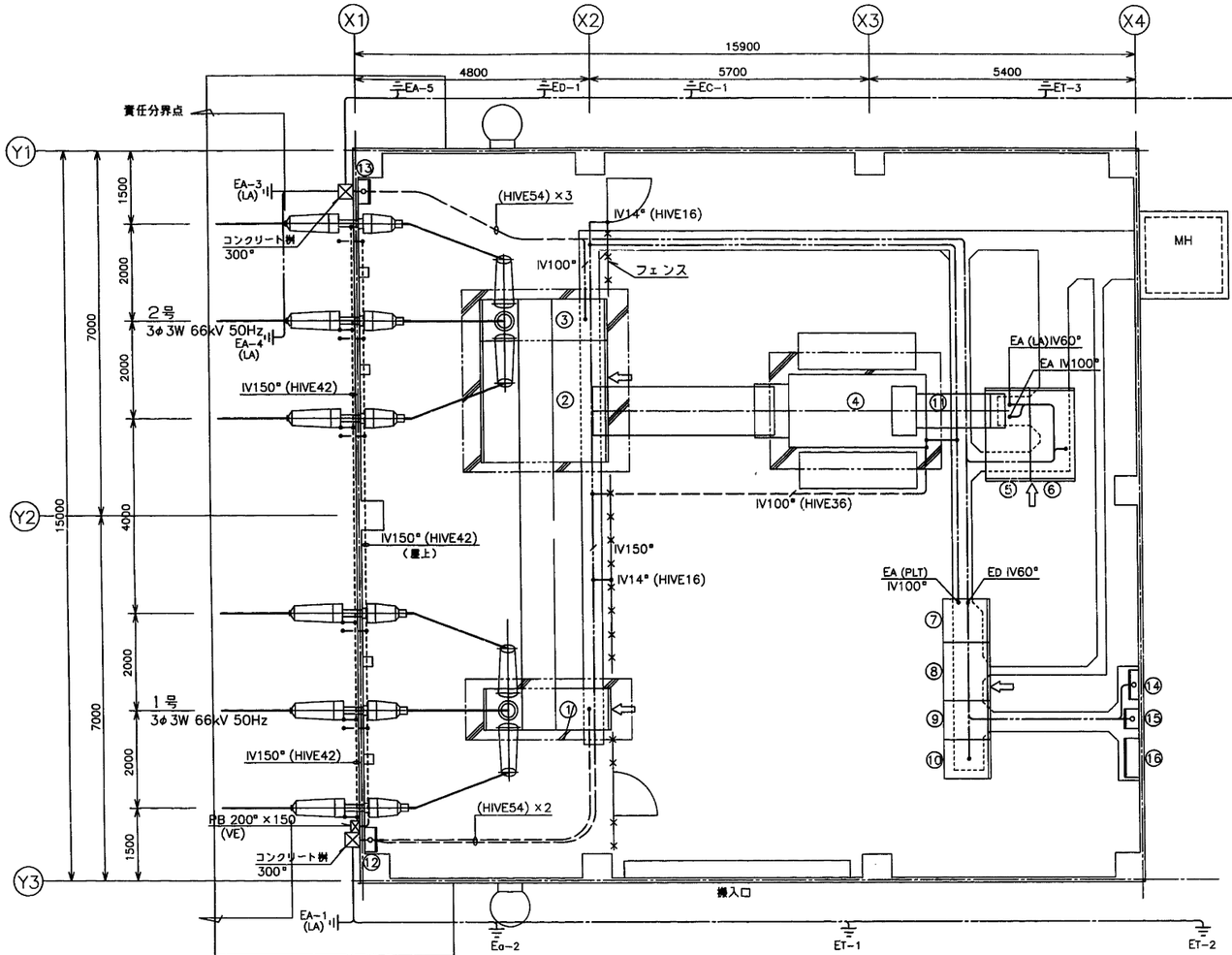
特別高圧変電所断面図
S=1/60



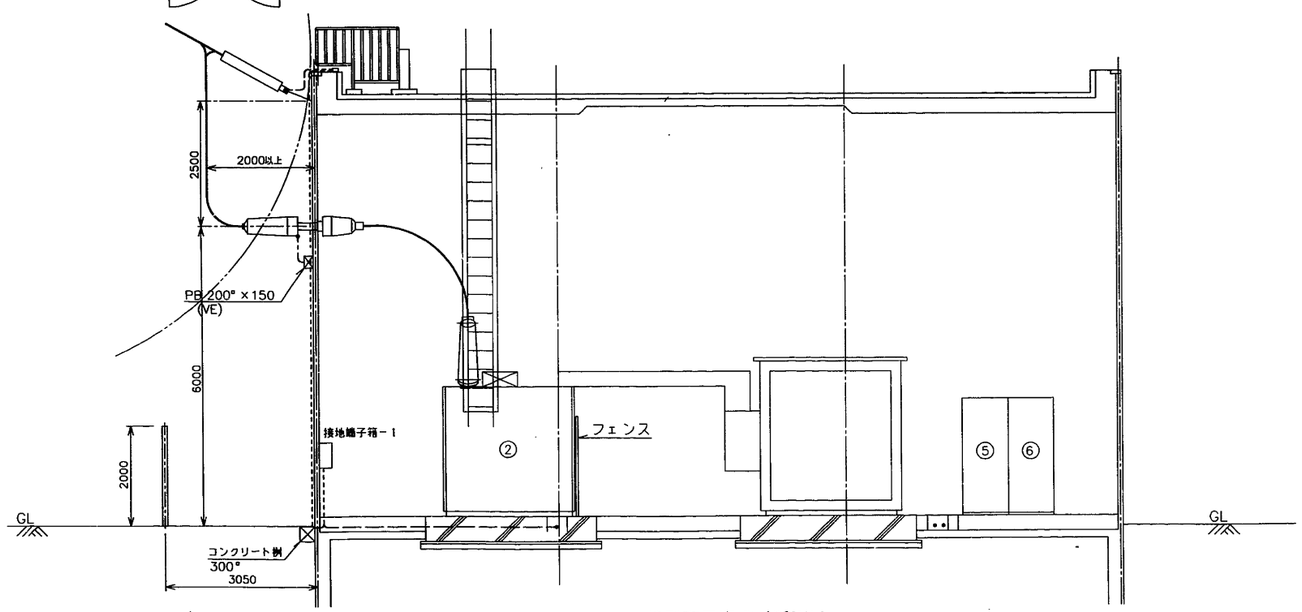
引込部壁詳細図

NO.	品名	備考
1	WB野外 端子用アダプター	
2	緑名札	
3	センス札	
4	タブレット	
5	通り抜け禁止札	

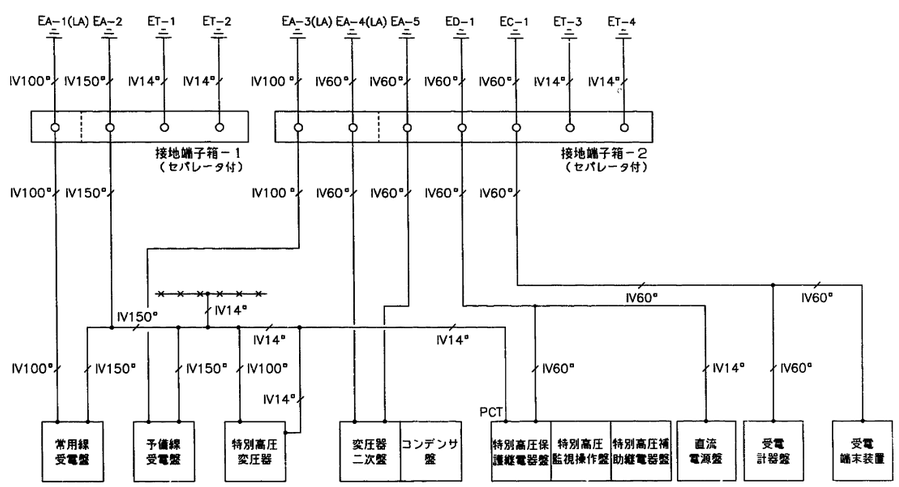
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	設備配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-155/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



特別高圧変電所平面図
S=1/60



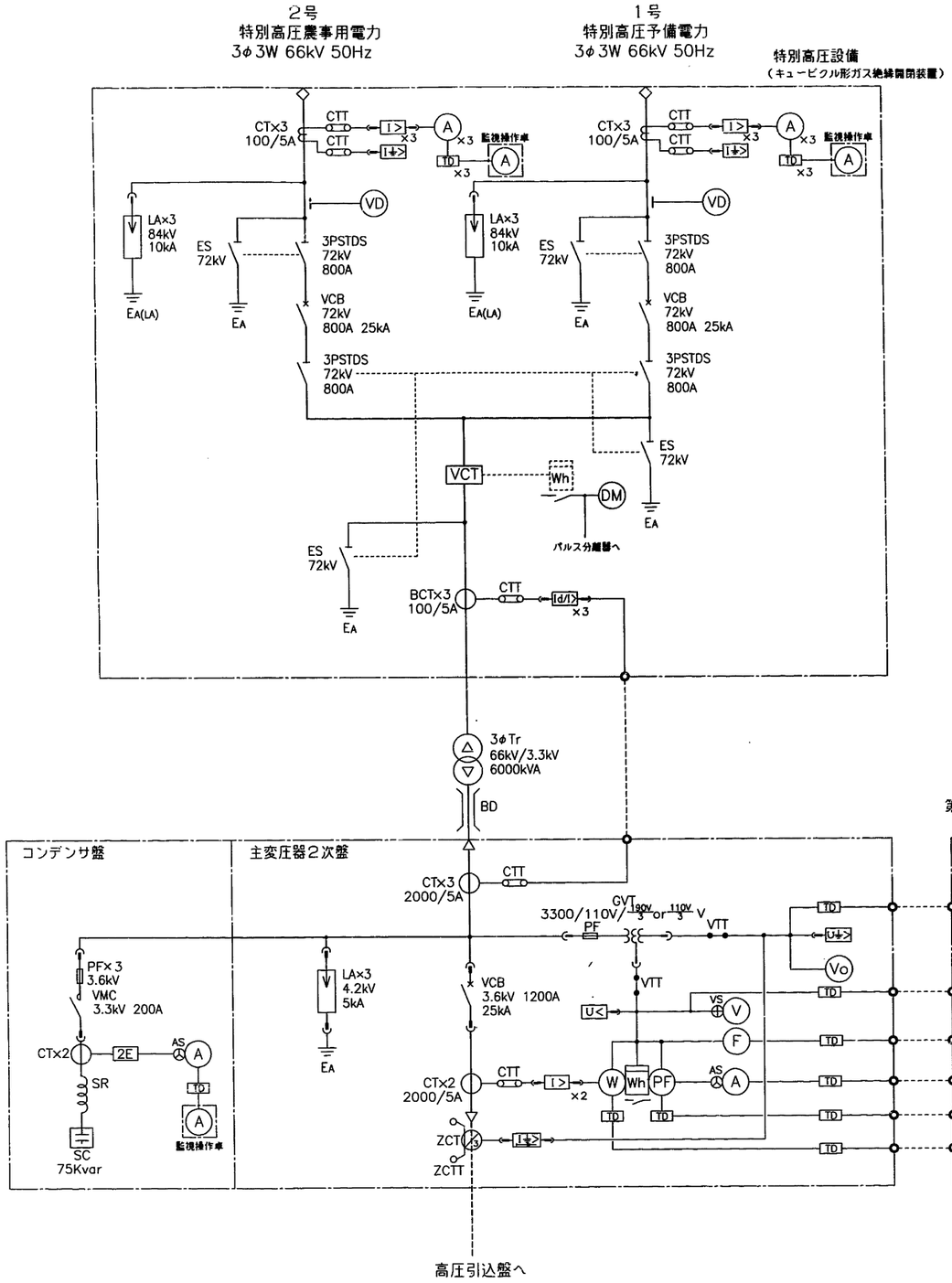
特別高圧変電所断面図



接地系統図

記号	名称	備考
①	常用線受電盤	
②	VCT盤	
③	予備線受電盤	
④	特高変圧器	
⑤	変圧器二次盤	
⑥	コンデンサ盤	
⑦	特高保護継電器盤	
⑧	特高監視操作盤	
⑨	特高補助継電器盤	
⑩	直流電源盤	
⑪	バスダクト	
⑫	接地端子箱－1（特高用）	
⑬	接地端子箱－2（高圧，低圧用）	
⑭	受電計器盤	電力会社支給品
⑮	受電端末装置	〃
⑯	電灯動力盤	

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	接地配線図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-156/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



凡例

記号	名称
(A)	電流計
(V)	電圧計
(W)	電力計
(WH)	積算電力計
(F)	周波数計
(PF)	力率計
(MDW)	最大需要電力計
(Vo)	零相電圧計
(VD)	検電器
VCB	真空遮断器
BCT	ブッシング変流器
CT	変流器
GVT	接地形計器用変圧器
VCT	計器用変圧変流器
ZCT	零相変流器
Tr	変圧器
DS	断路器
ES	接地用断路器
VS	電流計用切換開閉器
AS	電圧計用切換開閉器
LA	避雷器
PF	電力ヒューズ
TD	変換器
U<	不足電圧継電器
I>	過電流継電器
I↓>	地絡過電流継電器
U↓>	地絡過電圧継電器
I↓↓>	地絡方向継電器
2E	2要素継電器
Id/I>	比率作動継電器

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	単線結線図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-157/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第３揚水機場受変電設備室建築工事　工事設計図

仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　千葉県　山武市　成東字八幡台　３３０３－１　他

2．敷地面積　6,344.78 m2

3．工事種目　建築工事一式

建築面積　238.50 m2
1階床面積　238.50 m2
延べ床面積　238.50 m2

4．工事範囲

※「3．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全てを図工事範囲とする。

2 仮設工事	外部・内部足場のみ
3 土工事	工事範囲全て
4 地業工事	同　上
5 鉄筋工事	同　上
6 コンクリート工事	同　上
7 鉄骨工事	同　上
8 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCパネル・押出成形セメント板工事	同　上
9 防水工事	同　上
10 石工事	対象外
11 タイル工事	同　上
12 木工事	同　上
13 屋根及びとい工事	工事範囲全て
14 金属工事	同　上
15 左官工事	同　上
16 建具工事	同　上
17 カーテンウォール工事	対象外
18 塗装工事	工事範囲全て
19 内装工事	同　上
20 ユニット及びその他の工事	同　上

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成16年版）」（以下、「標仕」という。）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、●印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）G印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	●建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　平成１３年版） ●工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・　・
	② 工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 品質計画	●建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※風速（Vo＝　38　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・(Ⅲ)　・Ⅳ） ・積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　） ・
	4 電気保安技術者	適用する　(1.3.3)
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※工事仕様書による　・構外搬出適切処理　(1.3.8)
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事：●鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事：●型枠施工 鉄骨工事：●とび ブロック・ALC'ﾊﾟﾈﾙ工事：・ブロック建築　●ALCパネル施工 防水工事：●アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業　・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業 石工事：・石材施工（石張り施工） タイル工事：・タイル張り 木工事：・建築大工 屋根及びとい工事：・建築板金（内外装板金作業） 金属工事：・内装仕上げ施工（開製下地工事作業） 左官工事：●左官 建具工事：●サッシ施工　●ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事：・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事：●塗装（建築塗装作業） 内装工事：・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業） 植栽工事：・造園
	11 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・ 報告の様式等については、監督員の指示による。
	⑫ 完成図等	(1.7.1～3)（表1.7.1） ※作成する　・作成しない ※完成図　提出部数　2　部（A3版等2原図及び電子媒体(CD-R)） ※施工計画書　提出部数　2　部 ※施工図　提出部数　2　部 ※保全に関する資料　提出部数　2　部
	⑬ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影者の保管とする。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ（mm） ●カラー　※キャビネ版　※ペたん　／　外部（４）内部（２）　／　２部　／　※100×125以上 ・カラー半切木製パネル　324×400(mm)　／　外部（　）内部（　）　／　・ ・電子データ　／　外部（　）内部（　）　／　・　／　※200dpi/inch以上 ・　／　外部（　）内部（　）　／　・ 100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめペたん焼を提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による
2 仮設工事	① 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は工事仕様書による　(2.3.1)
	② 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・A種　※B種　・C種　・D種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土 5
	② 建設発生土の処理	(3.2.5) ※工事仕様書による　・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にだい積　・構内指示の場所に敷き均し
4 地業工事	① 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.1～2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 ・ 杭径（mm）／杭長（m）及び種別／継手数／セット数／備考 試験杭　500　上杭7m（B種）＋下11m（A種）　1　1 本杭　500　上杭7m（B種）＋下11m（A種）　1　9 600　上杭7m（A種）＋下11m（A種）　1　4 杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.7) 先端部形状　●閉塞形　・開そく平たん形　(4.3.2) 杭の継手　建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。　(4.3.6) 施工法　(4.3.3～5) ●特定埋込み杭工法 工法　・プレボーリング拡大根固め工法　●中堀拡大根固め工法 H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 杭周固定液　・使用する ・打込み工法 セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1)（表5.2.1） 種類の記号 ／ 呼び名（mm） ●SD295A　※D16以下　・ ●SD345　※D19以上　・
	② 鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
	③ 鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ●耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 ／ 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ●柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面　※１０　・ ・
	④ 既製コンクリート杭の杭頭補強	・A形　・B形　※図示　(5.3.1)（別1.1）
	5 最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別2.1)
	⑥ 帯筋	※H形（口は除く）　・　(別2.2)
	7 壁開口部の補強	一般壁　・A形　※B形　・図示　(別4.2)（別表4.3～4） 耐震壁　※図示
	8 梁貫通孔の補強形式	※H形　・MH形　・M形　(別7.1)（別表7.1～3）
	9 機械吊上げ用フック	・A種　・B種　・C種　（　　ヶ所）　(別7.3)
	⑩ 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　●引張試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	① 普通コンクリートの設計基準強度	(6.1.4) 設計基準強度Fc（N/mm²） ／ 施工箇所 ※21　／　建物躯体 ・18　／ ・　／
	② レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.1.5)（6.4.1～2）（表6.1.1）
	③ スランプ	工作物のスランプ　１５又は１８cm　(6.2.3)
	④ セメントの種類	(6.3.2)（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1） ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ●高炉セメントB種 G（・　） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱：7d　352J/g以下；28d　402J/g以下
	⑤ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.3)（6.5.4） ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下）
	⑥ 混和材料	※混和剤　・混和材　(6.3.5)（6.4.8）
	⑦ 無筋コンクリート	設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.3)
	⑧ コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※20mm　・ ※施工範囲は図示による。
	9 断熱材兼用型枠	適用及び適用箇所について 19章内装工事14断熱材による。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	特記仕様書(1／5)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-158/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

7 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場　(7.1.3)

製作工場の加工能力

⊙監督職員の承認する製作工場

・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（M）グレード」として国土交通大臣から指定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件

適用箇所　・図示　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

※図示　・

② 施工管理技術者　(7.1.4)

適用する

③ 鋼材　(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)

鋼材の材質

種類の記号	使用箇所	規格等
SN400	柱・大梁	※ＪＩＳ規格による
SS400	小梁	※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

④ スカラップ　改良型スカラップ

⑤ エンドタブ　鋼製エンドタブ

切断する箇所（　　）

⑥ 高力ボルト　(7.2.2)(7.12.4)

※トルシア形高力ボルト　・ＪＩＳ形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト

⑦ 溶接部の試験　AOQL　※4.0%　・2.5%　(7.6.11)

検査水準　※第6水準　・図示　(7.6.11)(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※様仕7.6.11(b)による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

⑧ 耐火被覆　(7.9.2～6)

種　別		所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

⑨ アンカーボルトの保持及び埋込み工法　⊙構造用アンカーボルト　（※図示　・　）

・鉄骨用アンカーボルト　（・A種　※B種　・C種）　(7.10.3)(表7.10.1)

⑩ 柱底均しモルタル工法　※A種　・B種　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各質量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1
無収縮モルタルの品質及び試験方法	
コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2．0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25．0N／mm²以上 材齢28日　45．0N／mm²以上
付着強度	材齢28日　3．0N／mm²以上
塩化物量	0．30kg／m³以下
試験方法	1）日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。 2）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

⑪ 溶融亜鉛めっき工法　(7.12.3)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	溶通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

① 補強コンクリートブロック造　※空洞ブロック16　・空洞ブロック16－W　(8.2.2)

② コンクリートブロック帳壁及び塀　※様仕表8.3.1及び下表による　(8.3.2)

適用箇所			厚さ（mm）
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁			・
・塀	高さ	2m以下	・120
		2mを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック			・100 ・

③ ALCパネル　(8.4.2～6)(表8.4.3,4)

種　類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法種別
⊙外壁パネル	・1180　⊙960	※100　・	・A種　・B種　⊙C種
・間仕切壁パネル		※100　・	・B種　・C種　・D種 ・E種
・屋根パネル	・980	※100　・	※様仕8.4.6による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	

・床パネルの耐火性能（・1時間　・2時間）

④ 押出成形セメント板（ECP）　(8.5.2～5)(表8.5.1、2)

種類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・外壁パネル	※F　・F－R			・A種 ・B種
	・D　・D－R			
	・T　・T－R			
・間仕切パネル	※F　・F－R			・B種 ・C種
	・D　・D－R			
	・T　・T－R			

耐火性能　・有り（　　）

・無し

9 防水工事

① アスファルト防水　(9.2.2～3)(表9.2.3～8)

種　別	施工箇所
※AI－2	
・A－2	
・D－2	
・BI－2	
⊙B　－2	

アスファルト　※3種　・4種　(9.2.2)

断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・　(9.2.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護

・乾式保護材　※押出成形セメント板（厚さ　15mm）　(9.2.5)

⊙コンクリート押え

② 改質アスファルトシート防水　(9.3.2～4)(表9.3.1)

種　別	・AS－1　・AS－2	厚　さ	（　）
施工箇所	・		

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2、3)(表9.4.1)

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S－F1	※1.2　・		・シルバー	※非歩行
・S－F2	※2.0　・		・カラー	・軽歩行
・S－M1	※1.5　・			
・S－M2	※1.5　・			
・S－M3	※1.2　・			

④ 塗膜防水　(9.5.2、3)(表9.5.1、2)

種　別	施工箇所	備　考
・X－1		仕上げ塗料塗り ・シルバー ・カラー
・X－2		
・Y－1	地下外壁防水	Y－2工法の保護シート
・Y－2		※適用する　・適用しない

脱気装置

・設ける　材質（　　）　設置数量（　　m²当たり1箇所）

⑤ シーリング　下表以外は、様仕表9.6.1による　(9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC取り合い・サッシ廻り	PU－2

10 石工事

1 天然石張り　石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1～2)

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)(表10.2.2)

表面仕上げ　※本磨き　・

形状・寸法　※図示

3 壁の石張り工法　外壁石張り　(10.3.2～3)(10.5.2～3)

工法

・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）

・乾式工法

石裏面処理　・行う（・小口共）

裏打ち処理　・行う

ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・

内壁石張り　(10.4.2～3)(10.5.2～3)

工法

・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）

・乾式工法

裏打ち処理　・行う

4 床及び階段の石張り　床石張りの裏面処理　・行う　(10.6.2)

屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 無	うわぐすり 有	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

2 張り付け用材料　既製調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(11.2.3)

3 壁タイル張りの工法　内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り　(11.3.3)(表11.3.2)

外装タイル　※密着張り　・マスク張り

躯体表面の処理　・行わない　※行う（施工範囲　※図示　・　）

躯体表面の処理方法　MCR工法又は目荒し工法（6章コンクリート工事）

下地モルタル塗り　※様仕15.2.2～15.2.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）　(11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法　(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※ダイルシート法	・小口タイル	※様仕6.9.3【材料】(b)(2)又は 金属製タイル先付け用パネル ・
・目地横工法	・二丁掛タイル	
・桟木法	大型タイル	

12 木工事

1 木材の品質　※様仕12.2.1　・市販品　(12.2.1)

・保存処理木材を適用する箇所（　　）

2 樹種　※様仕表12.2.3による　(12.2.1)(表12.2.3)

・代用樹種を適用しない箇所（　　）

3 集成材等 G　(12.2.2)

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	※1級　2級	・	
・造作用集成材	※1等　2等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

4 接着剤　接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。　(12.2.6)

ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という、）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外　・第三種

5 防腐・防蟻処理　行う箇所（　　）　(12.2.9)

防腐処理　※行う（※図示　・　）

防蟻処理　・行う（※図示　・　）

防腐、防蟻処理の種類、品質

表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

6 床板張り　フローリング及び縁甲板張り床　(12.7.1)(表12.7.1)

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（様仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺　(13.2.2～3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・	※0.4 ・

2 折板葺　(13.3.2～3)(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）山ピッチ（　）板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別：　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

③ とい

材　種　※配管用鋼管　⊙塗覆塩化ビニル管　(13.5.2)(表13.5.1)

・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) S

・ステンレス鋼管

鋼管製といの防露　※様仕表13.6.5による　(13.5.3)(表13.5.5)

防露材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

掃除口　※有り　・無し

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	特記仕様書（2／5）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-159/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

14 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種　類	施工箇所
※HL程度	下記以外の見え掛かり全て
・No.2B程度	
・鏡面仕上げ	
・	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種　別	施工箇所
・B－1種（無着色）	
⊙B－2種（・ブラウン系　・ブラック　⊙ステンカラー）	
・	

3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・B-1種 ・B-2種（　）
・パネル形	※プレス ・				

枠廻調整縁手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）

5 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備　考
・250形	1.6以上	※A-1又は B-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上	・B-2種 （　）		
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

⑥ 手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2、3)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度　・鏡面程度　・
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※C種　・ 内部　※E種　・
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※C種 ・

15 左官工事

① モルタル塗り材料 (15.2.2)

吸水調整材

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）

防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント量の5%以下	ＪＩＳＲ5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび割れおよびそりがないこと。

② 床コンクリートの直均し仕上げ (15.3.1、2)(表6.2.4)

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7以下	

③ 仕上塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・
	・外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状　・さざ波形　・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材Ｓｉ	・
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性　※3種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	⊙複層塗材E	溶剤　※水系　・溶剤系
	※複層塗材RE	樹脂　※アクリル系
	・複層塗材RS	・
	・防水形複層塗材CE	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

16 建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の板組（建具符号：　）(16.1.4)(16.1.4)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
⊙A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示
・B種	S－5	・	・	・	
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理　※B－1種　・B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）(表14.2.1)

屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種 (表14.2.1)
・C－2種又はB－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

3 網戸
防虫網 (16.2.3)
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

④ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.3.2)(表16.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用あり

5 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.4.2)

6 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL程度　・鏡面仕上げ　・ (16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)
特定防火設備の戸　・適用あり (表16.5.1)

7 自動ドア開閉装置 (16.8.2、3)(表16.8.1)(表16.8.3)

開閉方法	センサの種類	
※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

8 自閉式上吊り引戸装置
品質規格　※標仕表16.9.1による (16.9.2.3)
・製造所標準仕様による

9 木製建具
かまち戸の枠種　かまち（　）　鏡板（　） (16.6.2)
ふすまの上張り (表16.6.3)
※断鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.6.2)
※規制対象外　・第三種

⑩ 建具用金物
マスターキー　※製作する　・製作しない (16.7.4)
建具用金物 (16.3.6)(16.4.6)
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける (16.7.2)
吊金物
⊙丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

⑪ ガラス
※建具表による (16.13.2)(16.13.5)
・ガラスブロック

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形 ・長方形	・	・	※クリア	※無し ・有り

⑫ ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 (16.13.2)(表9.6.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)
標仕16.13.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」による値か、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

⑬ ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質　JIS A5759による

⑭ 重量シャッター (16.10.2)

シャッターの種類	
⊙一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない (16.10.2)

16 建具工事

15 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） (16.11.2)(表16.11.1)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板 (16.11.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 (16.11.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5㎜） (表16.11.2)
耐風圧性能　（　）N/㎡

16 オーバーヘッドドア (16.12.2~3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

耐風圧性能　（　）N/㎡

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料 (9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

被覆体の組合せ		シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	ろ、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない (17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示　）
断熱材　※適用しない (17.2.2)
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所 ※図示 ）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)

種　別	色彩等
・A－1種　・B－1種	無着色
・A－2種　・B－2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　）焼付け方法（　）コート（　）ベーク

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20㎜以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度　水平方向（K_H）　※1.0　・
垂直方向（K_V）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W－4　・W－5　・ (17.1.3)
気密性　・A－3　・A－4　・ (17.1.3)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：図示）
換気調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける

17 カーテンウォール工事

2 PCカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC版打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・
・	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所 ※図示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
耐震性能 (17.1.3)
設計用震度　水平方向（K_H）　※1.0　・
垂直方向（K_V）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	

18 塗装工事

1 材料
屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

2 素地ごしらえ
亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別 (18.2.4)(表18.2.3)(表18.3.4)

種　別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 (18.2.7)(表18.2.7)
種別　※B種　・A種（施工箇所：　）

3 床用塗料塗り
材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする

4 防塵用塗料塗り
材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m 以上とする。

⑤ 鉄部塗料塗り
合成樹脂調合ペイント　2種　（ＪＩＳ　Ｋ　5516）
品質　ＪＩＳ　K5516　による

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	特記仕様書（3／5）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-160/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

19 内装工事

1 接着剤

(19.2.2)(19.3.3)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。

2 ビニル床シート張り

(19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	
・			
・			

工法　※熱溶着工法　・突付け(施工箇所:　　)　(19.2.3)

3 ビニル床タイル張り

(19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

4 帯電防止床タイル張り

(19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	$1.0\times10^{9}\Omega$以下、または、
・	・	漏えい抵抗値(JIS A1454による)
・	・	$1.0\times10^{10}\Omega$未満

5 ビニル幅木

高さ(mm)　※60　・75　(19.2.2)

6 カーペット敷き

・織じゅうたん　(19.3.3、4)(表19.3.1~2)

種別	パイル形状	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物(標準品)	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　(19.3.3、4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5~7 ・	※全面接着工法	
・ループパイル	※4~6 ・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4 ・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　(19.3.3、表19.3.2)

パイル形状	種類	種類	縫厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット・ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下(フリーアクセスフロア敷設範囲)

⑦ 合成樹脂塗床(別途工事)

(19.4.2、3)(表19.4.1~7)

種別	仕上げの種類
ⓔ弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑　・防滑) ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　(19.4.2)
※規制対象外　・第三種

8 フローリング張り

(19.5.2~7)(表19.5.1~4)

種別	樹種	工法	仕上げ塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら ・ひのき	※釘どめ工法(C種)	※塗装品 ・無塗装品	
・	・	・	・	
・	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.5.2)

9 量敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

下地の種類	量の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種 ・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種 ・

量敷及び量床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材

量下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

11 せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW G	・15　・20　・25　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(無石綿)(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(不燃)・12　・　) ・凹凸タイプ(※12(不燃)・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	DR、DR(凹凸) DR軒天、DR軒天凹り	※フラットタイプ9((個)不燃) ・凹凸タイプ(※12・15)((個)不燃)
・せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	12.5(不燃)　15.0(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-W	12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目・板目)専用下地材付き
・難燃合板	G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(しな合板程度)
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ12
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	G	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード(素地)	HB G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード	IB G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　(19.7.2)(表9.6.1)
※適用する　・適用しない

12 吸音材

(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　・

13 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維織物	プラスチック	その他	無機質	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(表18.2.4)(表18.2.7)
モルタル、プラスター面　※B種　・A種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※B種　・A種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.8.2)

14 断熱材

(19.9.2~3)

部類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部 ・	※25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分 ・	※25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部 ・	※15 ・	
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁(図示の範囲) ・	※40以下 ・	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 ($m^2\cdot k/w$)
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

15 浴室天井材

巾販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は縁付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・置構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・置構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・置構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	

耐震性能5000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの個所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口:パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20~30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　:施工箇所は図示)

2 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の縦厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり (　) ・なし	・あり ・なし

3 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

4 トイレブース

表面仕上げ材　(20.2.5)
※メラミン樹脂系化粧板(標準色　アルミ製コーナーエッジ付き)
・ポリエステル樹脂系化粧板
・足金物型
足形状　※幅木型　・足金物型

5 階段滑止め

材種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

6 階段手すり

種別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ(巾販品　径　※945mm)	
・ビニル製ハンドレール(幅　約50mm)	

7 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

8 鏡

寸法(mm)　・図示　・
厚さ(mm)　※5　・　(20.2.9)

9 表示

(20.2.10)
衝突防止表示
※図示(巾販品　※ステンレス製　径約30mm　・　)
(・両面　・片面)
・無し
表示標識　案内用図記号については、JIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は巾販品とし、その他は共通詳細図による。

10 煙突ライニング

(20.2.11)
・煙突用成形ライニング材
最高使用温度　・650℃　・400℃
・キャスタブル耐火材
工法　※こて押さえ
最高使用温度　※400℃

11 ブラインド

(20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12 ロールスクリーン

防炎性能　※有り　(20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	備考
	・	・	
	・	・	
	・	・	

13 カーテン

(20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

14 カーテンレール

材種　※アルミニウム製　・ステンレス製　(20.2.14)
形式　・片引き　・引分け(※婦人用は300mm以上の召合せの重掛けとする)

15 ブラインドボックス及びカーテンボックス

・巾販品(アルミニウム製　押出し型材)
寸法(mm)　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※B-1　・B-2(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
・図示

16 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目地	内装(幅×深さ)	外装(幅×深さ)
目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)
目地寸法(mm)	※20×10　・	※20×10　・

17 止水板

形状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸法
製造所

18 天井点検口

材質　アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)

19 床点検口

材質　アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)

20 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S1040の規格による	※1種　・2種　・3種

㉑ かさ箱

巾販品
形式　ⓞ30組用　・60組用　・120組用　・

22 くつふきマット

巾販品
材質　・塩化ビニル製(コイル状　ステンレス製受枠)　・ビニル製(ステンレス製受枠)
・硬質アルミニウム製(受枠とも)　・ステンレス製(受枠とも)

23 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品(セクショナルキッチンⅠ型)
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	
・つり戸棚	※1200　・900　・600	・	
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※巾販品

24 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600

26 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・単入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※図示(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置(壁込型)

27 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材

ブロックパターンはJIS T 9251による　(19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル(※300　・　)
・レジンコンクリート製
屋外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル(※300　・　)

28 旗竿

材質　※アルミニウム合金製
形式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ(m)　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29 旗竿受金物

材種　ステンレス製SUS304

㉚ フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
ⓣ樹脂コートメッシュフェンス

31 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所

32 車止め支柱

※ステンレス製(上下式鎖内蔵型)　径114.3mm　t=2.5mm　H=GL+700mm
※スプリング付　・スプリング無し
・

33 収納家具

材質
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34 エキスパンション・ジョイント金物

材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・
耐火性能　・有り(　　)　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

21 排水工事

1 排水管

排水管用材料　(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材種	管の種類	管形状(接合方法)
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種　・2種)	日形(ゴム接合)
・硬質塩化ビニル管	※VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・REP-VU G	

車道部の排水管の敷設　(21.3.1)(21.3.3)
※図示
・砂基礎(地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類)

2 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　(21.2.2)

種類	適用荷重
・水封形　・密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-　2用
・簡易気密形(パッキン式)　・中ふた付密閉形	・T-　6用
	・T-14用
	・T-20用

グレーチングふた　(21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メッシュピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※縞目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・桝ふた用	・T-　2用	※普通目	※平形
	ボルト固定	・かさ上げ用	・T-　6用		
	※無し	・U字溝用	・T-14用	・縞目	・凹凸形
	・図示		・T-20用		

3 埋桝

※B種　・　(21.2.3)(表3.2.1)

4 浸透管及び浸透桝

製造所

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	特記仕様書(4/5)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-161/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

22 舗装工事

1 盛り土に用いる材料　・A種　※B種　・C種　・D種　(22.2.3)(表3.2.1)

2 遮断層及び凍上抑制層の材料　(22.2.2～3)
- 遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・　厚さは図示
- 凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂　厚さは図示

3 路床安定処理　※添加材料による安定処理　(22.2.2～3)(表22.2.2)
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/m³（目標CBR　※5以上　・　　）

4 路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　(22.2.5)

5 路床締固め度の試験　※行う　(22.2.5)

⑥ 路盤材料G　※再生クラッシャラン（RC－40）　(22.3.3)
・クラッシャラン（C－40）又はクラッシャランスラグ（CS－40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

⑦ アスファルト舗装　(22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（骸成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルトG　・ストレートアスファルト　(22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)(表22.4.6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F）
	・細粒度アスファルト混合物（13）	・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　）　(22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)

8 コンクリート舗装　早強セメント　※使用しない　・使用する　(22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ　〈表22.5.3〉(表22.5.3)
溶接金網　※有り　・無し　(22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う　(22.5.6)

9 透水性舗装　アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.6.6)(22.4.6)

10 排水性舗装　アスファルト混合物　(22.7.3)(表22.7.2)
・改質アスファルトⅠ型　※改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類　(22.7.3)(表22.7.3)

適用時期	種類
下記以外	PKR－T1
冬期	PKR－T2

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.7.6)

11 ブロック系舗装　・コンクリート平板舗装　(22.8.2～3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N）　・カラー平板（C） ・洗出平板（W）　・擬石平板（S）	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装　(22.8.2～3)

種類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※80　・100	

インターロッキングブロック

項目		品質・性能		
材料	セメント	JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、JIS R 5211高炉ｾﾒﾝﾄ、JIS R 5212ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ、JIS R 5213ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ、白色ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。		
	混和材料	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質に有害な影響を及ぼさない。		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		
寸法許容差（mm）		長さ	幅	厚さ
普通タイプ		±3	±3	±3
透水性タイプ		±3	±3	+5～－1
植生用タイプ		±3	±3	±3
曲げ強度（N／mm²）		普通タイプ		5．0以上
		透水性タイプ		3．0以上
		植生用タイプ		4．0以上
透水係数（cm／sec）		透水性タイプ		1×10⁻²以上
圧縮強度（N／mm²）		普通タイプ		32．0以上
		透水性タイプ		17．0以上

・擬石舗装　(22.8.2～3)

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※小擬石（花こう岩）	※80～100　・	※ろろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

12 路面標示用塗料　JIS K5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種G	常温	液状	※白 ・	※150 ・	※1.0 ・	塗料組質量に対して5%以下
・1種G	加熱					
※3種1号	溶融	粉体状				

23 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備　芝及び地被類　(23.2.2～3)(表23.2.1～2)

適用	有効土層の厚さ（cm）	工法	施工範囲
※行う　・行わない	※20　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木　(23.2.2～3)(表23.2.1～2)

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工法	施工範囲
・12以上	※100　・	※A種	・乗張りの範囲
・7超～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	・C種	・図示
・3以下	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で覆土を行う。

2 補込み用土　※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土）　(23.3.2)

3 土壌改良材G　※適用する　(23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

バークたい肥
- 有機物の含有量（乾物）　：70%以上
- 炭素窒素比（C/N比）　：35以下
- 陽イオン交換容量（乾物）　：70meq/100g以上
- pH　：5.5～7.5
- 水分　：55～65%
- 幼植物試験の結果　：生育阻害その他の以上を認めない
- 窒素全量（現物）　：0.5%以上
- りん酸全量（現物）　：0.2%以下
- 加里全量（現物）　：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「全国等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の結果、害が認められないものとする
- ひ素　：0.005%以下
- カドミウム　：0.0005%以下
- 水銀　：0.0002%以下
- ニッケル　：0.03%以下
- クロム　：0.05%以下
- 鉛　：0.01%以下
- 有機物の含有量（乾物）　：35%以上
- 炭素窒素比（C/N比）　：20以下
- pH　：8.5以下
- 水分　：50%以下
- 窒素全量（現物）　：0.8%以上
- りん酸全量（現物）　：1.0%以上
- アルカリ分（現物）　：15%以下

4 支柱材　※杉の焼丸太（防伐材）G　・真竹　(23.3.2)

5 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23.3.2)

6 芝張り　種類　・こうらい芝　・野芝　(23.4.2)

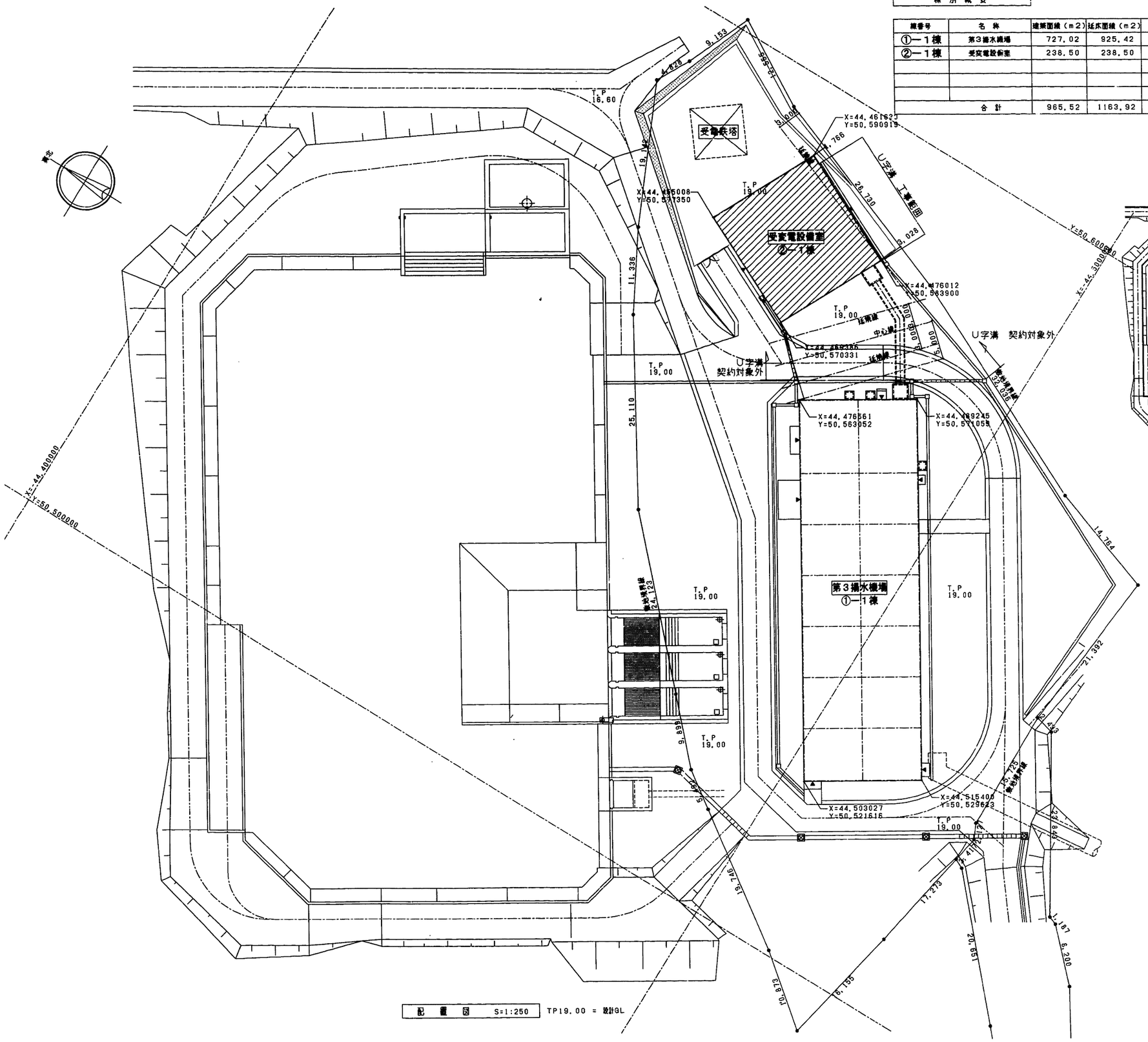
7 建築物緑化　※屋上緑化システム G
管理方法による区分　・省管理型
- 質量の上限値　（　　）kg/㎡
- かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
- 透水層、保水層及び排水層等
  保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能　：2401/㎡・h以上
- 耐荷重性能
  省管理型：3×10N/㎡以上の載荷重で異常のないこと。
- 耐根層の材料
  合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
- 植込み用土　製造所の仕様による
- 植栽の種類　製造所の指定するものとする

管理方法による区分　・管理型

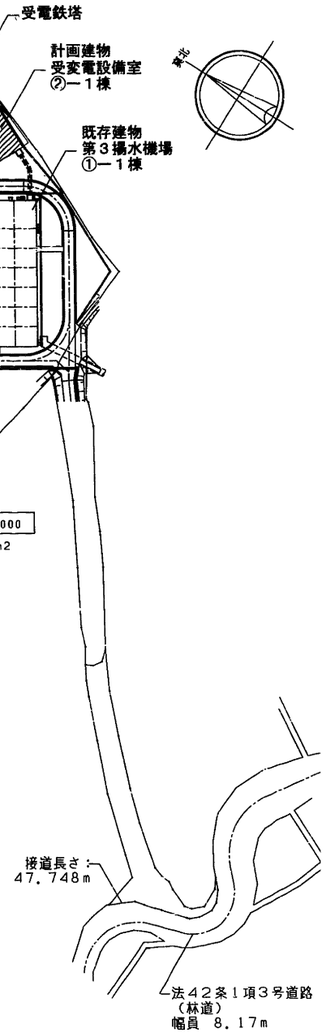
施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	特記仕様書（5／5）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-162/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

棟別概要

棟番号	名称	建築面積(m2)	延床面積(m2)	構造	階	備考
①－1棟	第3揚水機場	727.02	925.42	S造(地下:RC造)	地上2階・地下1階	既存建物 確認番号 第H16計画建築千葉県000032号 平成17年2月25日
②－1棟	受変電設備室	238.50	238.50	S造	地上1階	計画建物
合計		965.52	1163.92			



配置図 S=1:250 TP19.00 = 設計GL



全体配置図 S=1:1000

敷地面積 : 6,344.78m2

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-163/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

1. 工事名称

工事名称	第３揚水機場受変電設備室建築工事
建設地	千葉県　山武市　成東字八幡台　3303－1　他
主要用途	（08990）受変電設備室
工事種別	（新築）増築・別棟増築・改修・改修（大規模の修繕）・室内装飾・用途変更（大規模の模様替）・仮設建築・解体・移設 移転・その他（　　）

建 築 主	
住所・氏名	千葉県　東金市　松之郷　2333 関東農政局　両総農業水利事業所長　市野　吉造
	〒283-0005　電話　0475-52-6262番
工　期	着工　平成18年　6月　　竣工　平成18年10月

2. 敷地状況

敷地面積	公簿面積　＊，＊＊＊．＊＊ m²（＝　＊，＊＊＊．＊＊ 坪） 実測面積　6，344．78 m²（＝　1，919．67 坪）
用途地域	低層住居専用（第　種）・中高層住居専用（第　種）・住居（第　種）・準住居 近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用・（指定なし）・その他（　　）
防火地域	防火・準防火・（指定なし）・特定行政庁の指定地域（法第22条区域）
その他の地域地区	（都市計画区域内）（市街化区域・市街化調整区域・区域区分非設定）・準都市計画区域・都市計画区域及び準都市計画区域外 特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区・文教地区（第　種）・風致地区（第　種）・高度地区（第　種） 駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区・緑地地区・土地区画整理事業地区・宅地造成工事既製区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他（　　）

建ぺい率 容積率	基準建ぺい率　60．00 % 基準容積率　200．00 %
日影規制	平均地盤面からの高さ　＊．＊＊ m 敷地境界線より5ｍを超え10ｍ以内の範囲　＊．＊　時間内 敷地境界線より10ｍを超える範囲　＊．＊　時間内

3. 構造・規模

構　造	SRC造・RC造・PC造（鉄骨造）軽量鉄骨造・CB造・木造・その他（　　）
構造形式	（ラーメン）・（プレース）・壁・立体トラス・シェル・折版・その他（　　）
基　礎	地盤支持（ベタ・布・（独立）　）（杭支持）RC杭・PC杭・アースドリル・ペノト・深礎（PHC）　） その他（　　）
増築予定	なし

階　数	地下　0　階・地上　1　階・PH　0　階
建物高さ	最高高さ　9．50 m　軒高　8．98 m
その他	

4. 面　積

	受変電設備室	第3揚水機場		合　計	敷地面積に対する割合
建築面積	238．50 m² （＝　72．16 坪）	727．02 m² （＝　219．96 坪）	m² （＝　坪）	965．52 m² （＝　292．12 坪）	建ぺい率 15．22 % ≦ 許容 60．00 %
延べ面積	238．50 m² （＝　72．16 坪）	925．42 m² （＝　279．99 坪）	m² （＝　坪）	1，163．92 m² （＝　352．15 坪）	容積率　対象面積　？ 18．35 % ≦ 許容 200．00 %

5. 床面積

階　別	受変電設備室	第3揚水機場		合　計	主要用途・備考
B1階	0．00 m²			0．00 m²	
		462．00 m²		462．00 m²	ポンプ室
計	0．00 m²	462．00 m²		462．00 m²	
F1階	238．50 m²			238．50 m²	受変電設備室
		384．20 m²		384．20 m²	電気室・倉庫・他
計	238．50 m²	384．20 m²		622．70 m²	
F2階	0．00 m²			0．00 m²	
		79．22 m²		79．22 m²	事務室・休憩室
計	0．00 m²	79．22 m²		79．22 m²	
合　計	238．50 m²	925．42 m²		1，163．92 m²	

6. その他

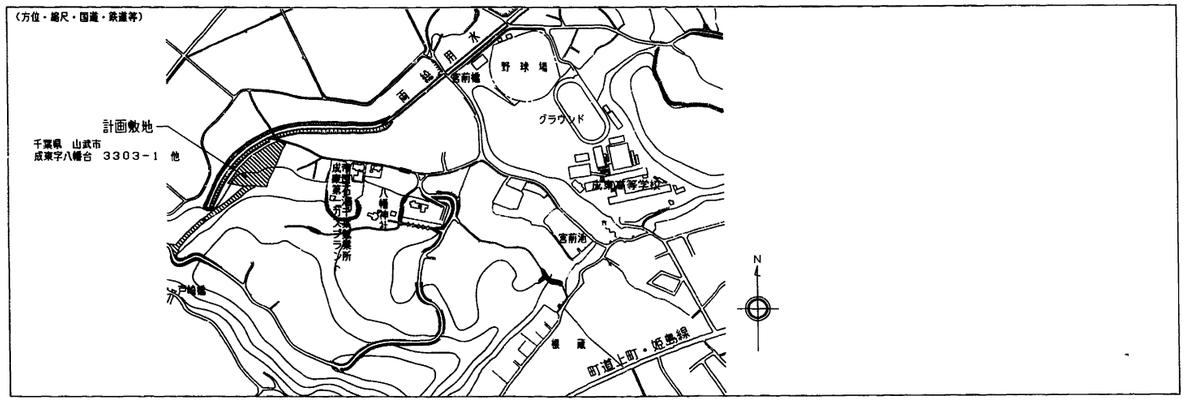
（住戸・座数・生徒数・駐車台数等）

7. 別途工事

- 第3揚水機場　本体工事
- 主な外構工事
- 内部　押えコンクリート・ビット
- 受変電設備（プラント工事）

8. 案内図

（方位・縮尺・国道・鉄道等）



9. 外部仕上

屋　上	アスファルト防水	開口部	アルミサッシ，スチールドア，電動重量スチールシャッター
	屋根保護防水絶縁工法（B－2）		
	押えコンクリート　t＝80　金ごて押え		
	収納目地　@3，000　程度		
外　壁	ALC　t＝100　（ロッキング工法）		
	複層塗材　E仕上		
腰壁部	コンクリート打放　補修下地		
	複層塗材　E仕上		
庇	ALC製　既製品		
	複層塗材　E仕上		

＊（＊－＊＊－＊）は、建築工事標準詳細図　平成13年版の詳細図番号を示し、同図に準ずるものとする。

10. 外部金物

	材質・寸法	防錆・仕上	取付場所	数量		材質・寸法	防錆・仕上	取付場所	数量
ルーフドレイン	鋳鉄製横型ルーフドレイン　100φ		屋　上	4箇所					
	（アスファルト防水用）								
竪　樋	硬質塩化ビニルパイプ（カラー）		外　壁	4箇所					
	100φ								
パラペット笠木	ステンレス製（SUS304）		パラペット						
クラップ	ステンレス製（SUS304）		外　壁	1箇所					
屋上手摺	鋼製（STK400等）	めっき処理	屋　上						

11. その他の工事範囲

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
敷地造成	敷地造成		○	
	整　地		○	
	擁　壁			
	排　水	○		一部のみ
	道　路		○	敷地内通路
	縁　塀			
	護　岸			
	防潮設備			
撤去工事	在来基礎撤去			
	建築物撤去			
	資材撤去			
	工作物撤去			
	樹木撤去		○	
移設工事	在来建物移設			
	建築物移設			
	工作物移設			
	樹木移設			
解体工事	解体工事			
外　構	植栽造園			
	舗　装		○	
	駐車場			
	門・塀	○		フェンス含む
	盛　土		○	
	テラス			
	パーゴラ			
	外　灯		○	
工作物	看　板			
	広告塔			
	広告装柘			
	ネオン			
	遊戯施設			
	ゴンドラ			
	物　干			
	屋外焼却炉			
	独立擁壁			
	建築設備			
	物　置			
	ポンプ室		○	

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
付属部品	社名板・表札			
	表示板・文字		○	
	黒板・掲示板			
	郵便受			
	定礎板			
	可動家具			
	固定椅子			
	什器備品			
	カーテン			
	ブラインド			
	敷物・マット			
	装飾物			
補　償	日照影響			
	電波障害			
	騒　音			
	風　害			
	近隣工作物			
	隣家補償			
消防設具	消火設具	○		
	自動火災報知設備	○		
	誘導灯		○	

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
電　気	受変電		○	
	自家発電		○	
	蓄電池		○	
	動　力	○		
	電灯コンセント	○		
	照明器具	○		
	電話機器		○	
	電話配管	○		
	インターホン			
	電気時計			
	テレビ共同聴視		○	
	放　送			
	避雷針			
	感震知連動			
	ガス感知器	○		
給排水衛生ガス	給　水		○	
	給　湯		○	
	衛生器具		○	
	防災（消火設等）	○		
	ガス			
	給水処理装置			
	排水処理装置			
	排水通気			
冷暖房換気	暖　房		○	
	冷　房		○	
	換　気	○		
	排　煙			
昇降機	エレベーター			
	エスカレーター			
	小荷物専用昇降機			
その他				

その他の工事の範囲で「無」の場合は「工事有」欄を —— で消す　（例）

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	設計概要、外部仕上表
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-164/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

階	室名	床	カラー	H (FLから)	巾木	カラー	H	壁 (腰壁)	カラー	H	天井	カラー	CH	廻り縁	カーテンボックス	造付け造作	カラー	備考 付属器具	カラー	その他（設備工事）
1階	受変電設備室	押えコンクリート t=300			腰壁に同じ			ALC表し			デッキプレート下 吹付ロックウール 72C		直天					ケーブルピット （別途工事）		換気設備
		金こて押え （別途工事）		±0														壁：CH. PL-4.5 SOP		照明設備
		防塵塗床 （別途工事）						腰壁：コンクリート打放 補修（B種）										（別途工事）		火災報知設備
																		ネットフェンス h=2,000		
																		（契約対象外）		
備考																				

＊（＊－＊＊－＊）は、建築工事標準詳細図　平成１３年版の詳細図番号を示し、同図に準ずるものとする。

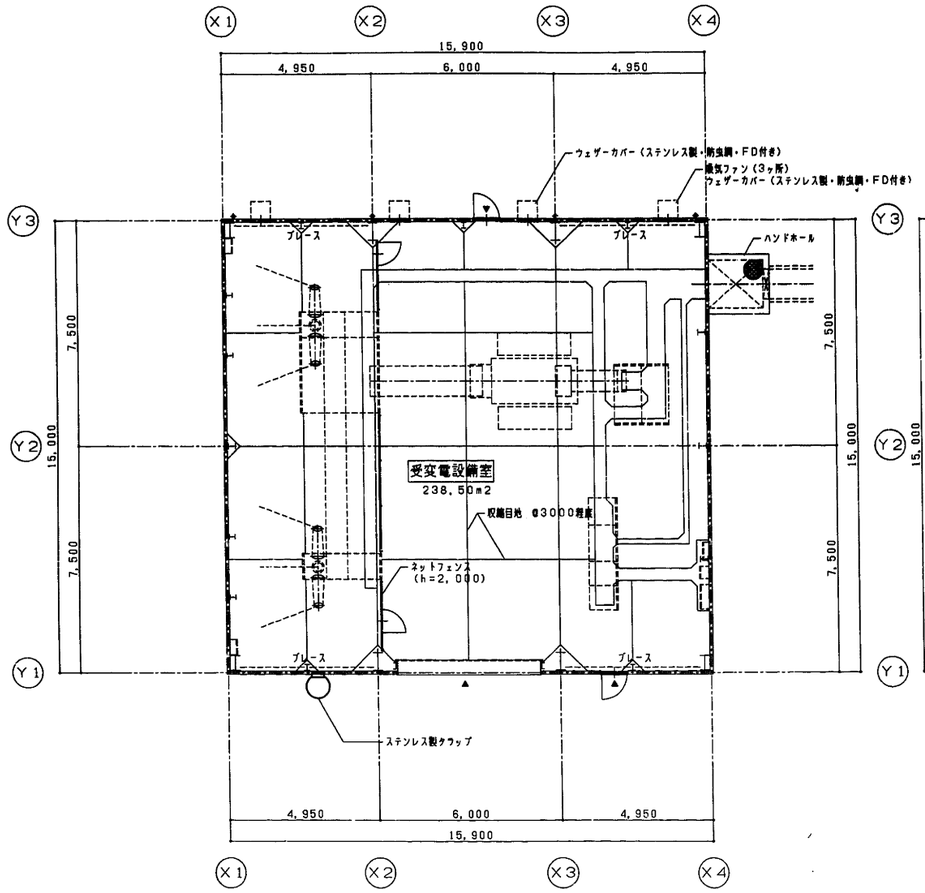
-凡 例-

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	②-FUE	常温乾燃形ふっ素樹脂エナメル塗り	マスチックA	マスチック塗材塗り A種	内装厚塗材E	内装合成樹脂エマルション系	瑪テラ	瑪瑙テラゾ塗り	GB-D(W)化粧せっこうボード(木目模様)	管類		複装仕上塗材塗り
LC	クリヤーラッカー塗り	G-EP	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	マスチックB	マスチック塗材塗り B種	内装厚塗材S	内装けい酸質系	TB	テラゾブロック	GB-S サーヂングせっこうボード	VP	硬質塩化ビニル管	複装塗材CE ポリマーセメント系
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	マスチックC	マスチック塗材塗り C種	厚付け仕上塗材塗り		ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GB-F 強化せっこうボード	HP	遠心力鉄筋コンクリー	複装塗材E 合成樹脂エマルション系
VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り	MP	多彩模様塗装塗り	厚付け仕上塗材塗り		外装厚塗材C	外装セメント系	押成板	押出成型セメント板	DR ロックウール化粧吸音板	SGP	配管用鋼管	塗材RS 合成樹脂溶液系
AE	アクリル樹脂エナメル塗り	T-EP	合成樹脂エマルション模様塗装塗り	外装薄塗材C	外装セメント系	外装厚塗材E	外装合成樹脂エマルション系	GB-R	せっこうボード	FK 無石綿セメントけい酸カルシウム板	TGP	配管用つば付き鋼管	〃RE 反応硬化形合成樹脂エマルション系
②-UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	外装薄塗材E	外装合成樹脂エマルション系			GB-P	吸音用穴あきせっこうボード	FK-P 吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板	STK	機械用鋼管	〃S1 けい酸質系
		OS	油性ステイン塗り	内装薄塗材C	内装セメント系			GB-D(T)化粧せっこうボード(トラバーチン模様)		PF ポリスチレンフォーム保温板	SGPW	溶接めっき鋼管	
						人研	人造石研出し						

< 凡 例 >

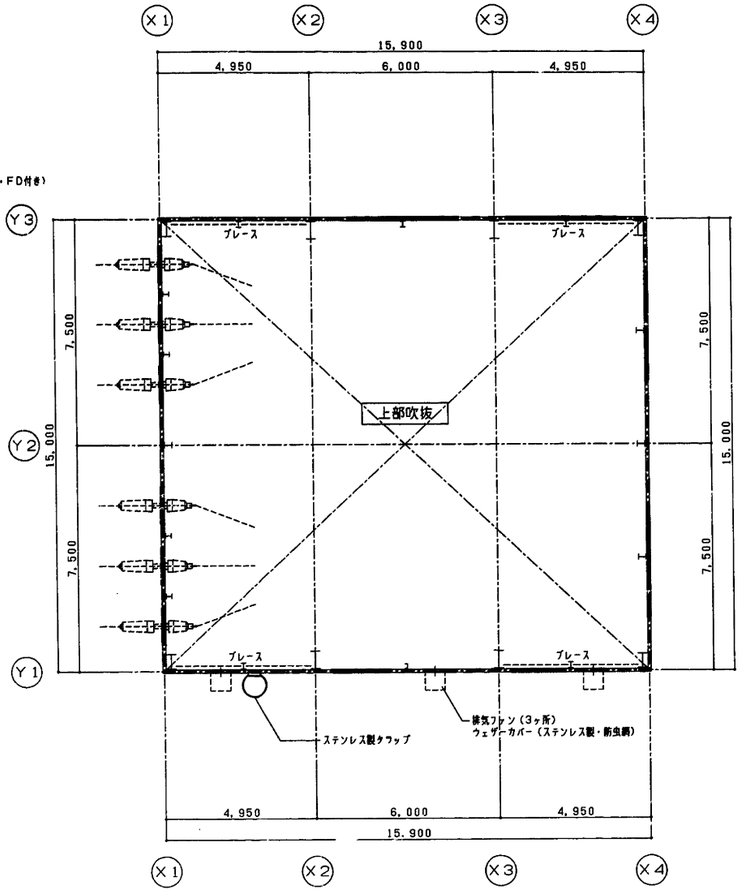
・GB-R	ｱ 12.5	： 不燃第1003号
・GB-R	ｱ 9.5	： 準不燃第2015号
・GB-R(不燃)	ｱ 9.5	： 不燃第1004号
・GB-S(前水)		： 不燃第2018号
・GB-D	ｱ 9.5	： 準不燃第2016号
・GB-D(不燃)	ｱ 9.5	： 不燃第1004号
・GB-F(V)(不燃)	ｱ15	： NM-8615同等
・ビニールクロス		： 前次2最品
・無機質クロス		： 前次1最品

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	内部仕上表		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-165/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



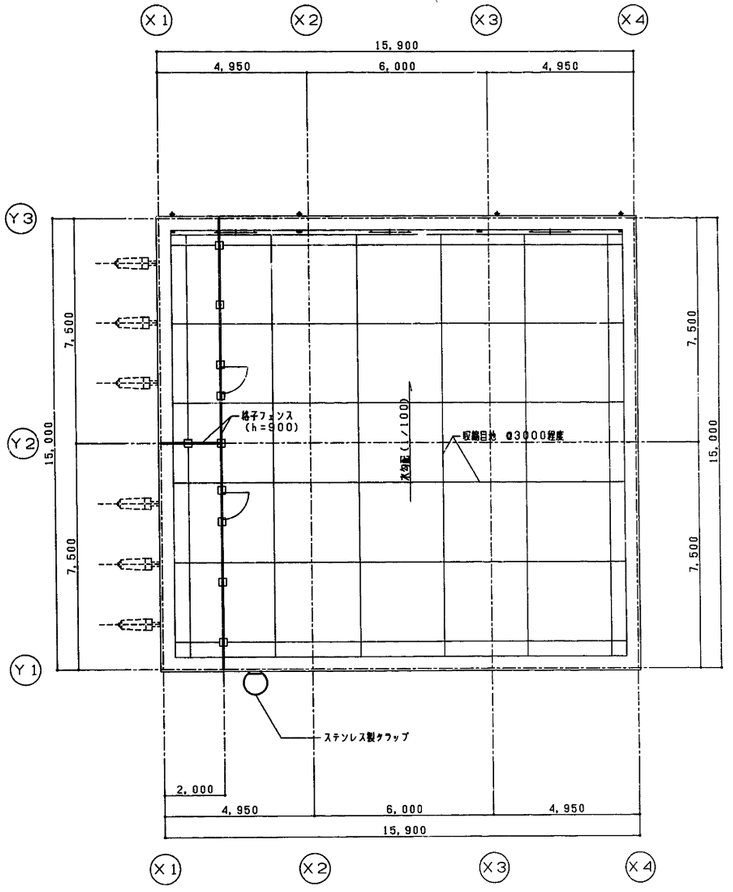
1 階 平 面 図　S=1:100

特記事項
1.
2.
3.
4.



1 階 上 部　S=1:100

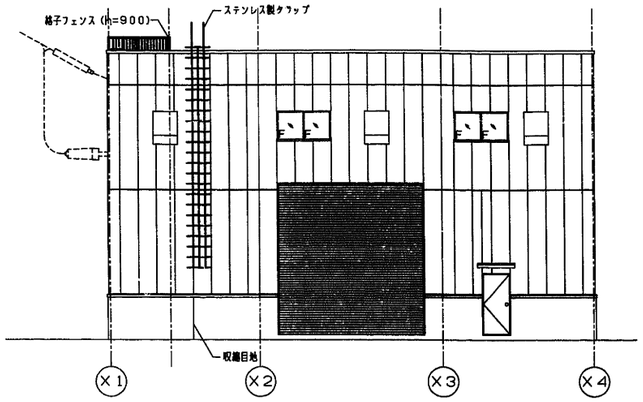
特記事項
1.
2.
3.
4.



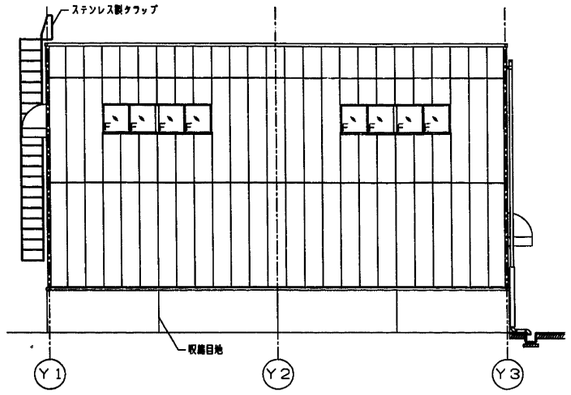
屋 根 伏 図　S=1:100

特記事項
1.
2.
3.
4.

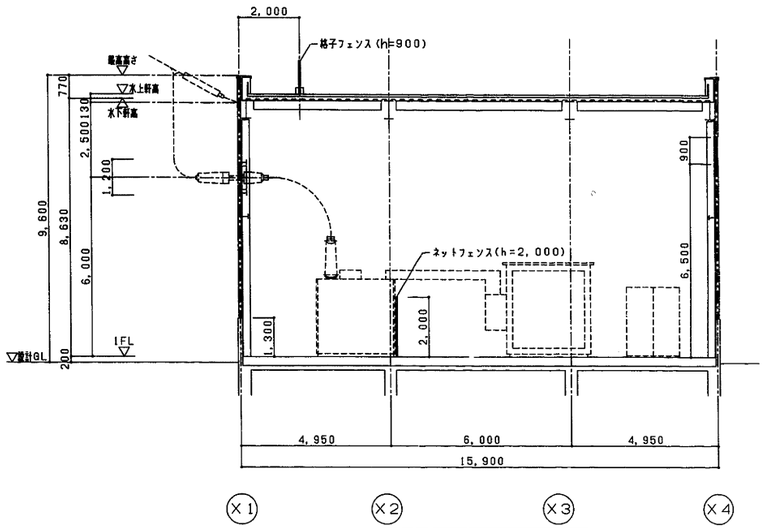
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	平面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-166/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



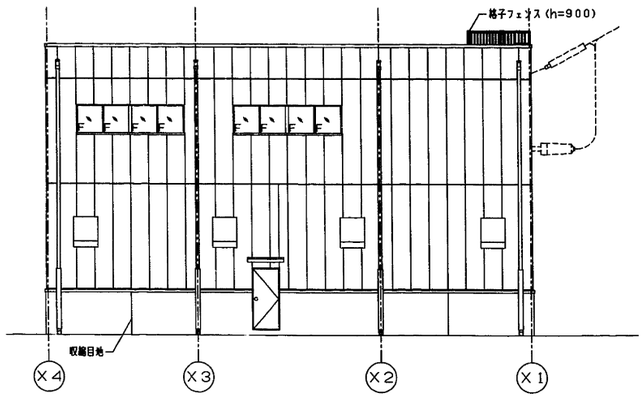
西 側 立 面 図　S=1:100



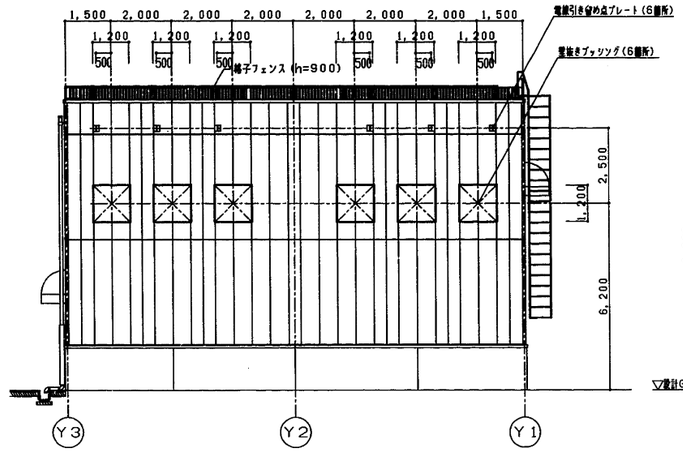
南 側 立 面 図　S=1:100



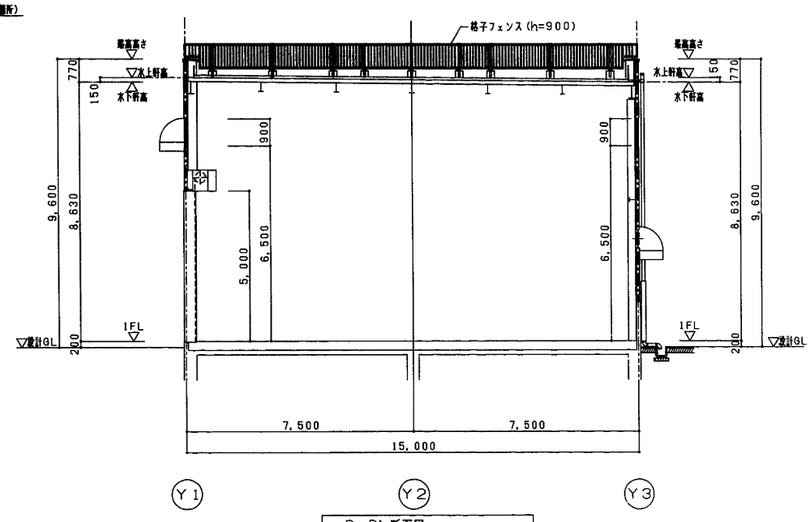
A－A' 断面図　S=1:100



東 側 立 面 図　S=1:100

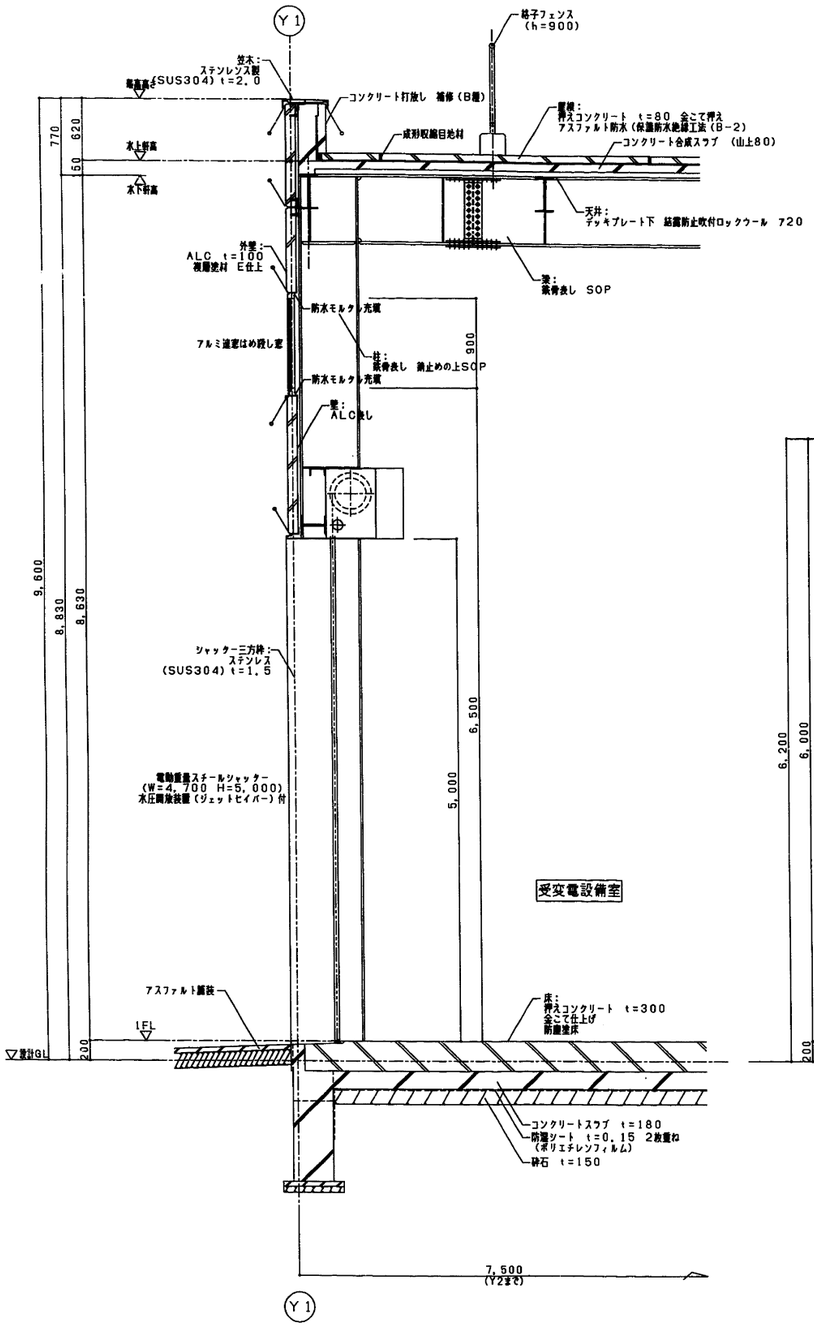


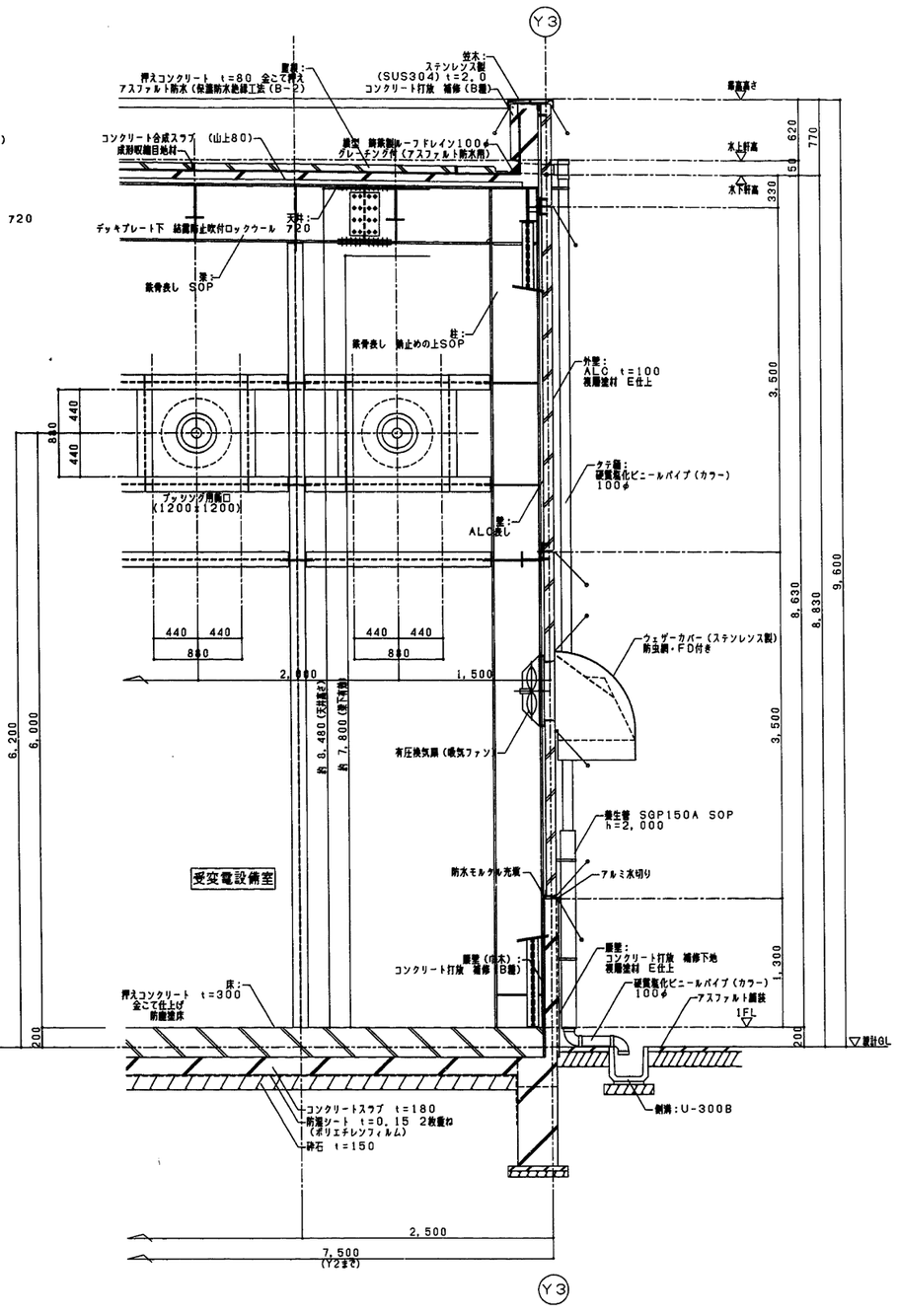
北 側 立 面 図　S=1:100

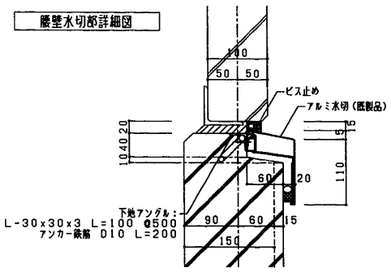


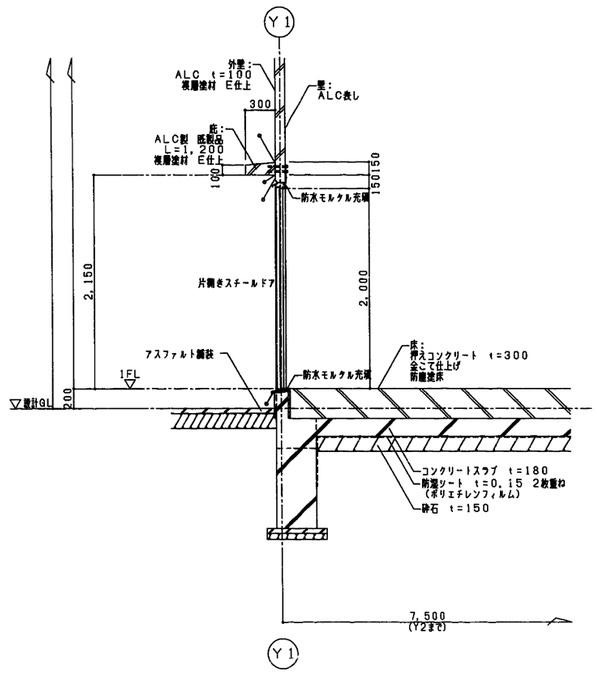
B－B' 断面図　S=1:100

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	立面図．断面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-167/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



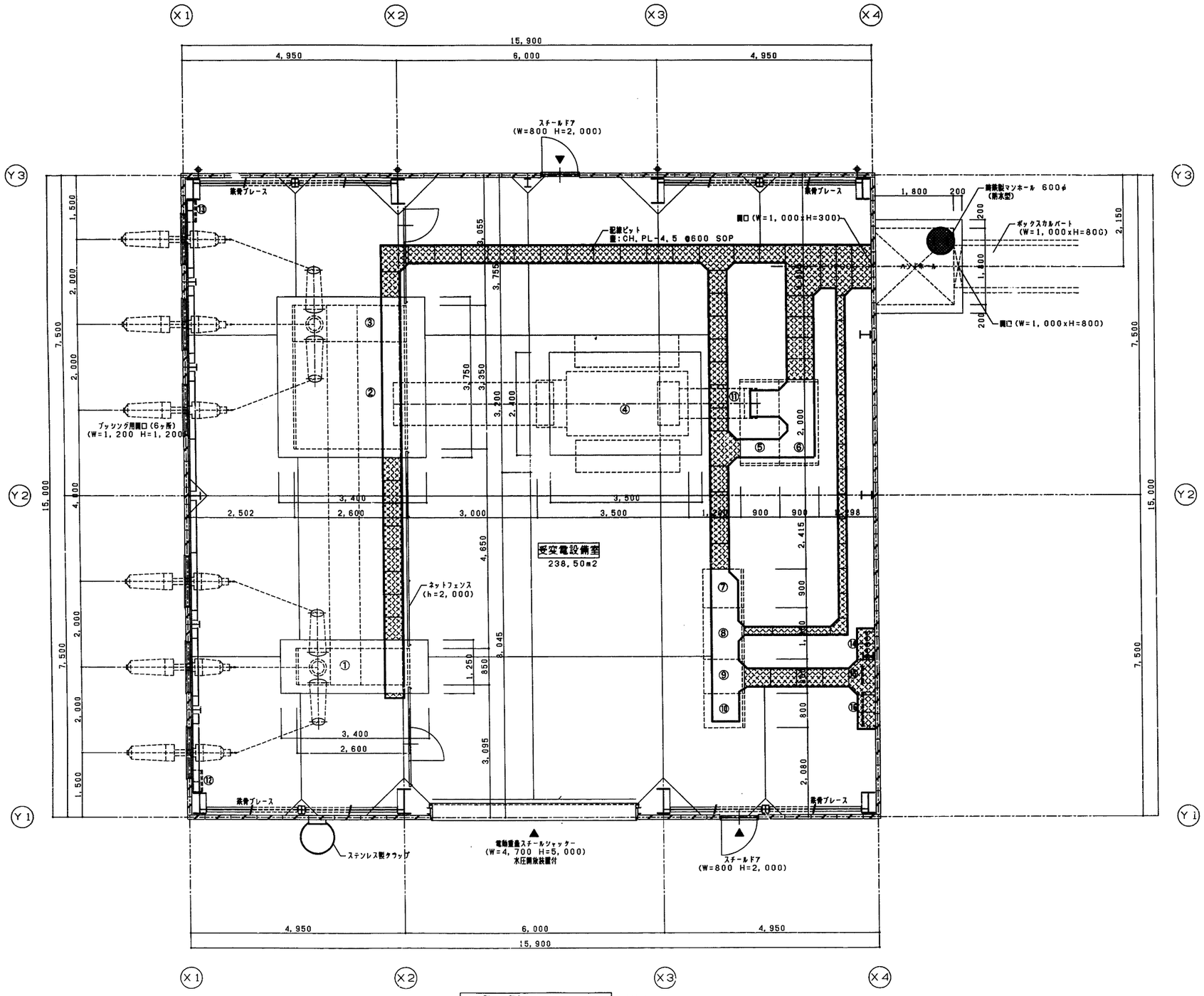






矩 計 図 S=1:30

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	短計図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-168/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

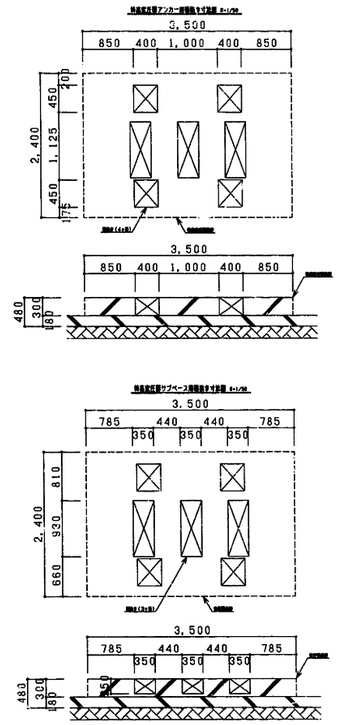


1階平面詳細図　S=1:50

特記事項
1.
2.

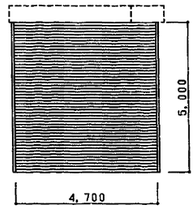
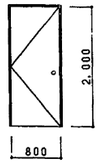
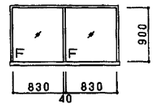
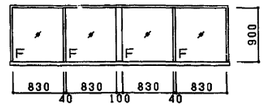
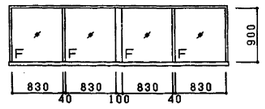
機器リスト

記号	名称	重量(ton)	発熱量(kW)	kJ/h	備考
①	常用線受電盤	5.0	0.8	2880	
②	VCT盤	10.0	1.4	5040	
③	予備線受電盤	5.0	0.8	2880	
④	特高変圧器	18.0	60.0	216000	
⑤	変圧器二次盤	1.3	0.7	2520	
⑥	コンデンサ盤	1.2	0.6	2160	
⑦	特高保護継電器盤	0.6	0.2	720	
⑧	特高監視操作盤	0.8	0.4	1440	
⑨	特高補助継電器盤	0.6	0.2	720	
⑩	直流電源盤		1.9	6840	
⑪	バスダクト				
⑫	接地端子箱－1				
⑬	接地端子箱－2				
⑭	受電計器盤				
⑮	受電端末装置				
⑯	電灯動力盤				



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	1階平面詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-169/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

建　具　表　S=1:50

記号・個数	SS 1ヶ所	SD SD 各 1ヶ所	AW 2ヶ所	AW 2ヶ所	AW 2ヶ所
姿　図					
名　称	電動重量スチールシャッター	片開き・スチールドア	連窓はめ殺し窓	連窓はめ殺し窓	連窓はめ殺し窓
取付場所	受変電設備室	受変電設備室	受変電設備室	受変電設備室	受変電設備室
材　質	スラット　スチールt＝1．6　SOP	スチールt＝1．6　SOP	------	------	------
枠・見込	ガイドレール　ステンレスHL	スチールt＝1．6　SOP・130	アルミ電解着色・70	アルミ電解着色・70	アルミ電解着色・70
吊　棚	------	ステンレスt＝2．0　HL	------	------	------
水　切	------	ステンレスt＝2．0　HL	アルミ電解着色	アルミ電解着色	アルミ電解着色
硝　子	------	------	型板ガラス　t＝6．0	型板ガラス　t＝6．0	網入り型板ガラス　t＝6．8
ガラリ	------	------	------	------	------
錠	------	シリンダー本締り錠	------	------	------
金　物	マグサ・座板　ステンレスHL	丁番・DC（ストッパー無）・戸当り・握玉	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
	シャッター一式				
備　考	耐風圧仕様				防火設備
	水圧開放装置（ジェットセイバー）付	SD－1Aは防火設備とする			

【共通特記事項】
1．建具金物は全てステンレス製とし見本品を提出ずる。
2．建具廻り及びガラス留めは全てポリサルファイドコーキングとする。

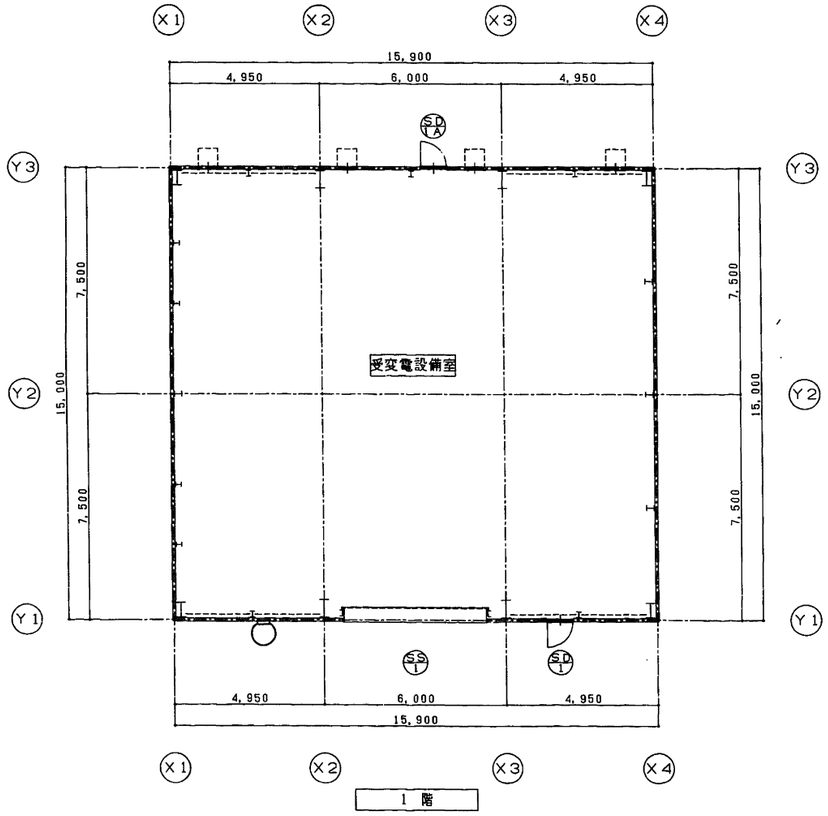
【アルミニウム製建具特記事項】

1．ＡＬＣ用を使用。
2．建具性能は特記なき限りＡ種『耐風圧（Ｓ－4）気密（Ａ－3）水密（Ｗ－4）』を標準とし、その他は特記による。
3．建具の結露水は原則的に外部放出とし、等圧型タイプとする。
4．化粧目地等で欠き込みがある場合、そこに取付くサッシはフラッシングを取り付ける。
5．防火設備は防火通則認定証紙を張り付ける事。

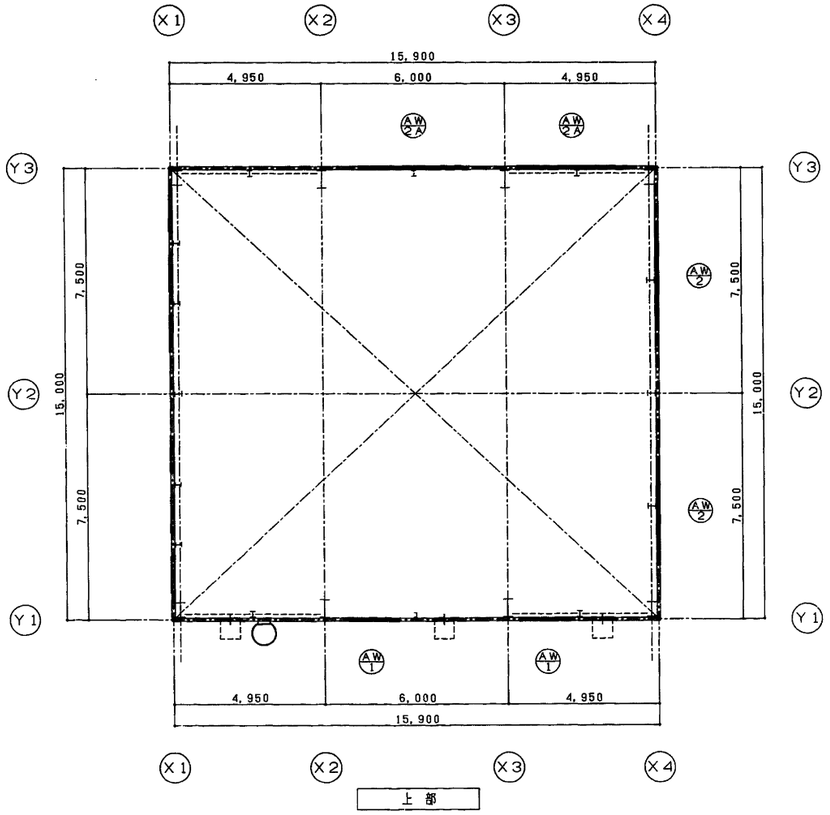
【鋼製建具等特記事項】

1．外部に取り付く丁番及びピボットヒンジ類の枠の切欠き部はシーリング材等で必ず塞ぐ事。
2．外部出入口扉枠はＡＴ仕様とし、３周ゴム取付け、水密性を保つ事。

建具キープラン　S=1:100



1 階

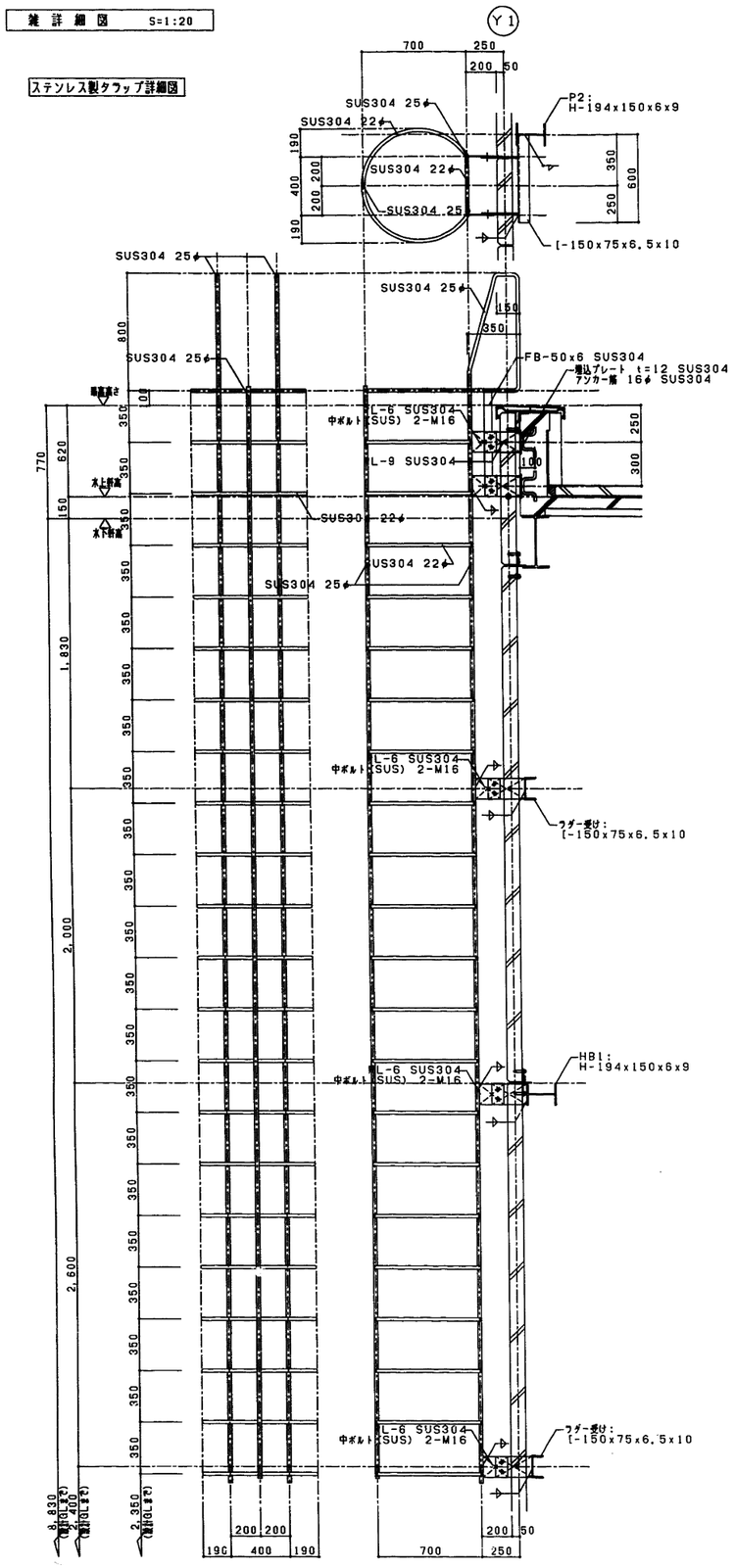


上 部

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	建具表．建具キープラン
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-170/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

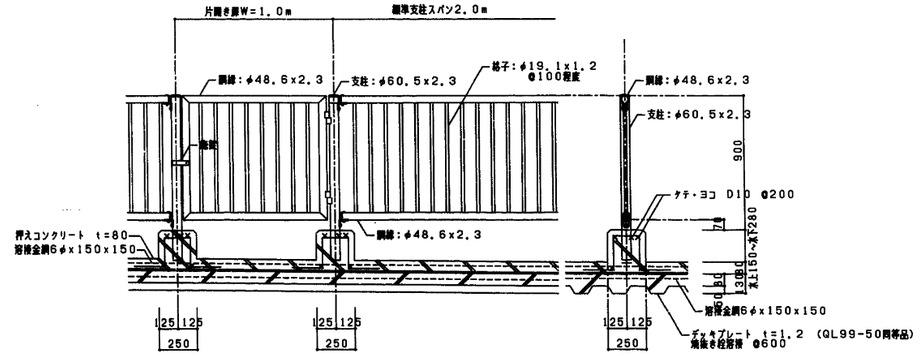
雑 詳 細 図　S=1:20

ステンレス製タラップ詳細図

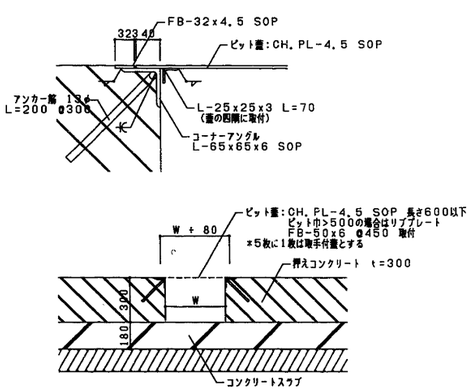


格子フェンス詳細図

※既製品

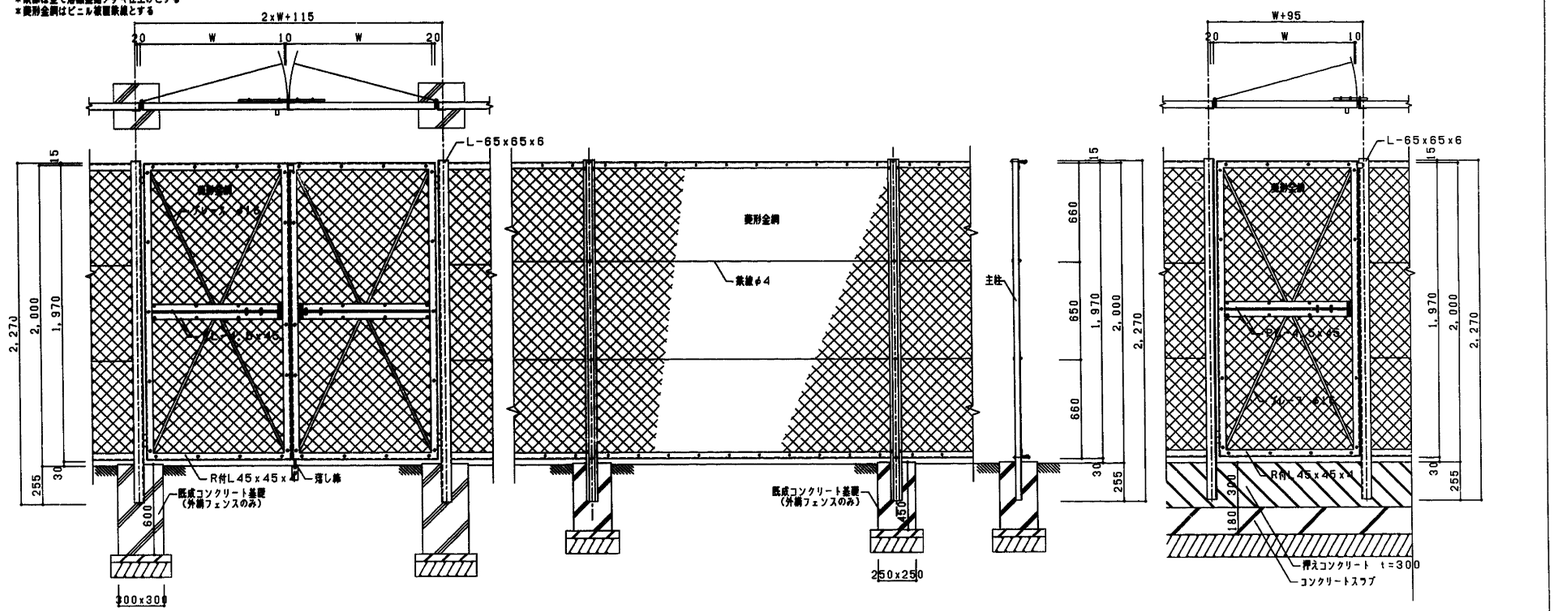


配線ピット詳細図 ※

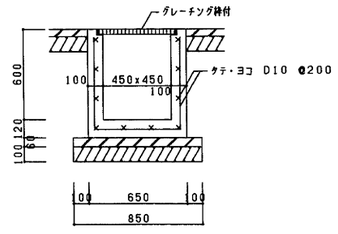


ネットフェンス詳細図

※施部は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする
※曲形金網はビニル被覆鉄線とする



集水桝 詳細図



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	雑詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-171/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

構造設計標準仕様

適用は ◉ 印を記入する。

1。建築物の構造内容

（1） 工事名称　第3揚水機場受変電設備室建築工事
　　建築場所　千葉県　山武市　成東字八幡台　3303－1他
（2） 工事種別　◉新築　□増築　□増改築　□改築
（3） 構造種別
　□木造（W）　□補強コンクリートブロック造（CB）　◉鉄骨造（S）
　□鉄筋コンクリート造（RC）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
　□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
　□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）□
（4） 階　数
　地下　0階　　地上　1階　　塔屋　0階
（5） 主要用途　電気室
（6） 屋上付属物
　□高架水槽　　kN　□キュービクル　　kN　□物見台　□煙突
（7） 特別な荷重
　□エレベータ　人乗り（ロープ式　油圧式）□リフト　　kN　□ホイスト　　kN
　□倉庫積載床用　　N/m²　□受水槽　　kN　◉引込線　10kN×6ヶ所
（8） 付帯工事
　□門塀　□擁壁　□　□　□　□
（9） 増築計画　□有（　　）◉無
（10） 構造計算ルート　X方向ルート　2－（　）　Y方向ルート　2－（　）

2。使用構造材料

（1） コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質管理強度 Fq=N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	◉普通	□16◉18	18	15	
土間コンクリート	□普通	□18□21			
基礎・基礎梁	◉普通	□18◉21□24	24	18	
柱・梁・床・壁	◉普通 □軽量	□18◉21□24	24	18	
	□普通 □軽量	□18□21□24			
押えコンクリート	◉普通 □軽量	◉18□21□24	18	18	
混和材					

（2） コンクリートブロック（CB）
　□A種　□B種　□C種　厚□100　□120　□150　□190

（3） 鉄　筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	◉SD295A	D16以下		◉重ね継手
	□SD295B			
	◉SD345	D19以上		◉ガス圧接継手
	□			
高強度せん断補強筋	□			□特殊継手
丸　鋼	◉SR235			（　　）
溶接金網(JIS G 3551)	◉SR235			

（4） 鉄　骨（渡り廊下・階段）

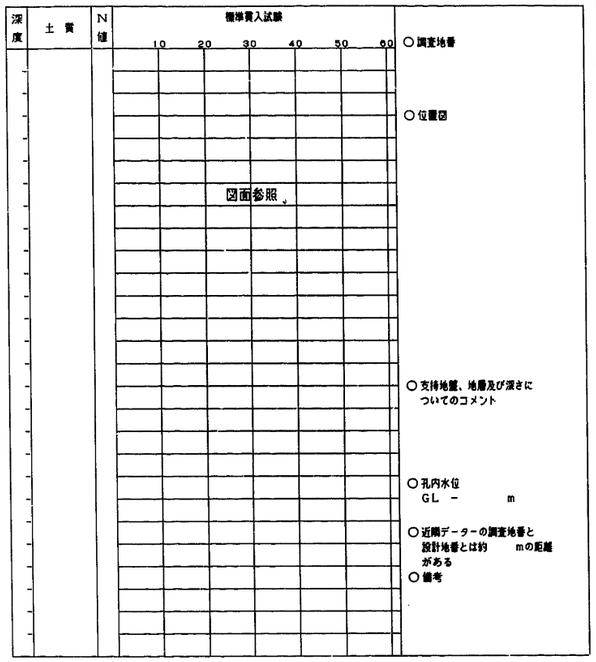
種類			使用箇所	現場溶接	備考
◉SS400	□SM400	◉SN400A・B・C	柱・梁・プレート	□有 ◉無	
□STKR400	□STKR490	□		□有 □無	
□BCR295	□BCP235	□		□有 □無	
□SM490A	□SN490B・C	□		□有 □無	
□SS400	□			□有 □無	

（5） ボルト（渡り廊下・階段）
　◉高力ボルト
　　□普通：F10T ◉特殊：S10T 認定品（□M12 ◉M16 ◉M20 ◉M22 □M24）
　◉中ボルト　　高力ボルトすべり係数試験 ◉要 □否
　　M12　M16　　高力ボルト導入張力確認試験 ◉要 □否
　◉アンカーボルト
　　◉SS400　M20　L=700mm　ナット（□シングル、◉ダブル）
　　□　ナット（□シングル、□ダブル）
　　□　ナット（□シングル、□ダブル）
　□頭付スタッドボルト
　　φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）
　　φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（5） 屋根、床、壁（渡り廊下）
　◉ALC板　厚100
　□折　板　H=　厚
　◉デッキプレート　型式 QL99-50-12　同等品
　□キーストーンプレート　型式　厚
　□押出成形セメント板　厚

3。地　盤

（1） 地盤調査資料
　◉有（◉敷地内 □近隣）◉ボーリング調査 □平板載荷試験 □水平地盤反力係数の測定
　□液状化判定 □現場湧水試験 □土質試験
　□無（調査予定 □有 □無）
（2） 地盤調査計画
　□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
　□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 □試験堀（支持層の確認）
（3） 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
（4） ボーリング標準図貫入値、土質構成（※ボーリング柱状図参照のこと。）



4。地業工事

（1） 直接基礎
　□ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎　試験堀 □有 □無
　深さ GL－　m　支持層 －
　長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験 □有 □無

（2） 杭基礎　支持層 － 礫砂

杭種	材料	施工法	備考
□RC □CPRC	CPRC □I種 □II種 □III種	□打ち込み	
◉PHC □H鋼	PHC ◉A種 ◉B種 □C種	□埋込み（セメントミルク工法）	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	◉中掘り拡大根固め工法（認定工法）	
□ □	□STK400	□	
□場所打ち	コンクリート Fc= ××N/mm²	□オールケーシング □拡底杭	
コンクリート杭	スランプ ××cm	□リバースサーキュレーション	
	セメント量 ××N/mm²	□アースドリル □ミニアース	
	鉄　筋　主　筋 SD	□BH □深礎	
	HOOP SD	□手堀 □機械堀	

杭仕様　◉施工計画書承認　◉杭施工結果報告書
試験杭　（◉有・□無）　（□打ち込み・□載荷）　1本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項
600	750	GL-17.7	10	上杭：B種 下杭：A種
700	1000	GL-17.7	4	上杭：A種 下杭：A種

5。鉄筋コンクリート工事

（1） コンクリート
　◉コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5（1997）による。
　◉耐久設計基準強度　Fd　◉一般　□標準　□長期
　◉セメントは、JIS R5211の高炉セメント（B種）を標準とする。
　◉調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
　◉寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
　◉フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工場現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
　測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
　◉構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
　また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。
　1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。
　なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
　◉ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
　ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
　なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

（2） 鉄　筋
　◉鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工はJASS5（1997）による。
　◉高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。
　◉鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。
　◉D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
　◉ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えるときは、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
　外観調査　◉有　□無、引張試験　◉有　□無、超音波試験　□有　◉無
　◉柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、［H型（タカ型）］　W型（溶接型）　S型（スパイラル型）とする。
　□コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
　　試験機関名　　（都知事登録　　号）
　　代行業者名
　代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

（3） 型　枠
　◉材料　合板厚　12m/mを標準とする。　◉施工はJASS5による。
　◉型枠存置期間

種類・部位		せき板			支柱			
		基礎、はり側、柱、壁			スラブ下			はり下
存置期間の平均気温	セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントA種	高炉セメントB種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントA種	高炉セメントB種	左記のすべてのセメント
コンクリートの材令（日）	15℃以上	2	3	5	8	17	28	28
	5℃～15℃	3	5	7	12	25	28	28
	5℃未満	5	8	10	15	28	28	28
コンクリートの圧縮強度		5.0N/mm²			設計基準強度の 85%			100%

注1）片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注2）大ばりの支柱の盛りかえは行わない、また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注3）支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注4）盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注5）支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
　一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注6）上表以外のセメントを使用する場合は、工事監理者の指示による。

6。鉄骨工事

（1） 鉄骨工事は指示のない限り下記による
　◉日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
　◉鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
　□
（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
　◉製作工場　◉製作要領書　◉工作図　◉施工計画書
　◉認定または登録工場（　M グレード　登録　　ランク）
　◉材料規格証明書または試験成績書
　　◉鋼材　◉高力ボルト　◉特殊ボルト　□部付スタッド
　◉社内検査表　□
（3） 工事監理者が行う検査項目
　（◉印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること）
　◉現寸検査　◉組立・開先検査　◉製品検査
　◉建方検査　□　□
（4） 接合部の溶接は下記によること
　◉日本建築学会「溶接工作基準、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
　◉日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
　◉鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第12章）
　□
（5） 接合部の検査
　□溶接部の検査溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
◉完全溶込み溶接部	超音波深傷試験	100 %個	30 %個	%個	
◉	外観（目視）検査	100 %	30 %	%	
□	マクロ検査・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1）現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査を行う事。
注2）現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。
　◉高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
　◉高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
　締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

（6） 防錆塗装
　◉防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
　錆止めのペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
　◉現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料
　□
　□

7。設備関係

　◉特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
　◉設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
　◉床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8。その他

　◉諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
　◉各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
　◉必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
　□

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	構造設計標準仕様
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-172/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１。一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）記号

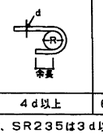
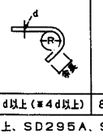
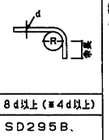
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径…部材の成　R…直径

@…間隔　r…半径　℄…中心線　l_d…部材間の内法距離　h_0…部材間の内法高さ

ST…あばら筋　HOOP…帯筋　S．HOOP…補強帯筋　φ…直径又は丸鋼

２。鉄筋加工、かぶり

（１）鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）

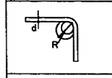
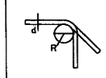
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同等に打ち込む T 形および L 形梁のキャンフタイにのみ用いる。



※片持スラブ上端筋の先端

（２）鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度９０°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法寸法（R）
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	3d以上
			19φ D19 以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

（３）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N／mm²）	定着の長さ 一般（l_2）	定着の長さ 下ば筋（l_3） 小梁	定着の長さ 下ば筋（l_3） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（l_1）
SR235	21～36	35dフックつき	25dフックつき	15cmフックつき	35dフックつき
	18以下	45dフックつき			45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21～36	35dまたは25dフックつき	25dフック15dフックつき	10dかつ15cm以上	40dまたは30dフックつき
	18以下	40dまたは30dフックつき			45dまたは35dフックつき

継　手

1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

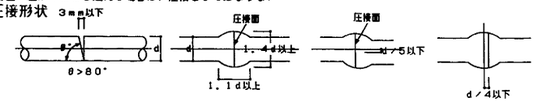
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

4．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない

5．鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

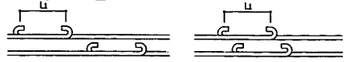
ガス圧接形状　3mm以下



圧接継手

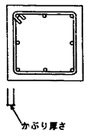


重ね継手（下図のいずれかとする）



（４）かぶり厚さ（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



部位			設計かぶり厚さ（mm）	最小かぶり厚さ（mm）
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40(1)	30（20）
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50(2)	40(1)（30）
	擁壁		50(3)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40(4)
	基礎・擁壁		70	60(4)

【注】（ｉ）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて３０mmとすることができる。

（２）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。

（３）コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。

（４）軽量コンクリートの場合は、１０mm増しの値とする。

（５）（ ）内は、仕上げがある場合。

（５）鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値１．５d以上

粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上かつ２５以上



（６）鉄筋のフック（α～ｆに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

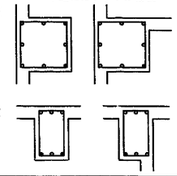
a．丸鋼　b．あばら筋、帯筋　c．煙突の鉄筋

d．柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）

e．単純梁の下端筋

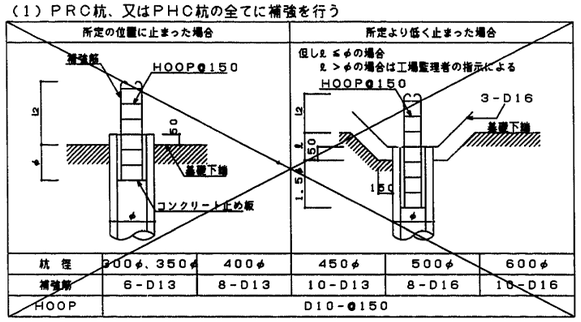
f．その他、本配筋標準に記載する箇所

図の● 印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

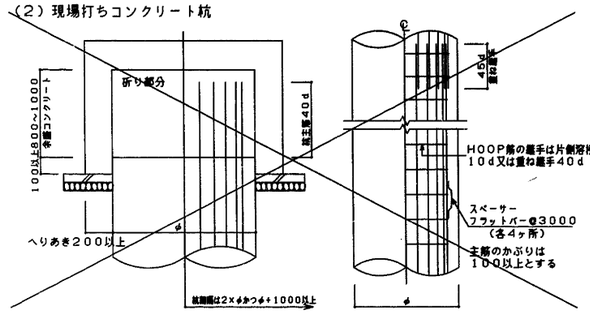


３。杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

（１）ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

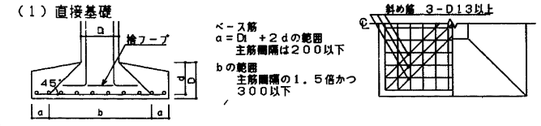


（２）現場打ちコンクリート杭

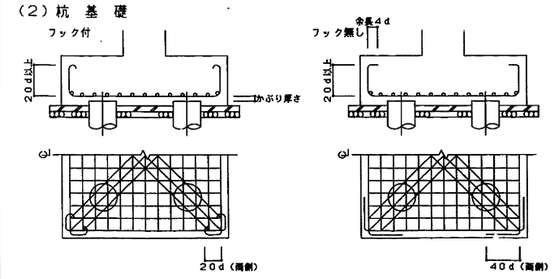


４。基　礎

（１）直接基礎

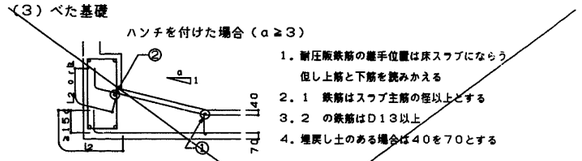


（２）杭　基　礎



（３）べた基礎

ハンチを付けた場合（α≧3）



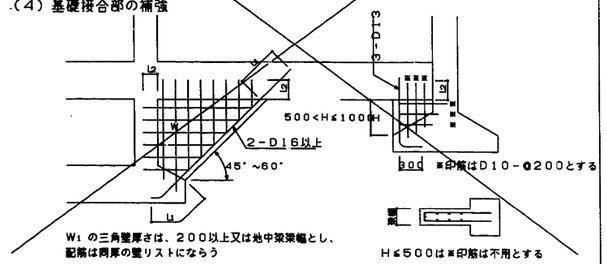
1．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を読みかえる

2．1　鉄筋はスラブ主筋の径以上とする

3．2　の鉄筋はD13以上

4．埋戻し土のある場合は40を70とする

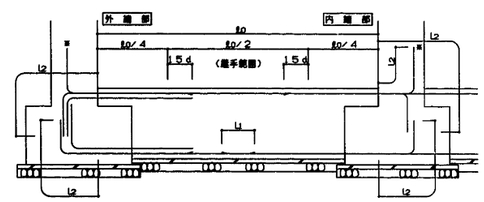
（４）基礎接合部の補強



W1 の三角壁厚さは、２００以上又は地中梁梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

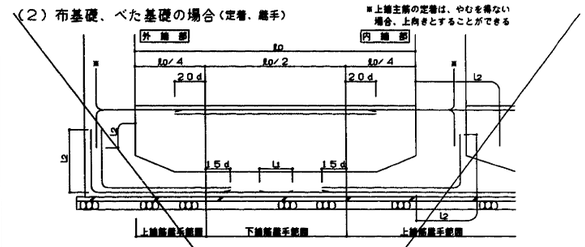
５。地中梁

（１）独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）

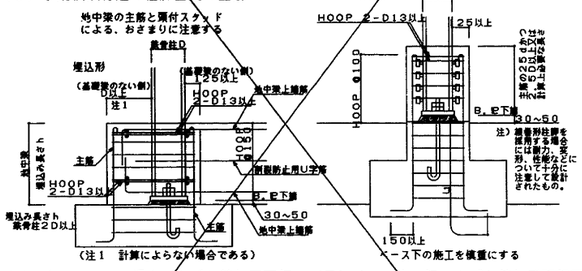


（２）布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）

※上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる



（３）小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

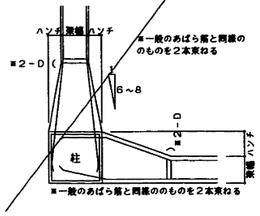


（注1　計算によらない場合である）

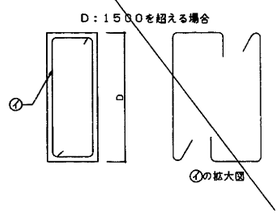
注2　最多鉄柱脚を採用する場合には、鉄骨などに対して十分に注意して設計されたもの。

ベース下の施工を慎重にする

（４）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

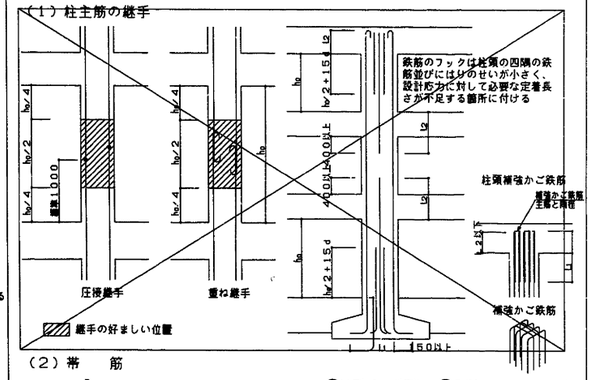


（５）せいの高い梁のあばら筋加工要領図



６。柱

（１）柱主筋の継手

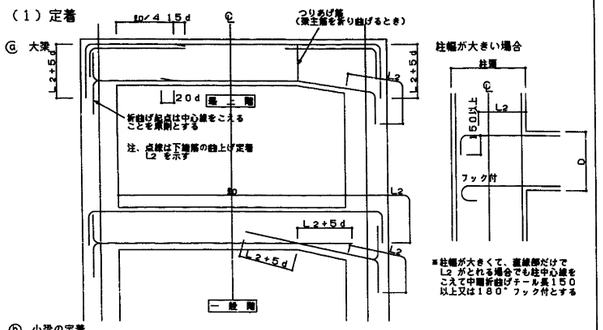

hx/4
hx/2
hx/4
最大1000
hx/4
hx/2
hx/4
hx/2+15d
hx/2+15d
ℓ2
ℓ1
ℓ2
ℓ1
ℓ2
ℓ1
ℓ1
ℓ2
ℓ1
ℓ1
ℓ2
ℓ1
ℓ1
ℓ1

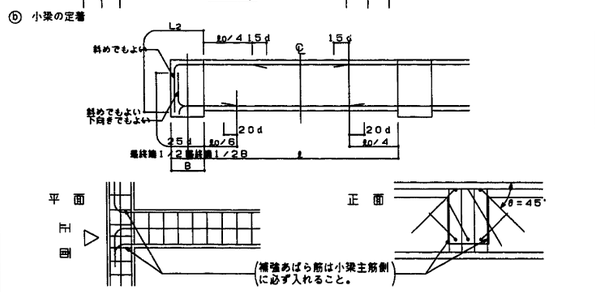
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

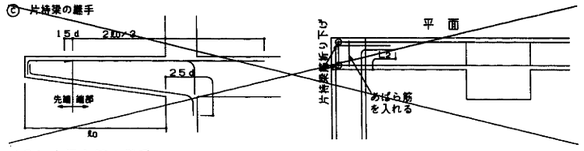
L＝鉄筋コンクリート構造筋 標準図（１）の2－（3）による。

7。大梁、小梁、片持梁

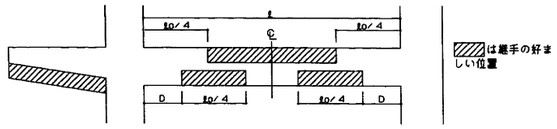
（１）定着



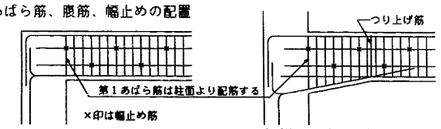




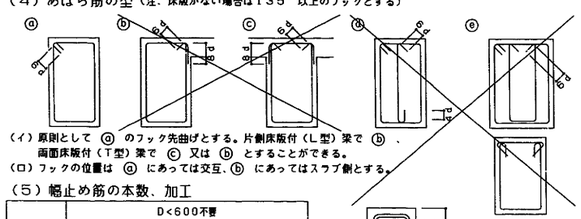
（２）大梁主筋の継手



（３）あばら筋、腹筋、幅止めの配置



（４）あばら筋の型（注、床版がない場合は135° 以上のフックとする）



（イ）原則として ⓐ のフック先曲げとする。片側床版付（L型）梁で 両面床版付（T型）梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。
（ロ）フックの位置は ⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ側とする。

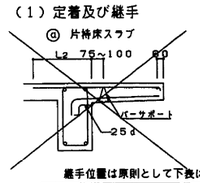
（５）幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600不要	
	600≦D<900	2-D10（9φ） 1段
	900≦D<1200	4-D10（9φ） 2段
	1200≦D	D10（9φ）@300以内
幅止め筋	D10（9φ）@1000以内で割り付ける	

8。床板

（１）定着及び継手

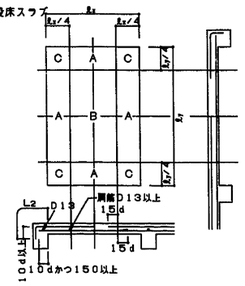
ⓐ 片持床スラブ



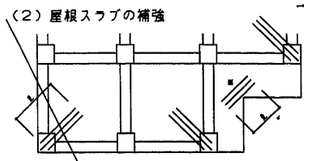
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ

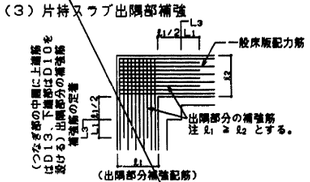


（２）屋根スラブの補強

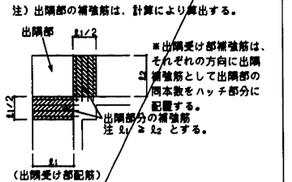


ⓐ 補強筋は各3－D13又はスラブ主筋の同一径でℓ=1500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ ※印の箇所（入隅）は各階補強する

（３）片持スラブ出隅部補強

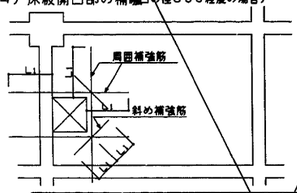


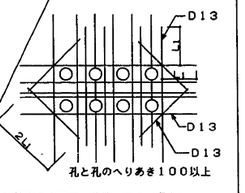
注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



※出隅受け部補強筋は、それぞれの方向に出隅補強筋として出隅部の同本数をハッチ部分に配置する。

（４）床板開口部の補強筋の径500程度の場合

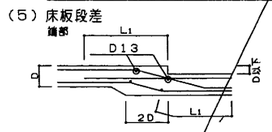


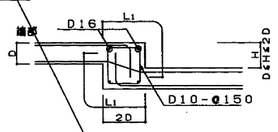


床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

注）設備の小開口が連続してあく場合は、縦、横、斜め補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

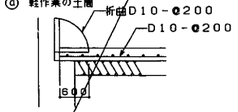
（５）床板段差



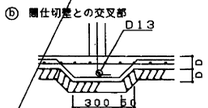


（６）土間コンクリート

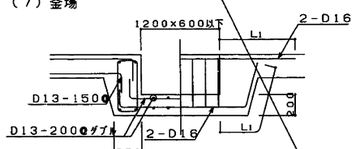
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 擁壁切壁との交叉部



（７）釜場

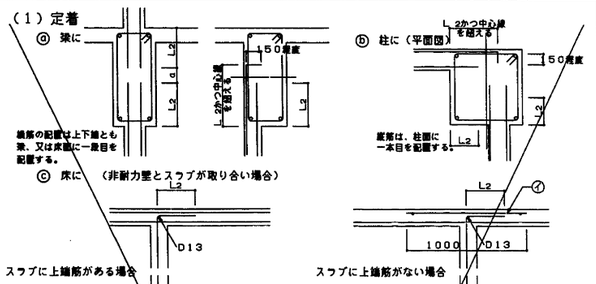


（８）打継ぎ補強（ダメ穴打継面について）

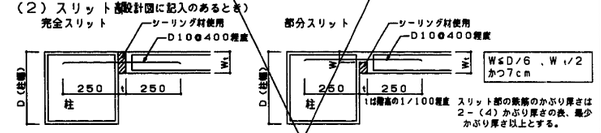
●設計配筋間隔の1／2ピッチ 長さ2L 以上
●無筋部分D10－@200 長さ800以上

9。壁

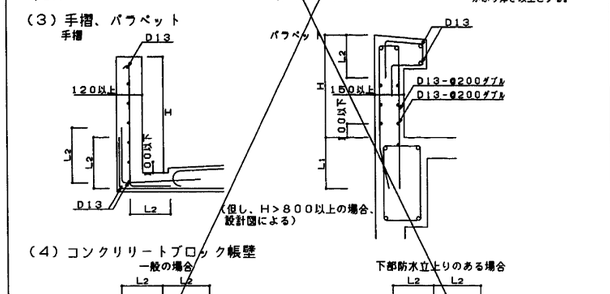
（１）定着



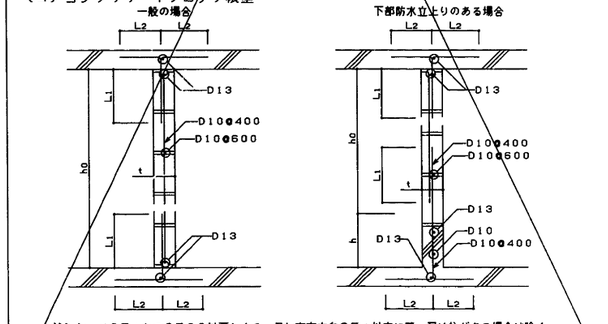
（２）スリット（設計図に記入のあるとき）



（３）手摺、パラペット



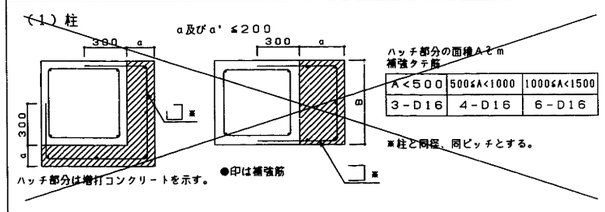
（４）コンクリリートブロック帳壁



注）h0 ≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注）hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注）継手部は必ずモルタルをてん充すること

10。柱、梁増打コンクリート補強（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（１）柱

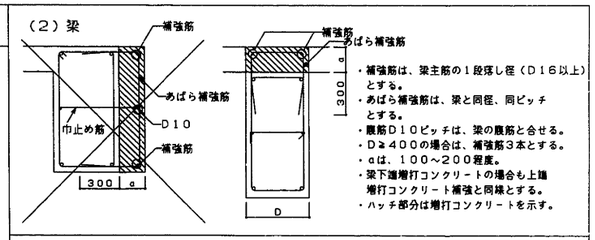


ハッチ部分の面積Acm
補強タテ筋

A<500	500≦A<1000	1000≦A<1500
3-D16	4-D16	6-D16

※柱と同径、同ピッチとする。

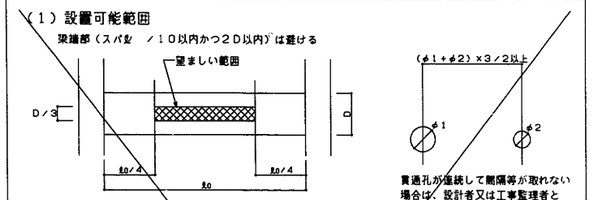
（２）梁



・補強筋は、梁主筋の1段径（D16以上）とする。
・あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
・腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
・D≧400の場合は、補強筋3本とする。
・aは、100～200程度。
・梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
・ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11。梁貫通孔補強

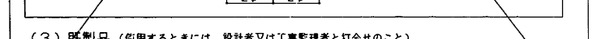
（１）設置可能範囲

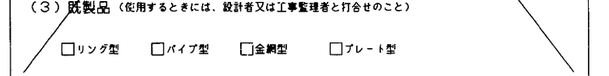


貫通孔が連続して開隔等が取れない場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと。

（２）鉄筋標準配筋図 ただし φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100<φ≦150	150<φ≦250
折筋 2-(2-D13)	折筋 2-(2-D13)	折筋 4-(2-D13)
縦筋 ST 2-D13	縦筋 ST 2-D13-1000@	縦筋 ST 2-D13-1000@
	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
		下縦筋 ST 2-D13





φ＞250
孔補強の有効範囲と定着長さのとり方
※部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくても良い。

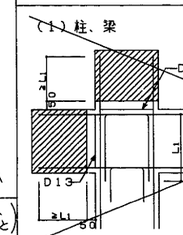
●梁幅が400を超える場合は断面筋でD13はD16又は、2－D13は3－D13と、各々組みかえる

（３）既製品（使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

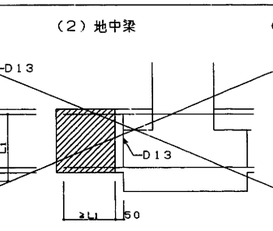
□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

12。増築予定（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する）

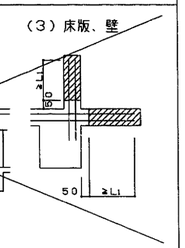
（１）柱、梁



（２）地中梁



（３）床版、壁



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-174/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

鉄骨構造基準図（1）

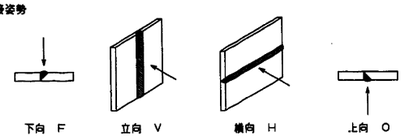
1。一般事項

（1）材料及び検査
（a）構造設計仕様による
（b）適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
（c）社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

（2）工作一般
（a）鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
（b）調管部材の分岐差手部の相貫切断は、調管自動切断機による
（c）高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

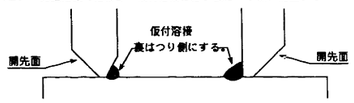
（3）高力ボルト接合
（a）本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

（4）溶接接合
（a）溶接技能者
溶接技能者は、施工する溶接に適応するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
（b）溶接機器
（イ） 交流アーク溶接機 300A～500A （ニ） 炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ロ） アークエアーガウジング機（直流） （ホ） 溶接電流を測定する電流計
（ハ） サブマージアーク溶接機一式 （ヘ） 溶接棒乾燥器
（c）溶接方法
アーク手溶接（MC） ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC） エアーガウジング（AAG）
（d）溶接姿勢



（e）組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
（イ） 仮付位置
組立て溶接は、溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

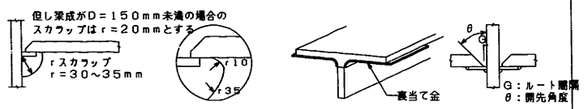
（ロ） 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（f）溶接施工
（イ） エンドタブ
I）完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
II）エンドタブの材質は、母材と同質とする
III）エンドタブの長さは、MC：35mm以上
NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
IV）プレス調板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



（ロ） 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
（ハ） スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
（ニ） ノンスカラップ工法

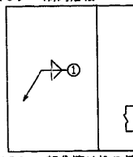


（ホ） 裏はつり
基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
（ヘ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障ない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

（5）塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2。溶接規準図 （注）f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長 （単位mm）

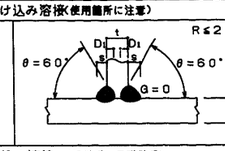
（1） 隅肉溶接



t	t≦16mm			
	7以下	8～10	11～13	14～16
s	6	7	10	12

●但し片面溶接の場合はS＝tとする
tはt1、t2の小なる方とする
●余盛は（1＋0.1s）mm以下とする
●動力が加わる場合のSは母材と同厚とする事が望ましい

（2） 部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）

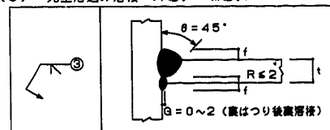


t／4≦S≦10mm
t≦t1

t	t＞16mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強隅肉溶接を付加する

（3） 完全溶込み溶接 （平盛手 T形盛手）



f＝t／4

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強隅肉溶接を付加する AAG

f＝t／4

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

●補強隅肉溶接を付加する

f＝t／4

のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
t＞19	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

●AAG（）内はGCでF.Hの場合
●両側に補強隅肉溶接を付加する

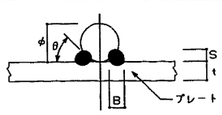
f≧0.5mm（ただし、t≧15mmのとき4mmとする）
a＞4mmの場合（平盛手で脚厚が異なるとき）

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強隅肉溶接を付加する

f＝t／4

（4） フレアー溶接

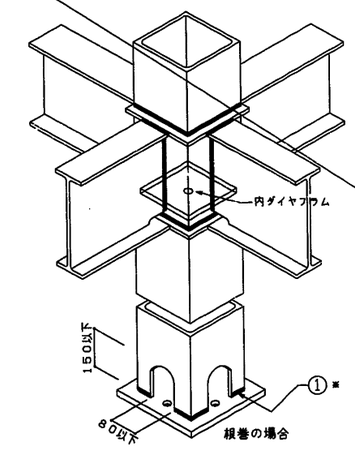


寸法（mm）		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

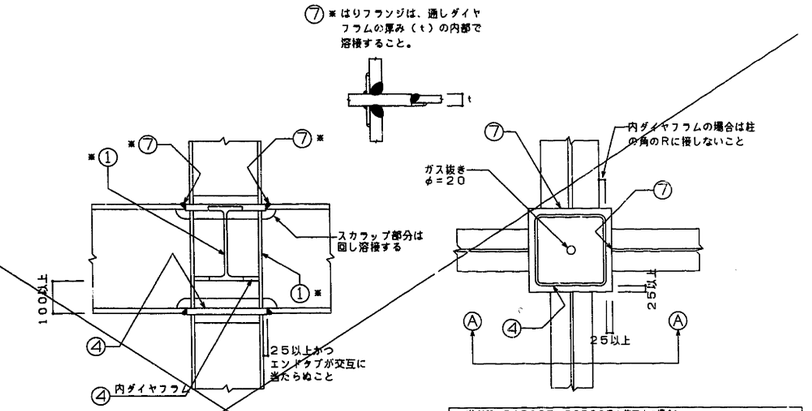
●フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
●9mm～16mmは、1パス以上、19mm以上は、2パス以上とする
溶接線角度θは30°～40°とする

○溶接記号番号を○の中に記入のこと

●BOX型（通しダイヤフラムの場合）



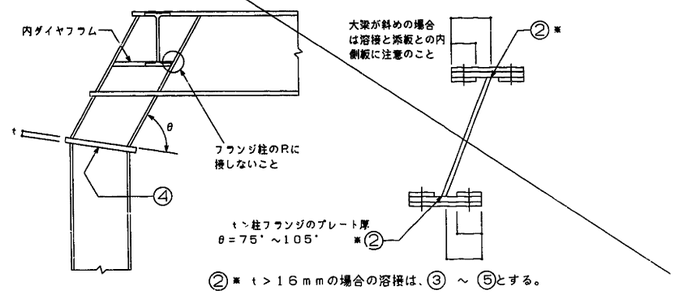
①※ t＞16mmの場合の溶接は、③ ～ ⑤とする。



●鋼材種別による溶接条件

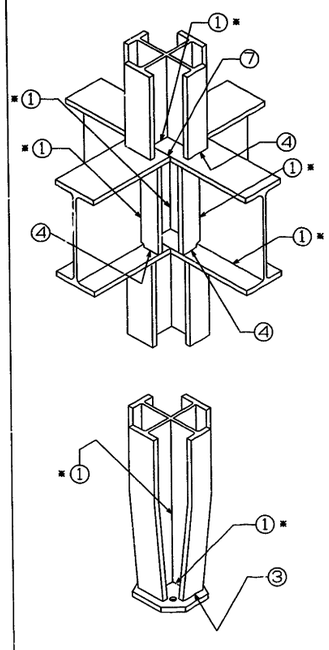
鋼材の種類	溶接材料	入熱（KJ／cm）	パス温度差（℃）
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	YGA-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15	30以下	250以下
	YGW-18、19	40以下	350以下
	YGA-50W、50P		

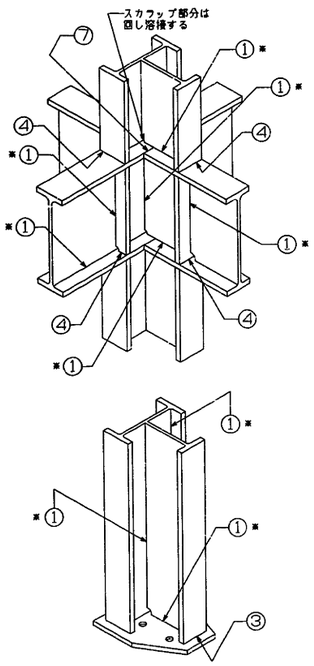
●柱が途中で折れる場合及梁成が異なる場合



②※ t＞16mmの場合の溶接は、③ ～ ⑤とする。

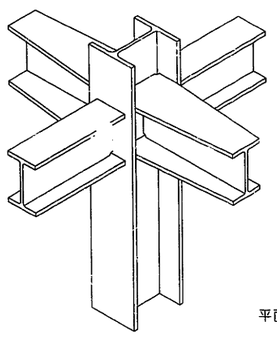
●十、H、H 型



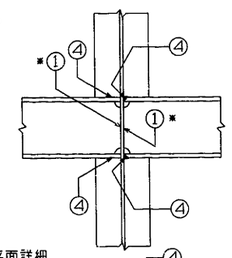


①※ t＞16mmの場合の溶接は、③ ～ ⑤とする。

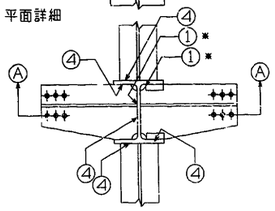
●B、H方式

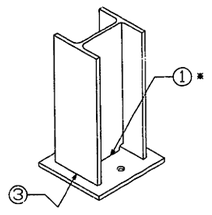


Ⓐ － Ⓐ 断面図



平面詳細





①※ t＞16mmの場合の溶接は、③ ～ ⑤とする。

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	鉄骨構造基準図（1／2）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-175/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

鉄　骨　構　造　標　準　図（２）

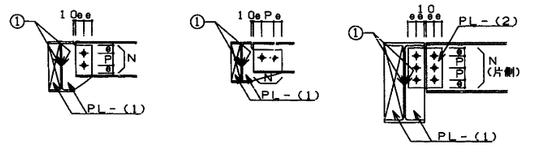
３。継手規準図、その他

（１）　ボルトピッチ（Pボルト穴径・最小縁端距離　　（ｍｍ）

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離（e）				ピッチ（P）	
		（1）	（2）	（3）	(2)(3)の間隔	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70

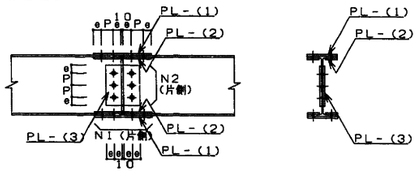
［注］（１）引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
（２）せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
（３）圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

（２）　ピン接合梁継手リスト



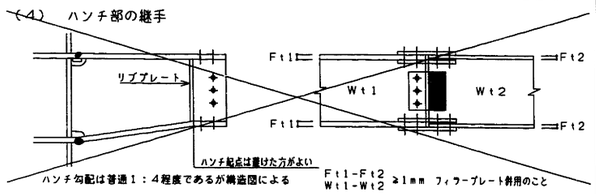
符　号	タイプ	部　材	PL－(1)	PL－(2)	N－径
		部材リストによる			

（３）　梁接合継手リスト

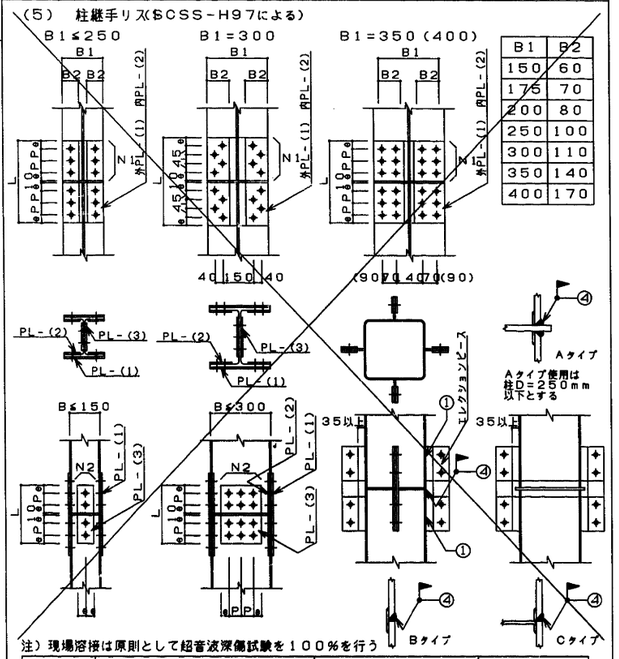


符　号	部　材	フランジ			ウェブ	
		PL－(1)	PL－(2)	N1－径	PL－(3)	N2－径
	部材リストによる					

（４）　ハンチ部の継手



（５）　柱継手リス（SCSS－H97による）



注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を１００％を行う

符　号	部　材	フランジ			ウェブ	
		PL－(1)	PL－(2)	N1－径	PL－(3)	N2－径
	部材リストによる					

（６）　鉄筋ブレース（ＪＩＳ規格品とする…ＪＩＳ５５４０…１９８２／５５４１・５５４２…１９９３）

（ａ）羽子板ボルト　＊継手リスト参照

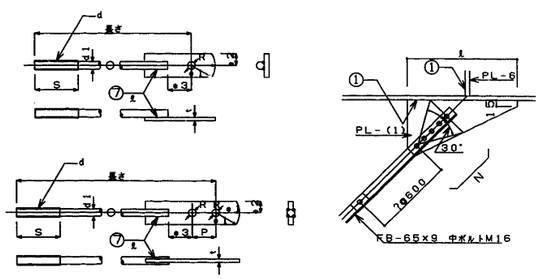
採用								
ねじの呼び（d）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径d	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差+0.-0.5mm	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）	e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製 へりあき（最小）(1)	e2	22	28	28	34	34	38	38
切板製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製 へりあき（最小）(1)	e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
平鋼製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト縁から取付ボルト穴心のあき（最小）	e3	47	52	59	65	66	73	70
溶接長さ（最小）	ℓ	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト(2)	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト（F10T）又は JIS B 1180 中8g 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数	1	1	1	1	1	1	2

注）（１）e１、e２が確保されていれば形状は自由でよい
（２）羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、１面せん断（支圧）接合とする。

（ｂ）形鋼ブレース

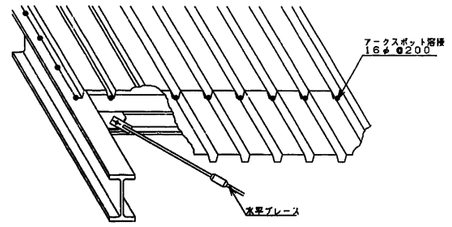
符　号	部　材	PL－(1)	N－径	ℓ
	部材リストによる			

羽子板ボルト　　形鋼ブレース



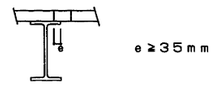
（７）　デッキプレート（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）

梁との溶接およびコネクター

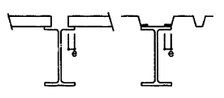


受梁へのかかり寸法および端部処理

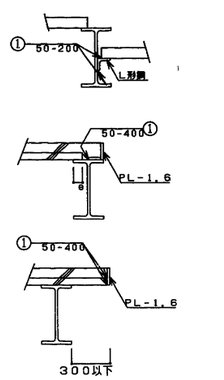
梁上通しの場合　　既製品面戸（鉄板）　折曲加工



梁上切断の場合　　あて板（鉄板）あて板（非金属）

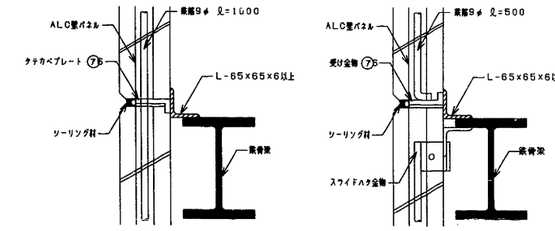


スラブ端部の補足材　　補足受材

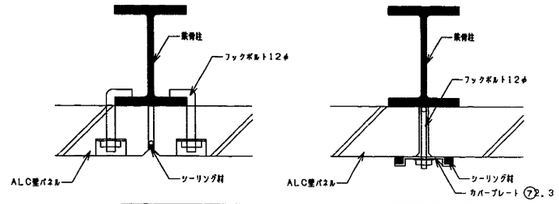


（８）　ＡＬＣ版取付要領

縦壁構法

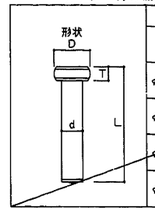


横壁構法



（９）　頭付きスタッドJIS　１１９８）

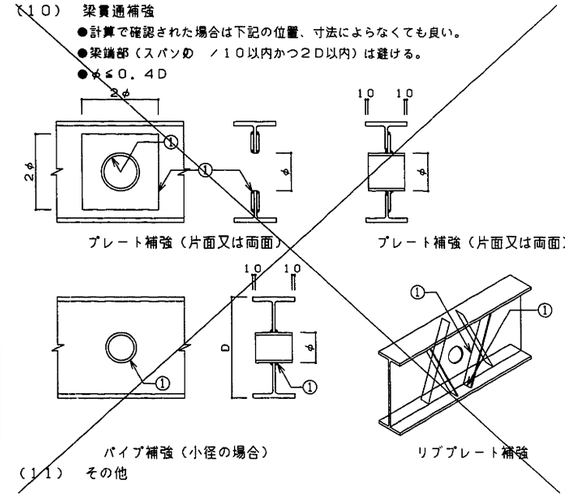
スタッド材の標準形状・寸法



呼び名	スタッド材 軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

（１０）　梁貫通補強

●計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくても良い。
●梁端部（スパンの　／１０以内かつ２Ｄ以内）は避ける。
●d≦０．４D



（１１）　その他

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	鉄骨構造基準図(2／2)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-176/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

露出柱脚工法設計施工標準－①

（本工法は、S造およびCFT構造に適用）　03．10版

大臣認定　国住指第 94～95 号（MSTL-0075～0076）
国住指第 1789～1793 号（MBLT-0014～0018）
BCJ評定　BCJ評定-ST-0058-01

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事に準拠する。

設　計

1．材質

（1）ハイベース・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

	ハイベース	アンカーボルト	ナット	座　金	定着板
規　格	HCW490st ※1（大臣認定取得材）	HAB ※2（大臣認定取得材）	JIS B1181 ※2（六角ナット）	JIS G3106 ※2	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	－	メートル並目 ※3	メートル並目 ※3	－	－
備　考	SN490B同等	降伏比 70％以下	強度区分（二重ナット用） 強度区分（一重ナット用）	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定（MSTL-0075-0076）　※2 国土交通大臣認定（MBLT-0014～0018）　※3 M72は細目ねじ

（2）ハイベース下面のモルタル

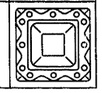
後詰めモルタル	ハイベースグラウト NX2000または、これらと同等以上の無収縮性モルタル。
中心塗部分モルタル	○普通モルタル，または無収縮性モルタル。 ○強度は基礎・基礎ばりの強度以上。

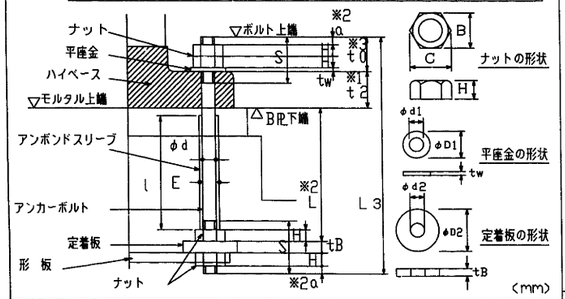
（3）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート。 ○設計基準強度は、Fc＝18 N/mm² 以上
鉄　筋	JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼

2．アンカーボルトのセット寸法

注意　ボルト本数はハイベースの型式によってことなります。

型　式	C1・S1・M1	C2・S2・M2・MA2・L2・LA2	S3・M3
ボルト本数	4	8	12
形状例			

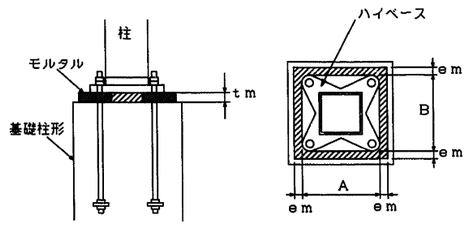


ねじの呼び	アンカーボルト 軸径 φd	ねじ ピッチ P	ねじ 長さ S1	余長 a ※2	定着長さ ※2	台座上長 ※3 t0	全長 ※4 L3	アンボンドスリーブ 長さ l	外径 E	ナット(一種) 高さ H	二面幅 B	対角距離 C	平座金 厚さ tw	内径 φd1	外径 φD1	定着板 厚さ tB	内径 φd2	外径 φD2
M24	24	3	105	10	480	54	645	400	29	19	36	42	6	25	44	16	27	70
M30	30	3.5	130	13	600	67 (48)	800	515	35	24	46	53	6	31	56	16	33	90
M36	36	4	150 (130)	16	720	80 (56)	955 (925)	630	41	29	55	64	6	37	66	19	39	100
M42	42	4.5	165 (145)	18	840	95 (66)	1110 (1080)	745	48	34	65	75	9	43	78	22	45	120
M48	48	5	190 (165)	22	960	107 (74)	1270 (1235)	860	54	38	75	87	9	50	92	25	52	140
M56	56	5.5	210 (185)	24	1120	123 (83)	1470 (1420)	1015	62	45	85	98	9	58	105	28	60	160
M64	64	6	230 (200)	28	1280	142 (96)	1660 (1610)	1165	70	51	95	110	12	66	115	32	68	180
M72	72	6	250	30	1440	158	1850	1320	79	58	105	121	12	74	125	36	76	200

※1　t2 はハイベース台座厚さを示し、ハイベース型 式によって変わります。
※2　L寸法および a 寸法は、ハイベース台座の厚さによって多少変動しますが、本数値以上確保下さい。
※3　t0 は、ハイベース台座上からボルト天端までの最小寸法を表します。
※4　（　）内は、BC型の数値を示します。

注意　・アンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置をお願いします。

3．　基礎柱形部の標準納まり



各部名称	寸法制限
ハイベース下面のモルタル厚さ（tm）	tm≧30（mm）
ハイベース周辺部のモルタル幅（em）	em≧tm

工場加工

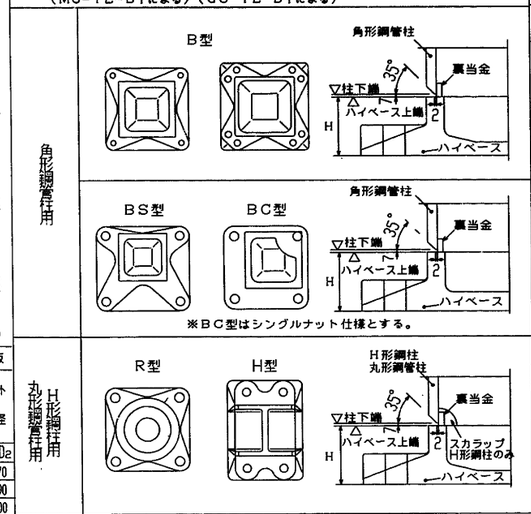
1．溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系490 N/mm² 級高張力鋼用（JIS D5016）
炭酸ガスアーク溶接	軟鋼及び高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ（JIS YGW11相当）

2．ハイベースの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける。）

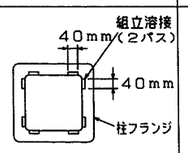
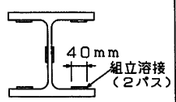
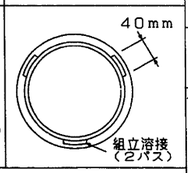
※　柱とハイベースの溶接は、突合せ溶接開先標準（MC-TL-B1による）（GC-TL-B1による）

注意　開先形状は参考

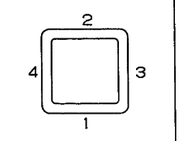
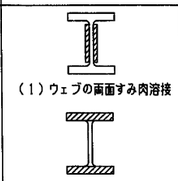
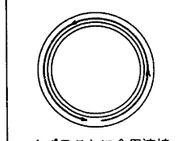


⚠注意　アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、アンカーボルトの締付け、これらの施工は、認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務づけられています。）

3．組立溶接

角形鋼管	H形鋼	丸形鋼管
		

4．本溶接の手順

角形鋼管	H形鋼	丸形鋼管
		

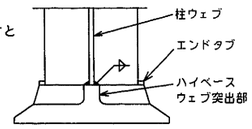
対辺ごとに溶接を行う。

（1）ウェブの両面すみ肉溶接

（2）開先部の溶接

1パスごとに全周溶接を行う。

5．溶接施工一般

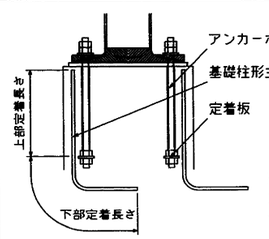
予　熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
H形鋼柱の溶接	エンドタブの取付とH形鋼柱ウェブのすみ肉溶接 

6．検　査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査によってよい。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（1）有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （2）溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

基礎柱形の設計

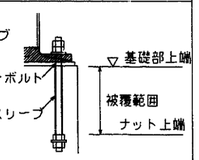
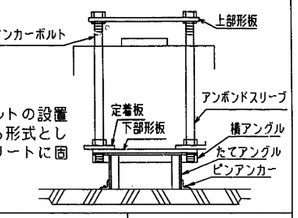
1．基礎柱形主筋の定着長さ

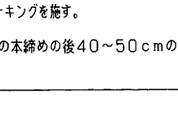


基礎柱形主筋の定着長さについては、スーパーハイベース工法設計ハンドブック内の基礎柱形の設計を参照下さい。

現場施工

1．アンカーボルトの設置

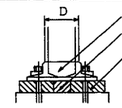
アンカーボルトのアンボンド処理	アンカーボルトはコンクリート埋め込み部をアンボンドスリーブで被覆する。 
アンカーボルトの設置	アンカーボルトの設置は自立できる形式とし捨てコンクリートに固定する。 

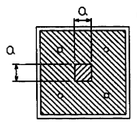
アンカーボルトの埋込み精度の目標値	平面	レベル
	 −3mm≦e2≦+3mm	基準高さより ±3mm

2．基礎・基礎ばりの配筋

3．コンクリートの打設

4．ハイベース下面モルタルの施工





（イ）□ 150×150～700×700mmの角形鋼管柱、H形鋼柱、および φ200～700mmの丸形鋼管柱の場合
150mm ≦ a ≦300mm　かつ柱寸法 D

（ロ）□ 750×750～1200×1200mmの角形鋼管柱および φ750～1000mmの丸形鋼管柱の場合
300mm ≦ a ≦500mm

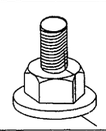
中心塗部分モルタルの養生	普通モルタル	4日以上
	無収縮モルタル	2日以上
後詰めモルタルの養生	無収縮モルタル	アンカーボルトの締め付けまで3日以上または、無収縮モルタルが基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上発現した後

5．アンカーボルトの締め付け

アンカーボルト	φ24	φ30	φ36	φ42	φ48	φ56	φ64	φ72
予備締め	20～30cmのレンチで400 N 程度の力で締め付ける。 ※ トルクの目安 100 N·m	40～50cmのレンチで400 N 程度の力で締め付ける。 ※ トルクの目安 200 N·m			70～80cmのレンチで400 N 程度の力で締め付ける。 ※ トルクの目安 300 N·m			
本　締　め	予備締めの状態からナットを、30° 回転する。（許容差 +10° 0）							

予備締めが終了した段階で白ペンキ等にて、ボルト・ナット・ハイベースにわたり図に示すようマーキングを施す。

上ナットは下ナットの本締めの後40～50cmのレンチで軽く締めつける。



施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）
図面名	露出柱脚（認定）工法設計施工標準（1／2）
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-177/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

露出柱脚工法設計施工標準－ ② （H形鋼）

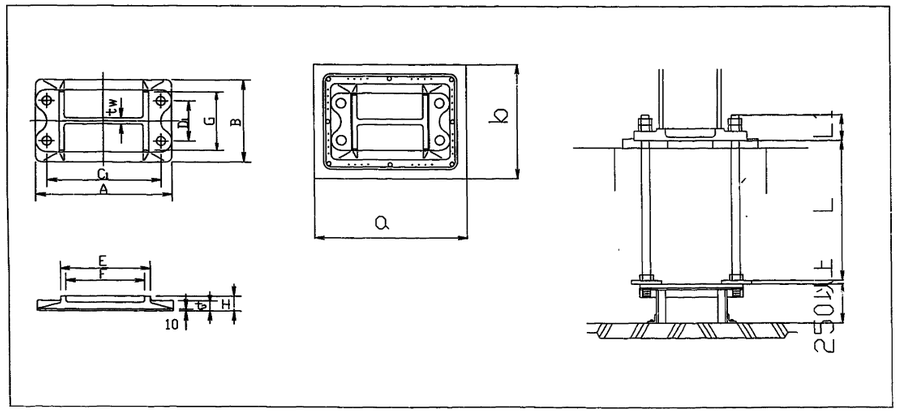
採用			ハイベース形式		ばね定数 ×10⁴kN・m/rad		寸法 (mm)										質量 (kg)		セット質量 (kg)	L	L_1	基礎柱形の設計例 〈 側・隅柱用 〉				基礎柱形の設計例 〈 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示します。）〉				
柱符号	数量				強軸	弱軸	A	B	C_1	D_1	E	F	G	tw	H	t_2	ハイベース	部品				柱形 a×b (mm)	柱主筋（a×b） Iゾーンの場合	柱主筋（a×b） IIゾーンの場合	帯筋	基礎柱形主筋の定着長さ (mm)	柱形 a×b (mm)	柱主筋（a×b） Iゾーンの場合	柱主筋（a×b） IIゾーンの場合	帯筋	基礎柱形主筋の定着長さ (mm)
		H200 × 200 シリーズ	H200 × 200-C1	-24	21.9	11.5	400	300	300	140	206	160	220	32	65	40	35	19	54	480	94	600×450	D16 (3×3)	D16 (5×5)	D13 @150	300	600×450	D16 (3×3)	D16 (5×5)	D13 @150	300
		H250 × 250 シリーズ	H250 × 250-C1	-24	35.7	10.9	480	350	380	160	256	206	270	34	75	51	61	21	82	480	105	650×450	D16 (3×4)	D16 (5×5)	D13 @150	300	550×450	D16 (3×3)	D16 (5×5)	D13 @150	300
				-30	45.1	24.2												32	93	600	118	700×500	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @150	460	700×500	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @150	460
		H300 × 200 シリーズ	H300 × 300-C1	-30	54.8	36.9	520	400	420	220	306	254	320	40	75	55	74	33	107	600	122	700×500	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @150	480	700×500	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @150	460
		H300 × 300 シリーズ		-36	67.8	38.8												51	125	720	135	750×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @150	580	750×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @150	580
		H350 × 250 シリーズ	H350 × 350-C1	-30	68.2	30.9	560	450	460	270	360	296	370	40	70	50	89	35	124	600	117	750×550	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @150	440	750×550	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @150	440
		H350 × 350 シリーズ		-36	80.9	56.5												52	141	720	130	800×600	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @150	550	800×600	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @150	550
			H350 × 350-S1	-36	94.7	56.5	600	450	500	270	360	296	370	40	90	66	110	53	163	720	146	800×600	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @150	550	800×600	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @150	550
				-42	108	82.2												88	199	840	161	850×600	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D13 @100	610	850×600	D25 (3×3)	D25 (5×5)	D13 @100	610
		H400 × 200 シリーズ	H400 × 300-C1	-30	86.8	18.5	620	400	520	220	410	340	320	40	75	54	89	35	124	600	121	800×500	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @150	460	800×500	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @150	460
		H400 × 300 シリーズ		-36	106	39.1												53	142	720	134	850×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @100	500	850×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	500
		H400 × 200 シリーズ	H400 × 400-S1	-42	132	82.1	670	500	550	300	420	330	420	46	95	68	146	91	237	840	163	900×650	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D13 @100	580	900×650	D25 (3×3)	D25 (5×5)	D13 @100	580
		H400 × 300 シリーズ		-48	157	98.4												124	270	960	175	900×650	D25 (3×4)	D25 (6×6)	D13 @100	700	900×650	D25 (4×5)	D25 (6×6)	D13 @100	700
		H400 × 400 シリーズ		-48	203	113	800	550	660	330	468	342	440	60	115	90	255	128	383	960	197	1000×700	D25 (4×5)	D25 (8×6)	D13 @100	690	1000×700	D25 (3×4)	D25 (6×6)	D13 @100	690
			H400 × 400-H1	-56	234	125												200	455	1120	213	1050×700	D25 (4×6)	D25 (7×8)	D16 @100	740	1050×700	D25 (3×5)	D25 (7×8)	D16 @100	740
		H450 × 200 シリーズ	H450 × 300-C1	-30	109	19.9	680	400	580	230	460	384	330	40	80	56	98	36	134	600	123	900×550	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @100	410	900×550	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @100	410
		H450 × 300 シリーズ		-36	137	24.4												53	151	720	136	900×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @100	510	900×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	510
			H450 × 300-S1	-36	148	23.6	730	400	610	210	480	384	330	40	95	72	120	54	174	720	152	950×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @100	520	950×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	520
				-42	186	35.1												90	210	840	167	950×550	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D13 @100	650	950×550	D25 (3×3)	D25 (5×5)	D13 @100	650
○	4	H500 × 200 シリーズ	H500 × 300-C1	-30	139	15.0	730	400	630	230	510	434	330	40	90	56	110	38	146	600	123	950×550	D19 (3×4)	D19 (5×5)	D13 @100	410	950×550	D19 (3×3)	D19 (5×5)	D13 @100	410
		H500 × 300 シリーズ		-36	159	23.9												54	164	720	136	950×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @100	520	950×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	520
			H500 × 300-S1	-36	181	31.1	760	450	640	220	510	428	320	40	90	67	135	60	195	720	147	950×550	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D13 @100	520	950×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	520
				-42	190	36.9												91	226	840	162	950×550	D25 (4×4)	D25 (5×5)	D13 @100	650	950×550	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D13 @100	650
○	4	H600 × 200 シリーズ	H600 × 300-C1	-36	225	30.6	850	400	740	220	616	528	330	40	90	66	135	62	197	720	146	1050×550	D22 (4×4)	D22 (5×5)	D13 @100	540	1050×550	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D13 @100	540
		H600 × 300 シリーズ		-42	262	36.7												94	229	840	161	1050×550	D25 (4×4)	D25 (5×5)	D13 @100	670	1050×550	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D13 @100	670
			H600 × 300-S1	-42	273	36.7	900	450	760	220	616	528	320	40	100	78	175	95	270	840	173	1100×600	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D16 @100	570	1100×600	D25 (3×3)	D25 (5×5)	D16 @100	570
				-48	306	50.1												128	303	960	185	1100×600	D25 (4×5)	D25 (6×6)	D16 @100	710	1100×600	D25 (3×4)	D25 (6×6)	D16 @100	710
		H700 × 300 シリーズ	H700 × 300-C1	-36	298	31.5	960	450	840	220	720	628	320	40	90	67	165	64	229	720	147	1150×600	D22 (3×4)	D22 (5×5)	D16 @100	470	1150×600	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D16 @100	470
				-42	350	36.5												106	271	840	162	1150×600	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D16 @100	580	1150×600	D25 (3×3)	D25 (5×5)	D16 @100	580
			H700 × 300-S1	-48	412	50.9	1000	450	860	220	720	628	320	40	115	90	220	140	360	960	197	1200×650	D25 (4×5)	D25 (6×6)	D16 @100	690	1200×650	D25 (3×4)	D25 (6×6)	D16 @100	690
				-56	472	54.9												204	424	1120	213	1200×700	D25 (6×6)	D25 (7×8)	D16 @100	790	1200×700	D25 (5×5)	D25 (7×8)	D16 @100	790
		H800 × 300 シリーズ	H800 × 300-C1	-36	394	39.7	1060	450	940	270	820	728	320	40	90	67	176	66	242	720	147	1250×600	D25 (3×3)	D25 (4×4)	D16 @100	460	1250×600	D25 (3×3)	D25 (4×4)	D16 @100	460
				-42	453	40.3												110	286	840	162	1300×600	D25 (4×4)	D25 (5×5)	D16 @100	600	1300×600	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D16 @100	600
			H800 × 300-S1	-48	529	55.9	1100	450	960	220	820	728	320	40	115	90	222	144	376	960	197	1350×650	D29 (4×4)	D29 (5×5)	D16 @100	710	1350×650	D29 (3×3)	D29 (5×5)	D16 @100	710
				-56	611	57.6												209	441	1120	213	1350×700	D29 (5×5)	D29 (6×6)	D16 @100	840	1350×700	D29 (4×5)	D29 (6×6)	D16 @100	840
		H900 × 300 シリーズ	H900 × 300-C1	-36	519	41.5	1160	450	1040	220	920	828	320	40	90	67	188	69	257	720	147	1350×600	D22 (4×4)	D22 (5×5)	D16 @100	490	1350×600	D22 (3×3)	D22 (5×5)	D16 @100	490
				-42	591	41.8												114	292	840	162	1400×600	D25 (4×4)	D25 (5×5)	D16 @100	620	1400×600	D25 (3×4)	D25 (5×5)	D16 @100	620
			H900 × 300-S1	-48	695	57.6	1200	450	1060	220	920	828	320	40	115	90	244	148	392	960	197	1400×650	D29 (5×5)	D29 (5×5)	D16 @100	730	1400×650	D29 (4×3)	D29 (5×5)	D16 @100	730
				-56	770	59.1												214	458	1120	213	1400×700	D29 (5×5)	D29 (6×6)	D16 @100	860	1400×700	D29 (4×5)	D29 (6×6)	D16 @100	860

表示例

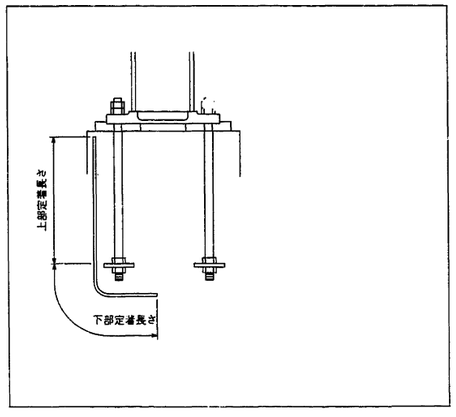
H 200×200－C1－24

- 24：アンカーボルト径
- C1：ハイベースのタイプ
- 200×200：H形鋼柱用

Hタイプの基礎柱形の設計例



基礎柱形主筋の定着長さ



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	露出柱脚(認定)工法設計施工標準(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-178/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

合成スラブ設計・施工標準

合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、
鋼材倶楽部「デッキプレート床構造設計・施工規準」、による。

設　計

材料／デッキプレート　[ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類		表面処理
QLデッキ	■QL99-50-12 □QL99-50-16 □QL99-75-12 □QL99-75-16	□裏面防錆処理 □QLプライマー(P) □(　　) ■亜鉛メッキ(G) ■Z12　□Z27
QLヒルフー	□GKX-50-12 □GKX-50-16 □GKX-75-12 □GKX-75-16	亜鉛メッキ Z27限定
材　質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

材料／コンクリート

種類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート(□1種　□2種)
設計基準強度	□18　■21　□(　　)N／mm²
厚さ(デッキ山上)	□60　□70　■80　□85　□90　□95　□100　□(　　)mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

■溶接金網	JIS G 3551	■φ6-150x150　□φ6-100x100
□異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	□D10-@200　□(　　)

接　合

■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□発射打込みびょう	別途発射打込みびょうの仕様による
□頭付きスタッド	JIS B 1198　□φ13　□φ16　□φ19　□φ22
□その他	

耐　火

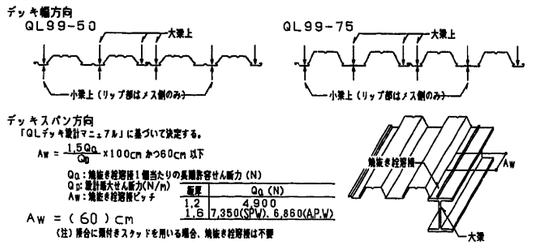
	1時間	2時間
連続支持	■FP060FL-9095	□FP120FL-9107
単純支持	□FP060FL-9101	□FP120FL-9113
その他 □指定なし	□(　　) □(　　)	□(　　) □(　　)

特　記

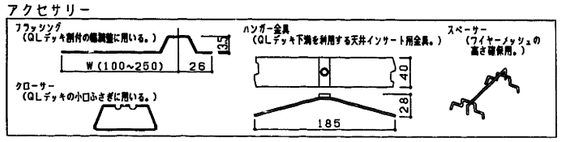
支保工有無	その他：
■無　□有	

上記内の採用項目に■を記して下さい。

焼抜き栓溶接



アクセサリー

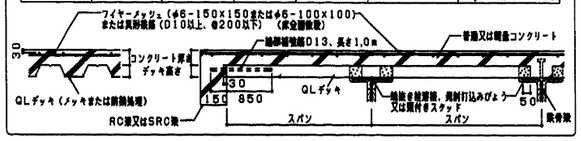


耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁、小梁：鉄骨梁
コンクリート：設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1種・2種)

耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容耐力
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3,0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
			3,6m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	4,400N/m²以下 注2)
	軽量コンクリート	QL99-50	3,0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	95mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
			3,6m 以下	95mm 以上	D10-@200	5,400N/m²以下 注2)
	軽量コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
			3,6m 以下	90mm 以上	D10-@200	5,400N/m²以下 注2)



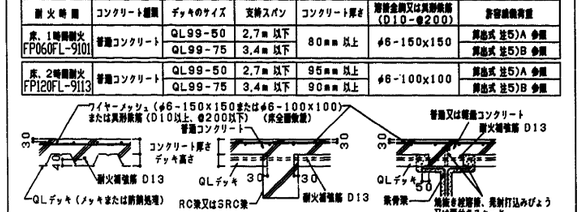
【単純支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨梁
コンクリート：設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1種・2種)
耐火補強筋：D13（デッキプレート谷間@300）

耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容耐力
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2,7m 以下			算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	95mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	85mm 以上		算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照

支持梁：鉄骨コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁の場合
コンクリート：設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：D13（デッキプレート谷間@300）

耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容耐力
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2,7m 以下	95mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5)A 参照
		QL99-75	3,4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照



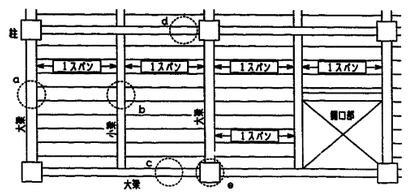
注1) スパンとは梁骨架の場合デッキプレートを支持する架の中心間距離、鉄筋コンクリートの場合芯間寸法をいう。
注2) スパン3,4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径16mm以上、ピッチ300mm以下）で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、発射打込みびょう、または頭付きスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火被覆　梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5) 許容耐力算定式　　記号：L：支持スパン(m)

[A] QL99-50	[B] QL99-75
$W=5,400\times(\frac{2,7}{L})^2 \leq 9,800\ N/m^2$	$W=5,400\times(\frac{3,4}{L})^2 \leq 9,800\ N/m^2$

付帯条件 デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

標準納まり

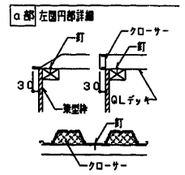
支持梁：鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート梁



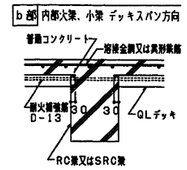
a部 建物外廻り デッキスパン方向



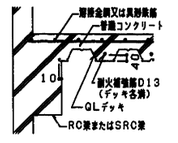
a部 左開口部詳細



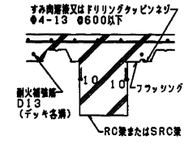
b部 内部大梁、小梁 デッキスパン方向



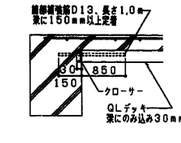
c部 建物外廻り デッキ幅方向



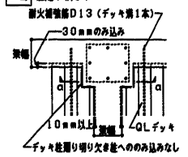
d部 建物内部大梁 デッキ幅方向



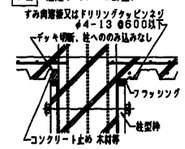
a部 外周梁(デッキ連続の時)



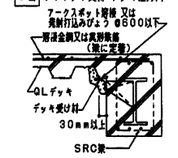
e部 柱廻り納まり



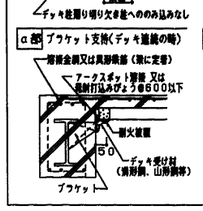
e部 柱廻り（a－a断面）



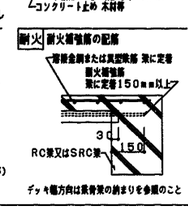
c部 ブラケット支持 デッキ幅方向



α部 ブラケット支持(デッキ連続の時)



耐火 耐火補強筋の配筋



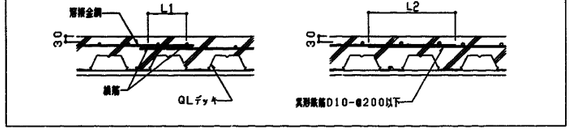
デッキ幅方向は鉄骨梁の納まりを参照のこと

溶接金網

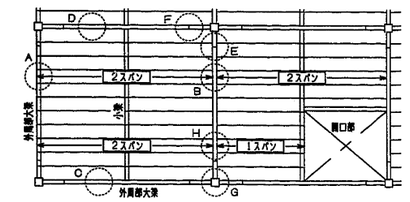
コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

溶接金網の重ね代L1：
1メッシュと50mm以上
φ6-150x150は200mm以上
φ6-100x100は150mm以上

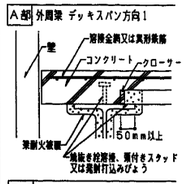
異形鉄筋の重ね代L2：
450以上



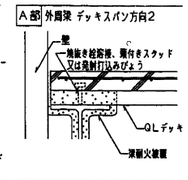
支持梁：鉄骨梁



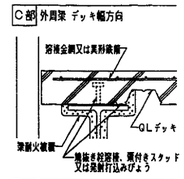
A部 外周梁 デッキスパン方向1



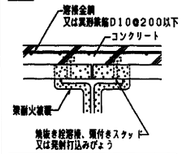
A部 外周梁 デッキスパン方向2



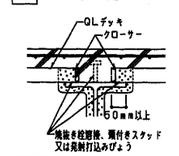
C部 外周梁 デッキ幅方向



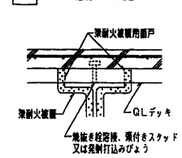
B部 デッキを突き合わせた場合



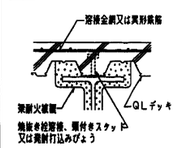
B部 デッキを梁した場合



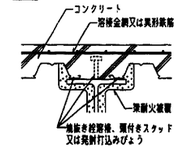
B部 デッキを連続にした場合



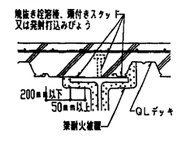
D部 デッキ幅方向 デッキを連続した場合



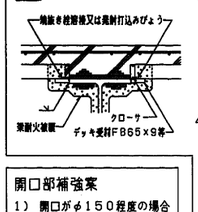
D部 デッキを梁した場合



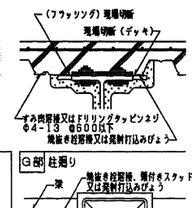
D部 梁との間に隙間がある場合



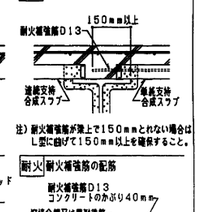
E部 梁逃手部 デッキスパン方向



F部 梁逃手部 デッキ幅方向

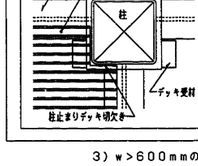


H部 連続支持と単純支持取り合部

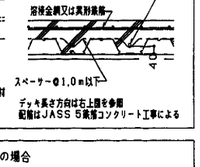


注）耐火補強筋が梁上で150mmとれない場合はL型に曲げて150mm以上を確保すること。

G部 柱廻り

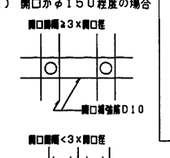


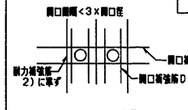
耐火 耐火補強筋の配筋



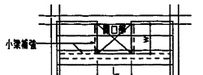
開口部補強案

1) 開口がφ150程度の場合

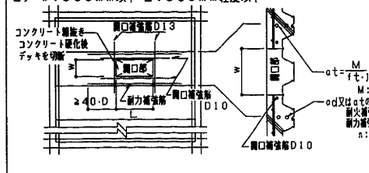




3) w＞600mmの場合



2) w：600mm以下 L：900mm程度以下



施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
デッキと梁との接合
1) 頭付きスタッド
2) 発射打込みびょう
3) 焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
コンクリート打設
↓
検　査

敷込み

1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次端当な枚数(5～10枚)ごとに仮止め溶接する。

2) デッキプレートの満部が各大梁上に乗るように敷込む。(50mm以上)

3) デッキプレートの長さ方向の梁上のかかり幅は、50mm 以上に敷込む。

デッキと梁との接合

1) 頭付きスタッド
仕様及び打設位置は別途設計図による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で結合する。

2) 発射打込みびょう
別途発射打込みびょうの施工要領による。

3) 焼抜き栓溶接
平成14年4月16日 国土交通省告示第326号 第2掲合ハ(4)焼抜き栓溶接に
基づく下記仕様による。(梁フラッジの表面処理条件：黒皮または一般錆止め塗装)

焼抜き栓溶接［SPW］―アーク手溶接―

(1) 溶接機
交流アーク溶接機 AW250A以上　エンジン溶接機 230A以上

(2) 溶接棒
JIS Z 3211のD4316, JIS Z 3212のD5016 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で
銘柄4mmφのもの

(3) 標準溶接条件

梁フラッジ板厚	溶接電流
6mm以上	190～230A(標準210A)

(4) 溶接工の資格
JIS Z 3801, JIS Z 3841 における基本級の有資格者

(5) 手順・要領
右の1～4の順に行う。

	工程	手順・要領
1	アーク発生	デッキを突になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	デッキ焼抜き	溶接棒を右手引き上げてアークを飛ばし、径10mm前後の"の字を描いてデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を突上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ2～3回転しながら溶着。
4	整形	溶着金属を盛大、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値210A(標準)の場合8秒程度

自動焼抜き栓溶接［A,P,W］― CO2アークスポット溶接 ―

(1) 一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　18KVA以上　3相　200V
発電機の場合　35KVA以上　3相　200V

(2) ワイヤの種類と直径　：YGW　11, 12　φ1,2mm

(3) 標準溶接条件：下表

デッキ板厚 (mm)	梁フラッジ板厚 (mm)	電流 (A)	電圧 (V)	アークタイム (秒)
1,2	6～9未満	300～320	33～35	3,0～4,0×1盛打ち
	9以上	300～320	33～35	3,0～4,0×2盛打ち
1,6	6～9未満	300～320	34～36	3,5～4,5×1盛打ち
	9以上	300～320	34～36	4,0～4,5×2盛打ち

注1.デッキプレート　板厚1.2、1.6mm　表面条件：Z12、Z27、表面塗装
2.CO2ガス流量：20リットル／分以上

検　査

【焼抜き栓溶接（SPW）及び自動焼抜き栓溶接（A,P,W）】

□事前検査
SPW：適正な溶接を行うため下記の方法で電流値をチェックする。
1) 検査計での計測
2) 溶接棒の頭径具合による確認 ――未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、10mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の頭径具合が45～53mmであること。
A,P,W：試し溶接を行って溶接性を確認する。

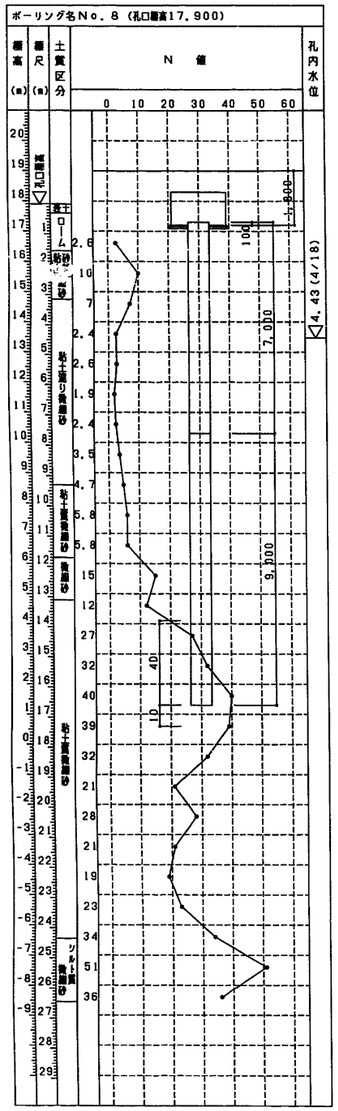
□溶接後の外観検査
1) 溶接部の亀裂　2) 焼き明け、余盛り不足の有無
3) 部材を盛り SPW:18mm以上 A,P,W:25mm以上

□不良部の補修
SPW の場合：スラグ除去後、再びデッキプレートを密着させて再溶接する。
不具合箇所に溶着金属を appropriate に盛り足す要領で補修。
A,P,Wの場合：重ね溶接して補修する。

【その他】
(1)デッキ組立のかん合状況　(2)溶接金属の敷込み状況　(3)鋼口部の補強状況

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	合成スラブ設計．施工標準
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-179/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

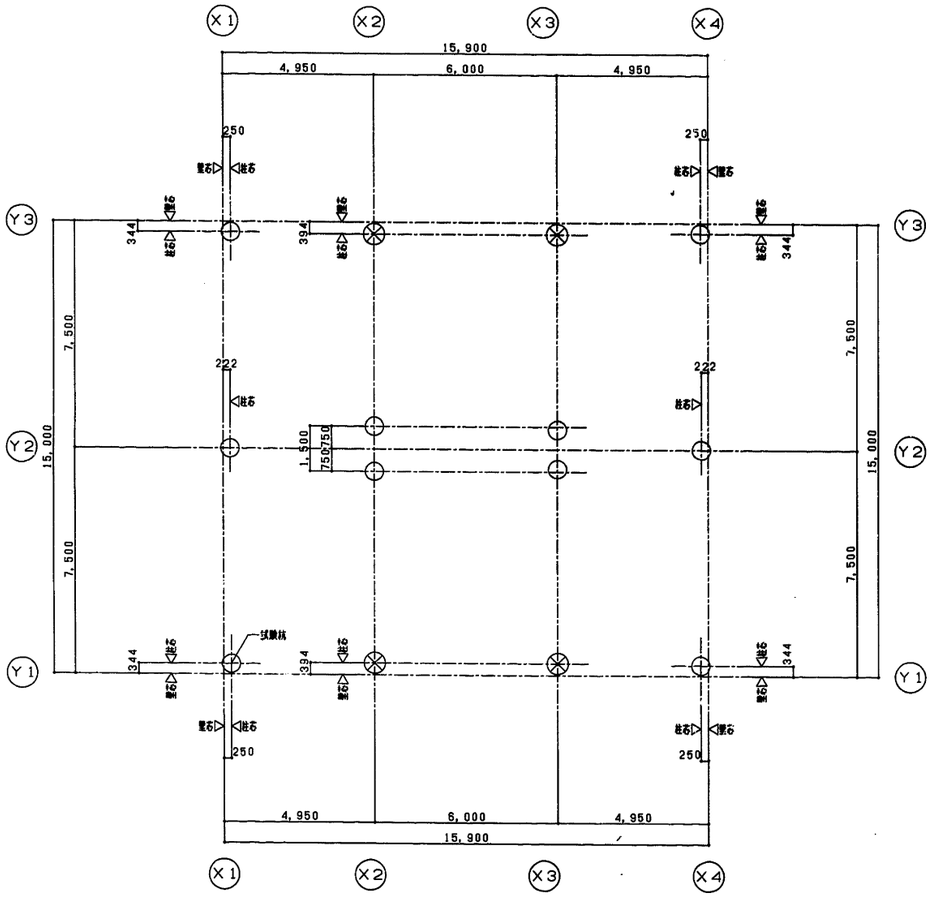
ボーリング柱状図　S=1:100



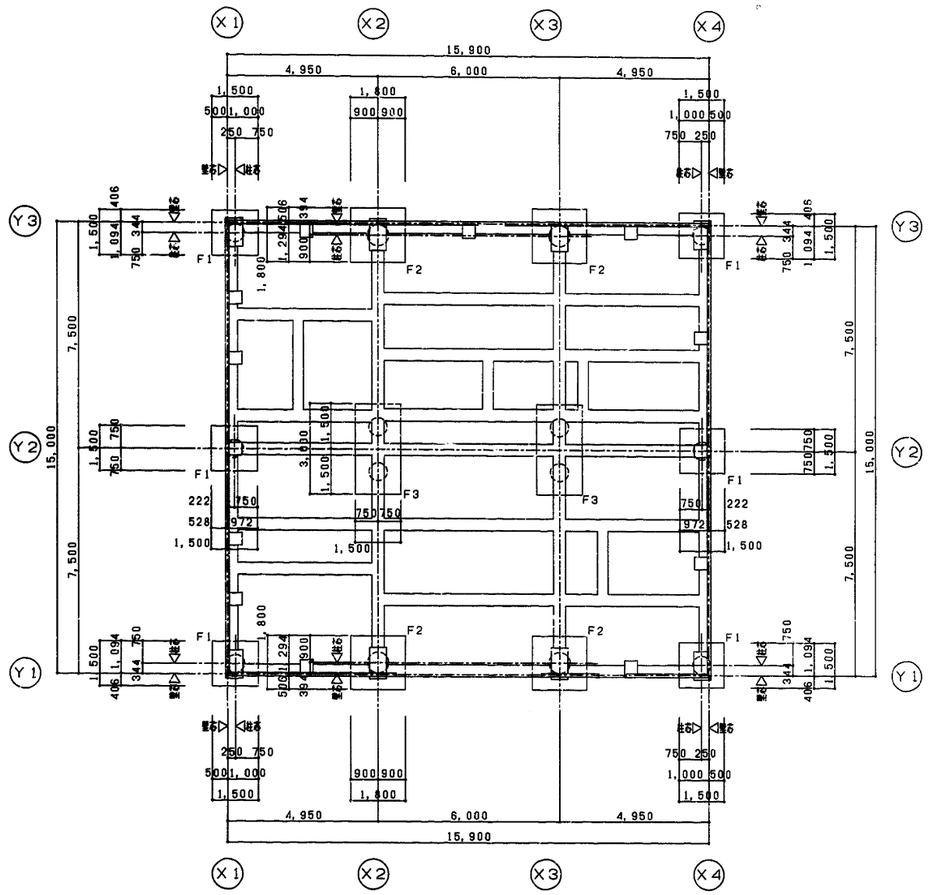
ボーリング位置図



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	ボーリング柱状図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-180/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

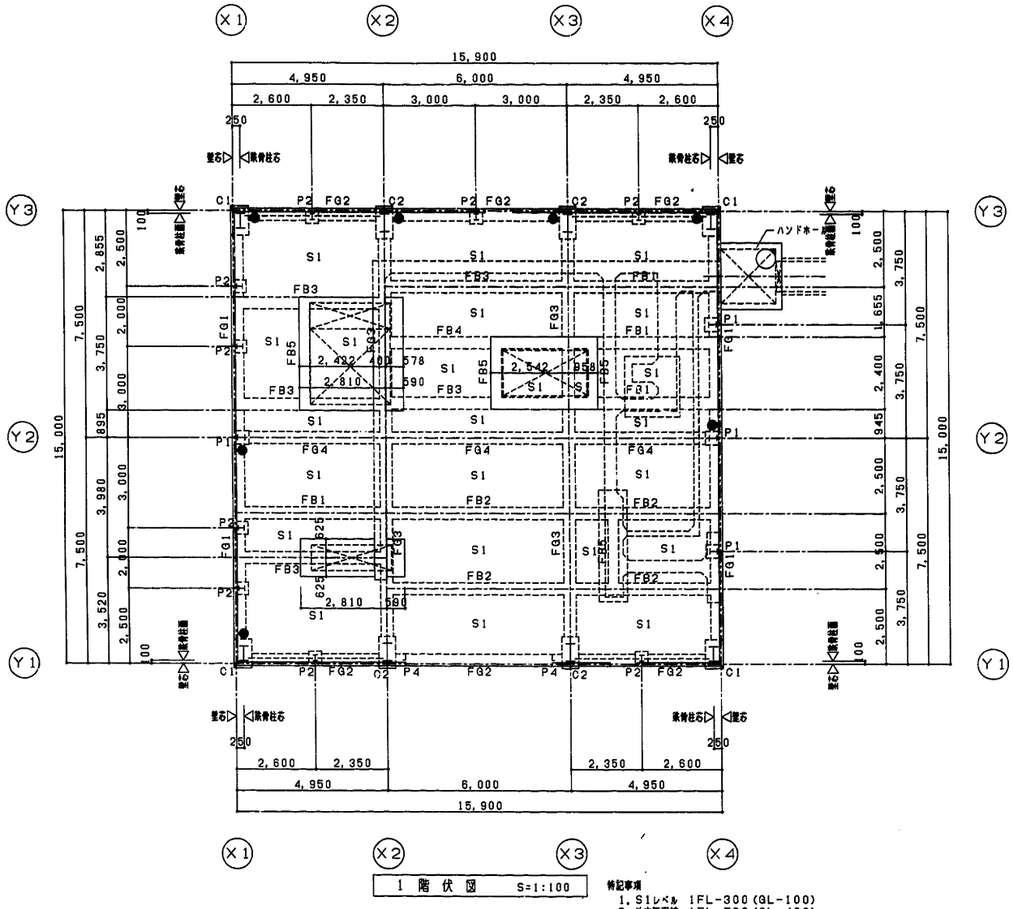


特記事項
1. 杭仕様
中掘り拡大根固め工法（設定工法）
杭頭深さ 設計GL－ 1.70m
杭先端深さ 設計GL－17.70m（支持層：細砂）
○ PHC 600φ L=16m（上杭7m（B種）+下杭9m（A種）） 10セット 長期許容支持力 750kN/本
⊗ PHC 700φ L=16m（上杭7m（A種）+下杭9m（A種）） 4セット 長期許容支持力 1000kN/本



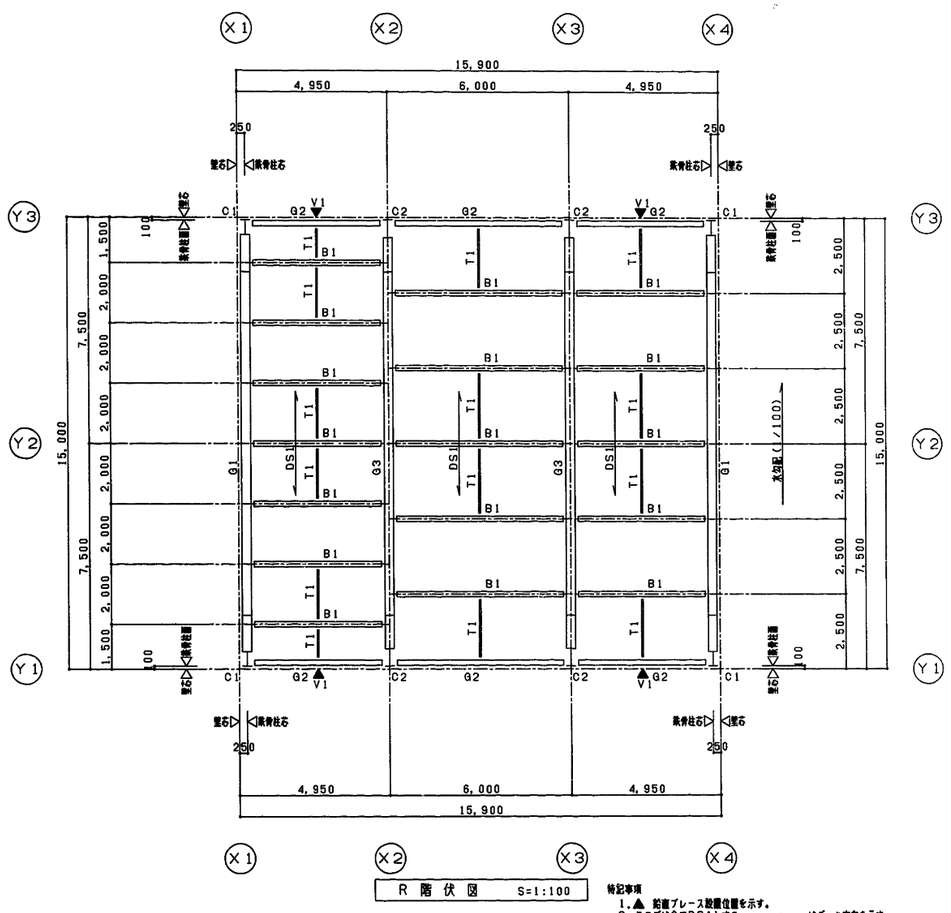
特記事項
1. フーチング下端レベル GL－ 1.80m
2.
3.
4.

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	杭伏図、基礎伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-181/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



1 階 伏 図　S=1:100

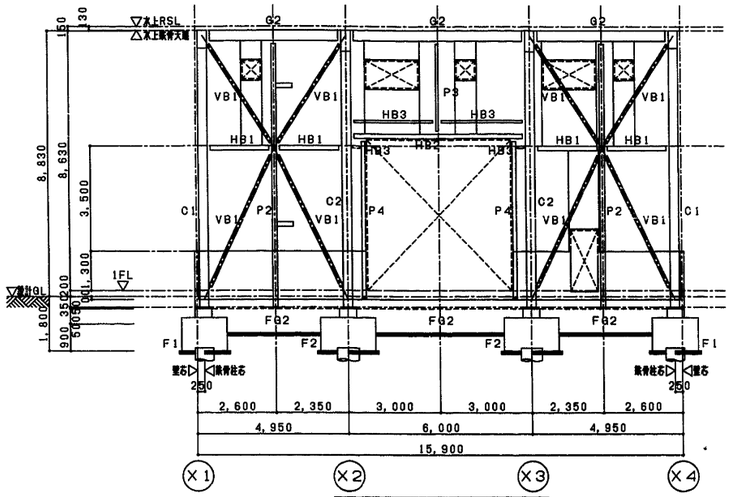
特記事項
1. S1レベル　1FL-300(GL-100)
2. 地中梁天端　1FL-700(GL-400)
3. ● 鋼管挿入用フック取付位置を示す。
4.



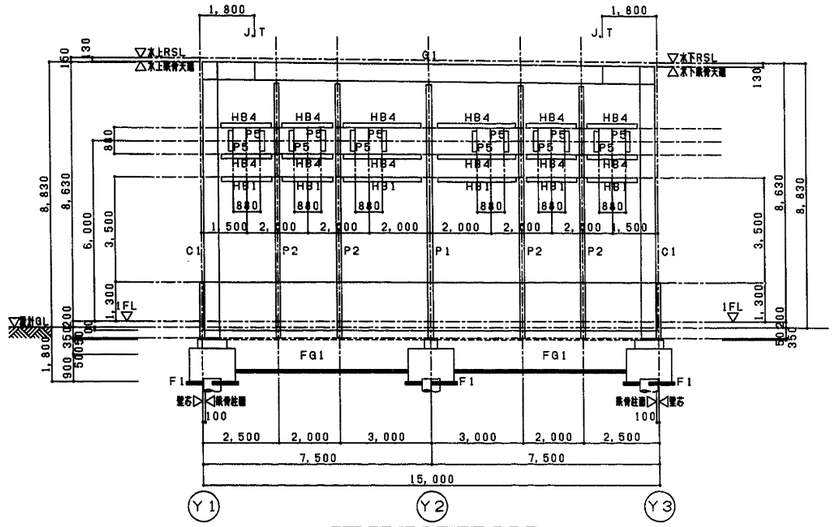
R 階 伏 図　S=1:100

特記事項
1. ▲ 鉛直ブレース設置位置を示す。
2. スラブは全てDS1とする。　——→ はデッキ方向を示す。
3. 集骨天端　RSL-130
4.

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	1階伏図、R階床伏図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-182/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



Y1通 軸 組 図 S=1:100



X1通 軸 組 図 S=1:100

Y2通 軸 組 図 S=1:100

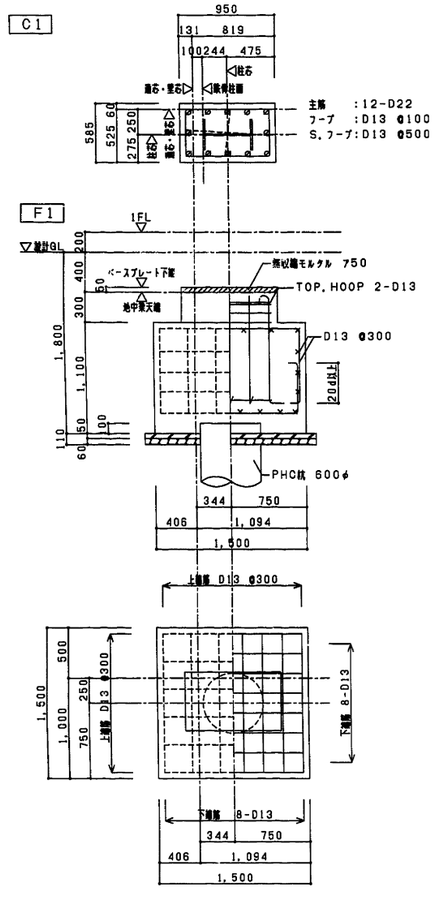
X2・3通 軸 組 図 S=1:100

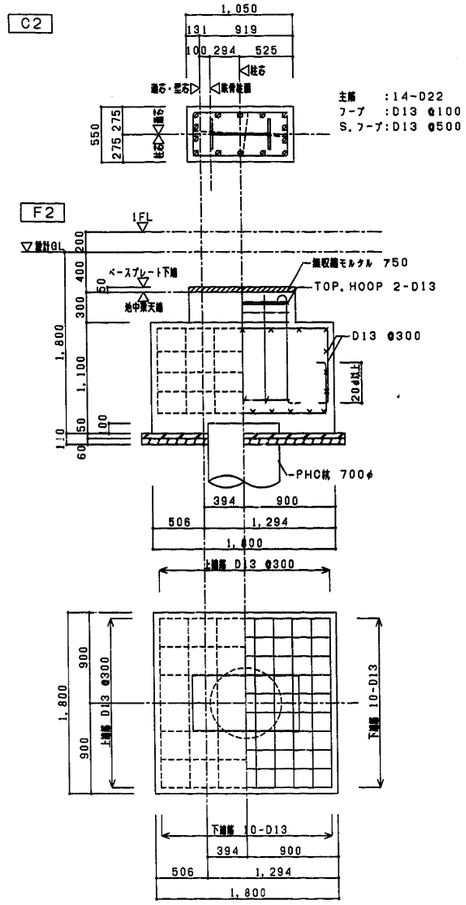
Y3通 軸 組 図 S=1:100

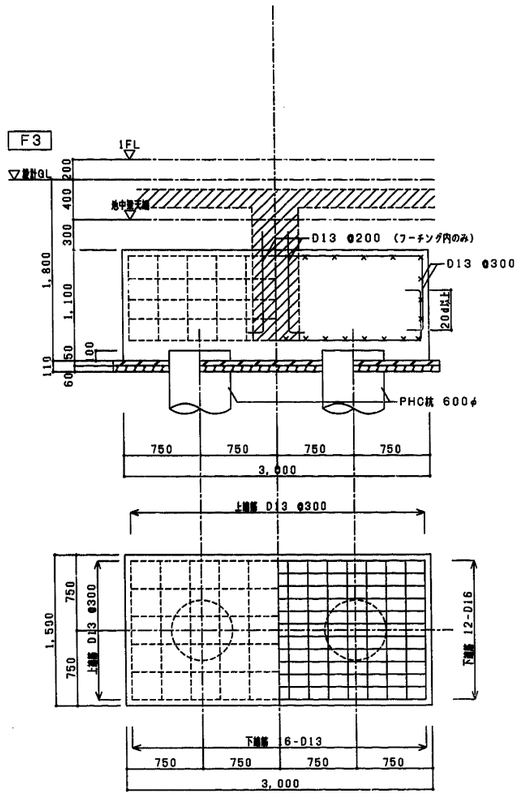
X4通 軸 組 図 S=1:100

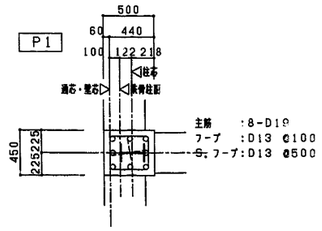
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	軸組図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-183/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

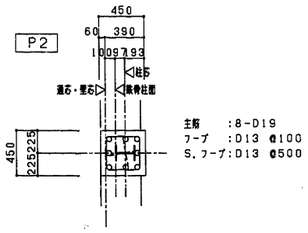
基礎詳細図 S=1:30





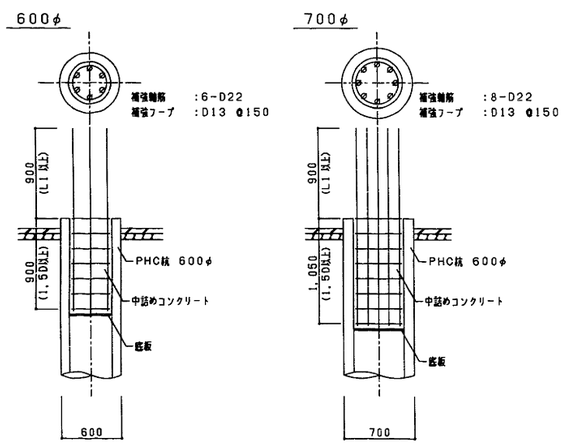






杭詳細図 S=1:30

杭頭補強筋

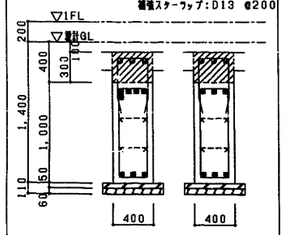
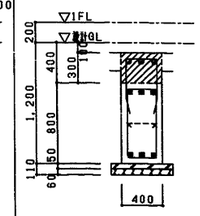
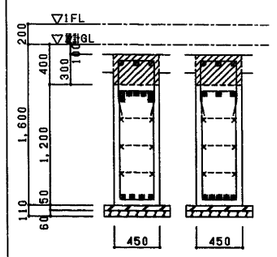


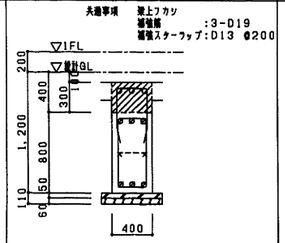
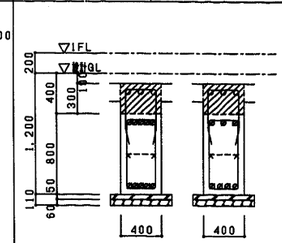
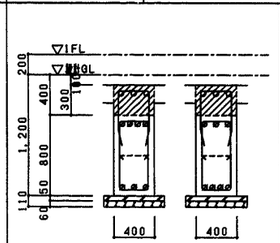
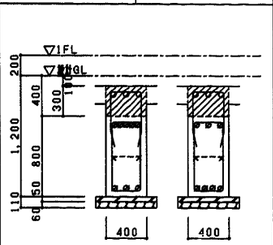
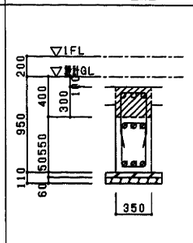
使用材料

コンクリート : Fc=21N/mm2	柱 : SN400B (鋼柱はSS400)
鉄筋 : SD295A(D16以下) SD345 (D19以上)	大梁(G1・G3) : SN400B 小梁 : SS400 柱脚 : 露出柱脚(認定)工法標準図による (鋼柱はSN400B) G.PL STiF.PL RIB.PL : SS400B 高力ボルト : S10T(摩擦係数0.45) アンカーボルト : 露出柱脚(認定)工法標準図による (鋼柱はSS400)

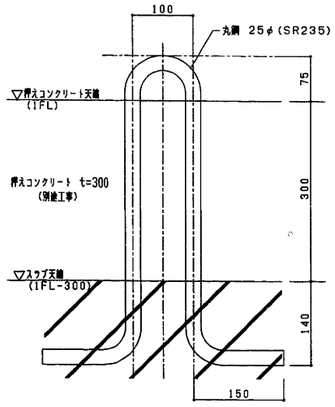
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	基礎詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-184/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

地中梁リスト　S=1:30

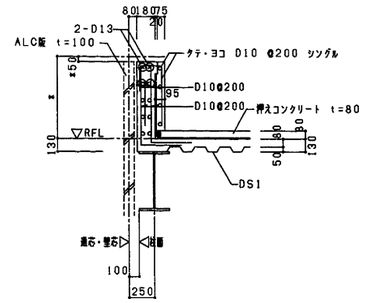
符号	FG1		FG2 FG4		FG3			
位置	両端	中央	全断面		両端	中央		
断面	共通事項　架上フカシ 補強筋　:3-D22 補強スターラップ:D13 @200 							
上端筋	5 - D25	3 - D25	3 - D25		7 - D25	3 - D25		
下端筋	3 - D25	3 - D25	3 - D25		4 - D25	5 - D25		
スターラップ	□ - D13 @200		□ - D13 @200		□ - D13 @200			
腹筋・中止筋	4 - D13, D13 @1000以下		2 - D13, D13 @1000以下		6 - D13, D13 @1000以下			
備考								

符号	FB1	FB2		FB3		FB4		FB5
位置	全断面	両端	中央	両端	中央	両端	中央	全断面
断面	共通事項　架上フカシ 補強筋　:3-D19 補強スターラップ:D13 @200 							
上端筋	3 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22
下端筋	3 - D22	5 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22
スターラップ	□ - D13 @250	□ - D13 @250		□ - D13 @250		□ - D13 @250		□ - D13 @250
腹筋・中止筋	2 - D13, D13 @1000以下	2 - D13, D13 @1000以下		2 - D13, D13 @1000以下		2 - D13, D13 @1000以下		
備考								

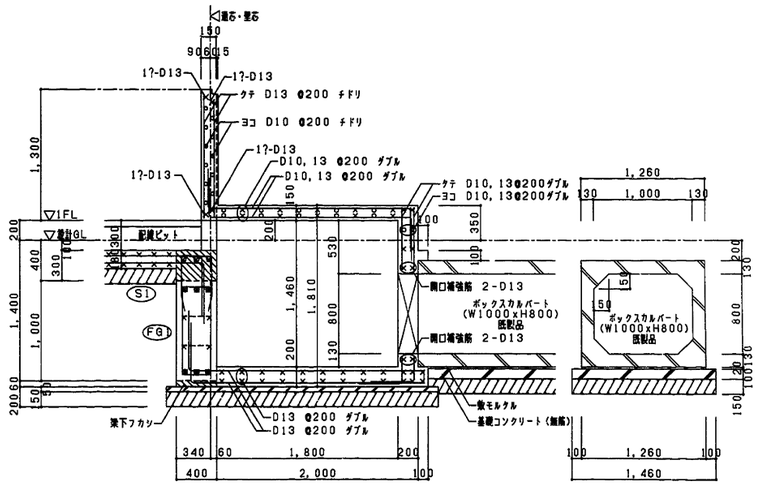
フック詳細図



パラペット部

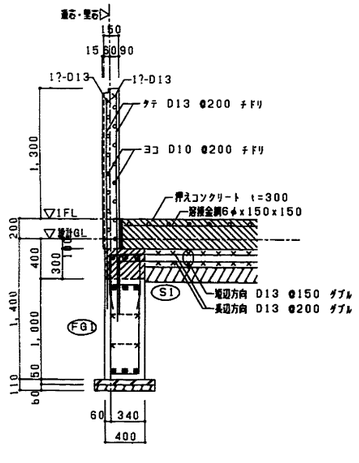


ハンドホール・ボックスカルバート部

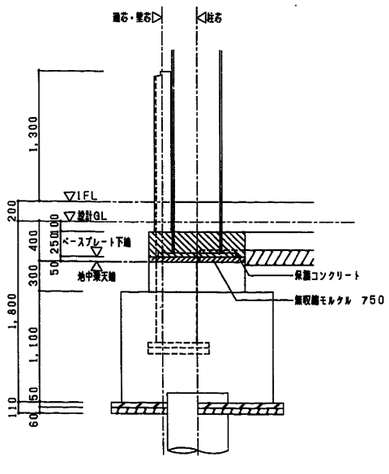


雑詳細図　S=1:30

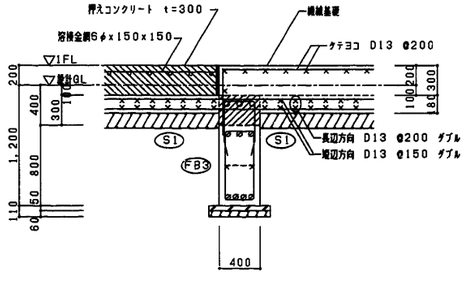
腰壁部



柱脚部



繊維基礎部

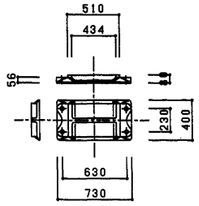
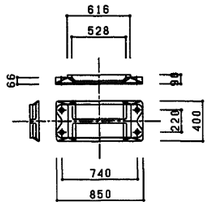


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	地中梁リスト、雑詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-185/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

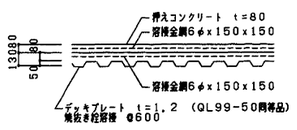
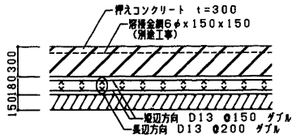
鉄骨断面リスト

符号	断面	備考	符号	断面	備考
RG1	H- 588 x 300 x 12 x 20		C1	H- 488 x 300 x 11 x 18	
RG2	H- 350 x 175 x 7 x 11		C2	H- 588 x 300 x 12 x 20	
RG3	H- 700 x 300 x 13 x 24				
			P1	H- 244 x 175 x 7 x 11	
B1	H- 350 x 175 x 7 x 11		P2	H- 194 x 150 x 6 x 9	
T1	[- 150 x 75 x 6.5 x 10		P3	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	
			P4	[- 200 x 80 x 7.5 x 11	
HB1	H- 194 x 150 x 6 x 9	繰使い	P5	H- 150 x 150 x 7 x 10	
HB2	H- 244 x 175 x 7 x 11	繰使い			
HB3	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	繰使い	VB1	2[- 100 x 50 x 5 x 7.5	
HB4	H- 150 x 150 x 7 x 10	繰使い			
			ウダー受け	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	

柱脚リスト S=1:30

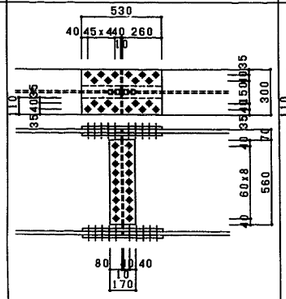
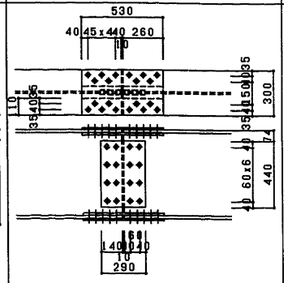
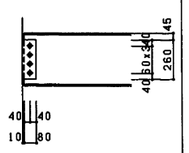
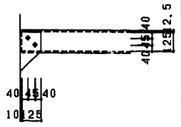
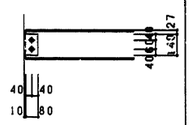
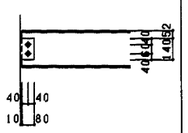
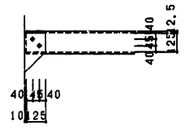
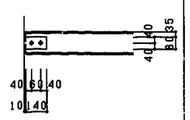
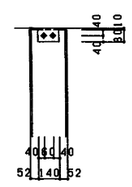
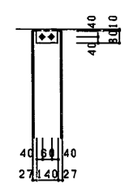
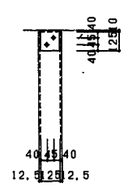
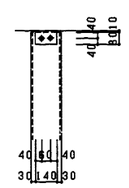
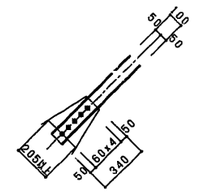
符号	C1	C2			
柱断面	H-488x300x11x18	H-588x300x12x20			
断面					
形式	露出柱脚設定工法	露出柱脚設定工法			
ベースプレート	H500x300-C1-30	H600x300-C1-36			
アンカーボルト	A. BOLT 4- M30(HAB) L=800	A. BOLT 4- M36(HAB) L=955			
備考	露出柱脚（設定）工法設計施工基準による	露出柱脚（設定）工法設計施工基準による			
符号	P1	P2	P4		
柱断面	H-244x175x7x11	H-194x150x6x9	[-200x80x7.5x11		
断面					
形式					
ベースプレート	B. PL-19x300x220	B. PL-16x250x200	B. PL-16x250x185		
アンカーボルト	A. BOLT 2- M20(SS400) L=700	A. BOLT 2- M20(SS400) L=700	A. BOLT 2- M20(SS400) L=700		
備考					

スラブリスト S=1:30

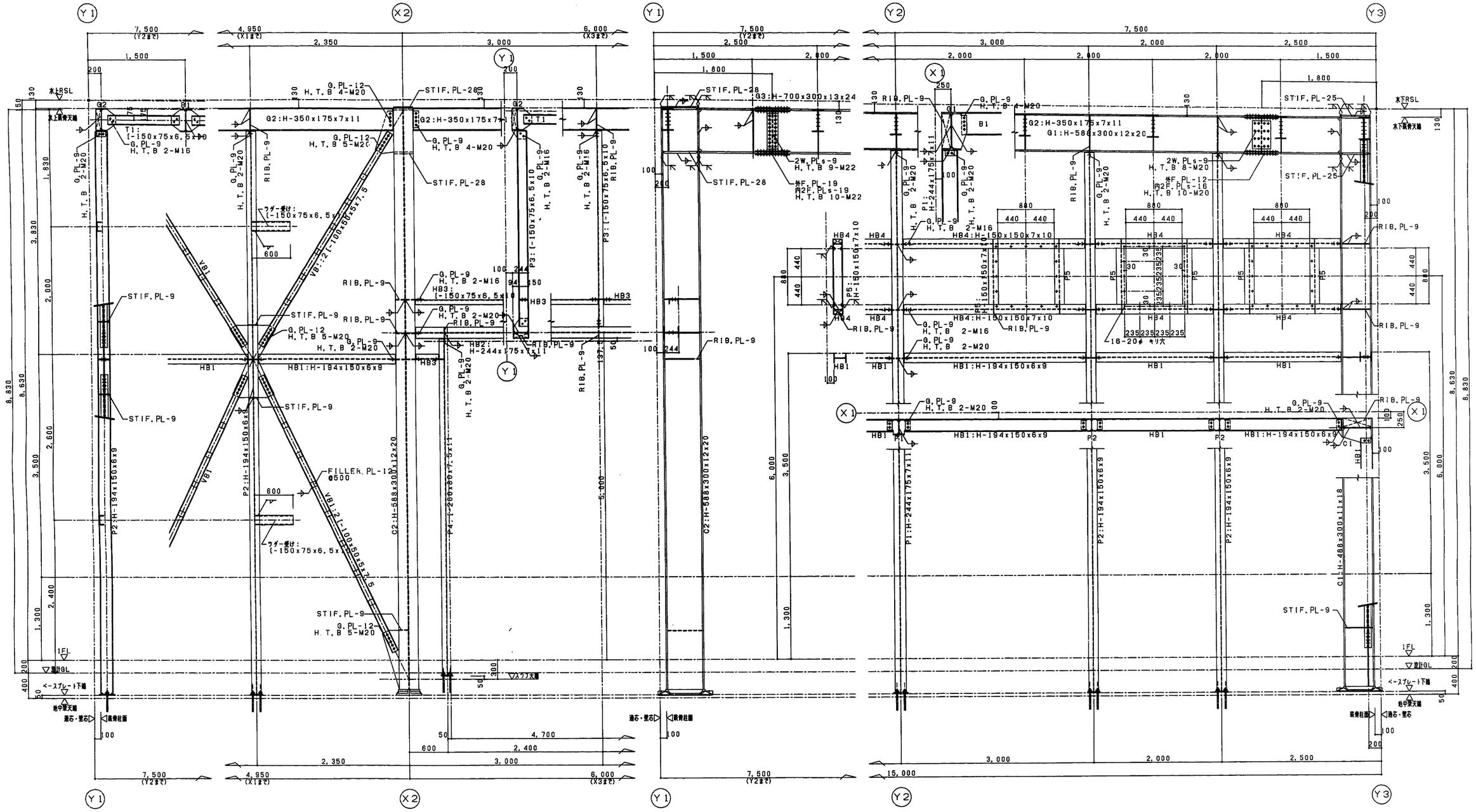
符号	DS1	S1		
断面				
備考				

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄骨断面リスト．柱脚リスト．スラブリスト		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-186/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

継手リスト　S=1:20

符号	RG3	RG1						
断面	H-700x300x13x24	H-588x300x12x20						
姿図								
FLANGE	外F.PL-19x300x530 H.T.B 10-M22 内2F.PLs-19x110x530	外F.PL-12x300x530 H.T.B 10-M20 内2F.PLs-16x110x530						
WEB	2W.PLs-9x170x560 H.T.B 9-M22	2W.PLs-9x290x440 H.T.B 8-M20						
備考								
符号	RG2 B1	T1	HB1	HB2	HB3	HB4		
断面	H-350x175x7x11	[-150x75x6.5x10	H-194x150x6x9	H-244x175x7x11	[-150x75x6.5x10	H-150x150x7x10		
姿図								
FLANGE								
WEB	G.PL- 9 H.T.B 4-M20	G.PL- 9 H.T.B 2-M16	G.PL- 9 H.T.B 2-M20	G.PL- 9 H.T.B 2-M20	G.PL- 9 H.T.B 2-M16	G.PL- 9 H.T.B 2-M16		
備考			縦使い	縦使い	縦使い	縦使い		
符号	P1	P2	P3	P4			VB1	
断面	H-244x175x7x11	H-194x150x6x9	[-150x75x6.5x10	[-200x80x7.5x11			2[-100x50x5x7.5	
姿図								
FLANGE								
WEB	G.PL- 9 H.T.B 2-M20	G.PL- 9 H.T.B 2-M20	G.PL- 9 H.T.B 2-M16	G.PL- 9 H.T.B 2-M20			G.PL-12 H.T.B 5-M20	
備考								

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	継手リスト
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-187/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鉄骨詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-188/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第３揚水機場受変電設備室建築工事　工事設計図

仕様書

Ⅰ.工事概要

1．工事場所　千葉県　山武市　成東字八幡台　3303－1他

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
受変電設備室	S造	地上1階	238.50	15	

（（注）延べ面積は建築基準法による表記）

3．工事種目（○印のついたものを適用する）

種別及び屋外 / 工事種目	工事種別					屋外
⊙ 電灯設備	－式					
⊙ 動力設備	－式					
・ 電熱設備						
・ 雷保護設備						
・ 受変電設備						
・ 静止形電源設備						
・ 発電設備						
・ 構内情報通信網設備						
・ 構内交換設備						
・ 情報表示設備						
・ 映像・音響設備						
・ 拡声設備						
・ 誘導支援設備						
・ テレビ共同受信設備						
・ 監視カメラ設備						
・ 駐車場管制設備						
・ 防犯・入退室管理設備						
⊙ 自動火災報知設備	－式					
・ 中央監視制御設備						
・ 構内配電線路						
⊙ 電話配管・配線設備	－式					－式
・ 構内通信線路						－式
・ テレビ電波障害防除設備						－式

4．指定部分　・無・　・有（・　　）

Ⅱ.工事仕様

(1) 共通仕様

1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成16年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成16年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成16年版）」（以下、「標準図」という。）による。

2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の工事仕様書は（　／　）冊、建築工事の工事仕様書は（　／　）冊による。

(2) 特記仕様

1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
(1) グリーン購入法	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく特定調達品目 「公共工事」の品目 ⊙ 照明制御システム　・室圧管 照明制御装置は、社団法人日本照明工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」による総合省エネルギー率33%以上であることを確認する。
(2) 機材等	1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む。）に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 2）化学物質を発散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質基材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （2）断熱材、緩衝材、吸音材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 （5）上記（1）、（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、番架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、当該する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

項目	特記事項
(3) 機材の品質・性能証明	また、「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外：① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種：① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ 旧JISのE0規格品 ④ 旧JISのFc0規格品 設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（（社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。 ただし、ＪＩＳ（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。
(4) 電源周波数	⊙50Hz　・60Hz
5 電気工作物の種別	・事業用電気工作物　・一般用電気工作物
(6) 電気保安技術者	工事現場において電気保安技術者は、国直轄地方建設局制定の建設省関東地方建設局自家用電気工作物保安規程第5条に定める選任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の監視を行うものとする。
(7) 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
(8) 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の諸係機関への諸手続等に関する費用は請負者の負担とする。
(9) 監督員事務所	⊙設けない　・設ける
(10) 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。
(11) 足場、さん橋類	構内につくることが　⊙できる　・できない ⊙別契約の諸係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置とする。 ・改修工事の場合は、改修標準仕様書第1編2．1．2によるほか下記による。 ・内部仮設足場等（・　種　・　種） ・外部仮設足場等（※手すり先行足場　・　種）
(12) 工事写真・完成図等	営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）によるほか、監督職員の指示による。 ⊙既存完成図（CADデータ）の修正を行う。
13 発生材の処理	1）引渡しを要するもの ・有（　　） 2）引渡しを要するもの以外 ・構外搬出とし、搬出及びその処理費は別途とする。 3）特別管理産業廃棄物 ・有（PCB使用機器：　　） PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、施物管理者に引渡す。 4）再利用又は再資源化を図るもの ・有（　　）
14 残土処理	・工事仕様書による。 ・工事仕様書による。 ・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に散きならしとする。
15 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針　１９９７年版」（建設省住宅局建築指導課監修）により、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。なお 設計用水平地震力、設計用鉛直地震力は下記による。 1）設計用水平地震力 設計用水平地震力は機器の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設（甲類・乙類） 重要機器・水槽	・特定の施設（甲類・乙類） 一般機器・水槽	・一般の施設（乙類） 重要機器・水槽	・一般の施設（乙類） 一般機器・水槽
上層階の天井以上	2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
1階天井～上層階の床	1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	1.0 (1.5) <1.0>	0.6 (1.0) <0.6>
1階の床以下	1.0 (1.0) <1.5>	0.6 (1.0) <1.0>	0.6 (1.0) <1.0>	0.4 (0.6) <0.6>

（注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
＜　＞内の数値は水槽類に適用する。

項目	特記事項
16 電線本数管路など	重要機器 ・配電盤　・自家発電装置　・交流無停電電源装置　・直流電源装置 ・交換機　・火災報知受信機　・中央監視装置　・ 上層階の定義は次による。 6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。 2）設計用鉛直地震力 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は露出 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は金系に至って接地線を設ける。 長さ１ｍ以上の入線しない電線管には、電線太さ 1.2mm 以上の被覆銅線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ⊙屋外　⊙屋内（　　）
(17) 呼び線	蛍光灯器具（誘導灯は除く。）の変定器の回路方式、電圧は図面に記載のない場合は次による。
(18) 金属製電線管の塗装	
(19) 蛍光灯器具	

	蛍光灯の種類	回路方式	電圧
棚形		EL	100V
直管形	15形以下	GL	100V
	20形 防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵形非常用照明器具	GL	100V
	40形	RH	V
コンパクト形	D	EL	100V
	H，P	PN	V
	防雨形器具・防湿形器具	GL	100V
H寸形	図面に記載のない場合	PH	V

20 非常用の照明装置の照度測定箇所数	測定数　箇所以上
21 電磁開閉器用押しボタン	遠方操作用押ボタンは、適用形とする。
(22) コンセント	図面に特記なき場合は、コンセント 2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。
23 ハイテンションアウトレット	・外部固定　・内部固定　・上下飾形
24 フロアベース	フロアベースは、水平高低調整機能付（室転防止リング付）とする。
(25) プレートの材質	フラッシプレート　⊙金属製　・樹脂製 フロアプレート　・鉄金製　・アルミ合金製
26 ローテンションアウトレット	一般用　個
27 保安器用接地	・本工事　・別途
28 地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・鉄製（　個所）　・コンクリート製（　個所）
29 天井仕上げ表示	図面において、直名に（　）を付したものは直天井の意、それ以外は二重天井の意を示す。
30 接地極	接地極の材料は下記による。なお、接地線EB(14φ)の長さは 1500mm 以上とし、10φ、14φは、W＝40 としても差し支えない

・ 接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・ 共同接地	EAD	Ω以下	EB（14φ）×3連－組
・ 共同接地	EA,C,D	Ω以下	EB（14φ）×3連－組
・ A種接地	EA	10Ω以下	EB（14φ）×3連－2組
・ B種接地	EB	Ω以下	EB（14φ）×3連－組
・ C種接地	EC	Ω以下	EB（14φ）×3連－組
・ D種接地	ED	100Ω以下	EB（10φ）×1　（L＝1500mm）
・ 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB（14φ）×3連－2組
・ 低圧避雷器	ELL	10Ω以下	EB（14φ）×3連－2組
・ 避雷設備	EL	10Ω以下	EB（14φ）×3連－2組
・ 交換機用	Et	Ω以下	EB（14φ）×3連－組
・ 通信用	EAt	10Ω以下	EB（14φ）×3連－2組
・ 通信用	ECt	100Ω以下	EB（10φ）×1　（L＝1500mm）
・ 測定用	E0		EB（10φ）×1　（L＝1000mm）

項目	特記事項
(31) 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高［ mm ］
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃　（廊地）	〃	2,500
〃　（踏上）	踏上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
〃　（身体障害者用）	〃	1,100
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般）	〃	300
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上～中心	150
コンセント（直際）	床上～中心	800
引込開閉器箱（低圧）	床上～中心	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床上～中心	500
避雷接地用端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
積算計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アッテネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ端器吸音箱	〃	1,800
火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動補聴器吸音箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯	〃	（天井高）×0.8
遠動制御器（自動開閉）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（LPガス）	〃	300
〃　（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）－200

（備考）　（天井高）×0.9 及び（天井高）×0.8 は天井高が 2500～3000mm の場合に適用する。

(32) 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
(33) 他工事又は他工種との取合い	工事区分表（平成 1年版）による。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
(34) 施工調査	・事前調査 調査項目（　　） 調査範囲（　／　）箇による ⊙監督職員の指示による。 調査方法（　／　）箇による ・非破壊検査（費用は別途） 仮設備項目（・受変電　・発電　・　　） 仮設備期間（・図示　・　・　　） 衛生範囲　（　／　）箇による 衛生方法　（　／　）箇による
35 仮設備	EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。
36 衛生	
(37) 電線類	

記号	仕様
EM-UTP	JIS X 5150(UTP)に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-CEES	JIS X 4258 DC制御用ケーブル(遮へい付))に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-MEES	JCS 271(MVVS)に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電気設備 特記仕様書		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-189/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

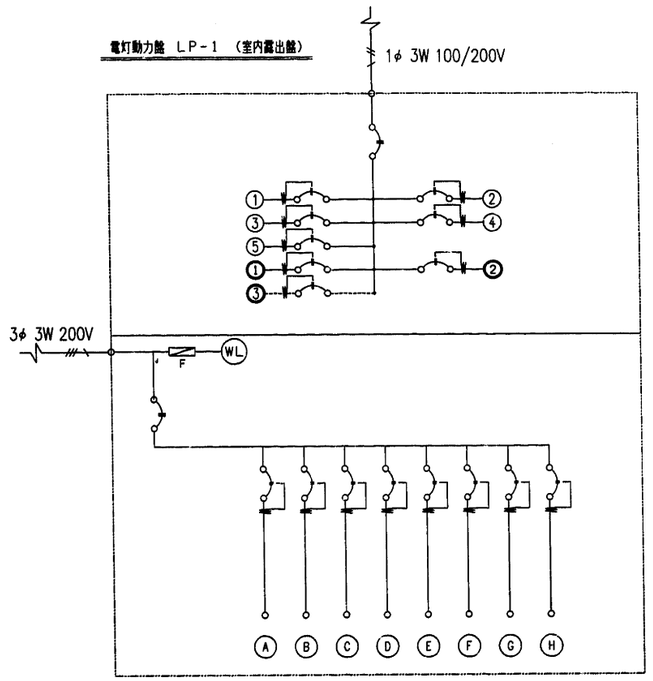
電気設備　凡例

記　号	名　称	摘　要
	電灯分電盤	電灯分電盤
	プールボックス	
WP	プールボックス	防水型
	照明器具	FL40W×2 ﾌﾗｹｯﾄ
	照明器具	天井吊り H10
	埋込スイッチ	1P15A×1
	埋込スイッチ	1P15A×1+PL
	埋込コンセント	2P15A×1
2E	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
WPE	埋込コンセント	2P15A×1 接地極付 防水型
	給排気ファン	壁付 空調工事
T	温度スイッチ	壁付 空調工事
R	リレーユニット	壁付 空調工事
S	煙感知器	光電式 2種 露出型
	総合盤	露出型 PLB内蔵
	モジュラージャック	壁付 6極4心
	配管，配線	天井隠蔽配管
	配管，配線	床埋設配管
	配管，配線	露出配管
		電線管：ねじなし薄鋼電線管
		電　線：600Vビニル絶縁電線

電灯動力盤　LP-1　（負荷表）

	主開閉器	分岐開回路				容量 (VA)
		回路No	分岐開閉器	電圧（V）		
電灯	MCB3P 50/40A	①	ELB 2P 50/20A	100	電気室電灯（FL）（ﾌﾗｹｯﾄ）	432
		②	↓	↓	電気室コンセント	200
		③	↓	↓	電気室照明自動昇降盤電源	100
		④	↓	↓	温度スイッチ	100
		⑤	↓	↓	予備	—
		①	ELB 2P 50/30A	200	電気室電灯（HID）（天井吊）	4200
		②	ELB 2P 50/20A	↓	電気室電灯（HID）（天井吊）	2800
		③	↓	↓	予備	—
	負荷計					7832

	主開閉器	分岐開回路				容量 (kW)
		回路No	分岐開閉器	電圧（V）	負荷内容	
動力	MCB3P 50/40A	Ⓐ	ELB 3P 30/15A	3φ200	電気室　排気ファン	0.75
		Ⓑ	↓	↓	電気室　排気ファン	0.75
		Ⓒ	↓	↓	電気室　排気ファン	0.75
		Ⓓ	↓	↓	電気室　給気ファン	0.75
		Ⓔ	↓	↓	電気室　給気ファン	0.75
		Ⓕ	↓	↓	電気室　給気ファン	0.75
		Ⓖ	ELB 3P 30/30A	↓	電気室　シャッター	1.50
		Ⓗ	ELB 3P 30/15A	↓	予備	—
						—
						—
	負荷計					6.00



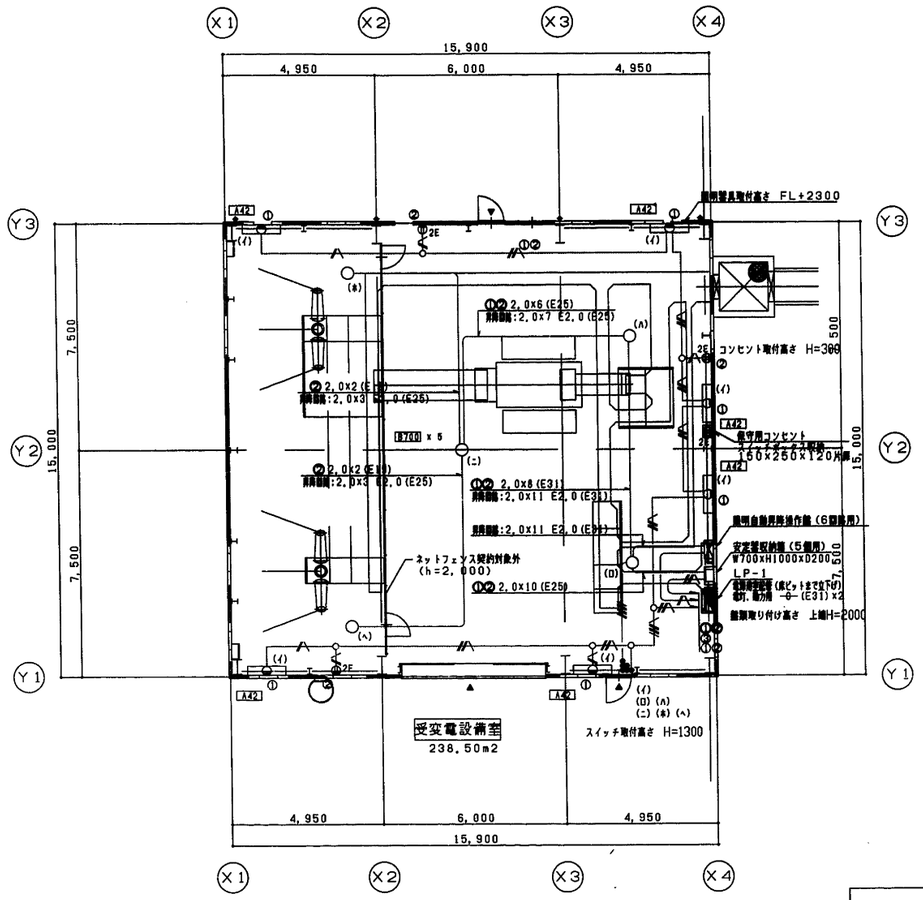
照明器具姿図

記　号	容　量	備　考	姿　図
A42	FHF32W×2	松下電工 FSA42515VPN9	

記　号	容　量	備　考	姿　図
B700	HID700W	HSR1W-700 電動昇降装置 ： ML-1	 一般水銀ランプ：700W 安定器：一般型高力率 電動式昇降装置電源：100V

注記：備考欄の番号は、公共施設用照明器具番号又は、メーカー参考型番とする。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	電気設備 凡例，照明器具，盤
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-190/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



電灯・コンセント設備　1階平面図　S=1:100

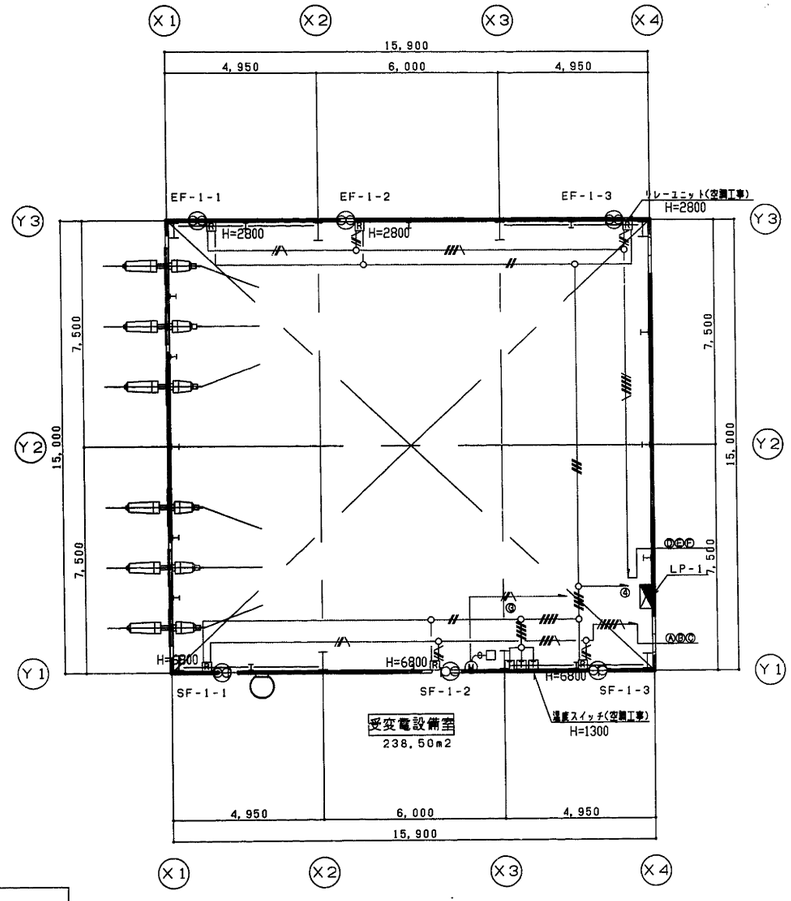
特記事項
1．露出配管は全て塗装する。

注　記

1．配管はすべて露出配管とする。

2．特記なき配管配線は、下記による。

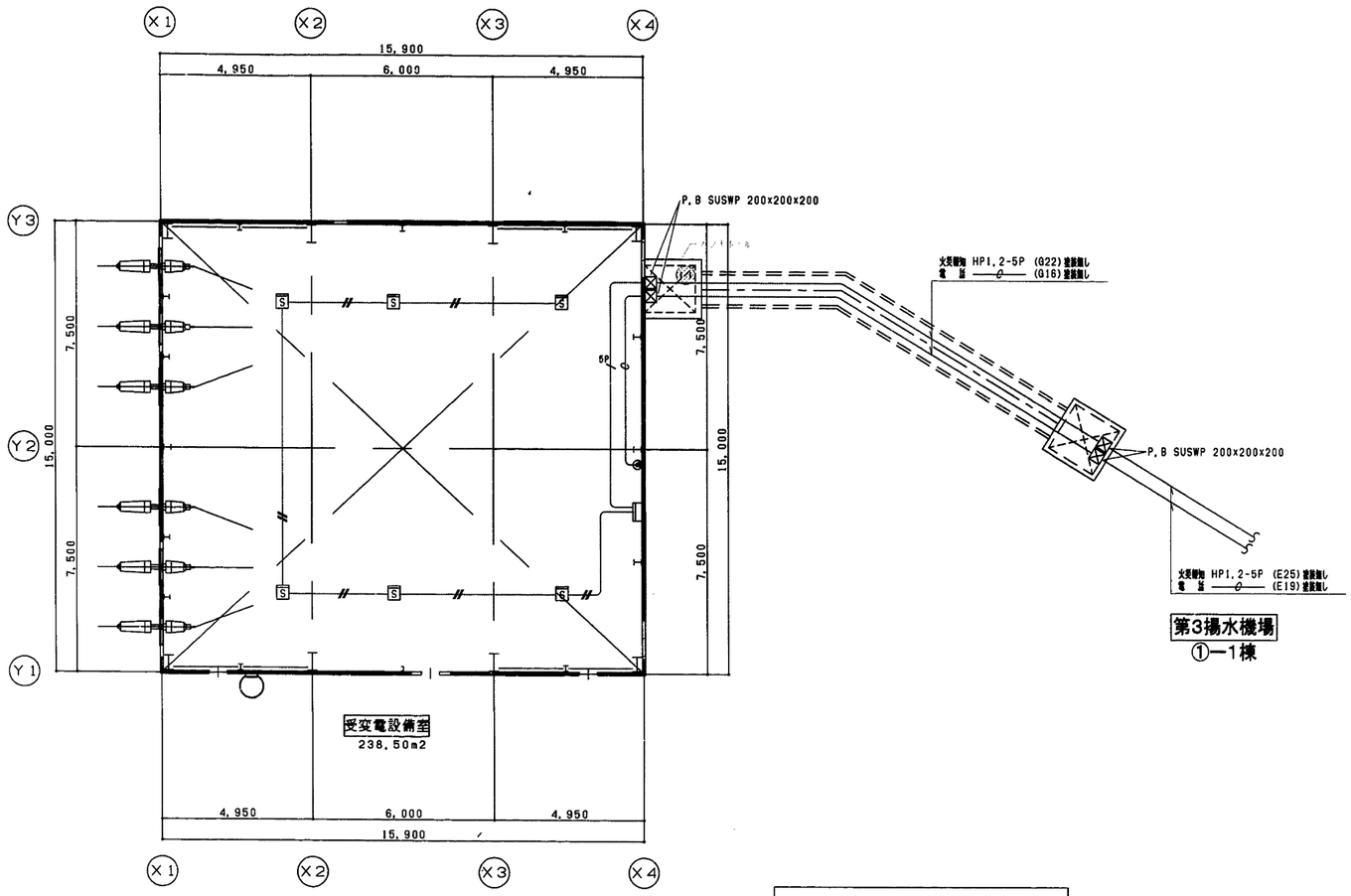
————	2.0x2 (E19)
———//———	2.0x3 (E19)
———//———	2.0x4 (E25)
———///———	2.0x5 (E25)
———///———	2.0x6 (E25)
———////———	2.0x7 (E25)
———////———	2.0x8 (E31)
————^————	2.0x2 E2.0 (E19)
———//^———	2.0x3 E2.0 (E25)
———//^———	2.0x4 E2.0 (E25)
———///^———	2.0x5 E2.0 (E25)
———///^———	2.0x6 E2.0 (E25)
———////^———	2.0x9 E2.0 (E31)



動力設備　1階平面図　S=1:100

特記事項
1．運度スイッチ1個で給気ファン排気ファンの1組の発停を行う。
2．露出配管は全て塗装する。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電気設備 平面図 動力．電灯コンセント設備		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-191/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



1 階 平 面 図 S=1:100

特記事項
1. 露出配管は全て塗装する。

注 記
1. 特記なき配管記線は、下記による。
- AE1.2-4C (E19)
- HP1.2-5P (E25)
- (E19)

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電気設備 平面図 火災報知、電話設備		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-192/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

第３揚水機場受変電設備室建築工事　工事設計図

仕様書

1．工　事　概　要

1．工事場所　千葉県　山武市　成東字八幡台　3303−1他

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
受変電設備室	S造	地上1階	238.50	15	

（備考中の特定の施設，一般の施設とは耐震安全性の分類を示す。）

3．工　種　目　（●印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 工事種目	工事種別 受変電設備室						
○ 空気調和設備							
● 換気設備	一式						
○ 排煙設備							
○ 自動制御設備							
○ 衛生器具設備							
○ 給水設備							
○ 排水設備							
○ 給湯設備							
● 消火設備	一式						
○ 厨房設備							
○ ガス設備							
○ 排水処理設備							
○							
○							
○							

4．指定部分　○無　○有（　　工期：平成　年　月　日）

5．設備概要

1.換気設備工事　：第１種換気設備

1.消火設備工事　：大型消火器を設置する。
水圧開放式シャッター（建築工事）用の放水口配管及び排水管のを行う。

2．工　事　仕　様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成16年版）」（以下，「標準仕様書」という。），「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成16年版）」（以下，「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成16年版）」（以下，「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事は，それぞれの工事仕様を適用し，下記の工事仕様は適用しない。なお，電気設備工事の工事仕様は，（　／　）国、建築工事の工事仕様は（　／　）国による。

2．特記仕様

章，項目，特記事項共に参印の付いたものを適用し，○印のものは適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	● 機材等	(1)本工事に使用する設備機材等は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 (2)「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は，その判断の基準，配慮事項を満たすものとする。 (3)化学物質を発散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の1）から5）を満たすものとする。 1）合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，MDF，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板，仕上げ塗材及び壁紙は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 2）保温材，緩衝材，断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ−ｎ−ブチル及びフタル酸ジ−２−エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し，ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 5）上記1），3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具，器具，実験台，その他什器等は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 なお，ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを，ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい，原則として規制対象外のものを使用するものとするが，該当する材料等がない場合は，第三種のものを使用するものとする。 また，「ホルムアルデヒドの発散量」は，次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	1.JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 2.建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 3.下記表示のあるJAS規格品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装使用 f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用
第三種	1.JIS及びJASのF☆☆☆規格品 2.建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 3.旧JISのEo規格品 4.旧JASのFco規格品

○ 室内空気中の化学物質の濃度測定

室内空気中のホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレンの濃度を測定し，監督職員に報告すること。
測定は パッシブ型採集機器により行う。
測定対象室　・図示
測定箇所数　・図示

● 機材の品質・性能証明	設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関（(社)公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。
● 主任技術者等	下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ○ 資格の区分1） （イ）施設築法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち，1種の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち，技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。），水道部門又は衛生工学部門に合格した者 ○ 資格の区分2） （イ）技術検定のうち，1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）資格の区分1）の資格を有する者
● 電気保安技術者	工事現場において電気保安技術者は，関東地方建設局制定の施設管理関東地方建設局自家用電気工作物保安規定第5条に定める担当技術者の職務を補佐し，電気工作物の保安の業務を行うものとする。
● 技能士の適用	● 配管施工（配管工事）　○ 建築板金施工（ダクト製作および取付け）
	○ 熱絶縁施工（保温工事）　○ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
● 監督員事務所	● 設けない　○ 設ける
● 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力，水及び諸手続などの費用は，すべて請負者の負担とする。
● 工事用仮設物	構内につくることが　● できる　○ できない
● 足場・さん橋類	● 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置とする。 ○ 改修標準仕様書第1編2．2．1によるほか下記による。 ○ 内部仮設足場等（○　幅　○　幅） ○ 外部仮設足場等（○　幅　○　幅）
○ 建設発生土の処理	○ 埋戻し後の建設発生土は，監督職員が指示する構内の場所に散らならしとする。
○ 埋め戻し土・盛土	○ 工事説明書による。 ○ 根切り土の中の良質土。 ○外国被覆を施した配管は山砂の際
● 完成図等	● 完成図の原図サイズは，原則としてA1とする。 ● 完成図のCADデータ（電子媒体CD−R）を1部提出する。
○ 案内板	機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。案内板の大きさは，約　m　2とする。
● 機材の承認図	国土交通省官房官庁営繕部監修設備工事機材承認図様式集（平成15年版）によるほか，監督職員の指示による。
○ 給合調整	○ 本工事（調整項目は下記のものとする。） ○ 風量調整　○ 水量調整　○ 室内外空気の温湿度の測定　○ 諸者の測定 ○ 別途とする。
● 電源周波数	● 50Hz　○ 60Hz
○ 容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力，燃料消費量，圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
○ 耐震措置	設備機器の固定等は，すべて［建設省住宅局監修の建築設備耐震設計・施工指針1997年版］により行う。ただし，設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K　v（K_H/2　）を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	〈2.0〉	〈2.0〉	〈2.0〉	〈1.5〉
	〈2.0〉	〈1.5〉	〈1.5〉	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	〈1.5〉	〈1.5〉	〈1.5〉	〈1.0〉
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	〈1.0〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉

（注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
〈　〉内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは2〜5階建の場合は最上階，7〜9階建の場合は上層2階，10〜12階建の場合は上層3階，13階建以上の場合は上層4階）
中間階とは地下階，1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器はこのものを示す。
○ 給水装置　○ 排水装置　○ 換気機器　○ 空調機器　○ 熱源機器
○ 防災設備　○ 監視制御設備　○ 危険物貯蔵装置
○ 火を使用する設備　○ 連続給気上に設置する機器　○

○ 配管	埋設部の非破壊検査　○ 要（　　）
○ 絶縁フランジ	取り付け箇所は図示による。
○ 地中埋設標等	（1）地中埋設標　○ 要（図示の箇所）　○ 不要 （2）埋設表示用テープ　○ 要（排水管を除く）○ 不要
○ 保温	○ 屋外露出部（○給水管　○消火管　○膨張管　○ドレン管　○　　○弁類を含む）は防凍保温を行う。仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。尿さは配管の呼び径25以下のものは50mm、呼び径32以上のものは40mmとする。 C 共同溝、床下ピットの保温は（標準仕様書第2編の施工箇所　　）を適用する。 ○ 多温箇所は下記の場所とする。（天井内共多温箇所とする。） （○ 浴室（ユニットは除く）　○ 脱衣室　○　　○　　） ○屋内露出（○ 実験室　○　　）の保温外装は（○ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○　　）とする。
○ 塗装	下記の金属電線管は塗装を行なう。 ○ 屋外露出　○（　　）の配内露出 下記の保温を施さない露配めっきを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ○ 倉庫　○　　○
○ はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは，ダイヤモンドカッターを用いる。
○ 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2．4，1表4．2，12による。
○ 天井仕上区分	（　）書きの室名は窟天井を示し、その他は二重天井を示す。
○ 吊り及び支持金物	（○ 暗内 ○　　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。
○ 施工調査	○下記によるほか、改修標準仕様書第1編1．5，1及び1．5，2による。 事前調査 調査項目　○ 調査範囲　○　図示　○ 調査方法　○　図示　○
● 試験	（1）各種配管の試験は，新設配管に適用する。 （2）新設配管は，既設配管との接続前に試験を行う。

○空気調和設備

○ 設計用温湿度	外気：夏 温度(DB) ℃ 湿度(RH) %；冬 温度(DB) ℃ 湿度(RH) % 室内：一般系統 夏 温度(DB) ℃ 湿度(RH) %；一般系統 冬 温度(DB) ℃ 湿度(RH) %
○ 調概製壁遮	伸縮継手、排検口及びばいじん量測定口の位置は図示による。
○ ダクト	○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○ アングルフランジ工法）とする。 ○ 高圧1ダクト（適用範囲は図示による。）とする。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニールダクトの仕様は別図による。
○ 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
○ チャンバー	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。 （3）ガラリに直接取り付けるチャンバー製は雨水の浸留のないように施工する。
○ ダンパー	（1）防煙ダンパー　復帰方式（○ 運輸　○　　） 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。 （2）ピストンダンパー　復帰方式（○ 運輸　○　　）
○ 配管材料	（1）冷温水管　○ （2）冷却水管　○ （3）油　管　○ （4）蒸気管　給気管　○ 還　管　○ （5）高温水管　○ （6）膨張管，空気抜き管　○ ドレン管及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管
○ 弁類	JIS又はJV　（ ○ 5K　○ 10K　（図示部分）） ○ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
○ 温度計	取り付け箇所は図示による。
○ 圧力計	取り付け箇所は図示による。
○ 瞬間流量計	コック付とし、取り付け箇所は図示による。
○ 油面制御装置	制御盤には（○ 給油ポンプ制御　○ 満油警報　○ 運転警報　○ 電磁弁制御　○ 逆油ポンプ制御　○ 減油警報　○　　）の組子を設ける。なおフロートスイッチ部と制御盤間の配管記載は製造者の標準仕様とする。
○ 保温及び消音内貼り	○ 還りダクトの保温　範囲は（○　　○　　） ○ 外気ダクトの保温　範囲は（○　　○　　） ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 給物内の室気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 室気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ○ 冷媒管の外装の範囲は（ ○ 図示による　○　　）

●換気設備

○ ダクト	○ 低圧ダクト（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）○アングルフランジ工法）とする。 ○ 高圧1ダクト（適用範囲は図示による。） ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
○ 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
○ ダンパー	室気調和設備の当該項目による。
○ 排気ダクトのシール	浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統
○ チャンバー	室気調和設備の当該項目による。
○ 保温	○ 全熱交換ユニット用のダクト（保温の厚さ25mm、範囲は図示による） （○ 厨房　○ 温湿室　　）用の隠ぺい部ダクト（廿仕様はh・(イ)・?）とし範囲は図示による。

○排煙設備

○ ダクト	○ 亜鉛鉄板　○
○ 排煙口の形式	○ 図示による
○ 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	○ ワイヤー式　○ 電気式（遠隔操作　○ 不要　○ 要）
○ 排煙風量測定	給排設備定期検査業務指導書（日本給排設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自動制御設備

○ 構成その他	図示による。
○ 電気計装工事の記載	使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4．2，12の使用する電線管の規格による。（機器、盤類は除く） 屋外・屋内露出の電線は、管路に特記のない限り金属管記載とする。 天井内隠ぺいの記載は、管路に特記のない限りケーブル記載とする。

○衛生器具設備

○ 衛生器具付属水栓	水旅栓を使用する場合、水栓は原定こま式とする。
○ 和風大便器耐火カバー	○ 設ける（ピット内は除く）　○設けない
○ 洗面器	手洗器は止水栓付とする。
○ 棚記板	○取り付け箇所　（○大便器　○小便器）　材　質（○　　）
○ 小便器自動洗浄装置	小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4L／回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。
○ 洋　風　大　便　器	洗浄水量が10.5L／回以下のものとする。
○ 衛生器具ユニット	ユニットの記管材料は、別図衛生器具ユニットの仕様表による。

○給水設備

○ 記管材料	（1）給水引込管（直結部分）水道事業者の指定による（ ○　　） （2）地中埋設記管　○ （3）その他の一般記管　○
○ 水栓	○台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○水旅栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （○ただし、屋外に設ける水栓は制零水栓とする。）
○ 量水器	○検メーター（○ 貸与品　○　　）　○ 子メーター（○ 買い取り　○　　）
○ 量水器例	○水道事業者指定品（○ 貸与品　○ 買い取り）　○ 標準図MC形
○ 弁類	JIS又はJV ○ 水道直結部分（ ○10K ○　　） ○ その他の部分（ ○　5K ○　　） ○ 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
○ 管の埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は（　　cm）横内道路は（　　cm）以上とする。
○ 水栓柱	○ 合成樹脂製　○ アルミニウム合金製　○ 人造石とぎ出し製　○ ステンレス製
○ 給物導入部配管	標準図（給排物導入部の変位吸収記管要領）の（○(a)　○(b)　○(c)　による。
○ 引込納付金等	○ 要（○ 別途工事　○ 本工事）　○ 不要

○排水設備

○ 記管材料	（1）屋　内　汚水管 ○ 雑排水管 ○ 通気管 ○ ○ （2）屋　外　第一桝まで ○ ○ 桝　間 ○ ○
○ 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の記管は、ビニル管（RF−VP）でもよい。
○ 満水試験範手	図示の箇所に取り付ける。
○ 放流納付金等	○要（○別途工事　○本工事）○不要

○給湯設備

○ 記管材料	○
○ 弁類	JIS又はJV　（ ○ 5K　○ 10K　（図示部分）） ○ ステンレス記管を使用する場合の材質はステンレス製とする。

●消火設備

○ 記管材料	（1）屋内消火栓　一般 ○ 地中 ○ （2）連結送水管　一般 ○ 地中 ○ （3）　○
○ 保温	屋外露出記管は標準仕様書第2編3.1.5.e　g・(ハ)・?による保温を行う。 ただし、防凍保温は共通事項による。
○ 給物導入部記管	標準図（給物導入部の変位吸収記管要領）○(a)　○(b)　○(c)　による。

○厨房設備

○ システム	○ ドライシステム　○
○ 厨房用熱源	図示による。
○ 機器の機能等	図示による。

○ガス設備

○ ガス種別	○ 都市ガス（供給者名：　　発熱量　　MJ/m 3） ○ 液化石油ガス
○ 記管材料	○ 都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス　（1）一般 （2）地中
○ 充てん容器	別途（050kg　○　　○　　）×　本
○ 集合装置	標準図（液化石油ガス容器置り記管要領）による　本給。
○ 転倒防止等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○(a)　○(b)）による。
○ メーター	○ 検メーター（○貸与品　○　　）　子メーター（○ 買い取り　　）
○ ガス漏れ警報器	○ 本工事（図示による）　○別途工事　　）
○ 漏洩検知装置	○ 要　○ 不要
○ 電気防食	○ 要　○ 不要
○ 引込負担金等	○ 要（○ 別途工事　○ 本工事）　○ 不要

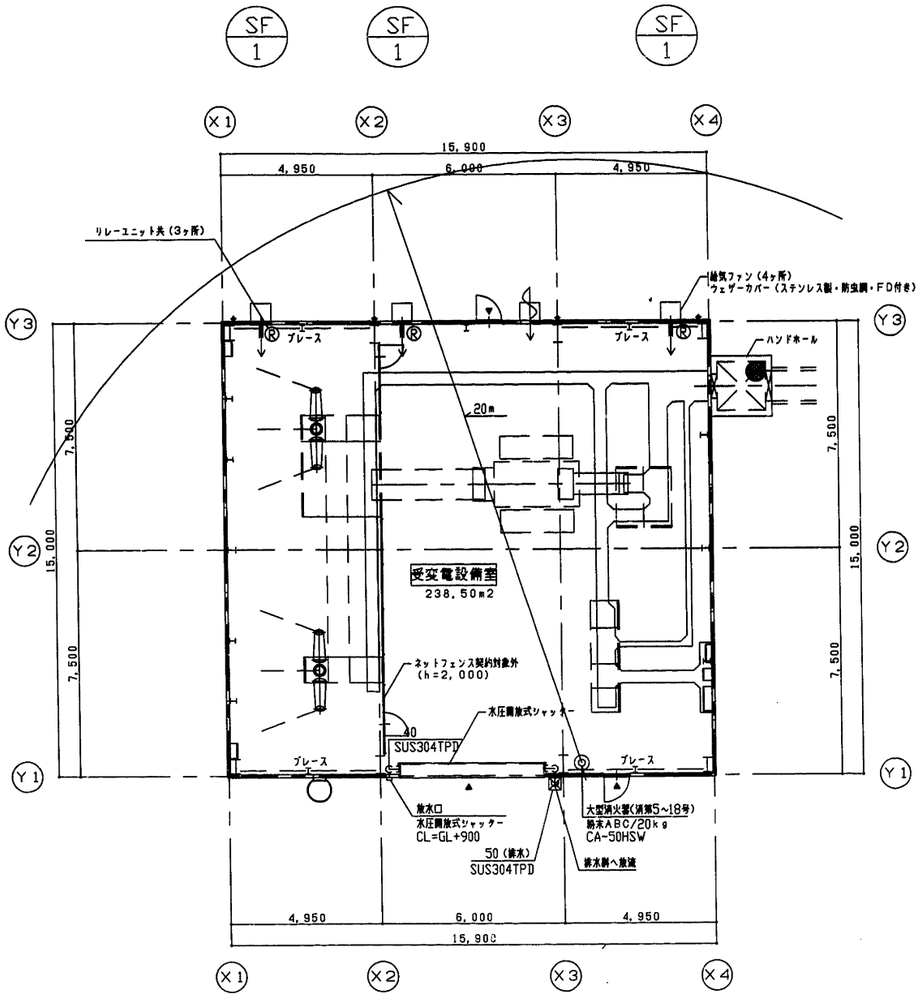
○排水処理設備

○ 設備方式	○雨水利用　○排水再利用　○厨房除害　○浄化槽
○ 仕様等	図示による。

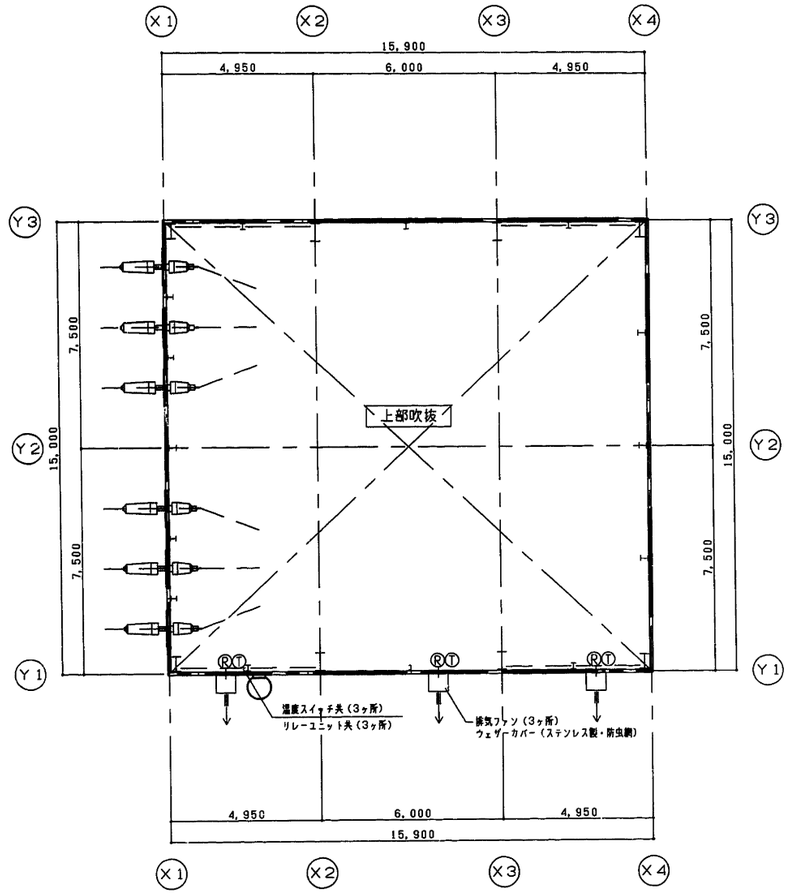
○撤去工事

○ 撤去内容	○ 撤去内容は図示による。 ○
○ 発生材の処理	○ 引き渡しを要するものは、全届類（ ○ 機器 ○ ダクト ○ 配管 ○ その他の金物）、 （○　　○　　○　　○　　）とする。 ○ 特別管理産業廃棄物は　（○　　○　　○　　○　　）とする。 ○ 再生資源化を図るもの　（○　　○　　○　　○　　）とする。 ○ 引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とし、搬出費及び処分費は別途とする。

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	機械設備　特記仕様書		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-193/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



1 階 平 面 図　S=1:100



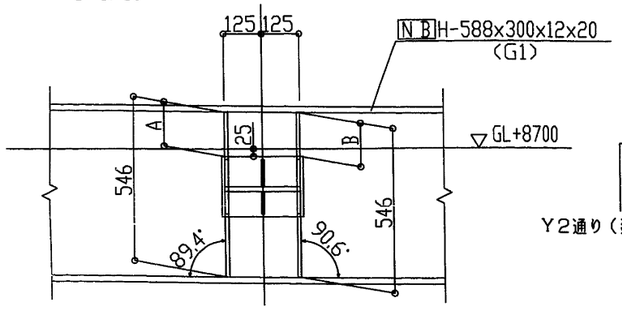
1 階 上 部　S=1:100

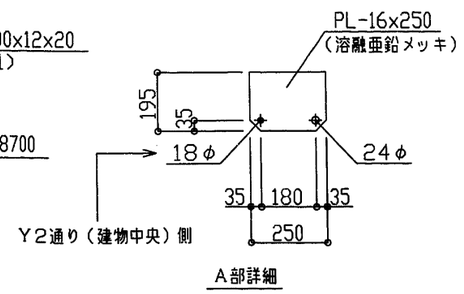
EF 1　EF 1　EF 1

記　号	機 器 名 称	仕　　様	動　力　（50HZ）				台 数	参考型番（三菱電機）
			相	V	KW	起 動		
SF-1	給気ファン	有圧換気扇（熱気発生工場用）					3	EG-60FTB-H
	（EF-1と連動）	φ600×7500m3/h	3	200	0.75			（給気改造型）
		バックガード・リレーユニット共						FS-10RUT
EF-1	排気ファン	有圧換気扇（熱気発生工場用）					3	EG-60FTB-H
		φ600×8500m3/h	3	200	0.75			FS-10TE+FS-10RUT
		温度スイッチ・リレーユニット共						
		バックガード						

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	機械設備　平面図．機器表		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-194/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

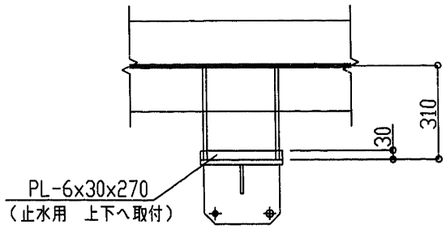
S=1/10

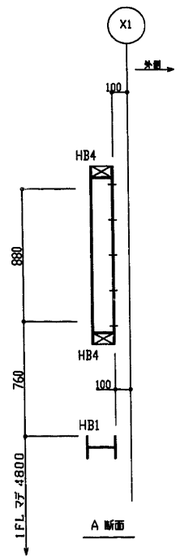




A部詳細

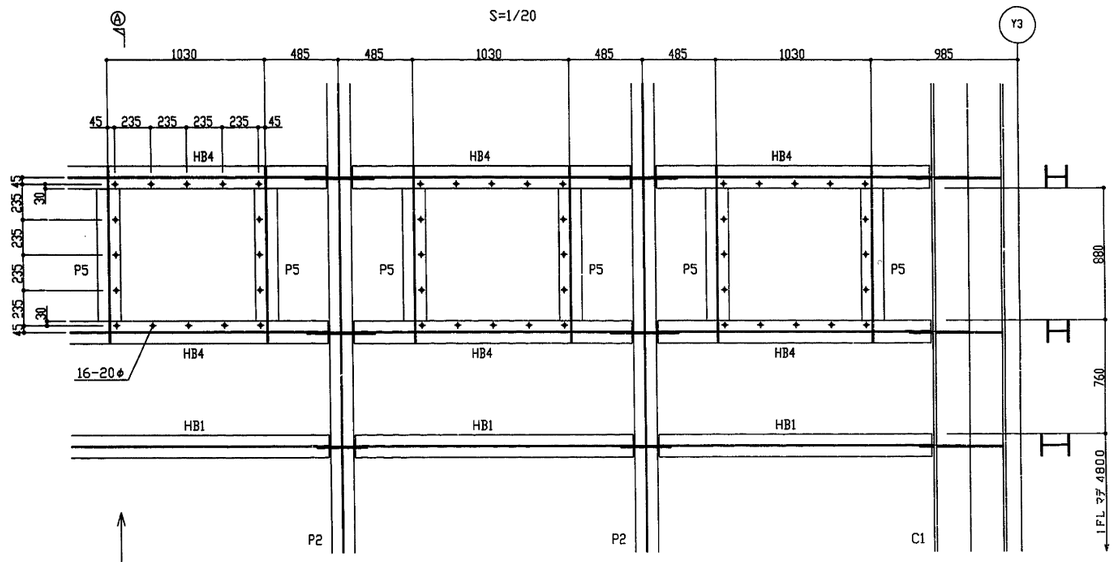
	A	B
P-1	147	144
P-2	125	123
P-3	104	101
P-4	57	54
P-5	35	33
P-6	14	11

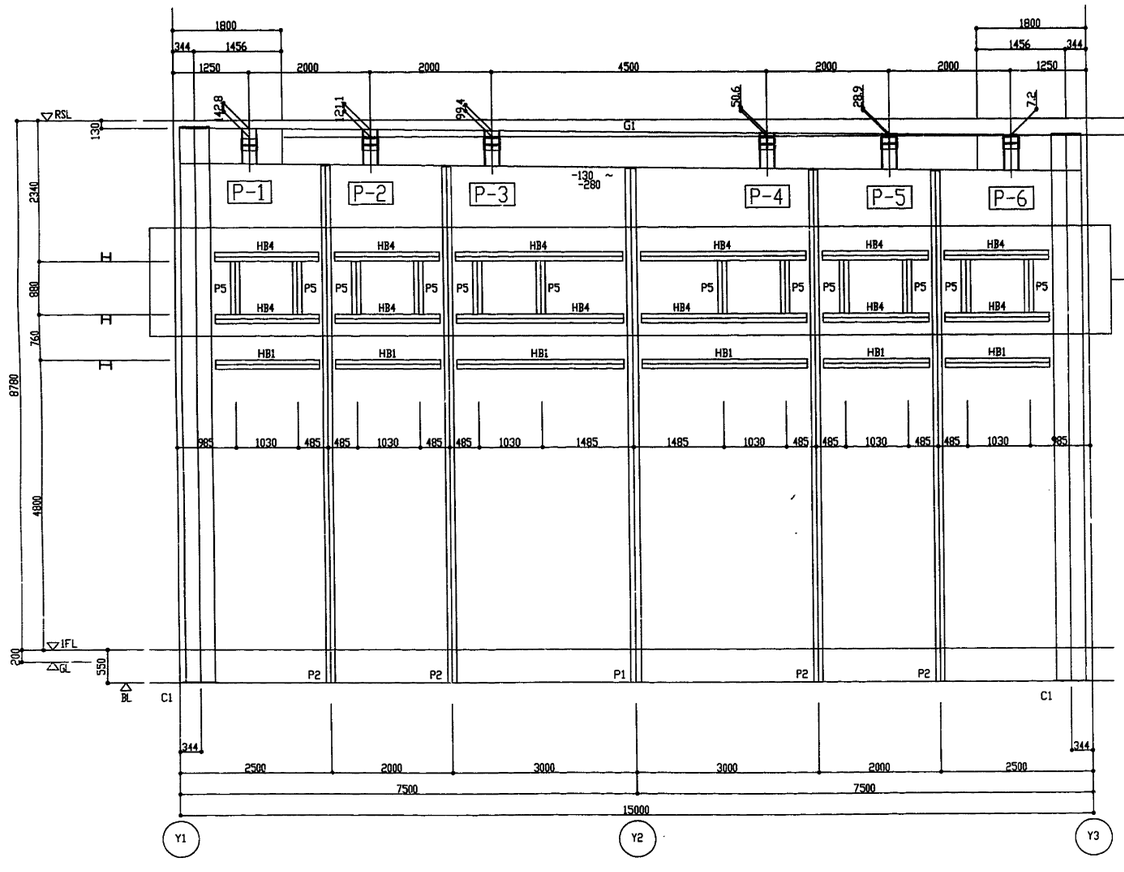




A 断面

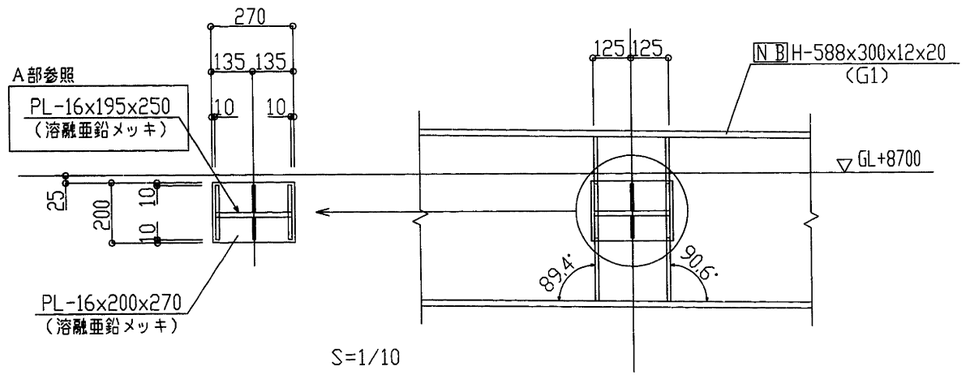
S=1/20



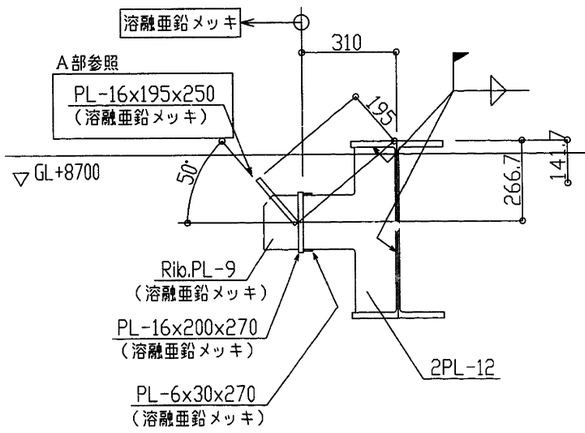


X1 通り軸組図

S=1/50

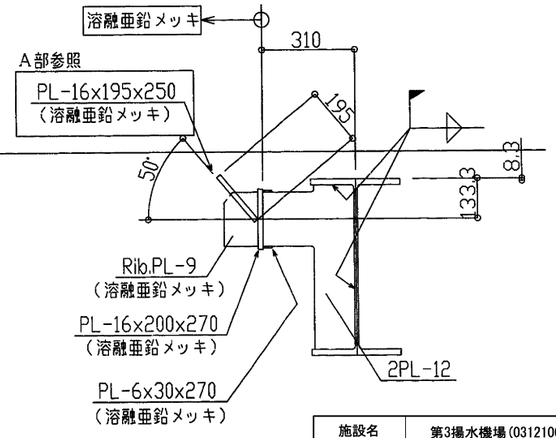


S=1/10



水上部

S=1/10

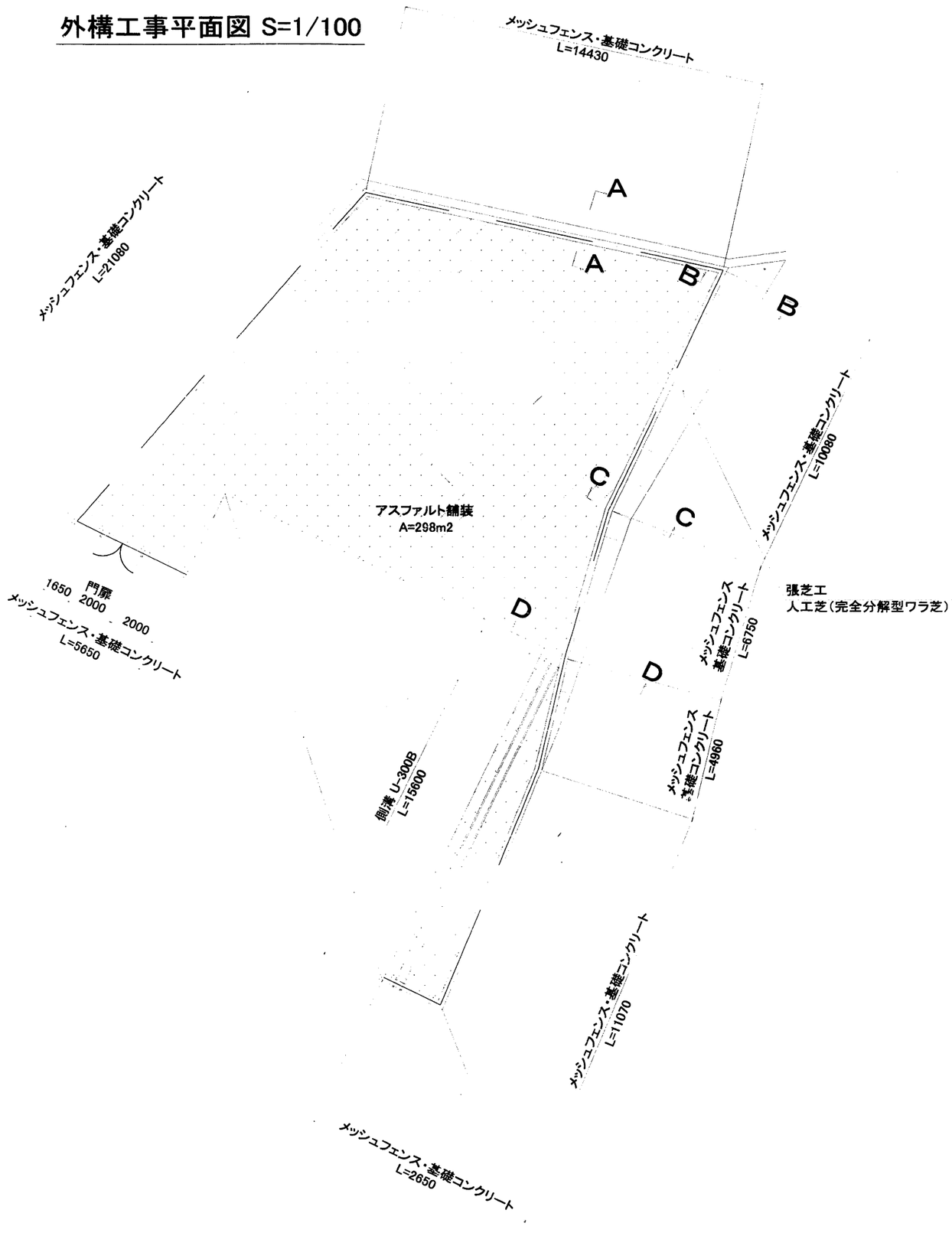


水下部

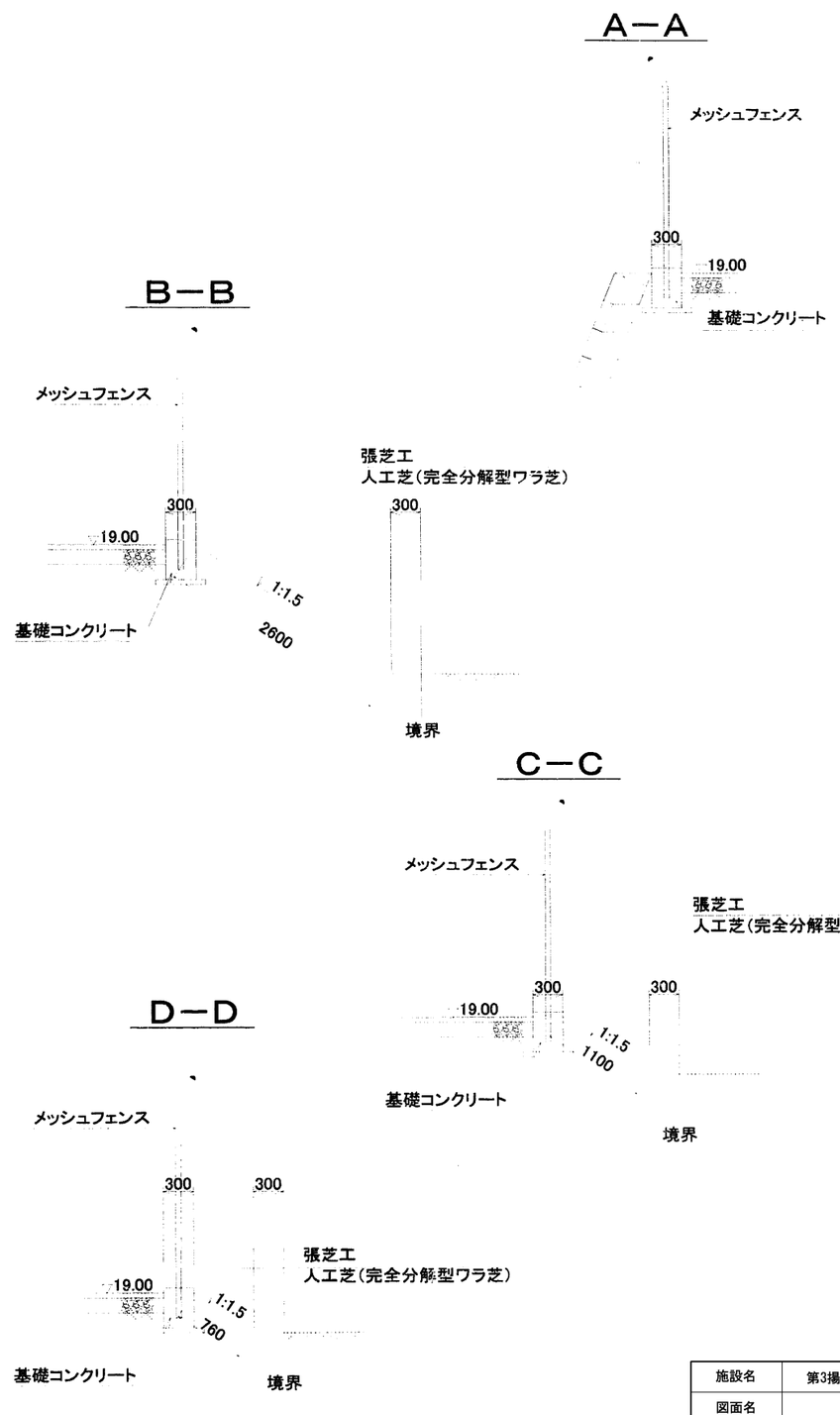
S=1/10

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電線引き留め点プレート詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-195/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

外構工事平面図 S=1/100



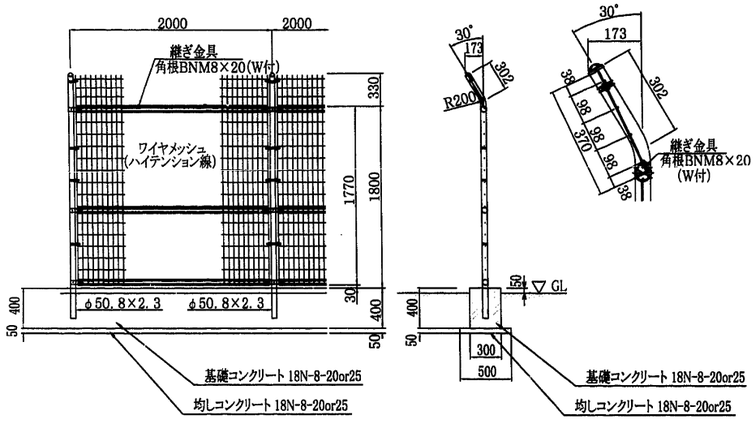
外構工事断面図 S=1/30



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	外構工事平面．断面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-196/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

メッシュフェンス詳細図

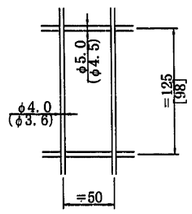
フェンス(h=1.8m)忍返付 S=1:30



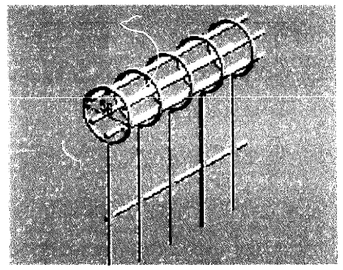
忍部取付図 S=1/100

ワイヤメッシュ図

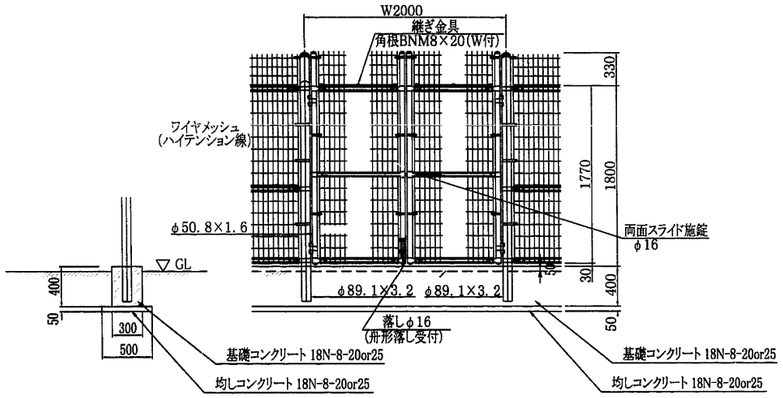
( ) 内は芯径を示す。
[ ] 内は忍部を示す。



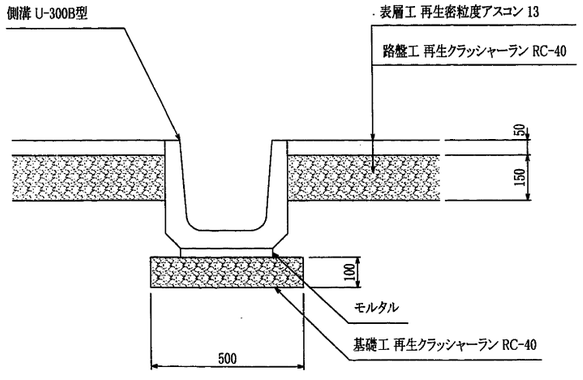
忍返・直忍天端詳細図



門扉(W=2.0m)直忍付 S=1:30

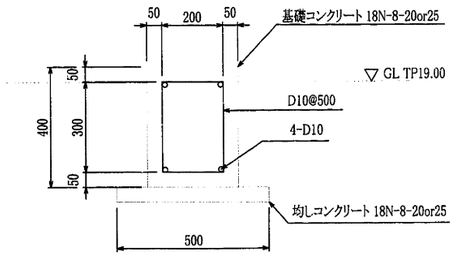


側溝・舗装工詳細図 S=1:10



フェンス基礎コンクリート配筋図 S=1:10

※目地(エラスチックフィラー t=10㎜)を6m間隔に設置する。



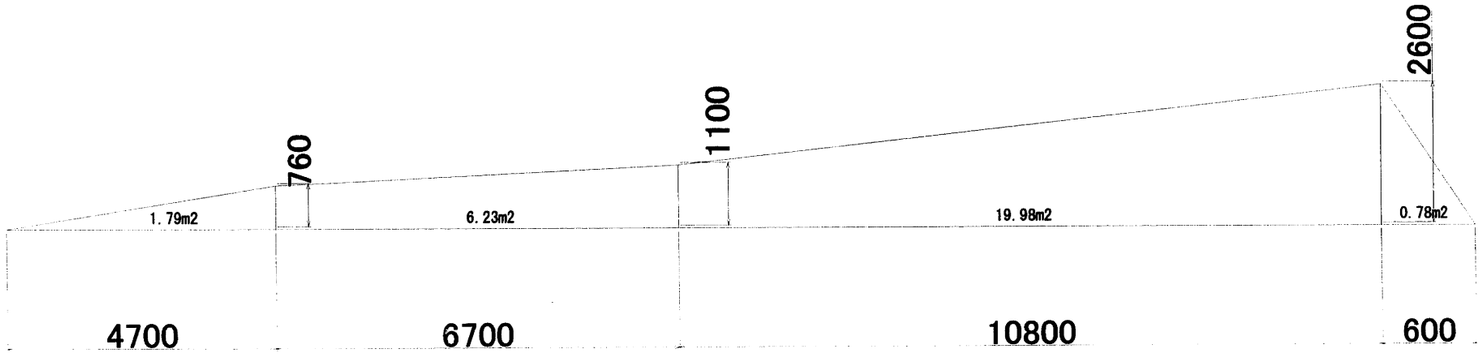
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	外構工事詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-197/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

張芝工詳細図

S=1/50

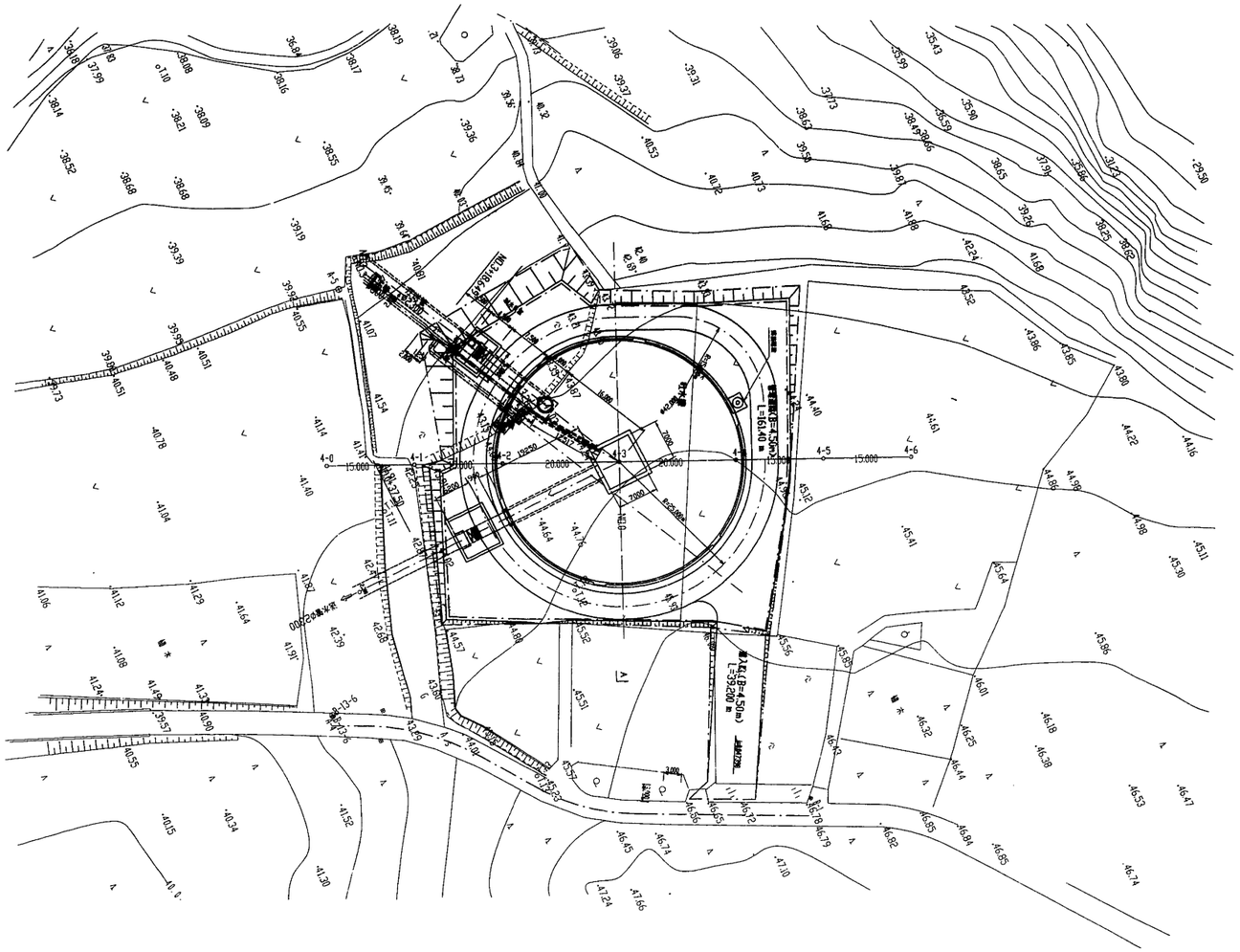
張芝工展開図

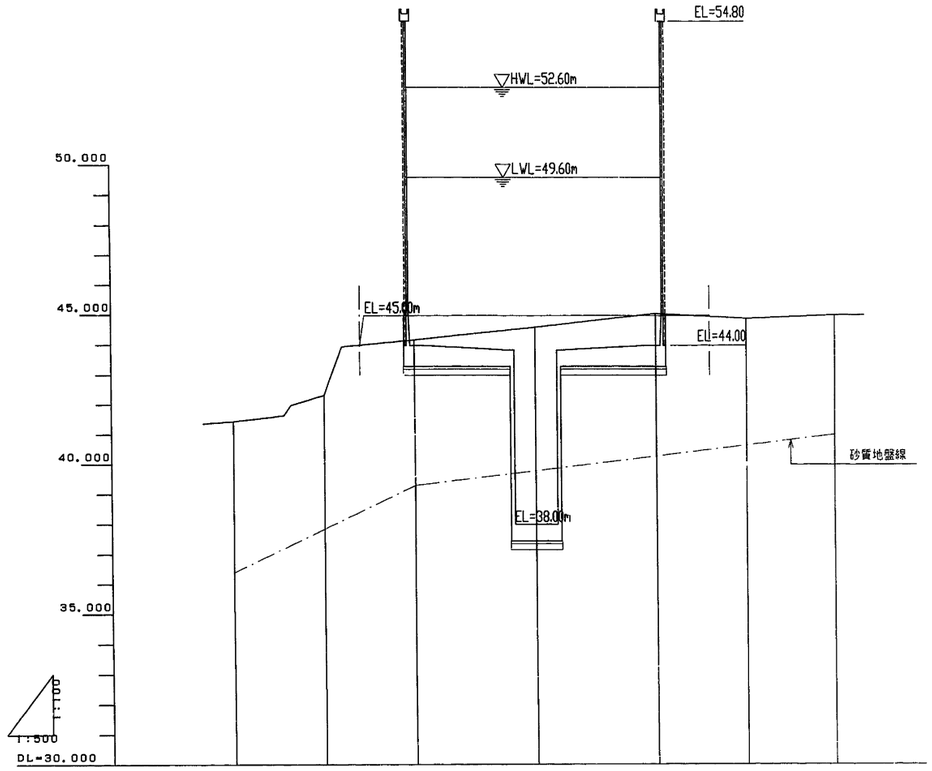
人工芝（完全分解型ワラ芝）



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	張芝工詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-198/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

平面・縦断図

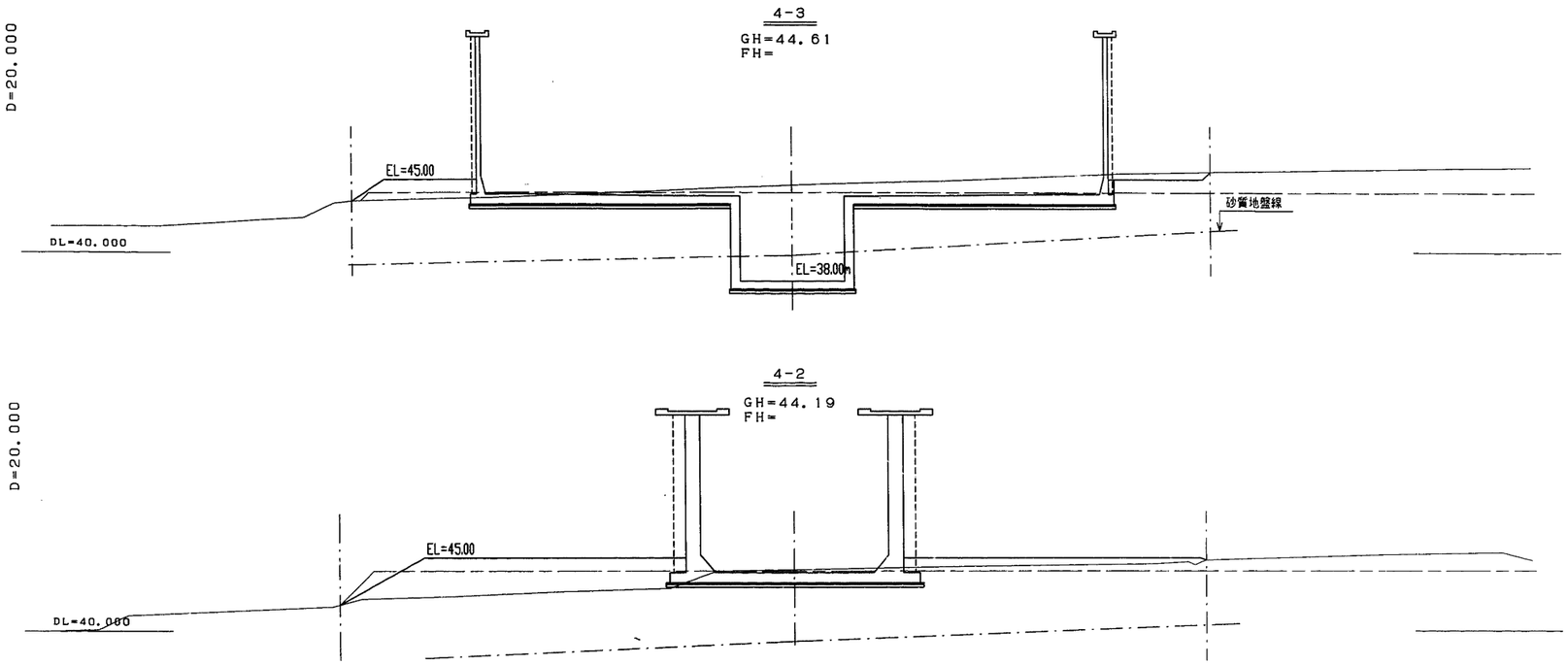




施工基面								
基礎杭	種別							
	本数							
	杭長							
	杭径							
地質	土質							
	地層名							
	地層厚							
支持層	地層名							
	層厚							
	支持層深		44.000		38.000		44.000	
測点		4-0	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6
測点間隔		0.000	15.000	15.000	20.000	20.000	15.000	15.000
測点		0.000	15.000	30.000	50.000	70.000	85.000	100.000
地層厚		41.43	42.32	44.19	44.61	45.07	44.90	45.02
地層名								
支持層	地層名							
	層厚							
	支持層深							
杭種								
杭径								
杭長								
本数								
杭種								
杭径								
杭長								
本数								
水槽寸法	記号							

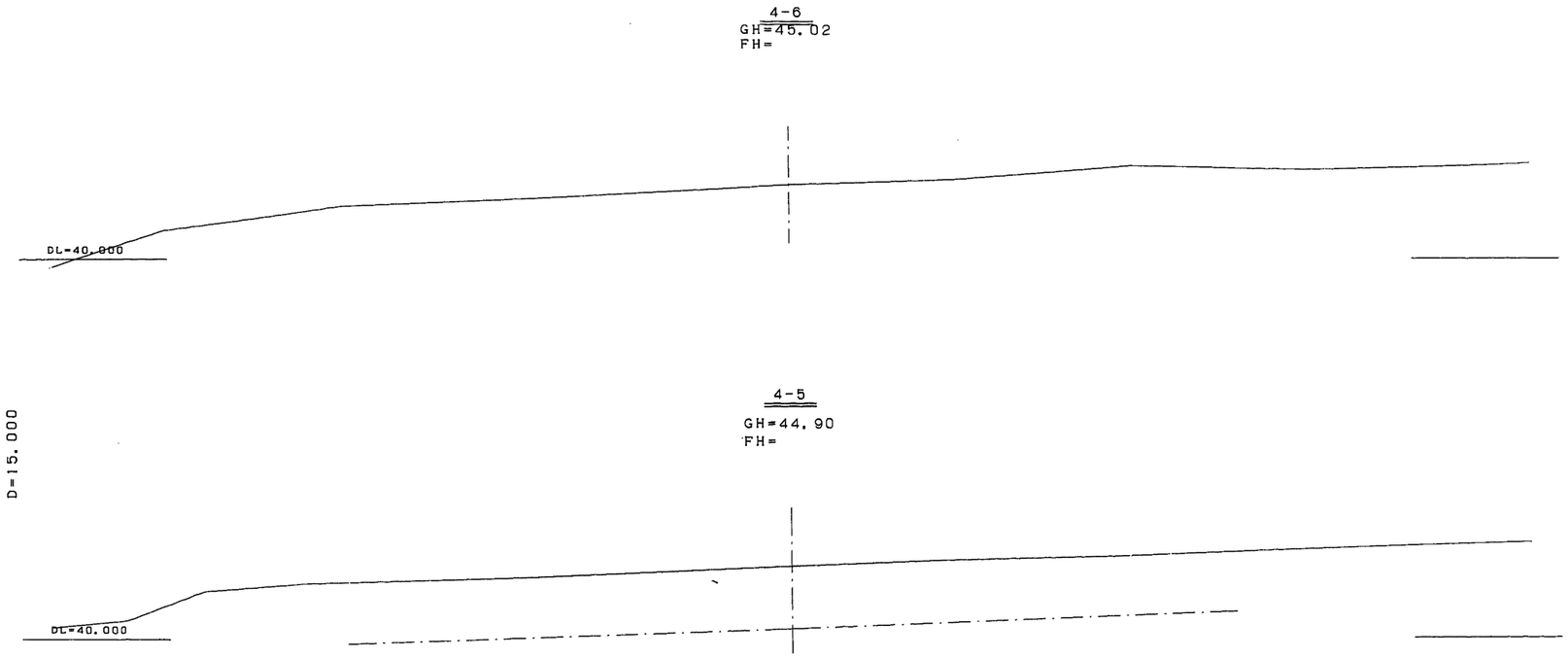
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	平面．縦断図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　6-199/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

横断図（1／2）



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	横断図(1／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-200/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

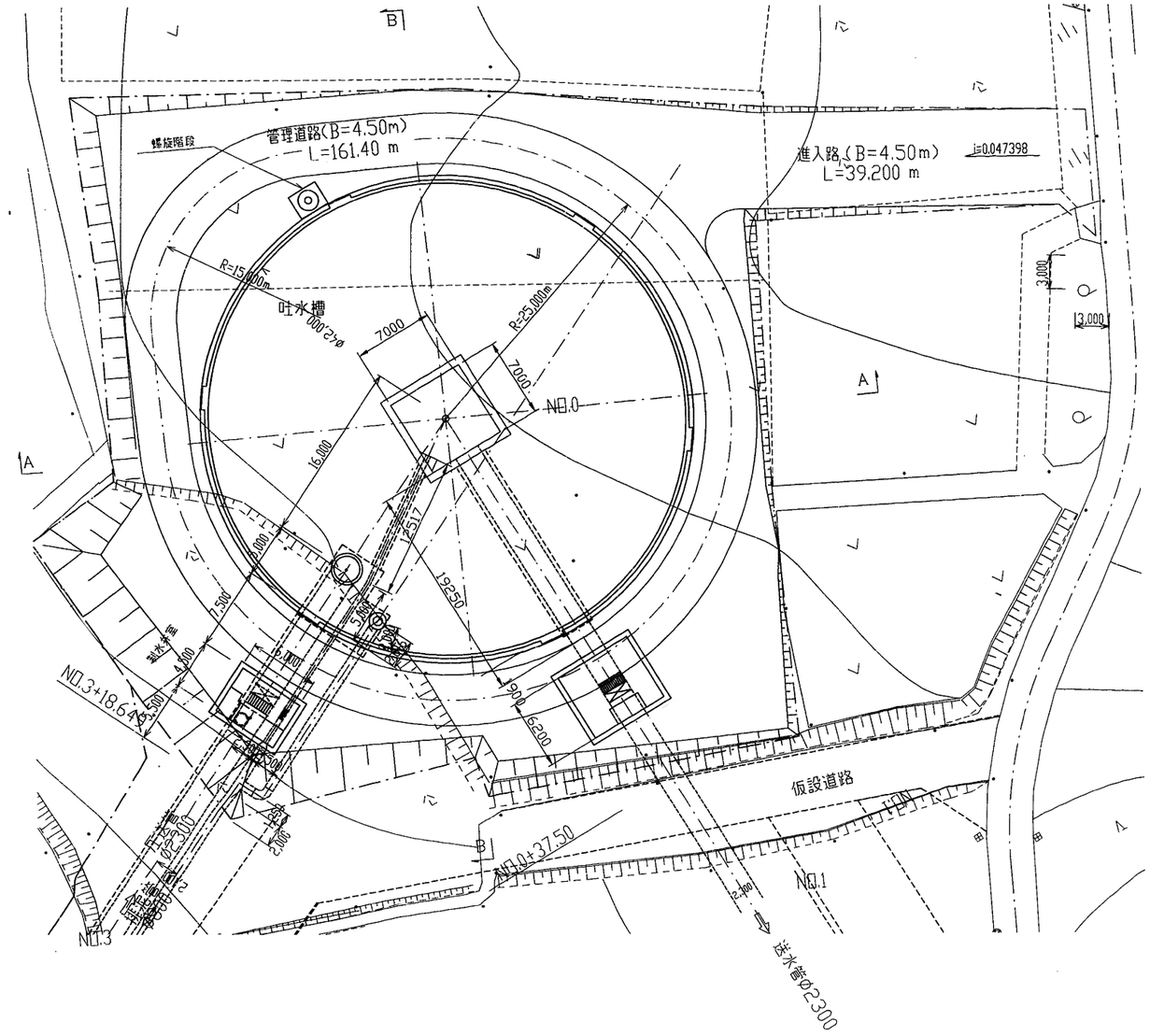
横断図（2/2）



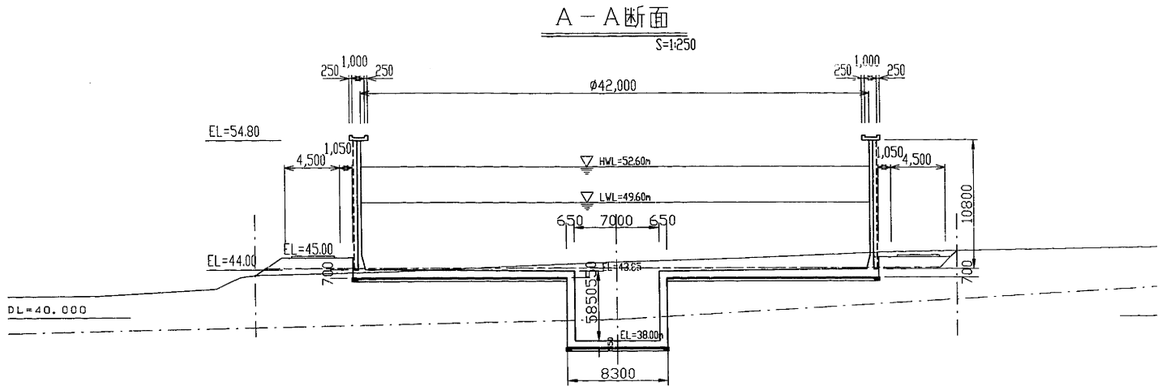
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	横断図(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-201/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

一　般　図（1／3）

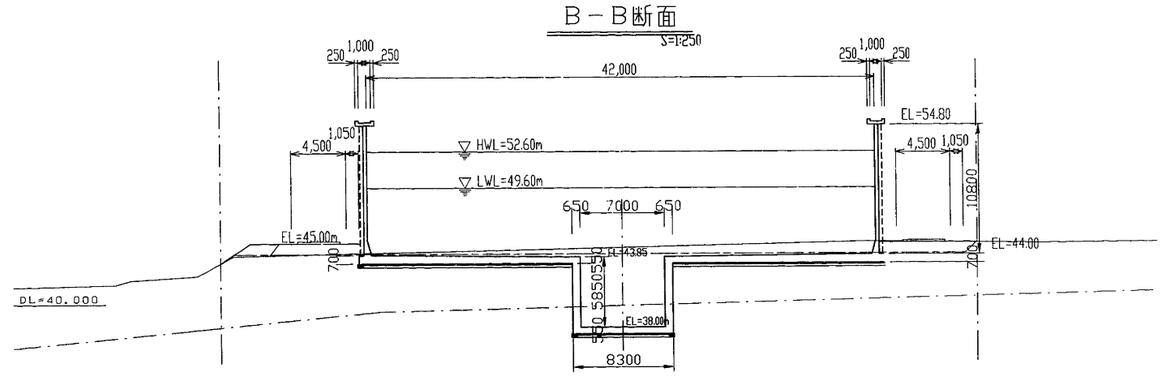
平　面　図
S=1:250



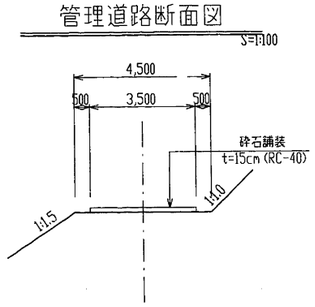
A－A断面
S=1:250



B－B断面
S=1:250



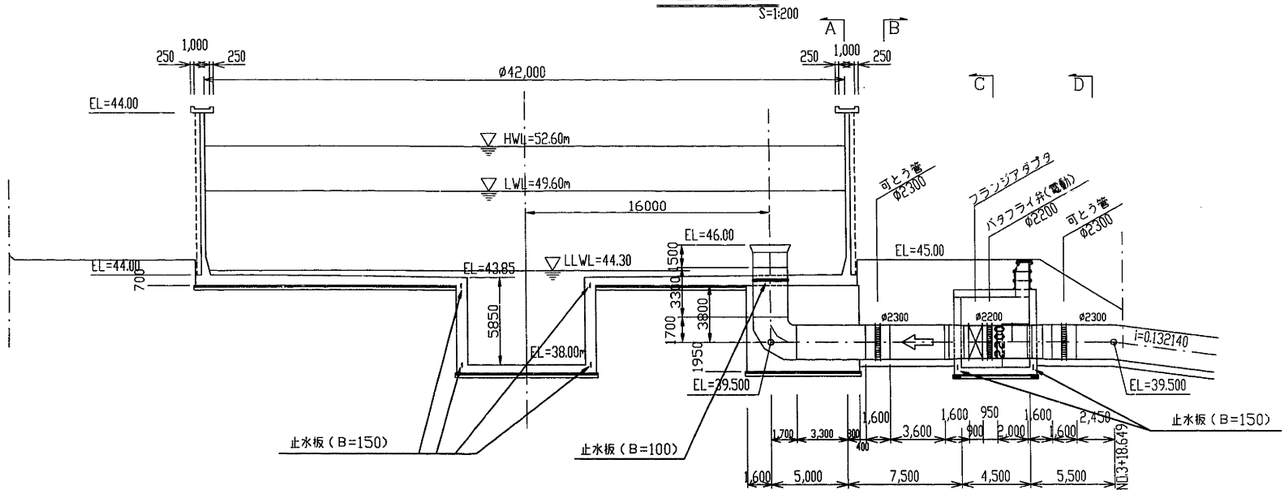
管理道路断面図
S=1:100



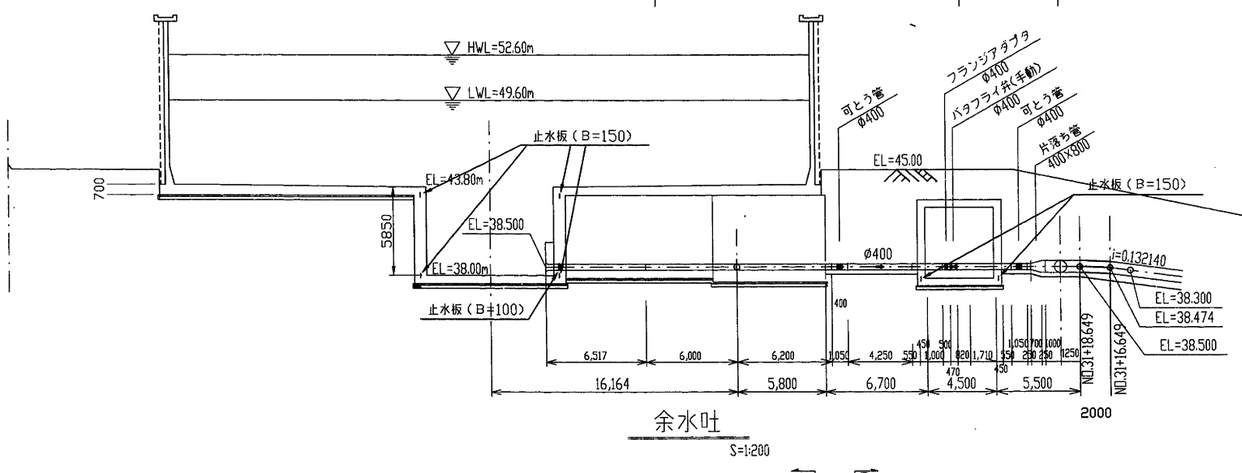
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	一般図(1／3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-202/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

一　般　図（2／3）

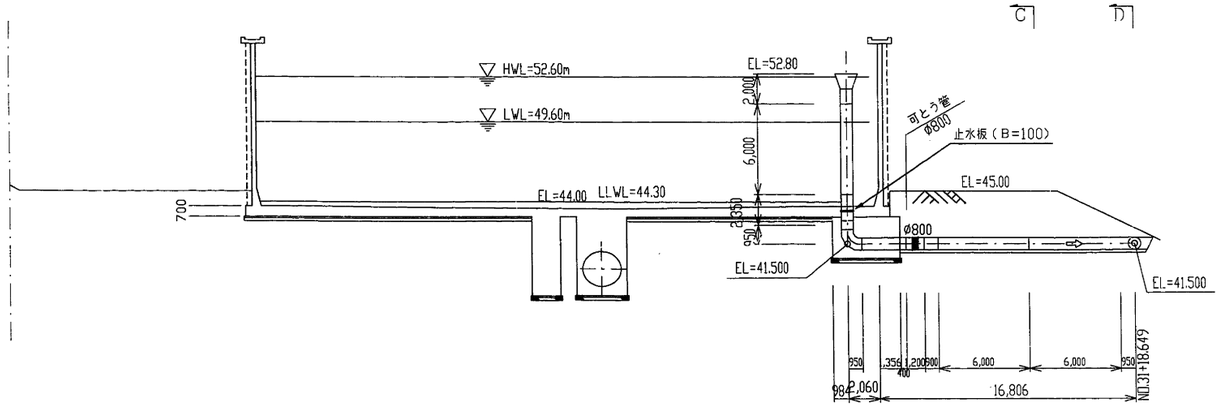
圧送管
S=1:200



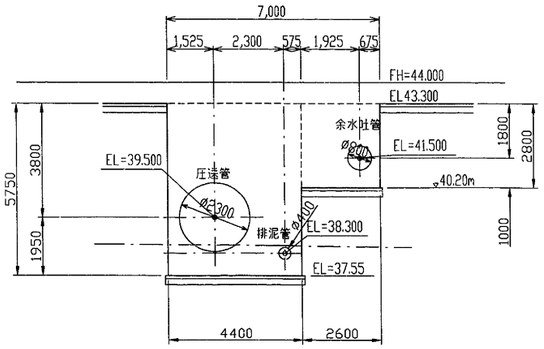
排泥
S=1:200



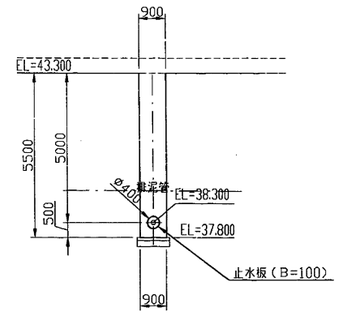
余水吐
S=1:200



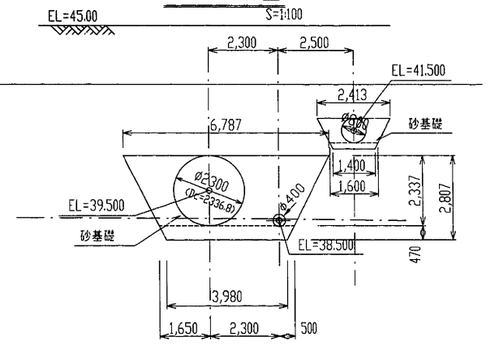
A－A断面
S=1:100



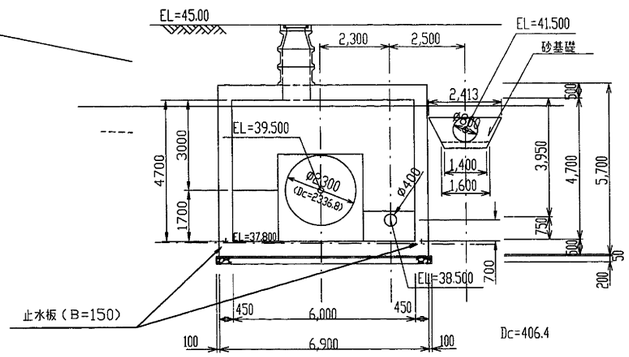
E－E断面
S=1:100



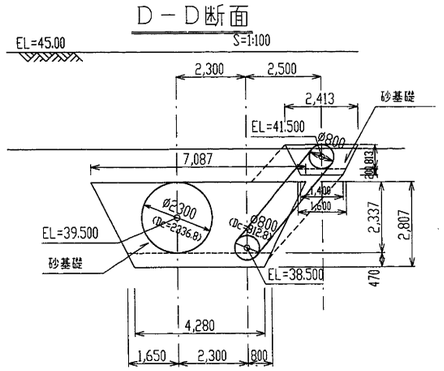
B－B断面
S=1:100



C－C断面
S=1:100



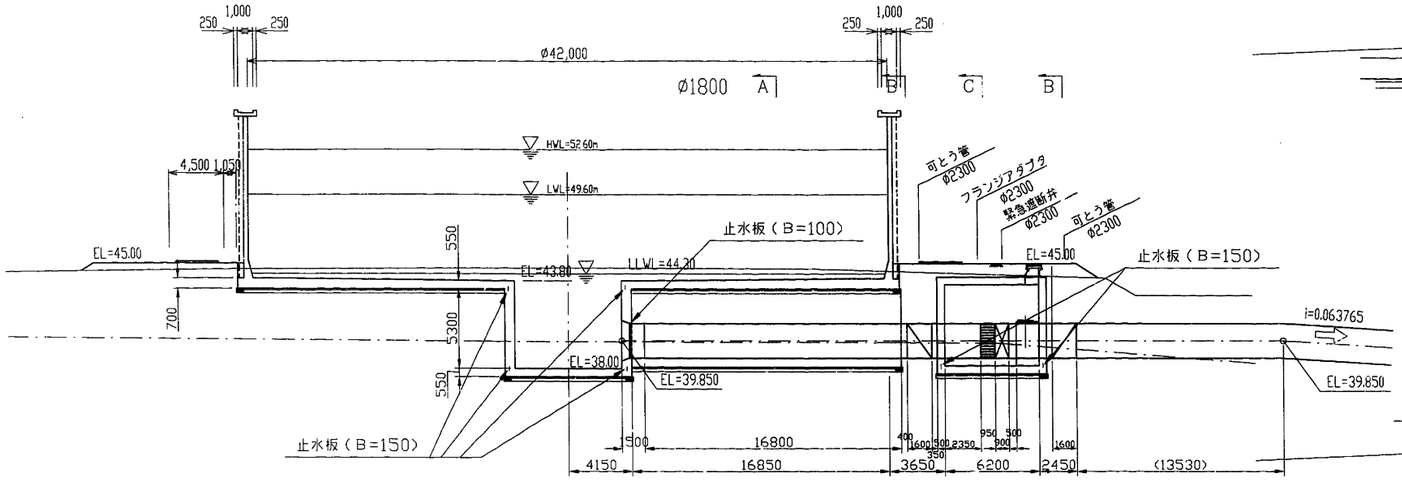
D－D断面
S=1:100



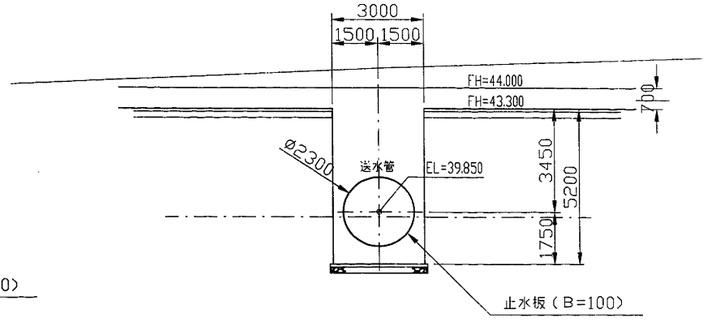
施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	一般図（2／3）		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-203/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

一　般　図（3／3）

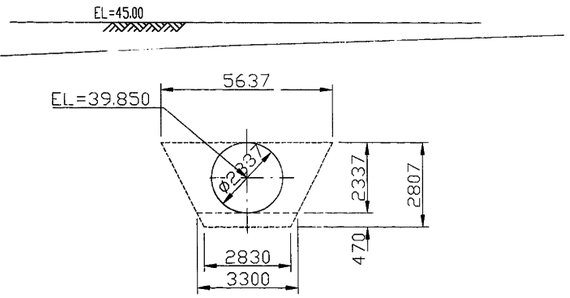
送水管縦断図
S=1:200



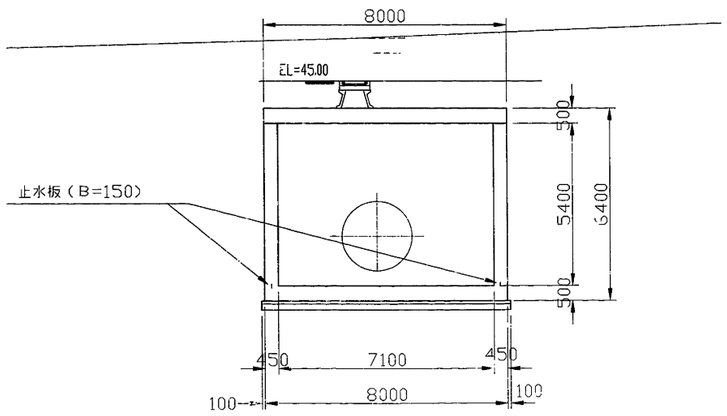
A－A断面
S=1:100



B－B断面
S=1:100



C－C断面
S=1:100



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	一般図(3／3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-204/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

構造一般図 縮尺1：150

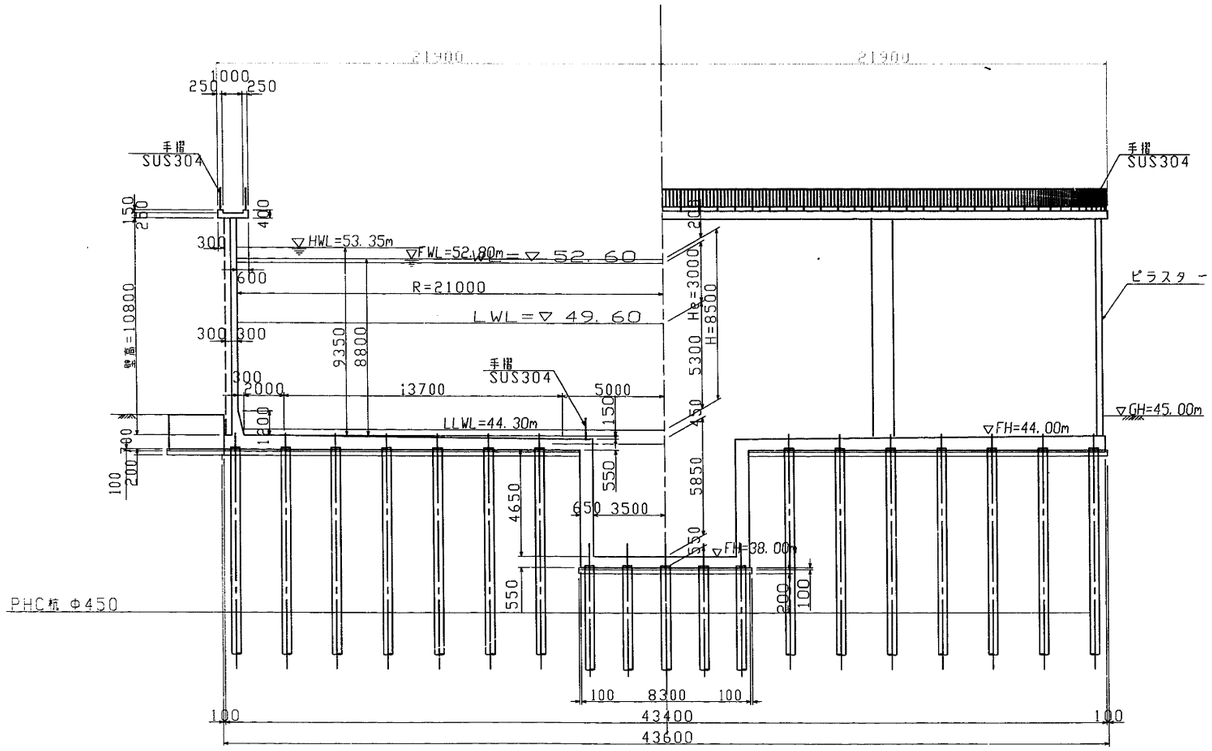
設計条件

構造型式	側壁	円筒形プレストレストコンクリート
	底版	鉄筋コンクリート
有効容量		4150 m³
有効水深		He＝ 3.000 m
設計水深		H ＝ 8.500 m
全水深		Ht＝ 10.800 m
内径		D ＝ 42.000 m
壁厚		t ＝ 0.300 m
震度		レベル1 kh1=0.24
		レベル2 kh2=0.32

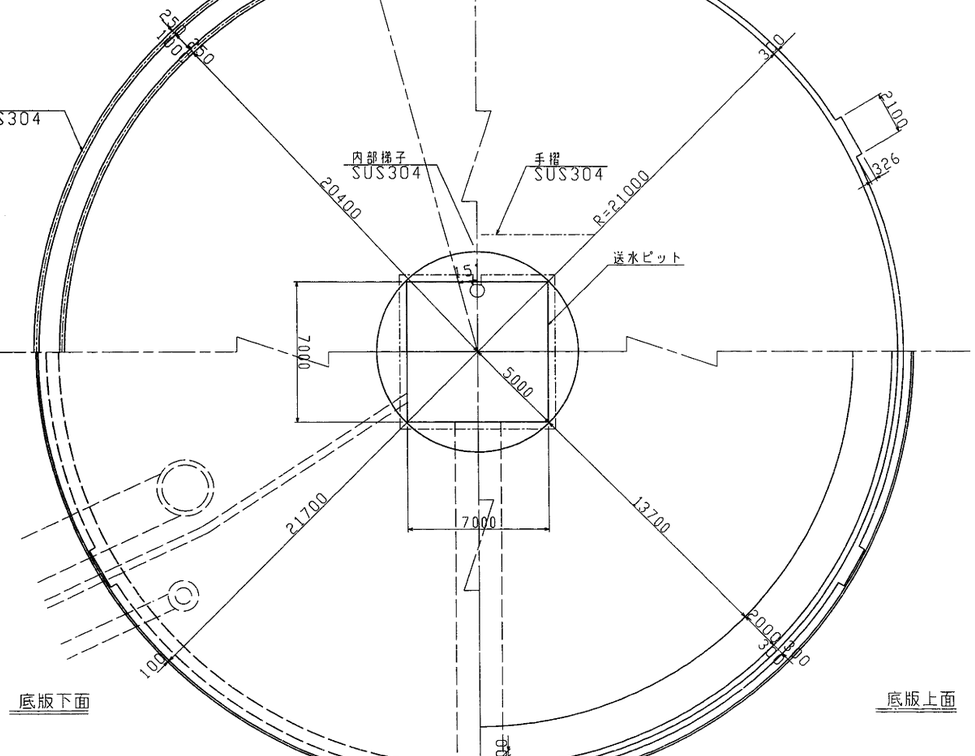
材質

コンクリート	側壁	設計基準強度	σ_{ck} ＝ 36 N/mm²
	底版	設計基準強度	σ_{ck} ＝ 30 N/mm²
	歩廊	設計基準強度	σ_{ck} ＝ 24 N/mm²
PC鋼より線 (1S21.8)		引張強度	σ_{pu} ＝ 1810 N/mm²
		降伏点応力度	σ_{py} ＝ 1570 N/mm²
PC鋼棒 (φ32-SBPR930/1080)		引張強度	σ_{pu} ＝ 1080 N/mm²
		降伏点応力度	σ_{py} ＝ 930 N/mm²
鉄筋 (SD295A)		引張強度	σ_{pu} ＝ 440 N/mm²
		降伏点応力度	σ_{py} ＝ 295 N/mm²

断面図



立面図

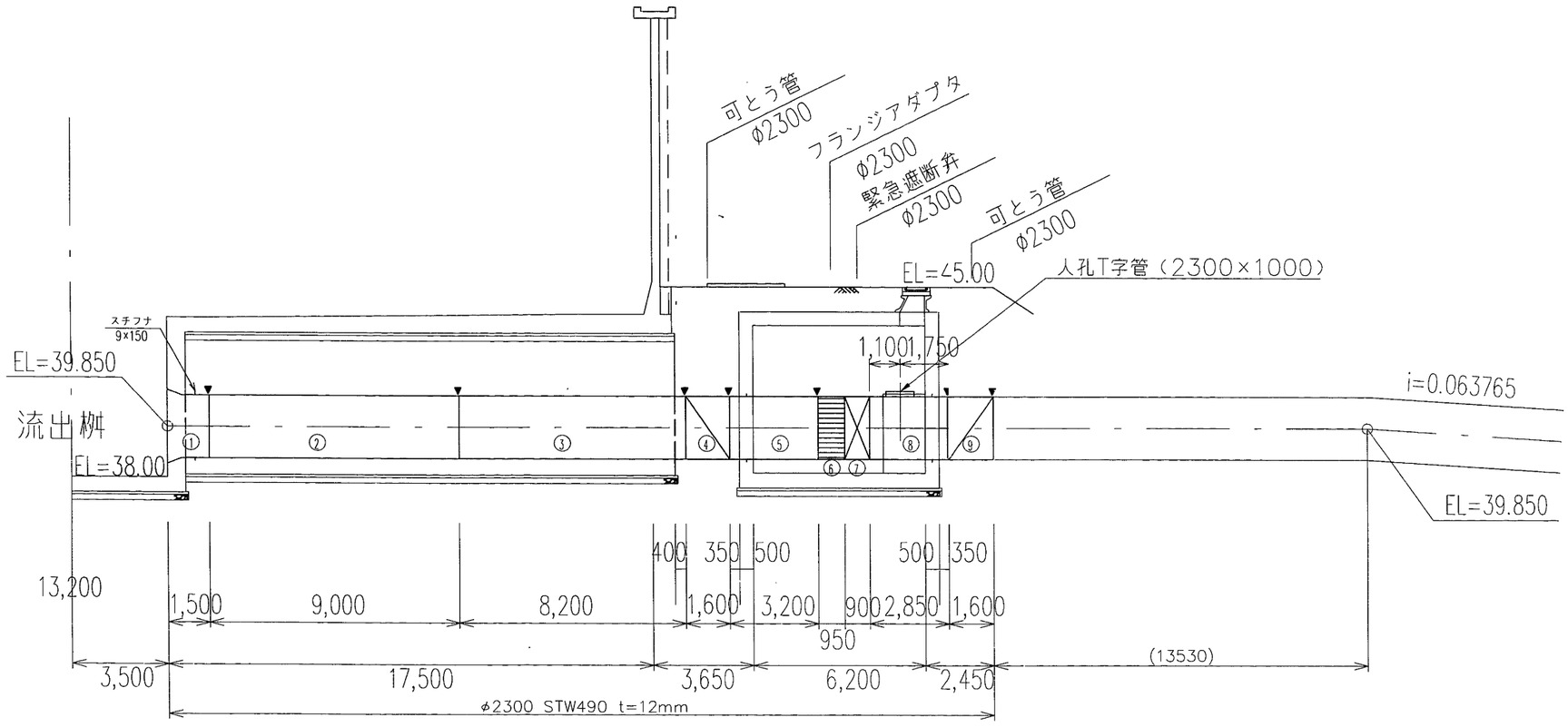


平面図

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	構造一般図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-205/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

配管図（1／2）

送水管

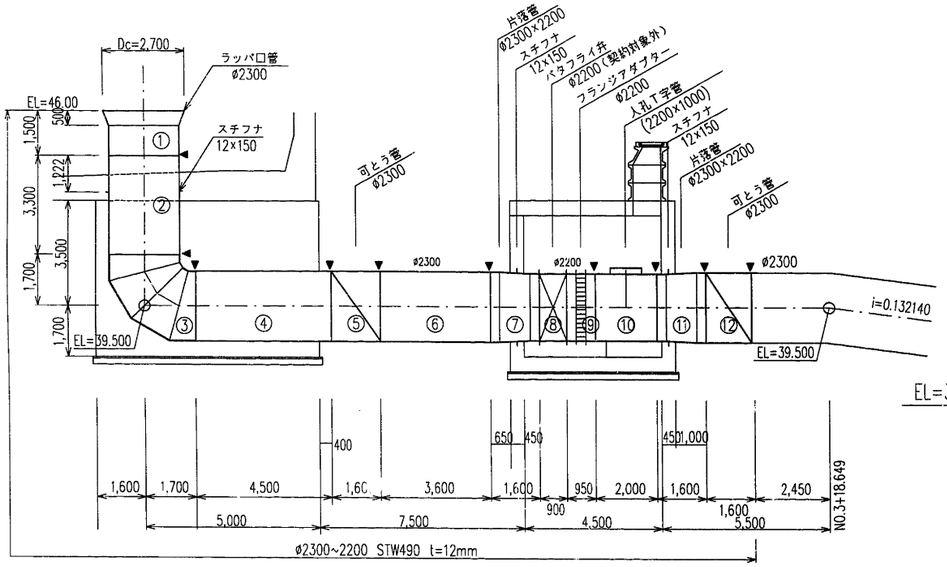


注 記）
1.図中▼印は現場溶接箇所部を示す。

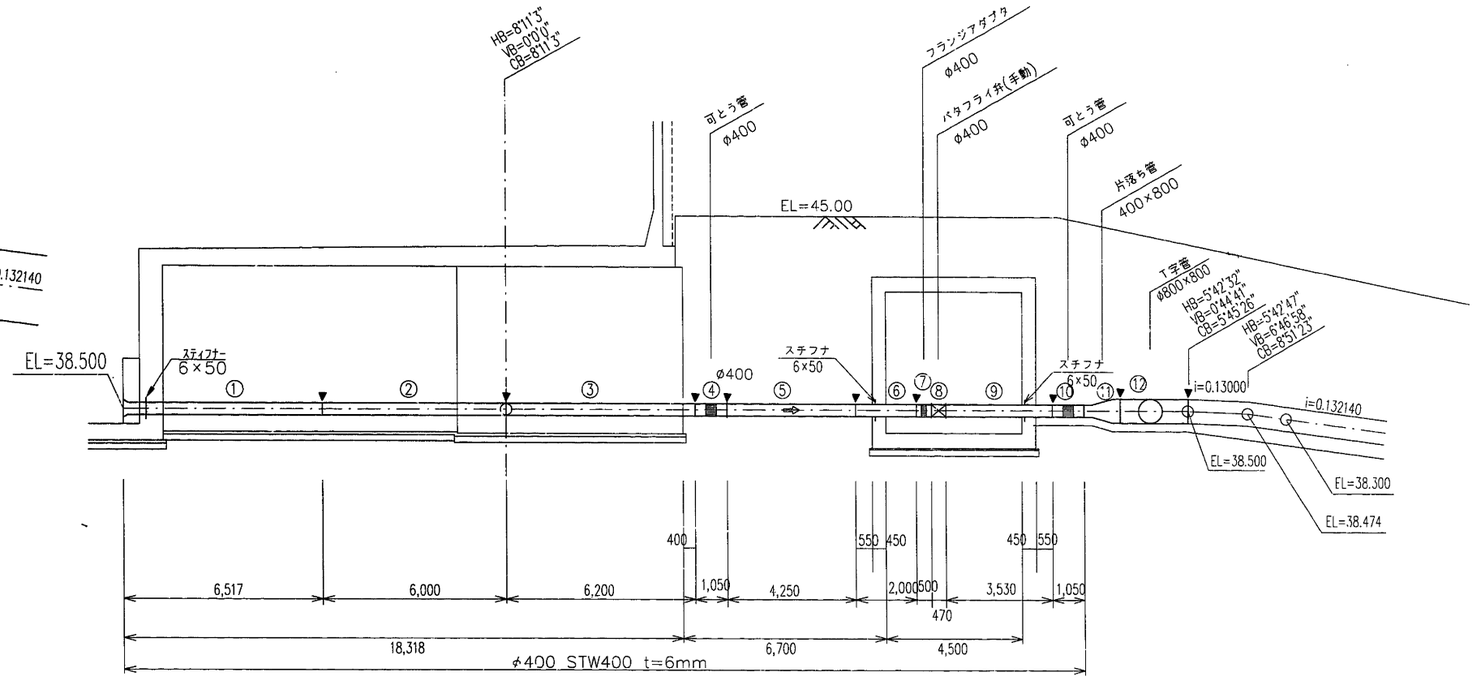
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配管図(1／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-206/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

配管図（2／2）

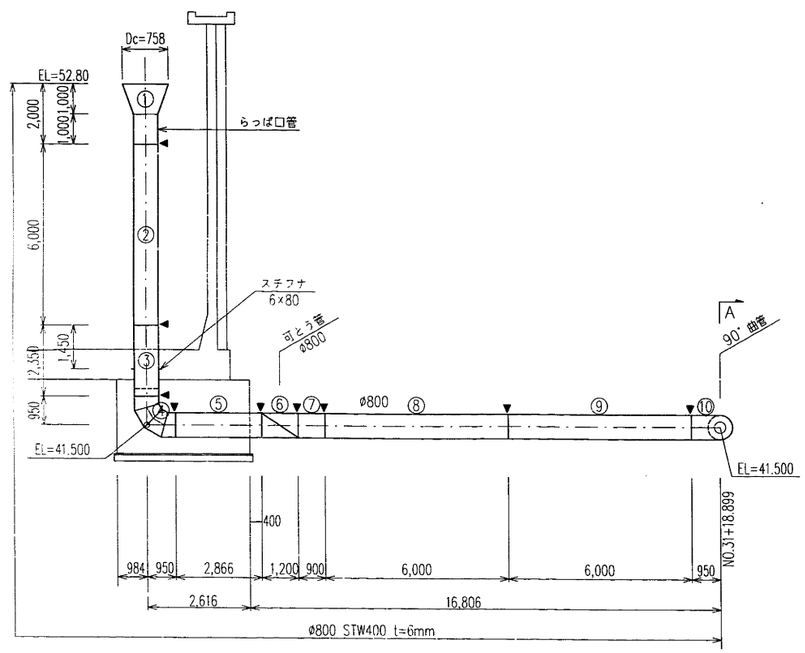
圧送管
S=1:100



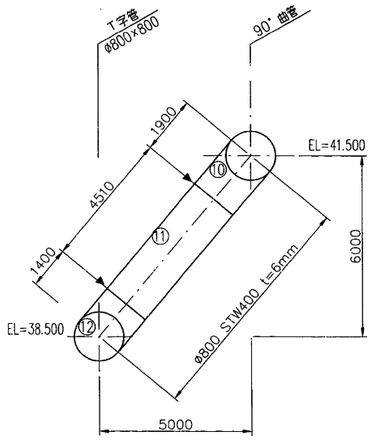
排泥管
S=1:100



余水吐管
S=1:100



A－A断面
S=1:50

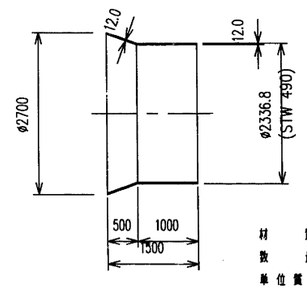


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	配管図 (2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-207/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（１／７）

2300A　吐水槽内　圧送管　管体　詳細図　S=1/50

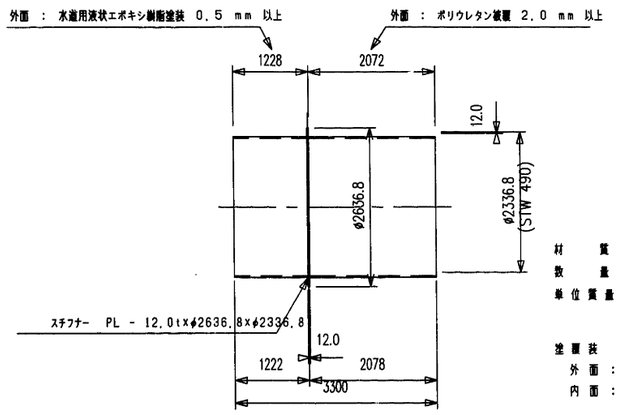
①　2300A　x　1500　らっぱ口管



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　1083 kg／本

塗覆装
外　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

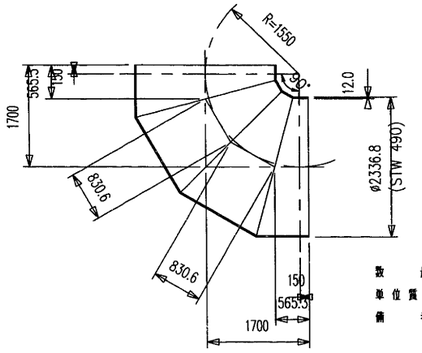
②　2300A　x　3300　スチフナー付き　直　管



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　2380 kg／本

塗覆装
外　面　：　図　示
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

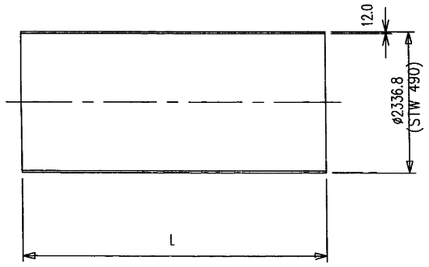
③　2300A x 90°　曲 管



数　　量　：　1
単位質量　：　1921 kg／本
備　　考　：　ΣL　=　3926.5

塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

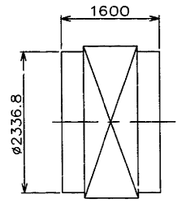
2300A　x　L　　直　　管



管番号	材　質	L	数　量	単位質量（kg／本）	備　考
④	STW 490	4 500	1	3 096	
⑥	STW 490	3600	1	2 477	

塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

⑤　ø2300　H=100　伸縮可とう管



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1

塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

塗装仕様

1）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA　K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0．5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP　K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2．0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0．5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

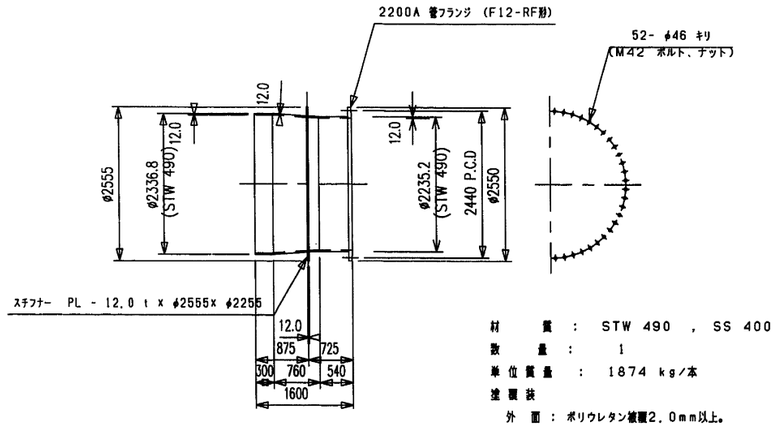
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
2300	100（片面）	200（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(1／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-208/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（２／７）

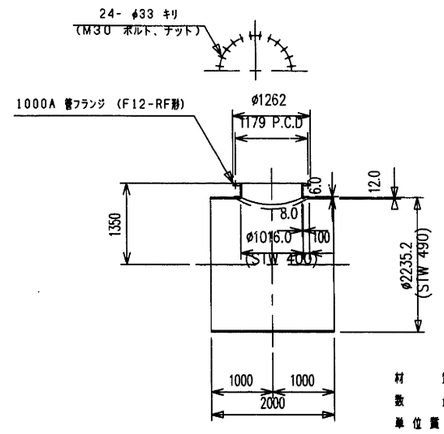
2300A　吐水槽内　圧送管　　管体　詳細図　S=1/50

⑦　2300A x 2200A　　一フランジ付き　片　落　管
（スチフナー付き）



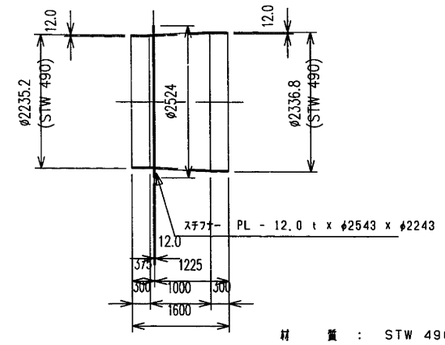
材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　1874 kg／本
塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

⑩　2200A x 1000A　　一フランジ付き　T　字　管



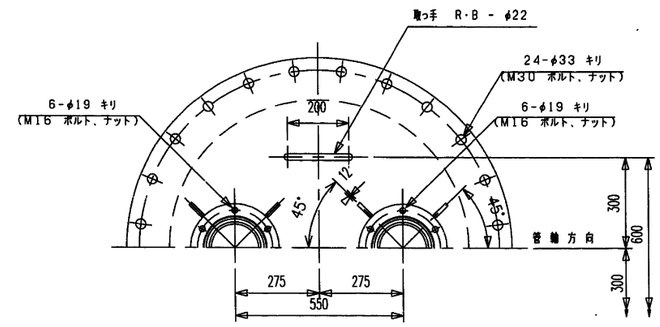
材　　質　：　STW 490，STW 400，SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　1457 kg／本
塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

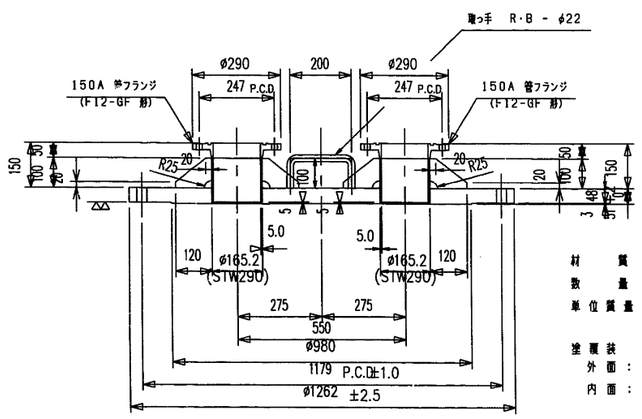
⑪　2300A x 2200A　　スチフナー付き　片　落　管



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　1183 kg／本
塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

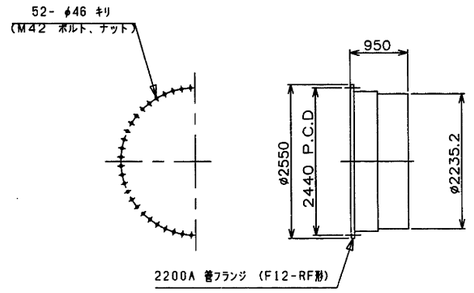
1000A x 150A　　空気弁用　フランジふた　S=1/10
(F12)





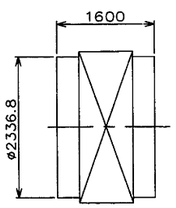
材　　質　：　SS 400，STW 290
数　　量　：　2　（圧送管－1、吐水槽内 圧送管－1）
単位質量　：　495　kg／個
塗覆装
外　面　：　水道用タールエポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

⑨　φ2200　フランジアダプター



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

⑫　φ2300 H=100　伸縮可とう管



材　　質　：　STW 490　，　SS 400
数　　量　：　1
塗覆装
外　面　：　ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

塗装仕様

1）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0．5mm以上とする

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

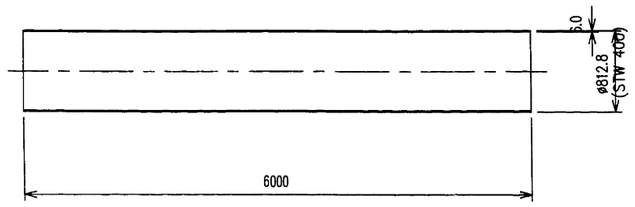
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
2300	100（片面）	200（片面）
2200	100（片面）	200（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(2／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-209/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（３／７）

800A　吐水槽内　余水吐管　　管体　詳細図　S=1/30

②　800A x 6000　　直　管

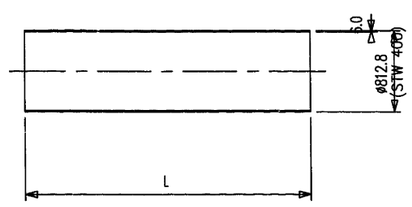


数　　量　：　1
単位質量　：　714 kg／本

塗覆装

外　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

800A　x　L　　直管、短管

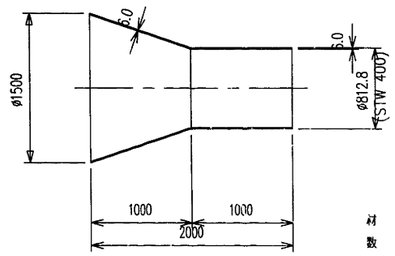


管番号	材　質	L	数　量	単位質量（kg／本）	備　考
⑤	STW 400	2 866	1	341	
⑦	STW 400	900	1	107	
⑧ ⑨	STW 400	6 000	2	714	
⑪	STW 400	2 255	1	268	

塗覆装

外面：ポリウレタン被覆２．０ｍｍ以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装０．５ｍｍ以上。

①　800A x 2000　らっぱ口管

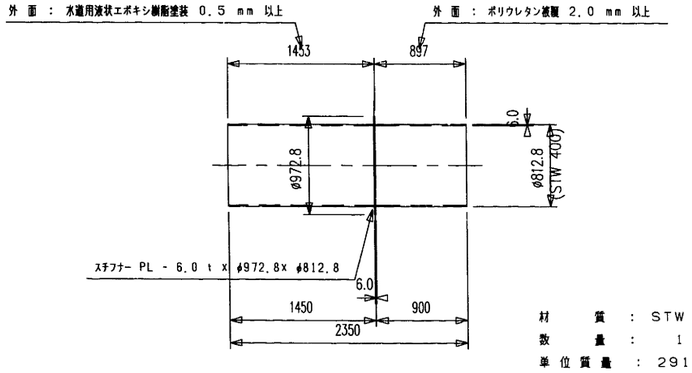


材　　質　：　STW 400 ， SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　299 kg／本

塗覆装

外　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

③　800A x 2350　スチフナー付　短 管

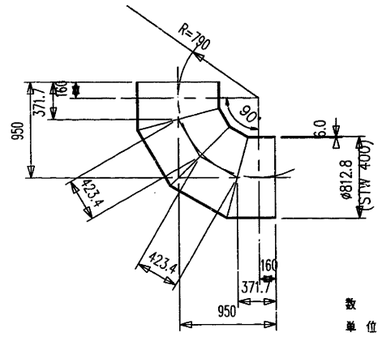


材　　質　：　STW 400 ， SS 400
数　　量　：　1
単位質量　：　291 kg／本

塗覆装

外　面　：　図　　示
内　面　：　水道用液状エポキシ樹脂塗装　0．5　mm　以上。

④　⑩　800A x 90°　曲 管

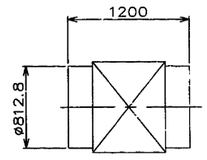


数　　量　：　2
単位質量　：　189 kg／本
備　　考　：　ΣL＝1590．2

塗覆装

外面：ポリウレタン被覆２．０ｍｍ以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装０．５ｍｍ以上。

⑥　ø800 H=100 伸縮可とう管



材　　質　：　STW 400 ， SS 400
数　　量　：　1

塗覆装

外面・ポリウレタン被覆２．０ｍｍ以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装０．５ｍｍ以上。

塗装仕様

１）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚０．５ｍｍ以上とする。

２）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

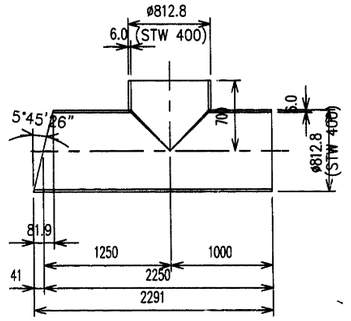
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
800	100（片面）	150（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	鋼製異形管詳細図(3／7)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　　図面番号　6-210/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

鋼製異形管詳細図（４／７）

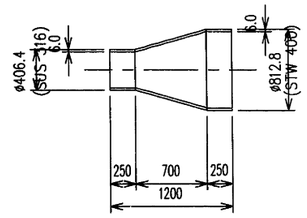
８００Ａ　吐水槽内　余水吐管　　管体　詳細図　S=1/30

⑫　800Ax800Ax2250 片テーパー付き T字管



数　量：１
単体質量：２９１ｋｇ／本
塗覆装
　外面：ポリウレタン被覆２．０ｍｍ以上。
　内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装０．５ｍｍ以上。

⑪　800Ax400Ax1200 片ステンレス付き 片落管



材　質：STW400, SUS316
数　量：１
単体質量：１１１ｋｇ／本
塗覆装
　外面：ポリウレタン被覆２．０ｍｍ以上。
　内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装０．５ｍｍ以上。

塗装仕様

１）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は
原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は
水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚０．５ｍｍ以上とする。

２）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

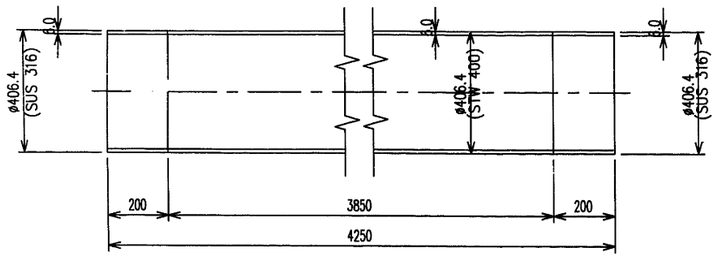
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
800	100（片面）	150（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(4／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-211/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（５／７）

400A　吐水槽内　排泥管　　管体　詳細図　S=1/10

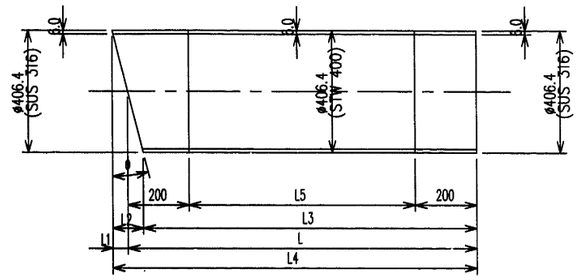
⑤　400A x 4250　両ステンレス付き　直　管



材　　質：　STW 400 ，SUS316
数　　量：　1
単位質量：　252 kg/本

塗覆装
外　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0.5 mm 以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0.5 mm 以上。

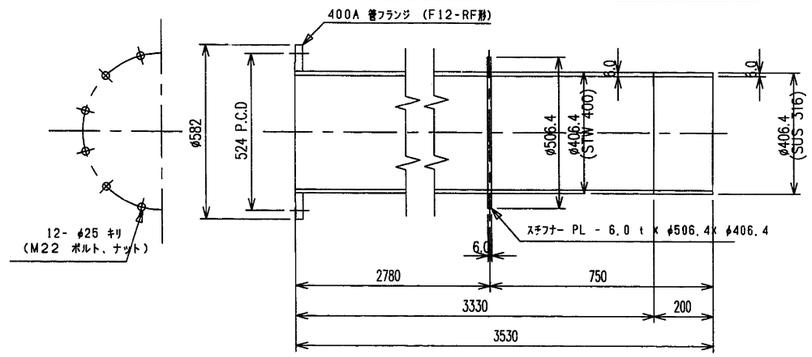
400AxL　片テーパ両ステンレス付き　直管、短管



管番号	L	L1	L2	L3	L4	L5	θ	数　量	単体質量（kg/本）
②	6000	14.5	29.0	5985.5	6014.5	5600	4° 05′ 32″	1	356
③	6200	14.5	29.0	6185.5	6214.5	5800	4° 05′ 32″	1	367

材　　質：　STW 400 ，SUS316
塗覆装
外面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

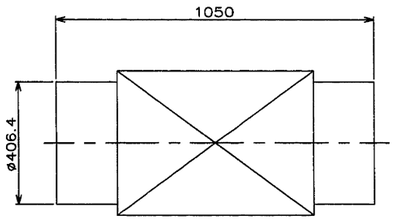
⑨　400A x 3530　片ステンレス　片フランジ　スチフナー付き　直　管



材　　質：　STW 400 ，SUS316 ，SS 400
数　　量：　1
単位質量：　241 kg/本

塗覆装
外面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

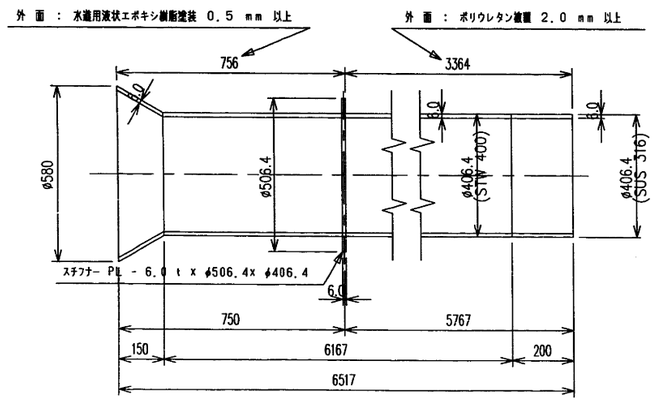
④⑩　φ400　H=100　伸縮可とう管



材　　質：　SUS316 ，SS 400
数　　量：　2

塗覆装
外面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

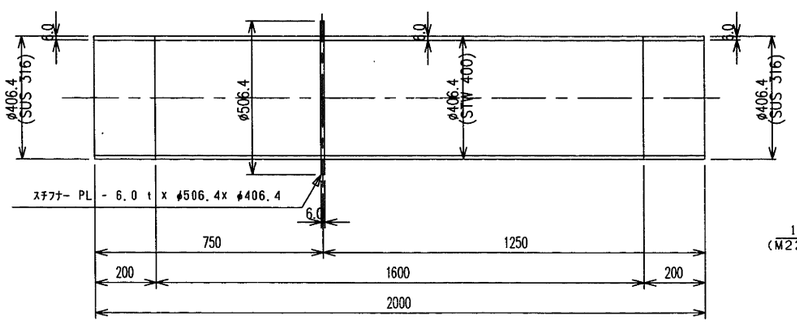
①　400A x 6517　片ステンレス　スチフナー付き　らっぱ口管



材　　質：STW 400 ，SUS316 ，SS 400
数　　量：　1
単位質量：　393 kg/本

塗覆装
外　面：　図　示
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0.5 mm 以上。

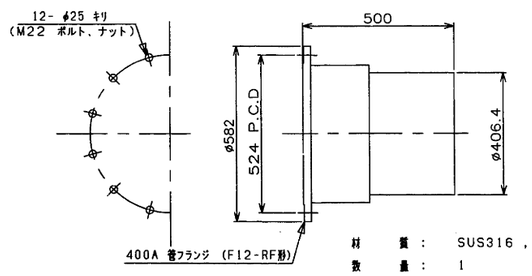
⑥　400A x 2000　両ステンレス　スチフナー付き　短　管



材　　質：STW 400 ，SUS316 ，SS 400
数　　量：　1
単位質量：　122 kg/本

塗覆装
外面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

⑦　φ400　フランジアダプター



材　　質：　SUS316 ，SS 400
数　　量：　1

塗覆装
外面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

塗装仕様

1）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、（JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0．5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

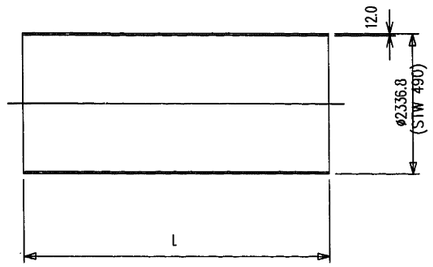
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
400	150（片面）	150（片側）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(5／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-212/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（６／７）

2300A　吐水槽内　送水管　管体　詳細図　S=1/50

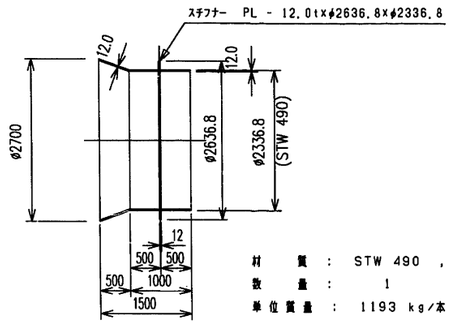
2300A　x　L　直　管



管番号	材　質	L	数　量	単位質量(kg/本)	備　考
②	STW 490	9 000	1	6192	
③	STW 490	8 200	1	5642	

塗覆装
外　面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

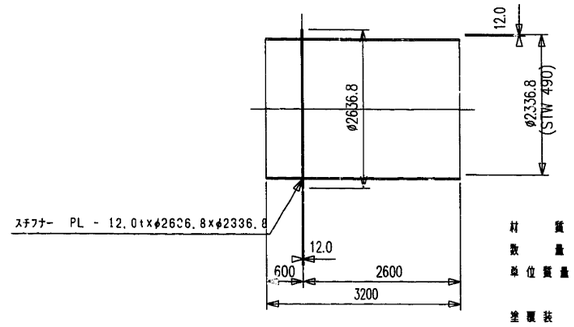
①　2300A　x　1500　スチフナー付らっぱ口管



材　質：STW 490 , SS 400
数　量：1
単位質量：1193 kg/本

塗覆装
外　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0．5 mm 以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0．5 mm 以上。

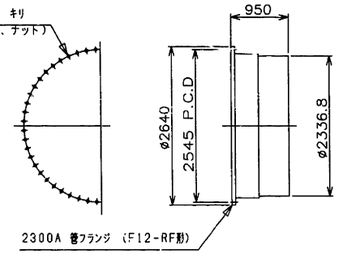
⑤　2300A　x　3200　スチフナー付き 直　管



材　質：STW 490 , SS 400
数　量：1
単位質量：2312 kg/本

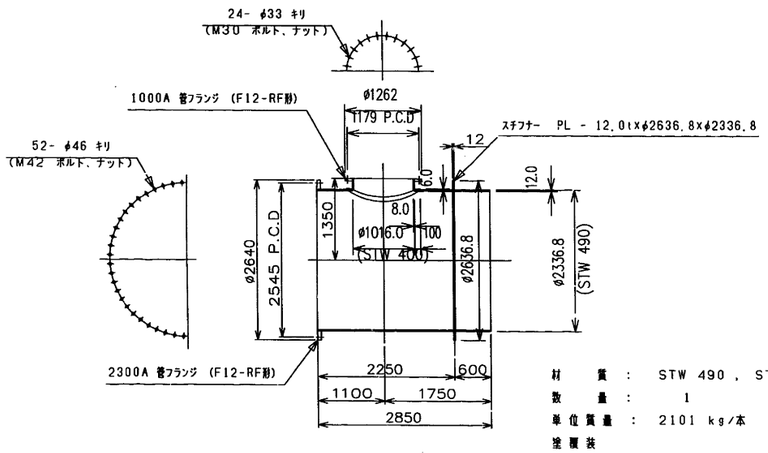
塗覆装
外　面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0．5 mm 以上。

⑥　φ2200　フランジアダプター



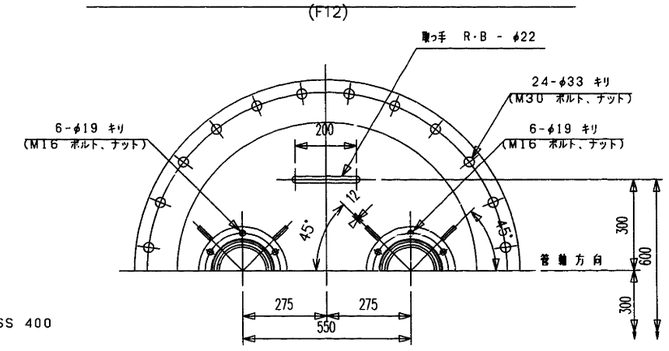
材　質：STW 490 , SS 400
数　量：1
塗覆装
外　面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

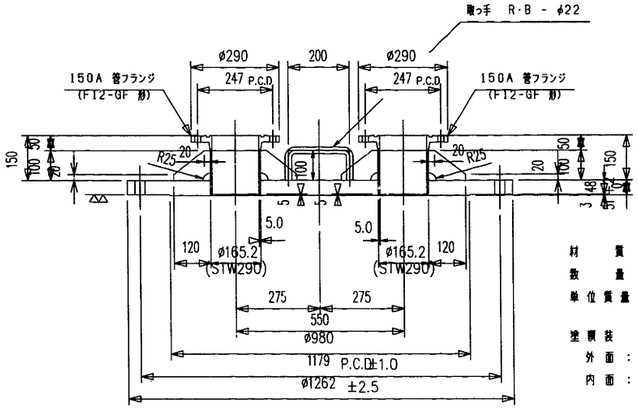
⑧　2300A x 1000A　スチフナー付二フランジ付き T 字 管



材　質：STW 490 , STW 400 , SS 400
数　量：1
単位質量：2101 kg/本
塗覆装
外　面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

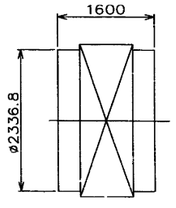
1000A x 150A　空気弁用　フランジふた (F12)





材　質：SS 400 , STW 290
数　量：2　(圧送管-1、吐水槽内 圧送管-1)
単位質量：495 kg/個
塗覆装
外　面：水道用タールエポキシ樹脂塗装 0．5 mm 以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装 0．5 mm 以上。

④ ⑨　φ2300 H=100 伸縮可とう管



材　質：STW 490 , SS 400
数　量：2
塗覆装
外　面：ポリウレタン被覆2．0mm以上。
内　面：水道用液状エポキシ樹脂塗装0．5mm以上。

塗装仕様

1）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗　装　仕　様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装（JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」）	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆（WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」）	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0．5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

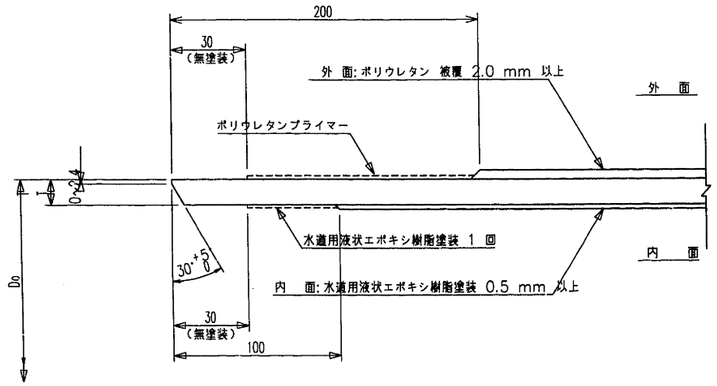
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
2300	100（片面）	200（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(6／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-213/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

鋼製異形管詳細図（７／７）

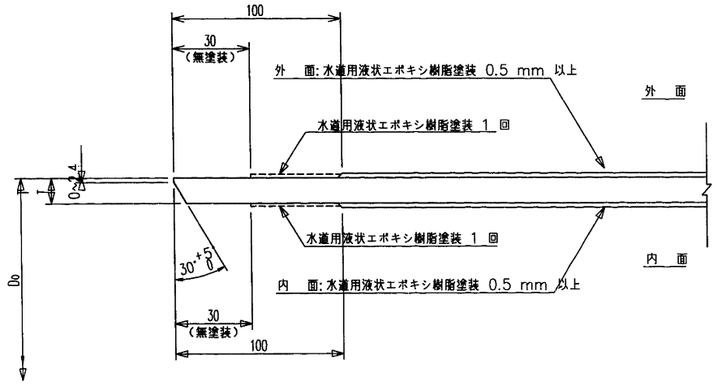
管 端 開 先 及 び 塗 覆 装　詳 細 図

埋設部、コンクリート内 及び 弁室内　管端開先 及び 塗覆装 詳細図



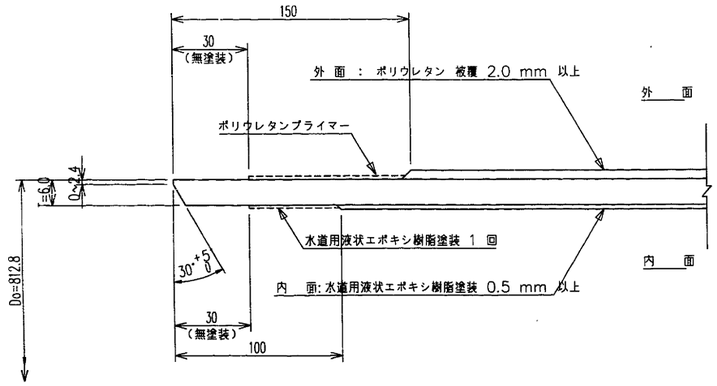
呼び径	Do (mm)	T (mm)	材　質
2300A	ø2336.8	15.0	STW 490
2300A	ø2336.8	12.0	STW 490
2200A	ø2235.2	12.0	STW 490
1800A	ø1828.8	12.0	STW 400
1800A	ø1828.8	9.0	STW 400
1650A	ø1676.4	12.0	STW 400
1650A	ø1676.4	9.0	STW 400

水中部　管端開先 及び 塗覆装 詳細図

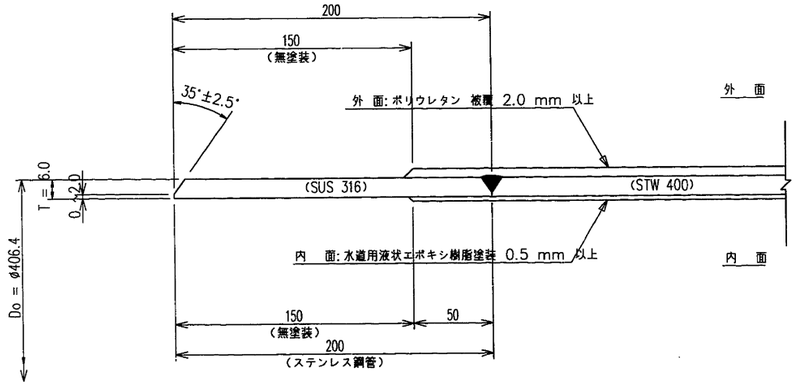


呼び径	Do (mm)	T (mm)	材　質
2300A	ø2336.8	15.0	STW 490
800A	ø 812.8	6.0	STW 400

埋設部、コンクリート内 及び 弁室内　管端開先 及び 塗覆装 詳細図



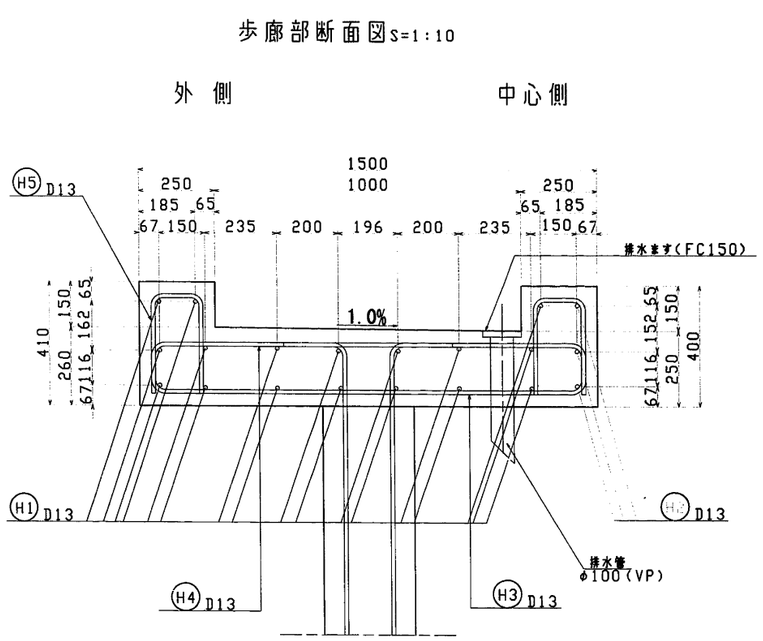
400A 管端 SUS 開先 及び 塗覆装　詳細図



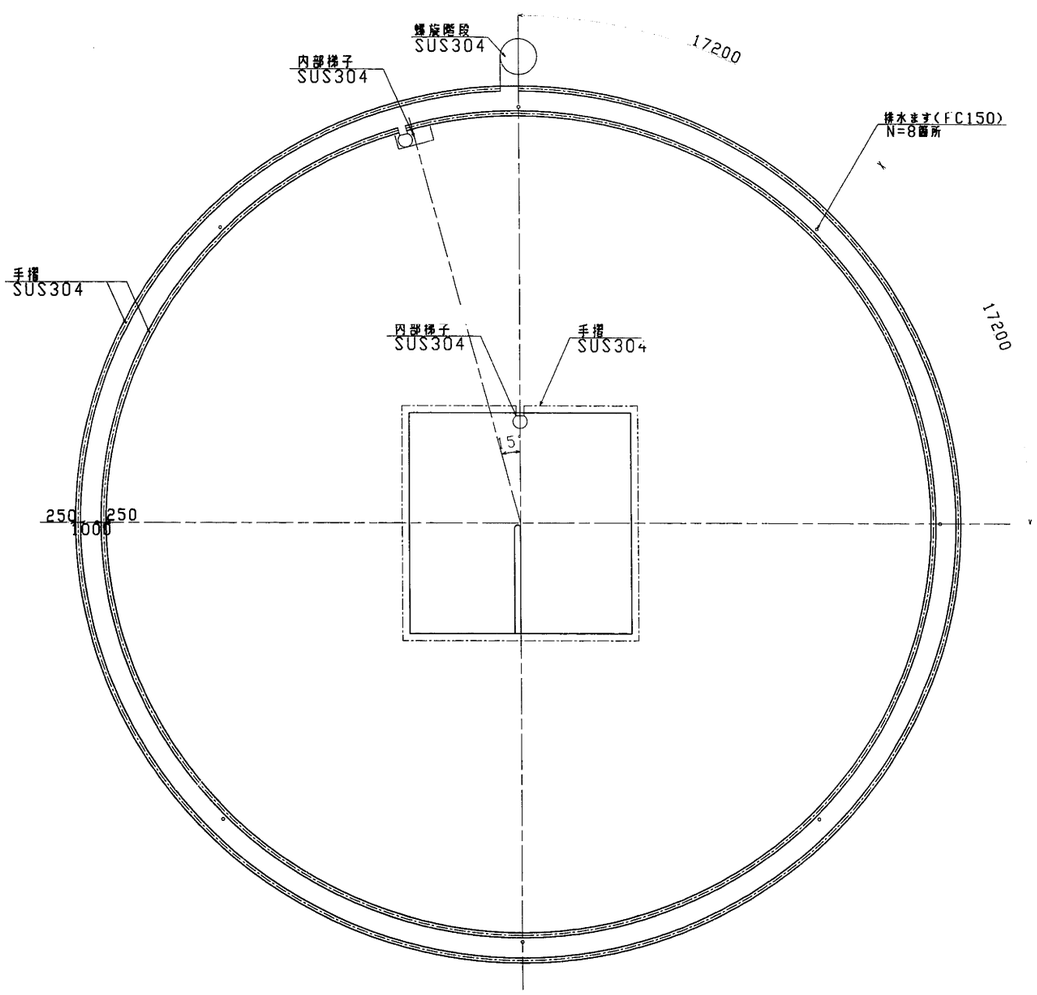
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	鋼製異形管詳細図(7／7)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-214/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

歩廊部詳細図

歩廊部断面図 S=1:10



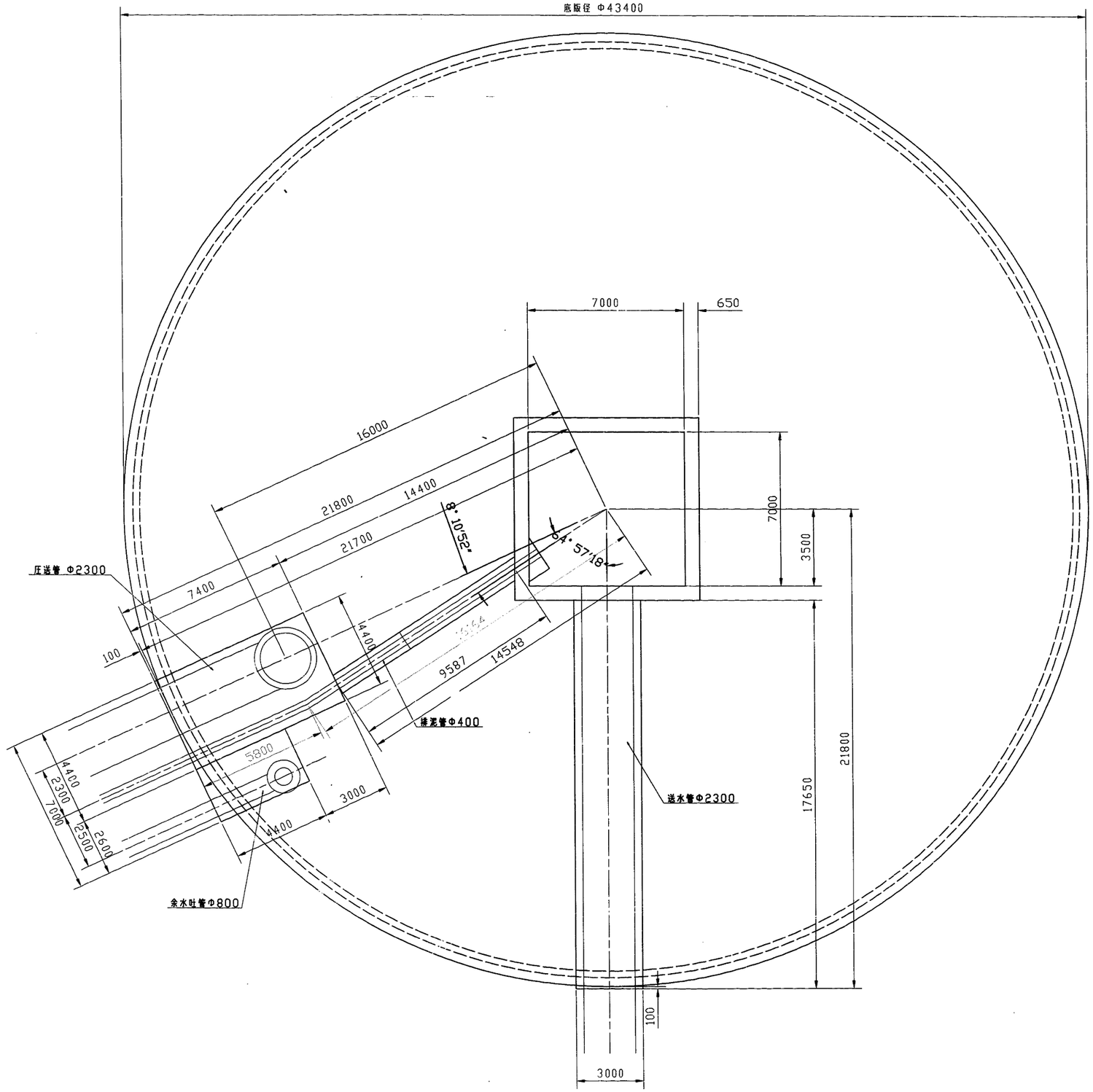
平面図 S=1:150



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	歩廊部詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-215/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

配管保護詳細図（１／４）

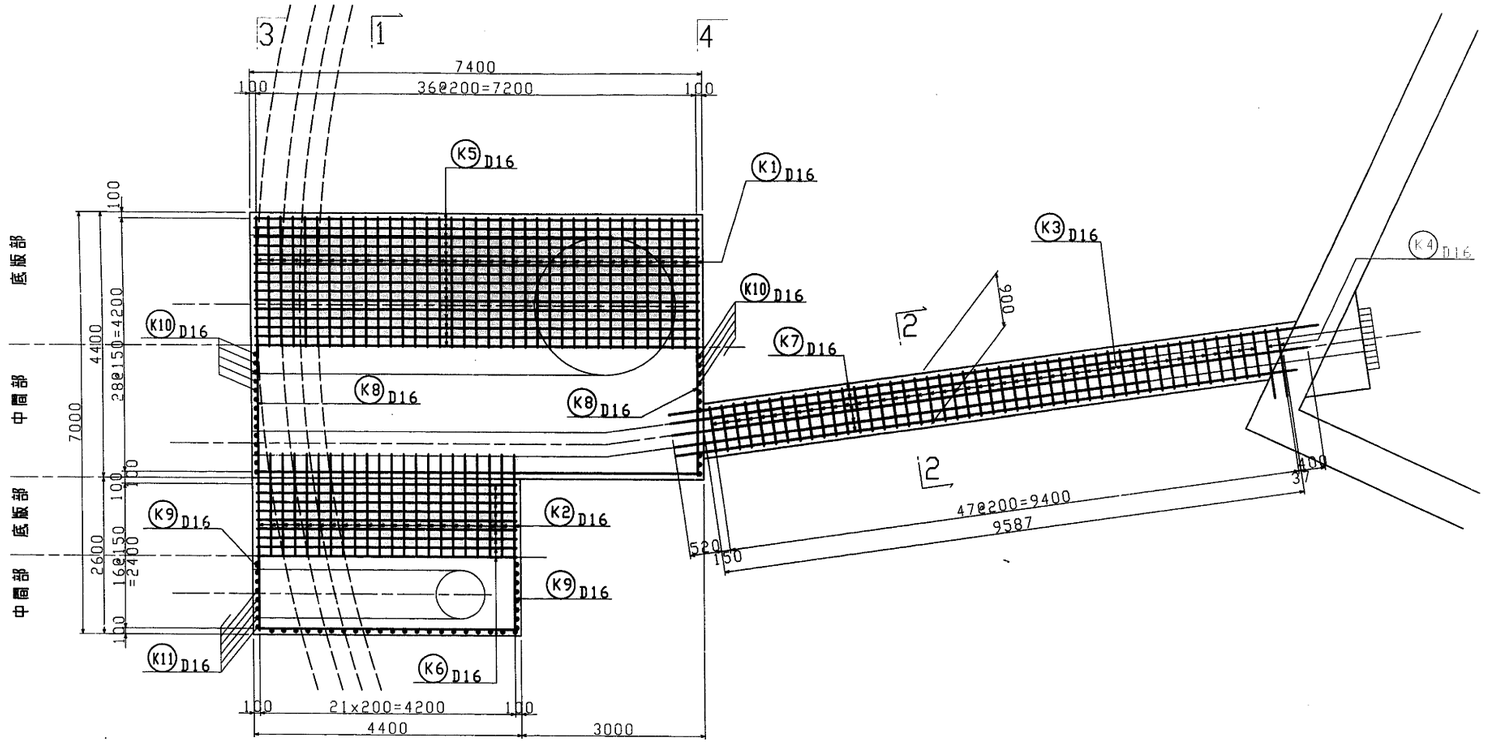
平 面 図 S=1:100



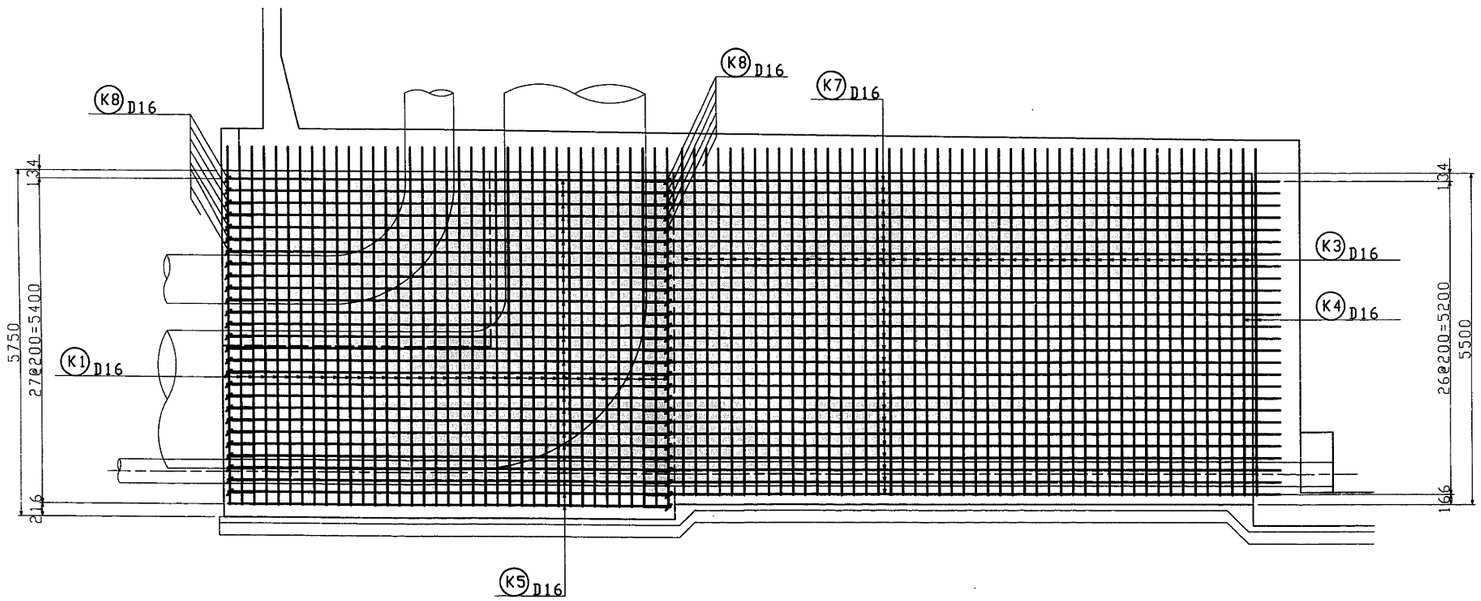
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配管保護詳細図(1／4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-216/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

配管保護詳細図（２／４）

平面図 縮尺 1:50

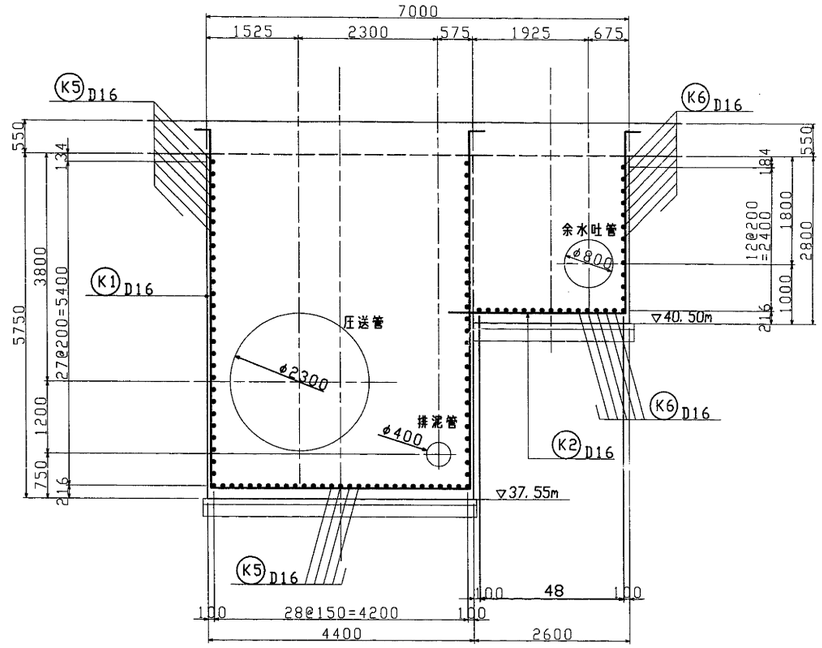


側面図 縮尺 1:50

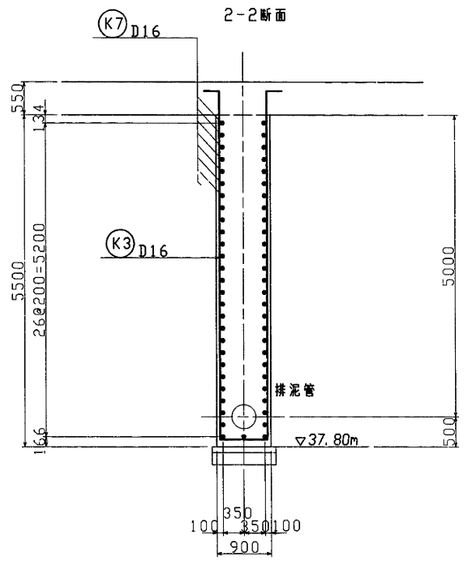


断面図 縮尺 1:50

1-1断面



2-2断面

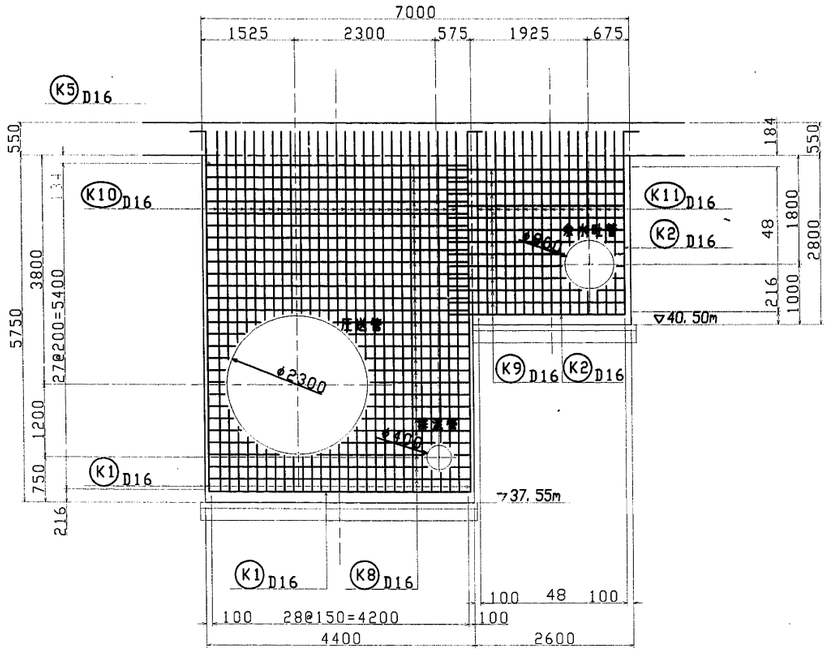


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配管保護詳細図(2／4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-217/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

配管保護詳細図（３／４）

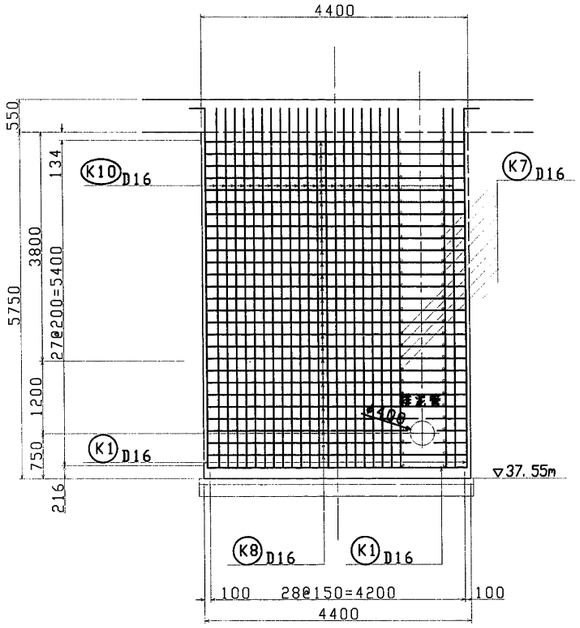
断 面 図 縮R 1:50

3-3断面



断 面 図 縮R 1:50

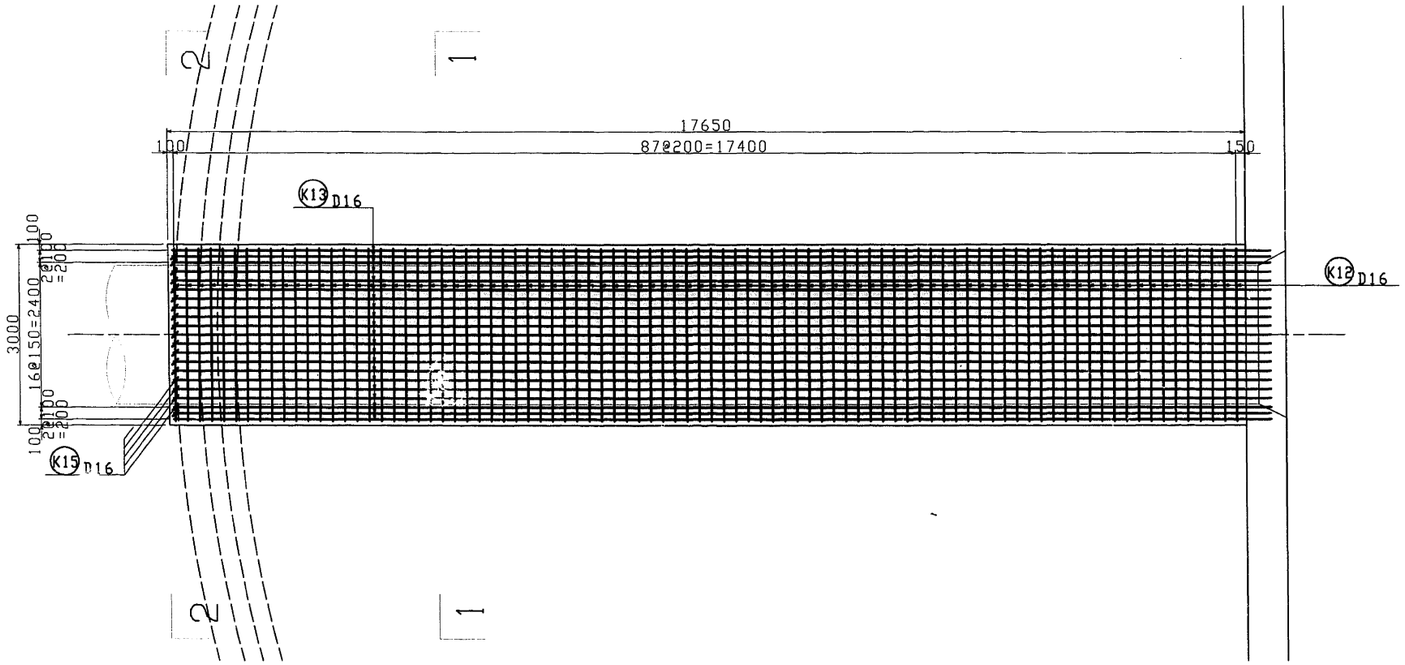
4-4断面



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配管保護詳細図(3／4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-218/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

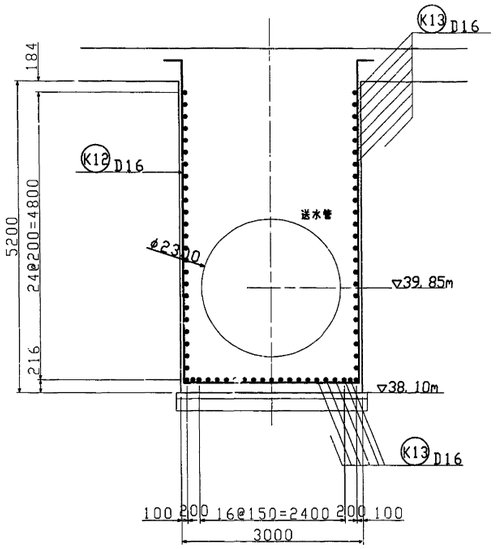
配管保護詳細図（４／４）

平面図 縮R 1:50

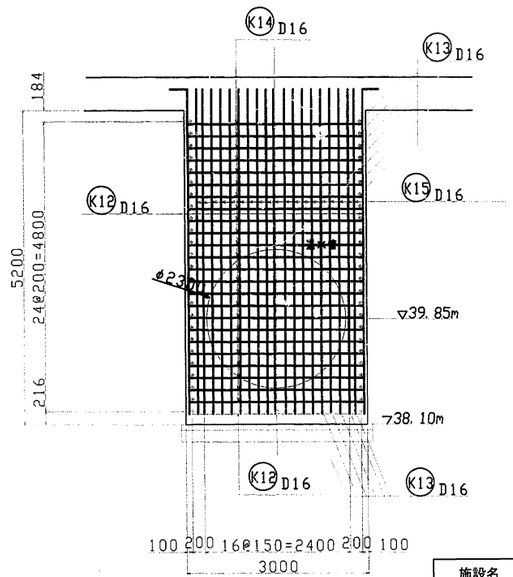


断面図 縮R 1:50

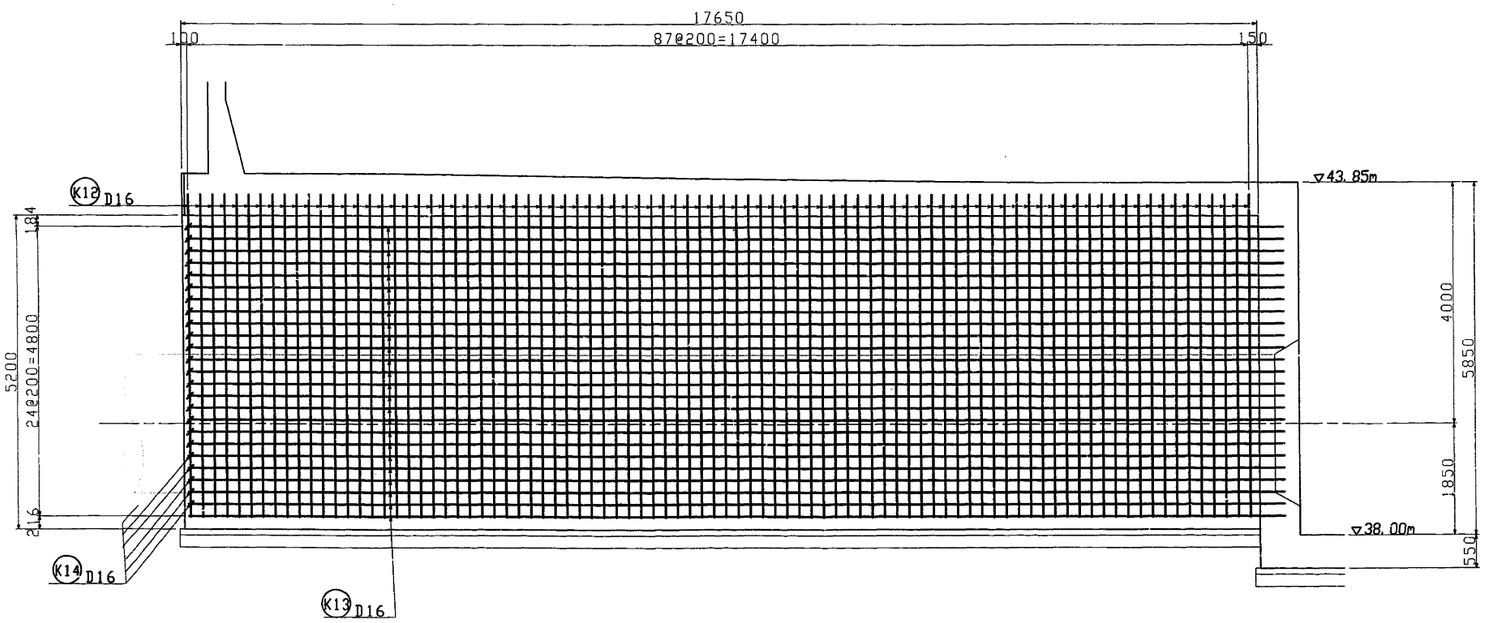
1 － 1



2 － 2



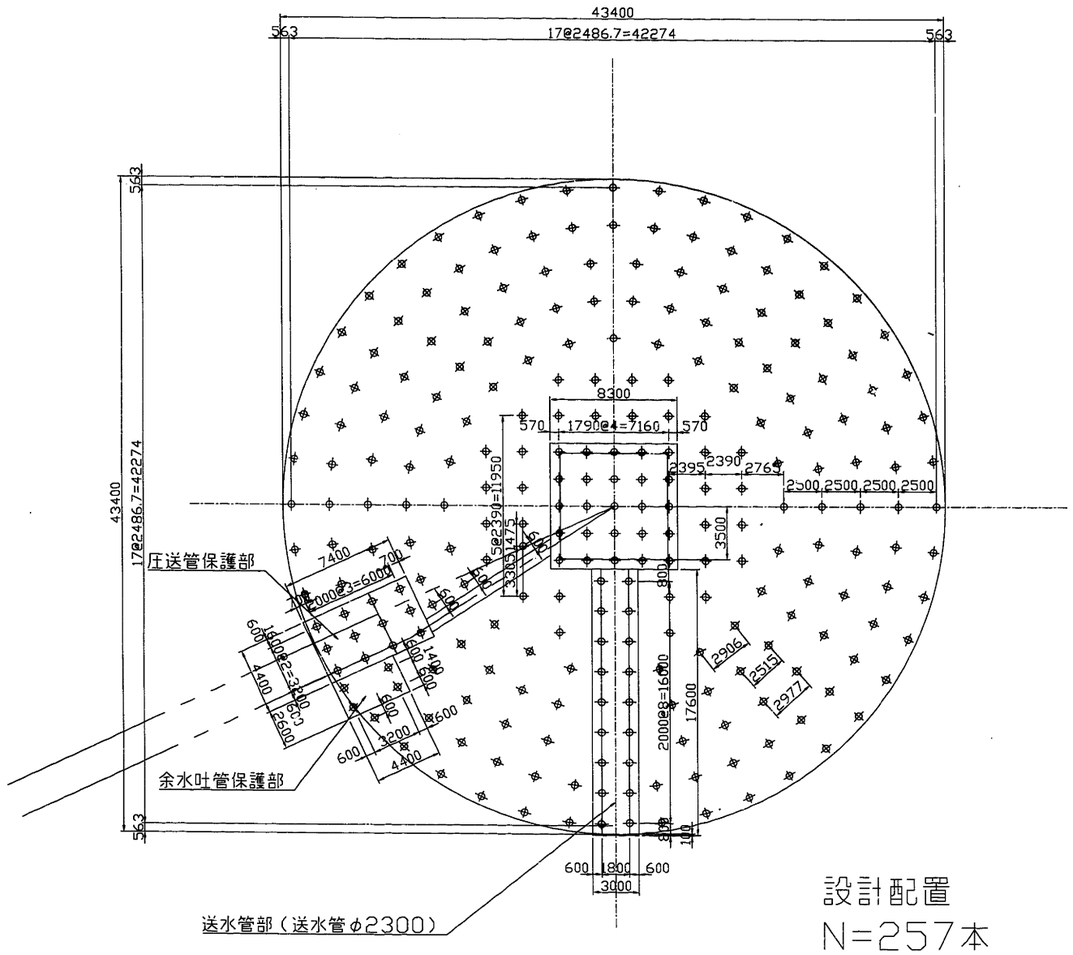
側面図 縮R 1:50



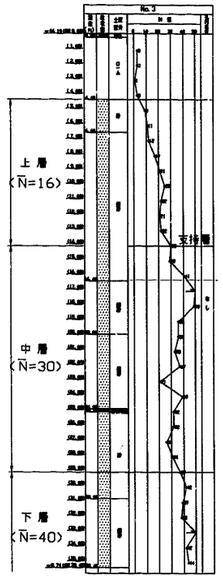
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配管保護詳細図(4／4)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-219/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

杭配置図　S=1:200

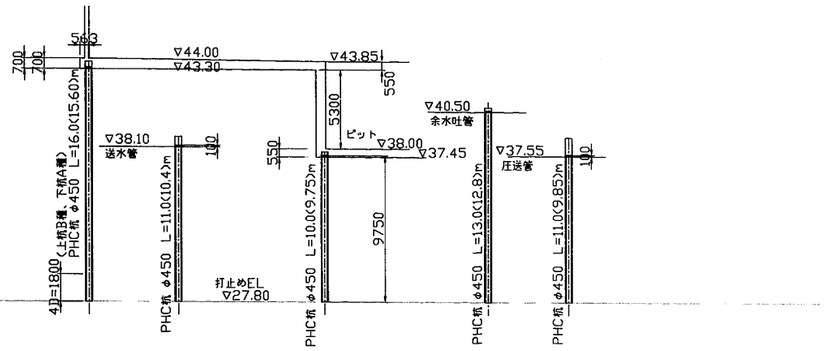
杭基礎配置図
S=1:200



設計配置
N=257本



杭打込み要領図
S=1:200



		単位	一般部	ピット部	送水管保護部	圧送管保護部	余水吐管保護部
記　号			⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
杭　種			PHC杭				
杭　径			φ450mm				
杭全長	上　杭（B種）	m	7.0				
	下　杭（A種）	m	9.0	10.0	11.0	11.0	13.0
	合　計	m	16.0	10.0	11.0	11.0	13.0
打込長	粘性土　N=2.5	m	3.51				0.71
	砂質土　N=16	m	9.75	7.41	8.06	7.51	9.75
	砂質土　N=30	m	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24
	合　計	m	15.50	9.65	10.30	9.75	12.70
カットオフ長		m	0.40	0.25	0.60	1.15	0.20
使用本数		本	198	25	18	12	4

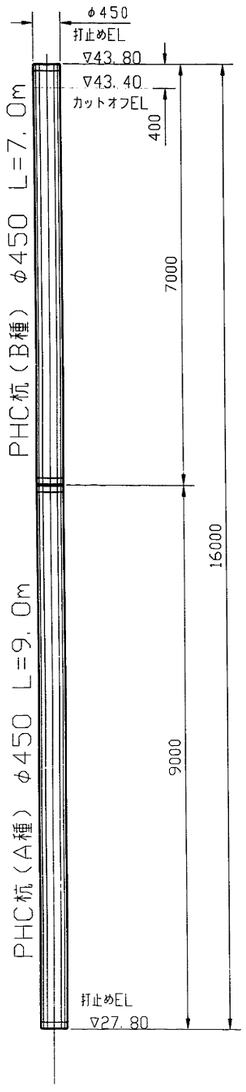
施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	杭配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-220/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

杭詳細図

杭　姿　図

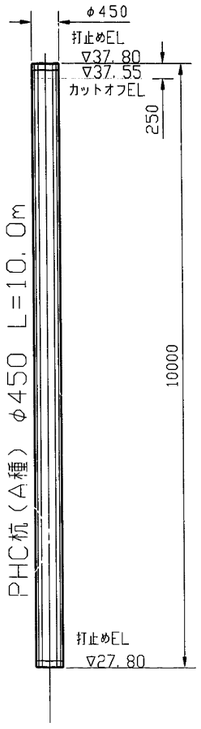
S=1:50

一般部



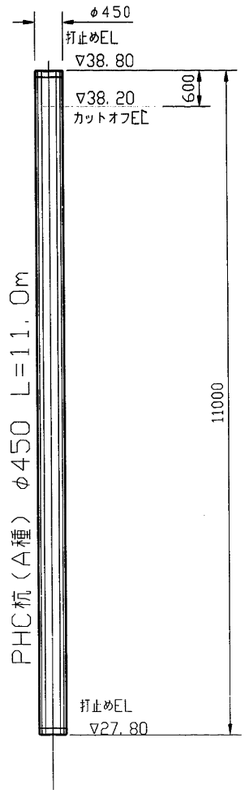
杭長　16.0m
打止めＥＬ　27.80
杭天端ＥＬ　43.80
カットオフ　43.40
打設本数　198本

ピット部



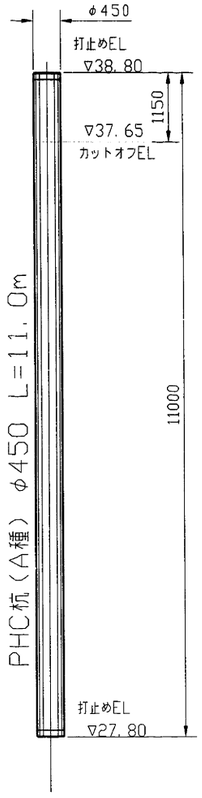
杭長　10.0m
打止めＥＬ　27.80
杭天端ＥＬ　37.80
カットオフ　37.55
打設本数　25本

送水管保護部



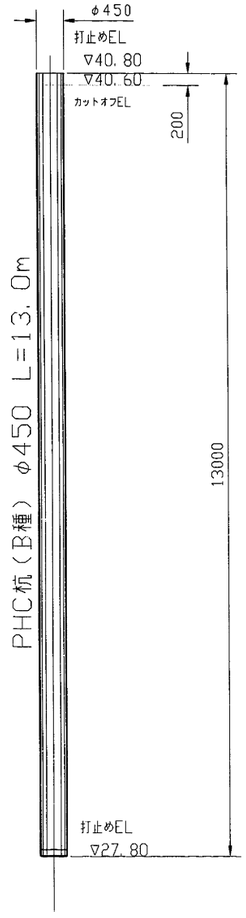
杭長　11.0m
打止めＥＬ　27.80
杭天端ＥＬ　38.80
カットオフ　38.20
打設本数　18本

圧送管保護部



杭長　11.0m
打止めＥＬ　27.80
杭天端ＥＬ　38.80
カットオフ　37.65
打設本数　12本

余水吐管保護部



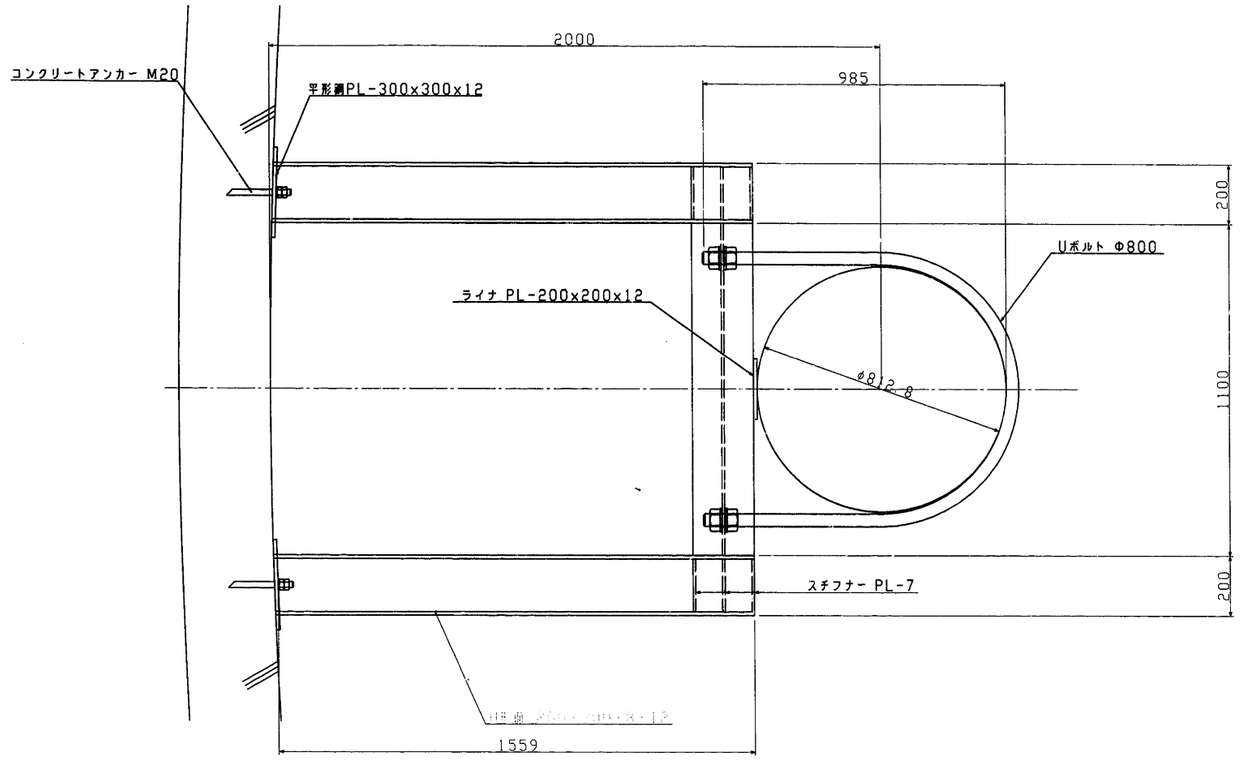
杭長　13.0m
打止めＥＬ　27.80
杭天端ＥＬ　40.80
カットオフ　40.60
打設本数　4本

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	杭詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-221/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

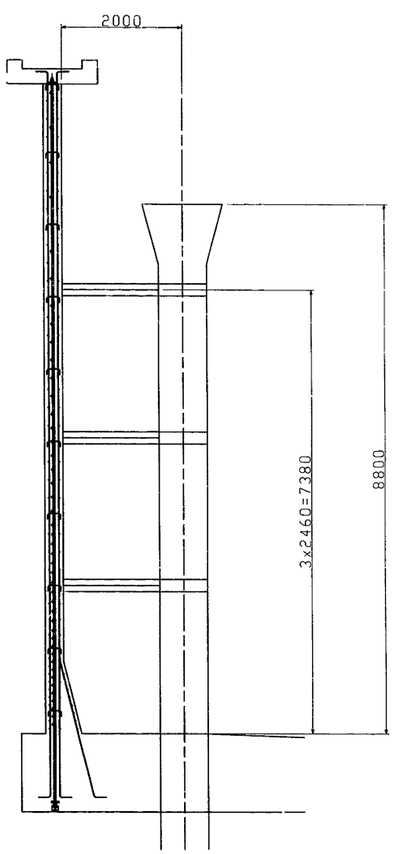
余水吐管取付金具詳細図 S=1/10

材質は特記なき限りSUS316とする

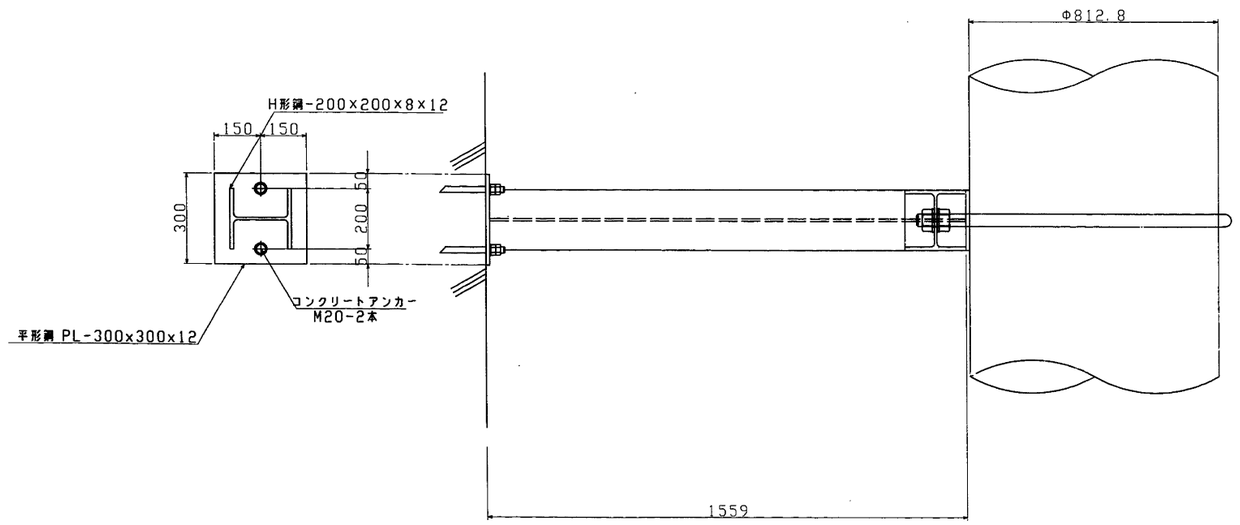
平面図



位置図



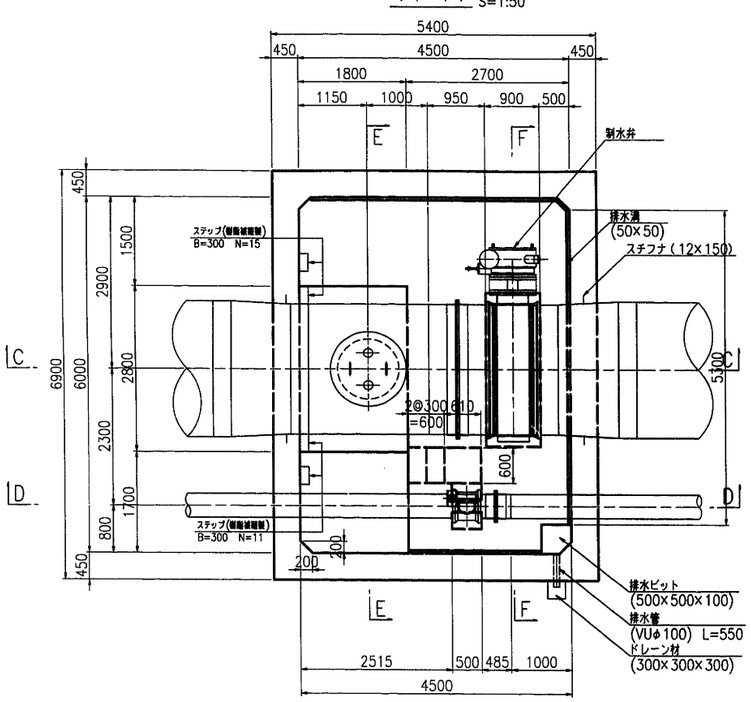
断面図



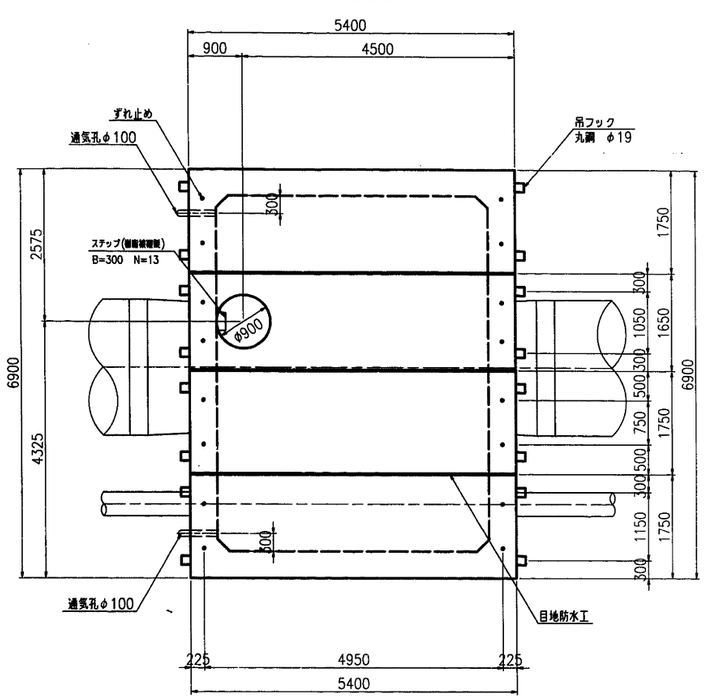
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	余水吐管取付金具詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-222/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

圧送管・排泥弁室構造図

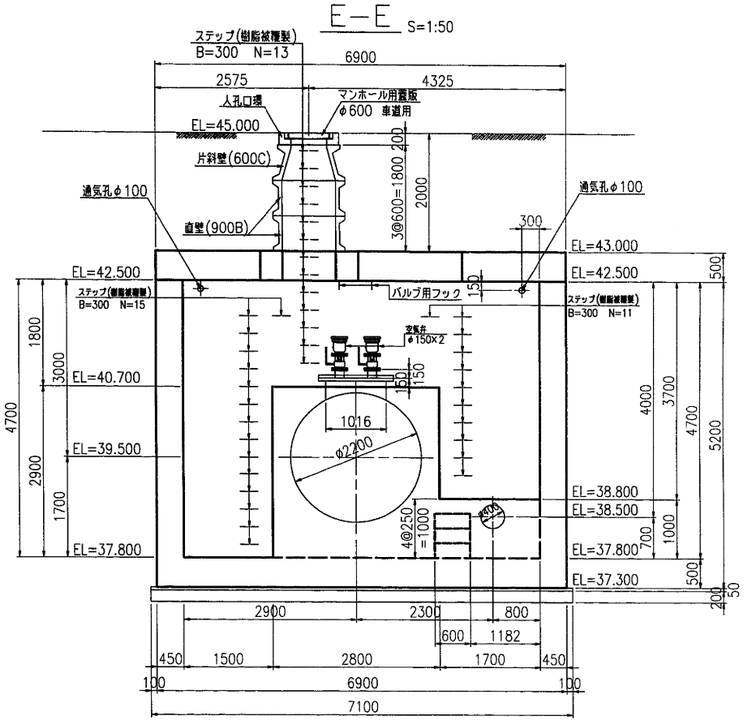
A－A S=1:50



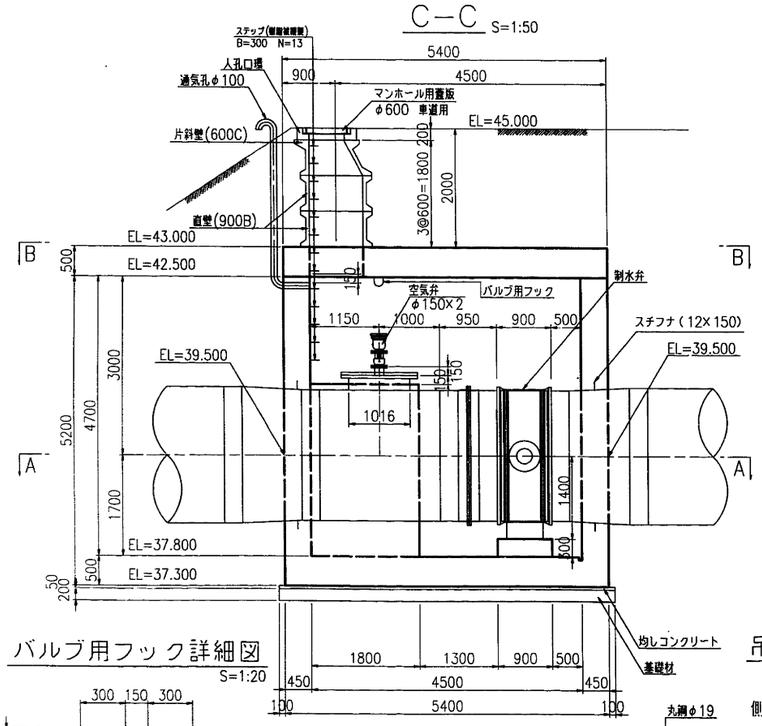
B－B S=1:50



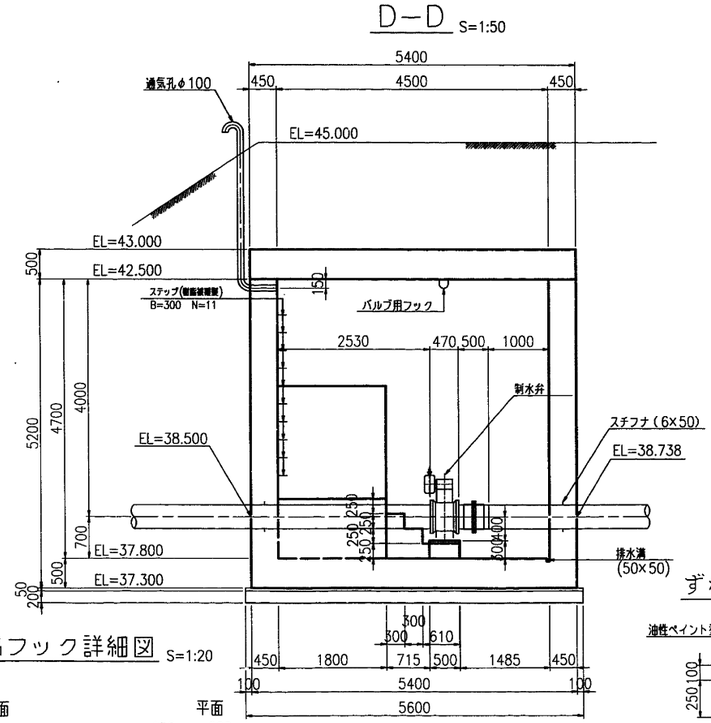
E－E S=1:50



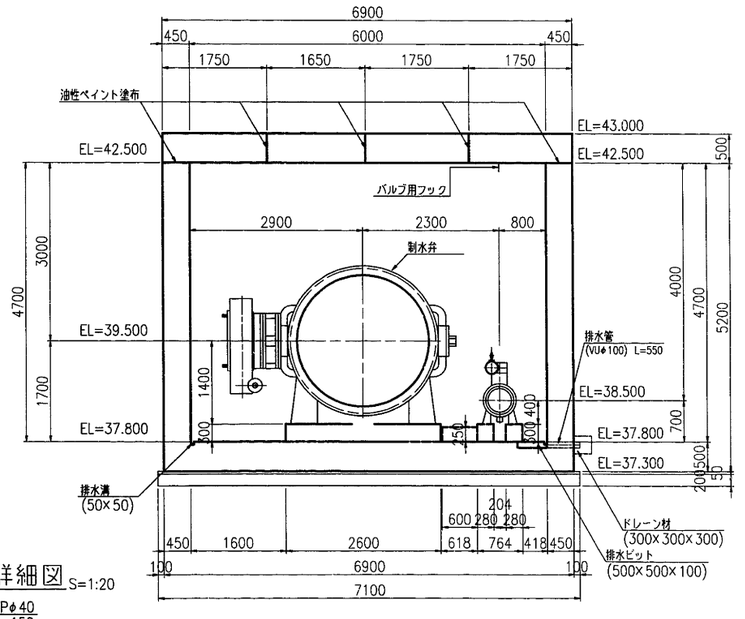
C－C S=1:50



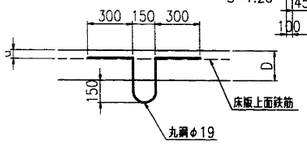
D－D S=1:50



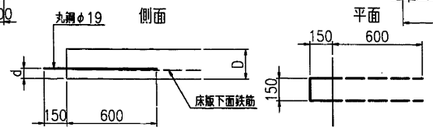
F－F S=1:50



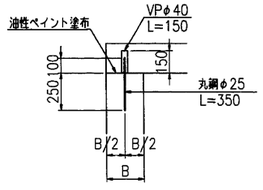
バルブ用フック詳細図 S=1:20



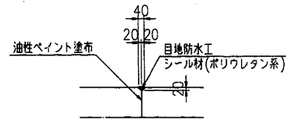
吊フック詳細図 S=1:20



ずれ止め詳細図 S=1:20



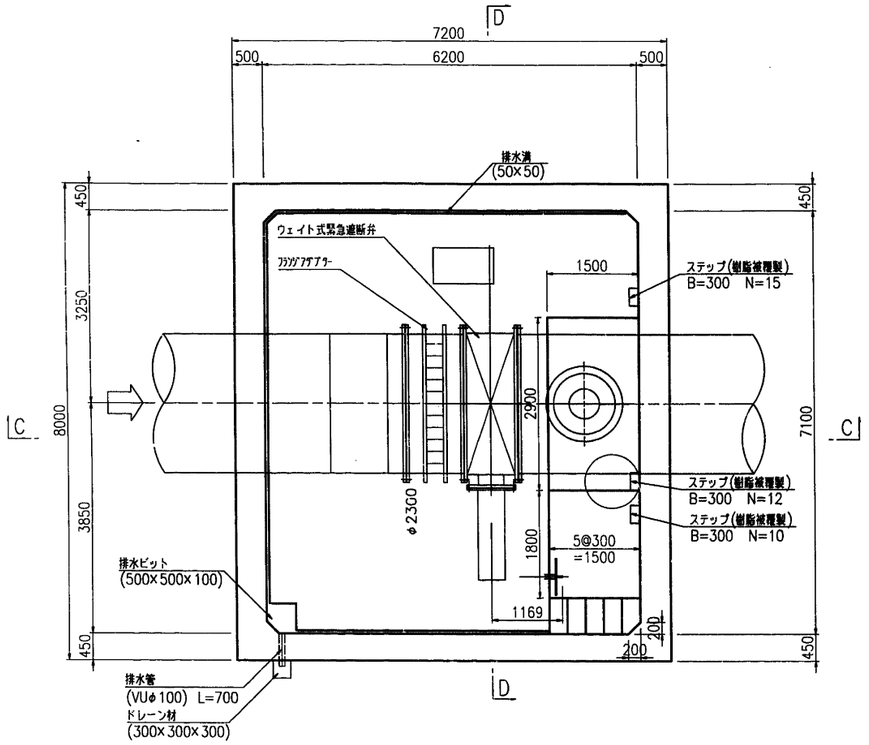
目地防水工詳細図 S=1:20



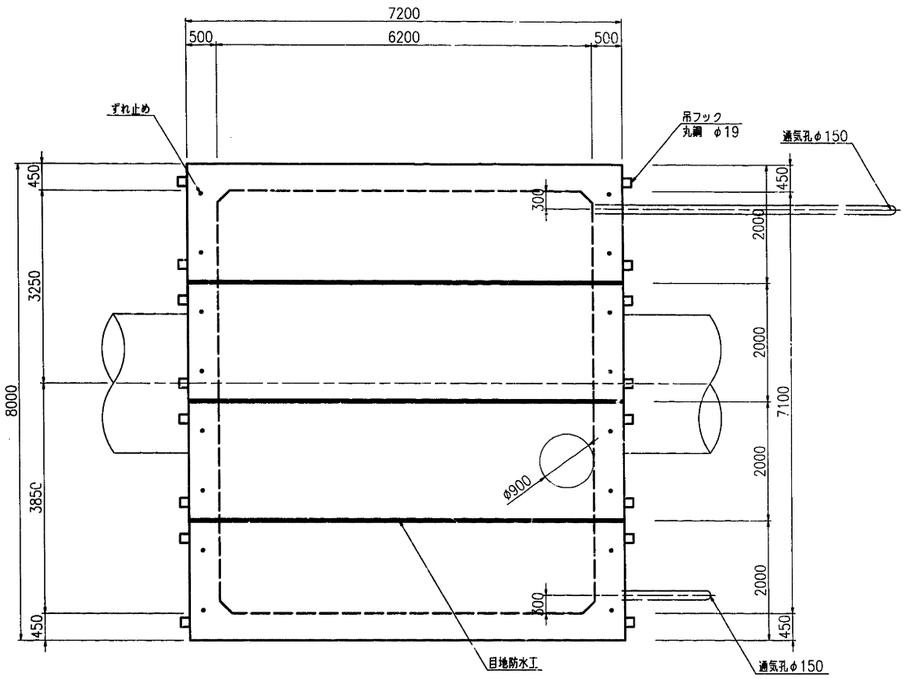
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	圧送管．排泥弁室構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-223/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

送水管制水弁室構造図

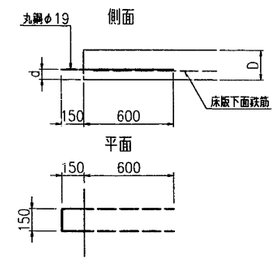
A－A S=1:50



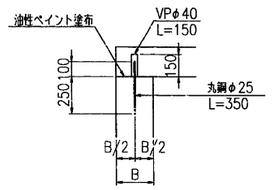
B－B S=1:50



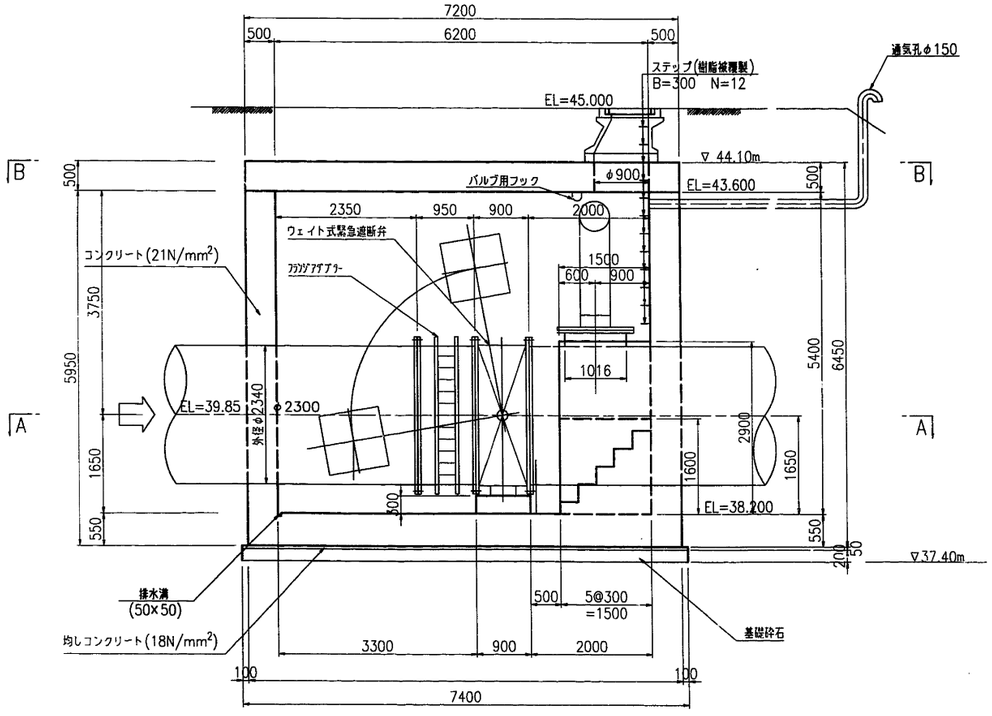
吊フック詳細図 S=1:20



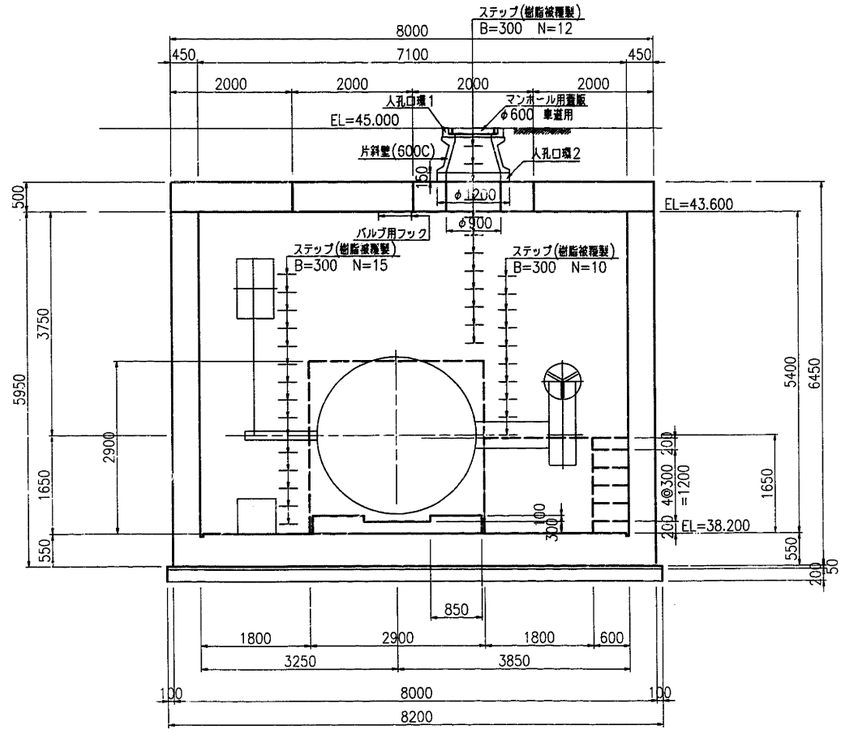
ずれ止め詳細図 S=1:20



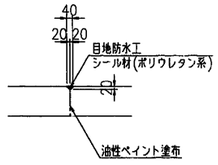
C－C S=1:50



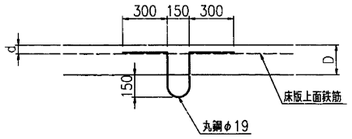
D－D S=1:50



目地防水工詳細図 S=1:20



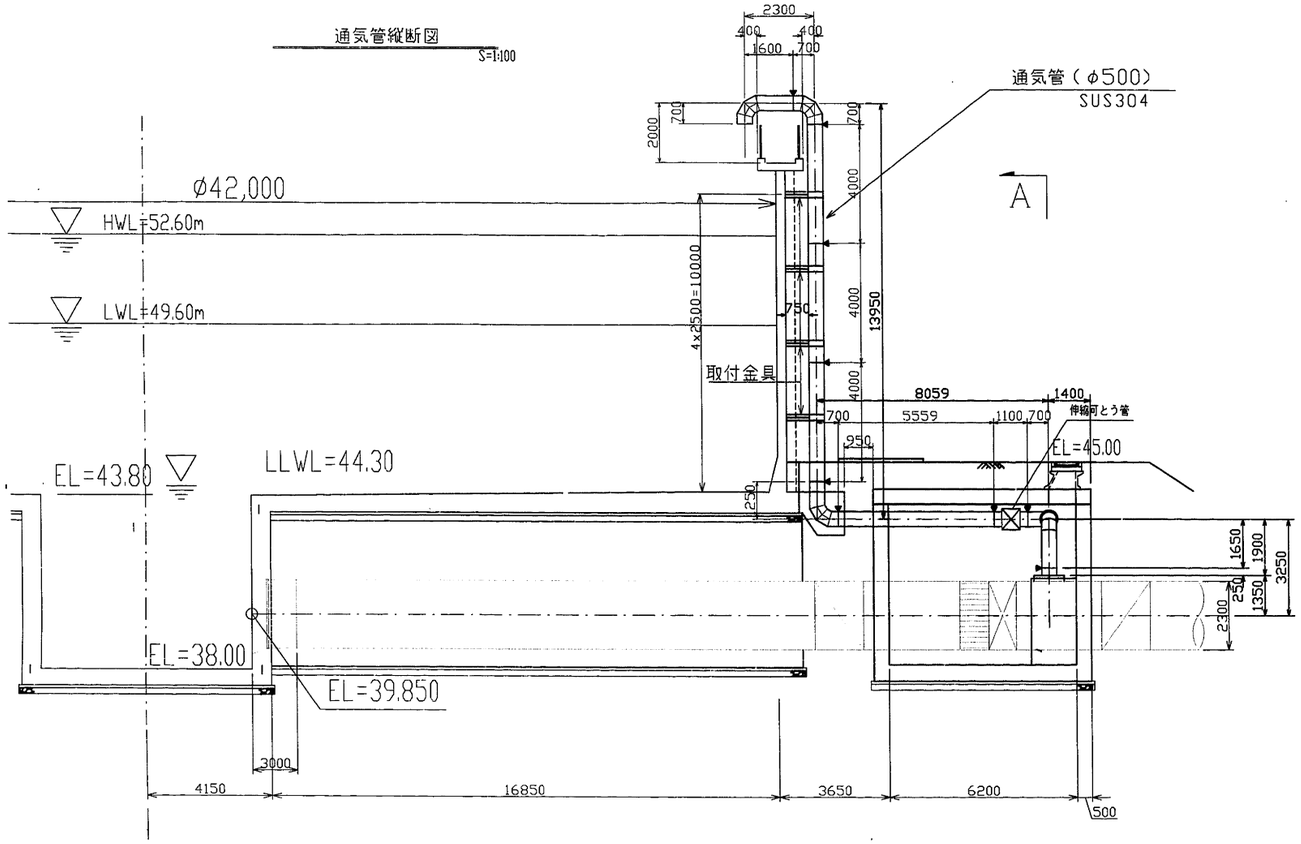
バルブ用フック詳細図 S=1:20



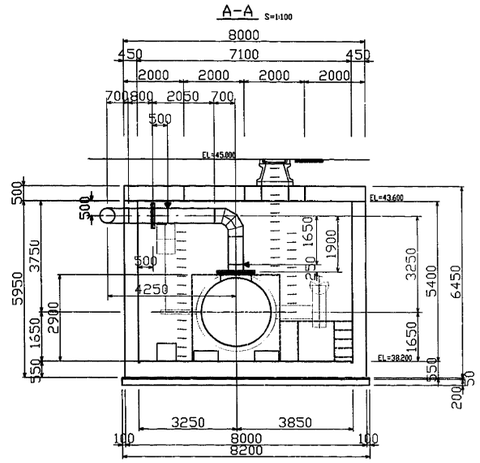
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	送水管制水弁室構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-224/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

通気管構造図

通気管縦断図 S=1:100



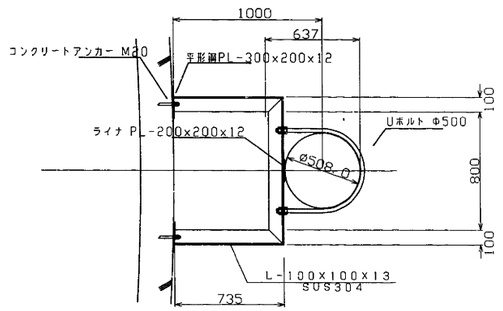
A-A S=1:100



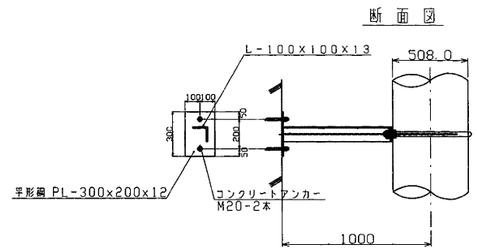
通気管取付金具詳細図 S=1/20

材質は特記なき限りSUS304とする

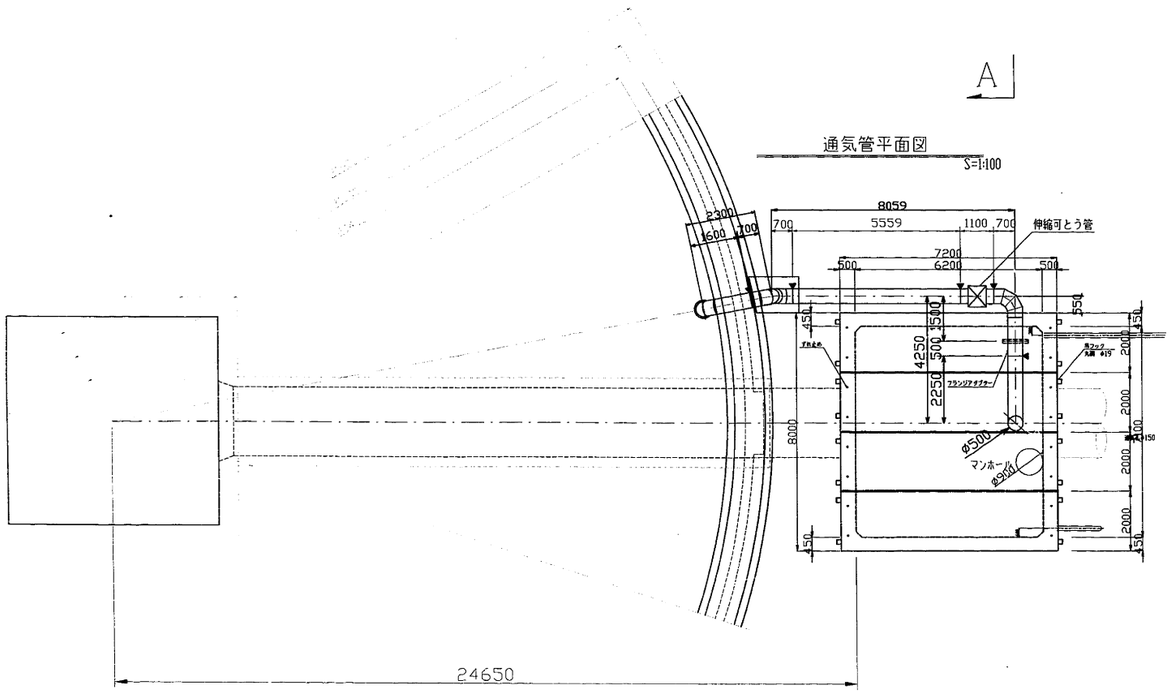
平面図



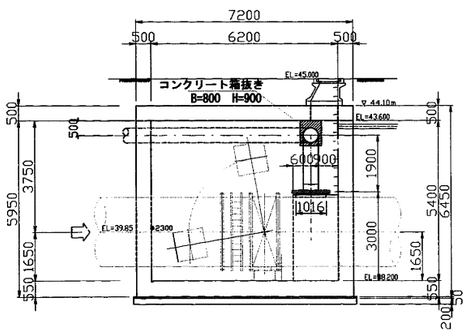
断面図



通気管平面図 S=1:100

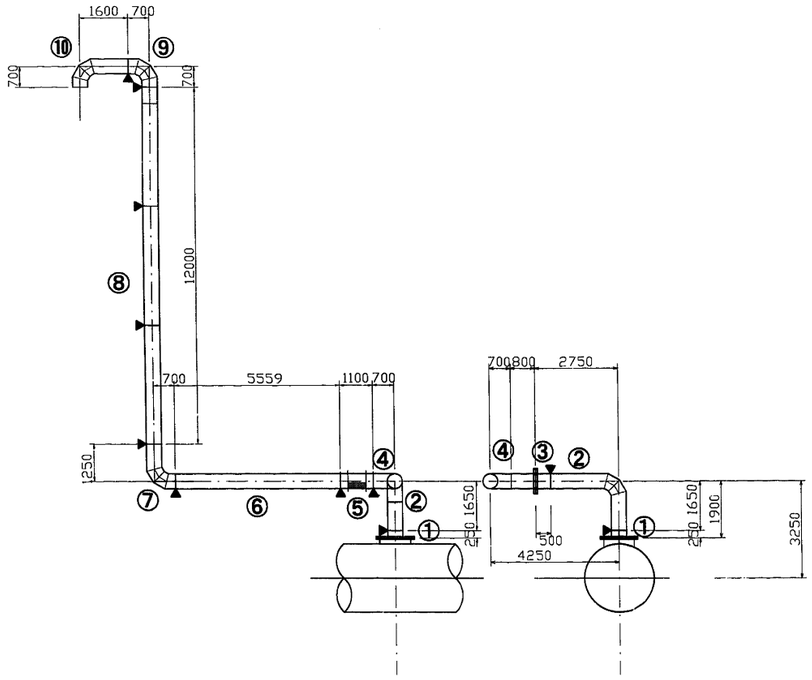


A-A 断面図

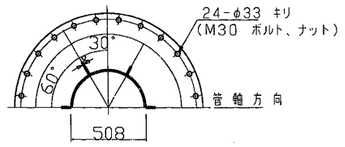


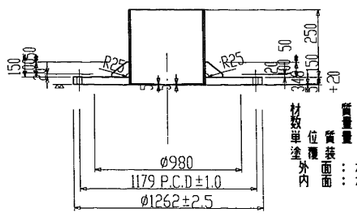
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	送水管通気管構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-225/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

通気管異形管加工図



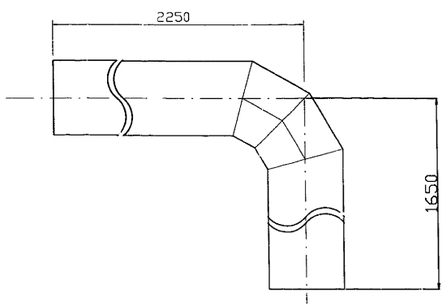
① 1000A × 500A 通気管用 フランジふた (F12) S=1/20



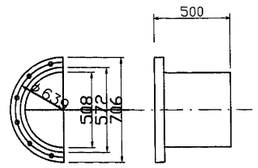


材　　質 ： SS 400 , STPY 400 t=6.4mm
数　　量 ： 1 (送水管-1)
単 位 質 量 ： 495 kg/個
塗 覆 装
外　面 ： 水道用タールエポキシ樹脂塗装 0.5 mm 以上。
内　面 ： 水道用液状エポキシ樹脂塗装 0.5 mm 以上。

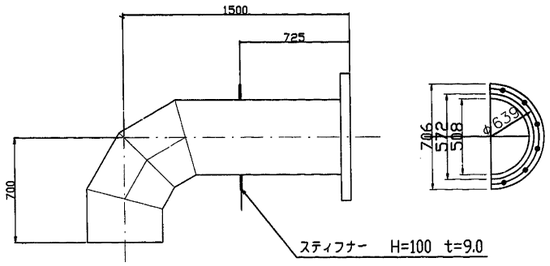
② 曲　管 500A L=1,650×2,250 SS400 STPY400 t=6.4mm S=1/20



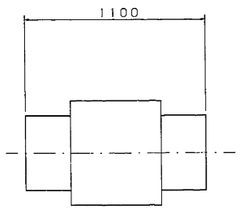
③ フランジアダプタ 500A L=500 SS400 STPY400 t=6.4mm S=1/20



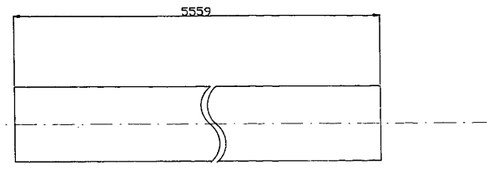
④ 片フランジ付き曲管 500A 1,500×700 SS400 STPY400 t=6.4mm S=1/20



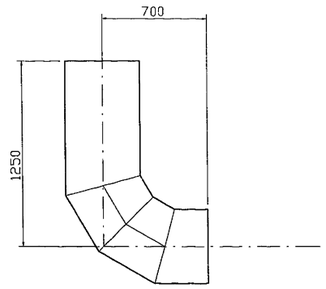
⑤ 伸縮可とう管 500A L=1,100 SS400 STPY400 t=6.4mm S=1/20



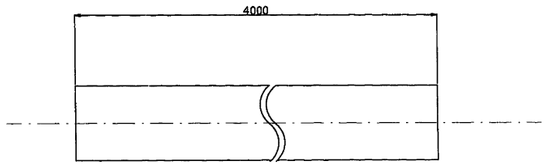
⑥ 直　管 500A L=5,559 SS400 STPY400 t=6.4mm S=1/20



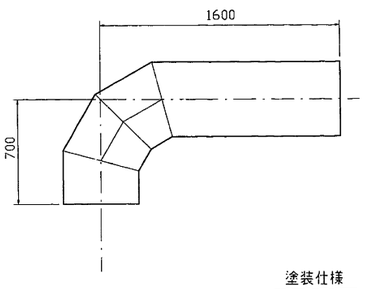
⑦ 曲管 500A 700×1,250 SUS304 t=5.0mm S=1/20



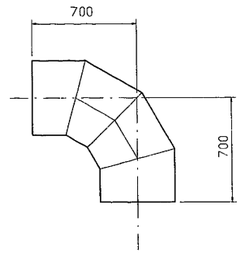
⑧ 直　管 500A L=4,000 n=3 SUS304 t=5.0mm S=1/20



⑩ 曲管 500A 1,600×700 SUS304 t=5.0mm S=1/20



⑨ 曲管 500A 700×700 SUS304 t=5.0mm S=1/20



塗装仕様

1）特記無き内外面の塗装は下表の通りとする。

管種	内外面	塗 料 仕 様	塗膜厚
直管・異形管	内　面	水道用エポキシ樹脂塗料塗装、(JWWA K135-2000「水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法」)	0.5mm以上
	外　面	プラスチック被覆 (WSP K047-1992「水道用プラスチック被覆鋼管」)	2.0mm以上

（注）コンクリートブロック巻立て部及び壁貫通部の外面塗装は原則としてプラスチック被覆する。
尚、スティフナーについても同様とする。
フランジ　外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚0．5mm以上とする。

2）現場溶接のための工場塗装除外幅は、下表の通りとする。

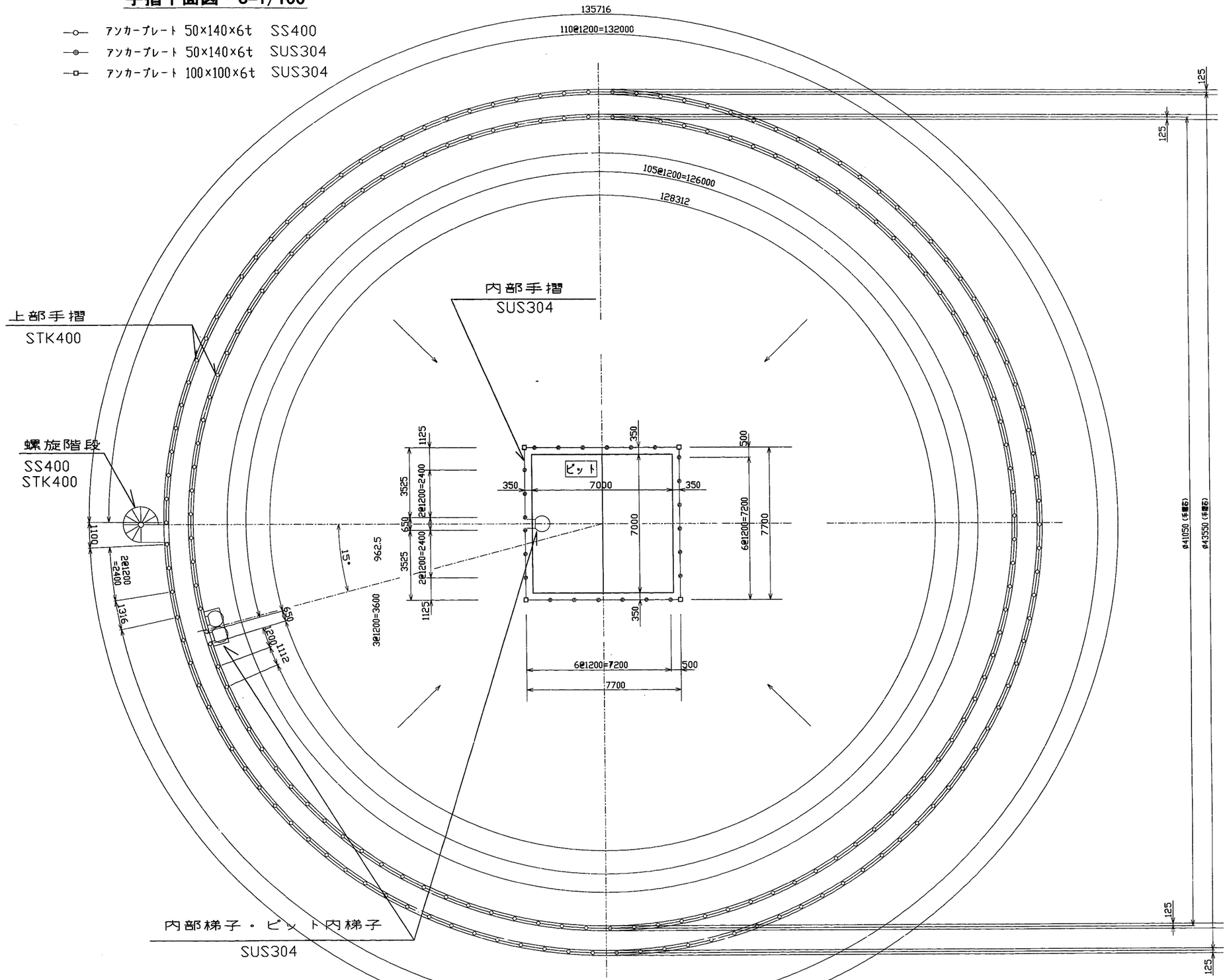
口径mm	除外幅（mm）	
	内　面	外　面
500	80（片面）	100（片面）

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	送水管通気管異形管加工図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-226/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吐水槽 手摺り配置図

手摺平面図　S=1/100

—○— アンカープレート 50×140×6t　SS400
—◎— アンカープレート 50×140×6t　SUS304
—□— アンカープレート 100×100×6t　SUS304

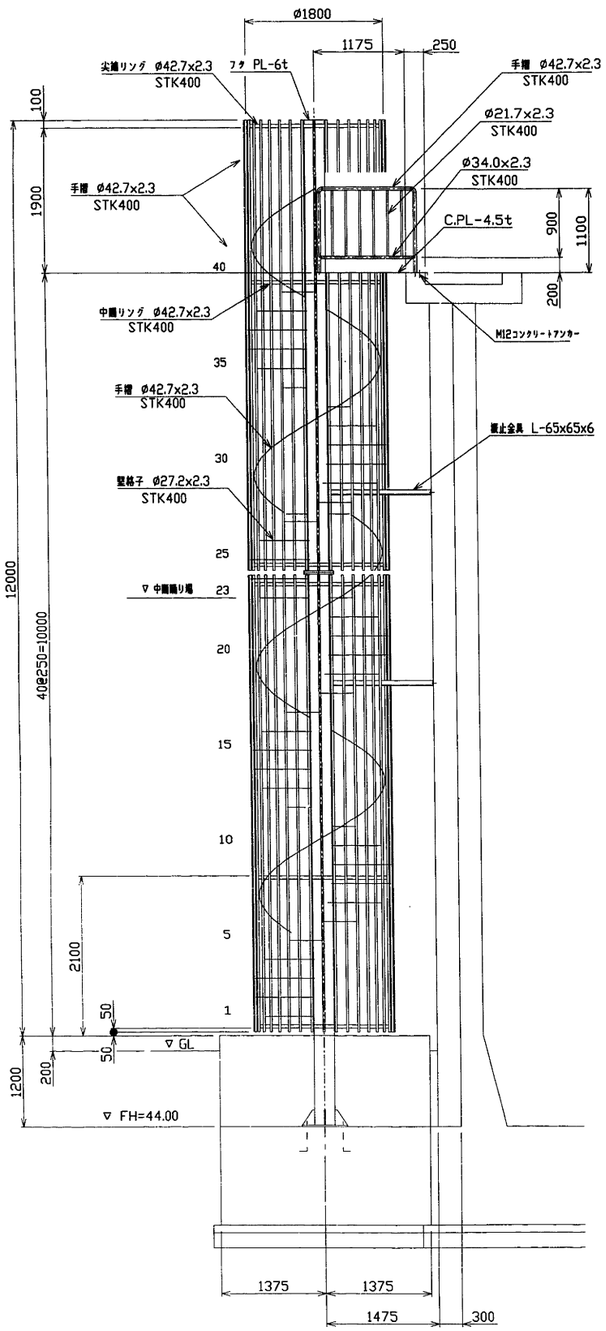


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吐水槽手摺り配置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-227/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

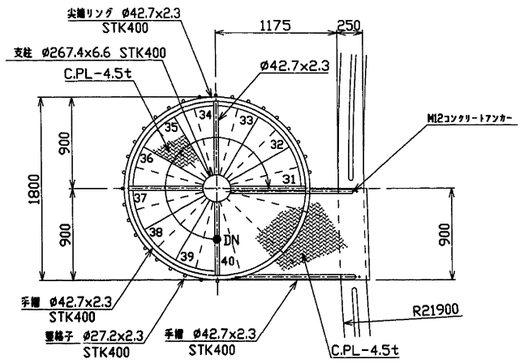
吐水槽 螺旋階段詳細図（1）

特記なき材質はすべてSS400とする。
溶融亜鉛メッキ処理(HDZ40)とする。

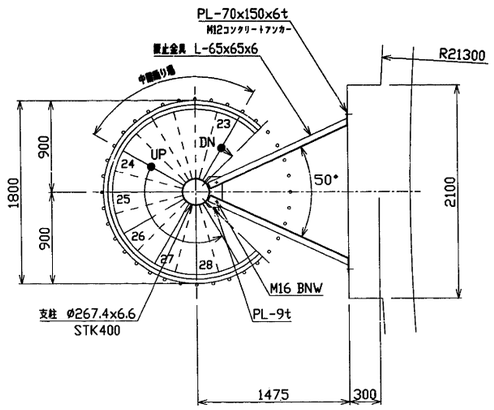
側面図　S=1/40



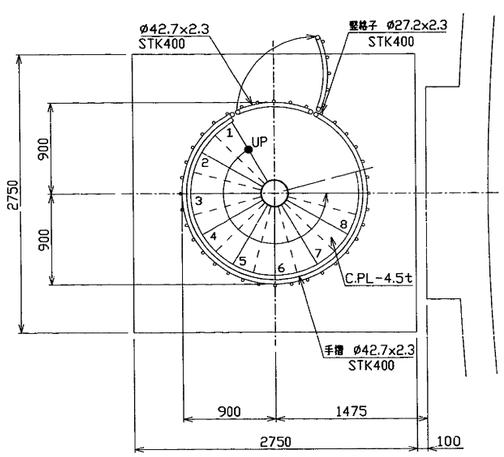
上部平面図　S=1/30



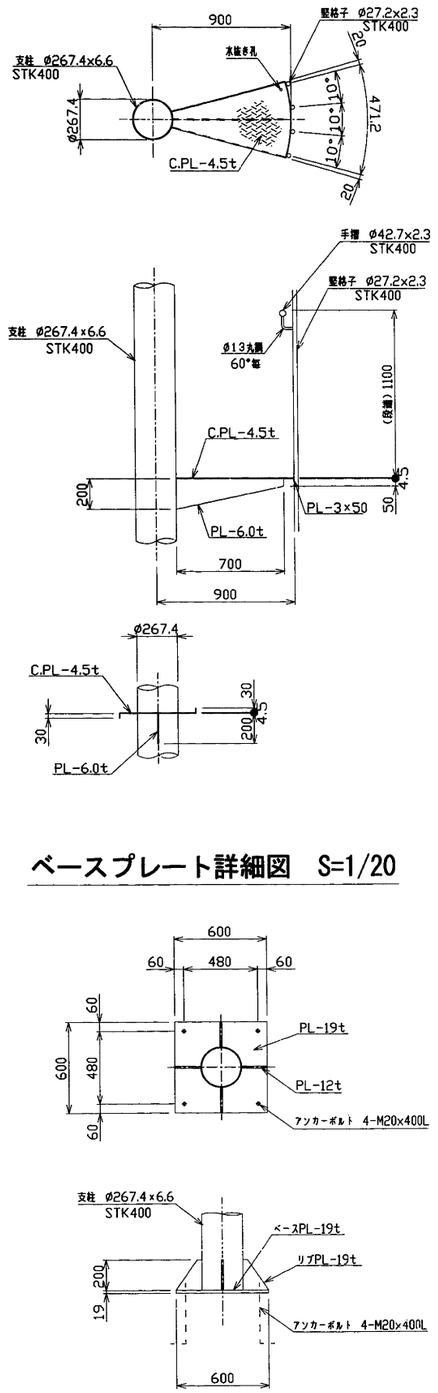
中間部平面図　S=1/30



下部平面図　S=1/30



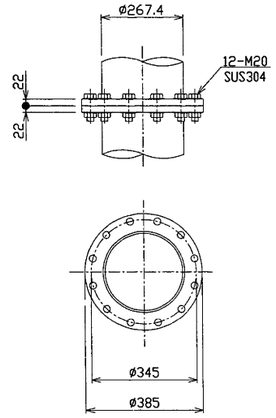
踏板詳細図　S=1/20



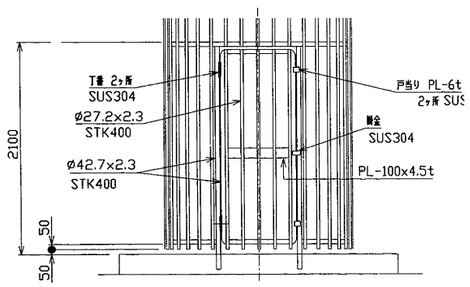
ベースプレート詳細図　S=1/20

フランジ詳細図　S=1/10

5キロフランジ



出入口正面図　S=1/30



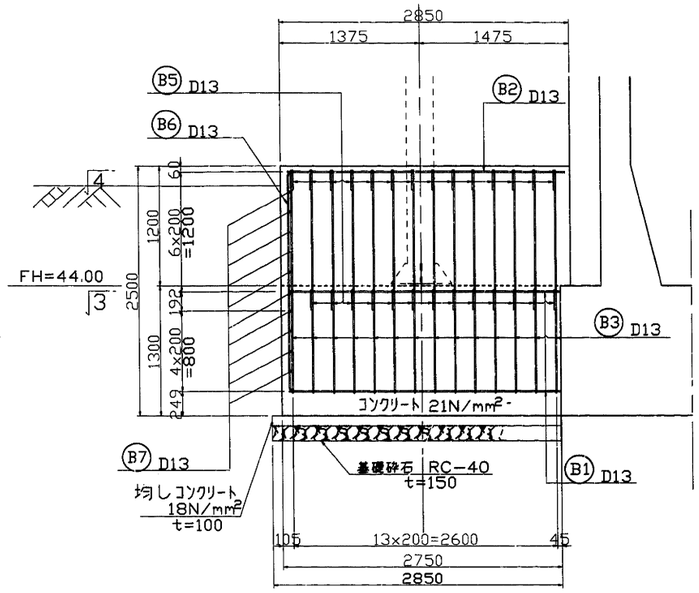
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吐水槽螺旋階段詳細図(1)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-228/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吐水槽 螺旋階段詳細図（2）

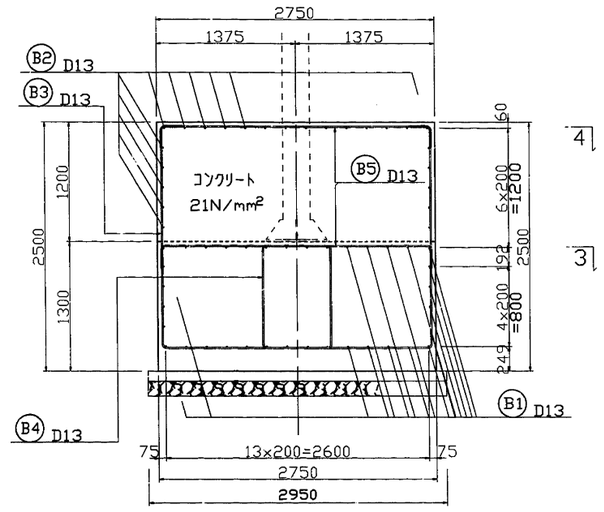
階段基礎配筋図

断 面 図 S=1:30

1 － 1

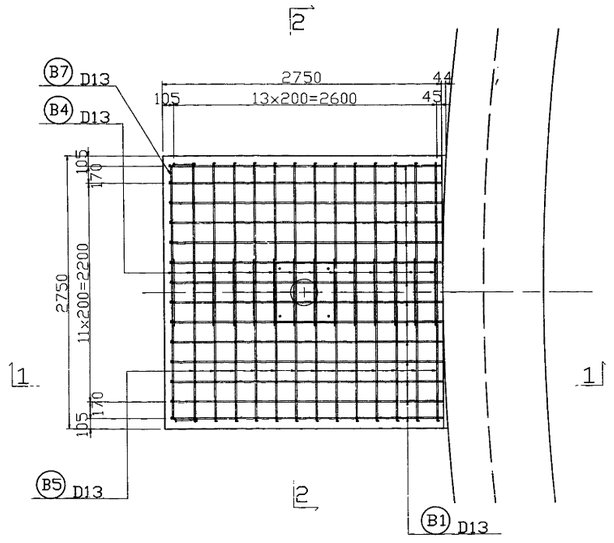


2 － 2

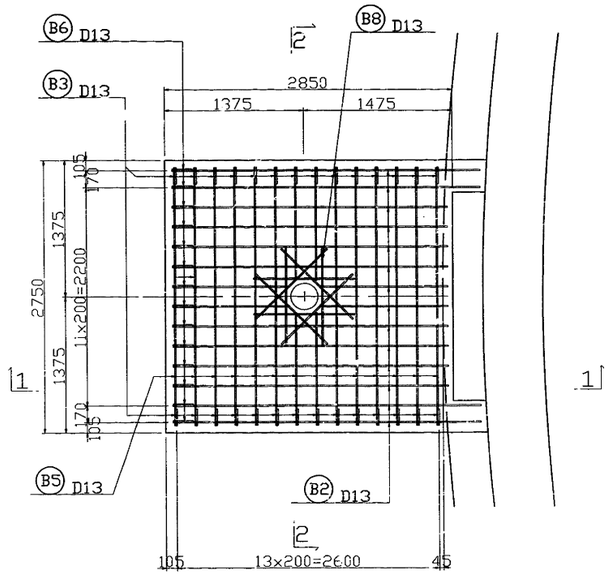


平 面 図 S=1:30

3 － 3



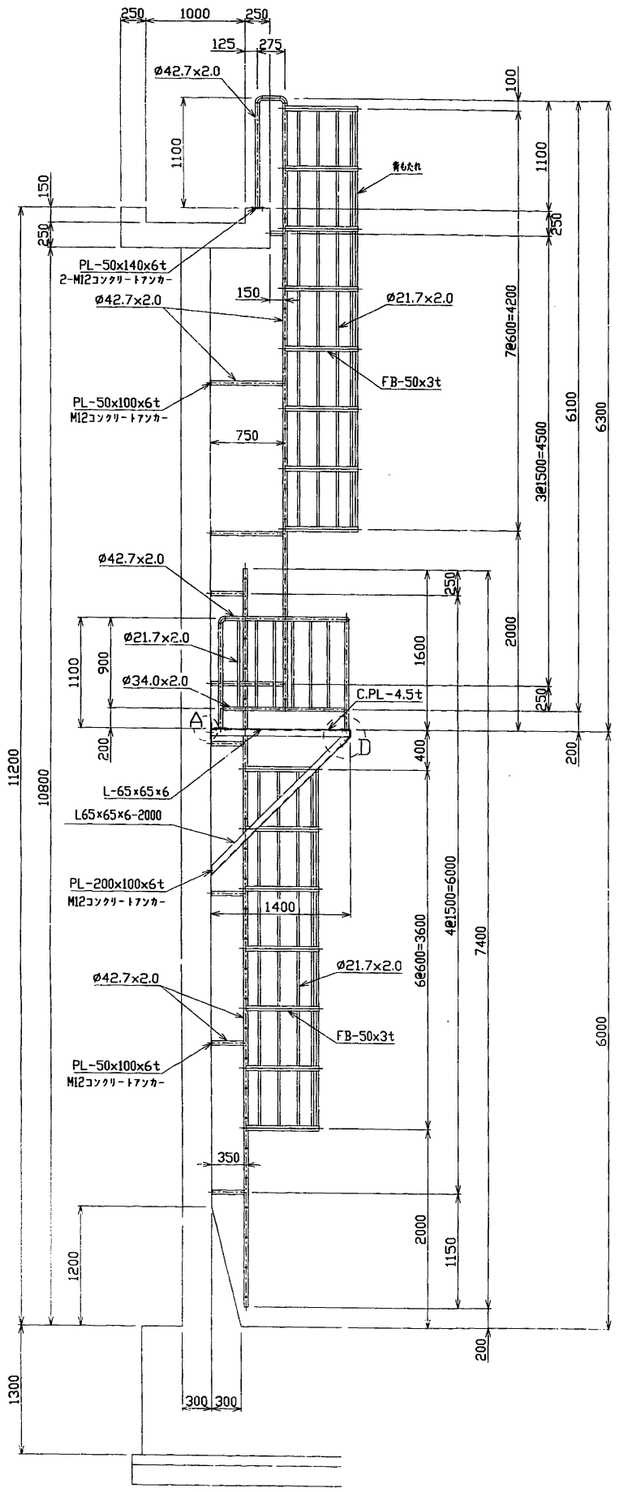
4 － 4



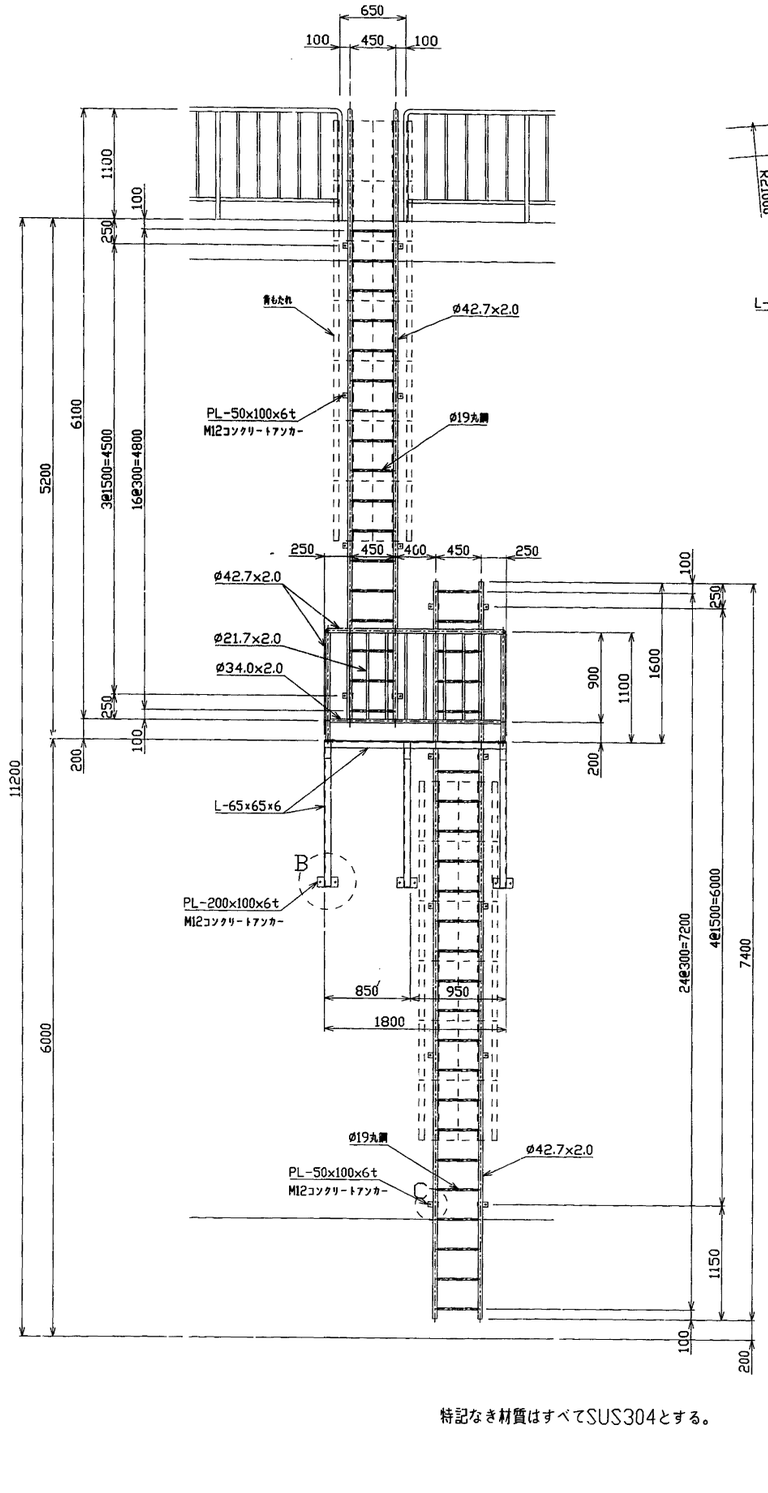
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吐水槽螺旋階段詳細図(2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-229/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

吐水槽 内部梯子詳細図

側面図 S=1/30

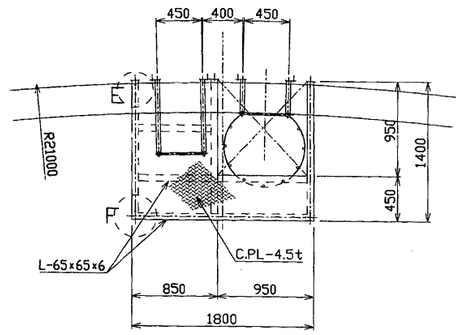


正面図 S=1/30

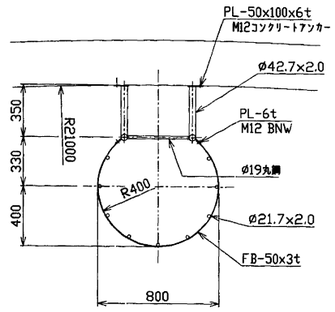


特記なき材質はすべてSUS304とする。

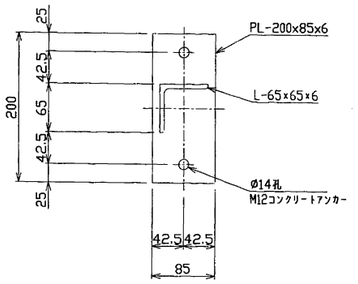
踊り場平面図 S=1/30



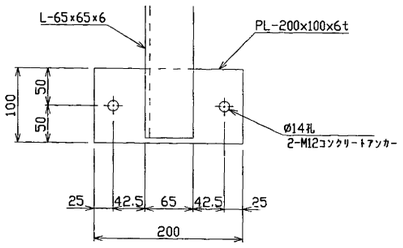
背もたれ詳細図 S=1/20



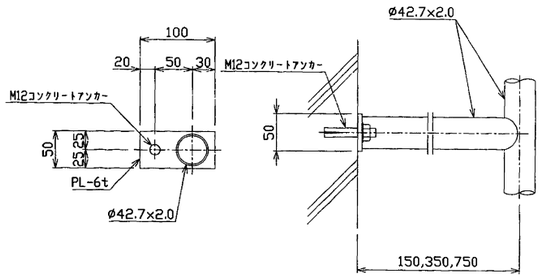
A部詳細図 S=1/4



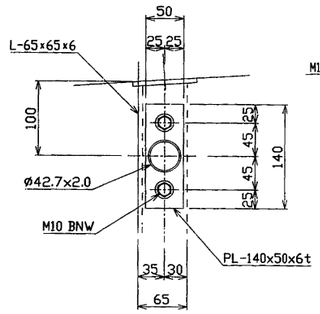
B部詳細図 S=1/4



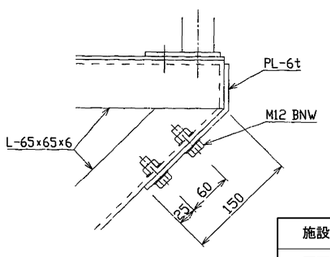
C部詳細図 S=1/4



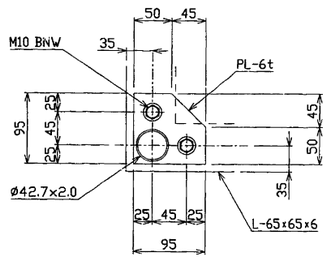
E部詳細図 S=1/4



D部詳細図 S=1/4



F部詳細図 S=1/4



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吐水槽内部梯子詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-230/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

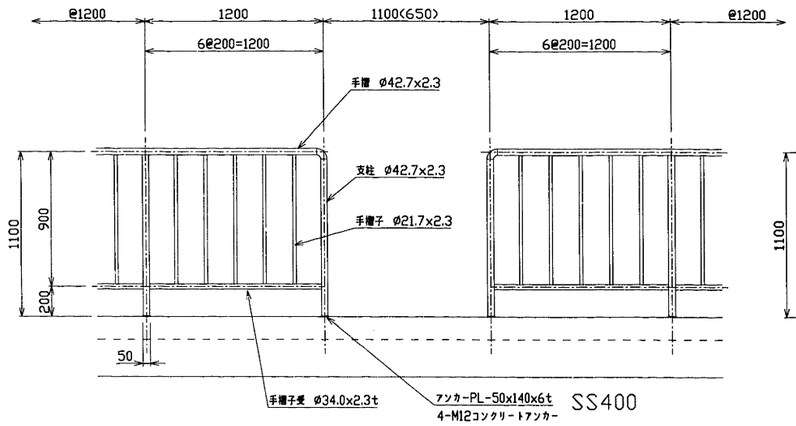
吐水槽 手摺り・ピット梯子詳細図

手摺詳細図

STK400
溶融亜鉛メッキ処理(HDZ40)

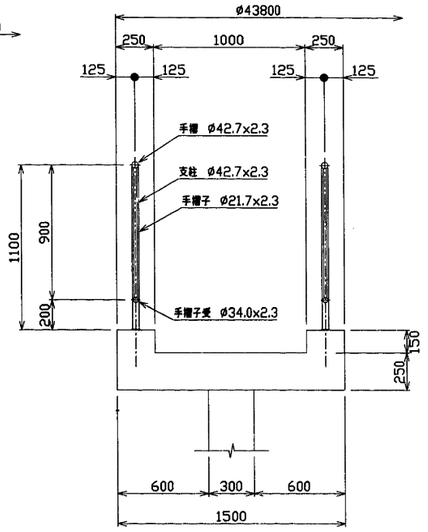
上部手摺標準図　S=1/20

STK400



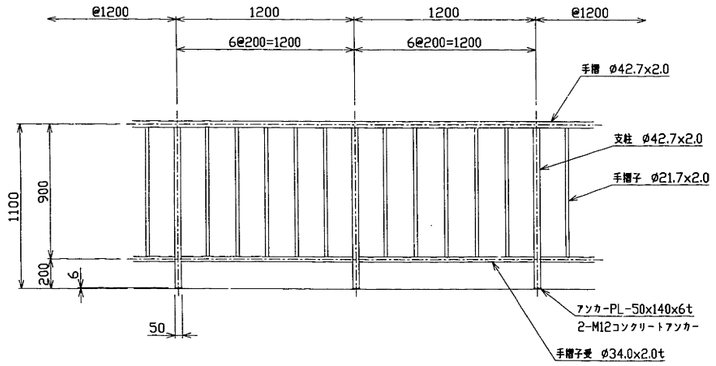
断面図　S=1/20

STK400

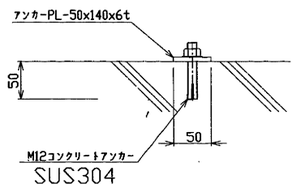


ピット部手摺標準図　S=1/20

SUS304



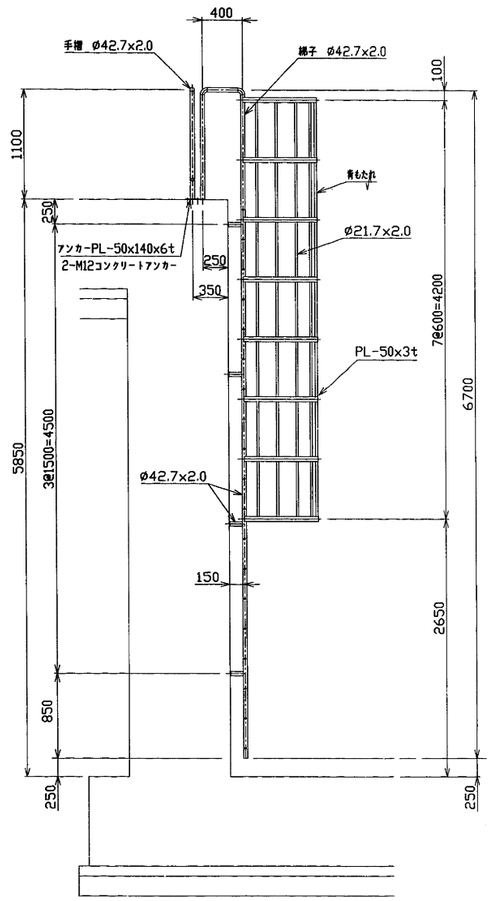
コンクリートアンカー詳細図　S=1/4



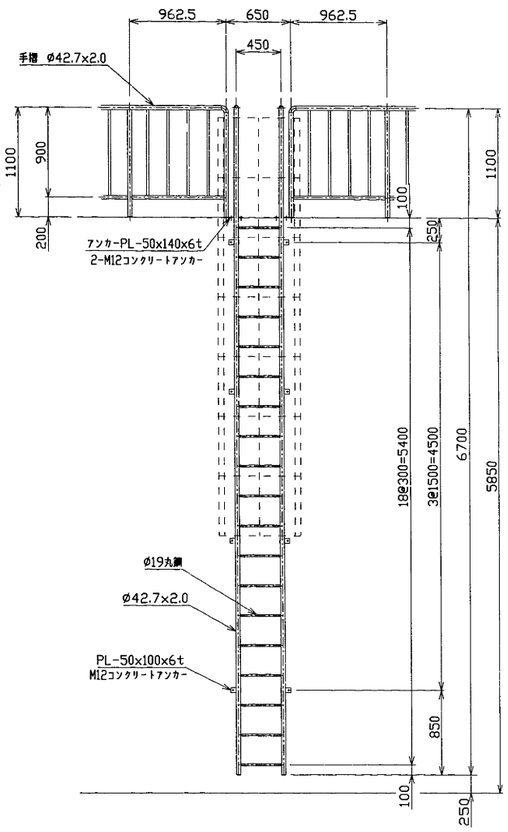
ピット梯子詳細図

SUS304

側面図　S=1/30

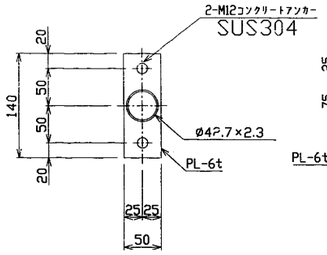


正面図　S=1/30



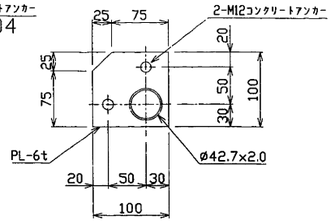
上部手摺部

SS400



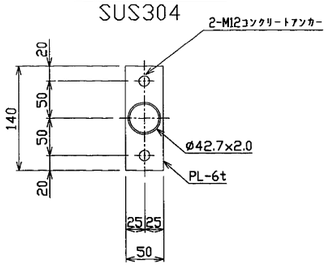
ピット部手摺コーナー部

SUS304



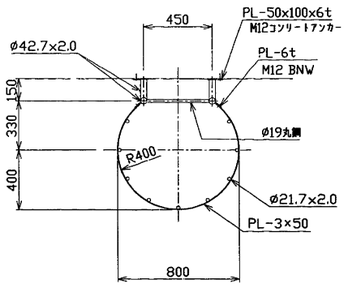
ピット部手摺 通し部

SUS304



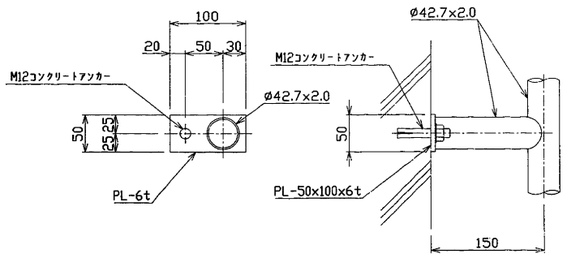
背もたれ詳細図　S=1/20

SUS304

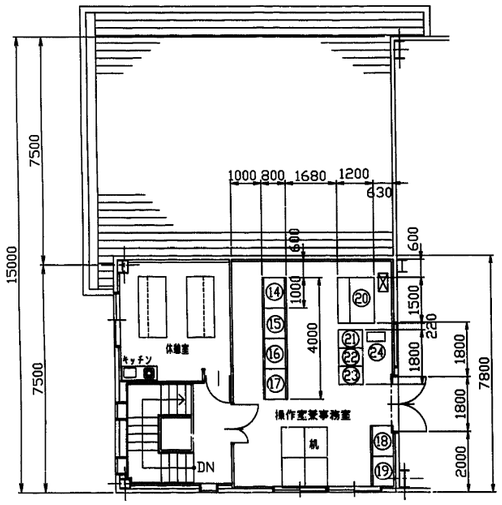


アンカープレート詳細図　S=1/4

SUS304

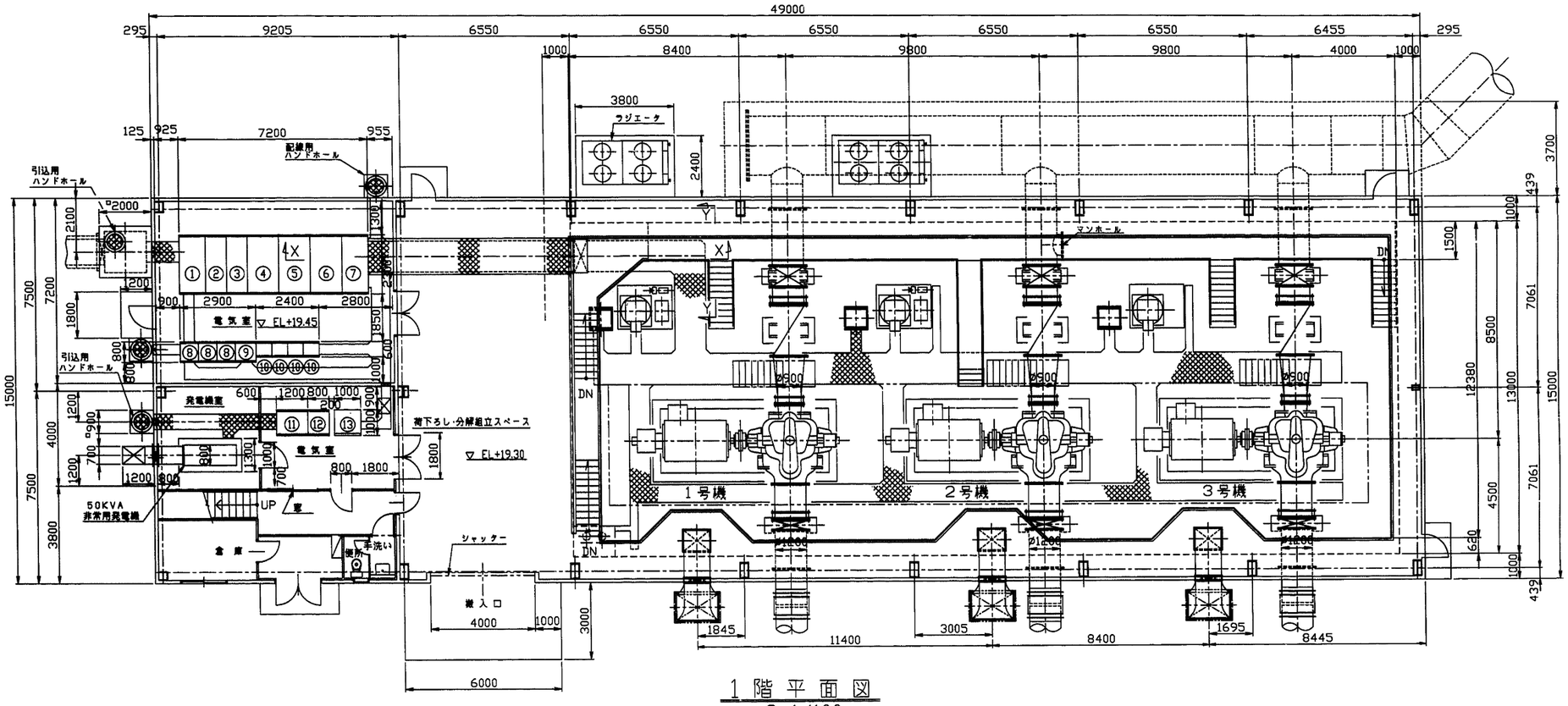


施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	吐水槽手摺り．ピット梯子詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-231/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

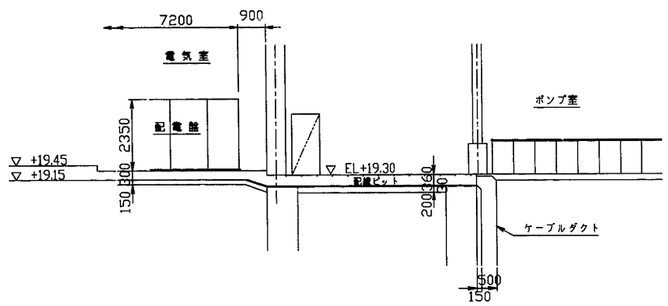


2 階 平 面 図
S=1/100

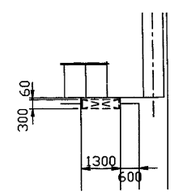
	名 称		名 称
1	3ｋＶ 引込盤	14	自動制御盤
2	No.1,2電動機盤	15	伝送装置盤
3	No.3電動機盤	16	ＣＣＴＶ制御盤
4	No.1コンデンサ盤	17	ＴＭ／ＴＣ親局
5	No.2コンデンサ盤	18	入出力処理装置盤
6	No.3コンデンサ盤	19	入出力中継装置
7	低圧動力変圧器盤	20	監視操作卓
8	補助継電器盤	21	運転支援装置
9	計装盤	22	分水工監視卓
10	コントロールセンタ	23	ＣＣＴＶ操作卓
11	低圧電源切換盤	24	ＵＰＳ装置
12	低圧動力盤		
13	制御用直流電源盤		



1 階 平 面 図
S=1/100

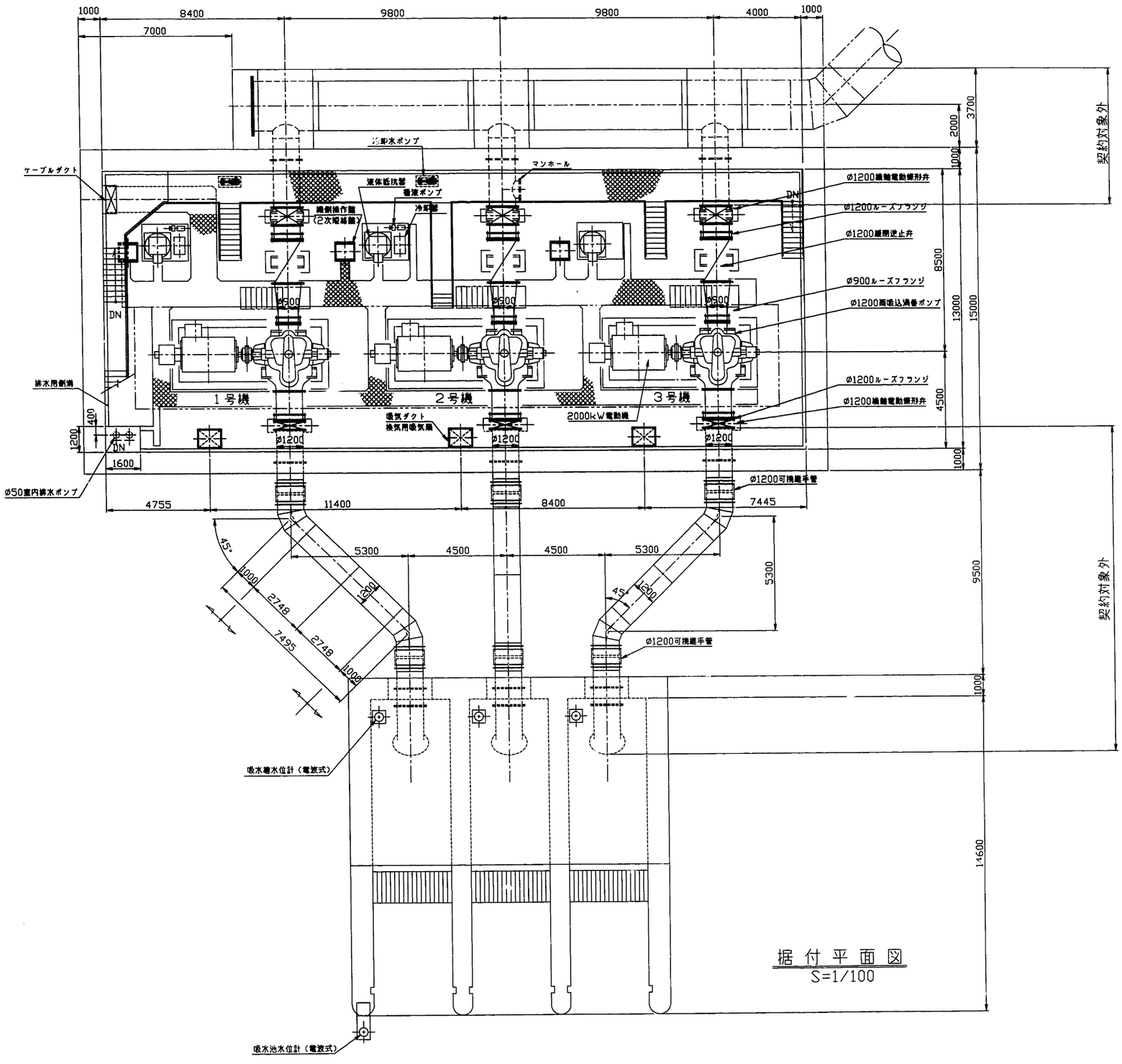


X～X 矢 視 図
S=1/100



Y～Y 矢 視 図
S=1/100

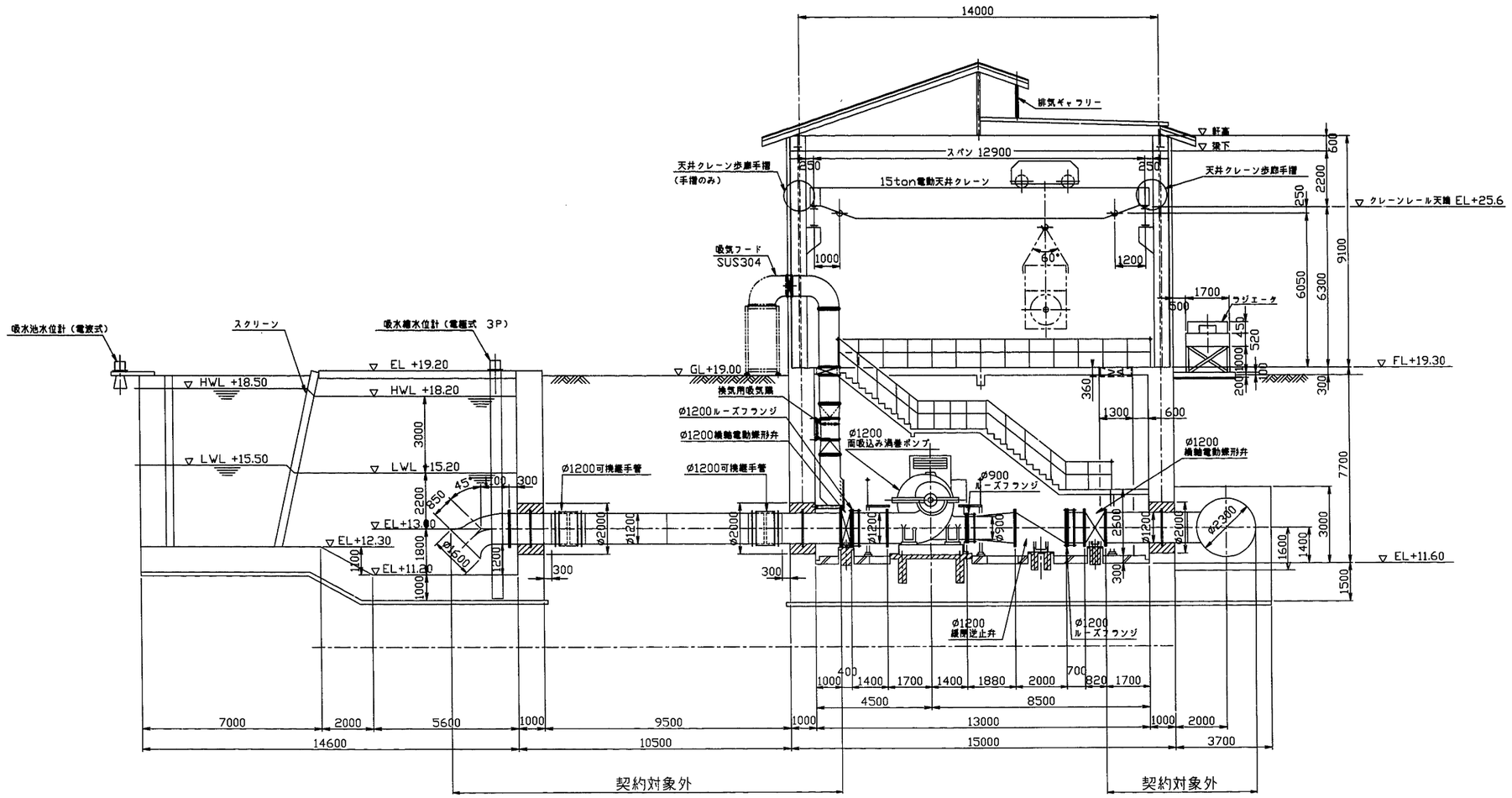
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	1・2階平面図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-232/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所



据付平面図

S=1/100

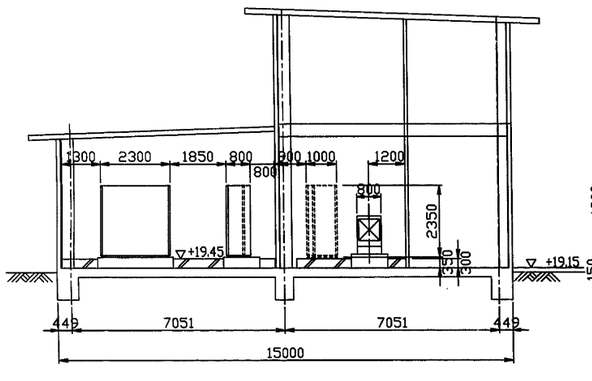
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	ポンプ室据付平面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-233/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



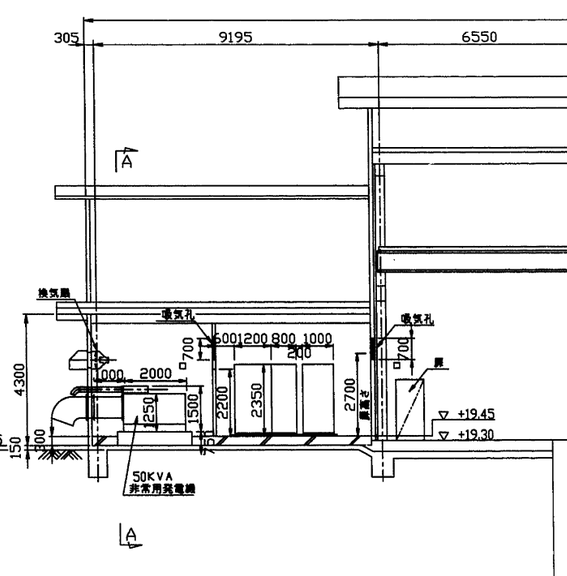
据付断面図（1／2）

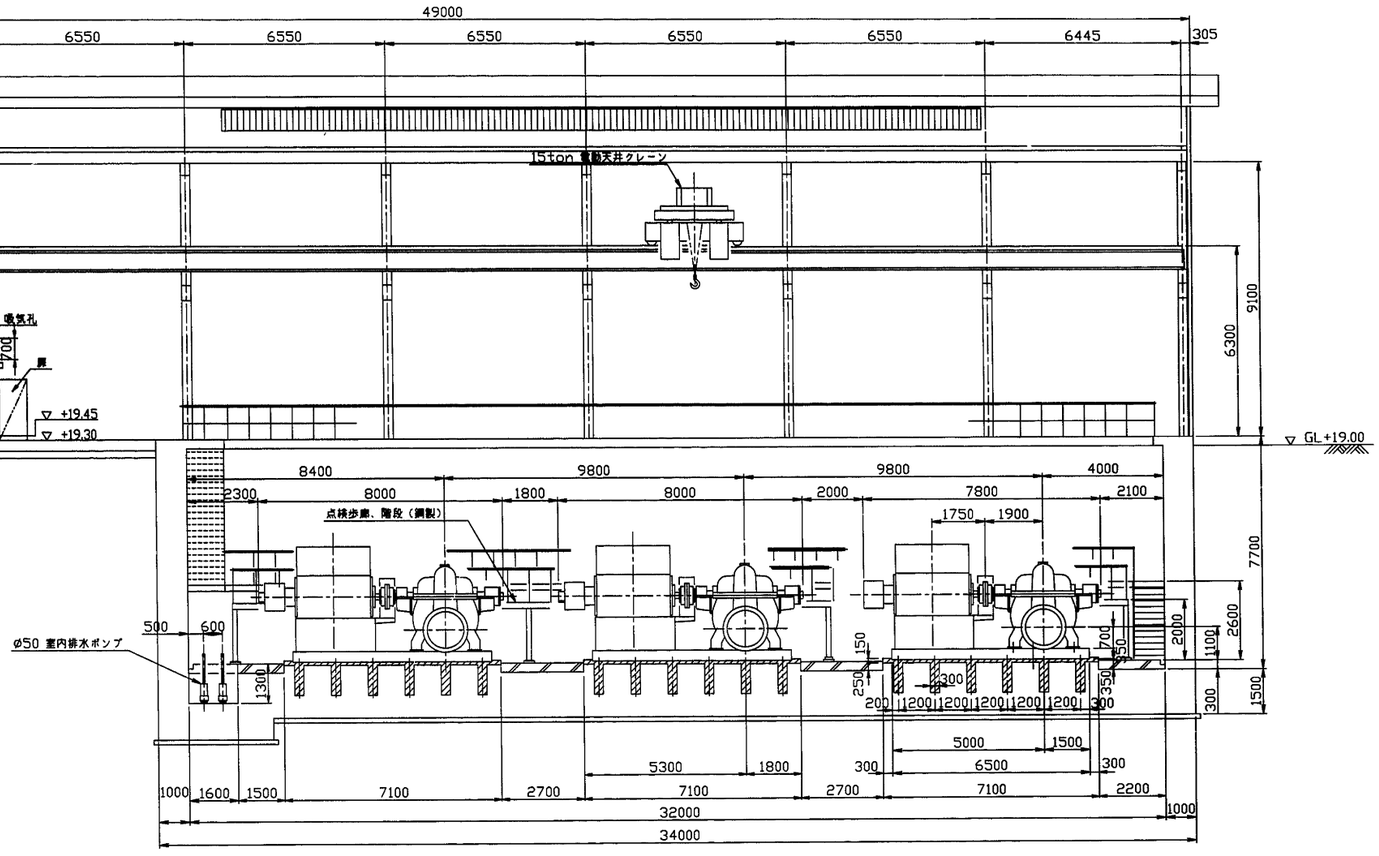
S=1/100

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	据付断面図(1／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-234/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



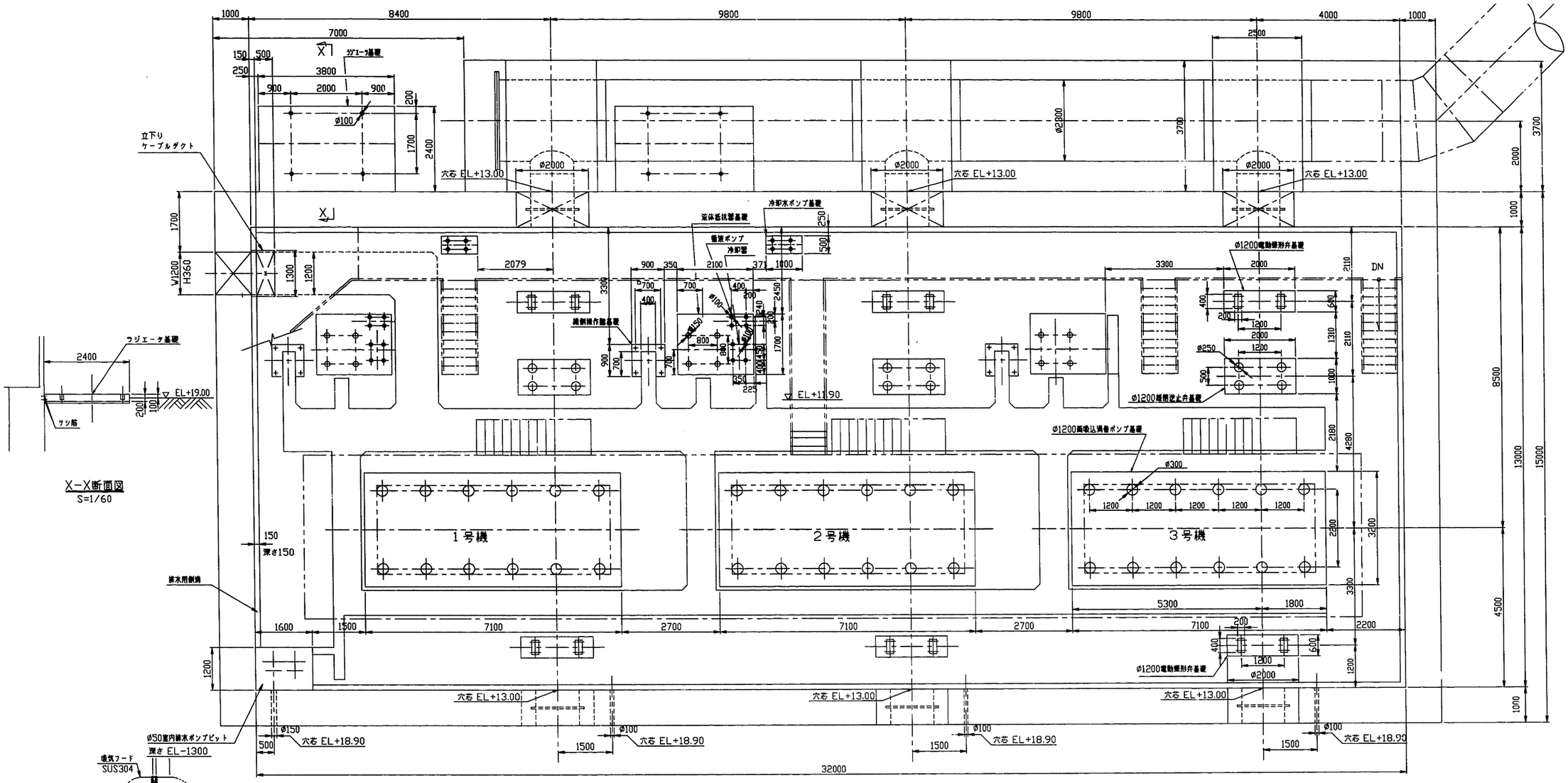
A～A 矢 視 図
S=1/100



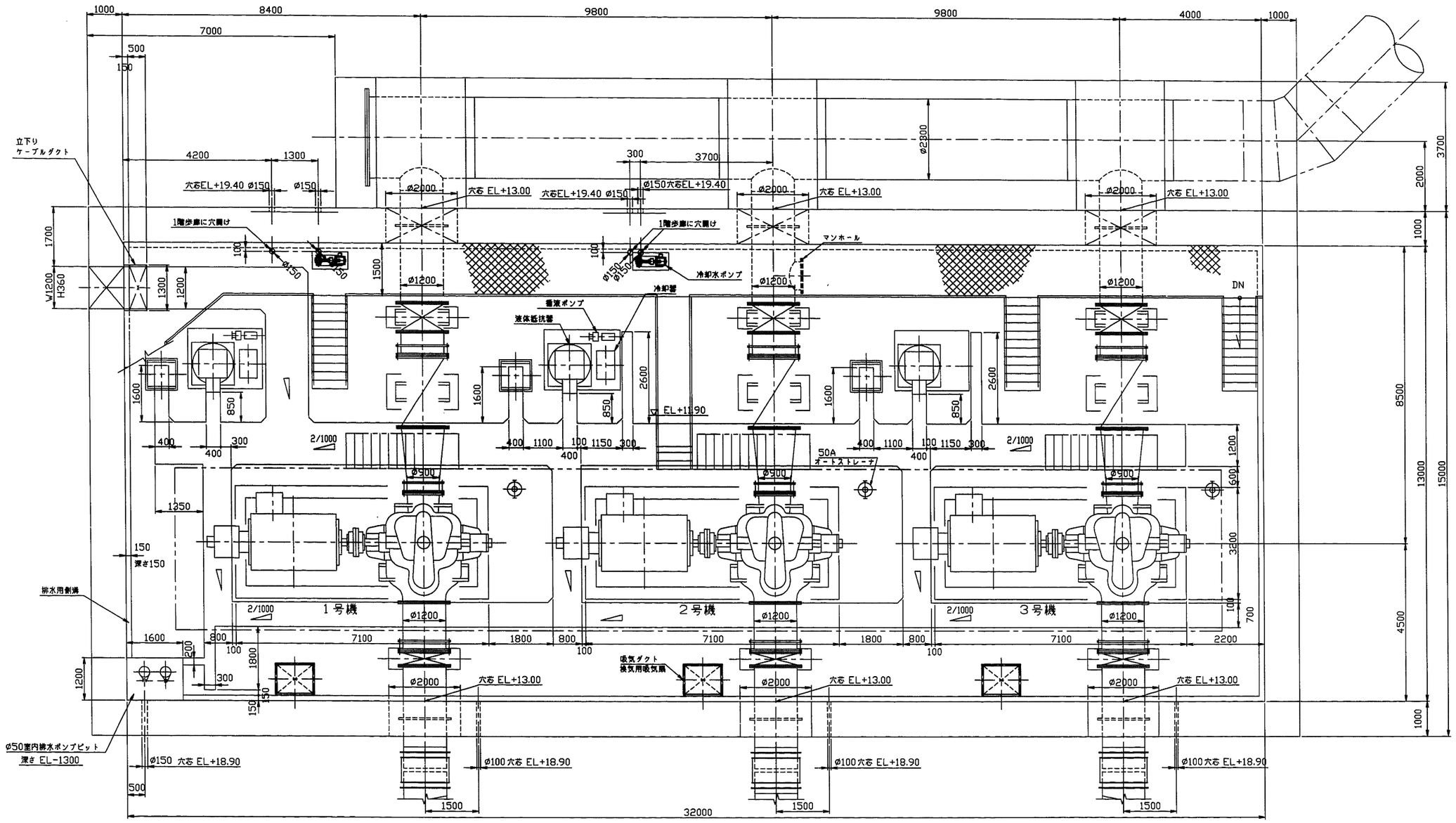


据 付 断 面 図（２／２）
S=1/100

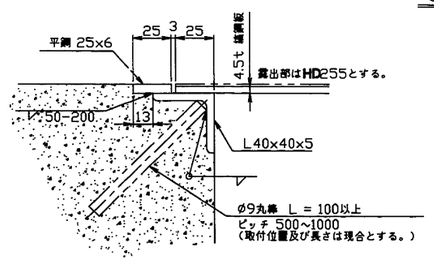
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	据付断面図(2／2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-235/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



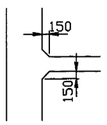
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	基礎図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-236/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



ピット兼穴開図
S=1/60

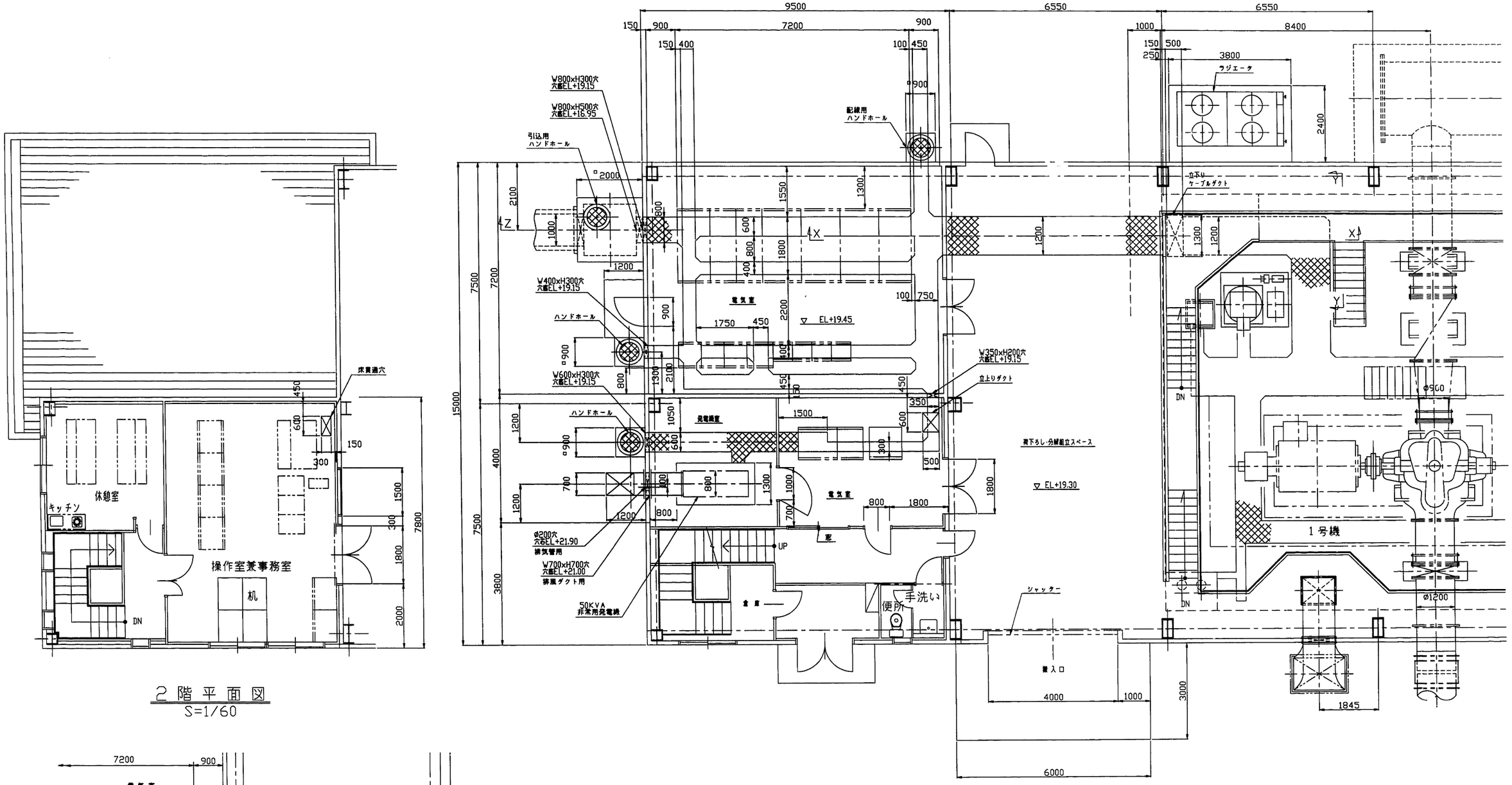


ピットフチ金具詳細図
S=1/2



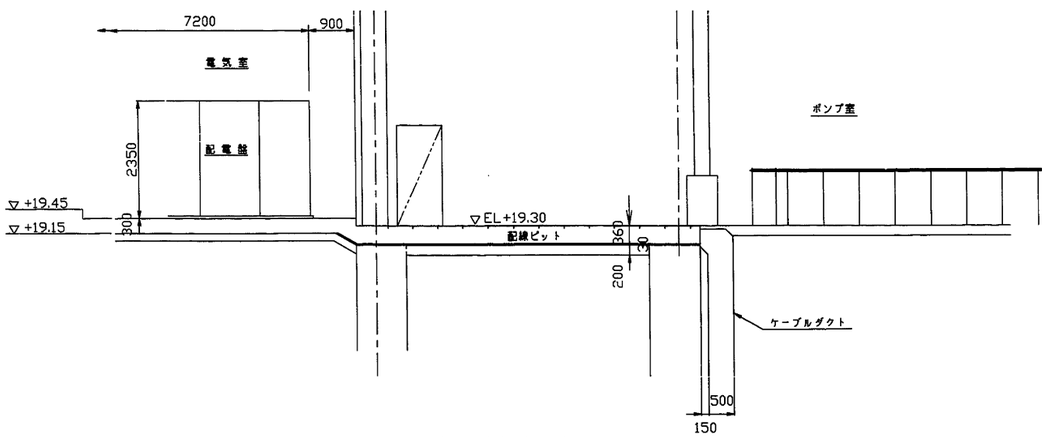
ピットコーナ部詳細図
S=NONE

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	ピット兼穴開図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-237/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

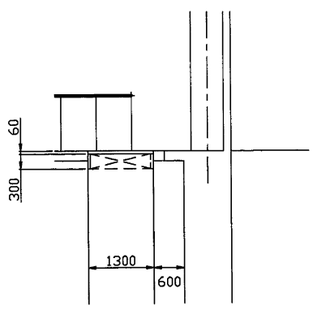


2階平面図
S=1/60

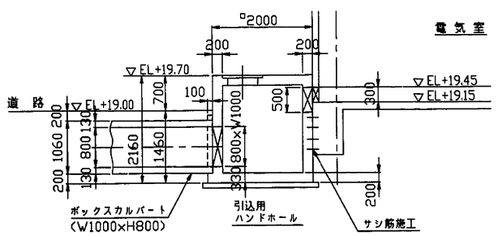
1階平面図
S=1/60



X～X 矢視図
S=1/60

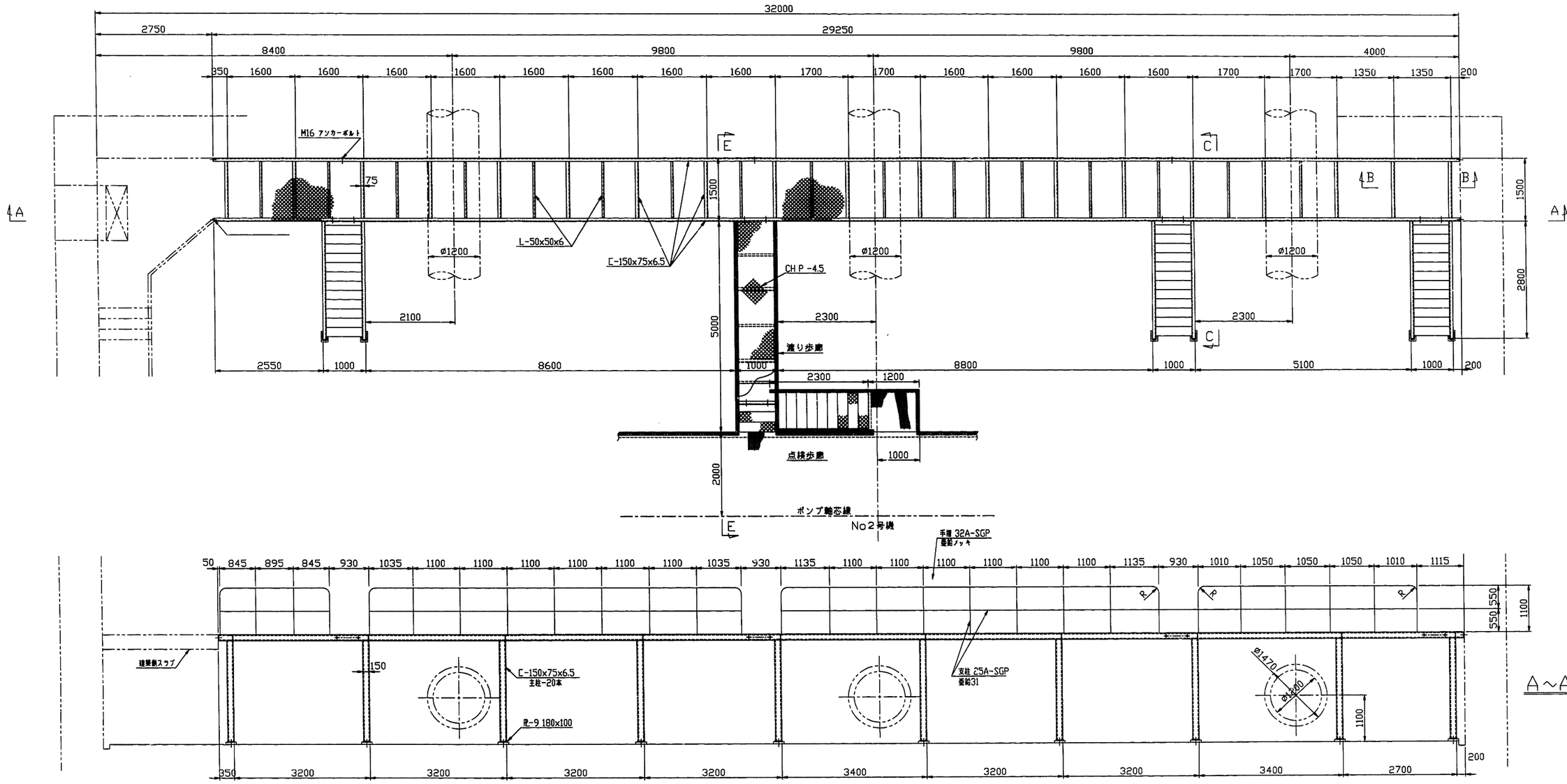


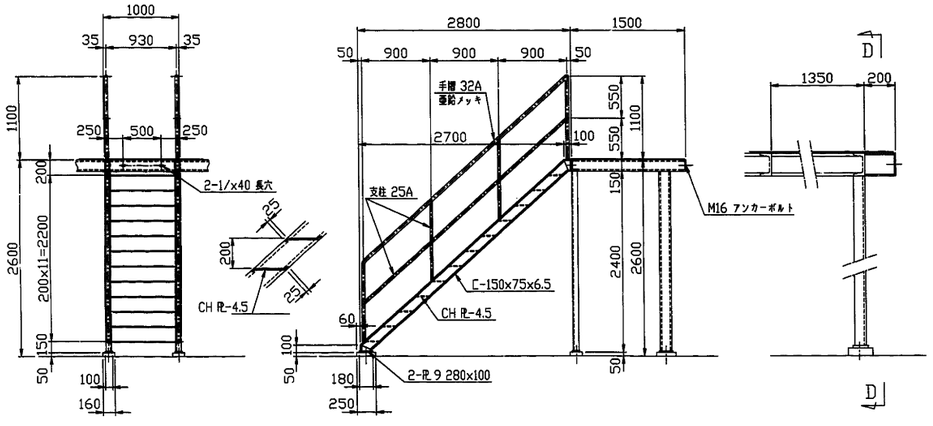
Y～Y 矢視図
S=1/60

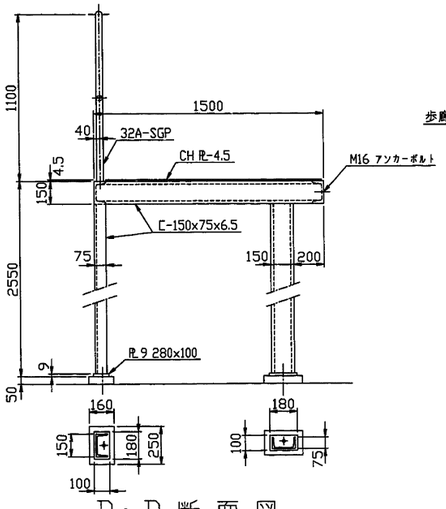


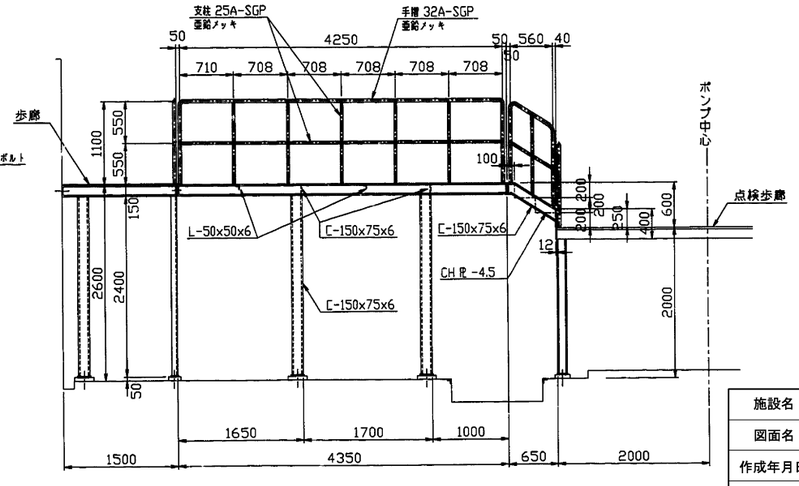
Z～Z 矢視図
S=1/60

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	電気室ピット兼穴開図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-238/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

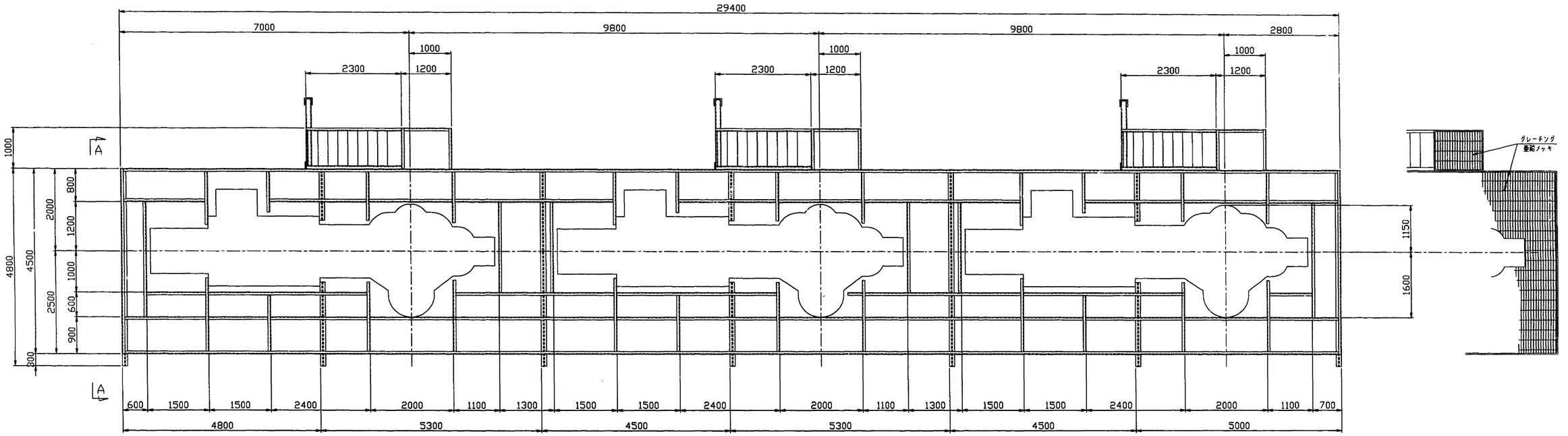


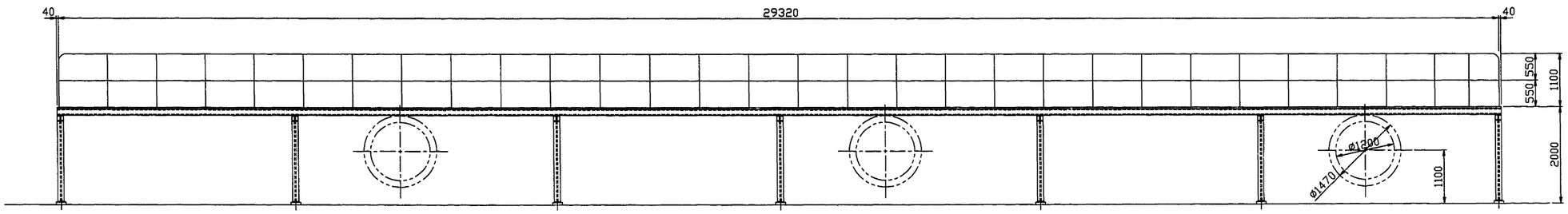


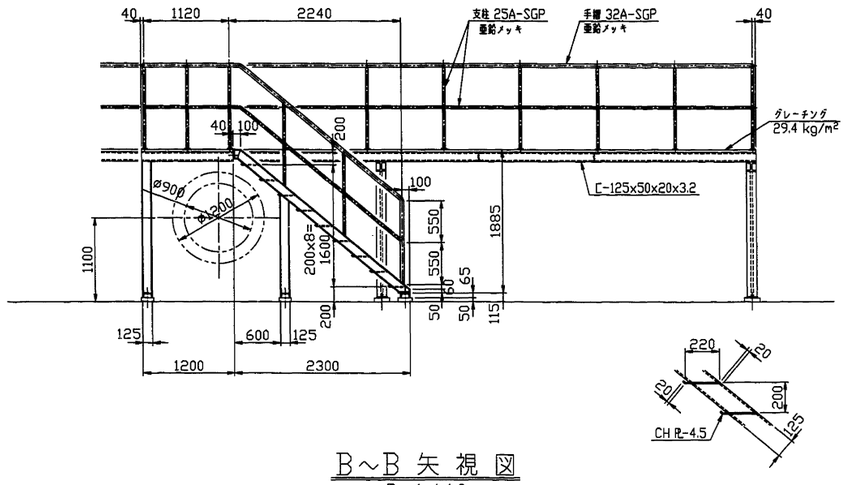




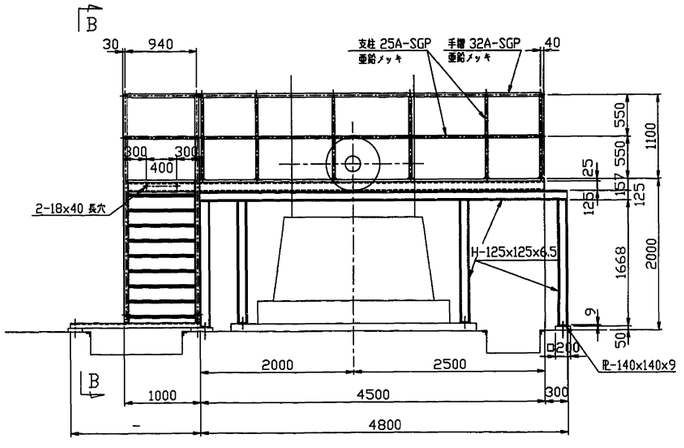
施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	歩廊図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-239/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		





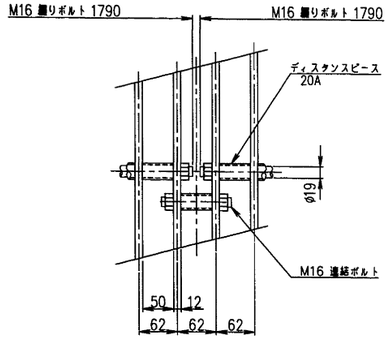


B～B 矢 視 図
S=1/40

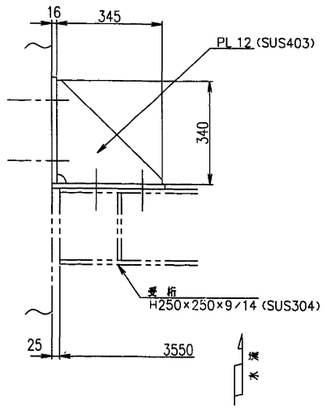


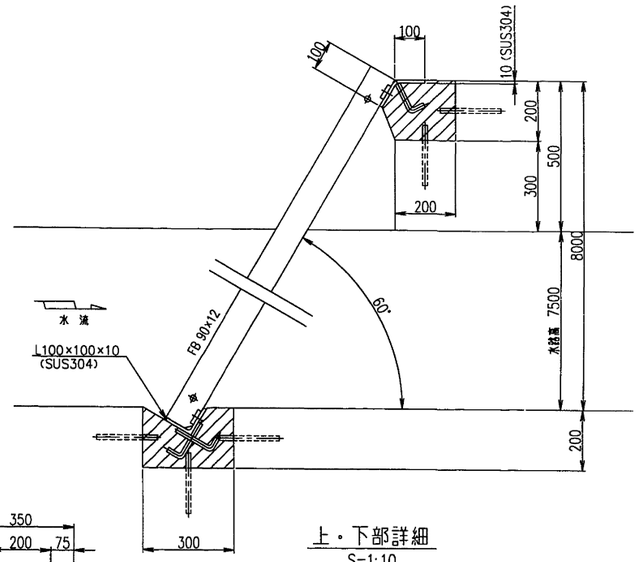
A～A 矢 視 図
S=1/40

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	点検歩廊図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-240/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



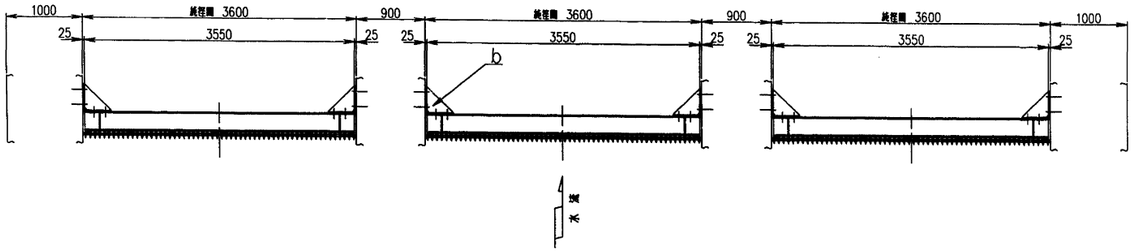
a 詳 細
S=1:5



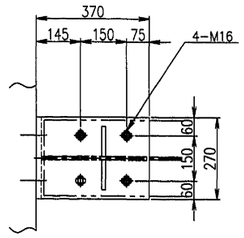


上・下部詳細
S=1:10

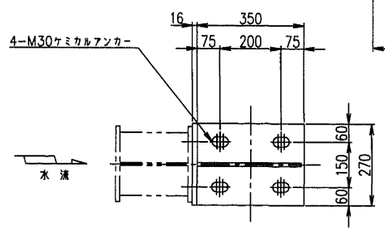
A － A
S=1:40



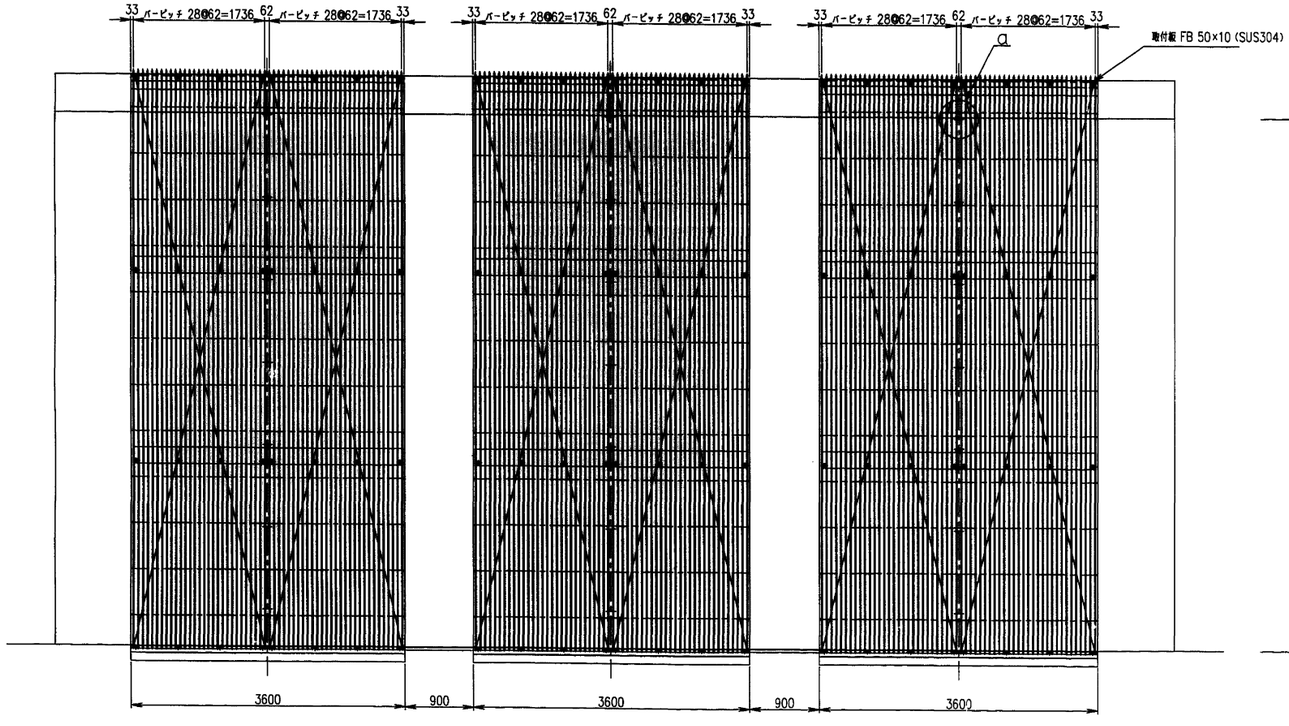
正 面 図
S=1:40

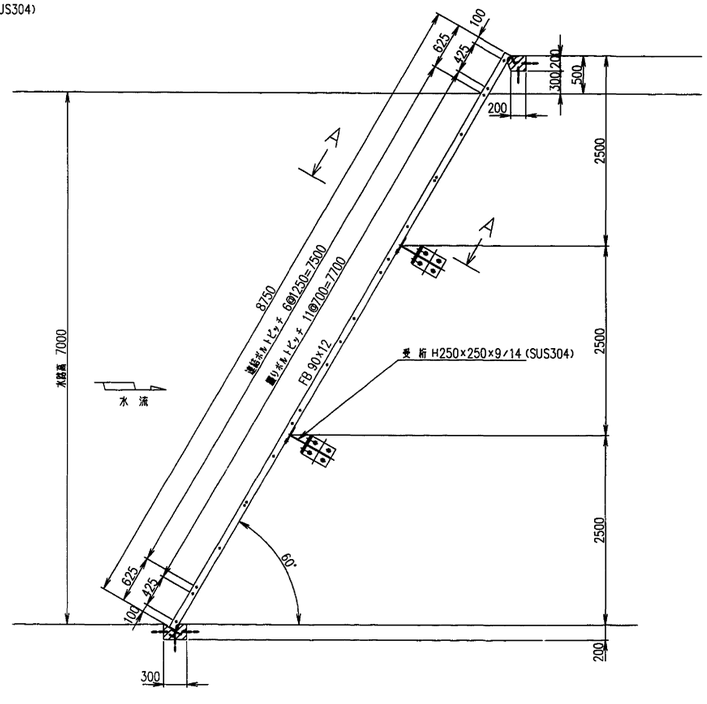


b 詳 細
S=1:10

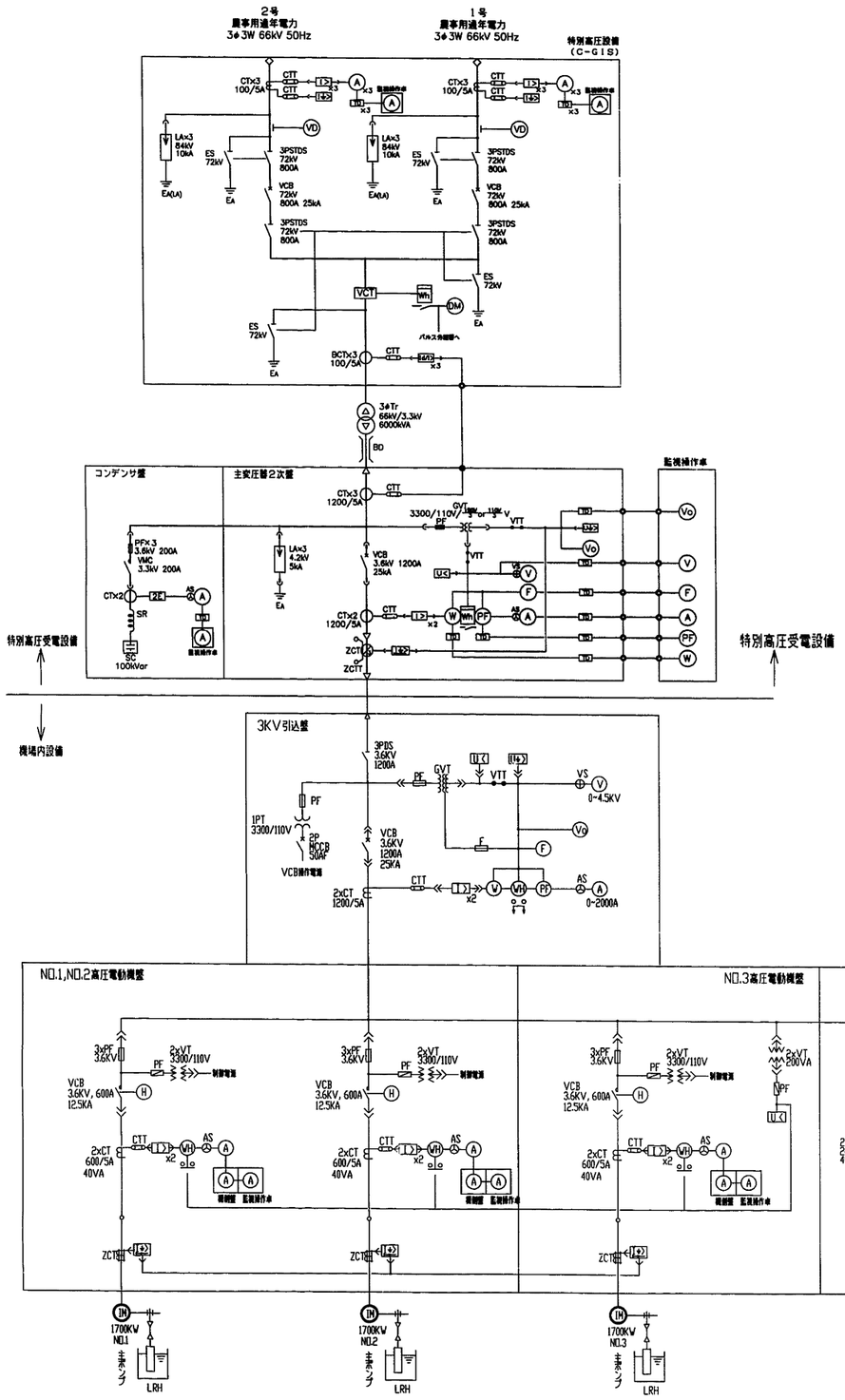


側 面 図
S=1:40





施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	吸水槽エスクリーン詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-241/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



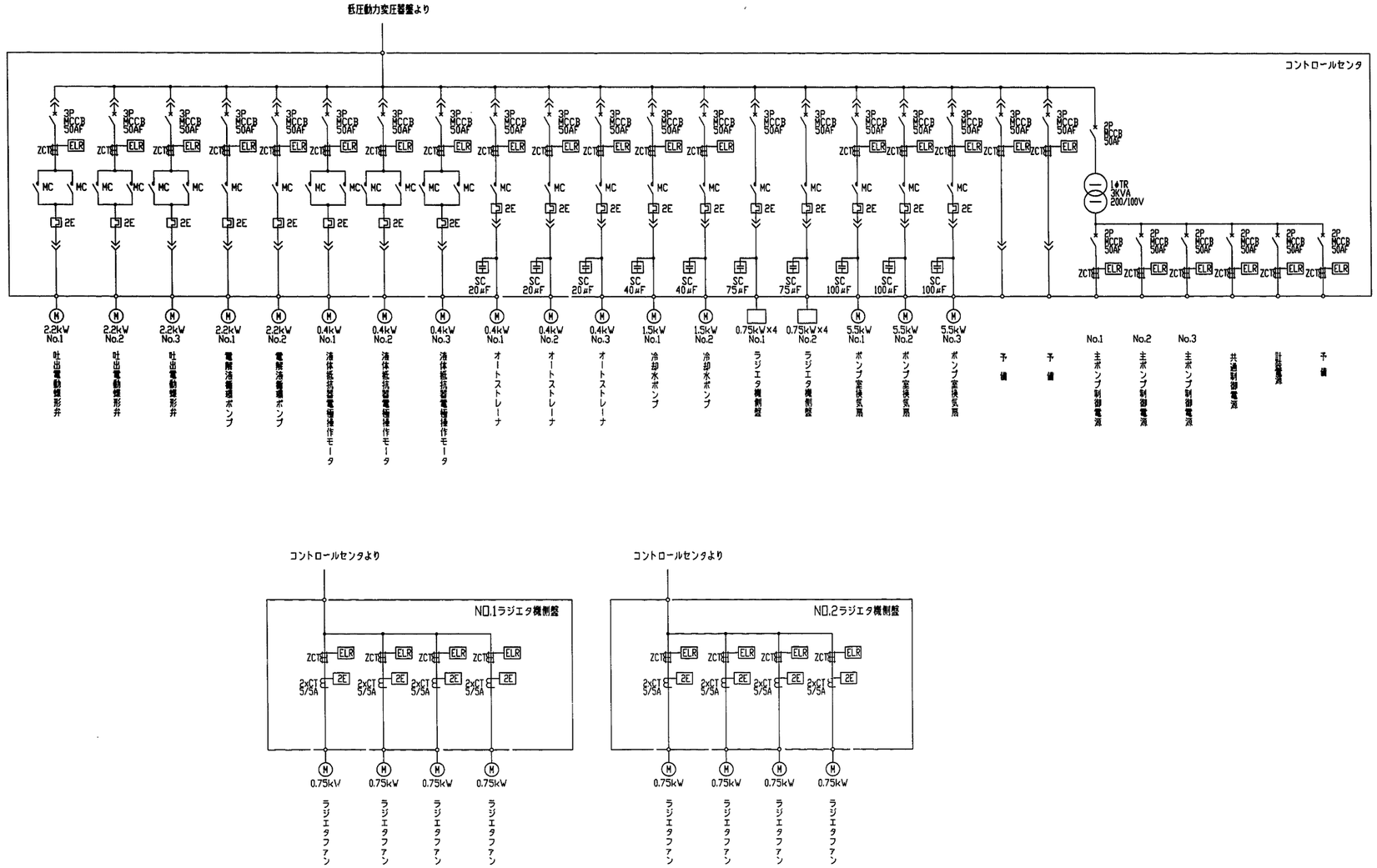
凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
A	電流計	VCB	真空遮断器	ES	接地用断路器	CTT	試験用端子（電流）
V	電圧計	VMC	高圧真空電磁接触器	VS	電流計用切換開閉器	VTT	試験用端子（電圧）
W	電力計	BCT	ブッシング変流器	AS	電圧計用切換開閉器	U<	不足電圧継電器
Wh	積算電力計	CT	変流器	LA	避雷器	I>	過電流継電器
F	周波数計	GVT	接地形計器用変圧器	PF	電力ヒューズ	I↓>	地絡過電流継電器
PF	力率計	VCT	計器用変圧変流器	F	ヒューズ	U↓>	地絡過電圧継電器
DM	最大需要電力計	ZCT	零相変流器	MCCB	配線用遮断器	I↓>	地絡方向継電器
Vo	零相電圧計	Tr	変圧器	ELCB	漏電遮断器	2E	2要素継電器
VD	検電器	DS	断路器	MC	電磁接触器	ELR	漏電継電器
H	運転時間計	LBS	高圧負荷開閉器	THR	熱動継電器	Id/I	比率作動継電器
Wh	電力量計	PT	遮断器操作用変圧器	SC	コンデンサ	TD	変換器
		VT	試験用変圧器	RL	直列リアクトル		

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	単線結線図(1／3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-242/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

凡例

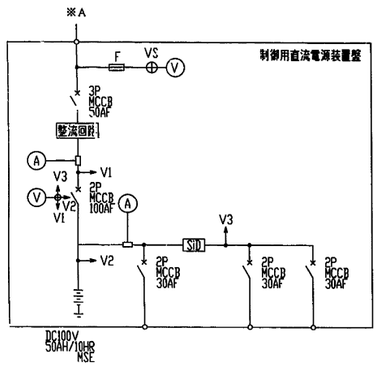
記号	名称	記号	名称	記号	名称
MCCB	配線用遮断器	CT	変流器	2E	2要素継電器
ELCB	漏電遮断器	ZCT	零相変流器	ELR	漏電継電器
MC	電磁接触器	Tr	変圧器		
THR	熱動継電器	F	ヒューズ		
SC	コンデンサ				

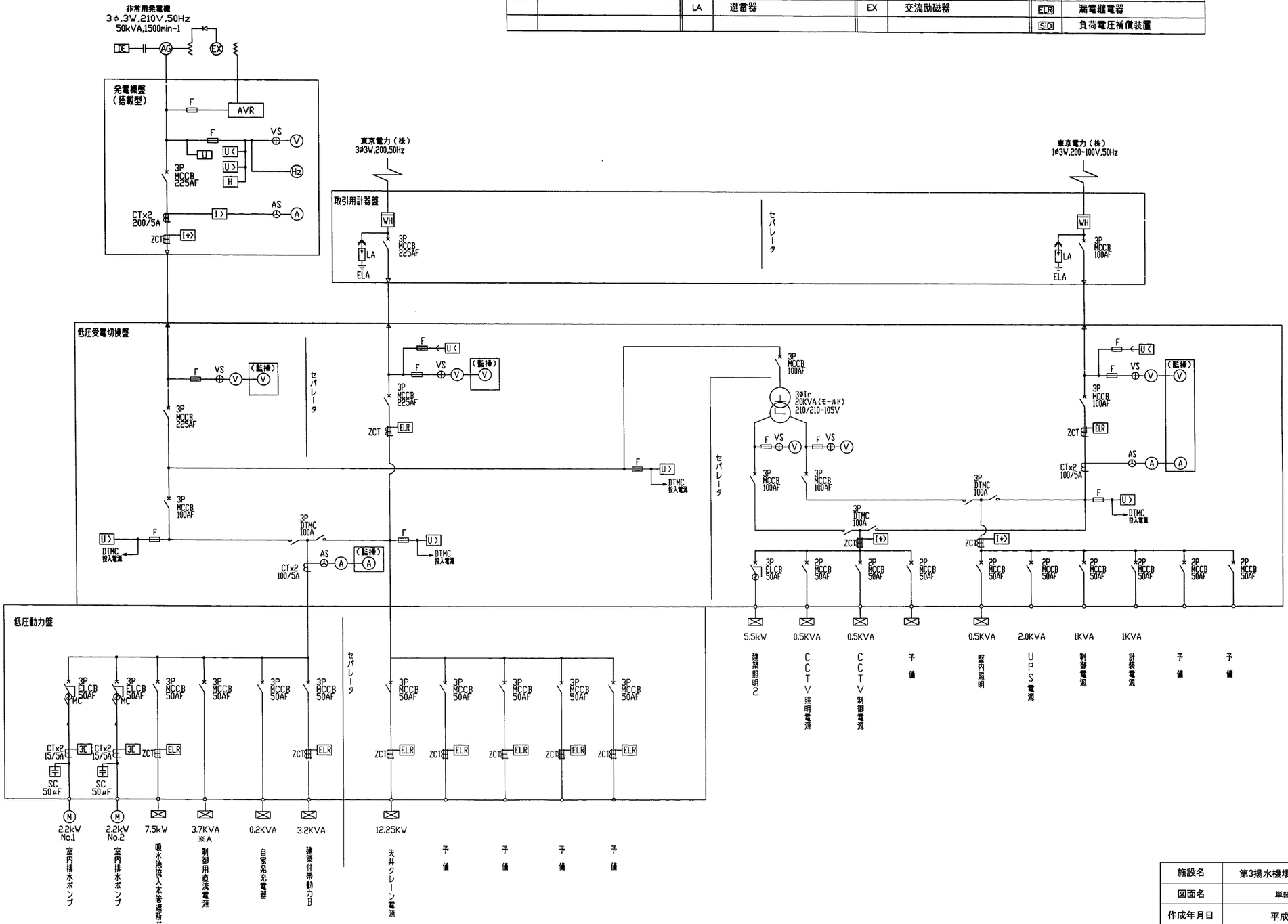


施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)		
図面名	単線結線図(2／3)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-243/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
(A)	電流計	MCCB	配線用遮断器	VS	電流計用切換開閉器	U	電圧継電器
(V)	電圧計	ELCB	漏電遮断器	AS	電圧計用切換開閉器	U<	不足電圧継電器
(F)	周波数計	CT	変流器	F	ヒューズ	U>	過電圧継電器
Wh	電力量計	Tr	変圧器	AVR	自動電圧調整器	I→>	地絡過電流継電器
H	運転時間計	SC	コンデンサ	DE	ディーゼル機関	3E	3要素継電器
		DTMC	双投形電磁接触器	AG	発電機	TD	変換器
		LA	避雷器	EX	交流励磁器	ELR	漏電継電器
						SID	負荷電圧補償装置





施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	単線結線図(3／3)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-244/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

CCTV2（監視カメラ）

揚水本管制御弁Φ2200mm・吐水槽排泥弁Φ400mm

揚水本管制御弁・吐水槽排泥弁機側盤

吐水槽工

吐水槽水位計（電波式）

吐水槽水位計（電極式）

送水本管制御弁（緊急遮断弁）Φ2300mm

送水本管制御弁（緊急遮断弁）機側盤

照明装置
カメラ監視装置
STK400
φ216.3×t5.8
2000
▽GL
基礎ブロック

CCTV1（吸水池監視カメラ）装柱図

照明装置
カメラ監視装置
STK400
φ216.3×t5.8
1500

CCTV2（吐水槽監視カメラ）装柱図

※吐水槽周の盤配置　配線配管は別図のとおり

（契約対象外）
遠付建屋ポリエチレン管
FEP 65

（契約対象外）
遠付建屋ポリエチレン管
FEP 80×1
FEP 65×1
FEP 40×2
FEP 30×1

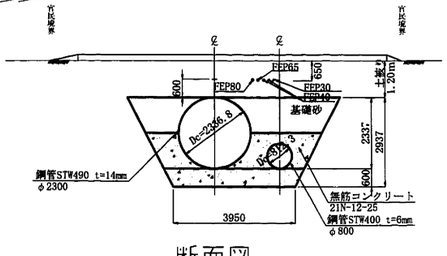
吐水幹線制御弁機側盤

超音波流量計Φ2300mm

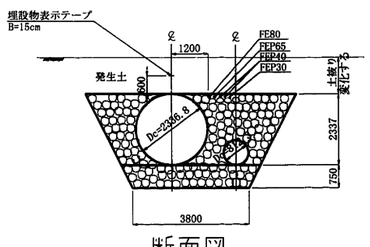
流量計ピット

吐水幹線 制御弁室

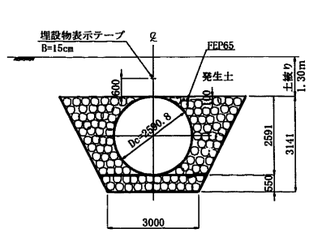
変電所
機場本体
搬入路
吸水槽
吸水池工
余水吐工
吐水槽工
CCTV1（監視カメラ）



断面図 A-A　S=1:6

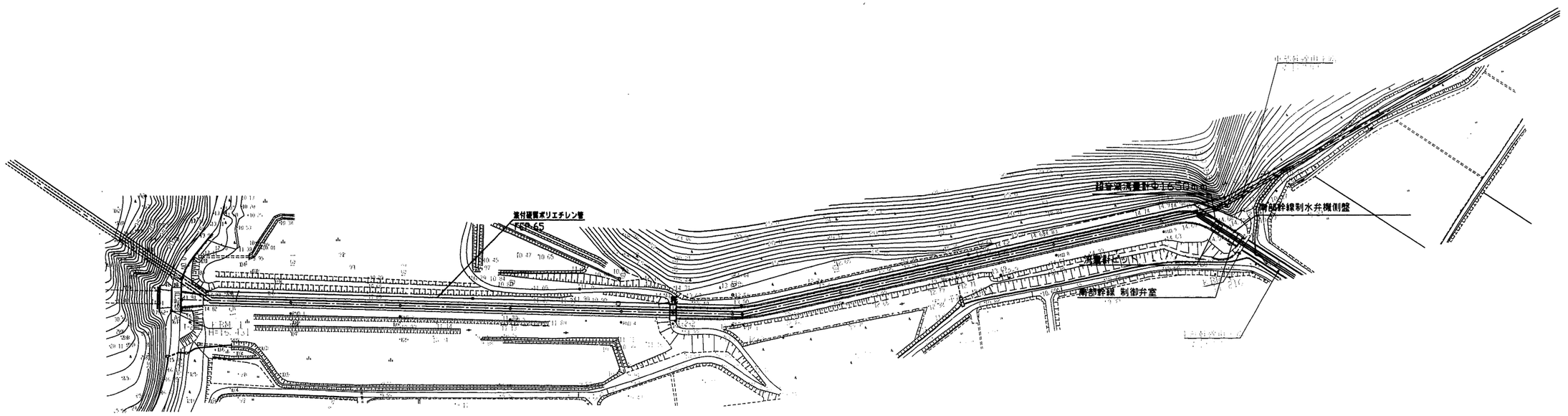


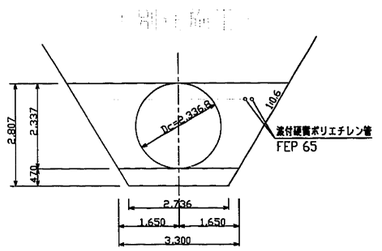
断面図 B-B　S=1:6



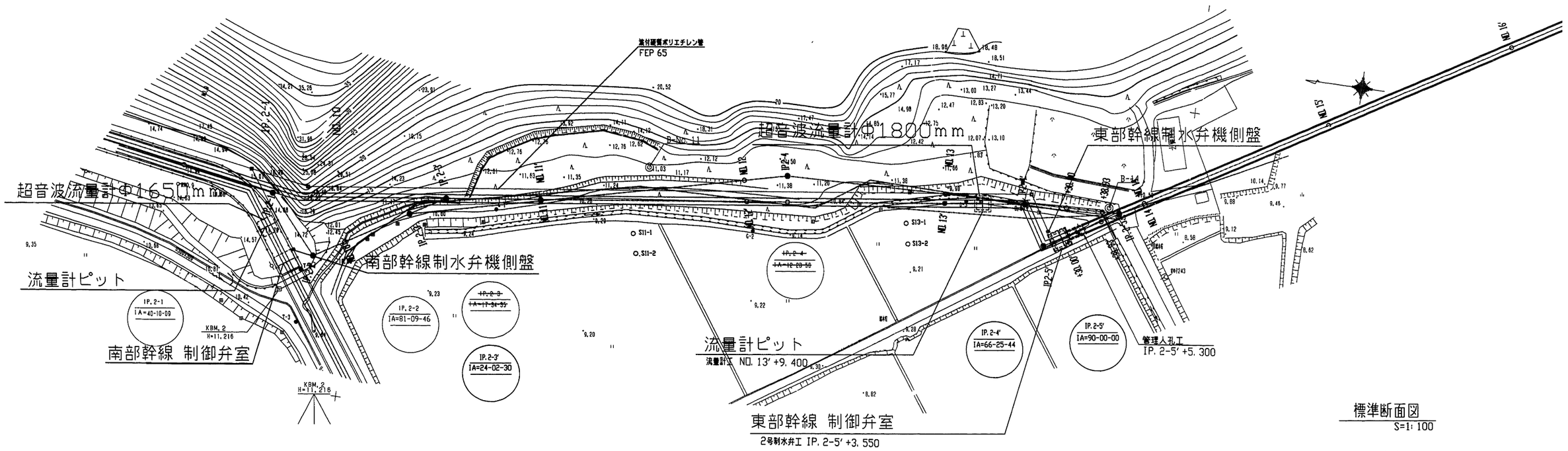
断面図 C-C　S=1:6

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	配線布設図（吐水槽・幹線制御弁）1／3		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-245/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		





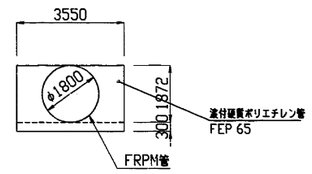
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配線布設図(吐水槽・幹線制御弁)2／3		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-246/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



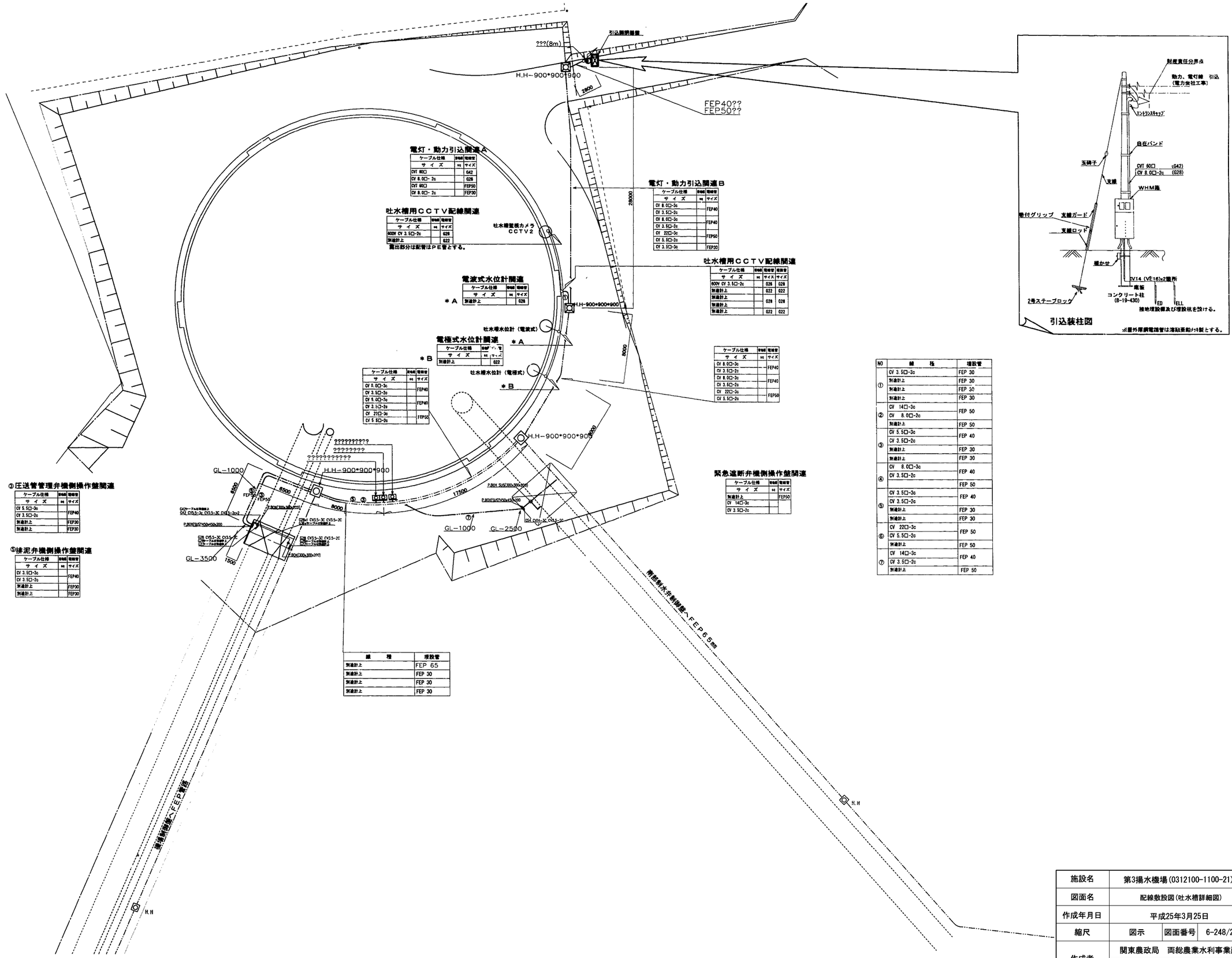
標準断面図

S=1:100

タイプA



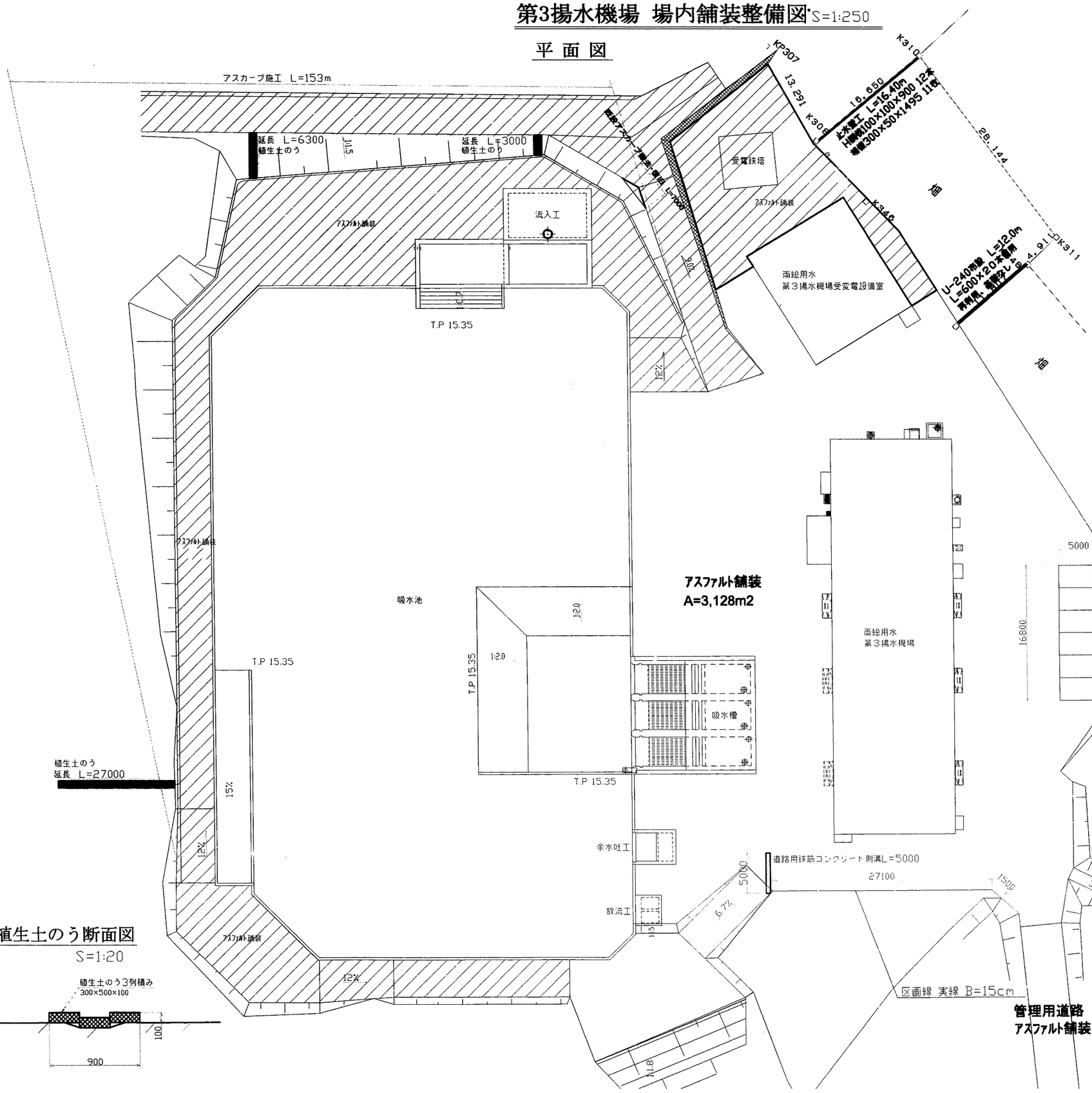
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	配線布設図(吐水槽・幹線制御弁)3／3		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-247/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



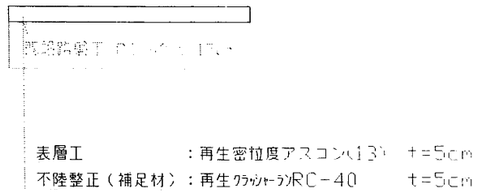
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	配線敷設図(吐水槽詳細図)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-248/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

第3揚水機場 場内舗装整備図 S=1:250

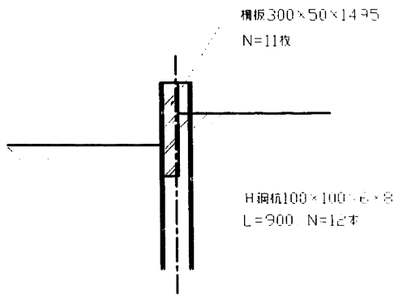
平面図



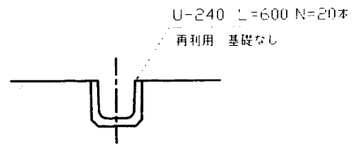
アスファルト舗装断面図 S=1:10



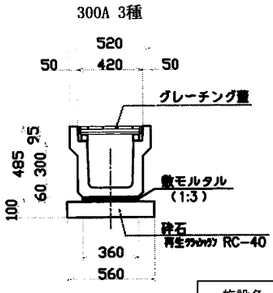
止水壁工断面図 S=1:10



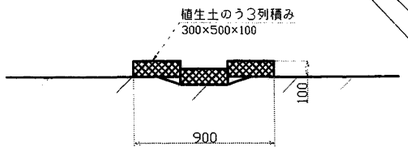
U-240布設断面図 S=1:20



道路用鉄筋コンクリート側溝詳細図 S=1:20



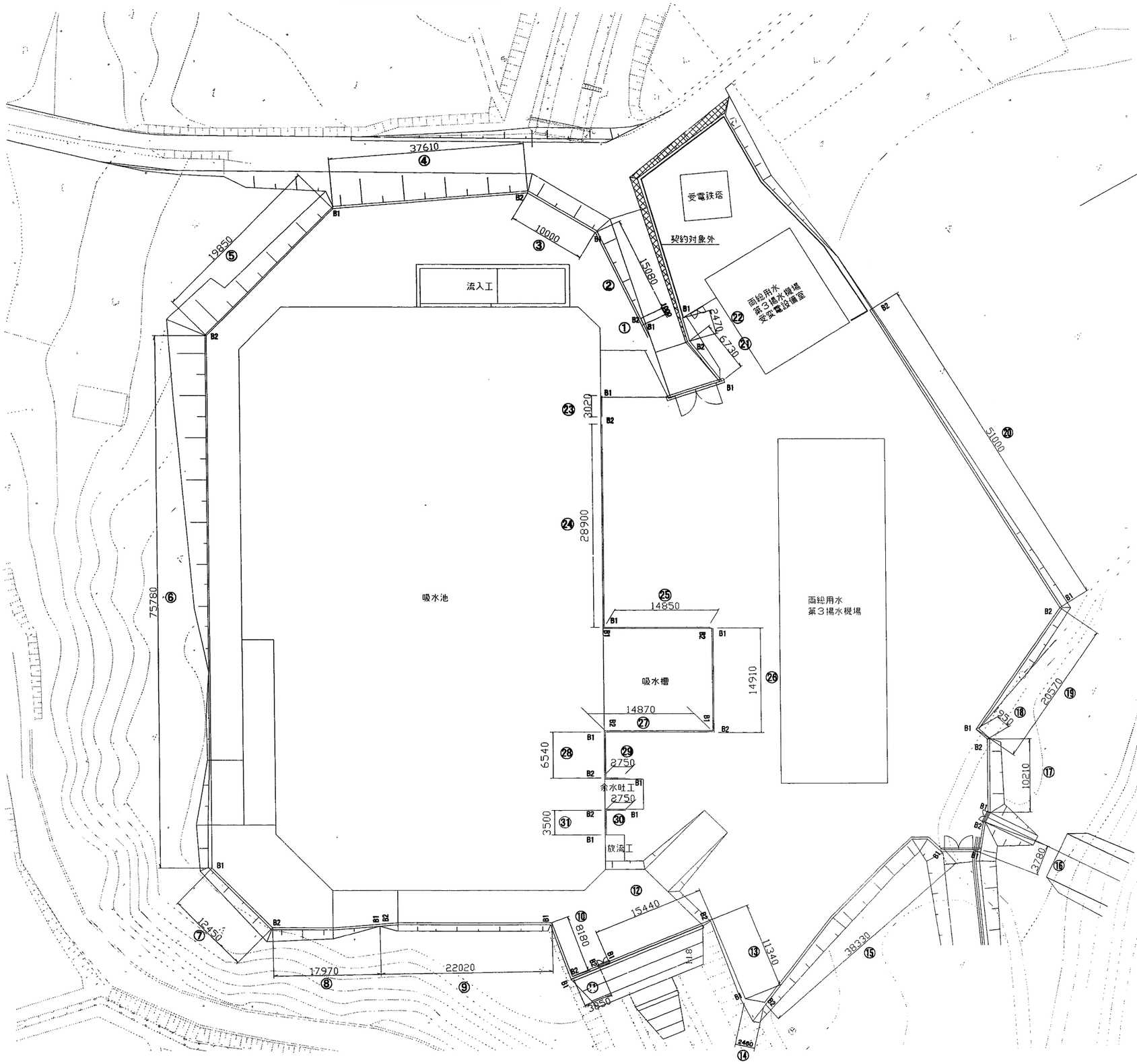
植生土のう断面図 S=1:20



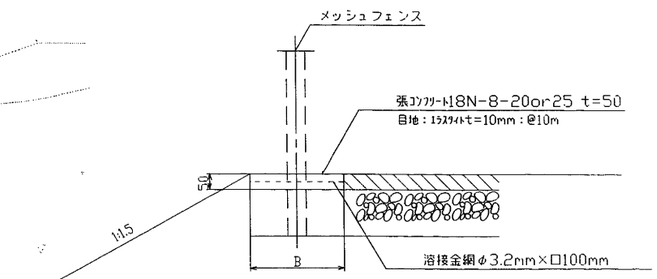
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場 場内舗装整備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-249/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

第３揚水機場　場内張ｺﾝｸﾘｰﾄ整備図

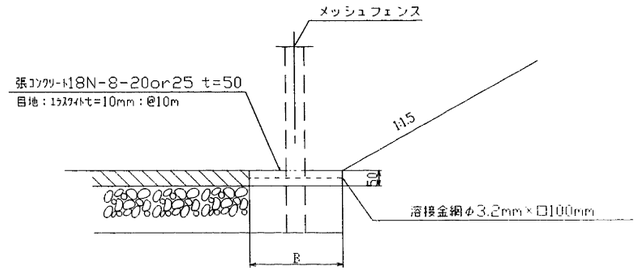
平 面 図 S=1:300



断 面 図 S=1:10



断 面 図 S=1:10



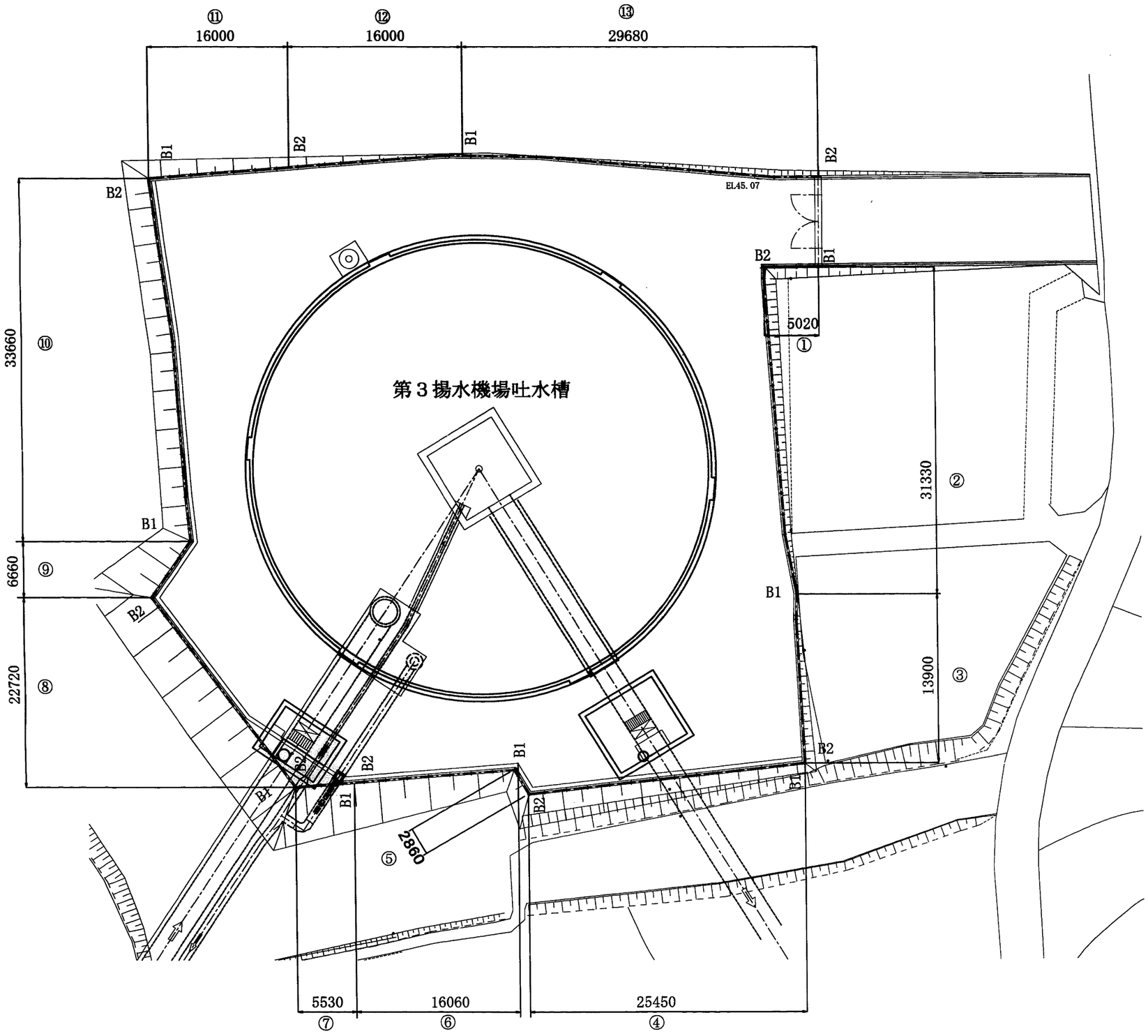
	B	
	B1	B2
①	200	330
②	330	330
③	330	310
④	300	310
⑤	300	300
⑥	300	300
⑦	300	320
⑧	300	320
⑨	250	250
⑩	250	250
⑪	300	300
⑫	300	300
⑬	300	300
⑭	300	300
⑮	300	300
⑯	350	350

	B	
	B1	B2
⑰	350	550
⑱	210	550
⑲	210	200
⑳	250	250
㉑	300	300
㉒	300	300
㉓	310	310
㉔	330	310
㉕	810	810
㉖	300	300
㉗	810	810
㉘	310	310
㉙	300	310
㉚	300	300
㉛	300	300

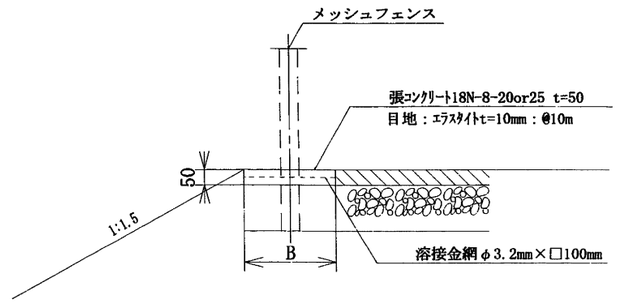
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場　場内張コンクリート整備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-250/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

第３揚水機場吐水槽　場内張コンクリート整備図

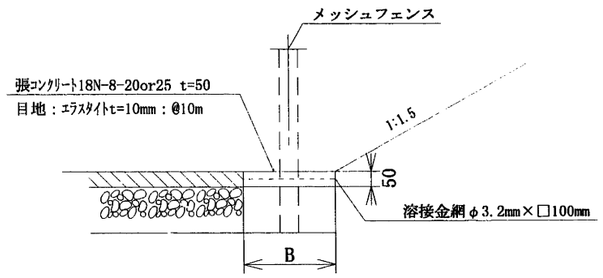
平　面　図　S=1:200



断　面　図　S=1:10



断　面　図　S=1:10

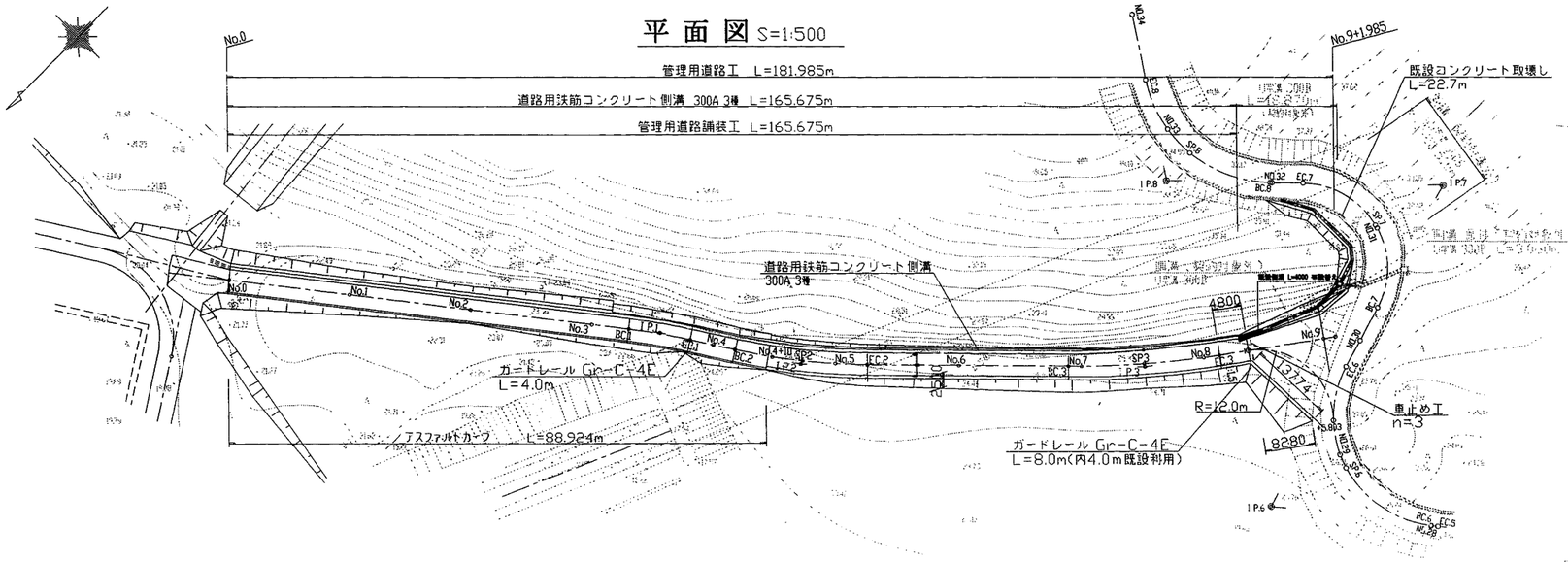


	B			B	
	B1	B2		B1	B2
①	300	250	⑧	250	300
②	300	250	⑨	300	300
③	300	300	⑩	300	300
④	250	250	⑪	200	230
⑤	250	250	⑫	250	230
⑥	250	250	⑬	250	200
⑦	200	200			

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	第3揚水機場吐水槽　場内張コンクリート整備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-251/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

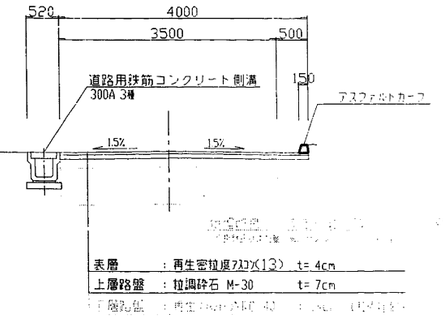
管理用道路整備工図

平 面 図 S=1:500

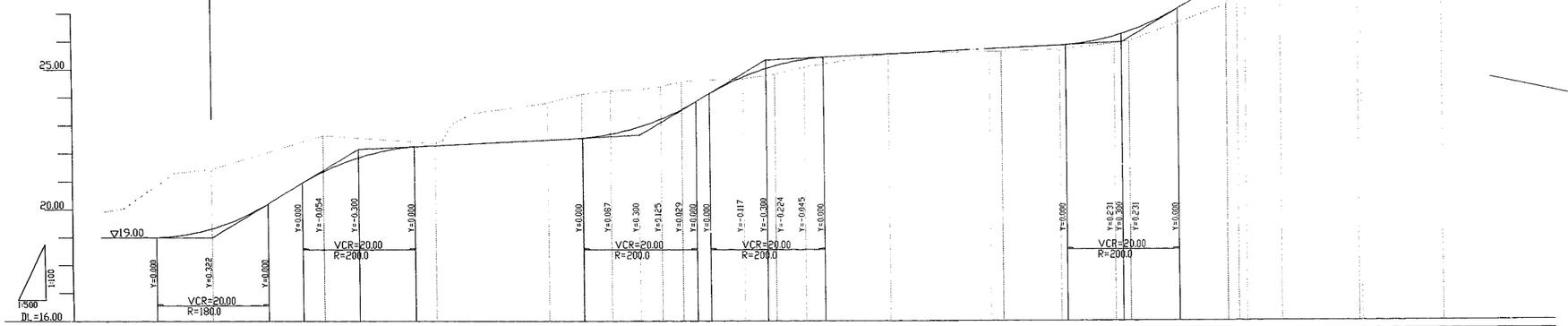


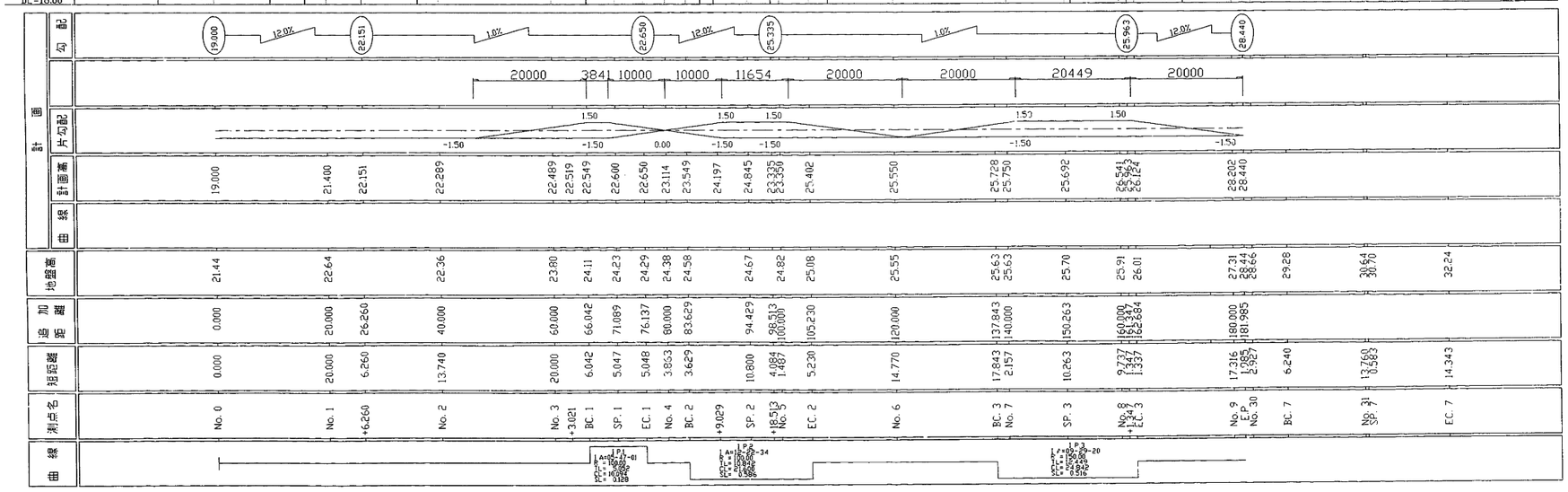
標準断面図 S=1:50

No.0~No.7

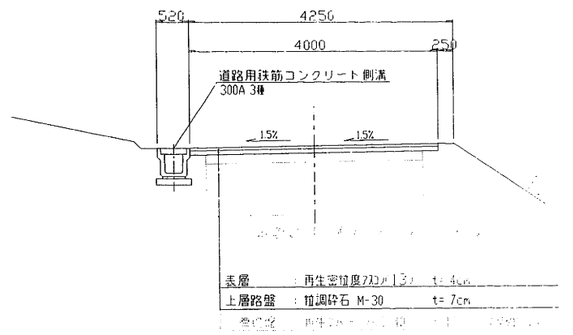


縦 断 図 V=1:100 H=1:500





No.7~EP

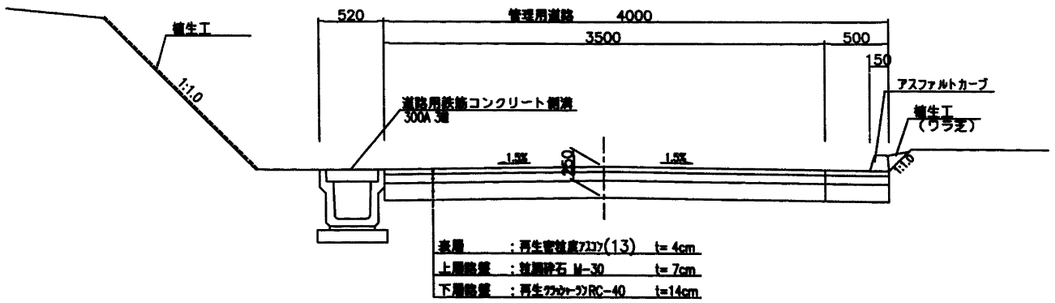


測 点	X	Y
No.0	44530.1047	50525.3929
I P.1	44573.6943	50489.2300
I P.2	44586.0984	50449.4740
I P.3	44625.2188	50405.4[illegible]
No.9+1.912	44650.8716	50390.7594

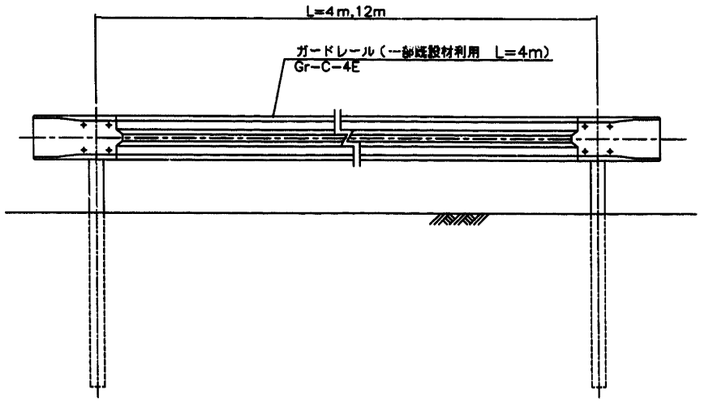
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)
図面名	管理用道路整備図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示
図面番号	6-252/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

管理用道路整備工詳細図

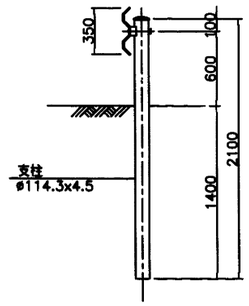
管理用道路標準断面図



ガードレール詳細図



断面図

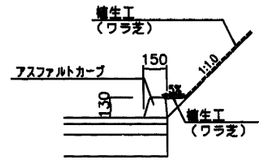


道路用鉄筋コンクリート側溝詳細図

S=1:20

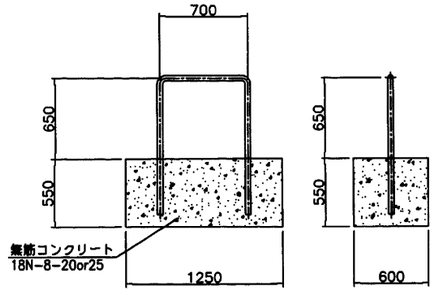
アスファルトカーブ詳細図

S=1:20



車止め工(H650×B700)

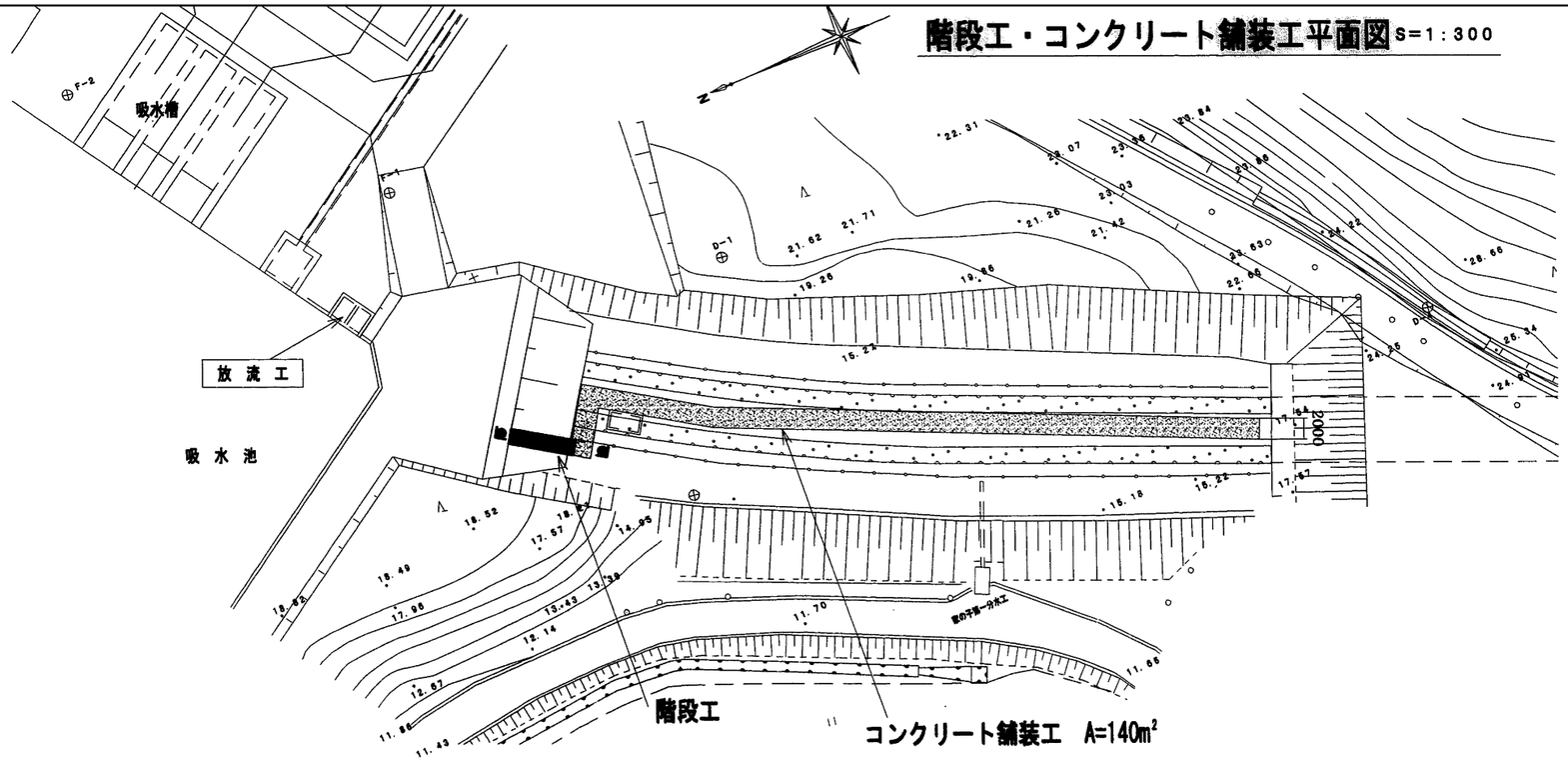
S=1:20



取り外し式（蓋・南京錠付き）
SUS304

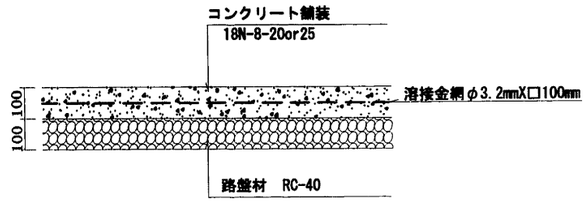
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	管理用道路整備工詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-253/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

階段工・コンクリート舗装工平面図 S=1:300

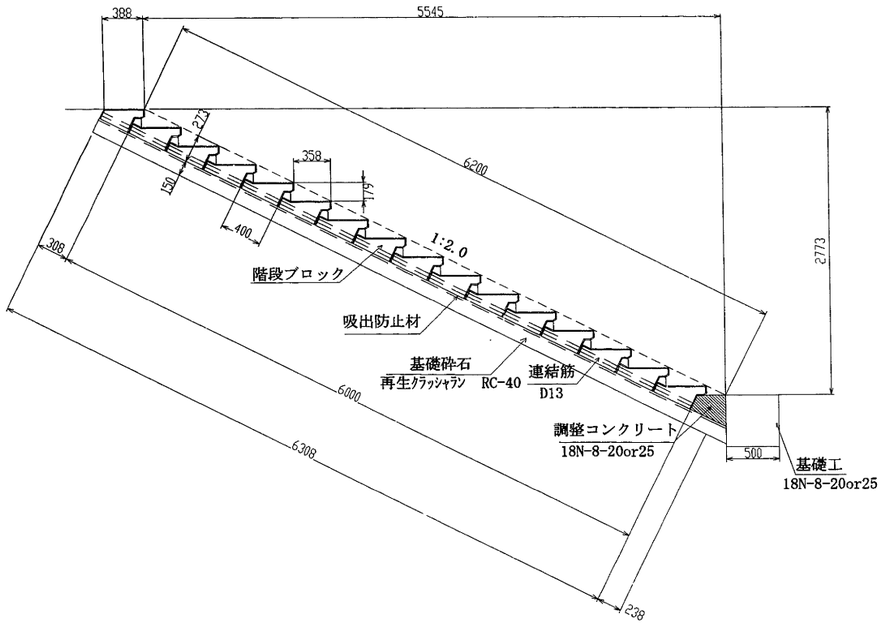


階段工詳細図

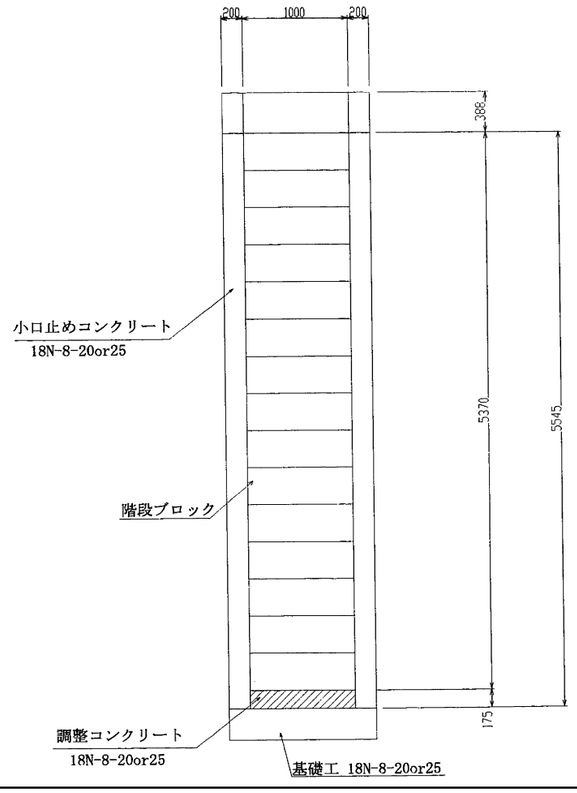
コンクリート舗装工断面図 S=1:100



Ａ－Ａ断面図 S=1:30



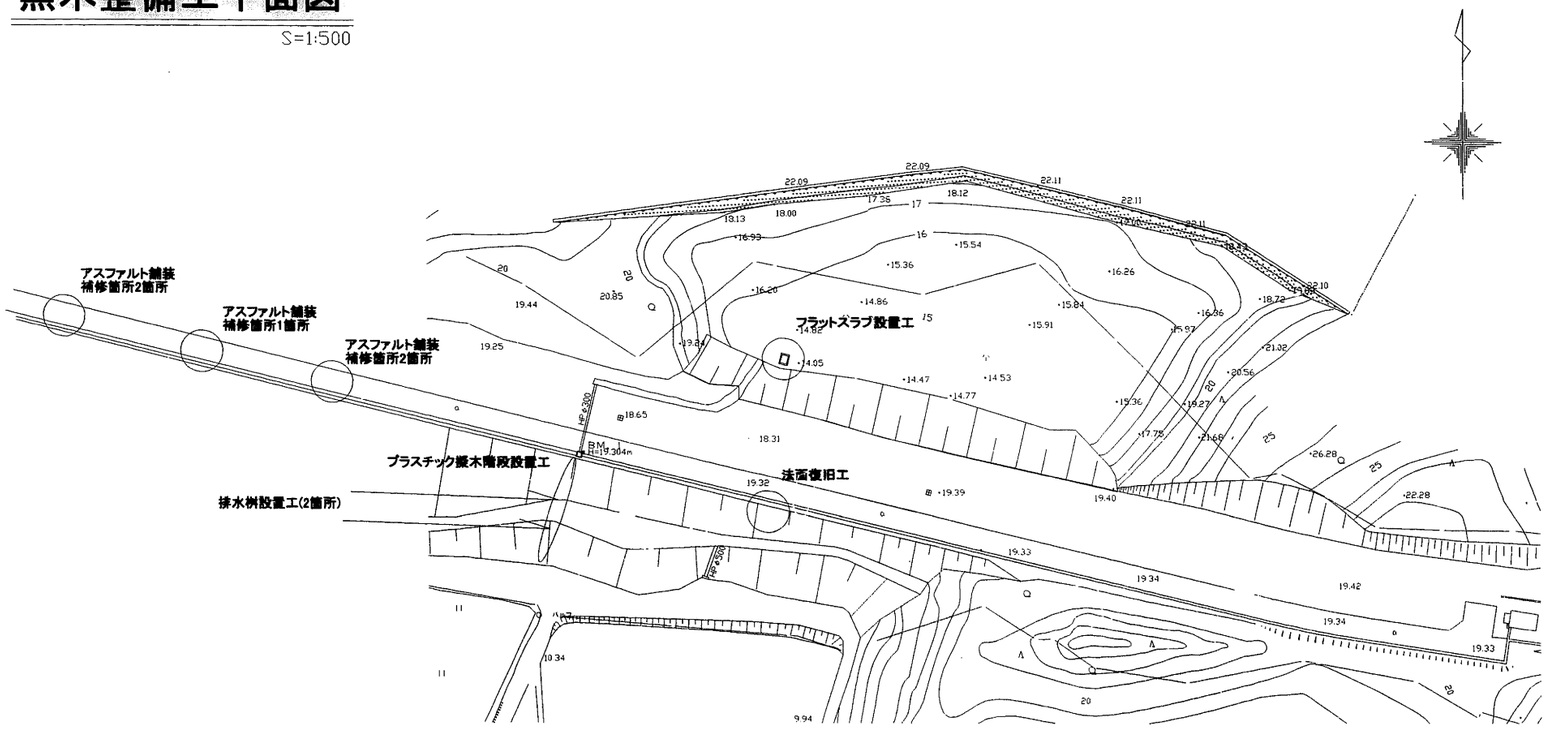
配　置　図 S=1:30



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	階段工・コンクリート舗装工図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-254/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

蕪木整備工平面図

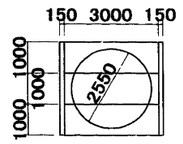
S=1:500



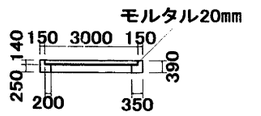
フラットスラブ設置工詳細図

フラットスラブ　3000*1000　t=120　　S=1:100

平面図

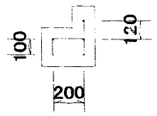


断面図

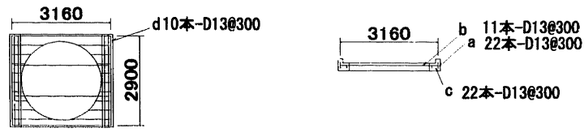


断面図

S=1:20



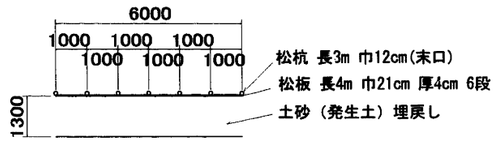
配筋図



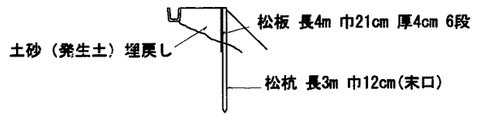
法面復旧工詳細図

S=1:100

平面図

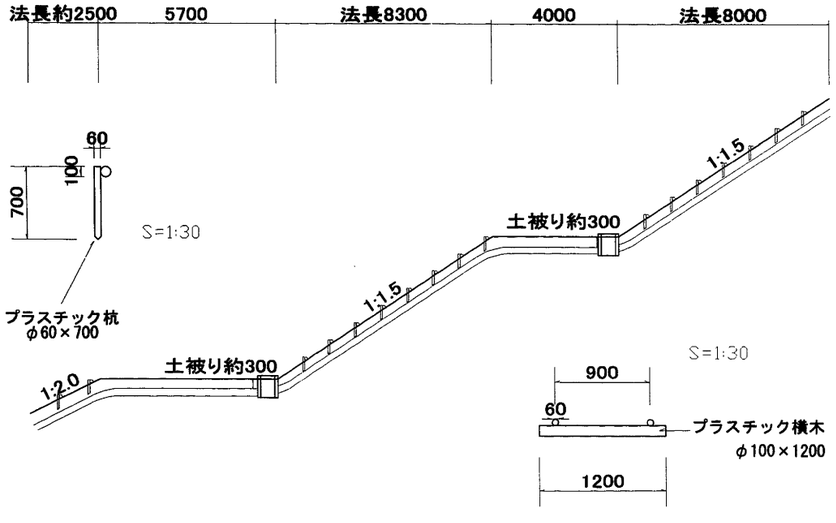


標準断面



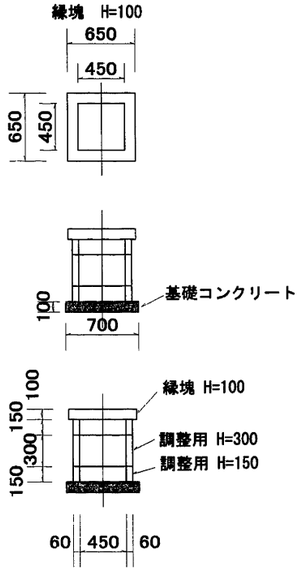
プラスチック擬木階段設置工詳細図

S=1:100



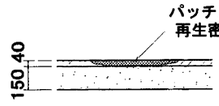
排水桝設置工詳細図

S=1:30



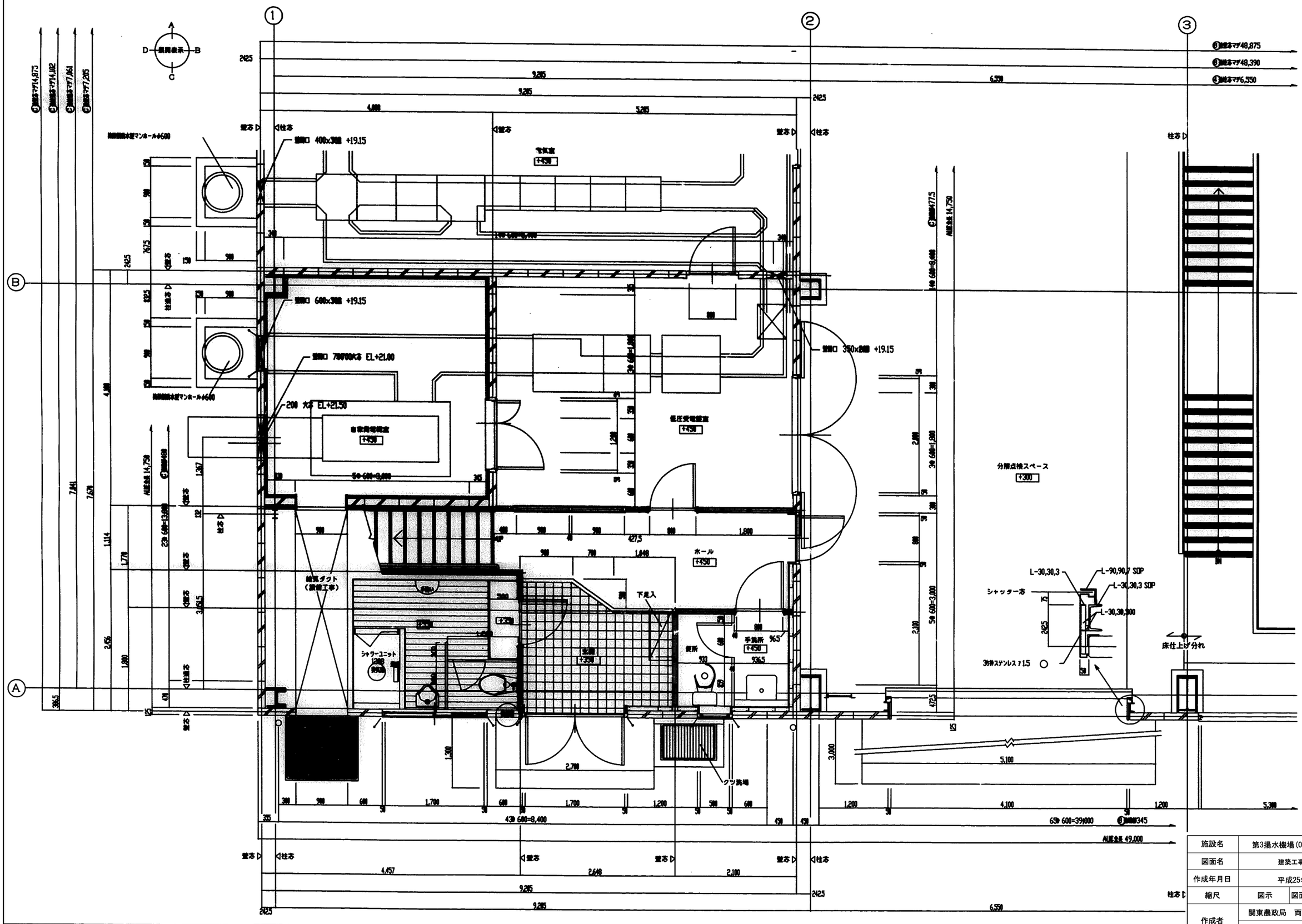
アスファルト舗装工詳細図

S=1:20

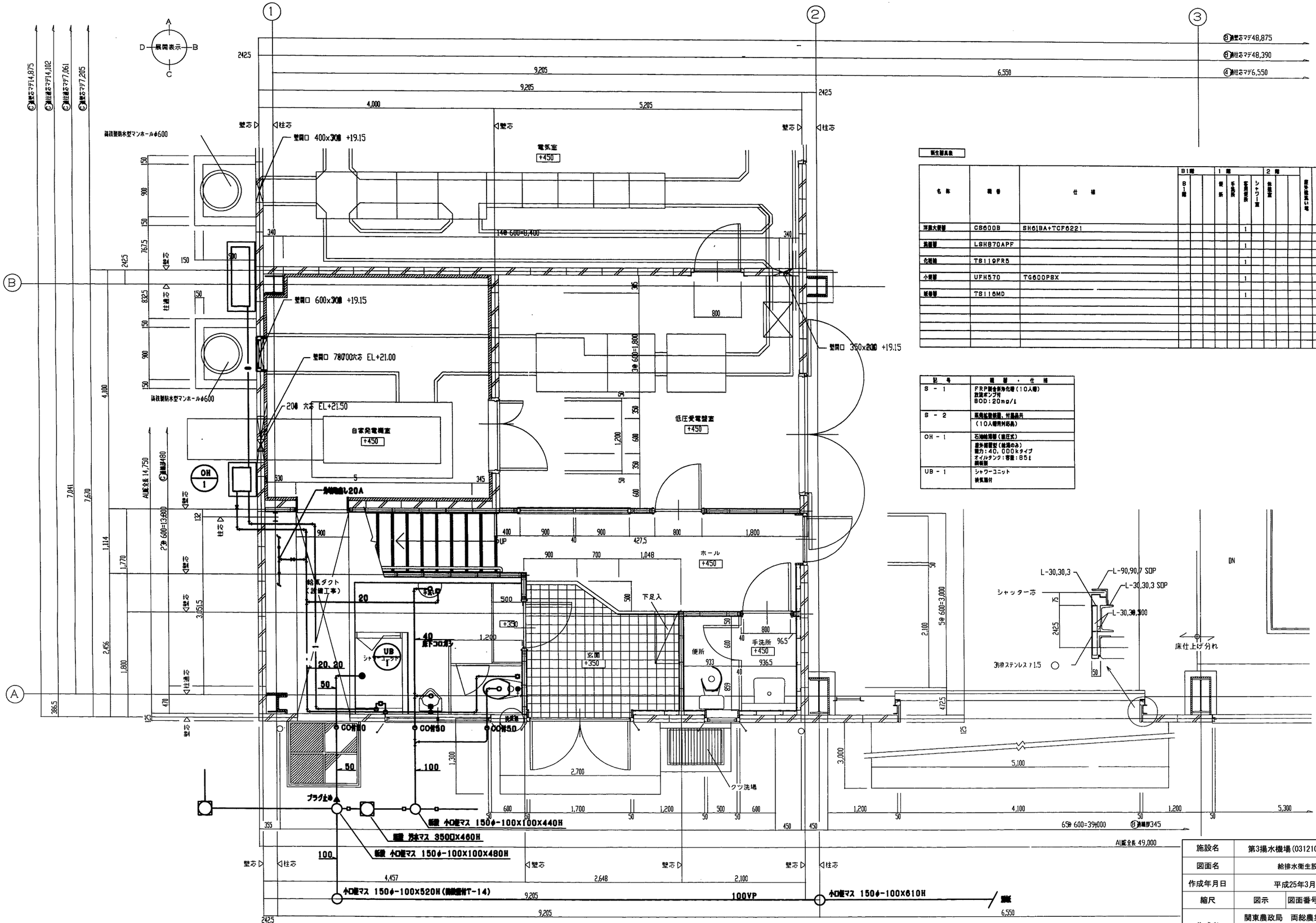


既設表層：再生密粒度ｱｽｺﾝ13
既設路盤：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40
既設路床

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	蕪木整備工図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-255/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	建築工事平面詳細図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-256/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		



衛生器具表

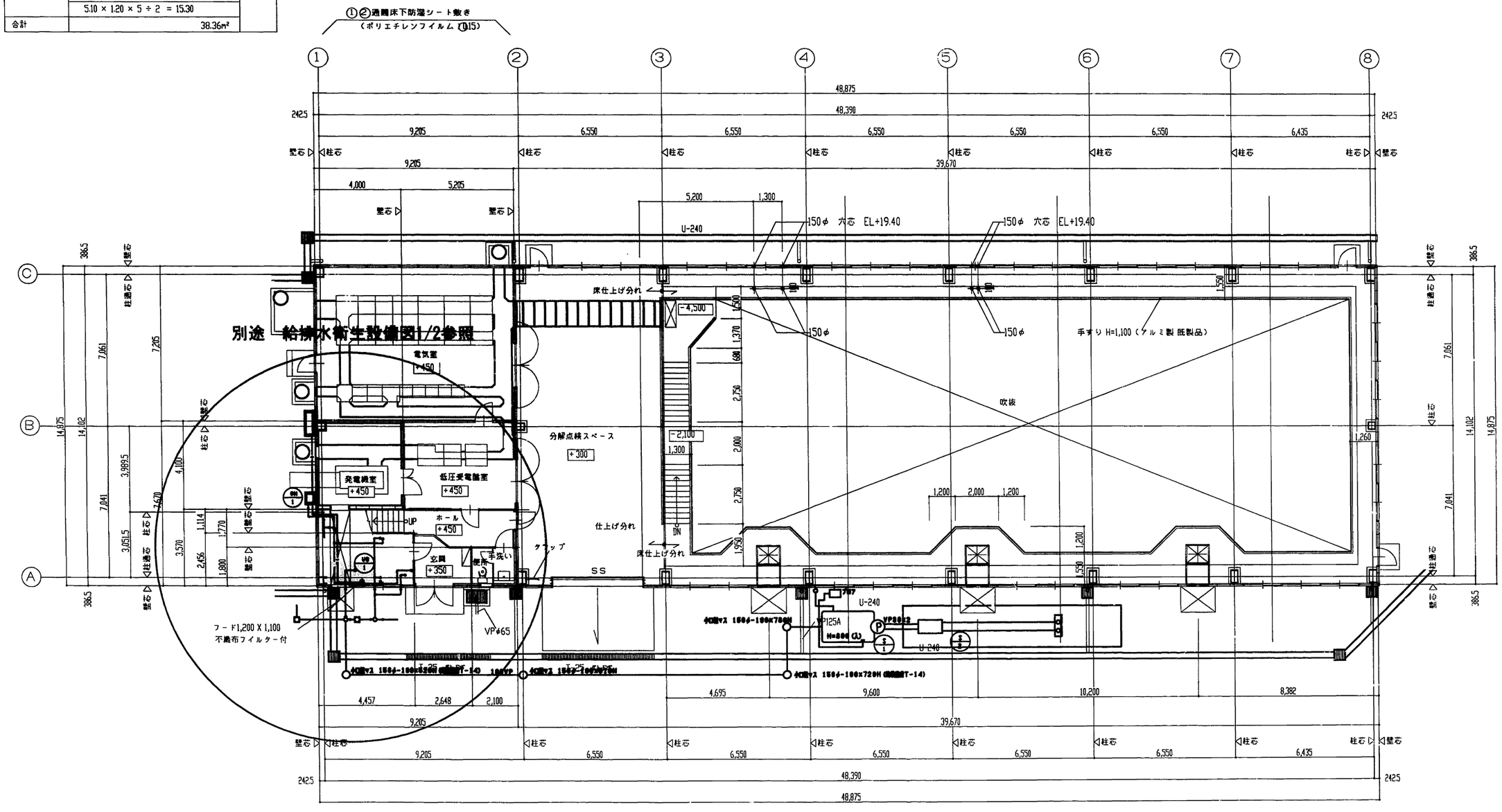
名称	機番	仕様	B1階 B一階	1階 便所	1階 手洗所	1階 給湯室前室	1階 シャワー室	2階 休憩室	屋外排水桝	合計
洋風大便器	CS600B	SH61BA+TCF6221				1				
洗面器	LSH870APF					1				
化粧台	TS119FR5					1				
小便器	UFH570	TG600PSX				1				
紙巻器	TS116MD					1				

記号	機器・仕様
S - 1	FRP製合併浄化槽（10人槽） 放流ポンプ付 BOD：20mg/l
S - 2	高機能散気装置、付属品共 （10人槽用対応品）
OH - 1	石油給湯器（直圧式） 屋外壁掛型（給湯のみ） 能力：40，000kタイプ オイルタンク：容量：85ℓ 鋼板製
UB - 1	シャワーユニット 換気扇付

施設名	第3揚水機場（0312100-1100-21）		
図面名	給排水衛生設備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-257/259
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

無窓階の判定		
1階床面積	384.20 ㎡	判定
必要開口面積	384.20 ÷ 30 = 12.80 ㎡	OK
有効開口面積	1.70 × 2.00 = 3.40	
	0.80 × 2.00 × 4 = 6.40	
	1.70 × 1.20 ÷ 2 = 1.02	
	3.40 × 1.20 × 6 ÷ 2 = 12.24	
	5.10 × 1.20 × 5 ÷ 2 = 15.30	
合計	38.36㎡	

階段	
階段巾	1,000
踏面	250
蹴上	200



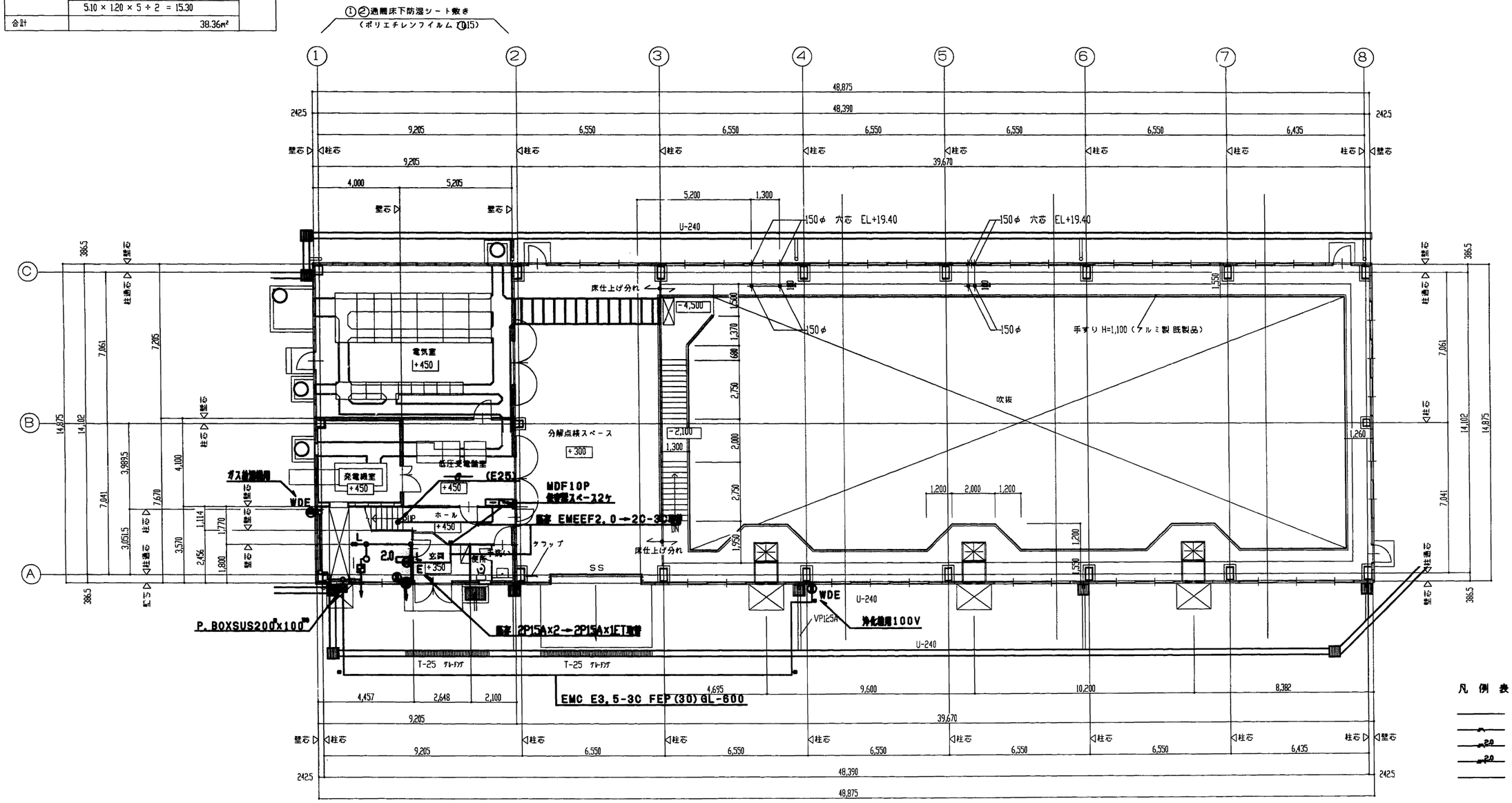
1階 平面図 S=1/100

註記
設計GL. EL+19.00
□ 内書入寸法は設計GLからの床高さを示す

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	給排水衛生設備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-258/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

無窓階の判定		
1階床面積	384.20 ㎡	判定
必要開口面積	384.20 ÷ 30 = 12.80 ㎡	OK
有効開口面積	1.70 × 2.00 = 3.40	
	0.80 × 2.00 × 4 = 6.40	
	1.70 × 1.20 ÷ 2 = 1.02	
	3.40 × 1.20 × 6 ÷ 2 = 12.24	
	5.10 × 1.20 × 5 ÷ 2 = 15.30	
合計	38.36㎡	

階段	
階段巾	1,000
踏面	250
蹴上	200



凡 例 表

- EM-IE1.6×2(E19)
- EM-IE1.6×3(E19)
- EM-IE2.0×3(E19)
- EM-IE2.0×4(E25)
- EM-EEF2.0-3C

1 階 平面図 S=1/100

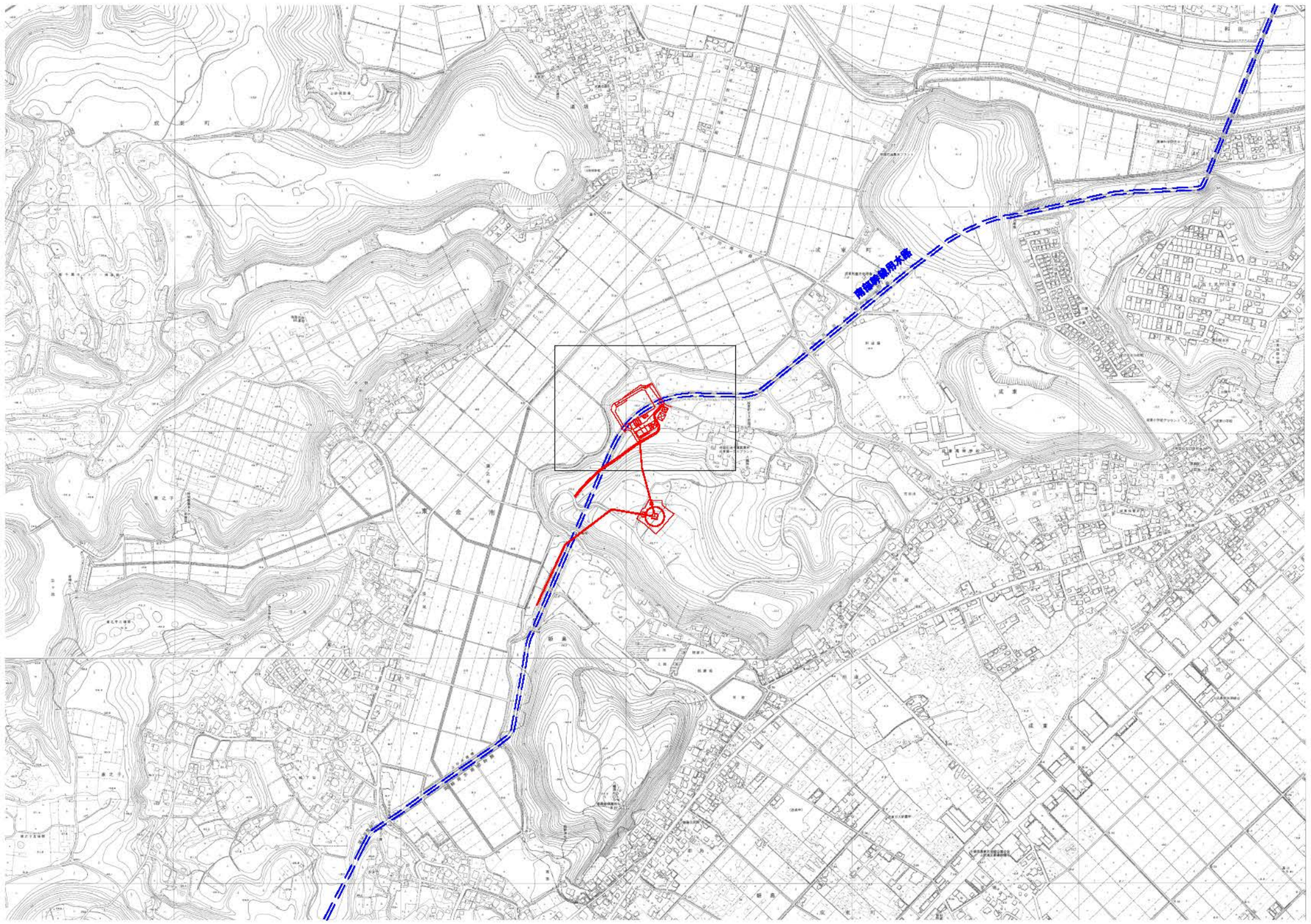
註 記

設計GL，EL＋19.00

□ 内書入寸法は設計GLからの床高さを示す

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	弱電設備図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	6-259/259
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

両総農業水利事業
第３揚水機場
図郭割図　縮尺 1:5,000



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	図郭割図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:5,000 A2 1:7,070	図面番号	4-1/1
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

座標一覧表

測点	X	Y
C172	-44304.839	50454.713
C192	-44349.331	50538.313
C196	-44386.160	50544.257
C197	-44376.171	50548.290
C231	-44419.527	50572.129
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50638.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50478.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.673
EK1	-44467.714	50539.024
H21	-44428.879	50658.305
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K122	-44443.446	50451.048
K123	-44449.958	50452.103
K124	-44480.095	50455.914
K125	-44471.511	50461.453
K137	-44437.780	50450.933
K138	-44428.688	50452.670
K139	-44414.092	50463.664
K140	-44403.850	50479.976
K141	-44397.338	50483.742
K162	-44275.403	50425.444
K163	-44275.800	50425.908
K200	-44389.419	50555.519
K202	-44405.889	50518.061
K203	-44407.126	50520.036
K244	-44406.704	50566.366
K252	-44411.242	50541.887
K253	-44427.203	50519.233
K254	-44415.971	50519.452
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44457.054	50478.887
K264	-44456.477	50478.644
K265	-44444.168	50482.882
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K270	-44421.254	50494.099
K271	-44412.402	50498.475
K272	-44410.179	50500.754
K273	-44397.209	50498.717
K274	-44402.992	50495.492
K275	-44416.906	50486.588
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.581	50462.859
K345	-44456.167	50561.887
K349	-44488.894	50548.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44496.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.950
KP1168	-44439.685	50588.690
KP1181	-44406.955	50513.762
KP1188	-44426.811	50472.086
KP1189	-44439.032	50465.068
KP1190	-44456.206	50463.822
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1192	-44427.053	50491.260
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1194	-44394.416	50551.920
KP1195	-44407.660	50557.136
KP1307	-44437.867	50592.642
KP142	-44388.798	50492.089
KP168	-44283.588	50429.665
KP172	-44305.000	50454.356
KP175	-44326.764	50479.454
KP176	-44335.201	50489.183
KP178	-44343.676	50498.957
KP201	-44392.269	50557.308
KP230	-44418.938	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP245	-44405.847	50565.703
KP249	-44432.119	50543.019

座標一覧表

測点	X	Y
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
NI89	-44347.657	50523.535
NI91	-44347.546	50537.622
NI90	-44346.700	50526.542
NP183	-44354.847	50511.839
NR1	-44351.890	50520.465
NR10	-44390.199	50553.746
NR11	-44392.998	50555.479
NR12	-44408.138	50563.614
NR13	-44419.592	50571.943
NR13	-44419.592	50571.943
NR2	-44350.771	50523.119
NR3	-44349.788	50528.067
NR4	-44350.858	50533.038
NR5	-44353.803	50537.157
NR6	-44358.141	50539.770
NR7	-44374.715	50545.598
NR8	-44379.958	50547.766
NR9	-44384.935	50550.487
P1	-44402.809	50512.811
P2	-44393.190	50528.575
SY1	-44282.733	50431.506
SY10	-44347.568	50505.954
SY11	-44348.583	50509.313
SY12	-44348.608	50512.543
SY13	-44346.556	50518.064
SY2	-44294.922	50445.690
SY3	-44304.111	50456.330
SY4	-44304.728	50456.734
SY5	-44325.889	50481.368
SY6	-44327.095	50481.425
SY7	-44334.681	50490.252
SY8	-44343.189	50499.994
SY81	-44271.409	50428.936
SY82	-44274.797	50429.170
SY9	-44345.800	50503.251

山武市成東

湯坂
字松ノ木

字南牧ノ谷

字西之台
(字西ノ台)

南部幹線用水路

字八幡台

第3揚水機場

字中津

字長蔵

東金市
家之子
字天野下

1 2 3 4

凡例

南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例

○	基準点
⊕	IP杭
○	NO杭
⊞	コンクリート杭
⊡	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
⊙	鋲み
●	計算点及び公図読取点
----	行政界
----	大字界
----	字界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	7-1/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山武市成東

字浅間台

字西之台
(字西ノ台)

南部幹線用水路

第3揚水機場

吐水槽

字八幡台

字広台
(字廣台)

南部幹線用水路

字上槻代

東金市
家之子

字天野下

座標一覧表

測点	X	Y
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50538.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50476.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.873
C375	-44570.384	50470.462
C568	-44681.411	50482.603
EK1	-44467.714	50539.024
H10	-44450.932	50634.190
H12	-44455.116	50643.612
H21	-44428.879	50658.305
H22	-44458.357	50649.112
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K244	-44406.704	50566.366
K253	-44427.203	50519.233
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44467.054	50478.887
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K308	-44456.190	50594.963
K330	-44525.670	50565.551
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K338	-44511.738	50570.437
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K345	-44456.167	50561.887
K346	-44465.341	50591.789
K347	-44482.922	50564.434
K349	-44468.894	50546.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K383	-44569.982	50444.180
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K573	-44671.741	50537.497
K574	-44671.182	50537.772
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.669	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44686.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50586.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50586.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646

座標一覧表

測点	X	Y
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.168
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.960
KP1168	-44439.885	50588.690
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1196	-44458.230	50594.255
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP1307	-44437.667	50592.642
KP230	-44418.538	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP249	-44432.119	50543.019
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761

座標一覧表

測点	X	Y
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.563
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803

座標一覧表

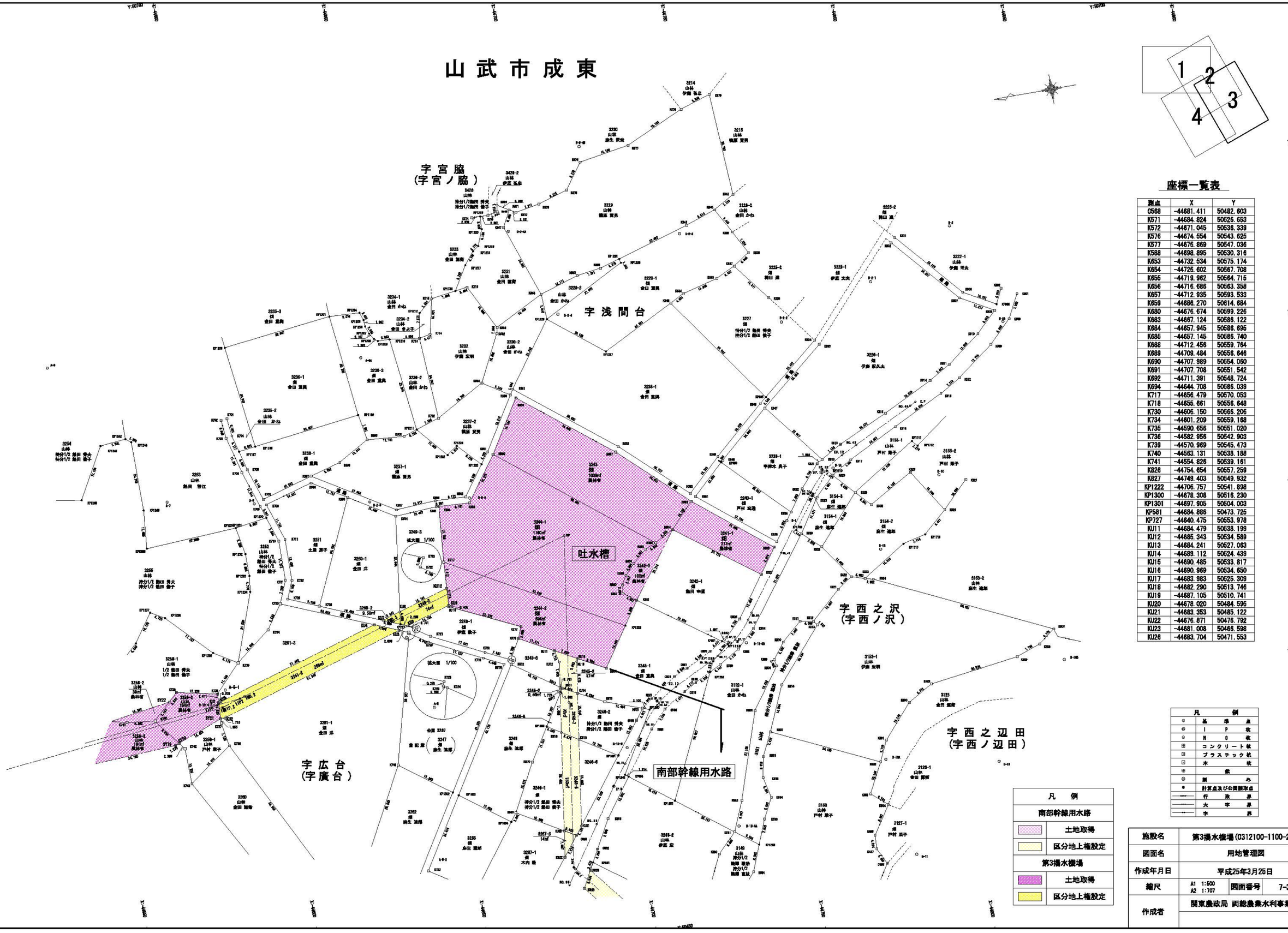
測点	X	Y
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.608	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575

凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例	
○	基準点
⊕	IP杭
⊙	NO杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
⊙	刻み
●	計算点及び公図読取点
———	行政界
———	大字界
———	字界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:600 A2 1:707	図面番号	7-2/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山武市成東



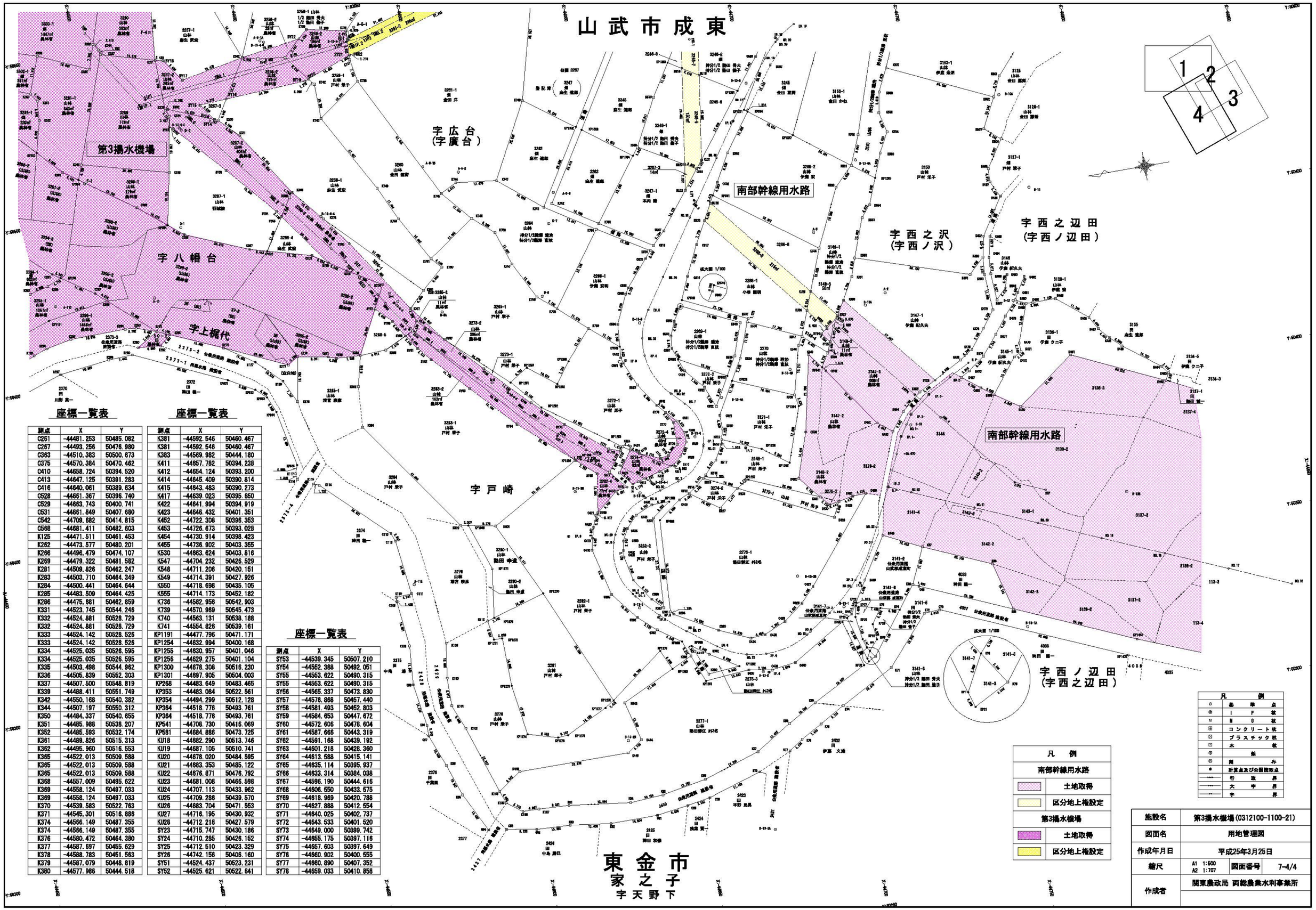
座標一覧表

測点	X	Y
C588	-44681.411	50482.603
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.869	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44688.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50588.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50585.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.168
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
K826	-44754.654	50557.259
K827	-44749.403	50549.932
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.553

凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例	
○	基準点
◎	IP 杭
○	NO 杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木 杭
⊕	鋲
⊙	鋲 み
●	計算点及び公図誤取点
———	行 政 界
———	大 字 界
———	字 界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:600 A2 1:707	図面番号	7-3/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



座標一覧表

測点	X	Y
C261	-44481.253	50485.062
C267	-44493.256	50476.980
C363	-44510.383	50500.673
C375	-44570.384	50470.462
C410	-44658.724	50394.520
C413	-44647.125	50391.283
C416	-44640.061	50389.634
C528	-44661.367	50396.740
C529	-44663.743	50400.741
C531	-44661.849	50407.680
C542	-44708.682	50414.815
C568	-44681.411	50482.603
K125	-44471.511	50461.453
K262	-44473.577	50480.201
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.681	50462.859
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518

座標一覧表

測点	X	Y
K381	-44592.546	50460.467
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K411	-44657.782	50394.238
K412	-44654.124	50393.200
K414	-44645.409	50390.814
K415	-44643.483	50390.273
K417	-44639.023	50395.650
K422	-44641.994	50394.919
K423	-44646.432	50401.351
K452	-44722.308	50396.353
K453	-44726.673	50393.028
K454	-44730.914	50398.423
K455	-44736.902	50403.365
K530	-44863.624	50403.816
K547	-44704.232	50426.529
K548	-44711.206	50420.151
K549	-44714.391	50427.926
K550	-44718.698	50435.105
K555	-44714.173	50452.182
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1191	-44477.795	50471.171
KP1254	-44632.994	50400.168
KP1255	-44630.957	50401.046
KP1256	-44629.275	50401.104
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP268	-44483.649	50483.465
KP353	-44483.064	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761
KP541	-44706.730	50416.069
KP581	-44684.886	50473.725
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44883.353	50485.122
KU22	-44876.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU24	-44707.113	50433.962
KU25	-44709.286	50439.570
KU26	-44683.704	50471.563
KU27	-44716.195	50430.932
KU28	-44712.218	50427.579
SY23	-44715.747	50430.186
SY24	-44710.285	50426.152
SY25	-44712.510	50423.329
SY26	-44742.156	50406.160
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641

座標一覧表

測点	X	Y
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.606	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY64	-44613.588	50415.141
SY65	-44635.114	50395.937
SY66	-44633.314	50384.038
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575
SY69	-44618.969	50420.788
SY70	-44627.888	50412.554
SY71	-44640.025	50402.737
SY72	-44643.533	50401.520
SY73	-44649.000	50399.742
SY74	-44655.175	50397.116
SY75	-44657.603	50397.649
SY76	-44660.902	50400.555
SY77	-44660.890	50407.352
SY78	-44659.033	50410.858

凡　例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡　例	
○	基　準　点
◎	I　P　杭
◎	N　O　杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
⊡	木　　杭
⊕	鋲
⊙	鋲　　み
●	計算点及び公図測取点
----	行　政　界
----	大　字　界
----	字　　界

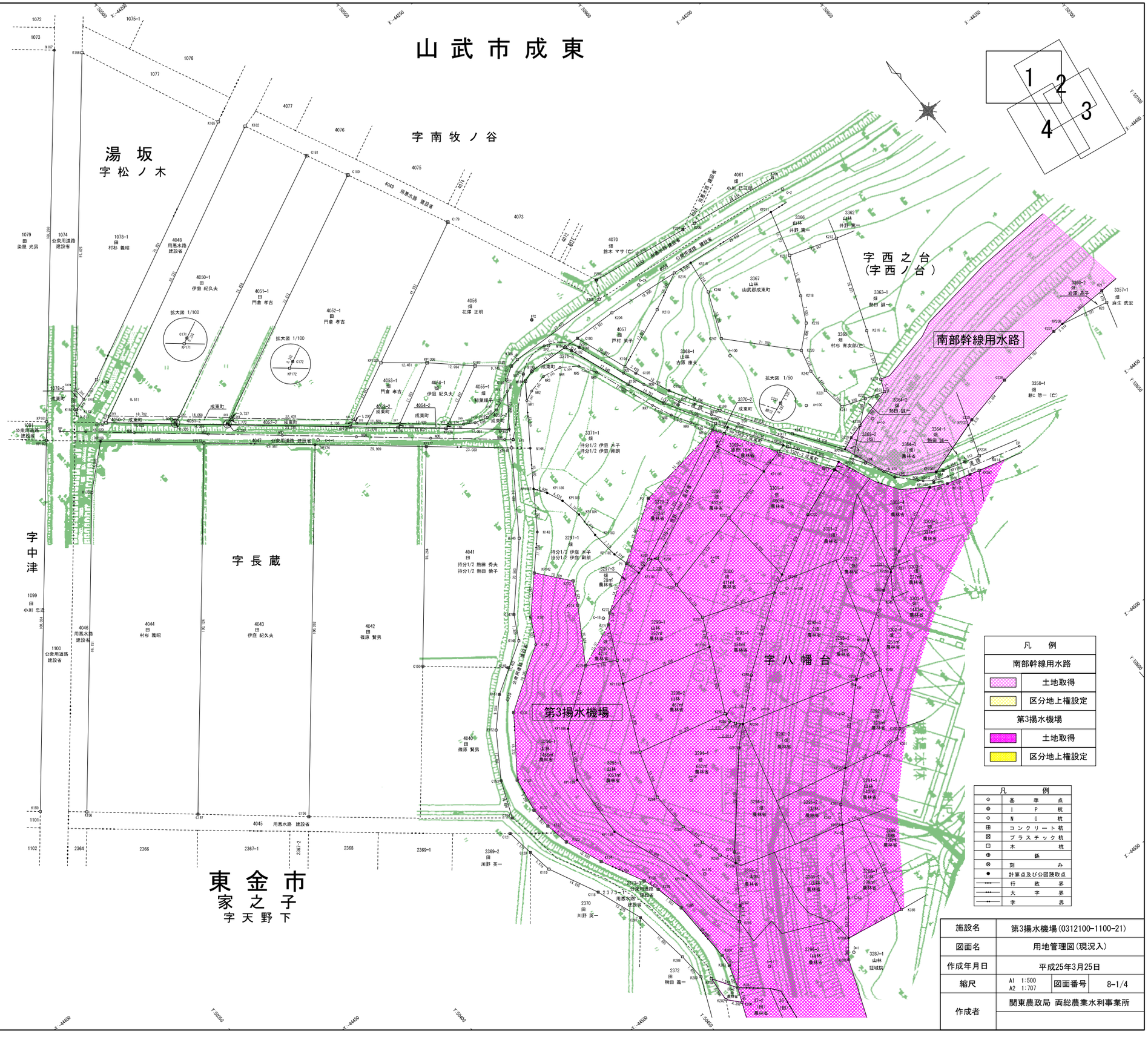
施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:500 A2　1:707	図面番号	7-4/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

座標一覧表

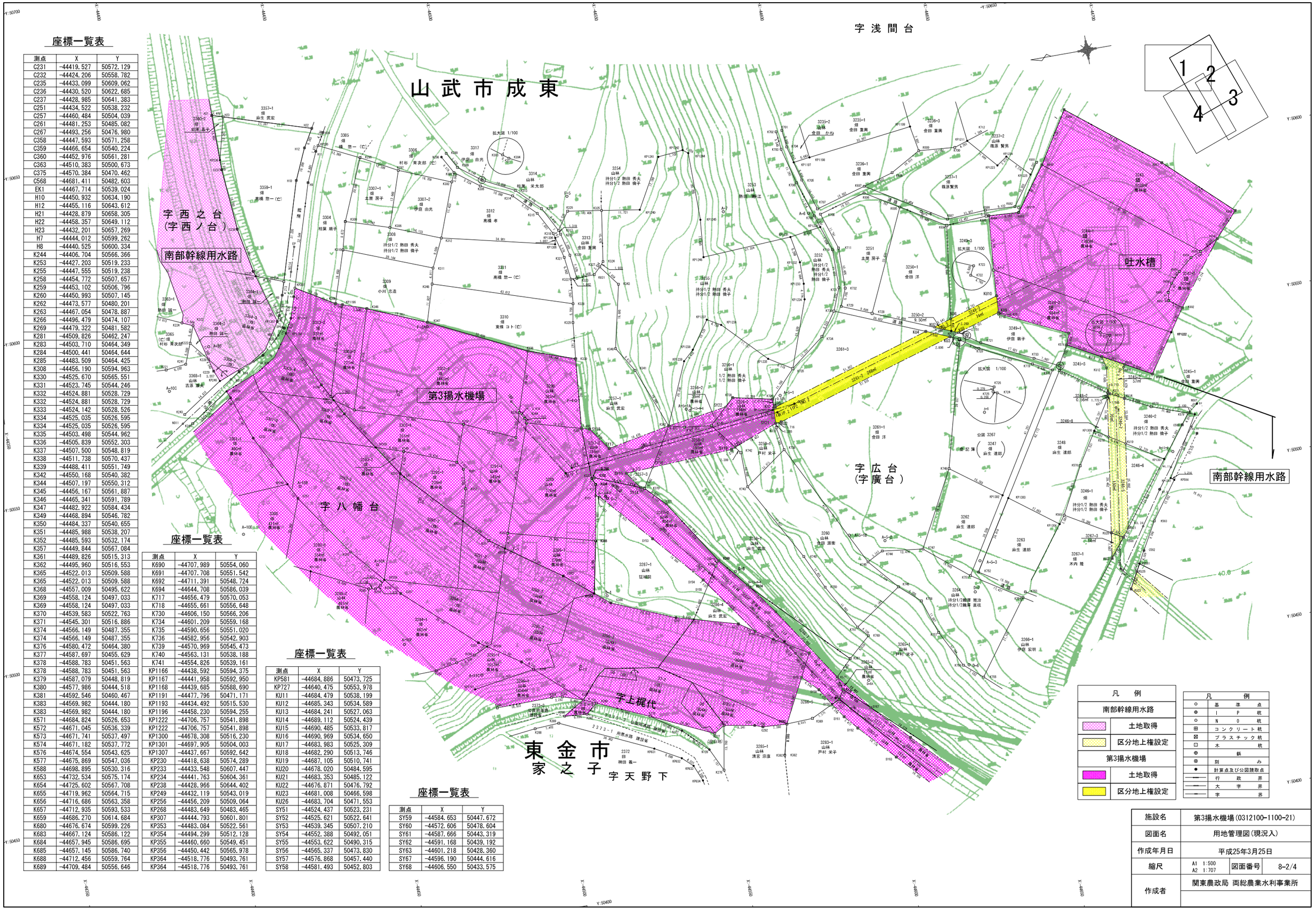
測点	X	Y
C172	-44304.839	50454.713
C192	-44349.331	50538.313
C196	-44366.160	50544.257
C197	-44376.171	50548.290
C231	-44419.527	50572.129
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50538.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50476.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.673
EK1	-44467.714	50539.024
H21	-44428.879	50658.305
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K122	-44443.446	50451.048
K123	-44449.958	50452.103
K124	-44460.095	50455.914
K125	-44471.511	50461.453
K137	-44437.780	50450.933
K138	-44428.688	50452.670
K139	-44414.092	50463.664
K140	-44403.850	50479.976
K141	-44397.338	50483.742
K162	-44275.403	50425.444
K163	-44275.800	50425.908
K200	-44389.419	50555.519
K202	-44405.889	50518.061
K203	-44407.126	50520.036
K244	-44406.704	50566.366
K252	-44411.242	50541.887
K253	-44427.203	50519.233
K254	-44415.971	50519.452
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44467.054	50478.887
K264	-44456.477	50478.644
K265	-44444.168	50482.882
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K270	-44421.254	50494.099
K271	-44412.402	50498.475
K272	-44410.179	50500.754
K273	-44397.209	50498.717
K274	-44402.992	50495.492
K275	-44416.908	50486.588
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.681	50462.859
K345	-44456.167	50561.887
K349	-44468.894	50546.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.950
KP1168	-44439.685	50588.690
KP1181	-44406.955	50513.762
KP1188	-44426.811	50472.086
KP1189	-44439.032	50465.068
KP1190	-44456.206	50463.822
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1192	-44427.053	50491.260
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1194	-44394.416	50551.920
KP1195	-44407.660	50557.136
KP1307	-44437.667	50592.642
KP142	-44388.798	50492.089
KP168	-44283.588	50429.665
KP172	-44305.000	50454.356
KP175	-44326.764	50479.454
KP176	-44335.201	50489.183
KP178	-44343.676	50498.957
KP201	-44392.269	50557.308
KP230	-44418.638	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP245	-44405.647	50565.703
KP249	-44432.119	50543.019

座標一覧表

測点	X	Y
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
M189	-44347.657	50523.535
M191	-44347.546	50537.622
N190	-44346.700	50526.542
NP183	-44354.847	50511.839
NR1	-44351.890	50520.465
NR10	-44390.199	50553.746
NR11	-44392.998	50555.479
NR12	-44406.138	50563.614
NR13	-44419.592	50571.943
NR13	-44419.592	50571.943
NR2	-44350.771	50523.119
NR3	-44349.788	50528.087
NR4	-44350.858	50533.038
NR5	-44353.803	50537.157
NR6	-44358.141	50539.770
NR7	-44374.715	50545.598
NR8	-44379.958	50547.766
NR9	-44384.935	50550.487
P1	-44402.809	50512.811
P2	-44393.190	50528.575
SY1	-44282.733	50431.506
SY10	-44347.568	50505.954
SY11	-44348.583	50509.313
SY12	-44348.608	50512.543
SY13	-44346.556	50518.064
SY2	-44294.922	50445.690
SY3	-44304.111	50456.330
SY4	-44304.728	50456.734
SY5	-44325.889	50481.368
SY6	-44327.095	50481.425
SY7	-44334.681	50490.252
SY8	-44343.189	50499.994
SY81	-44271.409	50428.936
SY82	-44274.797	50429.170
SY9	-44345.800	50503.251



施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図(現況入)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	8-1/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



座標一覧表

測点	X	Y
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50538.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50476.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.673
C375	-44570.384	50470.462
C568	-44681.411	50482.603
EK1	-44467.714	50539.024
H10	-44450.932	50634.190
H12	-44455.116	50643.612
H21	-44428.879	50658.305
H22	-44458.357	50649.112
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K244	-44406.704	50566.366
K253	-44427.203	50519.233
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44467.054	50478.887
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K308	-44456.190	50594.963
K330	-44525.670	50565.551
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K338	-44511.738	50570.437
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K345	-44456.167	50561.887
K346	-44465.341	50591.789
K347	-44482.922	50584.434
K349	-44468.894	50546.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K383	-44569.982	50444.180
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K573	-44671.741	50537.497
K574	-44671.182	50537.772
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.869	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44686.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50586.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50586.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646

座標一覧表

測点	X	Y
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.168
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.950
KP1168	-44439.685	50588.690
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1196	-44458.230	50594.255
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP1307	-44437.667	50592.642
KP230	-44418.638	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP249	-44432.119	50543.019
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761

座標一覧表

測点	X	Y
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.553
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803

座標一覧表

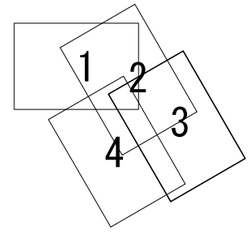
測点	X	Y
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.606	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575

凡例
南部幹線用水路
土地取得
区分地上権設定
第3揚水機場
土地取得
区分地上権設定

凡例	
○	基準点
⊕	IP杭
○	N0杭
田	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
⊗	刻み
●	計算点及び公図境界点
----	行政界
----	大字界
----	字界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図(現況入)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	8-2/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山 武 市 成 東



座標一覧表

測点	X	Y
C568	-44681.411	50482.603
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.869	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44686.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50586.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50586.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.168
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
K826	-44754.654	50557.259
K827	-44749.403	50549.932
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.553

字宮脇
(字宮ノ脇)

字浅間台

吐水槽

南部幹線用水路

字西之沢
(字西ノ沢)

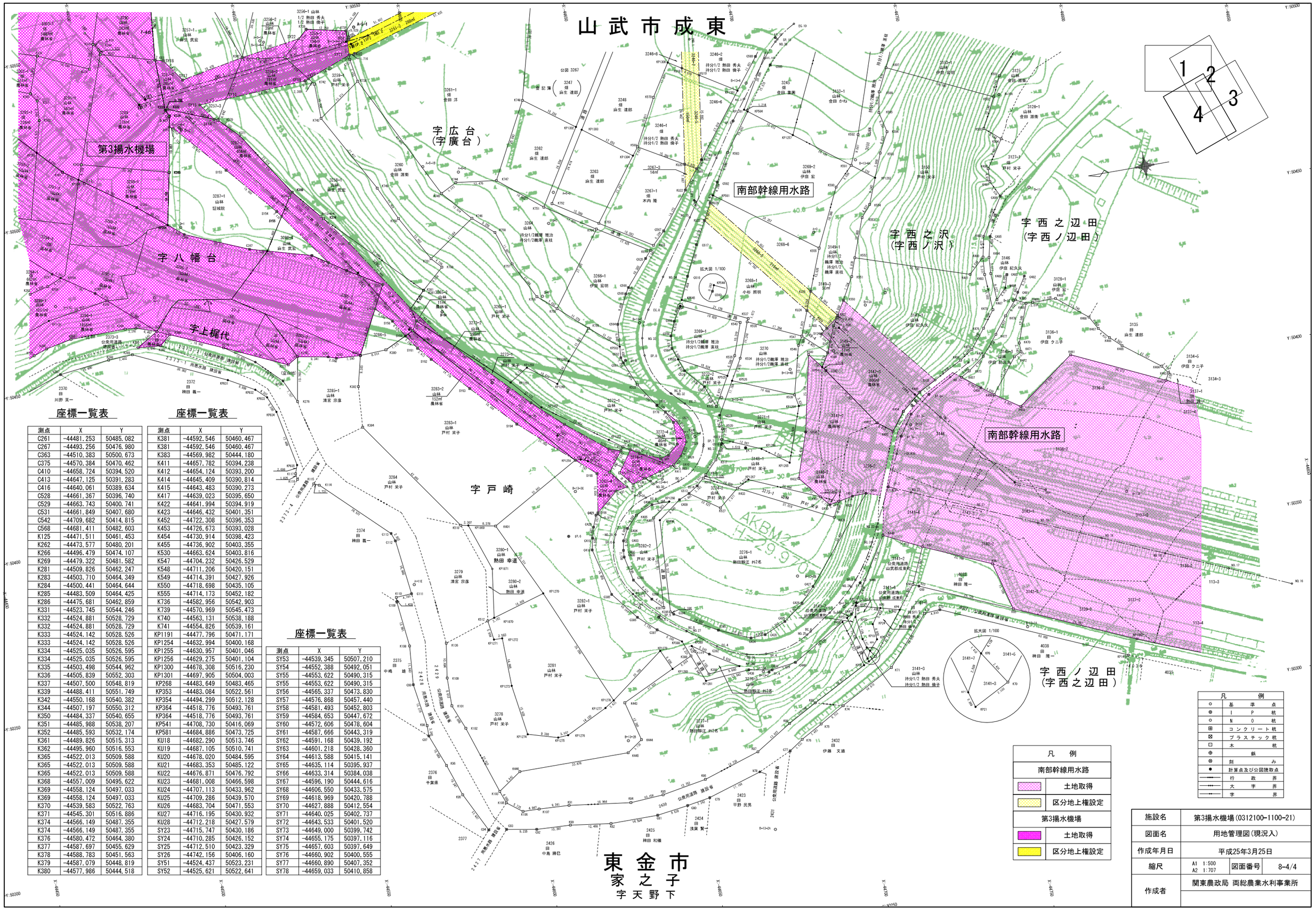
字西之辺田
(字西ノ辺田)

字広台
(字廣台)

凡　例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡　例		
○	基	準　点
◎	I	P　杭
○	N	0　杭
田	コンクリート杭	
⊠	プラスチック杭	
□	木	杭
⊕	鋲	
⊗	刻	み
●	計算点及び公図読取点	
----	行	政　界
-·-·-	大	字　界
-··-	字	界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図(現況入)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	8-3/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



座標一覧表

測点	X	Y
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50476.980
C363	-44510.383	50500.673
C375	-44570.384	50470.462
C410	-44658.724	50394.520
C413	-44647.125	50391.283
C416	-44640.061	50389.634
C528	-44661.367	50396.740
C529	-44663.743	50400.741
C531	-44661.849	50407.680
C542	-44709.682	50414.815
C568	-44681.411	50482.603
K125	-44471.511	50461.453
K262	-44473.577	50480.201
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.681	50462.859
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518

座標一覧表

測点	X	Y
K381	-44592.546	50460.467
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K411	-44657.782	50394.238
K412	-44654.124	50393.200
K414	-44645.409	50390.814
K415	-44643.483	50390.273
K417	-44639.023	50395.650
K422	-44641.994	50394.919
K423	-44646.432	50401.351
K452	-44722.308	50396.353
K453	-44726.673	50393.028
K454	-44730.914	50398.423
K455	-44736.902	50403.355
K530	-44663.624	50403.816
K547	-44704.232	50426.529
K548	-44711.206	50420.151
K549	-44714.391	50427.926
K550	-44718.698	50435.105
K555	-44714.173	50452.182
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1254	-44632.994	50400.168
KP1255	-44630.957	50401.046
KP1256	-44629.275	50401.104
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP268	-44483.649	50483.465
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761
KP541	-44708.730	50416.069
KP581	-44684.886	50473.725
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU24	-44707.113	50433.962
KU25	-44709.286	50439.570
KU26	-44683.704	50471.553
KU27	-44716.195	50430.932
KU28	-44712.218	50427.579
SY23	-44715.747	50430.186
SY24	-44710.285	50426.152
SY25	-44712.510	50423.329
SY26	-44742.156	50406.160
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641

座標一覧表

測点	X	Y
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.606	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY64	-44613.588	50415.141
SY65	-44635.114	50395.937
SY66	-44633.314	50384.038
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575
SY69	-44618.969	50420.788
SY70	-44627.888	50412.554
SY71	-44640.025	50402.737
SY72	-44643.533	50401.520
SY73	-44649.000	50399.742
SY74	-44655.175	50397.116
SY75	-44657.603	50397.649
SY76	-44660.902	50400.555
SY77	-44660.890	50407.352
SY78	-44659.033	50410.858

凡例	
○	基準点
⊕	IP杭
○	N0杭
田	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
⊗	刻み
●	計算点及び公図読取点
▪▪▪▪	行政界
▪▪▪▪	大字界
▪▪▪▪	字界

凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地管理図(現況入)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	8-4/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

座標一覧表

測点	X	Y
C172	-44304.839	50454.713
C192	-44349.331	50538.313
C196	-44386.160	50544.257
C197	-44376.171	50548.290
C231	-44419.527	50572.129
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50638.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50478.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.673
EK1	-44467.714	50539.024
H21	-44428.879	50658.305
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K122	-44443.446	50451.048
K123	-44449.958	50452.103
K124	-44480.095	50455.914
K125	-44471.511	50461.453
K137	-44437.780	50450.933
K138	-44428.688	50452.670
K139	-44414.092	50463.664
K140	-44403.850	50479.976
K141	-44397.338	50483.742
K162	-44275.403	50425.444
K163	-44275.800	50425.908
K200	-44389.419	50555.519
K202	-44405.889	50518.061
K203	-44407.126	50520.036
K244	-44406.704	50566.366
K252	-44411.242	50541.887
K253	-44427.203	50519.233
K254	-44415.971	50519.452
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44457.054	50478.887
K264	-44456.477	50478.644
K265	-44444.168	50482.882
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K270	-44421.254	50494.099
K271	-44412.402	50498.475
K272	-44410.179	50500.754
K273	-44397.209	50498.717
K274	-44402.992	50495.492
K275	-44416.906	50486.588
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.581	50462.859
K345	-44456.167	50561.887
K349	-44488.894	50548.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44496.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.950
KP1168	-44439.685	50588.690
KP1181	-44406.955	50513.762
KP1188	-44426.811	50472.086
KP1189	-44439.032	50465.068
KP1190	-44456.206	50463.822
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1192	-44427.053	50491.260
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1194	-44394.416	50551.920
KP1195	-44407.660	50557.136
KP1307	-44437.867	50592.642
KP142	-44388.798	50492.089
KP168	-44283.588	50429.665
KP172	-44305.000	50454.356
KP175	-44326.764	50479.454
KP176	-44335.201	50489.183
KP178	-44343.676	50498.957
KP201	-44392.269	50557.308
KP230	-44418.938	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP245	-44405.847	50565.703
KP249	-44432.119	50543.019

座標一覧表

測点	X	Y
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
NI89	-44347.657	50523.535
NI91	-44347.546	50537.622
NI90	-44346.700	50526.542
NP183	-44354.847	50511.839
NR1	-44351.890	50520.465
NR10	-44390.199	50553.746
NR11	-44392.998	50555.479
NR12	-44408.138	50563.614
NR13	-44419.592	50571.943
NR13	-44419.592	50571.943
NR2	-44350.771	50523.119
NR3	-44349.788	50528.067
NR4	-44350.858	50533.038
NR5	-44353.803	50537.157
NR6	-44358.141	50539.770
NR7	-44374.715	50545.598
NR8	-44379.958	50547.766
NR9	-44384.935	50550.487
P1	-44402.809	50512.811
P2	-44393.190	50528.575
SY1	-44282.733	50431.506
SY10	-44347.568	50505.954
SY11	-44348.583	50509.313
SY12	-44348.608	50512.543
SY13	-44346.556	50518.064
SY2	-44294.922	50445.690
SY3	-44304.111	50456.330
SY4	-44304.728	50456.734
SY5	-44325.889	50481.368
SY6	-44327.095	50481.425
SY7	-44334.681	50490.252
SY8	-44343.189	50499.994
SY81	-44271.409	50428.936
SY82	-44274.797	50429.170
SY9	-44345.800	50503.251

山武市成東

湯坂
字松ノ木

字南牧ノ谷

字長蔵

字中津

東金市
家之子
字天野下

字西之台
(字西ノ台)

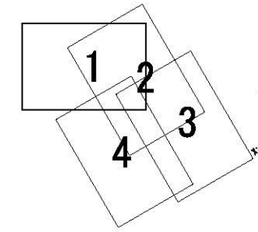
字八幡台

南部幹線用水路

第3揚水機場

拡大図 1/100

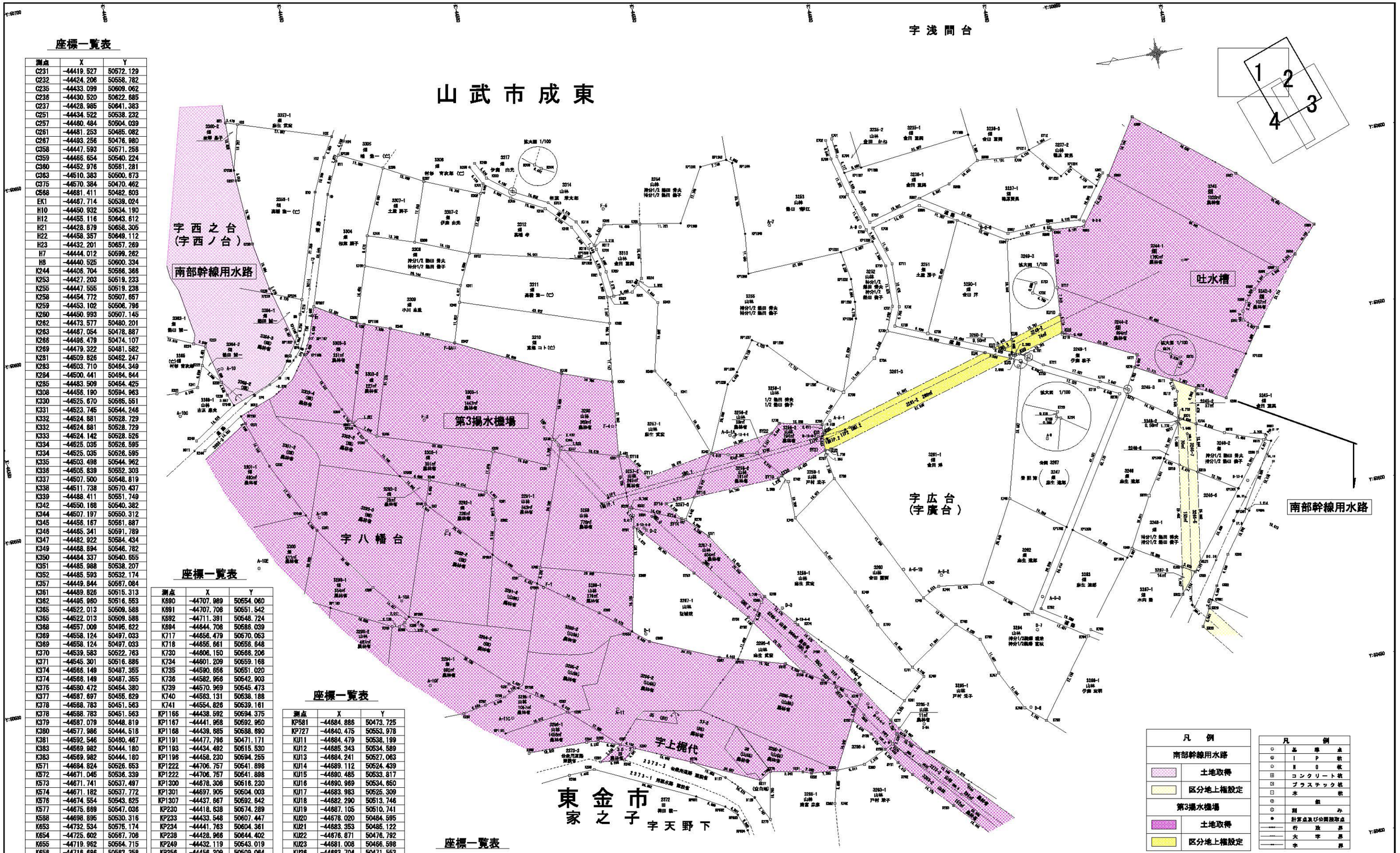
拡大図 1/50



凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例	
○	基準点
⊕	IP杭
○	NO杭
⊞	コンクリート杭
⊡	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
⊙	鋲み
●	計算点及び公図読取点
----	行政界
----	大字界
----	字界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地境界標識設置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	9-1/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



座標一覧表

測点	X	Y
C231	-44419.527	50572.129
C232	-44424.206	50558.782
C235	-44433.099	50609.062
C236	-44430.520	50622.685
C237	-44428.985	50641.383
C251	-44434.522	50538.232
C257	-44460.484	50504.039
C261	-44481.253	50485.082
C267	-44493.256	50476.980
C358	-44447.593	50571.258
C359	-44466.654	50540.224
C360	-44452.976	50561.281
C363	-44510.383	50500.873
C375	-44570.384	50470.462
C568	-44681.411	50482.603
EK1	-44467.714	50539.024
H10	-44450.932	50634.190
H12	-44455.116	50643.612
H21	-44428.879	50658.305
H22	-44458.357	50649.112
H23	-44432.201	50657.269
H7	-44444.012	50599.262
H8	-44440.525	50600.334
K244	-44406.704	50566.366
K253	-44427.203	50519.233
K255	-44447.555	50519.238
K258	-44454.772	50507.657
K259	-44453.102	50506.796
K260	-44450.993	50507.145
K262	-44473.577	50480.201
K263	-44467.054	50478.887
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K308	-44456.190	50594.963
K330	-44525.670	50565.551
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K338	-44511.738	50570.437
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K345	-44456.167	50561.887
K346	-44465.341	50591.789
K347	-44482.922	50564.434
K349	-44468.894	50546.782
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K357	-44449.844	50567.084
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K383	-44569.982	50444.180
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K573	-44671.741	50537.497
K574	-44671.182	50537.772
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.669	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44686.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50586.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50586.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646

座標一覧表

測点	X	Y
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.168
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1166	-44438.592	50594.375
KP1167	-44441.958	50592.960
KP1168	-44439.885	50588.690
KP1191	-44477.796	50471.171
KP1193	-44434.492	50515.530
KP1196	-44458.230	50594.255
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP1307	-44437.667	50592.642
KP230	-44418.538	50574.289
KP233	-44433.548	50607.447
KP234	-44441.763	50604.361
KP238	-44428.966	50644.402
KP249	-44432.119	50543.019
KP256	-44456.209	50509.064
KP268	-44483.649	50483.465
KP307	-44444.793	50601.801
KP353	-44483.084	50522.561
KP354	-44494.299	50512.128
KP355	-44460.660	50549.451
KP356	-44450.442	50565.978
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761

座標一覧表

測点	X	Y
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.563
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803

座標一覧表

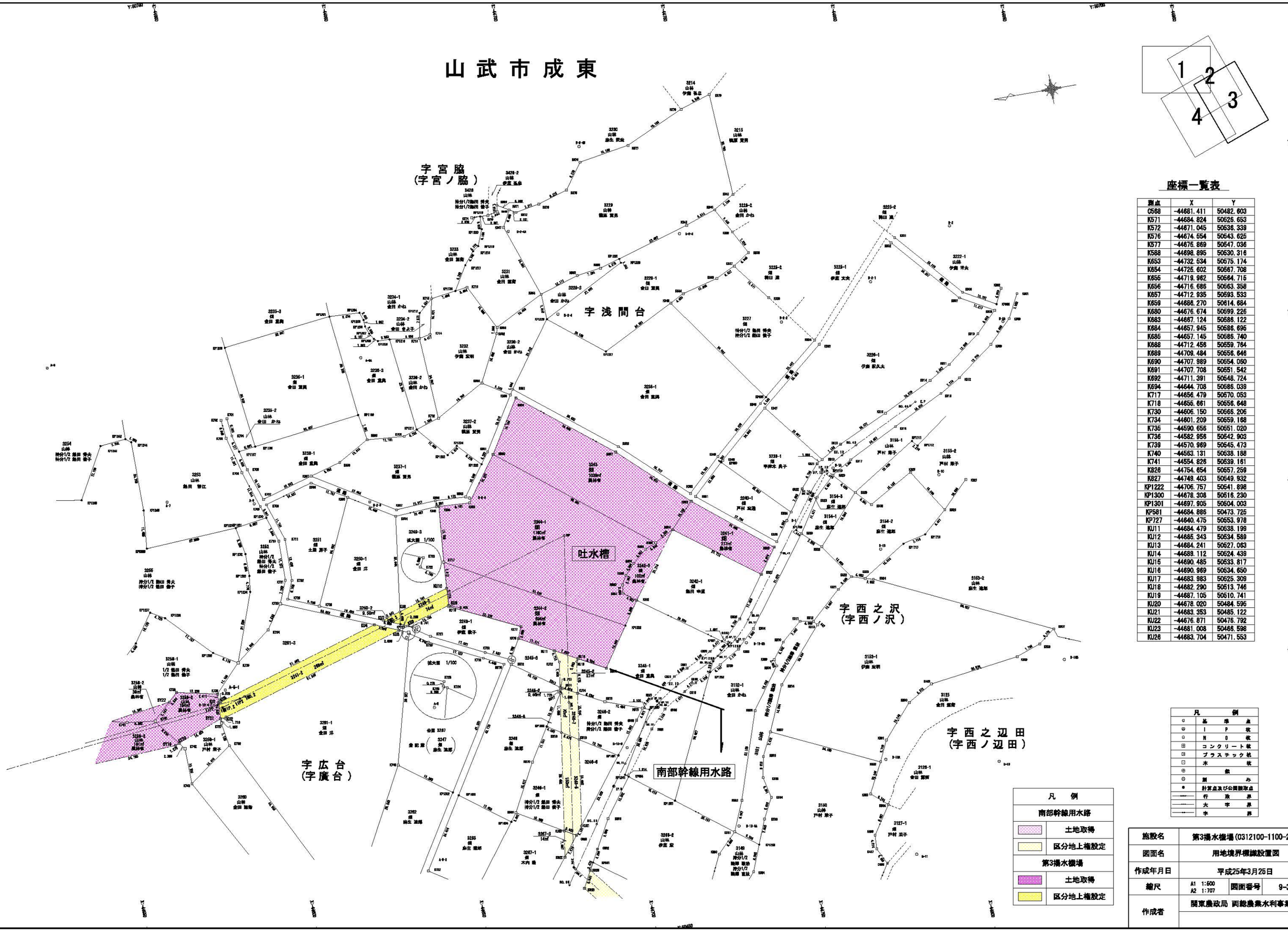
測点	X	Y
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.608	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575

凡　例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡　例	
○	基　準　点
⊕	Ⅰ　Ｐ　杭
⊙	Ⅱ　Ｏ　杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木　　杭
⊕	鋲
⊙	刻　　み
●	計算点及び公図読取点
----	行　政　界
----	大　字　界
----	字　　界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地境界標識設置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1　1:600 A2　1:707	図面番号	9-2/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山武市成東



座標一覧表

測点	X	Y
C588	-44681.411	50482.603
K571	-44684.824	50526.653
K572	-44671.045	50536.339
K576	-44674.554	50543.625
K577	-44675.869	50547.036
K588	-44698.895	50530.316
K653	-44732.534	50575.174
K654	-44725.602	50567.708
K655	-44719.962	50564.715
K656	-44716.686	50563.358
K657	-44712.935	50593.533
K659	-44688.270	50614.684
K680	-44676.674	50599.226
K683	-44667.124	50588.122
K684	-44657.945	50586.695
K685	-44657.145	50585.740
K688	-44712.456	50559.764
K689	-44709.484	50556.646
K690	-44707.989	50554.060
K691	-44707.708	50551.542
K692	-44711.391	50548.724
K694	-44644.708	50586.039
K717	-44656.479	50570.053
K718	-44655.661	50556.648
K730	-44606.150	50566.206
K734	-44601.209	50559.188
K735	-44590.656	50551.020
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
K826	-44754.654	50557.259
K827	-44749.403	50549.932
KP1222	-44706.757	50541.898
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44697.905	50504.003
KP581	-44684.886	50473.725
KP727	-44640.475	50553.978
KU11	-44684.479	50538.199
KU12	-44685.343	50534.589
KU13	-44684.241	50527.063
KU14	-44689.112	50524.439
KU15	-44690.485	50533.817
KU16	-44690.969	50534.650
KU17	-44683.983	50525.309
KU18	-44682.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44683.353	50485.122
KU22	-44676.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU26	-44683.704	50471.553

凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例	
○	基準点
⊕	IP杭
○	NO杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
□	木杭
⊕	鋲
◎	鋲み
●	計算点及び公図誌取点
------	行政界
------	大字界
------	字界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地境界標識設置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:600 A2 1:707	図面番号	9-3/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山武市成東

東金市
家之子
字天野下

字広台
(字廣台)

字八幡台

字上梶代

字戸崎

字西之沢
(字西ノ沢)

字西之辺田
(字西ノ辺田)

字西ノ辺田
(字西之辺田)

第3揚水機場

南部幹線用水路

南部幹線用水路

1 2 3 4

座標一覧表

測点	X	Y
C261	-44481.253	50485.062
C267	-44493.256	50476.980
C363	-44510.383	50500.673
C375	-44570.384	50470.462
C410	-44658.724	50394.520
C413	-44647.125	50391.283
C416	-44640.061	50389.634
C528	-44661.367	50396.740
C529	-44663.743	50400.741
C531	-44661.849	50407.680
C542	-44708.682	50414.815
C568	-44681.411	50482.603
K125	-44471.511	50461.453
K262	-44473.577	50480.201
K266	-44496.479	50474.107
K269	-44479.322	50481.582
K281	-44509.826	50462.247
K283	-44503.710	50464.349
K284	-44500.441	50464.644
K285	-44483.509	50464.425
K286	-44475.681	50462.859
K331	-44523.745	50544.246
K332	-44524.881	50528.729
K332	-44524.881	50528.729
K333	-44524.142	50528.526
K333	-44524.142	50528.526
K334	-44525.035	50526.595
K334	-44525.035	50526.595
K335	-44503.498	50544.962
K336	-44505.839	50552.303
K337	-44507.500	50548.819
K339	-44488.411	50551.749
K342	-44550.168	50540.382
K344	-44507.197	50550.312
K350	-44484.337	50540.655
K351	-44485.988	50538.207
K352	-44485.593	50532.174
K361	-44489.826	50515.313
K362	-44495.960	50516.553
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K365	-44522.013	50509.588
K368	-44557.009	50495.622
K369	-44558.124	50497.033
K369	-44558.124	50497.033
K370	-44539.583	50522.763
K371	-44545.301	50516.886
K374	-44566.149	50487.355
K374	-44566.149	50487.355
K376	-44580.472	50464.380
K377	-44587.697	50455.629
K378	-44588.783	50451.563
K379	-44587.079	50448.819
K380	-44577.986	50444.518

座標一覧表

測点	X	Y
K381	-44592.546	50460.467
K381	-44592.546	50460.467
K383	-44569.982	50444.180
K411	-44657.782	50394.238
K412	-44654.124	50393.200
K414	-44645.409	50390.814
K415	-44643.483	50390.273
K417	-44639.023	50395.650
K422	-44641.994	50394.919
K423	-44646.432	50401.351
K452	-44722.308	50396.353
K453	-44726.673	50393.028
K454	-44730.914	50398.423
K455	-44736.902	50403.365
K530	-44863.624	50403.816
K547	-44704.232	50426.529
K548	-44711.206	50420.151
K549	-44714.391	50427.926
K550	-44718.698	50435.105
K555	-44714.173	50452.182
K736	-44582.956	50542.903
K739	-44570.969	50545.473
K740	-44563.131	50538.188
K741	-44554.826	50539.161
KP1191	-44477.795	50471.171
KP1254	-44632.994	50400.168
KP1255	-44630.957	50401.046
KP1256	-44629.275	50401.104
KP1300	-44678.308	50516.230
KP1301	-44897.905	50504.003
KP268	-44883.649	50483.465
KP353	-44883.064	50522.561
KP354	-44894.299	50512.128
KP364	-44518.776	50493.761
KP364	-44518.776	50493.761
KP541	-44706.730	50416.069
KP581	-44684.886	50473.725
KU18	-44882.290	50513.746
KU19	-44687.105	50510.741
KU20	-44678.020	50484.595
KU21	-44883.353	50485.122
KU22	-44876.871	50476.792
KU23	-44681.008	50466.598
KU24	-44707.113	50433.962
KU25	-44709.286	50439.570
KU26	-44683.704	50471.563
KU27	-44716.195	50430.932
KU28	-44712.218	50427.579
SY23	-44715.747	50430.186
SY24	-44710.285	50426.152
SY25	-44712.510	50423.329
SY26	-44742.156	50406.160
SY51	-44524.437	50523.231
SY52	-44525.621	50522.641

座標一覧表

測点	X	Y
SY53	-44539.345	50507.210
SY54	-44552.388	50492.051
SY55	-44553.622	50490.315
SY55	-44553.622	50490.315
SY56	-44565.337	50473.830
SY57	-44576.868	50457.440
SY58	-44581.493	50452.803
SY59	-44584.653	50447.672
SY60	-44572.606	50478.604
SY61	-44587.666	50443.319
SY62	-44591.168	50439.192
SY63	-44601.218	50428.360
SY64	-44613.588	50415.141
SY65	-44635.114	50395.937
SY66	-44633.314	50384.038
SY67	-44596.190	50444.616
SY68	-44606.550	50433.575
SY69	-44618.969	50420.788
SY70	-44627.888	50412.554
SY71	-44640.025	50402.737
SY72	-44643.533	50401.520
SY73	-44649.000	50399.742
SY74	-44655.175	50397.116
SY75	-44657.603	50397.649
SY76	-44660.902	50400.555
SY77	-44660.890	50407.352
SY78	-44659.033	50410.858

凡例	
南部幹線用水路	
	土地取得
	区分地上権設定
第3揚水機場	
	土地取得
	区分地上権設定

凡例	
○	基準点
◎	I P 杭
◎	N O 杭
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
⊡	木 杭
⊕	鋲
⊗	鋲 み
●	計算点及び公図測取点
----	行政界
----	大字界
----	字 界

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	用地境界標識設置図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:500 A2 1:707	図面番号	9-4/4
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

山武市成東湯坂

字松ノ木

地図番号：湯坂17
S=1:500

字松ノ木

地図番号：湯坂18
S=1:500

字南牧ノ谷

地図番号：成東6
S=1:500

山武市成東

地図番号：湯坂19
S=1:500

字中津

字長蔵

地図番号：成東7
S=1:500

東金市家之子

字天野下

地図番号：家之子2
S=1:500

山武市成東

成東

地図番号：成東37
S=1:600

字西之台（西ノ台）

字八幡台

地図番号：成東36
S=1:600

地図番号：成東34
S=1:600

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	転写連続図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	10-1/4
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		

山武市成東

成東

地図番号：成東33
S=1:600

地図番号：成東37
S=1:600

地図番号：成東6
S=1:500

地図番号：成東7
S=1:500

地図番号：成東34
S=1:600

地図番号：家之子17
S=1:600

地図番号：家之子2
S=1:500

字西之台（西ノ台）

字浅間台

字八幡台

字広台（廣台）

字上梶代

字南牧ノ谷

字長蔵

字天野下

字戸崎

東金市
家之子

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)			
図面名	転写連絡図			
作成年月日	平成25年3月25日			
縮尺	図示	図面番号	10-2/4	
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所			

山 武 市 成 東
成　東

字宮脇
(宮ノ脇)

地図番号：成東39
S=1:600

地図番号：成東33
S=1:600

字浅間台

地図番号：成東34
S=1:600

字広台
(廣台)

字八幡台

地図番号：成東31
S=1:600

字西之沢
(西ノ沢)

地図番号：成東30
S=1:600

字西之辺田
(西ノ辺田)

施設名	第3揚水機場 (0312100-1100-21)
図面名	転写連続図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示　図面番号　10-3/4
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所

地図番号：成東３４
S=1:600

地図番号：成東３１
S=1:600

山武市成東
成東

東金市
家之子

字広台
（廣台）

字八幡台

地図番号：成東３６
S=1:600

字上梶代

地図番号：家之子１７
S=1:600

字西之沢
（西ノ沢）

字西之辺田
（西ノ辺田）

地図番号：成東３０
S=1:600

字柳堤

地図番号：家之子１６
S=1:600

字戸崎

地図番号：成東３５
S=1:600

地図番号：
家之子１８
S=1:600

字池尾下

地図番号：成東８
S=1:500

地図番号：家之子５
S=1:500

地図番号：家之子２
S=1:500

東金市
家之子
字天野下

地図番号：家之子４
S=1:500

字天野下

施設名	第3揚水機場(0312100-1100-21)		
図面名	転写連続図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	10-4/4
作成者	関東農政局　両総農業水利事業所		